

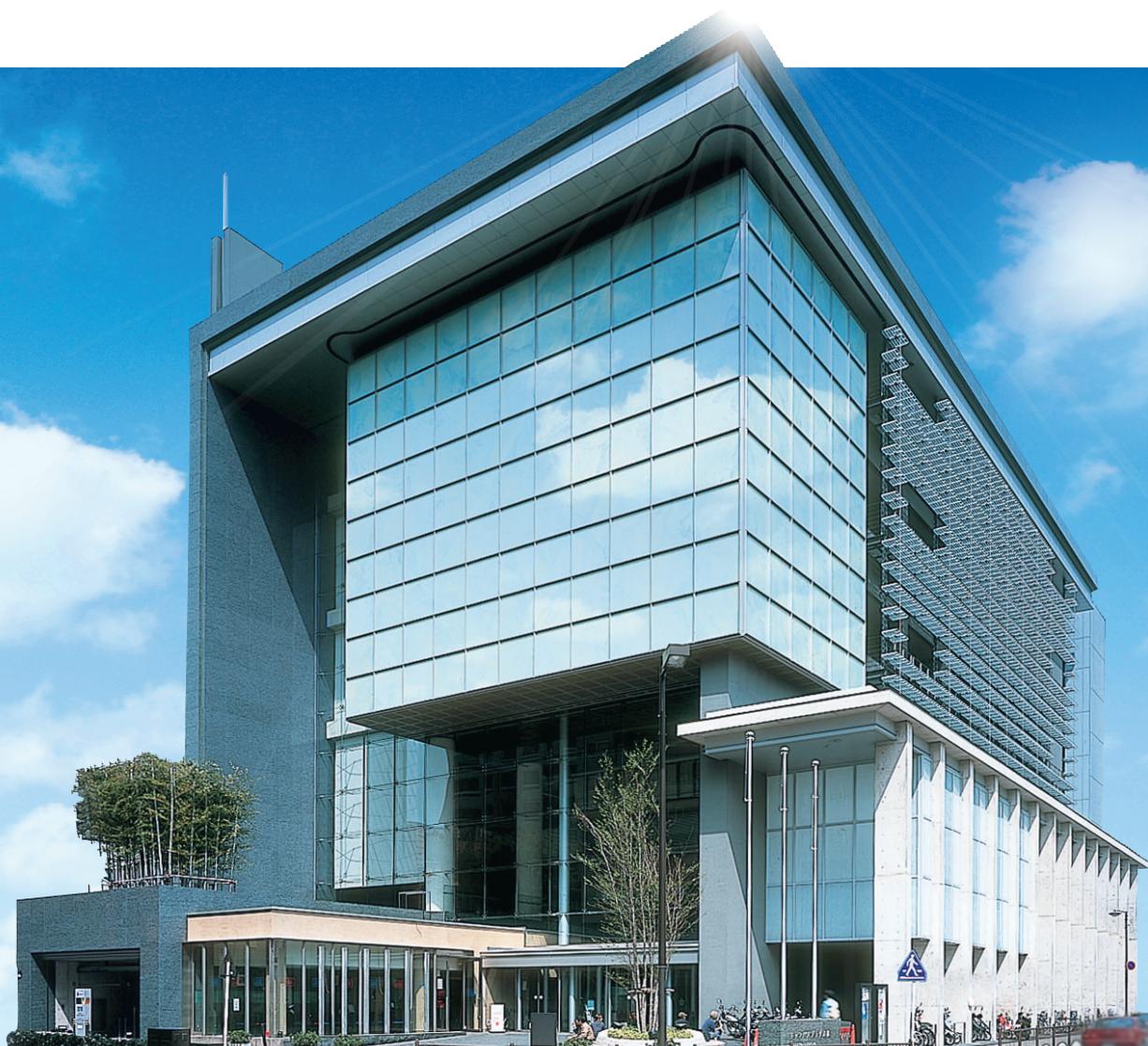
みやこ
京カレッジ生
募集ガイド

2016
年度

- 大学講義
- 市民教養講座
- 京都力養成コース

MIYAKO College Guide Book 2016

「大学のまち京都」が
学びのキャンパス



キャンパスプラザ京都

みやこ
京カレッジ

■ 主催



京都市
CITY OF KYOTO



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

関西から





みやこ

2016年度 京カレッジが変わります

京都市と大学コンソーシアム京都が主催する「京（みやこ）カレッジ」は、2007年度に、前身の「シティカレッジ」をリニューアルして誕生しました。それ以降、「大学のまち京都」の特性を生かして各大学の多種多様な講座を提供し、多くの受講者の皆様に親しまれてきました。誕生から10年という節目を迎え、京カレッジはさらなる進化を目指します。



大学講義・公開講座のテーマを再編

近年、各大学では学部の新設や改組など、様々な改革が行われております。それに伴い、新たな学問分野の講義が実施されるようになりました。京カレッジでは、このような学問分野の講義を提供できるよう、大学講義のテーマ分類を再編し、健康やスポーツ、国際関係に関するテーマを新たに設けました。

また、市民教養講座では、気軽に教養を高めることのできる公開講座やシンポジウムに加え、語学系の講座も提供します。

大学講義	A	 京（みやこ）を学ぶ	京の歴史、伝統文化、産業、地域、観光など京都を多様な角度から学ぶ科目群
	B	 歴史を学ぶ	日本史、世界史、考古学、地史学、民俗学、郷土史、古文書など歴史観を養う科目群
	C	 文化・芸術を学ぶ	文学、古典、音楽、美術、デザイン、絵画、工芸、芸能など文化・芸術に親しむ科目群
	D	 ことば・言語を学ぶ	語学、言語学、外国語、表現、演劇、コミュニケーション法など表現力や語学力を身に付ける科目群
	E	 教育・人生観を学ぶ	心理、教育、宗教学、哲学、倫理、思想など人の生き方、育て方を考える科目群
	F	 生活・健康・スポーツを学ぶ	暮らし、福祉、看護、健康、スポーツ、生命医学などライフスタイルにかかわる知識を得る科目群
	G	 自然・環境を学ぶ	環境学、地理学、農学、天文学、物理学、生物学、生態学など自然界に触れる科目群
	H	 現代社会を学ぶ	法学、経済学、経営学、政治学、社会学、科学技術、情報学など多角な観点から現代社会を観察する科目群
	I	 国際関係を学ぶ	法、政治、教育、福祉、比較文化、海外セミナーなどを通じて世界情勢を知り、グローバルな視点を養う科目群
市民教養講座	J	 市民教養講座	大学が開講する公開講座やシンポジウムを通して、幅広い分野における教養を高めるプログラム
	K	 京都力養成コース	歴史・文化・芸術等の宝庫である京都をフィールドに、蓄積された研究から京都をより深く学べる特色あるプログラム

※科目によっては、1つのテーマだけで表現できない領域横断型のももあります。
出願の際には、各科目のシラバスで内容をご参照ください。

参加費・申込不要の『京カレッジ 大学リレー講座』を開設

大学コンソーシアム京都の加盟大学・短期大学では、京カレッジにて提供されている講義や公開講座以外にも、各大学の特色を生かした様々な独自講座を実施しております。そのような講座を少しでも多くの皆様に体験いただけるよう、今年度より、大学がそれぞれの独自講座をリレー形式で開講する「京カレッジ 大学リレー講座」を開催します。

「京カレッジ 大学リレー講座」は、参加費・申込（出願）不要で受講いただけます。



2016 年度

みやこ
京カレッジ生
募集ガイド

目次

■ ^{みやこ} 京カレッジについて	2
■出願方法について	4
1. 出願に必要な書類	
2. 出願受付	
3. 出願票の作成	
4. 出願票の記入例	
5. 出願から受講までの流れ	
6. 出願・受講にかかる費用	
■各大学・短期大学手続一覧	10
■受講にあたって	14
1. プラザ科目について	
2. オンキャンパス科目について	
■京カレッジ特色あるカリキュラム	20
1. 京都力養成コース	
2. 京カレッジ大学リレー講座	
3. 2016年度海外研修プログラム	
4. eラーニング科目	
■幼保特例制度対応プログラム	26
■京カレッジ科目一覧[テーマ別]	31
■京カレッジ科目一覧[大学・機関別]	41
■京カレッジシラバス	51
1. 大学講義[シラバス]	
2. 市民教養講座[シラバス]	
3. 京都力養成コース[シラバス]	
■各大学・短期大学生涯学習講座のご案内	261
■各大学・短期大学図書館利用一覧	263
■京カレッジ科目提供大学・短期大学連絡先	266
■施設利用案内	巻末

本募集ガイドに掲載している情報は2016年2月現在の情報です。講義や講座の内容に変更が生じた場合は、大学コンソーシアム京都のホームページ上でお知らせいたします。

大学コンソーシアム京都ホームページ <http://www.consortium.or.jp/>

みやこ 京カレッジについて

みやこ 京カレッジ ～「大学のまち京都」が学びのキャンパス～

「京（みやこ）カレッジ」とは、京都市と公益財団法人大学コンソーシアム京都が主催する生涯学習事業です。大学コンソーシアム京都に加盟する大学・短期大学の大学講義を生涯学習の機会として提供しようと1997年にシティーカレッジとして開講し、2007年からは大学講義や公開講座を提供する「京カレッジ」としてリニューアルしました。

今後も京カレッジは、高度化・多様化する社会人の学習ニーズに応える生涯学習事業として、約40もの大学・短期大学等が「大学のまち・学生のまち京都」ならではの特色ある大学講義や公開講座を提供していきます。

みやこ 京カレッジの特色

- POINT 1** 単位修得できる科目から公開講座まで自身の学びのスタイルで受講が可能です。
- POINT 2** 複数の大学に出願する場合も大学コンソーシアム京都に一括で出願できるので便利です。
- POINT 3** 京カレッジならではの京都力養成コースで京都を深く学べます。
- POINT 4** 京カレッジ会員証で各大学・短期大学の図書館が利用可能（利用については各大学・短期大学の規定に従ってください）。
- POINT 5** 京カレッジ生には無料で次年度の募集ガイドを発送します。また、キャンパスプラザ1階の喫茶「ケニア」で学割特典も受けられます（詳細は店舗で確認してください）。

みやこ 京カレッジの受講形態

京カレッジには以下の受講形態があります。

科目等履修生	大学の正課科目を受講し、単位取得を目的とする受講形態
聴講生	大学の正課科目を受講するが、単位取得を目的としない受講形態
特別受講生	公開講座（大学の正課科目以外）を受講する形態

みやこ 京カレッジの出願資格

科目の受講形態によって出願資格が異なります。

科目等履修生	大学の入学資格を有する者（※）
聴講生 特別受講生	聴講生については、出願資格が必要な場合がありますので、「各大学・短期大学手続一覧」でご確認ください。特別受講生は特に必要ありません。

※大学の入学資格は、高等学校卒業以外では、中等教育学校卒業生、特別支援学校の高等部修了者、高等専門学校3年次修了者、文部科学省が指定する専修学校の高等課程の修了者、高等学校卒業程度認定試験の合格者などが該当します。

みよこ 京カレッジの開講形態

オン-campus科目	科目を開講する各大学・短期大学で受講する形態。各キャンパスで開講される科目を「オン-campus科目」と呼びます。
プラザ科目	京都駅前にあるキャンパスプラザ京都で受講する形態。キャンパスプラザ京都で開講される科目を「プラザ科目」と呼びます。

みよこ 京カレッジの科目分類

大学講義	A	 京（みよこ）を学ぶ	京の歴史、伝統文化、産業、地域、観光など京都を多様な角度から学ぶ科目群
	B	 歴史を学ぶ	日本史、世界史、考古学、地史学、民俗学、郷土史、古文書など歴史観を養う科目群
	C	 文化・芸術を学ぶ	文学、古典、音楽、美術、デザイン、絵画、工芸、芸能など文化・芸術に親しむ科目群
	D	 ことば・言語を学ぶ	語学、言語学、外国語、表現、演劇、コミュニケーション法など表現力や語学力を身に付ける科目群
	E	 教育・人生観を学ぶ	心理、教育、宗教学、哲学、倫理、思想など人の生き方、育て方を考える科目群
	F	 生活・健康・スポーツを学ぶ	暮らし、福祉、看護、健康、スポーツ、生命医学などライフスタイルにかかわる知識を得る科目群
	G	 自然・環境を学ぶ	環境学、地理学、農学、天文学、物理学、生物学、生態学など自然界に触れる科目群
	H	 現代社会を学ぶ	法学、経済学、経営学、政治学、社会学、科学技術、情報学など多角な観点から現代社会を観察する科目群
	I	 国際関係を学ぶ	法、政治、教育、福祉、比較文化、海外セミナーなどを通じて世界情勢を知り、グローバルな視点を養う科目群
市民教養講座	J	 市民教養講座	大学が開講する公開講座やシンポジウムを通して、幅広い分野における教養を高めるプログラム
	K	 京都力養成コース	歴史・文化・芸術等の宝庫である京都をフィールドに、蓄積された研究から京都をより深く学べる特色あるプログラム

※科目によっては、1つのテーマだけで表現できない領域横断型のももあります。
出願の際には、各科目のシラバスで内容をご参照ください。

出願方法について

1. 出願に必要な書類

(1) 大学講義（科目コード A～I の科目）に出願する場合

- ①2016年度京カレッジ出願票＜要・顔写真貼付（3cm×3cm）＞（※1）
- ②出願票提出確認シート＜要・顔写真貼付（3cm×3cm）＞
- ③最終学歴証明書（コピー不可）等 1部（※2）
- ④志望理由書など必要書類

※1 出願票裏面の「志望理由書」の記入要否については、「各大学・短期大学手続一覧」で確認してください。

※2 必要な最終学歴証明書等は、大学や科目によって異なりますので、必ず「各大学・短期大学手続一覧」をご確認ください。
なお、1999年度以降、シティーカレッジ・京カレッジ出願者で既に最終学歴証明書（原本）を提出された方は提出不要です。

(2) 市民教養講座（科目コード J～K の科目）に出願する場合

- ①2016年度京カレッジ出願票＜顔写真貼付不要＞
- ②出願票提出確認シート＜要・顔写真貼付（3cm×3cm）＞
- ③志望理由書など必要書類

＜出願書類の注意点＞

- ①出願票は1大学につき1枚提出してください。（複数大学の科目を混在しないでください）。
出願票が足りない場合はコピーしてお使いください。
- ②写真は、写真裏に氏名を記入した上で貼り付けてください。
- ③出願票提出確認シートに貼付いただく写真は京カレッジ会員証に使用しますので出願科目に関わらず、ご提出ください。
- ④その他必要書類や手続については「各大学・短期大学手続一覧」で確認してください。
- ⑤出願書類の不備があった場合は出願を受け付けられませんのでご注意ください。
- ⑥一度提出された出願書類は返却いたしません。

2. 出願受付

(1) 郵送の場合

- 受付期間：2016年3月8日（火）～19日（土）必着
- 郵送先：〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都
公益財団法人大学コンソーシアム京都 京カレッジ担当

(2) 持参の場合

- 出願期間：2016年3月18日（金）・19日（土） 10：00～16：00
- 提出先：キャンパスプラザ京都1階（京都市下京区西洞院通塩小路下る）

■後期出願について

後期・秋学期に開講する一部の科目について、各大学・短期大学が追加で募集を行う場合、後期出願を受け付けます。後期出願については次のいずれかの方法で出願してください。

※後期・秋学期科目であっても追加募集をしない科目もありますので、履修を希望する科目がある場合は、前期の段階で出願してください

<科目発表> 7月23日(土)に大学コンソーシアム京都のホームページに掲載予定

<出願期間> 郵送の場合：8月16日(火)～27日(土)必着
持参の場合：8月27日(土) 10:00～16:00
※郵送先・提出先は上記と同じ

3. 出願票の作成

出願票の記入方法は「記入例」(次ページ)をご覧ください。

大学コンソーシアム京都のホームページ (<http://www.consortium.or.jp/>) 上にある Web 出願票作成システムで出願票を作成することができます。

<注意>

Web 出願票作成システムで出願票を作成しただけでは、出願手続きは完了しておりません。

作成後に出願票を印刷していただいた上で、**提出書類を添えて郵送・持参いずれかの方法で出願期間中にご提出ください。**

■ Web 出願票作成システム稼働期間：2016年3月8日(火)～19日(土)

4. 出願票の記入例

大学講義（科目等履修生・聴講生とも）に出願される方は必ず写真を貼付してください。

大学毎に
1枚提出

eラーニング科目を受講される場合は必ずメールアドレスを記入してください。

出願希望大学にて、過去在籍のある方は、ご記入ください。

<small>・出願票は1大学につき1枚提出してください(出願科目数が多い場合はコピー可)。 ・複数の大学に出願される場合は、必要部数をコピーしてご記入ください。 ・大学講義(A~I)を出願する場合は、必ず写真を貼付してください。</small>		<table border="1"> <tr> <td>※受付方法</td> <td>郵送 / 持参</td> </tr> <tr> <td>※受付日</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>※受付番号</td> <td></td> </tr> </table>		※受付方法	郵送 / 持参	※受付日	/	※受付番号	
※受付方法	郵送 / 持参								
※受付日	/								
※受付番号									
みやこ 2016年度 京カレッジ出願票 <small>本籍内の※欄部分は記入しないでください。</small>									
出願大学	龍谷 <small>大学・短期大学(部)</small>	※整理番号							
フリガナ氏名	ミヤコ マナブ 性別 男・女	※履修生番号							
生年月日(西暦)	19 98 年 4 月 5 日生まれ 満 37 才(2016年4月1日現在)								
職業	○をつけてください。 会社員・自営業・教員・公務員(団体職員)・無職・学生・その他()								
住所連絡先	〒 600-8216 京都府 京都 市 下京区西洞院通塩小路下る東小路町939 e-mail: miyakare@consortium.or.jp 自宅電話番号: (075) 353-9140 携帯電話番号: (090) 1234-XXXX								
最終学歴(西暦)	2000年3月(卒業)修了・単位取得満期退学 京都教養 <small>大学・短期大学(部)・大学院 高等学校・高等専門学校</small>								
科目番号	出願科目名	受講形態 <small>□にレ印をつけてください。</small>	可・否	備考					
H084	まちおし論	<input type="checkbox"/> 科目等履修生 <input checked="" type="checkbox"/> 聴講生 <input type="checkbox"/> 特別受講生	※						
K104	祇園祭の深遠を学び 鉦町を探索する	<input type="checkbox"/> 科目等履修生 <input type="checkbox"/> 聴講生 <input checked="" type="checkbox"/> 特別受講生	※						
		<input type="checkbox"/> 科目等履修生 <input type="checkbox"/> 聴講生 <input type="checkbox"/> 特別受講生	※						
<small>今回出願する大学に過去、科目等履修生(単位修得を目的)として履修したことのある方は記入してください。</small> 2015年度 [科目等履修生番号: XXXXXXX] / _____ 年度 [科目等履修生番号: _____]									
※ 履修科目許可合計	総履修科目数 () 科目	※確認欄	※受領印						
	総履修単位数 () 単位								
	合計履修料 () 円								

出願票以外に必要な提出書類は京カレッジ募集ガイド掲載の「各大学・短期大学出願手続一覧」で確認してください。

【個人情報の取り扱いについて】
・記載いただいた個人情報は、公益財団法人大学コンソーシアム京都並びに京カレッジへの科目提供大学・短期大学(部)等が京カレッジ出願に関する処理や受領手続き等において利用します。また、出願状況等の集計に統計値が必要となる場合に利用しますが、その場合は、個人を認識・特定できない形態で利用します。
・個人情報は、目的の範囲で利用するとともに適切な方法で管理し、法令上の理由など特段の事情がない限り、出願者の同意なしに第三者への目的外での開示・提供はしません。

メールアドレスをご記入頂いた方には、休講等の連絡をお知らせします。

大学講義(A~I)を出願される場合のみご記入ください。

各講座概要をご覧の上、ご記入ください。

●出願票【ウラ面】

みやこ
京カレッジ志望理由書

【志望理由書の提出有無については、京カレッジ募集ガイド掲載の「各大学・短期大学出願手続一覧」で確認してください。】

出願者氏名	京学
出願科目名	H084 まちおこし論
志望理由を記入してください	
出願科目名	K104 祇園祭の深遠を学び、鉾町を探索する
出願科目名	

※記入する欄が3科目を超える場合はコピーしてください。

5. 出願から受講までの流れ

①出願書類の提出（出願期間中）

出願票や必要書類(卒業証明書等)を提出します。事前に選考料等の納金証明が必要な場合がありますので、「各大学・短期大学手続一覧」で必要書類を確認してください。

②京カレッジ仮会員証の発行（4月上旬）

出願書類の受理後、仮会員証を発行します。履修可否の通知があるまでに講義が開講される科目は仮受講ができませんので、仮会員証を携帯して受講してください。

③履修可否通知（4月中旬～5月上旬）

出願書類をもとに各大学・短期大学が受講の可否について選考を行います。選考結果は出願先（科目を提供する）大学・短期大学から直接連絡があります。受講料の納金方法など手続きの連絡があった場合はその指示に従ってください。

④履修手続（履修許可者）

履修可の通知があった際は、「各大学・短期大学手続一覧」または各大学からの指示のとおり、期間内に履修手続を行ってください。手続がない場合は履修辞退として扱われる場合がありますのでご注意ください。なお、一度納金された受講料等については、返金されない場合がありますのであらかじめご了承ください。

⑤受講

シラバスに掲載されている講義日時に出席してください。会員証が発行されるまでは必ず仮会員証を携帯してください。開講場所や開講時間は各大学・短期大学、キャンパスプラザ京都の講義でそれぞれ異なりますので各科目のシラバスでご確認ください。

⑥会員証の発行（6月初旬）

各大学・短期大学から履修手続が完了した旨の報告があり次第、大学コンソーシアム京都から「京カレッジ会員証」を送付します。会員証は各大学・短期大学の講義に参加する際は必ず携帯してください。出願時に本人写真の提供がない場合は発行できませんので、必ず出願票確認シートに写真を貼り付けて提出してください。

6. 出願・受講にかかる費用

① 大学講義

科目等履修生・聴講生とも一部の大学・短期大学では、出願費用として選考料が必要となることがありますので、「各大学・短期大学手続一覧」でご確認ください。

また、登録料、履修料（聴講料）は、科目開講大学や科目によって異なりますので、シラバスをご確認ください。

② 市民教養講座・キャリアアップ講座・京都力養成コース

原則、選考料は必要ありません。一部の講座では受講料が必要。

■受講料について（選考料・登録料・履修料）の説明

費用名		内容説明	出願前に 各大学へ納入	履修手続き時に 各大学へ納入
受講料	選考料	受講の可否を判定する選考の際に必要な費用です。	○	
	登録料	科目等履修生・聴講生のいずれの場合も、科目開設大学の受講生として登録する必要があります。その際に必要となる費用です。		○
	履修料 (聴講料)	科目を履修する際の費用です。このほかに材料費など実費の費用が必要となる科目もあります。		○

※科目開設大学や科目によって料金が異なります。詳細については、「各大学・短期大学手続一覧」及び科目のシラバスをご参照ください。

各大学・短期大学手続一覧

大学コンソーシアム京都に提出する書類で、「出願票」「会員証用写真」以外に提出する書類は、大学・短期大学によって異なりますので、下記の表で必ず提出物を確認してください。

また、出願先の大学・短期大学ごとの履修可否通知の方法やお知らせも掲載していますので合わせて確認してください。

科：科目等履修生、聴：聴講生、特：特別受講生 ○印は必要、×印は不要

大学コンソーシアム京都へ提出する書類一覧					出願大学からのお知らせ
大学・短期大学名	受講形態	志望理由 (出願用紙裏面)	最終学歴証明書 または 卒業証書のコピー	その他提出書類・注意点	
池坊短期大学	科	○	○	選考料の振込受領書のコピー 振込口座：りそな銀行 四条大宮支店 普通口座：269352 口座名義：(学) 池坊学園 選考料：1科目につき 10,000円	本人宛郵送にて通知〈4月中旬～下旬〉 履修許可者は所定の期日までに履修手続きが必要です。 聴講生は単位認定及び成績評価は行いません。
	聴	○	×		
大谷大学・ 短期大学部	科	○	○ (最終学歴以外の 証明書不可)	×	本人宛郵送にて通知〈4月11日(月)〉 〈履修手続・期間・必要書類〉2016年4月13日(水)～19日(火)の期間に、履修料(1単位につき15,000円)を郵便局で払込の上、必要書類を本学宛に郵送。必要書類は許可通知時に連絡します。
	聴	○	×	×	本人宛郵送にて通知〈4月5日(火)〉 〈履修手続・期間・必要書類〉2016年4月6日(水)～12日(火)の期間に、聴講料(半期1科目につき15,000円)を郵便局で払込の上、必要書類を本学宛に郵送。必要書類は許可通知時に連絡します。
	特	×	×	×	本人宛郵送にて通知〈4月下旬予定〉 その後の手続方法については、許可通知時に連絡します。
京都外国語大学・ 短期大学部	科	○	○	×	本人宛郵送にて通知〈4月下旬予定〉
	特	○	×	×	本人宛郵送にて通知〈4月下旬予定〉 単位認定・成績評価はありません。
京都華頂大学・ 華頂短期大学	科	○	○ (最終学歴証明書のみ)	×	本人宛郵送にて通知〈4月下旬〉
京都学園大学	科	○	○ (最終学歴証明書のみ)	×	本人宛郵送にて通知〈4月下旬〉
	聴	○	×	×	本人宛郵送にて通知〈4月下旬〉 単位認定及び成績評価は行いません。
	特	○	×	×	本人宛郵送にて通知〈5月下旬〉 単位認定及び成績評価は行いません。
京都教育大学	聴	○	×	×	本人宛郵送にて通知。 履修手続方法については許可通知時に連絡します。 受講料(1科目10,000円) 単位認定及び成績評価は行いません。
	特	○	×	×	本人宛に郵送(4月下旬予定)。 その後の手続きについては講座開始前に郵送にて通知します。

科：科目等履修生、聴：聴講生、特：特別受講生 ○印は必要、×印は不要

大学コンソーシアム京都へ提出する書類一覧					出願大学からのお知らせ
大学・短期大学名	受講形態	志望理由 (出願用紙裏面)	最終学歴証明書 または 卒業証書のコピー	その他提出書類・注意点	
京都光華女子大学・ 短期大学部	科	○	○	選考料の振込受領書のコピー ・ATMでの振込はご遠慮ください。 ・「教育課程論」「乳児保育」の 選考料は履修許可後、履修料と 一緒に納付してください。 振込口座：京都銀行西京極支店 普通口座：256411 口座名義：学校法人 光華女子学 園 理事長 阿部敏行 選考料：科目数を問わず10,000円	本人宛郵送にて通知<4月末頃>
	聴	○	×	×	
京都工芸繊維大学	科	○	○ (最終学歴の学業 成績証明書<原 本>、最終学歴の 卒業証明書又は 修了証明書)	検定料振込受領書のコピー 振込口座：三菱東京UFJ銀行 京都中央支店 普通口座：2714174 口座名義：国立大学法人京都工 芸繊維大学学納金口 学長 古山正雄 検定料：科目数問わず9,800円	本人宛郵送にて通知
	聴	○	×	×	
京都産業大学	科	○	○ (最終学歴証明 書のみ)	外国人の方は、在留資格を証 明する書類も併せて提出して ください。	選考結果については、本人宛郵送にて 通知します。 春：4月中旬 / 秋：9月中旬
	聴	○	○ (最終学歴証明 書のみ)	外国人の方は、在留資格を証 明する書類も併せて提出して ください。	選考結果については、本人宛郵送にて 通知します。 春：4月中旬 / 秋：9月中旬
	特	○ (京都力養成 コースのみ)	×	×	本人宛郵送にて通知
京都市立芸術大学	科	○	○	×	本人宛郵送にて通知<4月中旬>
	聴	○	○	×	
	特	×	×	×	
京都西山短期大学	科	○	○	×	本人宛郵送にて通知<4月末頃>
	聴	×	×	×	
京都造形芸術大学	聴	○	×	×	本人宛郵送にて通知<4月下旬>
	特	○	×	×	
京都橘大学	科	○	○	×	本人宛郵送にて通知<4月中旬、9月中旬> ※履修の手続き期間や、その他必要な 手続きについても、許可通知時に連 絡します。
	特	×	×	×	本人宛郵送にて通知<4月中旬、9月中旬>
京都ノートルダム 女子大学	科	○	○	×	本人宛郵送にて通知<4月中旬>
	聴	○	○	×	
京都府立大学	科	×	○	履歴書・健康診断書・現職にあ る者は、その所属長の承諾書	本人宛郵送にて通知

科：科目等履修生、聴：聴講生、特：特別受講生 ○印は必要、×印は不要

大学コンソーシアム京都へ提出する書類一覧					出願大学からのお知らせ
大学・短期大学名	受講形態	志望理由 (出願用紙裏面)	最終学歴証明書 または 卒業証書のコピー	その他提出書類・注意点	
京都文教大学	科	○	○	×	本人宛郵送にて通知〈4月下旬〉
京都文教短期大学	聴	○	×	×	本人宛郵送にて通知〈4月下旬〉
京都薬科大学	科	○	○	×	本人宛郵送にて通知〈4月下旬〉 (履修許可後) ・履歴書(写真貼付) ・科目等履修生入学願(本学所定) ・身分証明書用写真(縦3cm×横2.5cm) ・履修料(1科目につき20,000円)
種智院大学	科	○	○	×	・本人宛に通知(4月中旬) ※通知前に授業が開始されるため、先 に出席してください。 ・科目等履修料12,000円/1単位 ・最終学歴の証明書が必要
	聴	○	×	×	・本人宛に通知(4月中旬) ※通知前に授業が開始されるため、先 に出席してください。 ・聴講料10,000円/1単位
同志社大学	科	○ (神学部は800 字以内で記入)	○ (卒業証書の コピーは不可)	<p>■その他提出書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選考料の振込金受取書のコピーを提出してください。選考料は、科目詳細の「連絡先」に記載の科目提供学部ごとに10,000円の納入が必要です。(受講希望学部が複数学部の場合、10,000円×学部数となります。) 振込先口座:三井住友銀行・京都支店 口座番号:302070 口座名義:ドウシヤダイガク ※ご依頼人の欄には、氏名のあとに「ミヤコカレッジ」とご記入ください。 ※ATMによる振込はできません。 ・最終学歴の成績証明書(神学部のみ提出) <p>★注意事項</p> <p>神学部は、出願資格(短期大学卒業以上)を設けています。また、書類選考合格者に対して筆記および口述による選考試験を実施します。詳しくは神学部事務室へお問い合わせください。</p>	本人宛郵送にて通知 〈5月上旬(予定)までに、各学部ごと に結果を通知〉 履修手続き等については、履修許可通 知の送付時にお知らせします。
	聴	○	○ (卒業証書の コピーは不可)	×	
同志社女子大学	科	○	○	×	本人宛郵送にて通知〈4月上旬予定〉 ※履修手続きとして所定の期日までに 登録料(科目等履修希望者のみ)・履 修料(科目等履修・聴講希望ともに) を納入の上、履修生証用写真1枚(カ ラー、縦4cm×横3cm)と返信用封 筒(切手不要)を提出。詳細は、履 修許可通知送付時に連絡します。
	聴	○	○	×	

科：科目等履修生、聴：聴講生、特：特別受講生 ○印は必要、×印は不要

大学コンソーシアム京都へ提出する書類一覧					出願大学からのお知らせ
大学・短期大学名	受講形態	志望理由 (出願用紙裏面)	最終学歴証明書 または 卒業証書のコピー	その他提出書類・注意点	
花園大学	科	○	○ (最終学歴証明書のみのみ)	×	本人宛郵送にて通知〈4月下旬〉 履修許可者は所定の期日までに履修料を納入し、必要提出書類を提出してください。
佛教大学	科	○	○	×	本人宛郵送にて通知〈4月下旬〉 【履修手続き方法】 履修許可者は、所定の期日までに必要書類を提出し、科目履修料を納入してください。 ※詳細は、履修許可通知時にお知らせします。 【履修手続き時の必要書類】 ・写真1枚(縦3.5cm×横3.0cm) ※裏面に氏名・科目名を記入のこと。 ・返送用封筒(履修生証送付用)
平安女学院大学・ 同短期大学部	科	○	○	×	本人宛郵送にて通知〈5月上旬(予定)〉 履修料1科目40,000円 別に科目数を問わず選考料10,000円(出願時不要) 健康診断書・住民票・写真1枚(縦3cm×横2.5cm)
	特	○	×	×	本人宛郵送にて通知〈4月中旬予定〉
立命館大学	科	○	○	×	・履修の許可通知は、4月下旬頃に郵送で通知します。履修が許可された場合のみ、「①写真(縦3cm×横2.5cm)」「②個人情報の取扱いに関する同意書」を提出していただきます。これらの書類は履修許可可否の通知とあわせて郵送します。 ・履修が許可された場合、所定の期日までに履修料を納入の上、必要書類(上記①及び②)を提出してください。
	聴	○	×	×	・履修許可可否は、4月下旬頃に郵送で通知します。履修が許可された場合のみ、「①写真(縦3cm×横2.5cm)」「②個人情報の取扱いに関する同意書」を提出してください。これらの書類は履修許可可否の通知とあわせて郵送します。 ・履修が許可された場合、所定の期日までに履修料を納入の上、必要書類(上記①及び②)を提出してください。
	特	×	×	×	本人宛郵送にて通知〈4月上旬〉
龍谷大学・ 短期大学部	科	○	○	×	本人宛郵送にて通知〈4月中旬〉
	特	○	×	×	
大学コンソーシアム京都	特	×	×	大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学の正規学生(大学院生・専攻科生除く)、放送大学京都学習センター全科履修生は、学生証のコピーを提出	本人宛郵送にて通知〈4月中旬〉
放送大学 京都学習センター	特	○	×	×	本人宛郵送にて通知〈4月下旬予定〉
京都・大学ミュージアム連携	特	×	×	×	本人宛郵送にて通知〈4月下旬〉

受講にあたって

1. プラザ科目 (キャンパスプラザ京都開講科目) について

① プラザ科目の学年暦

前期授業期間	4月 8日(金) ~ 7月28日(木)
講義休止期間	5月 2日(月) ~ 5月 5日(木)
前期試験期間	7月29日(金) ~ 8月 4日(木)
集中講義期間	8月 5日(金) ~ 9月20日(火)
後期授業期間	9月21日(水) ~ 1月19日(木)
講義休止期間	12月23日(金) ~ 1月 4日(水)
後期試験期間	1月24日(火) ~ 1月29日(日)

*講義の開始・終了日は科目により若干異なりますので、
開講日程・時間はシラバスで確認してください。

(P16参照)

② プラザ科目の講義時間

■前期・後期講義期間及び夏期集中期間共通

講 時	時 間
1	9:00 ~ 10:30
2	10:50 ~ 12:20
3	12:40 ~ 14:10
4	14:30 ~ 16:00
5	16:20 ~ 17:50
6	18:10 ~ 19:40
7	20:00 ~ 21:30

③ プラザ科目の試験実施・レポート提出について (科目等履修生のみ)

試験はプラザ科目の学年暦の試験期間内で、講義と同じ曜日講時に行うことを原則としています。試験要領の発表はキャンパスプラザ京都の掲示板、または大学コンソーシアム京都HPにおいて発表します(前期・後期試験期間開始2週間前頃に掲載予定)。

また、プラザ科目の中には、レポート試験を課す科目があります。受講科目により提出期間等が異なりますので十分注意してください。

■レポート提出の受付時間について

受付時間: **9時~17時** (月曜日は、休館日) ※左記時間を厳守してください。

提出場所: **キャンパスプラザ京都受付BOX** ※所定のレポート表紙を準備しています。

科目等履修生の単位認定の結果は、科目開設大学より直接通知されます。成績証明書の発行は、当該大学・短期大学の窓口へお問い合わせください。

④ プラザ科目の休講、補講、教室変更等の連絡

キャンパスプラザ京都の掲示板等でご確認ください。

出願票にパソコンのメールアドレスを登録された方には、休講等の情報がメールで配信されます。

また、以下により休講等の情報を確認することができます。

- パソコン⇒ e 京都ラーニングのトップページ (<https://el.consortium.or.jp/login.php>)
「授業などのお知らせ」
- 携帯電話⇒ <https://el.consortium.or.jp/cns510.php>

「プラザ科目」における授業・試験休止の取り扱い基準について

キャンパスプラザ京都で開講される「プラザ科目」では、特別警報や暴風警報の発令時や、災害またはストライキ等で交通機関の運行休止等が発生した場合、授業・試験を休止する基準を以下のとおり定めていますので、基準に従い各自で判断してください。

なお、大学・短期大学のキャンパスで開講される「オンキャンパス科目」については、各大学・短期大学の指示に従ってください。

1. 授業・試験の休止基準

次の(1)、(2)いずれかに該当する場合、授業や試験を休止・延期します。警報の発令・解除及び交通機関の運行状況は、テレビ・ラジオ等の報道機関あるいは気象庁のホームページ等で確認してください。

また、次の基準にかかわらず、大学コンソーシアム京都が授業・試験の実施に支障があると判断した場合は、授業・試験を休止することがあります。

(1) 警報の発令

京都府南部または京都・亀岡区域（二次細分区域）に特別警報または暴風警報が発令された場合

(2) 交通機関の運行休止

下記のうち2つ以上の交通機関が同時に全面的・部分的に運行休止または運転見合わせの場合

- ①京都市バスまたは京都市営地下鉄（全路線）
- ②JR（京都線、琵琶湖線、湖西線、奈良線、嵯峨野線のいずれか）
- ③京阪電車（出町柳～淀屋橋または中之島間）
- ④阪急電車（河原町～梅田間）
- ⑤近鉄電車（京都～大和西大寺間）

2. 授業・試験の実施基準

特別警報・暴風警報が解除された場合、または交通機関の運行が再開された場合は、以下の基準により授業・試験を実施します。

なお、授業中または試験中に警報が発令された場合は、原則として実施中の授業・試験については休止または延期せず、その次の時限から休止または延期の措置を取ります。

判断基準	対応
7：00までに解除または運行再開の場合	1 講時（9：00）から実施
10：30までに解除または運行再開の場合	3 講時（12：40）から実施
14：00までに解除または運行再開の場合	5 講時（16：20）から実施
14：00を過ぎても解除または運行再開されない場合	終日授業・試験を休止

3. 授業休止または試験延期後の措置

授業休止による補講、試験休止による試験日の設定は、教員や科目提供大学とも調整の上、e 京都ラーニングやキャンパスプラザ京都1階掲示板等でお知らせします。

2016年度 プラザ科目 学年暦

4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
					①	①
10	11	12	13	14	15	16
①		①	①	①	②	②
17	18	19	20	21	22	23
②		②	②	②	③	③
24	25	26	27	28	29	30
③		③	③	③		④
4/8 前期講義開始日 4/29 昭和の日						

5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
④					④	⑤
8	9	10	11	12	13	14
⑤		④	④	④	⑤	⑥
15	16	17	18	19	20	21
⑥		⑤	⑤	⑤	⑥	⑦
22	23	24	25	26	27	28
⑦		⑥	⑥	⑥	⑦	⑧
29	30	31				
⑧		⑦				
5/3 憲法記念日、5/4 みどりの日、 5/5 こどもの日						

6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			⑦	⑦	⑧	⑨
5	6	7	8	9	10	11
⑨		⑧	⑧	⑧	⑨	⑩
12	13	14	15	16	17	18
⑩		⑨	⑨	⑨	⑩	⑪
19	20	21	22	23	24	25
⑪		⑩	⑩	⑩	⑪	⑫
26	27	28	29	30		
⑫		⑪	⑪	⑪		

7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					⑫	⑬
3	4	5	6	7	8	9
⑬		⑫	⑫	⑫	⑬	⑭
10	11	12	13	14	15	16
⑭		⑬	⑬	⑬	⑭	⑮
17	18	19	20	21	22	23
⑮		⑭	⑭	⑭	⑮	補
24	25	26	27	28	29	30
補		⑮	⑮	⑮	試	試
31						
試						
7/29～8/4 前期試験期間、7/18 海の日						

8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
		試	試	試		
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
8/5～9/20 集中講義期間 8/11 山の日						

9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
			①		①	①
25	26	27	28	29	30	
①		①	②	①	②	
9/21 後期講義開始日 9/19 敬老の日、9/22 秋分の日						

10月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
						②
2	3	4	5	6	7	8
②		②	③	②	③	③
9	10	11	12	13	14	15
③		③	④	③	④	④
16	17	18	19	20	21	22
④		④	⑤	④	⑤	⑤
23	24	25	26	27	28	29
⑤		⑤	⑥	⑤	⑥	⑥
30	31					
⑥						
10/10 体育の日						

11月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		⑥	⑦		⑦	⑦
6	7	8	9	10	11	12
⑦		⑦	⑧	⑥	⑧	⑧
13	14	15	16	17	18	19
⑧		⑧	⑨	⑦	⑨	⑨
20	21	22	23	24	25	26
⑨		⑨		⑧	⑩	⑩
27	28	29	30			
⑩		⑩	⑩			
11/3 文化の日、11/23 勤労感謝の日						

12月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				⑨	⑩	⑩
4	5	6	7	8	9	10
⑩		⑩	⑩	⑩	⑫	⑫
11	12	13	14	15	16	17
⑫		⑫	⑫	⑪	⑬	⑬
18	19	20	21	22	23	24
⑬		⑬	⑬	⑫		
25	26	27	28	29	30	31
12/23～1/4 講義休止期間 12/23 天皇誕生日						

1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
				⑬	⑭	⑭
8	9	10	11	12	13	14
⑭		⑭	⑭	⑭	⑮	⑮
15	16	17	18	19	20	21
⑮		⑮	⑮	⑮	補	補
22	23	24	25	26	27	28
補		試	試	試	試	試
29	30	31				
試						
1/5 講義再開 1/24～1/29 後期試験期間 1/1 元日、1/2 振替休日、1/9 成人の日						

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				
2/11 建国記念の日						

3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
3/20 春分の日						

- ・前期・後期の各講義日15回を①～⑮で記載。「補」は補講日、「試」は試験期間を表す。
- ・前期：4月8日（金）～7月28日（木） 試験（レポート受付）期間：7月29日（金）～8月4日（木）
- ・後期：9月21日（水）～1月19日（木） 試験（レポート受付）期間：1月24日（火）～1月29日（日）

開講は、毎週月曜日を休講とし、国民の祝日は授業を行いません。ただし、8月11日（木）【山の日】は授業実施日となります。

2. オンキャンパス科目 (各大学・短期大学で開講の科目) について

① オンキャンパス科目の学年暦

各大学・短期大学等の学年暦が適用されます。

② オンキャンパス科目の講義時間

各大学・短期大学等の講義時間で行われます。

③ オンキャンパス科目の試験実施・レポート提出について (科目等履修生のみ)

各大学・短期大学等の指示に従ってください。

④ オンキャンパス科目の休講・補講・教室変更の連絡

各大学・短期大学等の掲示板等でご確認ください。
出願票にメールアドレスを登録された方には、休講等の情報がメールで配信されます。
また、以下により休講等の情報を確認することができます。

- パソコン⇒ e 京都ラーニングのトップページ (<https://el.consortium.or.jp/login.php>)
「授業などのお知らせ」
- 携帯電話⇒ <https://el.consortium.or.jp/cns510.php>

※交通機関の不通、暴風警報・特別警報の発令に伴う休講についても、各大学・短期大学等の取り扱いに従ってください。

e 京都ラーニングの利用について

<https://el.consortium.or.jp/login.php>

e 京都ラーニングに登録すると休講情報等がメールで届きます。新規登録から入力してください。
※京カレッジ生の所属大学は「大学コンソーシアム京都」をお選びください。

よくある質問 (FAQ)

◎京カレッジって何ですか。

Ⓐ京都市と大学コンソーシアム京都が主催する生涯学習事業のことで、「京（みやこ）カレッジ」と読みます。大学コンソーシアム京都に加盟する大学・短期大学から提供される大学講義や市民教養講座、京都力養成コースなどの公開講座を受講できます。

◎誰でも出願できますか。京都市民でないと出願できませんか。

Ⓐ出願資格を満たしていればどなたでも受講いただけます(出願資格は募集ガイドで確認してください)。

◎京カレッジの講義・講座はどこを受講できますか。

Ⓐ科目や講座を提供する大学・短期大学のキャンパスあるいは京都駅前にあるキャンパスプラザ京都で受講できます(一部現地学習を実施する科目もあります)。

◎どのような大学講義や公開講座を受講できますか。

Ⓐ募集ガイドに掲載されている科目全てが対象です。募集ガイドは冊子のほか、デジタル版を用意していますので京カレッジのホームページをご覧ください。

【京カレッジホームページ】<http://www.consortium.or.jp/project/sg>

◎募集ガイドはどのように入手できますか。

Ⓐ冊子はキャンパスプラザ京都のほか、京都市内の市役所案内所や区役所、市図書館に配架しています。また、電話(Tel075-353-9140)や京カレッジのホームページからも請求いただけます(送付無料)。なお、前年度受講生へは新年度前に無料で発送します(海外への発送は行っていませんのでご了承ください)。

◎大学講義の「科目等履修生」と「聴講生」の違いは何ですか。

Ⓐ「科目等履修生」は単位修得を目的とし、「聴講生」は単位取得を目的とせず講義を受講する形態のことをいいます。

◎「プラザ科目」「オンキャンパス科目」とは何ですか。

Ⓐキャンパスプラザ京都で開講する科目のことを「プラザ科目」と呼んでいます。大学のキャンパスで開講される科目は「オンキャンパス科目」と呼んでいます。

◎成績評価にかかわる試験やレポートを提出しなければなりませんか。

Ⓐ「科目等履修生」は単位取得を目的としているため、評価方法として試験やレポートが課される場合があります。聴講生は課されません。評価方法については募集ガイドに掲載している各科目のシラバスの試験・評価方法欄で確認してください。

◎出願はいつでもできますか。

Ⓐ前期・後期で定められた出願期間にしか受付を行っていません。出願期間や出願方法の詳細は募集ガイドや京カレッジのホームページに掲載しています。

◎後期科目も前期の出願期間中に申し込めばなりませんか。

Ⓐ受講を希望する科目・講座があれば前期のうちに申し込んでください。後期は一部の科目のみの追加受付であり、後期科目であっても定員に達した科目などは募集をしないことがあります。

◎履修の可否はどこから連絡がきますか。

Ⓐ科目開設大学（出願した大学）から通知があります。大学によっては、履修手続等必要事項の連絡がある場合がありますので、その指示に従ってください。

◎履修の可否はいつごろ連絡がありますか。

Ⓐ出願した大学によっては可否の連絡に時間差がある場合があります。募集ガイドの各大学・短期大学手続一覧で確認してください。

◎履修手続きや受講料について具体的に知りたいです。

Ⓐ各大学によって異なります。募集ガイドに掲載の各大学・短期大学手続一覧や各科目のシラバス、大学からの通知を確認してください。

◎出願後の取り消しはできますか。

Ⓐ原則取り消しはできません。また、一度納金された受講料等は、返金されない場合があります。やむを得ない理由で取り消しを希望される場合は科目開設大学の窓口にご相談ください。

◎履修の許可通知が届く前に講義が始まります。どうしたらいいですか。

Ⓐ大学によって履修許可判定に時間を要する場合があります。履修許可通知が届くまでは、出願受付後に発行する仮会員証を携帯して講義に出席してください。

◎休講や補講、教室など授業に関する情報はどうすれば入手できますか。

Ⓐ大学のキャンパスで開講される科目の場合は募集ガイドに掲載の科目開設大学の窓口を確認してください。キャンパスプラザ京都の科目は募集ガイドの「受講にあたって」をお読みください。なお、「e 京都ラーニング」(<https://el.consortium.or.jp/login.php>)に登録すると授業に関する情報がメール配信されます。

◎台風が接近しているようです。休講の連絡は大学や大学コンソーシアム京都からありますか。

Ⓐ原則、個別の電話連絡はしていません。休講基準（前問の回答を参照）に従って判断してください。

◎授業を休む場合はどうすればよいですか。

Ⓐ各自で事前・事後に教員へ申し出てください。大学コンソーシアム京都から教員へ欠席の連絡は行っていません。科目等履修生の場合、成績評価に配慮するかは教員の判断によります。

◎京カレッジ会員証で通学定期や学生割引乗車券等は購入できますか。

Ⓐ会員証は主に授業や試験において受講者を証明するものであり、通学定期や学生割引乗車券等を購入することはできません。

◎京カレッジの会員証が届きません。

Ⓐ会員証用の写真の未提出等の理由が考えられます。大学コンソーシアム京都（Tel.075-353-9140）にお問い合わせください。

◎京カレッジの会員証を紛失しました。再発行の手続きを教えてください。

Ⓐ顔写真（縦3cm×横3cm）を大学コンソーシアム京都までご提出ください。郵送をご希望の場合は返信用の切手（82円）を添えてください。



みやこ

京カレッジ特色あるカリキュラム

1. 京都力養成コース

京都力養成コースは、歴史・文化・芸術等の宝庫である京都をフィールドに、各大学や機関に蓄積された研究から京都をより深く学べる特色ある講座で構成されております。また、京都力養成コースの講座は、京カレッジ生だけが受講できる京カレッジオリジナルの講座です。

京都学講座

K001

「京の文化遺産～未来につなぐ日本のたからもの」

大学コンソーシアム京都

講座の紹介はP.256へ

講座概要

京都には歴史的な建造物が多く、美しい町並みを形成しています。世界遺産の寺院や神社、二条城にくわえ、上賀茂の社家町、花街、国の重要文化的景観の岡崎界限があります。公家屋敷に京町家、明治以降の近代建築や近代化遺産の建物も、市内各所に息づいています。今回のシリーズは、未来につなぐ日本のたからものとしての京の文化遺産を解き明かしていきます。



K002

「表現力」を磨いて京都から新たな文化発信を③ — 詩×俳句×Lyric Festa実験計画 —

平安女学院大学

講座の紹介はP.256へ

講座概要

東京を中心として発信される「流行」に左右されることなく自分自身の方向性に自信とプライドを持ちながら表現活動を続けること。これは、思う以上に難しいことです。自分では真似ているつもりはなくても、知らず知らずのうちに「時代の空気」に飲まれてしまいがちだからです。本講座では、「自分の表現のありか」というものを最も大切にします。しかしこのことは、作品を誰にも見せず自分に閉じこもってしまうことではありません。合評（相互批評）→イベントへの体験参加→企画思索→企画書作成→実践という、段階を経た実践的プログラムを準備。これはいろいろな詩人会や句会で行われている基本的なトレーニング方法とは根本的に異なる、常に作品を外に向けて発信し「外気」にさらすことで強度を増してゆこうという方法です。また「外部からみた京都」「海外からみた日本詩・俳句」といった視点も加え、受講生の表現者としてのステージアップを狙っています。



K003 **日本酒の心美体 ～ 伏見酒と和食の未来図 ～**
 放送大学京都学習センター 講座の紹介はP.257へ

講座概要

和食が世界遺産に登録され、それに伴い日本酒の世界にも大きな変化が起こりつつあります。日本酒は世界的に見てその造り方や温かくして飲むなどユニークな酒であり、その伝統を重んじつつ、世界に発信するための試みもされはじめました。

かねてより日本酒は祭の酒であり村人が心を一にするために重要な存在でありましたが、最近では和食+日本酒のおいさと健康（美容も）という見地からも理解が深まっていて日本酒を見直そうという動きが活発になっています。

今回は伏見の酒造メーカーを例にとり、日本酒における伝統と新しい方向、つまり国際社会への対応の仕方の一つのモデルとして見てみたいと思います。また、日本人の心をくすぐったコマーシャルなども経営の一環としてクローズアップしてみたいと思います。



K101 **京都・博物館都市のまちづくり ～まちなかミュージアム学芸員育成～**
 京都外国語大学 講座の紹介はP.257へ

講座概要

本学博物館学芸員課程と連携しながら実施する今回の養成コースの目的は、実践的活動を通してまちづくりに関わる人材の育成にあり、まちと密着した活動を行なっている博物館の事例を学習しながら、地域住民と協働したまちづくり活動に参加する。さらに今年からは学習の成果を京都外国語大学国際文化資料館での展覧会にて発表することで受講生への教育効果を高めます。

おもな活動内容は、1) フィールドミュージアム基礎学習、2) ミュージアム見学を通じた地域調査、3) 中京（京都文化博物館界隈）でのまちづくり活動への参加、4) 右京区におけるフィールドワークを通じた地域資産の調査、5) 活動成果のとりまとめと発表、から構成します。



K102 **大学が育んだ京都 – 京都・大学ミュージアム連携発の「京都力」**
 京都・大学ミュージアム連携 講座の紹介はP.258へ

講座概要

京都は「大学のまち」と呼ばれることがありますが、同時に「大学ミュージアムのまち」と言ってもよいほどに多くの大学ミュージアムがまちの内外にあります。それぞれの大学ミュージアムは、その大学の建学の精神や教育・研究の特色を反映した、多様で多彩な作品・資料を収蔵しています。そして、それらの作品・資料は、大学における教育・研究とともに、京都のまちの文化を支えてきたのです。そして、いま、各大学ミュージアムは活発な展覧会活動もしています。

このプログラムでは、大学ミュージアムで開催されている展覧会を見ることで、大学が育んできた京都の文化を知っていただきたいと思っています。

各ミュージアムでは、担当の教職員が、展示の見所だけでなく、収蔵資料の特徴や展示の方向性などについて説明します。このプログラムを通して、大学ミュージアムを身近に感じていただきたいと考えています。



K103

京都東山の寺社と権力・民衆 —多様な資料と手法によるアプローチ—

京都産業大学

講座の紹介はP.258へ

講座概要

この講座は、京都産業大学文化化学部の教員と本学日本文化研究所の上席特別客員研究員（京都・観光文化検定試験1級合格者）による講義とフィールドワークを組み合わせたものです。今回の「京都東山の寺社と権力・民衆—多様な資料と手法によるアプローチ—」というテーマで5月に行う講座では、観光名所としても歴史的にも有名な京都東山地域の寺社をいくつか取り上げ、この地域の全体像・具体像について、時代的背景・社会的背景をふまえ、また権力や民衆との関係もふくめ、様々な角度から考えていきます。アプローチも、古文書（史料）、発掘成果、絵画・地図資料、聞き取り・フィールドワークなど、多様な形で追究します。これらを通して、京都東山の寺社の特色を理解し、京都の歴史の奥深さ・おもしろさを感じてください。



K104

祇園祭の深遠を学び、鉾町を探索する

龍谷大学

講座の紹介はP.259へ

講座概要

本講座は、京都が世界に誇る「祇園祭」についての学びの場です。「いにしへの時代から今に至るその国際性」「仏教や神道との関わりから見る宗教性」「実際に運営の主体者である鉾町の声」等々から、多角的に学習・研究していきます。「祇園祭」には、疫病退散・世の平安等々あまたの祈りが込められています。本講座では各回それぞれの専門分野からのアプローチにより、通常知られていないエピソードを紹介しながら、決して書籍や一般情報だけでは味わえない「祇園祭」の姿を見ていきます。また、実際に現地でのフィールドワークで、「祇園祭」を体感していただきます。運営に携わっている方、現地の専門家による講話・解説により京都の信仰や伝統、町衆の意気込み等を味わって頂ければと思います。



K105

東本願寺を知り尽くす

大谷大学

講座の紹介はP.259へ

講座概要

京都駅前烏丸通に大伽藍を誇る東本願寺。今回の講座では、その誕生から現在までの歴史をたどってみましょう。東本願寺はどういう経緯で建立されたのか？ 堀川通にある西本願寺との関係は？ 信長・秀吉・家康とどのような関係があったのか？ まず、第1講では、こうした東本願寺誕生の秘話を、確実な史料に基づいて明らかにしていきます。次に第2講では、現在の大伽藍に至る歴史を明らかにします。よく知られるように、東本願寺は江戸時代に4度の火災を経験しています。みずから出火したものもあるし、類焼したこともあります。しかし、焼失する度に再建されて、しかも徐々に大きな建物となっていきます。こうして現在の大伽藍に至った、その歴史をたどってみましょう。第3・4講は、フィールドワークとして、東本願寺の御影堂・阿弥陀堂、そして諸殿を拝観します。



2. 京カレッジ 大学リレー講座

大学コンソーシアム京都の加盟大学・短期大学では、京カレッジにて提供されている講義や公開講座以外でも、各大学の特色を生かした様々な独自講座を実施しております。そのような講座を体験いただくために、今年度より、各大学の独自講座をリレー形式で開講する「京カレッジ 大学リレー講座」を開催します。

複数回の公開講座など敷居が高いと感じておられる方でも、気軽に大学の講座に接し、体験する機会として、ぜひご受講ください。



開講講座実施概要

開催日時：2016年5月～2017年2月 第3土曜日 13:00～14:30

※一部、上記日時以外で開催される講座があります。各講座の実施日時については、以下にてご確認ください。

会場：キャンパスプラザ京都4F 第2講義室

参加費・申込：不要（先着順 定員250名程度）

※京カレッジ 大学リレー講座の各講座に限り、お願いいただく必要はありません。

講座開催日時とテーマ

日程	講座開講大学	テーマ	講座概要	担当教員
5月14日(土) 13:00～14:30 ※開催日時にご注意ください。	龍谷大学	“かおり”で会話する生き物たち	植物の出す“かおり”（匂い）が言葉となって、匂いを出した植物と他の様々な生き物とがコミュニケーションしていることを自身の研究結果をもとに紹介する。	塩尻 かおり (農学部 講師)
6月18日(土) 13:00～14:30	京都工芸繊維大学	京の伝統的発酵食品とピンピンコロリ型健康長寿社会	超高齢化社会を迎え、医療費・介護費用の増大は深刻な問題である。これらの支出を抑え、積極的に長生きする「ピンピンコロリ型」の健康長寿社会を目指す上で、京都の伝統的発酵食品が担う役割と可能性を解説する。	井沢 真吾 (工芸科学研究科 応用生物学系 准教授)
7月16日(土) 13:00～14:30	大谷大学	宗教と心理学の違い 一特に仏教の視点を中心として	近年、宗教と心理学が協同して、現代の人々の様々な心の悩みに応えていこうとする動きが顕著になりつつあるが、果たして宗教と心理学とは等値とみなされ得るものなのだろうか。この問いに、特に仏教の視点から迫りたい。	新田 智通 (文学部 仏教学科 講師)
9月17日(土) 13:00～14:30	京都嵯峨芸術大学	重要無形民俗文化財 「嵯峨大念佛狂言」を楽しむ	嵯峨野の古刹清凉寺に伝わる「嵯峨大念佛狂言」は壬生狂言、千本糸んま堂狂言とならび、京都の三大念佛狂言のひとつに数えられている。この講座ではその成り立ちや、面についての話をまじえながら鑑賞のポイントを解説する。	芳野 明 (芸術学部 教授)
10月15日(土) 13:00～14:30	京都精華大学	「人文学の世界 ・人は何のために生きていくのか」	人文学とは、過去の文献をひもとき、自分が生きる社会へと目を向ける学問である。そして、自分が生きるこの社会の課題を見つけ、その解決方法を模索するための学問である。混迷する現代社会における生き方・行き方について人文学部長のウズビ・サコとともに考えていきたい。	ウズビ・サコ (人文学部 教授)
11月5日(土) 13:30～17:00 ※開催日時にご注意ください。	京都橘大学	京の都から発信する。 京の都の災いの払い -そのとき、あなたは どうしますか？-	国際観光都市京都では、自然災害のみならず人為的災害の危険も多く存在する。本講座では、災害対策の専門家を講師に迎え、過去の災害を事例として取り上げながら、救命活動で起こった問題や災害対策の基本的な考え方などを紹介する。また本講座を通して、市民として災害発生時に何をすればよいか、遭遇しないためにはどうしたら良いのかについても考えていきたい。	西本 泰久 (健康科学部 救 急救命学科 教授) 他
12月17日(土) 13:00～14:30	池坊短期大学	いけばなに見る日本美 -他国にみない日本人 の美意識-	形に残ることのない「いけばな」は、人から花、花から人へ、常に時代のトレンドをその形に映しながら現代に受け継がれてきた。「いけばなに見る日本美」と題し、デモンストレーションを交えたいけばなを通して、他国にみない日本人の美意識を再認識する。	土屋 郁剛 (文化芸術学科 教授)
2月18日(土) 13:00～14:30	京都産業大学	‘重さ’を見る天文学	宇宙で最も重要な力「モノの‘重さ’=重力」が引き起こす豊かな現象と、直接測ることのできない天体の‘重さ’を、如何にして見ることから導き出すのかについて、現代天文学の多様な知見とともに解説する。	米原 厚憲 (理学部 教授)

3. 2016年度海外研修プログラム

1105 フィンランドセミナー（花園大学提供）

◆開講日程：2016年5月28日（土）～7月2日（土）

＜事前授業＞ 2016年5月28日（土）（12：40～17：50）

＜事後授業＞ 2016年7月2日（土）（12：40～16：00）

【海外研修日程】 2016年6月7日（火）～6月17日（金）



月 日	曜	発着地・滞在地	現地時間	交通機関	摘 要
6月7日	火	関西国際空港 発 ヘルシンキ 着	9:00 11:45 15:10	AY078	各自で関西国際空港に集合 空路、フィンランドへ 入国手続き後、ホテルへ [ヘルシンキ泊]
6月8日	水	ヘルシンキ	終日		マリメッコ工場・アラビア工場 ホテルへ [ヘルシンキ泊]
6月9日	木	ヘルシンキ 発 フィスカルス 着 フィスカルス 発 トゥルク 着	9:00 11:00 14:00 16:00	専用車	ヘルシンキからフィスカルスへ移動 アーティスト村フィスカルス フィスカルスからヘトゥルク移動 トゥルク城 ホテルへ [トゥルク泊]
6月10日	金	トゥルク 発 ナントリ 着 ナントリ 発 タンペレ 着	10:00 10:30 13:30 16:00	専用車	トゥルクからナントリへ移動 ムーミンワールド ナントリからヘタンペレへ移動 ムーミン谷博物館 ホテルへ [タンペレ泊]
6月11日	土	タンペレ 発 イッタラ 着 イッタラ 発 ラハティ 着	10:00 11:00 13:00 15:00		タンペレからイッタラへ移動 イッタラガラスセンター イッタラからラハティへ移動 ホテルへ 会場へ移動DESUCON 1日目 [ラハティ泊]
6月12日	日	ラハティ	終日		会場へ移動DESUCON 2日目 ホテルへ [ラハティ泊]
6月13日	月	ラハティ 発 ハメーンリンナ 着 ハメーンリンナ 発 パロラ 着 パロラ 発 ヘルシンキ 着	11:00 12:30 14:30 15:00 16:30 18:30	専用車	ラハティからハメーンリンナへ移動 ハミ城 ハメーンリンナからパロラへ移動 パロラ戦車博物館 パロラからヘルシンキへ移動 ホテルへ [ヘルシンキ泊]
6月14日	火	ヘルシンキ 発 タリン 着 タリン 発 ヘルシンキ 着	10:30 12:30 19:30 21:30	フェリー	ホテルからフェリー乗り場へ移動 世界遺産タリン歴史地区 フェリー乗り場からホテルへ移動 [ヘルシンキ泊]
6月15日	水	ヘルシンキ	終日		世界遺産スオメンリンナ [ヘルシンキ泊]
6月16日	木	ヘルシンキ 発	17:20	AY077	空港へ移動 空港到着後、出国手続き 空路、大阪へ [機内泊]
6月17日	金	関西国際空港 着	8:55		到着後、入国手続きを済ませ解散

※日程、費用は現地事情等により大幅に変更する可能性があります。

※プログラムの詳細はシラバスP.225でご確認ください。

4. eラーニング科目

eラーニング科目とは、パソコンやコンピュータネットワーク等の情報技術を用いて行う学習形態です。学習時間が自由に設定でき、受講場所の制限を受けず、授業の内容を何回も繰り返し視聴することが可能です（一部、対面授業を実施する科目があります）。

2016年度 eラーニング科目一覧

科目コード	開講大学	科目名	開講形態	受講形態
A601	京都ノートルダム女子大学	京都学：京都の食文化を知る	後期・秋学期	科目等履修生／聴講生
C601	京都ノートルダム女子大学	日本伝統文化論：雅楽はどこからきたのか	前期・春学期	科目等履修生／聴講生
C602	京都文教短期大学	文学作品をよむ 『小倉百人一首』の世界 —鑑賞と研究の違いをふまえて—	後期・秋学期	聴講生
E601	京都文教短期大学	コミュニケーション論	前期・春学期	聴講生
E602	京都文教短期大学	仏教学入門	後期・秋学期	聴講生
H602	京都学園大学	情報処理技術	前期・春学期	科目等履修生／聴講生
H605	京都産業大学	消費者取引と大学生～理論と実際の対策～	前期・春学期	科目等履修生／聴講生

出願後の受講手続き

出願後、手続きはメールにてご案内いたしますので、パソコンのメールアドレスを必ず出願票にご記入ください。

出願後の流れ

ステップ1

パスワード再発行のメールが届きます（4月上旬頃）ので、指定された期日までにパスワード変更を行い、登録手続きを行ってください。

ステップ2

科目開設大学において選考が行われ、履修可否の結果がメールアドレスに通知されます。

ステップ3

履修手続き後、e京都ラーニング <https://el.consortium.or.jp/login.php> にログインして、IDとパスワードを入力すると、授業を受講することができます。

■質問等はこちらにご連絡ください。

公益財団法人 大学コンソーシアム京都
京カレッジ担当
TEL：075-353-9140
e-mail：ekoto-info@consortium.or.jp

※注意事項

- 本システムをご利用頂くには次の環境が必要です。
- ・ Adobe Flash Player 10.0以降のプラグイン
 - ・ 最新アップデートがインストールされたWindows 7以降のシステムもしくはMac OS X 10.10以降
 - ・ Firefox 25以降、Internet Explorer 9.0以降のブラウザ
 - ・ 500Kbps以上のブロードバンド接続

幼保特例制度対応プログラム

◆『幼稚園教諭免許状や保育士資格の取得特例制度』に基づく科目の開設について

平成27年度から施行された新たな「認定こども園制度」への円滑な移行・促進のため、平成31年度末（予定）まで、幼稚園教諭免許状と保育士資格の取得要件の特例が設けられたことを受け、京カレッジ用に開設している科目です。

◆特例制度を利用できる方

①②のいずれにも該当する方です。

- ① 幼稚園教諭免許状又は保育士資格のいずれかをお持ちの方
- ② 以下の施設で幼稚園教諭又は保育士として、「3年かつ4320時間以上の勤務経験※」がある方
（※例えば、1日6時間・週5日勤務以上の場合は「3年」で満たすことができます）

- ・ 認定こども園（幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型）
- ・ 幼稚園（特別支援学校の幼稚部含む）、保育所
- ・ 「認可外指導監督基準」を満たす認可外保育施設（一部対象外）、へき地保育所
- ・ 幼稚園が設置する認可外保育施設、公立の保育施設

◆出願にあたっての注意

- ・ 本講座は特例制度の適応に該当される方のみ出願いただけます。
- ・ 受講に関しては、選考の上履修を許可することとなりますのでご了承ください。
現在、幼稚園・保育所（園）にお勤めの方は、出願票の裏面「京カレッジ志望理由書」に、施設名と所在地（住所）を含めて記入してください。
- ・ 履修許可後、各大学・短期大学における履修手続の際、所有資格証明（「幼稚園教諭免許状（写）」または「保育士証（写）」）の提出が必要です。
- ・ 科目の内容や講義日程等の詳細は、各科目のシラバス（「講義概要」）をご覧ください。科目に関する質問は科目提供大学にお問い合わせください。講義時間については募集ガイド「受講にあたって」を併せて参照してください。
- ・ 出願方法は募集ガイド「出願について」をご覧ください。
- ・ 次々ページ掲載の「『京カレッジ』幼保特例講座受講に関するQ&A」もご一読ください。

◆単位修得や手続について

<保育士が「幼稚園教諭免許状」を取得する場合>

大学（等）で以下の単位（合計8単位※）を修得し、各都道府県教育委員会における教育職員検定を経て、幼稚園教諭免許状（学士の学位を有する場合は一種、短期大学士・専門学校卒等の場合は二種）が授与されます。（通常、1種の場合は59単位、2種の場合は39単位の修得が必要）

【特例教科目】 2016年度 京カレッジ開設科目名 (開設大学・短期大学)	修得必要科目に含める必要事項	単位数
保育者論 (E501) 定員110名 (大谷大学短期大学部)	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容（研修、勤務及び身分保障等を含む。）	2 単位
教育制度論 (E502) 定員110名 (大谷大学短期大学部)	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (含：日本国憲法)	2 単位
教育課程論 (E503) 定員100名 (京都光華女子大学)	教育課程の意義及び編成の方法	1 単位
保育内容指導法 (E504) 定員110名 (京都西山短期大学)	保育内容の指導法、教育の方法及び技術	2 単位
保育臨床相談 (E505) 定員110名 (大谷大学短期大学部)	幼児理解の理論及び方法	1 単位

制度の詳細は文部科学省のホームページをご覧ください。

文部科学省ホームページ http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoin/1339596.htm

<幼稚園教諭が「保育士資格」を取得する場合>

大学等（指定保育士養成施設）で以下の単位（合計8単位）を修得し、保育士試験（試験は全科目免除）を経て、保育士資格が取得できます（通常、幼稚園教諭免許状を有する者は、34単位の修得が必要）。

【特例教科目】 2016年度 京カレッジ開設科目名 (開設大学・短期大学)	特例教科目に対応する 告示に定める教科目	単位数
福祉と養護 (E506) 定員110名 (京都西山短期大学)	社会福祉・児童家庭福祉・社会的養護	2 単位
相談支援 (E507) 定員110名 (京都ノートルダム女子大学)	家庭支援論・保育相談支援	2 単位
保健と食と栄養 (E508) 定員110名 (大谷大学短期大学部)	子どもの保健Ⅰ・子どもの食と栄養	2 単位
乳児保育 (E509) 定員 50名 (京都光華女子大学)	乳児保育	2 単位
乳児保育 (E510) 定員 50名 (京都西山短期大学)	※京都光華女子大学または京都西山短期大学いずれかの「乳児保育」を単位修得してください。（出願は一大学に限る）	

制度の詳細は厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚生労働省ホームページ http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/hoiku/tokurei.html



「京カレッジ」幼保特例講座受講に関するQ&A

＜幼稚園教諭免許状取得特例科目・保育士資格取得特例科目 共通＞

Q1. 在職期間が3年以上4320時間以上に満たない現状でも、出願は可能ですか。

A. 特例期間内に在職期間を満たす見込みがあれば、出願可能です（出願時に在職期間は問いません）。

Q2. 開講日程は全て出席しなければいけませんか。

A. 2単位の科目を修得するためには、15回（1回90分）の授業を受講（1単位の科目は8回の授業を受講）することが必要です。そのため記載している開講日程は、原則全て出席いただく必要がありますが、詳細については、各科目開設大学にお問い合わせください。

Q3. 修得済みの科目がある場合、特例科目において免除はありますか。

A. 免除になる場合があります。幼稚園免許科目の場合は各都道府県の教育委員会へ、また保育士科目の場合は、保育士試験事務センターへお問い合わせください。

一般社団法人 全国保育士養成協議会ホームページ <http://hoyokyo.or.jp/exam/>
 保育士試験事務センター Tel.0120-4194-82

Q4. 出願の時点では次年度の予定が未定、合格発表後に判明する予定であるが、その時点で受講のキャンセルは可能ですか。

A. 授業定員を超えて出願いただいた場合、書類選考の上、限られた方への受講許可となりますので、できる限り合格発表後の受講辞退は避けてください。やむを得ない事情が生じた場合は速やかに出願大学へ申し出てください。ただし、手続き完了後に受講辞退を申し出られた場合、受講料等の返還ができませんのでご了承ください。詳細については各科目開設大学にお問い合わせください。

Q5. 単位を修得するために、試験等がありますか。

A. 科目により試験の実施や評価の方法は、異なります。募集ガイド各科目の「講義概要」の「試験・評価方法」の項目をご確認ください。

Q6. 修得必要科目は1年で全て履修しなければなりませんか。単位認定されなかった場合はどうすればよいですか。

A. 特例制度適用期間内（平成31年度末まで予定）に履修してください。期間内であれば、複数年に分けて各科目の単位を修得し、資格申請をすることが可能です（一つの科目を複数年にまたいで受講することはできません）。

＜保育士資格取得特例科目＞

Q1. 現在勤めておらず、幼稚園教諭免許が休眠状態（更新講習未受講）ですが、保育士資格取得の、出願は可能ですか。

A. 特例制度の対象者（在職期間が3年以上4320時間以上を満たす者[見込み可]）であれば、出願可能です（出願時に幼稚園教諭免許の更新講習受講状況は問いません）。

Q2. 「保健と食と栄養」の保健分野（「子どもの保健」）あるいは栄養分野（「子どもの食と栄養」）の片方のみ保育士試験で合格済み、または保育士養成校で修得済みの場合、合格していない分野の講義にのみ出席したらいいですか。

A. 特例教科目「保健と食と栄養」は、法令上2つの分野をまとめて1つの科目として開講し、受講いただくこととなっています。片方の分野を修得済みであっても、全ての日程にご出席いただき、評価を得る必要があります。

Q3. 「乳児保育」は、[京都西山短期大学]と[京都光華女子大学]で、それぞれ異なる日程で開講されていますが、両方に出願することは可能ですか。

A. どちらか一方への出願に限ります。

<その他よくある質問>

Q1. 京都在住者以外でも出願できますか。

A. 京都府外在住の方でも出願いただけます。

Q2. 最終学歴証明書は何を提出すればよいですか。

A. 所属していた最も高い学歴となる大学・短期大学または高等学校の卒業を証明するものを提出してください。専門学校の証明書は該当しません。出願書類は大学によって異なりますので、募集ガイド「各大学・短期大学手続一覧」で必ず確認してください。

Q3. 出願票を数名まとめて施設（幼稚園・保育園）から提出してよいですか。

A. 出願票、提出書類の混乱がないよう、封筒には1名分の出願書類を同封してください。

Q4. 授業に関する問い合わせはどこにすればよいですか。

A. 授業の内容や成績評価の方法等は各科目の「シラバス」で確認してください。不明点がある場合は科目開設大学にお問い合わせください。

Q5. 受講にかかる費用は各科目とも共通ですか。

A. 各科目開設大学や科目ごとに異なります。選考料、受講料、登録料については募集ガイド「各大学・短期大学手続一覧」及び各科目の「シラバス」の受講料欄で確認してください。

Q6. 受講後に単位を認定する証明書が届いたが、今後どのように手続きをすればよいですか。

A. 資格取得に関する問い合わせは申請する都道府県によって異なります。なお、京都府・京都市で申請する場合は以下にお問い合わせください。

★京都府・京都市の問い合わせ先

<保育士が「幼稚園教諭免許状」を取得する場合>

京都府 教育庁 指導部 学校教育課 教員免許担当

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

Tel .075-414-5836 Fax. 075-414-5837 E-mail : gakkyou@pref.kyoto.lg.jp

<幼稚園教諭が「保育士資格」を取得する場合>

【京都府在住の方（京都市在住を除く）】

京都府 健康福祉部 子育て政策課 子育て支援担当

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

Tel .075-414-4581 Fax. 075-414-4586 E-mail : jido@pref.kyoto.lg.jp

【京都市在住の方】

京都市 保健福祉局 子育て支援部 保育課

〒604-8171 京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町 566-1 井門明治安田生命ビル 3階

Tel. 075-251-2390 Fax. 075-251-2950

◎保育士試験に関するお問い合わせは・・・

一般社団法人 全国保育士養成協議会ホームページ <http://hoyokyo.or.jp/exam/>

保育士試験事務センター Tel .0120-4194-82

※京都府・京都市以外に在住の方については、各都道府県の担当課にお問い合わせください。



みやこ 京カレッジ科目一覧 テーマ別

●科目一覧（テーマ別）の見方

科目開設大学名（開講場所とは限りません）

科目の詳細内容が記された「シラバス」の掲載ページ

2016年度 ^{みやこ}京カレッジ科目一覧（テーマ別）

※科目番号の背景がグレーのものは、オンキャンパス科目です。

テーマ	受講形態	科目番号	科目名	大学	開講形態	掲載ページ
	科・聴	A008	京都商業特別講座A	京都学園大学	前期・春学期	
	科・聴	A009	京都商業特別講座B	京都学園大学	夏期集中	
	科	A012	京都の歴史と文化遺産	京都橘大学	集中	
				花園大学	通年	
				花園大学	通年	

科目の開講時期

- 数字：001番～ …… ブラザ科目（主にキャンパスプラザ京都で開講）
- 101番～ …… オンキャンパス科目（科目開設大学で開講）
- 500番～ …… 幼保特別制度対象科目
- 601番～ …… e-learning（VOD）科目

出願のできる受講形態

科：科目等履修生（単位修得できる）
聴：聴講生（単位修得できない）
特：特別受講生（単位修得できない）

テーマ（A～Kのテーマを表す）

A	京（みやこ）を学ぶ	H	現代社会を学ぶ
B	歴史を学ぶ	I	国際関係を学ぶ
C	文化・芸術を学ぶ	J	市民教養講座
D	ことば・言語を学ぶ	K	京都力養成コース
E	教育・人生観を学ぶ		
F	生活・健康・スポーツを学ぶ		
G	自然・環境を学ぶ		

2016年度 ^{みやこ}京カレッジ科目一覧（テーマ別）

※科目番号の背景がグレーのものは、オンキャンパス科目です。

テーマ	受講形態	科目番号	科目名	大学	開講形態	掲載ページ
A. 京（みやこ）を学ぶ	科・聴	A008	京都商業特別講座A	京都学園大学	前期・春学期	53
	科・聴	A009	京都商業特別講座B	京都学園大学	夏期集中	53
	科	A012	京都の歴史と文化遺産	京都橘大学	集中	54
	科	A013	京都学 ～美術編～	花園大学	通年	55
	科	A014	京都学 ～歴史編～	花園大学	通年	55
	科・聴	A015	伝統産業工学	京都工芸繊維大学	前期・春学期	56
	科	A016	京を守る 生命を守る ～京都の水害と治水～	佛教大学	夏期集中	56
	科・聴	A017	きもの学【(一社)全日本きもの振興会寄付講座】	京都学園大学	夏期集中	57
	聴	A103	京都学Ⅱ	京都造形芸術大学	前期・春学期	57
	科・聴	A104	ホスピタリティ京都	京都ノートルダム女子大学	前期・春学期	58
	科	A105	観光まちづくり論	平安女学院大学	前期・春学期	58
	科	A108	京都の伝統産業	平安女学院大学	後期・秋学期	59
	科・聴	A109	京都学特殊講義Ⅴ「京都の美術」/L	立命館大学	後期・秋学期	60
	聴	A110	仏教と美術	大谷大学短期大学部	集中	61
	科・聴	A111	京都の文化に触れるE	同志社女子大学	集中	61
	科・聴	A601	京都学：京都の食文化を知る	京都ノートルダム女子大学	後期・秋学期	62
B. 歴史を学ぶ	科	B001	観光人類学	平安女学院大学	後期・秋学期	64
	聴	B101	日本仏教史	大谷大学	前期・春学期	64
	科・聴	B104	妖怪文化論A	京都学園大学	前期・春学期	65
	科・聴	B105	デザイン史概説	京都市立芸術大学	前期・春学期	65
	科・聴	B106	西洋美術史概説1	京都市立芸術大学	前期・春学期	66
	科・聴	B107	東洋美術史概説1（中国絵画通史1）	京都市立芸術大学	前期・春学期	66
	科・聴	B108	日本音楽史Ⅰ	京都市立芸術大学	前期・春学期	67
	科・聴	B109	日本美術史（彫刻）Ⅰ	京都市立芸術大学	前期・春学期	67
	科・聴	B110	日本美術史概説	京都市立芸術大学	前期・春学期	68
	科	B113	近現代史特講c（世界）	京都橘大学	前期・春学期	68
	科	B114	古都学Ⅰ	京都橘大学	前期・春学期	68
	科	B115	文献史料学Ⅱ	京都橘大学	前期・春学期	69
	科	B117	観光人類学	平安女学院大学	前期・春学期	69
	科・聴	B118	特殊講義（映像学）「映像文化のアーカイブ」/WM	立命館大学	前期・春学期	70
	科	B119	経済思想史	龍谷大学	前期・春学期	71
	科	B120	古文書学Ⅰ	華頂短期大学	後期・秋学期	71
	科・聴	B122	妖怪文化論B	京都学園大学	後期・秋学期	72
	科・聴	B123	西洋美術史概説2	京都市立芸術大学	後期・秋学期	73
	科・聴	B124	東洋美術史概説2（中国絵画通史2）	京都市立芸術大学	後期・秋学期	73
	科・聴	B125	日本音楽史Ⅱ	京都市立芸術大学	後期・秋学期	74
科・聴	B126	日本美術史（彫刻）Ⅱ	京都市立芸術大学	後期・秋学期	74	
科	B127	近現代史特講d（世界）	京都橘大学	後期・秋学期	75	
科	B128	建築遺産研究Ⅱ	京都橘大学	後期・秋学期	75	

テーマ	受講形態	科目番号	科目名	大学	開講形態	掲載ページ
B. 歴史を学ぶ	科	B129	考古学研究Ⅱ	京都橘大学	後期・秋学期	76
	科	B130	美術工芸史研究Ⅰ	京都橘大学	後期・秋学期	76
	科	B131	歴史遺産研究Ⅰ	京都橘大学	後期・秋学期	77
	科・聴	B132	日本年中行事論：日本の年中行事について考える	京都ノートルダム女子大学	後期・秋学期	77
	聴	B135	複合領域科目2-89（朝鮮植民地問題入門）	同志社大学	後期・秋学期	78
	科・聴	B136	イギリス文学史	同志社女子大学	後期・秋学期	79
	科	B137	旅行の歴史	平安女学院大学	後期・秋学期	79
	科・聴	B138	西洋法史 / J	立命館大学	後期・秋学期	80
	科	B139	経済学史	龍谷大学	後期・秋学期	82
C. 文化・芸術を学ぶ	科・聴	C002	浄土のかたちとそのはたらき	京都西山短期大学	前期・春学期	83
	科・聴	C003	オンライン版英国文化研究Ⅰ：サイバースペースに探る筆記用具の歴史	京都ノートルダム女子大学	前期・春学期	83
	科・聴	C004	マンダラと梵字7A	種智院大学	前期・春学期	84
	科・聴	C006	オンライン版英国文化研究Ⅱ：サイバースペースに探るザ・ビートルズ物語	京都ノートルダム女子大学	夏期集中	84
	科・聴	C007	アニメ文化論	京都学園大学	夏期集中	85
	科・聴	C008	マンダラと梵字7B	種智院大学	後期・秋学期	85
	科・聴	C010	特殊講義「ジャパン・コンテンツの悠久と先端」/WP	立命館大学	後期・秋学期	86
	科・聴	C101	いけばなと現代生活Ⅰ	池坊短期大学	前期・春学期	87
	聴	C102	南アジアの文化Ⅰ	大谷大学	前期・春学期	88
	聴	C106	音楽	京都教育大学	前期・春学期	89
	聴	C107	基本書法	京都教育大学	前期・春学期	89
	聴	C108	日本音楽・民族音楽概論	京都教育大学	前期・春学期	90
	科・聴	C109	文学	京都光華女子大学	前期・春学期	91
	科・聴	C115	音楽学特講e：ミサ曲テキストに見るプロテスタント思想	京都市立芸術大学	前期・春学期	91
	科・聴	C117	民族音楽学Ⅰb	京都市立芸術大学	前期・春学期	92
	聴	C121	情報デザイン概論Ⅱ	京都造形芸術大学	前期・春学期	92
	聴	C122	情報デザイン論Ⅱ	京都造形芸術大学	前期・春学期	93
	聴	C123	情報デザイン論Ⅰ	京都造形芸術大学	前期・春学期	94
	聴	C125	美術各論	京都造形芸術大学	前期・春学期	94
	聴	C126	美術工芸史Ⅰ	京都造形芸術大学	前期・春学期	95
	聴	C127	美術工芸史Ⅱ	京都造形芸術大学	前期・春学期	96
	聴	C128	美術工芸史Ⅲ	京都造形芸術大学	前期・春学期	96
	科	C130	アーツマネジメント論	京都橘大学	前期・春学期	97
	科	C131	東洋文化史概論	京都府立大学	前期・春学期	98
	科	C132	観光文化論	京都文教大学	前期・春学期	98
	科	C133	日本地域研究	京都文教大学	前期・春学期	99
	科・聴	C137	アメリカ文学史	同志社女子大学	前期・春学期	99
	科	C138	観光地誌	平安女学院大学	前期・春学期	100
	科	C139	地域研究（ヨーロッパ）	平安女学院大学	前期・春学期	101
	科・聴	C140	表象とメディア / L	立命館大学	前期・春学期	101
	科・聴	C141	音楽学特講d	京都市立芸術大学	夏期集中	102

テーマ	受講形態	科目番号	科目名	大学	開講形態	掲載ページ
C. 文化・芸術を学ぶ	聴	C143	情報デザイン論Ⅴ	京都造形芸術大学	夏期集中	103
	科・聴	C145	いけばなと現代生活Ⅱ	池坊短期大学	後期・秋学期	104
	聴	C150	日本音楽史	京都教育大学	後期・秋学期	105
	聴	C151	民族音楽学Ⅰ	京都教育大学	後期・秋学期	105
	科・聴	C152	ことばと文化	京都光華女子大学	後期・秋学期	106
	科・聴	C157	デザイン論	京都市立芸術大学	後期・秋学期	107
	聴	C158	音楽学実習d2：能楽の謡曲を学ぶ	京都市立芸術大学	後期・秋学期	107
	科・聴	C159	音楽学特講f：マタイ受難曲テキストに見るプロテスタント思想	京都市立芸術大学	後期・秋学期	108
	科・聴	C160	民族音楽学Ⅱb	京都市立芸術大学	後期・秋学期	108
	聴	C165	工芸各論	京都造形芸術大学	後期・秋学期	109
	聴	C166	情報デザイン概論Ⅰ	京都造形芸術大学	後期・秋学期	109
	聴	C168	美術工芸史Ⅳ	京都造形芸術大学	後期・秋学期	110
	科・聴	C171	映画論：女性映画	京都ノートルダム女子大学	後期・秋学期	110
	科	C172	アートマネジメント論	京都文教大学	後期・秋学期	111
	科・聴	C176	映像論	同志社女子大学	後期・秋学期	112
	科	C180	観光文化論	平安女学院大学	後期・秋学期	112
	科・聴	C181	和と美の日本文化	池坊短期大学	集中	113
	科・聴	C601	日本伝統文化論：雅楽はどこからきたのか	京都ノートルダム女子大学	前期・春学期	114
	聴	C602	文学作品をよむ『小倉百人一首』の世界－鑑賞と研究の違いをふまえて－	京都文教短期大学	後期・秋学期	114
D. ことば・言語を学ぶ	科	D001	Integrated Skills - 英語口と英語舌から発音力とリスニング力アップ - [高大連携]	京都外国語大学	前期・春学期	116
	科	D002	Integrated Skills (コミュニケーション編) [高大連携]	京都外国語短期大学	後期・秋学期	116
	科・聴	D007	特殊講義「クリティカル・リーディングの技法」/ ZM	立命館大学	後期・秋学期	117
	科・聴	D008	特殊講義「グローバル時代の英語スキル習得法」/ ZK	立命館大学	後期・秋学期	118
	科・聴	D009	特殊講義「日本語の技法－アカデミック・ライティングの基礎講座－」/ ZL	立命館大学	後期・秋学期	119
	科・聴	D110	TOEICⅠ	京都光華女子大学	前期・春学期	120
	科	D112	通訳研究	京都橘大学	前期・春学期	121
	科・聴	D113	アラビア語Ⅰ	京都ノートルダム女子大学	前期・春学期	121
	科・聴	D114	アラビア語Ⅲ	京都ノートルダム女子大学	前期・春学期	122
	科・聴	D115	外国語教育論Ⅰ	同志社女子大学	前期・春学期	122
	科・聴	D116	人文学特殊講義「白川学の世界」/ LE	立命館大学	前期・春学期	123
	科・聴	D124	TOEICⅡ	京都光華女子大学	後期・秋学期	124
	科・聴	D126	アラビア語Ⅱ	京都ノートルダム女子大学	後期・秋学期	125
	科・聴	D127	アラビア語Ⅳ	京都ノートルダム女子大学	後期・秋学期	126
	科・聴	D128	外国語教育論Ⅱ	同志社女子大学	後期・秋学期	126
	科	D130	会話分析入門B	龍谷大学	後期・秋学期	127

テーマ	受講形態	科目番号	科目名	大学	開講形態	掲載ページ
E. 教育・人生観を学ぶ	聴	E001	ブッダに学ぶ	大谷大学	前期・春学期	128
	科・聴	E002	真言密教入門A－真言密教の教義と歴史－	種智院大学	前期・春学期	128
	科	E003	坐禅入門Ⅰ	花園大学	前期・春学期	129
	科・聴	E005	キャリア形成特殊講義「ユースサービス概論～わかものを元気にする仕事～」/ SG	立命館大学	夏期集中	129
	科・聴	E007	特殊講義「現代人に求められるコミュニケーションスキル」/ ZC	立命館大学	夏期集中	130
	聴	E008	親鸞に学ぶ	大谷大学	後期・秋学期	131
	聴	E009	コミュニケーション論	京都文教短期大学	後期・秋学期	131
	科・聴	E010	真言密教入門B－密教瞑想の思想と実践－	種智院大学	後期・秋学期	132
	科	E011	坐禅入門Ⅱ	花園大学	後期・秋学期	132
	科	E012	自己表現	佛教大学	後期・秋学期	133
	科	E013	法然の生涯と思想 ～万民平等の救い～	佛教大学	後期・秋学期	133
	科・聴	E014	特殊講義「学習者を中心にした学び：教授学習心理学の視点から」/ ZI	立命館大学	後期・秋学期	134
	聴	E106	児童・生徒のための日本語教育論A	京都教育大学	前期・春学期	135
	科・聴	E108	社会心理学	京都光華女子大学	前期・春学期	135
	科・聴	E109	発達心理学	京都光華女子大学	前期・春学期	136
	科	E111	児童英語教育研究	京都橘大学	前期・春学期	137
	科	E112	児童英語教材研究	京都橘大学	後期・秋学期	137
	科・聴	E113	死の哲学	京都ノートルダム女子大学	前期・春学期	138
	科	E116	キリスト教の文化A	龍谷大学	前期・春学期	139
	科	E117	人間の心理と発達：人生を自己構築するために役立つ講義	龍谷大学	前期・春学期	139
	科	E118	特殊講義A1 親鸞の救済観－生きる意味の探求	龍谷大学	前期・春学期	140
	聴	E119	仏教と人間Ⅱ	大谷大学短期大学部	後期・秋学期	141
	聴	E122	児童・生徒のための日本語教育論B	京都教育大学	後期・秋学期	142
	聴	E127	日本語教育方法論	京都教育大学	後期・秋学期	143
	聴	E128	発達障害教育学概論	京都教育大学	後期・秋学期	143
	科・聴	E129	臨床心理学入門	京都光華女子大学	後期・秋学期	144
	科・聴	E133	キリスト教的死生観	京都ノートルダム女子大学	後期・秋学期	145
	科	E134	障害児（者）教育論	京都府立大学	後期・秋学期	145
	科	E138	特殊講義A2 親鸞の死生観－悲しみを希望にかえるもの	龍谷大学	後期・秋学期	146
	科	E141	人と文化 一禅一	花園大学	集中	147
	科	E501	保育者論	大谷大学短期大学部	前期・春学期	147
	科	E502	教育制度論（日本国憲法を含む）	大谷大学短期大学部	前期・春学期	148
	科	E503	教育課程論	京都光華女子大学	夏期集中	149
	科	E504	保育内容指導法	京都西山短期大学	後期・秋学期	149
	科	E505	保育臨床相談	大谷大学短期大学部	前期・春学期	150
	科	E506	福祉と養護	京都西山短期大学	夏期集中	150
	科	E507	相談支援	京都ノートルダム女子大学	夏期集中	151
	科	E508	保健と食と栄養	大谷大学短期大学部	夏期集中	152

テーマ	受講形態	科目番号	科目名	大学	開講形態	掲載ページ
E. 教育・人生観を学ぶ	科	E509	乳児保育	京都光華女子大学	夏期集中	152
	科	E510	乳児保育（京都西山短期大学）	京都西山短期大学	夏期集中	153
	聴	E601	コミュニケーション論	京都文教短期大学	前期・春学期	154
	聴	E602	仏教学入門	京都文教短期大学	後期・秋学期	154
F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	科・聴	F001	特殊講義「運動と栄養と暮らしをエネルギーから考える」／ZB	立命館大学	夏期集中	155
	科	F002	消化管のサイエンス	京都薬科大学	前期・春学期	155
	科・聴	F003	子どもの発達とヨガ遊び	京都西山短期大学	夏期集中	156
	聴	F004	生活の中の仏教	京都文教短期大学	後期・秋学期	156
	科	F005	スポーツってどんなくすり？一病気に対する運動のはたらき	京都薬科大学	後期・秋学期	157
	科	F101	社会福祉学特殊講義VI	龍谷大学短期大学部	通年	157
	科・聴	F107	婚礼文化論	京都光華女子大学	前期・春学期	158
	科・聴	F108	障害者福祉	京都光華女子大学	前期・春学期	159
	科・聴	F109	免疫学	京都産業大学	前期・春学期	159
	科	F110	医療経営入門	京都橘大学	前期・春学期	160
	科	F111	トランスパーソナル心理学	京都文教大学	前期・春学期	160
	科	F112	心理療法学	京都文教大学	前期・春学期	161
	科・聴	F113	看護学概論	同志社女子大学	前期・春学期	162
	科・聴	F114	薬の発明・発見史Ⅰ	同志社女子大学	前期・春学期	162
	科	F115	ビハーラ活動内容総論	龍谷大学短期大学部	夏期集中	163
	科	F116	高齢者・障害者の心理	龍谷大学短期大学部	夏期集中	163
	聴	F120	武道指導論	京都教育大学	後期・秋学期	164
	科・聴	F121	婚礼実務論	京都光華女子大学	後期・秋学期	165
	科	F122	臨床心理学概論	京都文教大学	後期・秋学期	165
	科・聴	F123	薬の発明・発見史Ⅱ	同志社女子大学	後期・秋学期	166
	科	F124	ビハーラ活動論	龍谷大学短期大学部	集中	166
科	F125	比較家族論	京都華頂大学	後期・秋学期	167	
G. 自然・環境を学ぶ	科・聴	G001	天文学と私たち ～神山天文台からのアプローチ～	京都産業大学	夏期集中	168
	科・聴	G003	特殊講義「科学的見方・考え方」／ZH	立命館大学	前期・春学期	168
	聴	G111	農業実習Ⅰ ー学校園で役立つ農園芸実習Ⅰー	京都教育大学	前期・春学期	169
	科・聴	G112	環境学 a	京都光華女子大学	前期・春学期	170
	科・聴	G113	環境学 b	京都光華女子大学	前期・春学期	171
	科・聴	G115	基礎遺伝学	京都産業大学	前期・春学期	171
	科・聴	G116	相対論	京都産業大学	前期・春学期	172
	聴	G117	環境デザイン概論	京都造形芸術大学	前期・春学期	172
	科	G118	京都の自然	京都府立大学	前期・春学期	173
	科・聴	G119	生命の科学1（菌類の生物学）	同志社大学	前期・春学期	174
	科	G120	環境と人間A	龍谷大学	前期・春学期	174
	科	G121	生活の中の数学	龍谷大学	前期・春学期	175
	科	G122	里山学	龍谷大学	前期・春学期	175
	科	G123	里山学	龍谷大学	前期・春学期	176

テーマ	受講形態	科目番号	科目名	大学	開講形態	掲載ページ
G. 自然・環境を学ぶ	科	G125	農学生命科学集中実習	京都府立大学	夏期集中	177
	聴	G133	農業実習Ⅱ 一学校園で役立つ農園芸実習Ⅱ一	京都教育大学	後期・秋学期	177
	科・聴	G134	地域と環境	京都光華女子大学	後期・秋学期	178
	科・聴	G137	生命の科学2(菌類の多様性)	同志社大学	後期・秋学期	178
	科	G138	びわ湖・滋賀学	龍谷大学	後期・秋学期	179
	科	G139	環境社会学Ⅰ:公害・開発から環境問題へ、そして「環境の商品化」へ	龍谷大学	後期・秋学期	180
H. 現代社会を学ぶ	科・聴	H001	若者と自殺ーいのちのリレー講座ー	京都ノートルダム女子大学	通年	181
	科・聴	H002	VB 特殊講義「関西の21世紀学」/PY	立命館大学	夏期集中	181
	科	H005	環境政策論	京都府立大学	前期・春学期	182
	科・聴	H006	特殊講義「探求・発見ゼミナール1」/ZF	立命館大学	前期・春学期	183
	科	H007	語りから未来を紡ぐ:方法論と実践	龍谷大学	前期・春学期	184
	科・聴	H008	消費者問題と現代社会	同志社大学	夏期集中	184
	科・聴	H009	VB 特殊講義「若者の選挙参加」/PZ	立命館大学	夏期集中	185
	科・聴	H011	子供のネット安全教育の理論と実践	京都ノートルダム女子大学	後期・秋学期	186
	科	H012	インターネットと人権	京都府立大学	後期・秋学期	186
	科・聴	H013	特殊講義「探求・発見ゼミナール2」/ZD	立命館大学	後期・秋学期	187
	科・聴	H105	情報社会の理解a	京都光華女子大学	前期・春学期	188
	科・聴	H106	情報社会の理解b	京都光華女子大学	前期・春学期	189
	科・聴	H107	実践ユニバーサルデザイン	京都工芸繊維大学	前期・春学期	190
	科・聴	H110	ジェンダーと法	京都産業大学	前期・春学期	190
	科・聴	H111	英米法Ⅱ	京都産業大学	前期・春学期	191
	科・聴	H112	警察学概論	京都産業大学	前期・春学期	192
	科・聴	H114	政策分析論	京都産業大学	前期・春学期	193
	科・聴	H115	地方自治未来論	京都産業大学	前期・春学期	193
	科・聴	H116	被害者学	京都産業大学	前期・春学期	194
	科・聴	H117	法社会学A	京都産業大学	前期・春学期	195
	科	H118	金融論Ⅱ	京都文教大学	前期・春学期	195
	科	H119	公共哲学	京都文教大学	前期・春学期	196
	科	H120	比較思想論	京都文教大学	前期・春学期	197
	聴	H122	企業分析1	同志社大学	前期・春学期	197
	科・聴	H124	財務諸表論	同志社大学	前期・春学期	198
	科・聴	H126	制度会計論	同志社大学	前期・春学期	199
	科・聴	H129	働くということー現代の労働組合	同志社大学	前期・春学期	199
	科・聴	H130	専門特殊講義Ⅱ「読売マスコミ講座」/SG	立命館大学	前期・春学期	200
	科・聴	H131	地方自治法/J	立命館大学	前期・春学期	202
	科・聴	H132	福祉政治/J	立命館大学	前期・春学期	203
	科	H134	ジャーナリズム論Ⅰ:マスメディアへの招待	龍谷大学	前期・春学期	204
	科	H135	メディア文化論A(ジャーナリズムの課題と可能性)	龍谷大学	前期・春学期	204
	科	H136	財政学	龍谷大学	前期・春学期	205
科	H137	地域関係論	龍谷大学	前期・春学期	206	

テーマ	受講形態	科目番号	科目名	大学	開講形態	掲載ページ
H. 現代社会を学ぶ	科	H138	特別講義「証券市場とグローバル証券ビジネス」	龍谷大学	前期・春学期	207
	科・聴	H140	空間エンタテインメント概論/W1	立命館大学	夏期集中	207
	科・聴	H150	ワーク・ライフ・バランス入門	京都産業大学	後期・秋学期	208
	科・聴	H151	環境ガバナンス論	京都産業大学	後期・秋学期	209
	科・聴	H152	警察政策論	京都産業大学	後期・秋学期	210
	科・聴	H153	国際取引法Ⅲ（英米）	京都産業大学	後期・秋学期	210
	科・聴	H155	政策規範論	京都産業大学	後期・秋学期	212
	科・聴	H157	被害者政策	京都産業大学	後期・秋学期	212
	科	H159	アパレル流行論	京都文教大学	後期・秋学期	213
	科・聴	H160	観光ビジネス論	京都文教大学	後期・秋学期	213
	科	H161	観光政策論	京都文教大学	後期・秋学期	214
	聴	H162	企業分析2	同志社大学	後期・秋学期	215
	科・聴	H165	証券ビジネス	同志社大学	後期・秋学期	216
	科	H171	まちおこし論	龍谷大学	後期・秋学期	216
	科	H172	刑事政策	龍谷大学	後期・秋学期	217
	科	H173	政治思想概論	龍谷大学	後期・秋学期	218
	科	H174	地方財政論	龍谷大学	後期・秋学期	218
	科	H175	地方自治論	龍谷大学	後期・秋学期	219
	科	H176	地方自治論	龍谷大学	後期・秋学期	220
	科	H177	特別講義「資産運用の基礎と実務」	龍谷大学	後期・秋学期	220
	科	H178	文化人類学Ⅰ：異なる文化に生まれていたら	龍谷大学	後期・秋学期	221
	科・聴	H602	情報処理技術	京都学園大学	前期・春学期	222
	科・聴	H605	消費者取引と大学生～理論と実際の対策～	京都産業大学	前期・春学期	223
I. 国際関係を学ぶ	科	I102	ヨーロッパ地域研究	京都文教大学	前期・春学期	224
	科・聴	I104	アメリカ地域研究A	同志社女子大学	前期・春学期	224
	科	I105	フィンランドセミナー	花園大学	前期・春学期	225
	科・聴	I106	IR-DS103 Introduction to Peace Studies (RA)	立命館大学	前期・春学期	225
	科・聴	I107	IR-EBR202 環境経済論Ⅰ/R	立命館大学	前期・春学期	226
	科・聴	I108	IR-ECR202 民族文化誌/R	立命館大学	前期・春学期	228
	科・聴	I109	IR-ECR203 国際ジャーナリズム論/R	立命館大学	前期・春学期	229
	科	I110	ヨーロッパ政治論	龍谷大学	前期・春学期	230
	科	I111	中国経済論—成熟大国への軟着陸をめざして	龍谷大学	前期・春学期	230
	科	I112	国際協力論	京都文教大学	後期・秋学期	231
	科・聴	I113	国際ビジネス	同志社大学	後期・秋学期	232
	科・聴	I115	アメリカ地域研究B	同志社女子大学	後期・秋学期	232
	科	I118	国際協力論	龍谷大学	後期・秋学期	233
J. 市民教養講座	特	J001	京都橘大学 看護異文化交流・社会連携推進センターリカレント学習講座「高めよう実践力！PART3 療養生活を支える切れ目のない看護の実現—病院から地域への継続看護—」	京都橘大学	通年	237
	特	J002	京都橘大学女性歴史文化研究所シンポジウム「近代ヨーロッパ社会における身体表現と身体ケア—食とファッションを中心に—」	京都橘大学	前期・春学期	237
	特	J003	京都橘大学文学部 歴史文化ゼミナール2016「京都・人とモノの再発見」	京都橘大学	前期・春学期	238

テーマ	受講形態	科目番号	科目名	大学	開講形態	掲載ページ
J. 市民教養講座	特	J004	京都橘大学文学部歴史遺産学科公開ワークショップ「大英博物館所蔵ゴーランド・コレクション調査プロジェクト（京都編）」	京都橘大学	前期・春学期	238
	特	J005	ビジネス中国語講座（中級）	立命館大学	前期・春学期	239
	特	J006	新 HSK 対策講座（5級）	立命館大学	前期・春学期	239
	特	J007	中国語会話（上級）	立命館大学	前期・春学期	240
	特	J008	中国語講座準上級	立命館大学	前期・春学期	240
	特	J009	中国語講座準中級Ⅰ	立命館大学	前期・春学期	241
	特	J010	中国語講座準中級Ⅱ	立命館大学	前期・春学期	241
	特	J011	中国語講座初級Ⅰ	立命館大学	前期・春学期	242
	特	J012	中国語講座初級Ⅱ	立命館大学	前期・春学期	242
	特	J013	中国語講座中級	立命館大学	前期・春学期	243
	特	J014	中国語講座入門	立命館大学	前期・春学期	243
	特	J016	京都橘大学現代ビジネス学部 経営デザインフォーラム「観光ビジネスとそれを支える情報システム」	京都橘大学	後期・秋学期	244
	特	J017	ビジネス中国語講座（中級）	立命館大学	後期・秋学期	244
	特	J018	新 HSK 対策講座（5級）	立命館大学	後期・秋学期	244
	特	J019	中国語会話（上級）	立命館大学	後期・秋学期	245
	特	J020	中国語講座準上級	立命館大学	後期・秋学期	245
	特	J021	中国語講座準中級Ⅰ	立命館大学	後期・秋学期	246
	特	J022	中国語講座準中級Ⅱ	立命館大学	後期・秋学期	246
	特	J023	中国語講座初級Ⅰ	立命館大学	後期・秋学期	247
	特	J024	中国語講座初級Ⅱ	立命館大学	後期・秋学期	247
	特	J025	中国語講座中級	立命館大学	後期・秋学期	248
	特	J026	中国語講座入門	立命館大学	後期・秋学期	248
	特	J101	宅地建物取引士資格試験対策講座	京都学園大学	通年	249
	特	J102	楽しい塑造教室－頭像とテラコッタ造り－	京都教育大学	前期・春学期	249
	特	J103	基礎から学ぶ地球科学	京都教育大学	前期・春学期	249
	特	J104	むすびわざ講座 教養コース① 『日本書紀』区分論と記事の虚実（付録：復元音で読む記紀万葉）	京都産業大学	前期・春学期	250
	特	J105	むすびわざ講座 教養コース② 「家族をめぐる法的諸問題」	京都産業大学	前期・春学期	250
	特	J106	むすびわざ講座 公開コース① 「地球規模で広がっている鳥インフルエンザの被害－ヒトへの脅威は増しているか？－」	京都産業大学	前期・春学期	251
	特	J107	でんおん連続講座 A 能の囃子・音曲の骨組みを理解する	京都市立芸術大学	前期・春学期	251
	特	J108	でんおん連続講座 B 音楽としての義太夫節	京都市立芸術大学	前期・春学期	252
	特	J109	講座日本芸能史Ⅰ	京都造形芸術大学	前期・春学期	252
	特	J110	オペラの魅力 バロック～古典派、古典派～ロマン派、ロマン派～近代	京都教育大学	後期・秋学期	253
	特	J112	むすびわざ講座 教養コース④ 「超高齢化時代の社会保障」	京都産業大学	後期・秋学期	253
特	J113	むすびわざ講座 公開コース② 「北山殿の成り立ちと変遷」	京都産業大学	後期・秋学期	254	
特	J114	講座日本芸能史Ⅱ	京都造形芸術大学	後期・秋学期	254	

テーマ	受講形態	科目番号	科目名	大学	開講形態	掲載ページ
K. 京都力養成コース	特	K001	京都学講座「京の文化遺産～未来につなぐ日本のたからもの」	大学コンソーシアム京都	通年	256
	特	K002	「表現力」を磨いて京都から新たな文化発信を③ 詩×俳句×Lyric Festa実験計画ー	平安女学院大学	通年	256
	特	K003	日本酒の心美体 ～伏見酒と和食の力の未来図～	放送大学（京都学習センター）	後期・秋学期	257
	特	K101	京都・博物館都市のまちづくり～まちなかミュージアム学芸員育成～	京都外国語大学	通年	257
	特	K102	大学が育んだ京都ー京都・大学ミュージアム連携発の「京都力」	京都・大学ミュージアム連携	通年	258
	特	K103	京都東山の寺社と権力・民衆ー多様な資料と手法によるアプローチー	京都産業大学	前期・春学期	258
	特	K104	祇園祭の深遠を学び、鉾町を探索する	龍谷大学	前期・春学期	259
	特	K105	東本願寺を知り尽くす	大谷大学	集中	259



みやこ 京カレッジ科目一覧

大学・機関別

●科目一覧（大学・機関別）の見方

科目の詳細内容が記された「シラバス」の掲載ページ

2016年度 みやこ 京カレッジ科目一覧（大学・機関別）

科目の開講時期

大 学	受講形態	テーマ	科目番号	科 目 名	開講形態	掲 載 ペー ジ
池坊短期大学	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C101	いけばなと現代生活Ⅰ	前期・春学期	
	科●聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C145	いけばなと現代生活Ⅱ	後期・秋学期	
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C181	和と美の日本文化	集中	
			1101	日本仏教史	前期・春学期	
					前期・春学期	

- 数字：001番～ …… プラザ科目（主にキャンパスプラザ京都で開講）
- 101番～ …… オンキャンパス科目（科目開設大学で開講）
- 500番～ …… 幼保特別制度対象科目
- 601番～ …… e-learning（VOD）科目

科目開設大学名
（開講場所とは限りません）

- 出願のできる受講形態
- 科：科目等履修生（単位修得できる）
 - 聴：聴講生（単位修得できない）
 - 特：特別受講生（単位修得できない）

● テーマ（A～Kのテーマを表す）

A	京（みやこ）を学ぶ	H	現代社会を学ぶ
B	歴史を学ぶ	I	国際関係を学ぶ
C	文化・芸術を学ぶ	J	市民教養講座
D	ことば・言語を学ぶ	K	京都力養成コース
E	教育・人生観を学ぶ		
F	生活・健康・スポーツを学ぶ		
G	自然・環境を学ぶ		

2016年度 ^{みやこ}京カレッジ科目一覧 (大学・機関別)

大 学	受講形態	テーマ	科目番号	科 目 名	開講形態	掲 載 ページ
池坊短期大学	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C101	いけばなと現代生活Ⅰ	前期・春学期	87
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C145	いけばなと現代生活Ⅱ	後期・秋学期	104
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C181	和と美の日本文化	集中	113
大谷大学	聴	B. 歴史を学ぶ	B101	日本仏教史	前期・春学期	64
	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C102	南アジアの文化Ⅰ	前期・春学期	88
	聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E001	ブツダに学ぶ	前期・春学期	128
	聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E008	親鸞に学ぶ	後期・秋学期	131
	特	K. 京都力養成コース	K105	東本願寺を知り尽くす	集中	259
大谷大学短期大学部	聴	A. 京(みやこ)を学ぶ	A110	仏教と美術	集中	61
	科	E. 教育・人生観を学ぶ	E501	保育者論	前期・春学期	147
	科	E. 教育・人生観を学ぶ	E502	教育制度論(日本国憲法を含む)	前期・春学期	148
	科	E. 教育・人生観を学ぶ	E505	保育臨床相談	前期・春学期	150
	科	E. 教育・人生観を学ぶ	E508	保健と食と栄養	夏期集中	152
	聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E119	仏教と人間Ⅱ	後期・秋学期	141
華頂短期大学	科	B. 歴史を学ぶ	B120	古文書学Ⅰ	後期・秋学期	71
京都外国語大学	科	D. ことば・言語を学ぶ	D001	Integrated Skills - 英語口と英語舌から発音力とリスニング力アップ - [高大連携]	前期・春学期	116
	特	K. 京都力養成コース	K101	京都・博物館都市のまちづくり～まちなかミュージアム学芸員育成～	通年	257
京都外国語短期大学	科	D. ことば・言語を学ぶ	D002	Integrated Skills (コミュニケーション編)[高大連携]	後期・秋学期	116
京都学園大学	科・聴	A. 京(みやこ)を学ぶ	A008	京都商業特別講座A	前期・春学期	53
	科・聴	A. 京(みやこ)を学ぶ	A009	京都商業特別講座B	夏期集中	53
	科・聴	A. 京(みやこ)を学ぶ	A017	きもの学【(一社)全日本きもの振興会寄付講座】	夏期集中	57
	科・聴	B. 歴史を学ぶ	B104	妖怪文化論A	前期・春学期	65
	科・聴	B. 歴史を学ぶ	B122	妖怪文化論B	後期・秋学期	72
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C007	アニメ文化論	夏期集中	85
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H602	情報処理技術	前期・春学期	222
京都教育大学	特	J. 市民教養講座	J101	宅地建物取引士資格試験対策講座	通年	249
	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C106	音楽	前期・春学期	89
	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C107	基本書法	前期・春学期	89
	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C108	日本音楽・民族音楽概論	前期・春学期	90
	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C150	日本音楽史	後期・秋学期	105
	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C151	民族音楽学Ⅰ	後期・秋学期	105
	聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E106	児童・生徒のための日本語教育論A	前期・春学期	135
	聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E122	児童・生徒のための日本語教育論B	後期・秋学期	142
	聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E127	日本語教育方法論	後期・秋学期	143
	聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E128	発達障害教育学概論	後期・秋学期	143
	聴	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F120	武道指導論	後期・秋学期	164
	聴	G. 自然・環境を学ぶ	G111	農業実習Ⅰ ー 学校園で役立つ農園芸実習Ⅰ ー	前期・春学期	169
	聴	G. 自然・環境を学ぶ	G133	農業実習Ⅱ ー 学校園で役立つ農園芸実習Ⅱ ー	後期・秋学期	177

大 学	受講形態	テーマ	科目番号	科 目 名	開講形態	掲 載 ページ
京都教育大学	特	J. 市民教養講座	J102	楽しい塑造教室－頭像とテラコッタ造り－	前期・春学期	249
	特	J. 市民教養講座	J103	基礎から学ぶ地球科学	前期・春学期	249
	特	J. 市民教養講座	J110	オペラの魅力 パロック～古典派、古典派～ ロマン派、ロマン派～近代	後期・秋学期	253
京都光華女子大学	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C109	文学	前期・春学期	91
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C152	ことばと文化	後期・秋学期	106
	科・聴	D. ことば・言語を学ぶ	D110	TOEIC I	前期・春学期	120
	科・聴	D. ことば・言語を学ぶ	D124	TOEIC II	後期・秋学期	124
	科・聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E108	社会心理学	前期・春学期	135
	科・聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E109	発達心理学	前期・春学期	136
	科・聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E129	臨床心理学入門	後期・秋学期	144
	科	E. 教育・人生観を学ぶ	E503	教育課程論	夏期集中	149
	科	E. 教育・人生観を学ぶ	E509	乳児保育	夏期集中	152
	科・聴	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F107	婚礼文化論	前期・春学期	158
	科・聴	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F108	障害者福祉	前期・春学期	159
	科・聴	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F121	婚礼実務論	後期・秋学期	165
	科・聴	G. 自然・環境を学ぶ	G112	環境学 a	前期・春学期	170
	科・聴	G. 自然・環境を学ぶ	G113	環境学 b	前期・春学期	171
	科・聴	G. 自然・環境を学ぶ	G134	地域と環境	後期・秋学期	178
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H105	情報社会の理解 a	前期・春学期	188
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H106	情報社会の理解 b	前期・春学期	189
京都工芸繊維大学	科・聴	A. 京（みやこ）を学ぶ	A015	伝統産業工学	前期・春学期	56
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H107	実践ユニバーサルデザイン	前期・春学期	190
京都産業大学	科・聴	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F109	免疫学	前期・春学期	159
	科・聴	G. 自然・環境を学ぶ	G001	天文学と私たち ～神山天文台からのアプローチ～	夏期集中	168
	科・聴	G. 自然・環境を学ぶ	G115	基礎遺伝学	前期・春学期	171
	科・聴	G. 自然・環境を学ぶ	G116	相対論	前期・春学期	172
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H110	ジェンダーと法	前期・春学期	190
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H111	英米法Ⅱ	前期・春学期	191
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H112	警察学概論	前期・春学期	192
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H114	政策分析論	前期・春学期	193
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H115	地方自治未来論	前期・春学期	193
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H116	被害者学	前期・春学期	194
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H117	法社会学A	前期・春学期	195
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H150	ワーク・ライフ・バランス入門	後期・秋学期	208
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H151	環境ガバナンス論	後期・秋学期	209
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H152	警察政策論	後期・秋学期	210
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H153	国際取引法Ⅲ（英米）	後期・秋学期	210
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H155	政策規範論	後期・秋学期	212
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H157	被害者政策	後期・秋学期	212
科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H605	消費者取引と大学生～理論と実際の対策～	前期・春学期	223	

大 学	受講形態	テーマ	科目番号	科 目 名	開講形態	掲 載 ページ
京都産業大学	特	J. 市民教養講座	J104	むすびわざ講座 教養コース① 『日本書紀』区分論と記事の虚実（付録：復元音で読む記紀万葉）	前期・春学期	250
	特	J. 市民教養講座	J105	むすびわざ講座 教養コース② 「家族をめぐる法的諸問題」	前期・春学期	250
	特	J. 市民教養講座	J106	むすびわざ講座 公開コース① 「地球規模で広がっている鳥インフルエンザの被害 - ヒトへの脅威は増しているか? -」	前期・春学期	251
	特	J. 市民教養講座	J112	むすびわざ講座 教養コース④ 「超高齢化時代の社会保障」	後期・秋学期	253
	特	J. 市民教養講座	J113	むすびわざ講座 公開コース② 「北山殿の成り立ちと変遷」	後期・秋学期	254
	特	K. 京都力養成コース	K103	京都東山の寺社と権力・民衆－多様な資料と手法によるアプローチ	前期・春学期	258
京都市立芸術大学	科・聴	B. 歴史を学ぶ	B105	デザイン史概説	前期・春学期	65
	科・聴	B. 歴史を学ぶ	B106	西洋美術史概説 1	前期・春学期	66
	科・聴	B. 歴史を学ぶ	B107	東洋美術史概説 1（中国絵画通史 1）	前期・春学期	66
	科・聴	B. 歴史を学ぶ	B108	日本音楽史 I	前期・春学期	67
	科・聴	B. 歴史を学ぶ	B109	日本美術史（彫刻） 1	前期・春学期	67
	科・聴	B. 歴史を学ぶ	B110	日本美術史概説	前期・春学期	68
	科・聴	B. 歴史を学ぶ	B123	西洋美術史概説 2	後期・秋学期	73
	科・聴	B. 歴史を学ぶ	B124	東洋美術史概説 2（中国絵画通史 2）	後期・秋学期	73
	科・聴	B. 歴史を学ぶ	B125	日本音楽史 II	後期・秋学期	74
	科・聴	B. 歴史を学ぶ	B126	日本美術史（彫刻） 2	後期・秋学期	74
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C115	音楽学特講 e：ミサ曲テキストに見るプロテスタント思想	前期・春学期	91
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C117	民族音楽学 I b	前期・春学期	92
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C141	音楽学特講 d	夏期集中	102
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C157	デザイン論	後期・秋学期	107
	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C158	音楽学実習 d 2：能楽の謡曲を学ぶ	後期・秋学期	107
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C159	音楽学特講 f：マタイ受難曲テキストに見るプロテスタント思想	後期・秋学期	108
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C160	民族音楽学 II b	後期・秋学期	108
	特	J. 市民教養講座	J107	でんおん連続講座 A 能の囃子・音曲の骨組みを理解する	前期・春学期	251
特	J. 市民教養講座	J108	でんおん連続講座 B 音楽としての義太夫節	前期・春学期	252	
京都西山短期大学	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C002	浄土のかたちとそのはたらき	前期・春学期	83
	科	E. 教育・人生観を学ぶ	E504	保育内容指導法	後期・秋学期	149
	科	E. 教育・人生観を学ぶ	E506	福祉と養護	夏期集中	150
	科	E. 教育・人生観を学ぶ	E510	乳児保育（京都西山短期大学）	夏期集中	153
	科・聴	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F003	子どもの発達とヨーガ遊び	夏期集中	156

大 学	受講形態	テーマ	科目番号	科 目 名	開講形態	掲 載 ページ
京都造形芸術大学	聴	A. 京（みやこ）を学ぶ	A103	京都学Ⅱ	前期・春学期	57
	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C121	情報デザイン概論Ⅱ	前期・春学期	92
	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C122	情報デザイン論Ⅱ	前期・春学期	93
	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C123	情報デザイン論ⅩⅠ	前期・春学期	94
	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C125	美術各論	前期・春学期	94
	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C126	美術工芸史Ⅰ	前期・春学期	95
	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C127	美術工芸史Ⅱ	前期・春学期	96
	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C128	美術工芸史Ⅲ	前期・春学期	96
	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C143	情報デザイン論Ⅴ	夏期集中	103
	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C165	工芸各論	後期・秋学期	109
	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C166	情報デザイン概論Ⅰ	後期・秋学期	109
	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C168	美術工芸史Ⅳ	後期・秋学期	110
	聴	G. 自然・環境を学ぶ	G117	環境デザイン概論	前期・春学期	172
	特	J. 市民教養講座	J109	講座日本芸能史Ⅰ	前期・春学期	252
	特	J. 市民教養講座	J114	講座日本芸能史Ⅱ	後期・秋学期	254
京都橘大学	科	A. 京（みやこ）を学ぶ	A012	京都の歴史と文化遺産	集中	54
	科	B. 歴史を学ぶ	B113	近現代史特講c（世界）	前期・春学期	68
	科	B. 歴史を学ぶ	B114	古都学Ⅰ	前期・春学期	68
	科	B. 歴史を学ぶ	B115	文献史料学Ⅱ	前期・春学期	69
	科	B. 歴史を学ぶ	B127	近現代史特講d（世界）	後期・秋学期	75
	科	B. 歴史を学ぶ	B128	建築遺産研究Ⅱ	後期・秋学期	75
	科	B. 歴史を学ぶ	B129	考古学研究Ⅱ	後期・秋学期	76
	科	B. 歴史を学ぶ	B130	美術工芸史研究Ⅰ	後期・秋学期	76
	科	B. 歴史を学ぶ	B131	歴史遺産研究Ⅰ	後期・秋学期	77
	科	C. 文化・芸術を学ぶ	C130	アーツマネジメント論	前期・春学期	97
	科	D. ことば・言語を学ぶ	D112	通訳研究	前期・春学期	121
	科	E. 教育・人生観を学ぶ	E111	児童英語教育研究	前期・春学期	137
	科	E. 教育・人生観を学ぶ	E112	児童英語教材研究	後期・秋学期	137
	科	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F110	医療経営入門	前期・春学期	160
	特	J. 市民教養講座	J001	京都橘大学 看護異文化交流・社会連携推進センターリカレント学習講座「高めよう実践力！PART3 療養生活を支える切れ目のない看護の実現ー病院から地域への継続看護ー」	通年	237
	特	J. 市民教養講座	J002	京都橘大学女性歴史文化研究所シンポジウム「近代ヨーロッパ社会における身体表現と身体ケアー食とファッションを中心にー」	前期・春学期	237
	特	J. 市民教養講座	J003	京都橘大学文学部 歴史文化ゼミナール2016「京都・人とモノの再発見」	前期・春学期	238
	特	J. 市民教養講座	J004	京都橘大学文学部歴史遺産学科公開ワークショップ「大英博物館所蔵ゴーランド・コレクション調査プロジェクト（京都編）」	前期・春学期	238
	特	J. 市民教養講座	J016	京都橘大学現代ビジネス学部 経営デザインフォーラム「観光ビジネスとそれを支える情報システム」	後期・秋学期	244

大 学	受講形態	テーマ	科目番号	科 目 名	開講形態	掲 載 ページ
京都ノートルダム女子大学	科・聴	A. 京（みやこ）を学ぶ	A104	ホスピタリティ京都	前期・春学期	58
	科・聴	A. 京（みやこ）を学ぶ	A601	京都学：京都の食文化を知る	後期・秋学期	62
	科・聴	B. 歴史を学ぶ	B132	日本年中行事論：日本の年中行事について考える	後期・秋学期	77
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C003	オンライン版英国文化研究Ⅰ：サイバースペースに探る筆記用具の歴史	前期・春学期	83
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C006	オンライン版英国文化研究Ⅱ：サイバースペースに探るザ・ビートルズ物語	夏期集中	84
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C171	映画論：女性映画	後期・秋学期	110
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C601	日本伝統文化論：雅楽はどこからきたのか	前期・春学期	114
	科・聴	D. ことば・言語を学ぶ	D113	アラビア語Ⅰ	前期・春学期	121
	科・聴	D. ことば・言語を学ぶ	D114	アラビア語Ⅲ	前期・春学期	122
	科・聴	D. ことば・言語を学ぶ	D126	アラビア語Ⅱ	後期・秋学期	125
	科・聴	D. ことば・言語を学ぶ	D127	アラビア語Ⅳ	後期・秋学期	126
	科・聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E113	死の哲学	前期・春学期	138
	科・聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E133	キリスト教的死生観	後期・秋学期	145
	科	E. 教育・人生観を学ぶ	E507	相談支援	夏期集中	151
	京都府立大学	科	C. 文化・芸術を学ぶ	C131	東洋文化史概論	前期・春学期
科		E. 教育・人生観を学ぶ	E134	障害児（者）教育論	後期・秋学期	145
科		G. 自然・環境を学ぶ	G118	京都の自然	前期・春学期	173
科		G. 自然・環境を学ぶ	G125	農学生命科学集中実習	夏期集中	177
科		H. 現代社会を学ぶ	H005	環境政策論	前期・春学期	182
科		H. 現代社会を学ぶ	H012	インターネットと人権	後期・秋学期	186
京都文教大学	科	C. 文化・芸術を学ぶ	C132	観光文化論	前期・春学期	98
	科	C. 文化・芸術を学ぶ	C133	日本地域研究	前期・春学期	99
	科	C. 文化・芸術を学ぶ	C172	アートマネジメント論	後期・秋学期	111
	科	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F111	トランスパーソナル心理学	前期・春学期	160
	科	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F112	心理療法学	前期・春学期	161
	科	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F122	臨床心理学概論	後期・秋学期	165
	科	H. 現代社会を学ぶ	H118	金融論Ⅱ	前期・春学期	195
	科	H. 現代社会を学ぶ	H119	公共哲学	前期・春学期	196
	科	H. 現代社会を学ぶ	H120	比較思想論	前期・春学期	197
	科	H. 現代社会を学ぶ	H159	アパレル流行論	後期・秋学期	213
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H160	観光ビジネス論	後期・秋学期	213
	科	H. 現代社会を学ぶ	H161	観光政策論	後期・秋学期	214
	科	I. 国際関係を学ぶ	I102	ヨーロッパ地域研究	前期・春学期	224
科	I. 国際関係を学ぶ	I112	国際協力論	後期・秋学期	231	

大 学	受講形態	テーマ	科目番号	科 目 名	開講形態	掲 載 ページ
京都文教短期大学	聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C602	文学作品をよむ 『小倉百人一首』の世界 ―鑑賞と研究の違いをふまえて―	後期・秋学期	114
	聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E009	コミュニケーション論	後期・秋学期	131
	聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E601	コミュニケーション論	前期・春学期	154
	聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E602	仏教学入門	後期・秋学期	154
	聴	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F004	生活の中の仏教	後期・秋学期	156
京都薬科大学	科	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F002	消化管のサイエンス	前期・春学期	155
	科	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F005	スポーツってどんなくすり？―病気に対する運動のはたらき―	後期・秋学期	157
種智院大学	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C004	マンダラと梵字 7 A	前期・春学期	84
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C008	マンダラと梵字 7 B	後期・秋学期	85
	科・聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E002	真言密教入門A―真言密教の教義と歴史―	前期・春学期	128
	科・聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E010	真言密教入門B―密教瞑想の思想と実践―	後期・秋学期	132
同志社大学	聴	B. 歴史を学ぶ	B135	複合領域科目 2-89 (朝鮮植民地問題入門)	後期・秋学期	78
	科・聴	G. 自然・環境を学ぶ	G119	生命の科学1 (菌類の生物学)	前期・春学期	174
	科・聴	G. 自然・環境を学ぶ	G137	生命の科学2 (菌類の多様性)	後期・秋学期	178
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H008	消費者問題と現代社会	夏期集中	184
	聴	H. 現代社会を学ぶ	H122	企業分析1	前期・春学期	197
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H124	財務諸表論	前期・春学期	198
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H126	制度会計論	前期・春学期	199
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H129	働くということ―現代の労働組合	前期・春学期	199
	聴	H. 現代社会を学ぶ	H162	企業分析2	後期・秋学期	215
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H165	証券ビジネス	後期・秋学期	216
	科・聴	I. 国際関係を学ぶ	I113	国際ビジネス	後期・秋学期	232
同志社女子大学	科・聴	A. 京(みやこ)を学ぶ	A111	京都の文化に触れるE	集中	61
	科・聴	B. 歴史を学ぶ	B136	イギリス文学史	後期・秋学期	79
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C137	アメリカ文学史	前期・春学期	99
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C176	映像論	後期・秋学期	112
	科・聴	D. ことば・言語を学ぶ	D115	外国語教育論Ⅰ	前期・春学期	122
	科・聴	D. ことば・言語を学ぶ	D128	外国語教育論Ⅱ	後期・秋学期	126
	科・聴	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F113	看護学概論	前期・春学期	162
	科・聴	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F114	薬の発明・発見史Ⅰ	前期・春学期	162
	科・聴	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F123	薬の発明・発見史Ⅱ	後期・秋学期	166
	科・聴	I. 国際関係を学ぶ	I104	アメリカ地域研究A	前期・春学期	224
	科・聴	I. 国際関係を学ぶ	I115	アメリカ地域研究B	後期・秋学期	232
花園大学	科	A. 京(みやこ)を学ぶ	A013	京都学 ～美術編～	通年	55
	科	A. 京(みやこ)を学ぶ	A014	京都学 ～歴史編～	通年	55
	科	E. 教育・人生観を学ぶ	E003	坐禅入門Ⅰ	前期・春学期	129
	科	E. 教育・人生観を学ぶ	E011	坐禅入門Ⅱ	後期・秋学期	132
	科	E. 教育・人生観を学ぶ	E141	人と文化 ―禅―	集中	147
	科	I. 国際関係を学ぶ	I105	フィンランドセミナー	前期・春学期	225

大 学	受講形態	テーマ	科目番号	科 目 名	開講形態	掲 載 ページ
佛教大学	科	A. 京（みやこ）を学ぶ	A016	京を守る 生命を守る ～京都の水害と治水～	夏期集中	56
	科	E. 教育・人生観を学ぶ	E012	自己表現	後期・秋学期	133
	科	E. 教育・人生観を学ぶ	E013	法然の生涯と思想 ～万民平等の救い～	後期・秋学期	133
平安女学院大学	科	A. 京（みやこ）を学ぶ	A105	観光まちづくり論	前期・春学期	58
	科	A. 京（みやこ）を学ぶ	A108	京都の伝統産業	後期・秋学期	59
	科	B. 歴史を学ぶ	B001	観光人類学	後期・秋学期	64
	科	B. 歴史を学ぶ	B117	観光人類学	前期・春学期	69
	科	B. 歴史を学ぶ	B137	旅行の歴史	後期・秋学期	79
	科	C. 文化・芸術を学ぶ	C138	観光地誌	前期・春学期	100
	科	C. 文化・芸術を学ぶ	C139	地域研究（ヨーロッパ）	前期・春学期	101
	科	C. 文化・芸術を学ぶ	C180	観光文化論	後期・秋学期	112
	特	K. 京都力養成コース	K002	「表現力」を磨いて京都から新たな文化発信を③ 詩×俳句×Lyric Festa実験計画ー	通年	256
立命館大学	科・聴	A. 京（みやこ）を学ぶ	A109	京都学特殊講義V「京都の美術」／L	後期・秋学期	60
	科・聴	B. 歴史を学ぶ	B118	特殊講義（映像学）「映像文化のアーカイブ」／ GE	前期・春学期	70
	科・聴	B. 歴史を学ぶ	B138	西洋法史／J	後期・秋学期	80
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C010	特殊講義「ジャパン・コンテンツの悠久と先端」・WP	後期・秋学期	86
	科・聴	C. 文化・芸術を学ぶ	C140	表象とメディア／L	前期・春学期	101
	科・聴	D. ことば・言語を学ぶ	D007	特殊講義「クリティカル・リーディングの技法」 ／ZM	後期・秋学期	117
	科・聴	D. ことば・言語を学ぶ	D008	特殊講義「グローバル時代の英語スキル習得 法」／ZK	後期・秋学期	118
	科・聴	D. ことば・言語を学ぶ	D009	特殊講義「日本語の技法ーアカデミック・ラ イティングの基礎講座ー」／ZL	後期・秋学期	119
	科・聴	D. ことば・言語を学ぶ	D116	人文学特殊講義「白川学の世界」／LE	前期・春学期	123
	科・聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E005	キャリア形成特殊講義「ユースサービス概論 ～わかものを元気にする仕事～」／SG	夏期集中	129
	科・聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E007	特殊講義「現代人に求められるコミュニケー ションスキル」／ZC	夏期集中	130
	科・聴	E. 教育・人生観を学ぶ	E014	特殊講義「学習者を中心にした学び：教授学 習心理学の視点から」／ZI	後期・秋学期	134
	科・聴	F. 生活・健康・スポ ーツを学ぶ	F001	特殊講義「運動と栄養と暮らしをエネルギー から考える」／ZB	夏期集中	155
	科・聴	G. 自然・環境を学ぶ	G003	特殊講義「科学的見方・考え方」／ZH	前期・春学期	168
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H002	VB 特殊講義「関西の21世紀学」／PY	夏期集中	181
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H006	特殊講義「探求・発見ゼミナール1」／ZF	前期・春学期	183
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H009	VB 特殊講義「若者の選挙参加」／PZ	夏期集中	185
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H013	特殊講義「探求・発見ゼミナール2」／ZD	後期・秋学期	187
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H130	専門特殊講義Ⅱ「読売マスコミ講座」／SG	前期・春学期	200
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H131	地方自治法／J	前期・春学期	202
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H132	福祉政治／J	前期・春学期	203
	科・聴	H. 現代社会を学ぶ	H140	空間エンタテインメント概論／W1	夏期集中	207
	科・聴	I. 国際関係を学ぶ	I106	IR-DS103 Introduction to Peace Studies ／RA	前期・春学期	225
	科・聴	I. 国際関係を学ぶ	I107	IR-EBR202 環境経済論Ⅰ／R	前期・春学期	226

大 学	受講形態	テーマ	科目番号	科 目 名	開講形態	掲 載 ページ	
立命館大学	科・聴	I. 国際関係を学ぶ	I108	IR-ECR202 民族文化誌／R	前期・春学期	228	
	科・聴	I. 国際関係を学ぶ	I109	IR-ECR203 国際ジャーナリズム論／R	前期・春学期	229	
	特	J. 市民教養講座	J005	ビジネス中国語講座（中級）	前期・春学期	239	
	特	J. 市民教養講座	J006	新 HSK 対策講座（5 級）	前期・春学期	239	
	特	J. 市民教養講座	J007	中国語会話（上級）	前期・春学期	240	
	特	J. 市民教養講座	J008	中国語講座準上級	前期・春学期	240	
	特	J. 市民教養講座	J009	中国語講座準中級Ⅰ	前期・春学期	241	
	特	J. 市民教養講座	J010	中国語講座準中級Ⅱ	前期・春学期	241	
	特	J. 市民教養講座	J011	中国語講座初級Ⅰ	前期・春学期	242	
	特	J. 市民教養講座	J012	中国語講座初級Ⅱ	前期・春学期	242	
	特	J. 市民教養講座	J013	中国語講座中級	前期・春学期	243	
	特	J. 市民教養講座	J014	中国語講座入門	前期・春学期	243	
	特	J. 市民教養講座	J017	ビジネス中国語講座（中級）	後期・秋学期	244	
	特	J. 市民教養講座	J018	新 HSK 対策講座（5 級）	後期・秋学期	244	
	特	J. 市民教養講座	J019	中国語会話（上級）	後期・秋学期	245	
	特	J. 市民教養講座	J020	中国語講座準上級	後期・秋学期	245	
	特	J. 市民教養講座	J021	中国語講座準中級Ⅰ	後期・秋学期	246	
	特	J. 市民教養講座	J022	中国語講座準中級Ⅱ	後期・秋学期	246	
	特	J. 市民教養講座	J023	中国語講座初級Ⅰ	後期・秋学期	247	
	特	J. 市民教養講座	J024	中国語講座初級Ⅱ	後期・秋学期	247	
	特	J. 市民教養講座	J025	中国語講座中級	後期・秋学期	248	
	特	J. 市民教養講座	J026	中国語講座入門	後期・秋学期	248	
	龍谷大学	科	B. 歴史を学ぶ	B119	経済思想史	前期・春学期	71
		科	B. 歴史を学ぶ	B139	経済学史	後期・秋学期	82
		科	D. ことば・言語を学ぶ	D130	会話分析入門 B	後期・秋学期	127
		科	E. 教育・人生観を学ぶ	E116	キリスト教の文化 A	前期・春学期	139
科		E. 教育・人生観を学ぶ	E117	人間の心理と発達：人生を自己構築するために役立つ講義	前期・春学期	139	
科		E. 教育・人生観を学ぶ	E118	特殊講義 A 1 親鸞の救済観—生きる意味の探求	前期・春学期	140	
科		E. 教育・人生観を学ぶ	E138	特殊講義 A 2 親鸞の死生観—悲しみを希望にかえるもの	後期・秋学期	146	
科		G. 自然・環境を学ぶ	G120	環境と人間 A	前期・春学期	174	
科		G. 自然・環境を学ぶ	G121	生活の中の数学	前期・春学期	175	
科		G. 自然・環境を学ぶ	G122	里山学	前期・春学期	175	
科		G. 自然・環境を学ぶ	G123	里山学	前期・春学期	176	
科		G. 自然・環境を学ぶ	G138	びわ湖・滋賀学	後期・秋学期	179	
科		G. 自然・環境を学ぶ	G139	環境社会学Ⅰ：公害・開発から環境問題へ、そして「環境の商品化」へ	後期・秋学期	180	
科		H. 現代社会を学ぶ	H007	語りから未来を紡ぐ：方法論と実践	前期・春学期	184	
科		H. 現代社会を学ぶ	H134	ジャーナリズム論Ⅰ：マスメディアへの招待	前期・春学期	204	
科		H. 現代社会を学ぶ	H135	メディア文化論 A（ジャーナリズムの課題と可能性）	前期・春学期	204	
科		H. 現代社会を学ぶ	H136	財政学	前期・春学期	205	
科		H. 現代社会を学ぶ	H137	地域関係論	前期・春学期	206	

大 学	受講形態	テーマ	科目番号	科 目 名	開講形態	掲 載 ページ
龍谷大学	科	H. 現代社会を学ぶ	H138	特別講義「証券市場とグローバル証券ビジネス」	前期・春学期	207
	科	H. 現代社会を学ぶ	H171	まちおこし論	後期・秋学期	216
	科	H. 現代社会を学ぶ	H172	刑事政策	後期・秋学期	217
	科	H. 現代社会を学ぶ	H173	政治思想概論	後期・秋学期	218
	科	H. 現代社会を学ぶ	H174	地方財政論	後期・秋学期	218
	科	H. 現代社会を学ぶ	H175	地方自治論	後期・秋学期	219
	科	H. 現代社会を学ぶ	H176	地方自治論	後期・秋学期	220
	科	H. 現代社会を学ぶ	H177	特別講義「資産運用の基礎と実務」	後期・秋学期	220
	科	H. 現代社会を学ぶ	H178	文化人類学Ⅰ：異なる文化に生まれていたら	後期・秋学期	221
	科	I. 国際関係を学ぶ	I110	ヨーロッパ政治論	前期・春学期	230
	科	I. 国際関係を学ぶ	I111	中国経済論—成熟大国への軟着陸をめざして	前期・春学期	230
	科	I. 国際関係を学ぶ	I118	国際協力論	後期・秋学期	233
	特	K. 京都力養成コース	K104	祇園祭の深遠を学び、鉾町を探索する	前期・春学期	259
龍谷大学短期大学部	科	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F101	社会福祉学特殊講義VI	通年	157
	科	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F115	ビハラー活動内容総論	夏期集中	163
	科	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F116	高齢者・障害者の心理	夏期集中	163
	科	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F124	ビハラー活動論	集中	166
京都華頂大学	科	F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F125	比較家族論	後期・秋学期	167
大学コンソーシアム京都	特	K. 京都力養成コース	K001	京都学講座「京の文化遺産～未来につなぐ日本のたからもの」	通年	256
放送大学（京都学習センター）	特	K. 京都力養成コース	K003	日本酒の心美体 ～伏見酒と和食の力の未来図～	後期・秋学期	257
京都・大学ミュージアム連携	特	K. 京都力養成コース	K102	大学が育んだ京都—京都・大学ミュージアム連携発の「京都力」	通年	258



大学講義〈正規科目〉

シラバス

●欄の略号について

2016年度 <small>みやこ</small> 京カレッジ 大学講義		講義スケジュール 1 はじめに (講義概要、到達目標など) 2 商業を対象とする関連学問領域における基礎知識の概要 (流通論・商学・マーケティング論) 3 商業における基本理念①～商業の存立基盤 4 商業における基本理念②～石門心学 (石田梅岩) に学ぶ商業 5 京都の歴史・文化・産業～商業との関連において 6 京都ビジネスにおける現状と課題① (老舗編) 7 京都ビジネスにおける現状と課題② (ベンチャービジネス編) 8 京都地域産業資源と商業 9 地域商業ガイドラインと商業活性化アクションプラン (京都を中心として) 10 特別講義① 11 特別講義② 12 特別講義③ 13 特別講義④ 14 特別講義⑤ 15 京都商業の展望
A008 京都商業特別講座 A		
科目等履修生/聴講生		
英文科目名	Special Lecture on Commerce in Kyoto A	
大学名	京都学国大学	
連絡先	教育修学支援センター TEL : 075-406-9114 FAX : 075-406-9130	
担当教員	堀池 敏男 (本学経済経営学部教授/コーディネーター)、鳥淵 浩伸 (外部講師)、谷村 真理 (外部講師)、今井 彰 (外部講師)、和田 貴美子 (外部講師)	
開講日程	2016年04月14日 (木)～2016年07月28日 (木)	

科目等履修生 (単位修得できる)

聴講生 (単位修得できない)

特別受講生 (単位修得できない)

選……選考料

登……登録料

履……履修料

2016年度 みやこ 京カレッジ 大学講義

A008 京都商業特別講座A

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Special Lecture on Commerce in Kyoto A		
大学名	京都学園大学		
連絡先	教育修学支援センター TEL: 075-406-9114 FAX: 075-406-9130		
担当教員	堀池 敏男 (本学経済経営学部教授/コーディネーター)、鳥淵 浩伸 (外部講師)、谷村 真理 (外部講師)、今井 彰 (外部講師)、和田 貴美子 (外部講師)		
開講日程	2016年04月14日 (木) ~ 2016年07月28日 (木) 4講時 14時30分~16時00分 (毎週木曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科14,000円 (初回登録時に登録料として30,000円が別途必要) 聴10,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	60	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	受講態度 (グループワークへの取り組み姿勢を含む。)(50点)、レポート (50点)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【準備学習】 自分自身を取り巻く商業環境に興味を持ち、商業に関する知識や情報については、積極的に新聞、雑誌、インターネットなどのメディアを通じて収集を行うとともに、今後京都における、商業のより一層の活性化及び発展方向を見定めるとい、問題意識を持って受講されたい。</p> <p>【受講者への要望】 積極的に授業に参加することを希望いたします。</p>		
講義概要・到達目標	<p>【講義概要】 本講義は、基本的には過去に大学コンソーシアム京都で開講された「学生ベンチャー・スタートアップスクール」「アントレプレナーシップ養成講座」「京都起業家実践講座」「京都社会起業家養成講座」の各講座の成果をも踏まえ、新たに開講されるものである。 このため京都商業特別講義Aは、「理論編」としてベーシックの位置付けで、京都商業特別講義Bは「実践編」としてアドバンスの位置付けで開講する。 京都は伝統と革新のはざまに生き抜いてきたブランド都市である。その強みについてのキーワードは「文化力」であり「夢・誇り・もてなし力」である。特に内外からの年間約5千万人上る観光客を「もてなす」京都における総合的パワーは、1次産業から3次産業と幅広い産業によって支えられている。取り分けて3次産業、特に商業が京都の都市機能を果たす上で、内向け、外向けを問わず、担ってきた役割には多大なものがある。そこで本講座においては、京都を構成する様々な産業分野の中において、商業分野に焦点を定め考察を進めたい。 考察は京都における商業を中心とした歴史的側面、京都ビジネスの特質 (老舗からベンチャービジネス)、京都地域資源の活用、農工商連携、商業集積を活用した地域の活性化などについて、流通論・商学・マーケティング論の観点からの知見を踏まえ、京都商業における現状と課題と将来像に接近したい。 また京都学園大学は、1925年辻本光楠先生により京都上京区において開校された、京都商業学校をルーツとしており、大学の存する亀岡市は、石門心学で商業の社会的地位を高めた、石田梅岩先生の生家の存するところでもあり、従来より、商業に関する研究については、深く取り組んできたところでもある。 なお講義に当たっては、中小企業診断士・税理士など実際の商業経営に造詣の深いコンサルタントの知見を踏まえた講義も、織り込んでおり、また講義においては、課題を設定したグループワーク、質疑応答などを適宜に踏まえて、双方向性のある授業により、京都商業におけるリアルで、有意義な知見を得ることができると期待する。</p> <p>【到達目標】 商業及び周辺学問領域における基本的な知識の習得 (流通・商業・マーケティング) を図るとともに、習得した知識などを活用して、今後の京都における商業の方向性や在り方についての教養を身につける。また商業領域におけるマネジメント能力の涵養を図る。</p>		

講義スケジュール

- 1 はじめに (講義概要、到達目標など)
- 2 商業を対象とする関連学問領域における基礎知識の概要 (流通論・商学・マーケティング論)
- 3 商業における基本理念①~商業の存立基盤
- 4 商業における基本理念②~石門心学 (石田梅岩) に学ぶ商業
- 5 京都の歴史・文化・産業~商業との関連において
- 6 京都ビジネスにおける現状と課題① (老舗編)
- 7 京都ビジネスにおける現状と課題② (ベンチャービジネス編)
- 8 京都地域産業資源と商業
- 9 地域商業ガイドラインと商業活性化アクションプラン (京都を中心として)
- 10 特別講義①
- 11 特別講義②
- 12 特別講義③
- 13 特別講義④
- 14 特別講義⑤
- 15 京都商業の展望

(注) 特別講義においては、京都における商業振興策・支援制度、商業に関する簿記・会計及び税法、事例研究など予定している。
本講義はキャンパスプラザ京都 4講時 (14時30分~16時00分) で行う。

教科書	必要の都度プリントなど資料配布を行う。
参考書	必要の都度紹介する。

A
京
(みやこ)
を
学
ぶ

A009 京都商業特別講座B

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Special Lecture on commerce in Kyoto B		
大学名	京都学園大学		
連絡先	教育修学支援センター TEL: 075-406-9114 FAX: 075-406-9130		
担当教員	堀池 敏男 (本学経済経営学部教授/コーディネーター)、鳥淵 浩伸 (外部講師)、谷村 真理 (外部講師)、今井 彰 (外部講師)、和田 貴美子 (外部講師)		
開講日程	2016年08月09日 (火) ~ 2016年08月11日 (木) 1~5講時 9時00分~17時50分 (3日間とも)		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	科14,000円 (初回登録時に登録料として30,000円が別途必要) 聴10,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	30	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	取組姿勢 (20点)、プレゼンテーション (30点)、研究成果 (50点)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【準備学習】 自分自身を取り巻く商業環境に興味を持ち、商業に関する知識や情報については、積極的に新聞、雑誌、インターネットなどのメディアを通じて収集を行うとともに、今後京都における、商業のより一層の活性化及び発展方向を見定めるとい、問題意識を持って受講されたい。</p> <p>【受講者への要望】 積極的なグループワークへの参加はもとより、京都商業への興味を持ち、京都商業における、イノベーション、活性化、商業機会などを見据えて、問題意識を持って、参加されたい。 なお可能な受講生は、ノート型パソコンを受講時持参されたい。</p>		

講義概要・到達目標	
【講義概要】 本講座は、基本的には、京都商業特別講義Aにおいて習得した知識などを活かして行う、少人数制の演習講座となっている。このため講義については、オリエンテーション的なものを除き最小限にとどめ、京都における商業を担うべく、起業家精神を持ち、ブランド都市京都における、商業の果たす機能の重要性を踏まえ、実際に商業にどのような形で関わりを持っていくかについての事業構想及び事業計画を考察する講座である。 国際観光都市を目指す京都商業の方向性には、内向け（地域住民向け）と外向け（観光客向けなど）、日用品・身の回り品（食料・衣料など）と専門品（伝統工芸品、土産物など）、京都地域資源を活用した商業モデル、農工商連携による商業モデル、商店街など商業集積の促進による地域活性化モデルなど、幅広い観点からさまざまな、商業への接近が可能である。 このように幅広い観点から京都における新たな商業モデルを構想し、事業計画、提言を策定することが、本講座の主眼とするところである。 具体的には、新たな商業モデルのデザイン、新たな商店街のデザイン、地域資源の活用による商業のデザイン、農工商連携による商業のデザインなどを、実現可能性を踏まえたデザインいわゆる構想を行う講座である。 なお研究を進めるにあたっては、担当教員はもとより、複数のコンサルタントが各受講生およびグループに対して個別具体的な指導を行う。 よって当該講座における研究手法は、グループを中心とした、文献研究、事例研究、フィールドワークなどを各グループごとに計画し、実践し、進捗管理を行い、最終的には成果として商業にかかるデザインおよびブランディングを練り上げていくものである。このため本講座は、単なる知識、実践力の修得に留まらず、その過程を通じて研究における自主的な進捗管理、リーダーシップ、コミュニケーション、プレゼンテーションなどに関する能力やスキルを修得することも視野に入れていく。 【到達目標】 商業に必要とされるマネジメントにかかる基本と原則を修得するとともに、グループ研究の過程を通じてリーダーシップ力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの涵養を図るとともに、京都商業におけるイノベーションを踏まえた、構想、計画を通じて、革新力、創造力などの修得も行ってほしい。	
講義スケジュール	
第一日目 8/09（火） キャンパスプラザ京都 1～5講時（9時00分～17時50分） 1 講座についてのガイダンス 2 グループ分けおよび事業構想、事業計画への組織作り、役割分担など 3 グループ討議による商業領域におけるビジネスチャンス、活性化策の発見およびそのための計画策定への進め方についての検討 4 各受講者、グループからの質疑応答（以下質疑応答という）、コンサルタントの個別指導①（以下個別指導という） 5 各グループからの進捗状況についての報告、質疑応答、個別指導②	
第二日目 8/10（水） キャンパスプラザ京都 1～5講時（9時00分～17時50分） 6 研究の進め方についての打ち合わせ 7 情報収集、文献研究、フィールドワーク、討議など、質疑応答、個別指導③ 8 情報収集、文献研究、フィールドワーク、討議など、質疑応答、個別指導④ 9 情報収集、文献研究、フィールドワーク、討議など、質疑応答、個別指導⑤ 10 各グループからの進捗状況についての報告、質疑応答、個別指導⑥	
第三日目 8/11（木） キャンパスプラザ京都 1～5講時（9時00分～17時50分） 11 各グループ研究結果のまとめおよびプレゼンテーションの準備 12 各グループ研究成果のまとめおよびプレゼンテーションの準備 13 研究成果発表会1 14 研究成果発表会2 15 まとめ（コンサルタントからの講評など）	
教科書	
参考書	適宜紹介する。

A012 京都の歴史と文化遺産			
科目等履修生			
英文科目名	History and Culture Heritage of Kyoto		
大学名	京都橋大学		
連絡先	学務第1課 TEL：075-574-4324 FAX：075-574-4134		
担当教員	増淵 徹（文学部歴史学科教授）		
開講日程	2016年09月13日（火）～2016年09月16日（金） 4日間全て 1～4講時 9時00分～16時00分（最終日は3講時まで） ※日程は変更になる場合があります。 ※講義時間はキャンパスプラザ京都の講義時間に準じます。		
単位数	2	開講区分	集中
受講料	科32,000円		
会場	キャンパスプラザ京都、他		
授業定員	60	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	授業中課題（50%）参加度（50%） 「授業中課題」として、毎日の小レポートと、全体をまとめるレポートを課す。なお、全日程終了後、最終レポートの提出を求める。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	見学に際して必要な交通費や入館料は個人負担となります。		
その他特記事項	歴史遺産について関心をもち、自ら質問する積極性を求める。		
講義概要・到達目標			
【テーマ】 京都市の歴史遺産とその保護・活用について学ぶ			
【授業の到達目標】 京都市内に残る遺跡・建造物・庭園・美術工芸品・民俗文化財などの多様な文化遺産に対する知識を深め、現代における遺産の調査・保護・活用について問題意識をもつ。			
【授業の概要】 京都市文化市民局文化財保護課の技師の方々に講師に、市内の各種の文化遺産とその特徴、及び調査や保護上の課題を解説する形式で進める（集中講義）。講義中に2～3回の現地見学を行う（見学科等が必要になる場合がある）。なお、以下の予定は過年度に実施した内容に準拠したもので、実際の講義内容や見学対象は講師の関係で変更する場合がある（その際にはあらためて通知する）。			
【準備学習（予習・復習）】 日常的にたくさん文化遺産を見学し、自身で問題意識をもってほしい。なお、2講時分程度を1単位としてミニレポートを課す。			
講義スケジュール			
第1回 京都の歴史と文化遺産の特徴（総説） 第2回 京都市の文化遺産とその保護体制 第3回 京都市の史跡と世界遺産 第4回 庭園の保存 ー以上、第1日ー 第5回 京都市の民俗文化財（祭礼・行事） 第6回 障壁画の保存 第7回 歴史遺産見学 第8回 歴史遺産見学 ー以上、第2日ー 第9回 文化的景観の問題 第10回 京都市の歴史遺産建造物 第11回 歴史遺産見学 第12回 歴史遺産遺産見学 ー以上、第3日ー 第13回 京都市の遺跡 第14回 京都市の民俗文化財と世界無形遺産 第15回 まとめー文化遺産の保護とその課題ー ー以上、第4日ー			

教科書	レジュメを配布する
参考書	各回のレジュメで周知する

A013 京都学 ～美術編～

科目等履修生

英文科目名	Studies of Kyoto Arts		
大学名	花園大学		
連絡先	教務課 TEL: 075-811-5181 FAX: 075-823-2413		
担当教員	福島 恒徳 (本学文学部教授)		
開講日程	2016年04月14日(木)～2017年01月19日(木) 6講時 18時10分～19時40分		
単位数	4	開講区分	通年
受講料	40,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	90	京カレッジ定員	30
試験・評価方法	前期末、後期末にレポートを課す。		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用			
その他特記事項			

講義概要・到達目標

【講義概要】

京都の美術－日本美術史の基礎－
絵画史を中心とする日本美術の通史。
古代～近代の美術は京都を中心として展開した。その様を絵画史を軸として通観する。
前期は、古代～中世の美術を中心に講義、
後期は、近世～近代の美術を中心に講義するが、随時、現在の美術や美術史をめぐる時事的話題にも言及する。
講義では、作品のおもしろさ、歴史的意義などについて時代を追って見ていくこととする。

【達成目標】

古代～現代における絵画史を中心とした美術の歴史を学ぶ。画像学・様式論・歴史学的手法といった美術史の基礎的方法論の習得をも目指す。
映像資料を多用し、美術史上重要な位置を占める作品群の具体的検討をとおり、美術史学の基礎理論を習得する。

講義スケジュール

【前期】

- 第1回 美術史の基礎理論
- 第2回 平安時代前期1
- 第3回 平安時代前期2
- 第4回 平安時代中期
- 第5回 平安時代後期1
- 第6回 平安時代後期2
- 第7回 平安時代の美術
- 第8回 鎌倉時代1
- 第9回 鎌倉時代2
- 第10回 南北朝時代
- 第11回 中世前期の美術
- 第12回 室町時代1
- 第13回 室町時代2
- 第14回 室町時代3
- 第15回 中世後期の美術

【後期】

- 第16回 美術史の基礎理論
- 第17回 安土桃山時代

- 第18回 江戸時代前期1
- 第19回 江戸時代前期2
- 第20回 江戸時代前期3
- 第21回 江戸時代中期1
- 第22回 江戸時代中期2
- 第23回 江戸時代後期1
- 第24回 江戸時代後期2
- 第25回 江戸時代の美術
- 第26回 明治時代1
- 第27回 明治時代2
- 第28回 大正・昭和時代
- 第29回 近現代の美術
- 第30回 現在の美術

教科書	講義中プリントを配布することがある。
参考書	美術全集などで精細な作品画像を閲覧することをすすめる。

A014 京都学 ～歴史編～

科目等履修生

英文科目名	Studies of Kyoto History		
大学名	花園大学		
連絡先	教務課 TEL: 075-811-5181 FAX: 075-823-2413		
担当教員	松田 敬之 (本学文学部准教授)		
開講日程	2016年04月13日(水)～2017年01月18日(水) 5講時 16時20分～17時50分		
単位数	4	開講区分	通年
受講料	40,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	60	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	前期末、後期末にレポートを課す。		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	【成績評価方法及び留意事項】 出席(受講態度を含む)と期末レポート。また、見学等に出かけてもらい、感想文を提出してもらう場合もあります。 【準備学習の内容】 特になし		

講義概要・到達目標

【講義概要】

当該講義では、江戸時代の公家社会と、明治維新後にそれがどのように変容していったのかについて学んでいきます。前期では公家社会における法制や身分(家格)、その周辺等について講義をしていきます。前期で学んだ近世公家社会の概要に引き続き、後期では近世公家社会における年中行事を主に講義をしていきます。行事に深く関係する装束や殿舎、食生活等についても学びます。

【授業のテーマ及び到達目標】

前期

テーマ：近世公家社会の制度と近代華族社会への変化を見る

到達目標：高校までの教科書等では余り触れられることのない、江戸時代における京都の公家社会について、前期ではその概要について学んでいきます。

後期

テーマ：近世公家社会における年中行事

到達目標：高校までの教科書等では余り触れられることのない、江戸時代における京都の公家社会について、後期では主に年中行事を中心に学んでいきます。

講義スケジュール	
第1回	前期講義ガイダンス（当該講義の進め方など）
第2回	近世公家社会の概要
第3回	天皇と親王家
第4回	公家社会の家格（1）
第5回	公家社会の家格（2）
第6回	公家社会の家格（3）
第7回	公家衆の家臣
第8回	朝廷の女官
第9回	門跡寺院
第10回	幕府の出先機関と口向諸役人
第11回	江戸後期から幕末の公家社会
第12回	王政復古と公家社会
第13回	公家から華族・士族へ
第14回	公家社会と授産・請願運動（1）
第15回	公家社会と授産・請願運動（2）及び前期授業の総括
第16回	後期講義ガイダンス（当該講義の進め方など）
第17回	近世公家社会の装束（1）
第18回	近世公家社会の装束（2）
第19回	禁裏御所・仙洞御所と公家住宅（1）
第20回	禁裏御所・仙洞御所と公家住宅（2）
第21回	近世公家社会の年中行事（1）
第22回	近世公家社会の年中行事（2）
第23回	近世公家社会の年中行事（3）
第24回	近世公家社会の年中行事（4）
第25回	近世公家社会の年中行事（5）
第26回	近世公家社会の年中行事（6）
第27回	近世公家社会の年中行事（7）
第28回	近世公家社会の年中行事（8）
第29回	近世公家社会の年中行事（9）
第30回	明治以後の宮中行事及び後期授業の総括
教科書	担当者作成のプリントを第1回目以降、順次配布します。
参考書	下橋敬長/述・羽倉敬尚/注・解説『幕末の宮廷』（講談社、1979年） 高埜利彦『江戸幕府と朝廷』（山川出版社、2001年） 高埜利彦編『朝廷をとりまく人びと』（吉川弘文館、2007年） 松澤克行「近世の公家社会」（『岩波講座日本歴史』第12巻・近世3、岩波書店、2014年） 鈴木敬三『有職故実図典 一服装と故実一』（吉川弘文館、1995年） 嗣永芳照/編『図説・宮中行事』（同盟通信社、1989年）

A015 伝統産業工学

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Applied Conventional Technology		
大学名	京都工芸繊維大学		
連絡先	学務課学部教務係 TEL：075-724-7221 FAX：075-724-7120		
担当教員	濱田泰以（大学戦略推進機構系 教授）		
開講日程	2016年04月09日（土）～2016年07月16日（土） 1講時 09時00分～10時30分（毎週土曜日）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科67,600円（選考料9,800円、入学料28,200円、授業料29,600円）聴 受講料9,200円（単位認定なし）		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	170	京カレッジ定員	30
試験・評価方法	出席、課題提出により評価		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	なし		

その他特記事項	
講義概要・到達目標	
伝統産業に内在する暗黙知を科学技術により形式知化する手法を理解し、形式知化された技術を知ることにより、新たなものづくりについて考える。	
講義スケジュール	
1伝統産業工学の定義－暗黙知を形式知に 2-3京弓の秘密 4-5京壁の秘密 6-7京かわらの秘密 8-9漆塗りの秘密 10-11亀甲模様の金網 12-13伝統の知恵に学ぶこと 14-15伝統の知恵を応用すること	
教科書	
参考書	

A016 京を守る 生命を守る ～京都の水害と治水～

科目等履修生

英文科目名	Special Lecture on Extinguishing fire in Kyoto Fire		
大学名	佛教大学		
連絡先	学生支援部教務課 TEL 075-491-2141（代）		
担当教員	植村 善博（教授）		
開講日程	8/30（火）～9/1（木） 1～5講時（9：00～17：50） ※講義休止期間がありますので、「募集ガイド」の「ブラザ科目の学年暦」を参照してください。		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	20,000円（京カレッジ生のみ必要）		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	120	京カレッジ定員	30
試験・評価方法	■成績評価の基準 定期試験（課題）100%		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
■授業の概要 京都における水害の発生危険度は極めて高い。そこで、京都の地形や河川の特徴、治水思想と事業の変遷を明らかにする。とくに、室戸台風および昭和の大水害の事例を詳細に分析して、発生要因と地域性、復旧・復興過程の特徴を考察する。			
■到達目標 講義を通じて、水害環境の理解と災害の発生予測、および被害軽減への取り組みができることを目標としている。			
講義スケジュール			
■毎回の授業テーマ・内容			
第1回	京都の災害環境		
第2回	水害の発生要因と水害環境		
第3回	古代～近世の治水思想		
第4回	明治～大戦期の治水と利水思想		
第5回	現代の治水思想		

第6回	京都盆地の地形と河川の特徴
第7回	鴨川の水害と治水神
第8回	水害多発地域と禹王信仰
第9回	桂川・宇治川の地形と水害
第10回	室戸台風の被害と記念碑
第11回	昭和10年大水害の発生要因と地域の特徴
第12回	復旧・復興と京都市および市民の対応
第13回	鴨川の改修計画と実施
第14回	改修事業と集落移転の事例
第15回	まとめ
教科書	『京都の治水と昭和大水害』植村善博(文理閣)2,625円 ※テキストは、常時使用する。
参考書	講義中に紹介する。

1回	「きもの概論」きもの常識 清水宏一
2回	「きものに親しむ」きもの基礎知識 三宅てる乃
3回	「きものに親しむ」世界の民族衣装市田ひろみ
4回	「きものと生活」“らしさ”とは安田多賀子
5回	「きものと生活」きものと健康 高橋裕子
6回	「きもの文化と歴史」きもの歴史 林 智子
7回	「きもの魅力」伝承する古代系自然布富山弘基
8回	「きもの魅力」きものと日本伝統文化 高橋泰三
9回	「きもの魅力」きものと日本舞踊 西川影戀
10回	「きものができるまで」絹糸 北丸 豊
11回	「きものができるまで」西陣の大切なもの 野中健二
12回	「きものができるまで」これからの京友禅 仲田保司
13回	「きものを長く使う」長く楽しむ・きもの生活寺村貞亮
14回	「きもの現在」きもの、今日から明日へ 清田のり子
15回	「まとめ」まとめと試験 清水宏一
教科書	きもの文化検定公式教本Ⅰ『きもの基本』(社)全日本きもの振興会企画編集
参考書	必要に応じ、講義中に示します。

A017 きもの学【(一社)全日本きもの振興会寄付講座】

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Kimono Studies		
大学名	京都学園大学		
連絡先	教育修学支援センター TEL: 075-406-9114 FAX: 075-406-9130		
担当教員	清水 宏一(経済経営学部非常勤講師)		
開講日程	2016年8月27日(土)~2016年9月2日(金) 3・4講時(12:40~16:00) 2016年9月3日(土)3・4・5講時(12:40~17:50) ◀期間中の月曜日を除く、日曜日にも講義あり▶		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	科14,000円(初回登録時に登録料として30,000円が別途必要) 聴5,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	280	京カレッジ定員	100
試験・評価方法	①平常点(50%)出席状況による ②毎回課す授業内レポート及び確認テスト(50%)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	[受講者への要望] キャンパスプラザ京都(京都駅前)で行う夏期集中講義であることから、夏期の期間にしっかりと取り組む意志のある学生の参加を希望します。 [準備学習] 「ゆかた」で良いので、一度は「きもの(和服)」を着てみるのが、理解への最低条件です。		
講義概要・到達目標	[講義概要] 日本の歴史と風土の中で、日常生活はもとより、公式の場、社交の場を通じて洗練されてきた民族衣装としてのきもの伝統的な形式美や、機能的、経済性を再認識するとともに、多様性に富んだ生地素材や、多彩で清新な色、織り、染め、文様、形態、仕立てなど、きもの奥深さを再発見し、きもの良さを際立たせる着付けや、美しく着こなす振る舞い、さりげなくあしらわれた小物の数々など、あくなき美の追求を嗜好するきもの世界を探ります。 [到達目標] きものを通じた日本文化への理解を深めることを目標とします。		
講義スケジュール			
※今年度の講義内容と講師は、まだ決まっておりませんので、参考までに2015年度のシラバスを掲載しています。 ※学外の著名講師による講義ですので、講師の都合により変更される場合があります。			

A103 京都学II

聴講生

英文科目名	Studies of Kyoto II		
大学名	京都造形芸術大学		
連絡先	教学事務室 教務担当 TEL: 075-791-9125		
担当教員	田口 章子		
開講日程	2016年04月12日(火)~2016年07月26日(火) 3講時 13時10分~14時30分(毎週火曜日) ※休講 2016年05月03日(火・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	無料		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	■単位互換生 <基準> ・教員の発したテーマを自分の問題意識に結びつけることができるか。 <評価方法> ・毎回の出席カードのコメント ・筆記試験 ■京カレッジ生 聴講生のため試験・評価なし		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	無し		
その他特記事項	・履修許可通知後の受講手続きは特にありません。履修生証の発行も行いませんが、本学に受講に来る際には必ず所属大学の学生証を持参してください。 ・駐車場、バイク駐輪場はありませんので公共交通機関をご利用ください。 ・学内で教科書等の販売は行っておりません。一般書店でお買い求めください。		
講義概要・到達目標	■テーマ これだけは聞いてほしい京都のこと ■授業概要 学内最強の講師陣がオムニバス形式で展開する、京都を知るための講座。芸術のみやこ京都をさまざまな角度から学びます。みやこが創造してきた文化芸術のすばさを知ることは、あなた自身の思索・創作活動にとって必要かつ最重要課題です。京都で学ぶ意義を発見してくだ		

さい。

【履修にあたって】

京都は文化の中心です。そのことを知ってもらうために開講する授業です。京都には日本人あるいは日本文化が失ってしまった大事なものがきちんと保存されていることを学んでください。「京都」に目覚めたとき、あなたは大きなエネルギーを実感し、新たな思索、創造活動を行うことができるでしょう。

■到達目標

京都には日本人あるいは日本文化が失ってしまった大事なものが保たれていることを知ること。

講義スケジュール

■授業計画

1. 4/12 百々徹（空間演出デザイン学科）
2. 4/19 牛田あや美（マンガ学科）
3. 4/26 森山直人（舞台芸術学科）
4. 5/10 野田涼美（美術工芸学科）
5. 5/17 佐藤淳（情報デザイン学科）
6. 5/24 奥村美佳（美術工芸学科）
7. 5/31 校條剛（文芸表現学科）
8. 6/7 田口章子（創造学習センター）
9. 6/14 金子典正（通信教育部芸術学科）
10. 6/21 天野文雄（舞台芸術研究センター）
11. 6/28 坪井剛（歴史遺産学科）
12. 7/5 平井愛子（舞台芸術学科）
13. 7/12 銅金裕司（創造学習センター）
14. 7/19 大辻都（通信教育部芸術学科）
15. 7/26 田口章子（創造学習センター）

■予習復習について

授業で展開される14のキーワードを通して、もう一度京都について理解を深めること。

教科書	無し
参考書	授業時に指示

A104 ホスピタリティ京都

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Kyoto Hospitality		
大学名	京都ノートルダム女子大学		
連絡先	京都ノートルダム女子大学 教務部教務課 TEL：075-706-3745 FAX：075-706-3790		
担当教員	長沼光彦（人間文化学部人間文化学科准教授）、 笹岡隆甫（京都ノートルダム女子大学客員教授）		
開講日程	2016年04月12日（火）～2016年07月26日（火） 2講時 10時45分～12時15分（毎週火曜日） ※休講2016/05/03（火）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科目等履修生40,000円（本学卒業生は20,000円） 聴講生20,000円（本学卒業生は10,000円）		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	京カレッジ定員	5	
試験・評価方法	評価は、授業参加度（30%）、毎時間の意見文（30%）、 学期末のレポート（40%）により行う。		
超過時の選考方法	書類審査		
別途負担費用			
その他特記事項	レポートを書く際に、他人の書いた文章をコピー ペーストしたものは認めない。		

その他特記事項	<通学に関する注意事項> 本学への通学は公共交通機関をご利用ください。 50ccを超えるバイクおよび自家用車での通学は認められておりません。また、自転車および50cc以下のバイクでの通学は登録制となっております。
---------	--

講義概要・到達目標

1. 科目の教育目標

京都のもてなしの文化について考えるオムニバス形式の授業である。京都を中心に活躍するゲスト講師の方々お迎えして話をうかがう。ライフキャリア・プログラム「京都ホスピタリティ・プログラム」の導入となる。

華道・茶道など日本の伝統文化を継承する方、旅行業界・ホテル業界など現代の京都で活躍する方の貴重な話をうかがい、京都とホスピタリティ（もてなし）に関わる理念と実践について、広く具体的に学ぶことが目標となる。また、プログラム全体の目的を知り心構えをすると共に、自分の専門分野と結びつけながら、興味を広げよう。授業の多くの回は、ゲスト講師の方々お迎えして進めていくため、積極的に有益な話を聞き取る姿勢が求められる。

2. 教育・学習の個別課題

- ・京都を中心とした日本文化とホスピタリティの関わりを知る。
- ・ホスピタリティ実践のために必要な心構えを知る。
- ・人の関わりと文化について自分なりの考えを持つことができる。

3. 教育・学習の方法

- ・講義をとおして、様々なホスピタリティの理念や実践を知り、京都の文化に対する理解を深める。
- ・考えをまとめ表現する力を養うために、毎時間の終わりに、講義の内容に対する感想・意見をまとめて提出する。

4. 準備学習の具体的な方法

- ・授業で紹介した参考文献などを実際に自分で読んでおく。
- ・紹介した参考文献以外にも読書体験を広げ、京都の文化について考えを深める。
- ・授業で紹介された京都の地を実際に自分で歩いてみる。

講義スケジュール

- 第01回 はじめに
- 第02回 日本の伝統文化ともてなし
- 第03回 華道ともてなし1華道の基礎知識
- 第04回 華道ともてなし2華道の精神
- 第05回 華道ともてなし3華道と人の関わり
- 第06回 華道ともてなし4華道と社会
- 第07回 華道ともてなし5華道と京都の環境
- 第08回 京都のもてなしと現代
- 第09回 現代京都のもてなし1和食
- 第10回 現代京都のもてなし2香道
- 第11回 現代京都のもてなし3和菓子
- 第12回 現代京都のもてなし4報道
- 第13回 現代京都のもてなし5旅館
- 第14回 現代京都のもてなし6寺社
- 第15回 まとめ

教科書	プリント配布
参考書	・『文化としてのマナー（日本の50年日本の200年）』 熊倉功夫著、岩波書店 ・『茶の湯入門』熊倉功夫著、平凡社 ・『いけばな一知性で愛でる日本の美』笹岡隆甫著、 新潮新書 ・『香清話―香に聞く、香を聞く』畑正高著、淡交社

A105 観光まちづくり論

科目等履修生

英文科目名	Town Planning for Tourism
大学名	平安女学院大学
連絡先	京都キャンパス 教務チーム TEL 075-414-8160 FAX 075-414-8159

担当教員	高橋 義人		
開講日程	2016年04月13日(水)～2016年07月27日(水) 2講時 10時50分～12時20分(毎週水曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	40,000円(選考料10,000円別途必要)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	70	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	授業参加度30%、小テスト20%、 期末レポート50% 合計100% 本やネットを丸写ししたレポートは認めない。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	フィールドワークに係る交通費(実費) 女子のみ受講可		
講義概要・到達目標			
【講義概要】 「ふるさとの町づくり」について論じる。3.11以降、「ふるさと」や「絆」の重要性が強く意識されるようになった。人口減少時代の今日では、中小都市はますますさびれゆきつつある。そうした中小都市が生き残るには、魅力的なコンパクトシティをつくるしかない。 ロンドンやパリに一極集中しているイギリスやフランスとは異なり、中小都市の独自性が尊重されているドイツやイタリアでは、コンパクトシティや脱モータリゼーションの試みが盛んである。それらの事例をもとに、日本の中小都市を観光客の訪れるような魅力的な町として再生させるにはどうしたらいいか、みなで考える。 日本一の観光都市である京都がさびれる恐れは一見するとないように見えるが、しかし今日、京都市では1年に1000軒ずつ古い町家が取り壊され、古都の面影が失われつつある。このままでは京都は観光客がぜひとも訪れたい「古都」ではなくなってしまうだろう。そこで、どうしたら京都を魅力的な「古都」として再生させうるか、みなでともに考える。京都の小路、京格子、オープンカフェの取材など、フィールドワークも課す。			
【到達目標】 自分の古里や自分の愛着のある町をどうやったら再活性化できるかについて考え、自分なりの積極的なアイデアを出し、ふるさとの知人・友人にそれをきちんと説明できるようになること。			
講義スケジュール			
(1) 3.11以降の「まちづくり」 (2) メトロポリスカコンパクトシティか (3) イタリア・ヴィチエンツァに倣ったドイツ・ヴァイマルのまちづくり (4) 古都京都をいかにして守るか (5) 脱モータリゼーションのまちづくり (フライブルクとアムステルダムと富山市のLRT) (6) シャッター通りから黒壁スクウェアへ(長浜のまちづくり) (7) 江戸時代の町の復元(彦根キャッスルロード) (8) ピカピカのニュータウンを風情ある町に (坂や小路や街路樹や格子のあるまちづくり) (9) マンションと古典的な長屋・町家 (10) 水と緑のまちづくり (11) 京都の小路と逗子 (12) 借景のあるまちづくり(京都の景観法) (13) 茶店とオープンカフェ(広島と横浜) (14) 京の石畳 (15) 三条通の過去と現在			
教科書	なし		
参考書	『失われた景観 戦後日本が築いたもの』、松原隆一郎著、PHP新書、2002年 『まちづくりと景観』、田村明著、岩波新書、2008年		

A108 京都の伝統産業

科目等履修生

英文科目名	Traditional Kyoto Industries		
大学名	平安女学院大学		
連絡先	京都キャンパス 教務チーム TEL 075-414-8160 FAX 075-414-8159		
担当教員	高橋 義人		
開講日程	2016年09月29日(木)～2017年01月19日(木) 3講時 13時10分～14時40分(毎週木曜日) ※講義休止期間 2016年12月27日(火)～2017年01月04日(水)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	40,000円(選考料10,000円別途必要)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	70	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	授業参加度30%、小テスト20%、 期末レポート50% 合計100% 本やネットを丸写ししたレポートは認めない。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	女子のみ受講可		
講義概要・到達目標			
【講義概要】 日本はドイツと並ぶ「ものづくり大国」として知られている。日本の「ものづくり」は別に精密機械に限定されるものではない。京都の伝統産業にも日本の「ものづくり」の原点が生きている。京都の伝統産業がどれほど繊細で、細部を大事にしているか、日本の「ものづくり」の精神がいかにそこに生かされているかを、実例に即しながら確かめてゆく。 本講義では、京菓子、京の豆腐、京懐石、京の漬物、宇治茶、京の酒、西陣織、友禅染、京焼、京漆器、京扇子、京七宝、京の町家、京の作庭など、衣食住にわたる京都の伝統産業の諸部門を、ビデオなどを使いながら紹介する。受講者は、京都の伝統産業がいかに精緻な「ものづくり」であるかを、本講義を通して学んでほしい。			
【達成目標】 京都の伝統産業があって初めて<古都京都>が生きてきたと保たれる以上、いかにして京都の伝統産業育成・保全していくべきか。それについて、稚拙でもいいから自分なりの案をまとめられるようになること。			
講義スケジュール			
(1) 京都の伝統産業はどのように生まれたか (2) 京菓子 (3) 宇治茶 (4) 京の懐石料理 (5) 京の精進料理と普茶料理 (6) 京の漬物 (7) 京の豆腐と湯葉 (8) 伏見の酒と灘の酒 (9) 京焼(陶器と磁器) (10) 京漆器と京七宝 (11) 西陣織 (12) 友禅染 (13) 京扇子と京団扇 (14) 京町家と京格子 (15) 京の作庭			
教科書	なし		
参考書	『美の壺 和菓子』(NHK出版)、『美の壺 懐石料理』(NHK出版)、『美の壺 扇子』(NHK出版)		

A109 京都学特殊講義Ⅴ「京都の美術」



科目等履修生/聴講生

A 京（みやこ）を学ぶ

英文科目名	Selected Problems in Kyoto Studies Program 5		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】 TEL：075-466-3350		
担当教員	山本 真紗子		
開講日程	2016年9月29日（木）～2017年1月19日（木） <毎週木曜日> 1時限：9：00～10：30 11月3日（木・文化の日）は授業日です。 <教室案内> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf ※休講になった場合などは、10/22（土）、11/19（土）、12/10（土）、12/24（土）、1/20（金）に補講を行うことがあります。		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生：42,800円 ・聴講生：25,400円		
会場	衣笠キャンパス		
授業定員	70	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	<p>【レポート試験】60% 講義の内容に関する課題について記述してもらう。授業内容や先行研究を踏まえていることに加え、出題意図の理解、構成、記述の客観性や論理的説得力を基準に評価を行う。</p> <p>【平常点】40% 授業初回に受講生の現在の問題関心に関するアンケートをおこなう。また、授業期間内に、それまでの授業内容と関係するテーマでの小レポートを実施する予定である。基本的には提出者への加点を行い、未提出者への減点はおこなわない。教育実習等の事情がある場合は、必ず事前に相談すること。</p> <p>【備考】 受講生の問題関心などを勘案したうえで、授業内容に若干変更をおこなう場合がある。</p>		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。</p> <p>【諸手続】（単位互換生のみ） 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html</p>		
講義概要・到達目標	<p>【授業の概要】 京都では、「京都画壇」とよばれる画家たちの活動があり、また染織品や陶磁器に代表される美術的な工芸品の製造が盛んである。本講義では、一般的な美術史の内容に加え美術と社会や人々との関わりに注目することで、京都の美術や文化の特徴について考えていく。また本学所蔵資料の調査をはじめ、現在の研究状況や調査活動についても適宜紹介していきたい。</p>		

【受講生の到達目標】 日本美術・工芸鑑賞のための基礎的な事柄を理解することができる。「美術」を成り立たせる様々な要素・仕組みについて説明することができる。 日本美術をとりまく環境・問題について、さまざまな視点から考えることができる。	
【授業外学習の指示】 関連文献に目を通す以外にも、美術展や講義で取り上げた人物や事物に関する場所には積極的に出向いてほしい。講義の内容に関わる展示やイベントは講義内でも紹介していく。	
【受講および研究に関するアドバイス】 テキストはとくに指定しない、各回のテーマに応じた参考文献を講義内で適宜紹介・指示する。京都・日本の文化や美術に対して関心がある、高校日本史の文化史相当の基礎知識があることが望ましい。受講生の問題関心などを勘案したうえで、授業内容に若干変更をおこなう場合がある。	
【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】 コミュニケーションペーパー／Communication Paper 学生との直接対話／Talk with Students	
講義スケジュール	
1 イントロダクション <キーワード>日本美術史、美術史学の方法論、京都の美術史	
2～3 これは何の絵？ <キーワード>絵画の主題、描かれる対象とジャンル 神仏、風俗、人物、山水、物語、花鳥	
4～5 発注者と制作者たち <キーワード>権力者やパトロン、画僧、「御用絵師」、町絵師、文人画家、国家、「画家」 「遷宮」というシステム	
5～6 「イベント」と美術 <キーワード>儀礼、御成・茶会、絵合わせ、外交・贈答、追善 鑑賞の方法	
7～8 文様にこめられた想い <キーワード>文様とその意味	
9 海外との交流 <キーワード>中国、南蛮美術、西洋美術 「日本画」と「洋画」	
10 人々の「生活」を描く <キーワード>風俗画、洛中洛外図、浮世絵	
11 京の絵師たち <キーワード>江戸時代の「京都画壇」 尾形光琳、円山応挙、伊藤若冲ほか	
12 「かざり」の日本美術 <キーワード>日光東照宮と桂離宮 日本の「かざり」 装飾性 琳派	
13 「美術」という制度・近代の画家たち <キーワード>「美術」概念 「美術館」「展覧会」 美術学校、「郊外」の絵描き村、国画創作協会	
14 美術をとりまく環境 <キーワード>立命館所蔵の京友禅図案とデジタル・アーカイブ、2015～2016年話題の展覧会	
15 まとめ <キーワード>京都の美術・工芸 現在のとりくみ	
教科書	【備考】 テキストは指定しない
参考書	以下の「書名」、「著者」、「出版社」、「ISBNコード」を参照 (書名) 京都の歴史 (著者) 京都市 (出版社) 学芸書林

参 考 書	(書名) 日本美術史 (カラー版・増補新装) (著者) 辻惟雄監修・青柳正規ほか執筆 (出版社) 美術出版社 (ISBNコード) 4568400651
	(書名) 京都の美術史 (著者) 赤井達郎 (出版社) 思文閣出版 (ISBNコード) 4784205721
	【備考】参考文献は授業内で適宜指示する

A110 仏教と美術

聴講生

英文科目名	Buddhism and the Arts		
大 学 名	大谷大学短期大学部		
連 絡 先	教務課 TEL 075-411-8117 FAX 075-411-8150		
担当教員	堅田 理		
開 講 日 程	2016年09月06日(火)～2016年09月08日(木) 2～6講時 10:40～19:30(昼休みを含む)		
単 位 数	2	開 講 区 分	集中
受 講 料	聴講料 15,000円		
会 場	科目開設校キャンパス		
授 業 定 員	120	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	聴講生は受験資格なし		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	未定		
その他特記事項	【質問・相談の方法】 各テーマの授業の後半に質問の時間を設ける。 【担当者からの連絡】 授業時に行う。		
講義概要・到達目標	【授業テーマ】 荘嚴の世界 【授業の内容】 荘嚴とは、目に見えない仏の世界を形にあらわすことである。仏教に関わる美術や工芸が、寺院の荘嚴をどのように実現しているのか、実際にその仕事に携わっている方々を講師として迎え、その技術や思想について学ぶ。そのことを通じて京都の伝統文化のあり方が明らかになる。 【学習到達目標と授業計画】 仏の荘嚴は、京都の伝統文化によって支えられ実現している。それらの歴史的・文化的背景を考える講義とともに、実際に京都の伝統文化を支える仕事を行っている方々をゲストとして迎え、文化を支えている現場の生の声と、体験を通じて、机上だけではなく、本物の伝統文化に触れる機会をもつ。そして、それら荘嚴に関わる一つ一つの文化が、どのように仏教と関わるのかを考える。		
講義スケジュール	【学習内容/授業方法/準備学習(予習・復習)・時間】 1.講義の目的と概要:1日目の予習講義—荘嚴と伝統文化—/ 講義形式で行う。 授業内容を正確に把握すること。 2.仏を造形する仏師の仕事①(富田工藝:富田珠雲氏)/ 講師による講義と、レリーフ作成の実習。/		

- 講義内容の把握と、実習により感じたことを整理しておくこと。
- 3.仏を造形する仏師の仕事②(同上)/
講師による講義と、レリーフ作成の実習。/
講義内容の把握と、実習により感じたことを整理しておくこと。
- 4.数珠の世界(安田念珠店:安田容造氏)/
講義形式で行う。
講義内容を正確に把握すること。
- 5.1日目の総括/
小レポートの作成。
一日の講義を通じて感じ、考えたことを整理する。
- 6.2日目の予習講義—本願寺前町と伝統文化—/
講義形式。
前日の復習と、当日の講義の予習を行う。
- 7.京仏具の歴史と技術①(小堀:小堀賢一氏)/
講師による講義と、金箔押しの実習。
講義内容の把握と、実習により感じたことを整理しておくこと。
- 8.京仏具の歴史と技術②(同上)/
講師による講義と、金箔押しの実習。
講義内容の把握と、実習により感じたことを整理しておくこと。
- 9.香の文化と仏教(松栄堂:畑正高氏)/
講義形式。
講義内容を正確に把握すること。
- 10.2日目の総括/
小レポートの作成。
一日の講義を通じて感じ、考えたことを整理する。
- 11.3日目の予習講義/
講義形式。
前日の復習と、当日の講義の予習を行う。
- 12.京表具の技術と裏打ち体験①(物部画仙堂:物部俊彦氏)/
講師による講義と、裏打ちの実習。
講義内容の把握と、実習により感じたことを整理しておくこと。
- 13.京表具の技術と裏打ち体験②(同上)/
講師による講義と、裏打ちの実習。
講義内容の把握と、実習により感じたことを整理しておくこと。
- 14.和蠟燭の伝統と朱かけ体験(わた悟:和谷篤樹氏)/
講師による講義と、朱かけの実習。
講義内容の把握と実習により感じたことを整理しておくこと。
- 15.試験/
講義全般を通じて感じ、考えた内容を整理しておくこと。

教 科 書	授業中に必要な資料を配布する。
参 考 書	必要に応じて指示する。

A111 京都の文化に触れるE

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Kyoto Cultural Experiences E
大 学 名	同志社女子大学
連 絡 先	◆本学今出川キャンパス開講 教務課 TEL: 075-251-4127 FAX: 075-251-4277
担当教員	天野太郎(現代社会学部教授)、山田邦和(現代社会学部教授)、畑正高(本学嘱託講師)、河村晴道(本学嘱託講師)、上田文(本学嘱託講師)、山口祥二(本学嘱託講師)、吉岡幸雄(本学嘱託講師)

開講日程	2016年08月25日(木)～2016年09月02日(金) 10時00分～16時00分 ※休講 2016/08/27(土)、08/28(日)		
単位数	2	開講区分	集中
受講料	科44,000円(登録料24,000円・受講料20,000円)、 聴8,000円		
会場	今出川キャンパス		
授業定員	30	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	各回午前・午後の出席確認を行う。この出席を前提として(50%)、最終回でおこなう試験とレポート提出等の提出物(50%)について、第7回目担当の天野によりとりまとめ、採点ならびに総合評価をおこなう。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	その他特記事項 参照		
その他特記事項	◆別途負担費用について 実地研修の際に、博物館などでの実地研修において、各自入場料500円程度が必要となることがある。そうした大学から実地研修先(市内近傍)までの交通費についても自己負担となる。		
講義概要・到達目標			
授業テーマ： 京都の文化の多様性—その理論と実践			
授業目標： 本講義では、京都の文化のありかたの一端について、実際の美術・能・京菓子・染色・香・十二単の装いなど、京都文化を代表する芸術に関わる第一線の方々を講師陣として招き、その理論について講義するとともに、実践的な工房など現場の見学、体験を通じて、生きた京都文化の理解を深めることを目的とする。			
講義スケジュール			
各回の授業内容： すべて各回(7回)を、それぞれの講師陣の指導のもとで、講義・見学・実践体験をおこなう。 各回はそれぞれ1日で、全日あるいは午前・午後などにわかれて、大学の講義室のみならず、京都市内の現場において実地見学学習をおこなう。			
1. ガイダンス 京都の歴史的・地理的ななりたち (本学教員 山田邦和) 本講義の全体導入 2. 京都の美術(上田文) 京都美術の歴史と世界 3. 染色の世界(吉岡幸雄) 染色の世界と実践 4. 幽玄の世界 能の形(能楽師・観世流シテ方 河村晴道) 「能」の歴史と実演見学 5. 王朝の香り(松栄堂社長 畑 正高) 「香」の歴史と現在のありかた 6. 京菓子の世界(山口祥二) 7. まとめ 京都の文化の多様性(本学教員 天野太郎)			
授業方法： 教室における講義形式と、芸能の現場の実地見学・研修を併せておこなう。通常の各テーマに関する講義学習とともに、生きた京都文化を実体験する方向性で授業をおこなう。			
教科書	使用しない。		
参考書	使用しない。		

A601 京都学：京都の食文化を知る

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Studies in Kyoto
大学名	京都ノートルダム女子大学

連絡先	京都ノートルダム女子大学 教務部教務課 TEL：075-706-3745 FAX：075-706-3790		
担当教員	鳥居本 幸代 (生活福祉文化学部生活福祉文化学科教授)		
開講日程	2016年09月23日(金)～2017年01月20日(金)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科目等履修生40,000円(本学卒業生は20,000円) 聴講生20,000円(本学卒業生は10,000円)		
会場	eラーニング		
授業定員		京カレッジ定員	
試験・評価方法	評価は、授業参加度(30%)、小テスト(20%)、 確認テスト(50%)に基づいて総合的に行う。		
超過時の選考方法			
別途負担費用	教科書代		
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・VODのログインにはパスワードを設定している。 ユーザー名 kyo-togaku2011 パスワード 2011kytgaku ・VODの視聴はwindowsの場合、「Adobe Flash Player」がインストールされた「Firefox」で行う。 ・第3回講義は動画のみの視聴となるため、パワーポイント資料はweb上から取得する。 ・毎授業時に配布するプリントは、web上から取得できる(とくに、第13回目、第15回目はテキストを使用しないため、プリント中心であるため要注意)。 ・毎講義ごとにweb上から小テスト問題を取得し、期限内に予習確認小テストを行う。 ・毎講義ごとに授業参加度確認のため、提出課題を設定している。web上から取得し、期限内に提出する。 ・確認テストはweb上で取得し、期限内(1月13日～1月20日)に受験する。 		
講義概要・到達目標			
1. 科目の教育目標 京料理をキーワードに京都学を展開する。日本料理の歴史を探ることは、京料理の歴史を考察することであるといっても過言ではない。平安貴族の饗宴で提供された大饗料理をはじめ、室町時代には式正料理、その後、本膳料理、懐石料理、会席料理と展開したが、寺院の多い京都では食材を限定した精進料理が発展したのである。地の利を生かした蔬菜を多く用いる精進料理は懐石料理へと集約され、さらには京料理の特色ともなっている。精進料理に主眼を置きながら、京都の食文化を学ぶ。			
2. 教育・学習の個別課題 ①日本料理の変遷 ②精進料理の確立 ③京菓子 ④京野菜 ⑤京都の食習慣			
3. 教育・学習の方法 講義で行い、第02回以降は予習として指定したテキストの該当ページに沿った小テストを行う。			
4. 準備学習の具体的な方法 下記のように指定されたテキストの該当ページを読んでおくこと。 第02回 P11～32 第03回 P32～48 第04回 P6～7,P49～61 第05回 P63～74,P98～102 第06回 P74～84 第07回 P103～124 第08回 P85～97 第09回 P124～133,P189～195 第10回 P212～228 第11回 P156～168,P172～174,P195～212 第12回 P135～141,P169～171,P174～180,P232～236 第14回 P141～156			

講義スケジュール	
第01回 序論 日本料理の歴史の変遷から京料理の体系を明らかにする 第02回 大宮人の食生活を彩る食材と調味料 第03回 大饗料理 王朝人の食環境と食習慣 第04回 仏教伝来によって変貌する食文化 第05回 武士の台頭による食習慣の変化 第06回 茶の湯の展開と喫茶習慣 第07回 式正料理から本膳料理へ 第08回 禅と懐石料理 食事作法の誕生 第09回 卓袱料理と普茶料理 第10回 隠元と豆腐料理 第11回 江戸の料理本にみる精進料理 第12回 京料理と江戸前料理 第13回 京菓子の歴史 第14回 京野菜について 第15回 京料理と伝統行事	
教科書	『精進料理と日本人』鳥居本幸代、春秋社、2007年
参考書	1. 『日本食生活史』渡辺実著、吉川弘文館、2007年 2. 『食の文化を知る事典』岡田哲編、東京堂出版、2003年 3. 『京都たべもの風土記』京都新聞社編、京都新聞社、1988年

B001 観光人類学

科目等履修生

英文科目名	Tourist Anthropology		
大学名	平安女学院大学		
連絡先	京都キャンパス 教務チーム TEL 075-414-8160 FAX 075-414-8159		
担当教員	高橋 義人		
開講日程	2016年09月21日(水)～2017年01月18日(水) 2講時 10時50分～12時20分(毎週水曜日) ※講義休止期間 2016年12月23日(金)～2017年01月04日(水)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	4,000円(選考料10,000円別途必要)		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	60	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	授業参加度30%、小テスト20% 期末レポート50%、合計100% 本やネットを丸写ししたレポートは認めない。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
【講義概要】 「グリム童話とヨーロッパの深層」がテーマ。メルヘンは、民衆の生活史を知る上での貴重な歴史的資料である。一般に歴史は、国王や英雄や戦争や革命の話である。それらの話については文献的資料が残されていて、それをもとにして歴史の流れを組み立てることができる。ところが一般民衆がどのような生活を送っていたかについては、ほとんど何の文献的資料も残されていない。そこで重要なのがメルヘンである。 何篇かのグリム童話からは、民衆の非キリスト教的な信仰がはっきりと浮かび上がってくる。「いばら姫」(眠れる森の美女)と「ホレおばさん」からは大地母神信仰が、「灰かぶり」(シンデレラ)からは冬追い夏招きの農耕儀礼が、「赤ずきん」からは五月祭の風習が、「千枚皮」や「蛙の王さま」からは動物崇拜が読み取れる。 大昔のヨーロッパの民衆の生活がどのようなものだったのか、ひとつひとつのグリム童話に即して考察する。			
【到達目標】 日本とヨーロッパの風俗や考え方は、もともときわめて近い親縁関係にあったことを知り、ヨーロッパを少しでもこれまでとは違った姿で見る眼を養うこと。			
講義スケジュール			
(1)メルヘンとは何か (2)グリム童話とアンデルセン童話 (3)グリム兄弟とは (4)「ヘンゼルとグレーテル」——メルヘンの表と裏 (5)「いばら姫」(眠れる森の美女)——メルヘンと神話 (6)「ホレおばさん」——古代ゲルマンの地母神 (7)「白雪姫」——人の心を真に魅きつける美しさとは (8)「ラプンツェル」——その長い髪の魅力 (9)「シンデレラ」(1)——危機において助けてくれるのは誰か (10)「シンデレラ」(2)——「千枚皮」と動植物への変身 (11)「シンデレラ」(3)——サンタクロース祭と農耕儀礼 (12)クリスマスと冬至祭 (13)「赤ずきん」——狼とはいったい何者か (14)「蛙の王さま」——グリム版の「美女と野獣」 (15)「鶴の恩返し」と「六羽の白鳥」——動物は「聖なる神」			
教科書	なし		
参考書	高橋義人『グリム童話の世界』(岩波新書、2006年)		

B101 日本仏教史

聴講生

英文科目名	History of Japanese Buddhism		
大学名	大谷大学		
連絡先	教務課 TEL 075-411-8117 FAX 075-411-8150		
担当教員	齋藤 望、宮崎 健司、東館 紹見、平野 寿則、福島 栄寿、川端 泰幸		
開講日程	2016年04月06日(水)～2016年07月20日(水) 4講時 14時40分～16時10分(毎週水曜日) ※休講 2016/05/04(水) ※2016/07/27(水)は試験日の為、京カレッジ生は出席不要です。		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	聴講料 15,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	聴講生は受験資格なし		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	【質問・相談方法】 授業終了時、オフィスアワーなどで随時受け付ける。 【担当者からの連絡】 授業内容を単なる知識に止めないためにも、各自、自らの歴史、仏教への関心や、現代社会における諸問題等との接点を探りつつ受講してほしい。		
講義概要・到達目標			
【授業テーマ】 日本史上における仏教の展開過程とその歴史的意義			
【授業の内容】 日本における仏教は、6世紀半ばの伝来以降、文化・思想・信仰の側面にとどまらず、政治・経済・外交等、それぞれの時代社会の状況と密接に関わりつつ展開してきた。本授業では、各時代・分野を専門とする教員によるリレー講義を通じ、各時代社会・分野と仏教との関係について理解を深めたい。また、日本史上での仏教(宗教)の果たした歴史的役割・意義についても考えてみたい。			
【学習到達目標と授業計画】 はじめに、 ①日本史上の時代区分とその意味、 ②各時代における国家・社会と仏教について概観を述べ、 以後の講義内容の全体的な理解への一助とする。以後、各時代・分野を専門とする教員による、具体的な事例に基づく講義を数回ずつ行ない、各時代・分野における国家・社会と仏教との関係について理解と考察を深める。			
講義スケジュール			
【学習内容】 1. はじめに(第1回)日本の国家・社会と仏教を見てゆく視点(各時代の概観) 2. はじめに(第2回)日本史上の時代区分と、その仏教史上における意味 3. 大谷大学博物館 見学 4. 日本古代の国家・社会と仏教(第1回) 5. 日本古代の国家・社会と仏教(第2回) 6. 日本中世前期の国家・社会と仏教(第1回) 7. 日本中世前期の国家・社会と仏教(第2回) 8. 日本中世後期の国家・社会と仏教(第1回) 9. 日本中世後期の国家・社会と仏教(第2回) 10. 日本近世の国家・社会と仏教(第1回) 11. 日本近世の国家・社会と仏教(第2回) 12. 日本近代の国家・社会と仏教(第1回)			

- 13. 日本近代の国家・社会と仏教（第2回）
- 14. 日本の仏教美術（第1回）
- 15. 日本の仏教美術（第2回）

【授業方法】

第1～2回、第4～15回：授業内容を記したプリント、及び画像等による講義

第3回：展観の概要の紹介と博物館での見学

【準備学習（予習・復習）・時間】

第1～2回、第4～15回：プリントの内容の熟読と、講義を受けての再考

第3回：展観の概要と見学内容に関する理解と考察

教科書	特に定めない。必要な史料・文献等は、各担当者がプリントし配布する。
参考書	①辻善之助『日本仏教史』（上世篇～近世篇之四〈全10巻〉、岩波書店、1944～55年） ②家永三郎[ほか]監修『日本仏教史』（古代篇、中世篇、近世・近代篇、法蔵館、1967年） ③笠原一男[ほか]監修『アジア仏教史』（日本編Ⅰ～Ⅷ、佼成出版社、1972年） ④圭室文雄[ほか]著『日本仏教史』（古代、中世、近世、近代、吉川弘文館、1986～98年） ⑤奈良康明[ほか]編『新アジア仏教史』（日本Ⅰ～Ⅴ、佼成出版社、2010～2011年） 以上の全般にわたる主要な概説書その他、各授業担当者において重要と判断した参考書を、授業時に適宜紹介していく。

画として知られるようになり、現代の私たちにとっては、妖怪を漫画や映画等によって、具体的な姿形と共に、想像するようになっていきます。このように、妖怪なる存在は、語り、文学、絵画、漫画、映画等で描かれ続けてきた、一つの日本文化の姿なのです。妖怪文化論Aでは、そのうち特に、語られた妖怪と、妖怪が出没する場所、風景について論じます。

【到達目標】

妖怪文化が様々な学問分野にまたがっている点、妖怪文化の多様な見方がある点を理解することを目標とする。

講義スケジュール

- 1 妖怪文化とは：語りから造形化へ（百鬼夜行絵巻、画図百鬼夜行、水木しげる）
- 2 妖怪文化研究の歴史：井上円了・柳田国男から小松和彦まで
- 3 妖怪の見える風景：『今昔物語集』『源氏物語』『宇治拾遺物語』
- 4 妖怪体験とことば：風景認識の三角形
- 5 妖怪の走る風景：柳田国男の『妖怪談義』、「クビナシウマ」と「首切れ馬」
- 6 集団の見た妖怪：妖怪の出没場所を選ぶ伝承集団
- 7 頭の中の妖怪地図：伝説の構造分析とメンタルマップ
- 8 妖怪の二つの場所：妖怪の聞き取り調査
- 9 『千と千尋の神隠し』に描かれた怪異世界の風景：少女の引っ越し
- 10 怪異世界と心のなかの景観：見えない風景の知覚
- 11 現代日本人の怪異世界イメージ：『リング』『ワンダフル・ライフ』『呪怨』
- 12 廃墟と幽霊・怪異世界：18世紀後半の妖怪画革命とピクチャレスクの流行
- 13 現代の廃墟と近代化遺産：18世紀後半と現代の比較
- 14 妖怪の出没する場所と時代：妖怪のメッセージ
- 15 世界に進出する妖怪文化：求められる日本人の世界観

教科書	佐々木高弘著『怪異の風景学—妖怪文化の民俗地理』古今書院、2014年
参考書	小松和彦著『妖怪文化入門』せりか書房、2006年

B104 妖怪文化論A

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Culture and Conceptions of the Strange A		
大学名	京都学園大学		
連絡先	教育修学支援センター TEL：075-406-9114 FAX：075-406-9130		
担当教員	佐々木高弘（人文学部・歴史文化学科教授）		
開講日程	2016年04月12日（火）～2016年07月26日（火） 5講時 16時40分～18時10分（毎週火曜日）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科14,000円（初回登録時に登録料として30,000円が別途必要） 聴10,000円		
会場	京都亀岡キャンパス		
授業定員	80	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	授業内レポート20%、学期末レポート80%		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	【準備学習】 講義ごとに提示する教科書の指定箇所を予習・復習した上で受講すること。 【受講者への要望】 受講生は講義中に紹介する論文や単行本を必ずいくつかは読み、現地調査や図書館での資料調査をした上でレポートを作成すること。		
講義概要・到達目標	【講義概要】 古来、日本人は、身近に、妖怪なる存在を認識してきました。人が病気になるったり、日照りが続いたり、洪水が起こったりした時、人々は、その原因を妖怪に求めてきたのです。その正体は、最初は誰も見たことのない、形のない、存在として、気配や音、あるいは匂いや肌で認識していました。つまりそれは、語りの世界でのみ存在していたわけです。後に、日本人はそれを図像化するようになります。それが妖怪		

B105 デザイン史概説

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Introduction to History of Design		
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	教務課美術教務担当 TEL：075-334-2220 FAX：075-334-2345		
担当教員	砂山太一（美術学部特任教員）		
開講日程	2016年04月13日（水）～2016年07月27日（水） 1講時 09時00分～10時30分（毎週水曜日）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	入学料：28,200円 授業料：科28,800円 聴28,800円		
会場			
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	出席点および提出課題点。		
超過時の選考方法			
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標	【授業目標】 近代デザイン史を学ぶ上で必要とされる基礎的学習領域について概説し、デザインに関する関心・知識を高め理解する糸口とする。 【授業概要】 19世紀後半以降の主要な出来事および潮流を取り上げ、社会的動向、		

生産システムの変革を通して近代デザイン史の沿革を概説する。	
講義スケジュール	
①授業ガイダンス ②デザイン史とは何か ③近代デザイン前史および産業革命 ④アーツ・アンド・クラフツ運動 ⑤アール・ヌーヴォー ⑥ドイツ工作連盟 ⑦バウハウス ⑧ロシア・アヴァンギャルド ⑨近代デザインの確立 ⑩バックミンスターフラーのデザイン思想 ⑪グッドデザイン ⑫ポストモダン・デザイン ⑬現在のデザインの動向 ⑭まとめ ⑮提出課題発表およびその説明	
教科書	
参考書	

②ギリシャ美術 ③ローマ美術 ④初期キリスト教美術 ⑤ロマネスク ⑥ゴシック ⑦初期ルネッサンス (1) ⑧初期ルネッサンス (2) ⑨盛期ルネッサンス (1) ⑩盛期ルネッサンス (2) ⑪盛期ルネッサンス (3) ⑫初期ネーデルラント美術 (1) ⑬初期ネーデルラント美術 (2) ⑭16世紀のネーデルラント美術 ⑮マニエリスム ⑯試験	
教科書	授業中にプリント配布します。
参考書	『西洋美術館』小学館, 1999年; 高階秀爾監修『カラー版: 西洋美術史』美術出版社, 増補新装版2002年; 三浦篤『まなざしのレッスン1: 西洋伝統絵画』2001年ほか。授業中にも適宜指示します。

B106 西洋美術史概説1

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Introduction to History of Western Arts 1		
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	教務学生課美術教務担当 TEL: 075-334-2220 FAX: 075-334-2345		
担当教員	深谷 訓子 (美術学部准教授)		
開講日程	2016年04月13日 (水) ~ 2016年07月27日 (水) 1講時 9時00分~10時30分 (毎週水曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	入学料: 28,200円 授業料: 科28,800円 聴28,800円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	各回の授業時の小課題 (20%) レポート (40%) 学期末試験 (40%)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
【授業目標】 16世紀に至るまでの西洋美術史を概観し、基本的な知識を得ることを目的とします。多くの作品を見ることを通じて、様式展開、図像内容、社会背景や受容の問題などに関する理解も深めてもらいたと思います。			
【授業概要】 ギリシャ美術から16世紀までの西洋美術史を通史的に概観し、主だった作家や作品について基本的な知識を確実に身につけてもらいます。毎回の授業中には、作品の比較や記述などの小課題も行ってもらいます。			
【履修上の注意】 初回授業時に説明しますので、履修を検討する人はできるだけ欠席しないようにしてください。			
講義スケジュール			
①イントロダクション			

B107 東洋美術史概説1 (中国絵画通史1)

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Introduction to History of Oriental Arts 1		
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	教務学生課美術教務担当 TEL: 075-334-2220 FAX: 075-334-2345		
担当教員	竹浪 遠 (美術学部講師)		
開講日程	2016年04月13日 (水) ~ 2016年07月27日 (水) 1講時 09時00分~10時40分 (毎週水曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	入学料: 28,200円 授業料: 科28,800円 聴28,800円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	平常点 (授業参加状況および随時行う小課題) 3割、レポート7割		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
【授業目標】 中国絵画史に関する基礎的な知識と研究方法を習得し、美術研究はもとより製作や鑑賞にも活用できるようになることを目標とする。			
【授業概要】 古代から唐・五代までの絵画状況を現存作品と関連文献によって紹介する。代表的な作品の主題や表現、時代背景に注意し、プロジェクトを用いて解説する。			
【履修上の注意】 東洋美術史概説2とあわせて受講するのが望ましい。			
講義スケジュール			
①授業概要の説明 (ガイダンス) ②美学と芸術・美術 ③中国における芸術・美術の概念 ④中国美術の黎明1 新石器時代~殷周 ⑤中国美術の黎明2 春秋戦国			

⑥古代帝国の造形1 秦	
⑦古代帝国の造形2 前漢	
⑧古代帝国の造形3 後漢	
⑨人物画の発達と画の六法 魏晋南北朝1	
⑩山水画の誕生 魏晋南北朝2	
⑪道釈人物画の隆盛 隋～唐1	
⑫盛唐における山水の変 唐2	
⑬水墨画の成立と樹石画 唐3	
⑭華北山水画の成立 五代1	
⑮江南水墨画の成立 五代2	
⑯レポート提出	
教科書	とくに定めない。各回ごとに講義レジュメを配布する。
参考書	『世界美術大全集 東洋編』全17巻（小学館、1997・2001年） 曾布川寛監修、関西中国書画コレクション研究会編『中国書画探訪-関西の収蔵家とその名品-』（二玄社、2011年）。 ※備考 『論語』『老子』など中国の代表的な古典を読むことを進める。

②日本音楽の音階・リズム	
③日本音楽の楽器	
④日本音楽の楽式と記譜法	
⑤民間芸能の世界その1：日本人の死生観と音楽・芸能	
⑥民間芸能の世界その2：寺院に伝わる音楽・芸能	
⑦民間芸能の世界その3：神社に伝わる音楽・芸能	
⑧雅楽その1：楽器法と記譜法	
⑨雅楽その2：管絃・舞楽・催馬楽	
⑩雅楽その3：雅楽の音楽様式いとむかし	
⑪雅楽その4：舞楽の動作様式いとむかし	
⑫声明その1：声明とは	
⑬声明その2：各宗派のさまざまな声明	
⑭平曲一語り物の音楽ーまとめ	
教科書	月溪恒子『日本音楽との出会いー日本音楽の歴史と理論』（2010年、東京堂出版）
参考書	なし

B108 日本音楽史 I

科目等履修生/聴講生

英文科目名	History of Japanese Traditional Music I		
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	教務学生課音楽教務担当 TEL：075-334-2222 FAX：075-334-2345		
担当教員	田鍬 智志（日本伝統音楽研究センター）		
開講日程	2016年04月15日（金）～2016年07月15日（金） 2講時 10時40分～12時10分（毎週金曜日） ※以下の祝日は開講 2016年4月29日（金・祝）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	入学料：28,200円 授業料：科28,800円 聴28,800円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	出席・小レポート・テストを総合的に評価する。授業期間内に日本伝統芸能のイベント・演奏会や祭礼法会の音楽・芸能の鑑賞・調査を課す。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
【授業目標】 古代中世日本音楽史・日本音楽理論・こんにちの民間芸能の伝承などについて学ぶ。			
【授業概要】 本講義では、まず日本音楽各ジャンルの音階・リズム・記譜法などを俯瞰した上で、平安時代もしくはそれ以前に輸入・成立した音楽芸能のうち、雅楽・声明などを中心にする。一方、こんにち民間にうけつがれている芸能・音楽の伝承変化のしかたや宗教的意義についてものべる。			
【履修のポイント、留意事項】 さまざまな視聴覚資料鑑賞を通して日本音楽に対する理解を深める。また必要に応じて楽器試奏、歌唱等の実習も行う。			
講義スケジュール			
①日本音楽概観			

B109 日本美術史（彫刻）1

科目等履修生/聴講生

英文科目名	History of Japanese Fine Arts 1		
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	教務学生課美術教務担当 TEL：075-334-2220 FAX：075-334-2345		
担当教員	礪波 恵昭（美術学部准教授）		
開講日程	2016年04月14日（木）～2016年07月28日（木） 1講時 09時00分～10時30分（毎週木曜日）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	入学料：28,200円 授業料：科28,800円 聴28,800円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	40	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	学期末の試験の成績を重視し、出席状況も加味して評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
【授業目標】 日本彫刻史に関する専門的な研究の実例を学ぶことによって、この分野の基礎的な研究成果を知るとともに、創作に活用し、研究方法を身につけることを目標とする。			
【授業概要】 「日本仏像史」日本では仏教文化の展開に伴い、多くの仏像が作られてきた。本授業では、重要かつ優れた作品が残されている飛鳥時代・7世紀から鎌倉時代・13世紀までを中心に、日本の仏教彫刻の様式展開を講義する。			
【履修上の注意】 予備知識は特に必要としない			
講義スケジュール			
①イントロダクション			
②仏像の基礎知識（1）日本の仏像の種類（図像）			
③仏像の基礎知識（2）素材と技法			
④飛鳥時代（前期）			
⑤飛鳥時代後期（白鳳期）			
⑥奈良時代前期			
⑦奈良時代後期			
⑧平安時代前期			

- ⑨平安時代後期 (1)
- ⑩平安時代後期 (2)
- ⑪鎌倉時代前期 (1)
- ⑫鎌倉時代前期 (2)
- ⑬鎌倉時代後期
- ⑭鎌倉時代の彫刻の諸相
- ⑮総括
- ⑯試験

教科書	なし。必要資料は全て配布する。
参考書	水野敬三郎監修『日本仏像史』(美術出版社)

B110 日本美術史概説

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Introduction to History of Japanese Fine Arts		
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	教務学生課美術教務担当 TEL: 075-334-2220 FAX: 075-334-2345		
担当教員	田島 達也 (美術学部准教授)		
開講日程	2016年04月12日 (火) ~ 2016年07月26日 (火) 2講時 10時40分~12時10分 (毎週火曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	入学料: 28,200円 授業料: 科28,800円 聴 28,800円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	70	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	授業内容にもとづくペーパーテストをおこなう。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
【授業目標】 日本美術史についての基本知識を身につける。専門用語, ジャンルや時代区分を知り, 各時代の代表的な作品の特徴を理解する。			
【授業概要】 ほぼ時代順に日本美術の代表的な作品を紹介する。特に絵画史を中心とする。			
講義スケジュール			
①日本美術史の基本文献 ②仏教美術1 ③仏教美術2 ④やまと絵・絵巻 ⑤中世絵画 ⑥狩野派1 ⑦狩野派2 ⑧近世初期風俗画 ⑨琳派 ⑩浮世絵 ⑪写生画 ⑫文人画 ⑬工芸と絵画 ⑭近代日本画 ⑮京都芸大と近代美術 ⑯試験			
教科書	なし		
参考書	授業中に指示する。		

B113 近現代史特講c (世界)

科目等履修生

英文科目名			
大学名	京都橋大学		
連絡先	学務第1課 TEL: 075-574-4324 FAX: 075-574-4134		
担当教員	南 直人 (文学部歴史学科教授)		
開講日程	2016年04月07日 (木) ~ 2016年08月03日 (水) 2講時 10時45分~12時15分 (毎週木曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科32,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	80	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	小テスト (70%) 参加度 (30%) 小テストを頻繁に行います。不受験への救済措置はありません。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	授業で紹介した文献に広く目を通していただくこと		
講義概要・到達目標			
【テーマ】 ヨーロッパの近現代史をより深く考察する			
【授業の到達目標】 ヨーロッパの近現代の歴史を食生活・食文化にかかわるさまざまなテーマから検討し、ヨーロッパ近現代史についての理解を深める。			
【授業の概要】 食の歴史の意義についての一般的な考察から具体的な内容へと展開していく。16世紀以降のヨーロッパの食の歴史をグローバルに見ていく。			
講義スケジュール			
第1回 食の歴史の意義 第2回 ヨーロッパの食文化の特質 第3回 香辛料の世界史的役割 第4回 「コロンブスの交換」(1) 第5回 「コロンブスの交換」(2) 第6回 「コロンブスの交換」(3) 第7回 ジャガイモとトウモロコシ 第8回 コーヒー・茶・砂糖と植民地支配 (1) 第9回 コーヒー・茶・砂糖と植民地支配 (2) 第10回 ドイツにおけるコーヒー 第11回 工業化による食の変化 (1) 第12回 工業化による食の変化 (2) 第13回 ヨーロッパ的食生活の成立 (1) 第14回 ヨーロッパ的食生活の成立 (2) 第15回 まとめ・総括			
教科書	使用しない		
参考書	1. <食>から読み解くドイツ近代史 南直人 ミネルヴァ書房 2015 2. 世界の食文化 (シリーズ) 石毛直道監修 農文協 2003~2008		

B114 古都学 I

科目等履修生

英文科目名	Studies on Kyoto I		
大学名	京都橋大学		

連絡先	学務第1課 TEL: 075-574-4324 FAX: 075-574-4134		
担当教員	巽 淳一郎 (文学部歴史遺産学科教授)		
開講日程	2016年04月07日 (木) ~2016年08月03日 (水) 2講時 10時45分~12時15分 (毎週木曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科32,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	80	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	試験 (60%) 授業中課題 (10%) 参加度 (30%) 試験できばえ、参加度、課題の達成度等をもとに評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	高校教科書レベルの日本史もしくは世界史の知識を前提として講義が進められます。		
講義概要・到達目標			
【テーマ】 日本古代都城の変遷と各都城の特質を考える。			
【授業の到達目標】 都城の変遷を理解し、東アジアの都城との違いを捉えること。			
【授業の概要】 毎回、プリントを配布し、それに基づき講義する。			
講義スケジュール			
第1回	都城成立以前の豪族居館。歴代遷宮。		
第2回	飛鳥の諸宮1 (豊浦宮・小墾田宮)。		
第3回	飛鳥の諸宮2 (岡本宮・百濟宮・板蓋宮)。		
第4回	孝徳朝前期難波宮の構造。		
第5回	飛鳥の諸宮3 (後岡本宮・飛鳥浄御原宮)。		
第6回	朝鮮三国の都城1 高句麗の都城の構造。		
第7回	朝鮮三国の都城2 百濟の都城の構造。		
第8回	朝鮮三国の都城3 新羅の都城の構造。		
第9回	本格的な都城 藤原宮の成立。		
第10回	藤原宮の構造。		
第11回	平城宮・京の成立と構造。		
第12回	唐長安城の構造。		
第13回	藤原宮・平城宮・長安城の比較検討。		
第14回	恭仁宮・紫香楽宮・後期難波宮・長岡宮。		
第15回	都市住民の生活実体。		
第16回	試験。		
教科書			
参考書			

B115 文献史料学Ⅱ

科目等履修生

英文科目名	Reference of Historical-records II		
大学名	京都橋大学		
連絡先	学務第1課 TEL: 075-574-4324 FAX: 075-574-4134		
担当教員	有坂 道子 (文学部歴史学科准教授)		
開講日程	2016年04月07日 (木) ~2016年08月03日 (水) 3講時 13時00分~14時30分 (毎週火曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期

受講料	科32,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	80	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	小テスト (50%) 参加度 (50%)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
【テーマ】 文献史料を読む			
【授業の到達目標】 史料を読み解く力を身につける			
【授業の概要】 江戸時代の古文書の翻刻史料を用いて、古文書に関する基礎的な知識を身につけ、古文書の読み方・解釈の仕方を学ぶ。			
【準備学習 (予習・復習)】 必ず復習をし、できるだけ予習をすること。また、博物館・美術館の展示を積極的に見学すること。			
講義スケジュール			
第1回	江戸時代の文献史料		
第2回	史料を読むために		
第3回	古文書の基礎知識 (1)		
第4回	古文書の基礎知識 (2)		
第5回	文献史料の読み方・調べ方 (1)		
第6回	文献史料の読み方・調べ方 (2)		
第7回	古文書を読む一文書から知る江戸時代 (1)		
第8回	古文書を読む一文書から知る江戸時代 (2)		
第9回	古文書を読む一文書から知る江戸時代 (3)		
第10回	古文書を読む一文書から知る江戸時代 (4)		
第11回	古文書を読む一文書から知る江戸時代 (5)		
第12回	古文書を読む一文書から知る江戸時代 (6)		
第13回	古文書を読む一文書から知る江戸時代 (7)		
第14回	古文書を読む一文書から知る江戸時代 (8)		
第15回	まとめと総括		
教科書	使用しない		
参考書			

B117 観光人類学

科目等履修生

英文科目名	Tourist Anthropology		
大学名	平安女学院大学		
連絡先	京都キャンパス 教務チーム TEL 075-414-8160 FAX 075-414-8159		
担当教員	高橋 義人		
開講日程	2016年04月14日 (木) ~2016年07月28日 (木) 2講時 10時50分~12時20分 (毎週木曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	40,000円 (選考料10,000円別途必要)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	70	京カレッジ定員	10

試験・評価方法	授業参加度30%、小テスト20%、 期末レポート50% 合計100% 本やネットを丸写ししたレポートは認めない。
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	
その他特記事項	女子のみ受講可
講義概要・到達目標	
<p>【講義概要】 「ヨーロッパの祭り」と古代ゲルマン信仰」がテーマ。ドイツ、オーストリア、スイスのアルプス地方、またブルガリアやラトヴィアなどには、キリスト教以前に由来すると思われる太古の祭りがいまだに残っている。観光人類学の対象となるこれらの祭りを訪ね、キリスト教以前の古代ゲルマン信仰を探るのが、本講義の目的である。</p> <p>みなさんは、かつてヨーロッパで一年は冬と夏に二分されていて春や秋はなかったこと、新年は1月1日ではなく、11月11日と5月1日に始まっていたことをご存知でしょうか。あるいはヨーロッパでは今でもサンタクロース（聖ニコラウス）は12月25日ではなく、12月6日にやってくることをご存知でしょうか。12月25日にサンタクロースがやってくるというのは、アメリカや日本で誤って導入された風習だということをご存知でしょうか。</p> <p>本授業では、聖マーティン祭から聖ニコラウス祭、クリスマスを経て、カーニバルや復活祭や五月祭にいたるさまざまな祭りを考察しながら、これらの祭りの真の姿に迫り、これらの祭りがいつはキリスト教の祭りではなく、古代ゲルマン信仰に起源を有する太古の習俗であることを明らかにする。そしてこれらの習俗が日本の「なまはげ」や中国に由来する追儺式と有する親縁関係についても論じる。</p> <p>授業では、ビデオやスライドを多用する。</p>	
<p>【到達目標】 日本とヨーロッパの祭りの基本精神がじつはきわめて近い親縁関係にあることを知り、ヨーロッパを少しでもこれまでとは違った姿で見る眼を養うこと。</p>	
講義スケジュール	
<p>(1) 観光人類学とは何か (2) 復活祭 (3) 聖霊降臨祭 (4) 五月祭 (5) ヴァルプルギスの夜と魔女の宴 (6) 聖マーティン祭 (7) ハロウィン (8) 聖ニコラウス祭 (9) 動植物への変身 (10) 神の兄弟としての悪魔 (11) 待降節 (12) クリスマス市 (13) クリスマスツリー (14) ドイツのカーニバル (15) ヴェネツィアのカーニバル</p>	
教科書	なし
参考書	芳賀日出男・高橋義人（共著）『ヨーロッパ古層の異人たち』（東京書籍、2003年）

B118 特殊講義（映像学）「映像文化のアーカイブ」／WM

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Lectures (Advanced I)
大学名	立命館大学
連絡先	【教務課】 TEL：075-466-3350
担当教員	松本 夏樹

開講日程	2016年4月7日（木）～2016年7月14日（木） <毎週木曜日> 5時限：16：20～17：50 6月4日（土）は授業日です。		
開講日程	<教室案内> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf ※休講になった場合などは、4/30（土）、5/14（土）、6/18（土）、7/2（土）、7/16（土）、7/20（水）に補講を行うことがあります。		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生：63,000円 ・聴講生：37,600円		
会場	衣笠キャンパス		
授業定員	170	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	<p>【レポート試験】70% 受講生の到達目標に対応して、授業での扱ったいくつかのテーマから受講生の関心に基づいてひとつのテーマを選び、それについて考えを問うもの。授業内で公開された映像機器による体験をもとに論理的説得力をもって記述されているかを評価する。</p> <p>【平常点】30% 受講生の到達目標に対応して、毎回授業内で公開された映像機器による体験とその説明に基づいて、その内容をまとめたレポートを作成する。その理解度とともに、客観性や倫理的についても評価する。</p>		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。</p> <p>【諸手続】（単位互換生のみ） 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html</p>		
講義概要・到達目標			
<p>【授業の概要と方法】 可能な限り当時実際に使用された機器を使って「映像史」、特に日本のその流れを体験的にとらえ、幻燈（スライドプロジェクター）から映画への移行期の映像技術的推移とその後の家庭内での映像（9.5ミリ・16ミリ・35ミリフィルムの上映）を見ていく。</p> <p>【受講生の到達目標】 いわゆるメジャーな日本映画史や映像史のみならず、余り注目されることのない私的な映像の受容史にも注意を払えるように、概括的な流れを把握することを目標とします。</p>			
講義スケジュール			
1 オリエンテーション			
2 西洋幻燈史 第63回 国際フィルム・アーカイブ連盟 東京会議2007 第40回 イメージライブラリー映像講座 http://img-lib.musabi.ac.jp/event/event_40.html 福島可奈子修論・第五章「トイフィルムの家庭内受容と子供の創作的アプローチ」			
3 座敷影絵と写し絵 映画渡来前後の家庭用映像機器—幻燈・アニメーション・玩具映画—（改訂稿）			

新発見の江戸期の木製木製幻燈に関する考察

- 4 座敷影絵と写し絵 (実演)
- 5 明治幻燈史
映画渡来前後の家庭用映像機器—幻燈・アニメーション・玩具映画—
(改訂稿)
映像文化の一潮流
- 6 明治幻燈史 (実演)
- 7 ゴートロープ、ステレオスコープ、写真鏡その他
- 8 活動写真史 (35mmトイフィルム以前)
映画渡来前後の家庭用映像機器—幻燈・アニメーション・玩具映画— (改訂稿)
- 9 活動写真史 (35mmトイフィルム)
福島可奈子修論・第三章「トイフィルム産業とその文化的特徴」
- 10 活動写真史 (9.5mm、16mm)
- 11 紙フィルム
第63回 国際フィルム・アーカイブ連盟 東京会議2007
- 12～15 総論

教科書	
参考書	(書名) 日本映画の誕生 (日本映画史叢書) (著者) 岩本憲児 (出版社) 森話社 【参考になる WWW ページ】 松本夏樹の驚異の筆筒 http://www.wunderkabinet.org/

B119 経済思想史

科目等履修生

英文科目名	History of Economic Ideas		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教育学部 TEL: 075-645-7891 FAX: 075-643-5021		
担当教員	小峯 敦 (経済学部 教授)		
開講日程	2016年04月15日 (金)～2016年07月22日 (金) 2講時 10時45分～12時15分 (毎週金曜日) ※開講2016/4/29 (金・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	20,000円		
会場	深草学舎		
授業定員	170	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	平常点: 25% 毎回、数行の感想文・質問文を提出する。 レポート: 35% レポートの技法に慣れるため、簡単なレポートを中間地点で課す。 定期試験: 40% 最終試験は平易な確認テストになる予定。		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に記		

その他特記事項	載します。 【定期試験について】 本講義の定期試験は、8月5日 (金) 10時30分～11時30分の時間帯に行われます。 ご留意ください。
---------	---

講義概要・到達目標

講義概要
 ●「経済思想史」は特定の時代・国に焦点を当て、その経済的な思考の変遷や特徴を指摘していきます。「経済学史」を通史(時間順の概観)とすれば、「経済思想」はその特定問題研究ということになるでしょう。また、近接の分野に社会思想史・科学史があります。またマクロ経済学・経済史などに多くの関連項目があります。

●今年度は特に「地震・戦争・福祉・平和の経済思想家たち」を講義します。場所はイギリス (一部に日本)、時代は18世紀から21世紀までが中心になるでしょう。今年はヨーロッパの文明を崩壊させかけた第一次世界大戦が勃発してちょうど102年目です。この混乱から、ケインズ等の経済学者はどのような安定化装置を求めたのか。また、戦争は人災ですが、地震などの天災による文明の崩壊の可能性も視野に入れたいと思います。例えば1755年のリスボン地震です。この地震はヴォルテール・ルソー・カントに思想的転換を迫るほどの衝撃を与えました。それだけでなく、経済学の祖であるアダム・スミスにも大きな影響を与えたはずで

●本年度はこうした人災や天災による虚無・大混乱から、経済思想家たちがいかに安定や正義や平和を求めたかに注目します。

到達目標
 (主たる) 経済学者が地震・戦争・福祉・平和をどのように扱ってきたかを確認する。
 (従たる) その議論を現代の政策に関して、判定基準に活用する。

講義方法
 板書中心。
 時々補助映像を用いて、思想を生み出したイギリスの文化・風土を体感する。

講義スケジュール

- 第01回 講義の目的と評価方法
- 第02回 アダム・スミスの誕生
- 第03回 ベンサムと安心
- 第04回 マルサスの陰鬱
- 第05回 J.S.ミルの論理
- 第06回 マーシャルの倫理
- 第07回 ピグーとホブソン
- 第08回 中間レポートの作成
- 第09回 ウェッブ夫妻の進取
- 第10回 福田徳三の求道
- 第11回 ケインズの文明
- 第12回 ベヴァリッジの福祉国家
- 第13回 ポランニーの大転換
- 第14回 ミュルダールの福祉世界
- 第15回 地震・戦争・福祉・平和の経済思想家たち

教科書	小峯 敦編『(増補改訂版) 福祉の経済思想家たち』(ナカニシヤ出版) 2,500円 (ISBN: 978-4779504556)
参考書	小峯 敦『(改訂新版) ワークブック経済思想』(日本教育訓練センター) 1,000円 (ISBN: 9784931575752)

B120 古文書学 I

科目等履修生

英文科目名	Paleography I
大学名	華頂短期大学
連絡先	学生部修学支援課 TEL: 075-551-1282 FAX: 075-551-1450

担当教員	伊藤 真昭 (歴史学科教授)		
開講日程	2016年09月29日 (木) ~ 2017年01月19日 (木) 5講時 16時20分~17時50分 (毎週木曜日) ※12/24 (土) 木曜授業です ※12/29・1/5 授業はありません。		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	20,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	平常試験 (80%) 平常点 (20%) 平常試験 (筆記)		
超過時の選考方法			
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
【サブテーマ】 古文書ってなに？			
【授業の概要】 古文書 (こもんじょ) の様式・かたちを学び、読解のための必要な基礎的文字にふれてみよう。わからないところは友達と相談してもかまいません。			
【到達目標】 1) 漢字の部品として、へん、つくり、かんむり、あし、かまえを識別できるようにすること。 2) 数字、単位、人名、地名が読めるようになること。 3) 老舗の看板ぐらいを読めるようになること。			
【留意事項】 日ごろの予習・復習が大事です。適宜小テストも行います。			
講義スケジュール			
第01回 古文書とは (内容) 古文書の定義を説明します。 (必要な準備) 参加する意欲			
第02回 古文書のかたち (内容) 様々なかたちの古文書を紹介します。 (必要な準備) 参加する意欲			
第03回 くずし字の特徴 へん1 にんべん・きへん・さんずいへんなど (内容) なじみのあるへんがどのように崩されているかをみます。 (必要な準備) 参加する意欲			
第04回 くずし字の特徴 へん2 てへん・かねへん・こんべんなど (内容) なじみのあるへんがどのように崩されているかをみます。 (必要な準備) 予習・復習			
第05回 くずし字の特徴 つくり りっとう・おおがい・ぼくづくりなど (内容) なじみのあるつくりがどのように崩されているかをみます。 (必要な準備) 予習・復習			
第06回 くずし字の特徴 かんむり くさかんむり・たけかんむり・あめかんむりなど (内容) なじみのあるかんむりがどのように崩されているかをみます。 (必要な準備) 予習・復習			
第07回 くずし字の特徴 あし・かまえ・こころ・れっか・さらなど (内容) なじみのあるあし・かまえがどのように崩されているかをみます。 (必要な準備) 予習・復習			
第08回 数字・単位 お米の単位 (内容) 今では使われない数字・単位を読みます。			

(必要な準備) 予習・復習	
第09回 数字・単位 お金の単位 (内容) 今では使われない数字・単位を読みます。 (必要な準備) 予習・復習	
第10回 単位・数字 その他 (内容) 今では使われない数字・単位を読みます。 (必要な準備) 予習・復習	
第11回 江戸時代の人名 右衛門・左衛門 (内容) 江戸時代の人名を読みます。 (必要な準備) 予習・復習	
第12回 江戸時代の人名 兵衛 (内容) 江戸時代の人名を読みます。 (必要な準備) 予習・復習	
第13回 江戸時代の人名 その他 (内容) 江戸時代の人名を読みます。 (必要な準備) 予習・復習	
第14回 まとめ (内容) 平常試験をします (必要な準備) 予習	
第15回 実際の古文書を読む (内容) 毛利輝元・豊臣秀吉の書状を読みます。 (必要な準備) 予習・復習	
教科書	授業中に配布します
参考書	児玉幸多編『くずし字解読辞典』(東京堂出版) があればのぞましい。

B122 妖怪文化論B

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Culture and Conceptions of the Strange B		
大学名	京都学園大学		
連絡先	教育修学支援センター TEL: 075-406-9114 FAX: 075-406-9130		
担当教員	堀田 穰 (人文学部・歴史文化学科教授)		
開講日程	2016年09月27日 (火) ~ 2017年01月17日 (火) 5講時 16時40分~18時10分 (毎週火曜日)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科14,000円 (初回登録時に登録料として30,000円が別途必要) 聴10,000円		
会場	京都亀岡キャンパス		
授業定員	80	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	平常点 (30%) 出席状況等による。レポート (70%)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	【準備学習】 テキストは事前に読んでおくこと。また各講義で参考文献を提示するので、読んで理解を深めるための学習に時間を割く必要がある。 【受講者への要望】 自ら本を読み、現場を歩いて下さい。		
講義概要・到達目標			
【講義概要】 古来、日本人は、身近に、妖怪なる存在を認識してきました。人が病気になるったり、日照りが続いたり、洪水が起こったりした時、人々は、			

その原因を妖怪に求めてきたのです。その正体は、最初は誰も見たことのない、形のない、存在として、気配や音、あるいは匂いや肌で認識していました。つまりそれは、語りの世界でのみ存在していたわけです。後に、日本人はそれを図像化するようになります。それが妖怪画として知られるようになり、現代の私たちにとっては、妖怪を漫画や映画等によって、具体的な姿形と共に、想像するようになっていきます。このように、妖怪なる存在は、語り、文学、絵画、マンガ、映画等で描かれ続けてきた、一つの日本文化の姿なのです。

妖怪文化論Bでは、そのうち特に、描かれた妖怪と、妖怪が跳梁するメディア、表現について論じます。

【到達目標】

妖怪文化論という視点、位置を理解する。

講義スケジュール

- (1) イントロダクション
- I. 絵を解説する
 - (2) 絵を読む方法
 - (3) 図像学
 - (4) 絵引き
 - (5) 絵解き
 - (6) アニメ『平成狸合戦ぽんぽこ』
 - (7) 狸のイメージ
- II. 妖怪の造形
 - (8) 狸という妖怪存在
 - (9) 八百八狸
 - (10) 八百八狸続
 - (11) 絵巻物の表現
 - (12) 絵巻物と芸能
 - (13) 浮世絵の表現
 - (14) 仏教美術の表現
 - (15) 神経にもぐりこんだ妖怪

教科書	小松和彦『妖怪文化論入門』角川ソフィア文庫
参考書	

講義概要・到達目標

【授業目標】

17世紀から20世紀初頭までの西洋美術史を概観し、基本的な知識を得ることを目的とします。また各作品の造形上の特質を言語化して表現する技術も身につけてもらえればと思います。

【授業概要】

17世紀から20世紀までの西洋美術史を通史的に概観し、主だった作家や作品について基本的な知識を確実に身につけてもらいます。毎回の授業中には、作品の比較や記述などの小課題も行ってもらいます。

【履修上の注意】

初回授業時に説明しますので、履修を検討する人はできるだけ欠席しないようにしてください。

講義スケジュール

- ① イントロダクション
- ② バロック美術 (1)
- ③ バロック美術 (2)
- ④ バロック美術 (3)
- ⑤ ロココ美術
- ⑥ 新古典主義とロマン主義
- ⑦ レアリスムの美術
- ⑧ 近代絵画のはじまり
- ⑨ 印象派の画家たち
- ⑩ ポスト印象主義, 新印象主義
- ⑪ 象徴主義と世紀末美術
- ⑫ フォーヴィズムとキュビズム
- ⑬ 20世紀前半の諸潮流 (1) ドイツ表現主義, 未来派, 構成主義など
- ⑭ 20世紀前半の諸潮流 (2) 形而上絵画/シュルレアリスム
- ⑮ 戦後のアメリカ美術
- ⑯ 学期末試験

教科書	授業中にプリント配布します。
参考書	『西洋美術館』小学館, 1999年; 高階秀爾監修『カラー版: 西洋美術史』美術出版社, 増補新装版2002年; 三浦篤『まなごしのレッスン1: 西洋伝統絵画』2001年ほか。授業中にも適宜指示します。

B123 西洋美術史概説2

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Introduction to History of Western Arts 2		
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	教務学生課美術教務担当 TEL: 075-334-2220 FAX: 075-334-2345		
担当教員	深谷 訓子 (美術学部准教授)		
開講日程	2016年09月28日(水)~2017年02月01日(水) 1講時 9時00分~10時30分 (毎週水曜日) 年内は12月21日まで 新年は1月11日から		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	入学料: 28,200円 授業料: 科28,800円 聴28,800円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	各回の授業時の小課題 (20%) レポート (40%) 学期末試験 (40%)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	単独での履修もできますが、基本的に『西洋美術史概説1』の続きですので、先にそちらを履修しておくことをお勧めします。		

B124 東洋美術史概説2 (中国絵画通史2)

英文科目名	Introduction to History of Oriental Arts 2		
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	教務課美術教務担当 TEL: 075-334-2220 FAX: 075-334-2345		
担当教員	竹浪 遠 (美術学部講師)		
開講日程	2016年09月28日(水)~2017年02月01日(水) 1講時 09時00分~10時30分 (毎週水曜日) 年内は12月21日まで 新年は01月11日から		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	入学料: 28,200円 授業料: 科28,800円 聴28,800円		
会場			
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	平均点 (授業参加状況および随時行う小課題) 3割、レポート7割で評価		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			

その他特記事項	
講義概要・到達目標	
【授業目標】	前期の東洋美術史概説1に引き続き、中国絵画史に関する基礎的な知識と研究方法を習得し、美術研究はもとより製作や鑑賞にも活用できるようにすることを目標とする。
【授業概要】	北宋から近代までの絵画状況を現存作品と関連文献によって紹介する。代表的な作品の主題や表現、現代背景に注意し、プロジェクターを用いて解説する。
【履修上の注意】	東洋美術史概説1とあわせて受講するのが望ましい。
講義スケジュール	
①授業概要の説明（ガイダンス）	
②五代までの中国絵画の展開（復習）	
③山水画の黄金期 北宋1	
④郭熙の山水画とその理論 北宋2	
⑤蘇軾周辺の文人画家たち 北宋3	
⑥徽宗とその画院 北宋4	
⑦画院の絵画 南宋1	
⑧禅僧の墨戯 南宋2	
⑨文人の絵画 元1	
⑩元末四大家と李郭派 元2	
⑪浙派の多彩な技巧 明1	
⑫呉派文人画と薫其昌 明2	
⑬南宋正統派の画家たち 清1	
⑭江南諸都市の画派と個性派 清2	
⑮揚州八怪から近代への展開 清3～近代	
⑯レポート提出	
教科書	とくに定めない。毎回ごとに講義レジュメを配布する。
参考書	『世界美術大全集 東洋編』全17巻（小学館、1997～2001年） 曾布川寛監修、関西中国書画コレクション研究会編『中国書画探訪・関西の収蔵家とその名品』（二玄社、2011年）。 ※備考 『論語』『老子』など中国の代表的な古典を読むことを進める。

B125 日本音楽史Ⅱ

科目等履修生/聴講生

英文科目名	History of Japanese Traditional Music II		
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	教務学生課音楽教務担当 TEL：075-334-2222 FAX：075-334-2345		
担当教員	武内 恵美子（日本伝統音楽研究センター）		
開講日程	2016年09月28日（水）～2017年01月18日（水） 4講時 14時40分～16時10分（毎週水曜日） ※年内は12月21日まで 新年は01月11日から		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	入学料：28,200円 授業料：科 28,800円 聴 28,800円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	受講態度30%、中間レポート30%、試験40%で評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			

その他特記事項	
講義概要・到達目標	
【授業目標】	中世～近世の日本音楽史について理解する。
【授業概要】	中世から近世にかけての日本の伝統芸能が、それぞれどのようなものであったのか、それらが相互にどのように関連して存在していたのか等、日本音楽史を有機的に理解することを目指す。
【履修上の注意】	授業期間中に日本伝統音楽研究センターで実施される、授業に関連する企画（伝音セミナー・公開講座等）への出席を求める場合がある。
講義スケジュール	
①中世1 能1	中世を代表する能の歴史等について学習する。
②中世2 能2	能の音楽構造や舞台について学習する。
③中世3 狂言	能と兄弟のような関係である狂言の歴史等について学習する。
④中世4 風流・ややこ踊り	中世に大流行した風流（ふりゅう）の概要、そこから発展し歌舞伎の基となったややこ踊りについて学習する。
⑤近世1 歌舞伎1	近世を代表する歌舞伎の歴史等について学習する。
⑥近世2 歌舞伎2	歌舞伎の演目や演出の約束事、劇場等について学習する。
⑦近世3 文楽	歌舞伎とならんで近世の代表的芸能である文楽について学習する。
⑧近世4 三味線音楽1 浄瑠璃	近世に発展した三味線音楽の分類や浄瑠璃に分類されるジャンルについて学習する。
⑨近世5 三味線音楽2 歌もの	三味線音楽の分類上、浄瑠璃と対の概念である歌ものについて、特に代表的音楽である長唄を中心に学習する。
⑩近世6 地歌・三曲合奏	当道によって伝承された地歌・箏曲とその合奏形態である三曲について学習する。
⑪近世7 琴（七絃琴）1	中国で伝承されてきた七絃琴について、その概要を学習する。
⑫近世8 琴（七絃琴）2 平安時代	日本に将来した琴の平安時代を中心とした展開について学習する。
⑬近世9 琴（七絃琴）3 江戸時代	平安時代に一度廃れ、江戸時代に再興した琴の江戸時代の展開について学習する。
⑭予備・試験	伝音行事参加の予備日および試験実施。
教科書	なし
参考書	なし

B126 日本美術史（彫刻）2

科目等履修生/聴講生

英文科目名	History of Japanese Fine Arts 2		
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	教務学生課美術教務担当 TEL：075-334-2220 FAX：075-334-2345		
担当教員	礪波 恵昭（美術学部准教授）		
開講日程	2016年09月29日（木）～2017年01月26日（木） 1講時 09時00分～10時30分（毎週木曜日） 年内は12月22日まで 新年は01月05日から		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期

受講料	入学料：28,200円 授業料：科28,800円 聴28,800円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	40	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	学期末の試験の成績を重視し、出席状況も加味して評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
【授業目標】 日本彫刻史に関する専門的な研究の実例を多角的に学ぶことによって、研究の展開方法を知るとともに、創作に活用し、研究方法を身につけることを目標とする。			
【授業概要】 「仏像製作技法と工房」 日本の仏像製作技法は、飛鳥時代から複数の技法が用いられたが、平安時代には木造に絞られるようになった。その展開を制作工房と関連させつつ、鎌倉時代までの作例を中心に論じる。			
【履修上の注意】 予備知識は特に必要としないが、前期開講の日本美術史（彫刻）1を履修していることが望ましい。			
講義スケジュール			
①イントロダクション ②日本彫刻史の展開概観 ③飛鳥時代の技法と制作工房（1） ④飛鳥時代の技法と制作工房（2） ⑤飛鳥時代の技法と制作工房（3） ⑥奈良時代の技法と制作工房（1） ⑦奈良時代の技法と制作工房（2） ⑧奈良時代の技法と制作工房（3） ⑨平安時代前期の技法と制作工房（1） ⑩平安時代前期の技法と制作工房（2） ⑪平安時代後期の技法と制作工房（1） ⑫平安時代後期の技法と制作工房（2） ⑬鎌倉時代の技法と制作工房（1） ⑭鎌倉時代の技法と制作工房（2） ⑮総括 ⑯試験			
教科書	なし。必要資料は全て配布する。		
参考書	特にないが、必要があれば授業中に紹介する。		

試験・評価方法	小テスト（70%）参加度（30%） 小テストを頻繁に行います。不受験への救済措置はありません。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
【テーマ】 食という視点からヨーロッパ近現代の歴史を考察する			
【授業の到達目標】 ヨーロッパの近現代の歴史を食生活・食文化にかかわるさまざまなテーマから検討し、ヨーロッパ近現代史についての理解を深める。			
【授業の概要】 ヨーロッパの近代社会の形成と食生活との関わりについて考察する。およびベルリンの歴史遺産を探索することを通じてドイツ近現代史を考察する。			
講義スケジュール			
第1回 食の歴史の意義 第2回 食の産業化（1） 第3回 食の産業化（2） 第4回 食の産業化（3） 第5回 都市化と食の変化（1） 第6回 都市化と食の変化（2） 第7回 都市化と食の変化（3） 第8回 食品偽装問題と食品監視システムの形成（1） 第9回 食品偽装問題と食品監視システムの形成（2） 第10回 食品偽装問題と食品監視システムの形成（3） 第11回 外食の発達（1） 第12回 外食の発達（2） 第13回 ベルリンの歴史を歩く（1） 第14回 ベルリンの歴史を歩く（2） 第15回 ベルリンの歴史を歩く（3）			
教科書			
参考書	1. <食>から読み解くドイツ近代史 南 直人 ミネルヴァ書房 2015年 2. 世界の食文化⑩ドイツ 南 直人 農文協 2003年 3. ヨーロッパの食文化 マッシモ・モンタナーリ 平凡社 1999年		

B127 近現代史特講d（世界）

科目等履修生

英文科目名			
大学名	京都橋大学		
連絡先	学務第1課 TEL：075-574-4324 FAX：075-574-4134		
担当教員	南 直人（文学部歴史学科教授）		
開講日程	2016年09月21日（水）～2017年01月30日（月） 2講時 10時45分～12時15分（毎週木曜日）		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科32,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	80	京カレッジ定員	10

B128 建築遺産研究Ⅱ

科目等履修生

英文科目名			
大学名	京都橋大学		
連絡先	学務第1課 TEL：075-574-4324 FAX：075-574-4134		
担当教員	登谷 伸宏（文学部歴史遺産学科助教）		
開講日程	2016年09月21日（水）～2017年01月30日（月） 1講時 09時00分～10時30分（毎週木曜日）		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科32,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	80	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	試験（60%）参加度（40%）		
超過時の選考方法	書類選考		

別途負担費用	
その他特記事項	
講義概要・到達目標	
【テーマ】 日本建築史を読み解く	
【授業の到達目標】 自分たちの身の回りに存在する歴史的建造物や歴史都市は、どのように成立・展開してきたのだろうか。その答えを、建築・都市遺構や文字・絵画史料を解読することにより見つけられるようになって欲しい。そのための基礎的な力を身につけることを目標とする。	
【授業の概要】日本列島においてどのような建造物・都市がつくられ、時代とともに如何なる空間的・機能的展開を遂げたのかを辿っていく。それとともに、その背景となる各時代の社会・文化や建築技術のあり方についても考えていきたい。なお、各回の内容は変更する可能性がある。	
【準備学習（予習・復習）】 日本建築史に関する概説書・新書・選書を積極的に読むこと。歴史的建造物・歴史都市の見学を積極的に行い、自分自身でそれらを評価する力を養って欲しい。	
講義スケジュール	
第1回 日本の建築技術と大工道具 第2回 日本建築入門 第3回 飛鳥時代の寺院建築 第4回 奈良時代の寺院建築 第5回 天台・真言宗の建築 第6回 顕密仏教の展開と寺院建築 第7回 古代における貴族住宅の成立と展開 第8回 神社本殿の成立 第9回 中世における新様式の移入 第10回 中世における寺社造営と新技術の導入 第11回 中世仏堂の空間と機能 第12回 戦国期京都の空間と社会 第13回 豊臣政権による寺社造営とその技術 第14回 織豊系城郭の成立 第15回 近世民家の類型と地域的特色	
教科書	1. 日本建築史図集 新訂第三版 日本建築学会編 彰国社 2011年
参考書	1. 建築学の基礎6 日本建築史 後藤治 共立出版 2003年

B129 考古学研究Ⅱ

科目等履修生

英文科目名	Study of Archaeology II		
大学名	京都橋大学		
連絡先	学務第1課 TEL：075-574-4324 FAX：075-574-4134		
担当教員	一瀬 和夫（文学部歴史遺産学科教授）		
開講日程	2016年04月07日（木）～2016年08月03日（木） 5講時 16時30分～18時00分（毎週火曜日）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科32,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	80	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	小テスト（10%）授業中課題（45%）授業中発表等（10%）参加度（35%）		
超過時の選考方法	書類選考		

別途負担費用	
その他特記事項	
講義概要・到達目標	
【テーマ】 考古学コンテキストの過去を読み取り、活用する。	
【授業の到達目標】 社会と考古学との関わりあいの中で根本的な考古学の方法論を探り、その一般法則性と概念的变化を理解するとともに、先学の過去の解釈と現代社会と考古学の関わりも考える。そして、考古学を自己の創造的な活動へと応用するために備える。	
【授業の概要】 考古学のもつ多様性をまず理解し、多角的な方法論と理論展開を知る。そして、具体例をゲストをまじえ検討しつつ、フィールドに出向き今後の考古学のあり方を考える。	
【準備学習（予習・復習）】 発掘調査記事の新聞切抜きと発掘調査（現地説明会等）・史跡整備地の見学	
講義スケジュール	
第1回 考古学の文化解釈法（1）遺跡の分布 第2回 考古学の文化解釈法（2）集落形態と遺構の分布 第3回 考古学の文化解釈法（3）古墳時代の機能的集落の空間構成 第4回 考古学の文化解釈法（4）遺物の形態と機能の分析 第5回 歴史解釈法（1）自然のしわざ、偶然か必然か、二粒の粉：歴史はだれのものか（過去と現代） 第6回 歴史解釈法（2）考古学データの間を読む、経済史的な歴史の諸段階 第7回 過去の文化的意味（1）「もの」のもつ意味とコンテキスト 第8回 過去の文化的意味（2）『達成された』と『選択する』 第9回 過去の文化的意味（3）非連続の歴史 第10回 考古学と現代社会（1）考古学と社会との関わりあい、土地に刻まれたパブリック・アーケオロジー 第11回 考古学と現代社会（2）在野の考古学 第12回 考古学と現代社会（3）遺跡の価値観、五色塚古墳の整備 第13回 考古学と現代社会（4）考古資料の公開・展示、考古学のハンズ・オンとワークショップに向けて 第14回 考古学と現代社会（5）考古学への一般評価に向けて 第15回 これからの考古学	
教科書	1. 考古学の研究法 一瀬和夫 学生社 2013
参考書	1. 考古学研究入門 H・J・エガース著、田中琢・佐原真訳 岩波書店 1981 2. 考古学への招待 ジェイムズ・ディーツ著、関俊彦訳 雄山閣出版 1988 3. 過去を読む イアン・ホッダー著、深澤百合子訳 フジインターナショナルプレス 1997 4. 考古学—理論・方法・実践— コリン・レンフルー、ポール・バーン 東洋書林 2007

B130 美術工芸史研究Ⅰ

科目等履修生

英文科目名	Study of History of Arts and Crafts I		
大学名	京都橋大学		
連絡先	学務第1課 TEL：075-574-4324 FAX：075-574-4134		
担当教員	小林 裕子（文学部歴史遺産学科准教授）		
開講日程	2016年04月07日（木）～2016年08月03日（木） 2講時 10時45分～12時15分（毎週火曜日）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科32,000円		

会 場	科目開設校キャンパス		
授 業 定 員	80	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	小テスト(30%) 授業中課題(50%) 参加度(20%)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	漢和辞典(電子辞書可)を持参するとよい。		
講義概要・到達目標			
【テーマ】 京都彫刻史論			
【授業の到達目標】 京都の寺院に安置されている仏像を通じて、そのかたちの理解はもとより従来の研究方法や研究史を知ることにより、歴史遺産を観察する客観的な視点を養うことを目標とする。			
【授業の概要】 本講義では、わが国の至宝たる京都の仏像の制作背景や宗教観を画像や文献から理解しつつ、作品が我々に語りかけるものを感じてとってもらいたい。なお、学外見学を実施する。			
【準備学習(予習・復習)】 実際に寺院に足を運び、信仰対象としての作品の姿を実感する。			
講義スケジュール			
第1回 日本彫刻史入門1 第2回 日本彫刻史入門2 第3回 東寺兜跋毘沙門天像 第4回 広隆寺講堂諸像 第5回 宝菩提院菩薩半跏像 第6回 神護寺薬師如来像 第7回 笠置の弥勒と大野の弥勒 第8回 清涼寺釈迦如来像 第9回 六波羅蜜寺の仏像 第10回 学外見学 第11回 蓮華王院千手観音像 第12回 平等院鳳凰堂阿彌陀如来像 第13回 浄瑠璃寺厨子入吉祥天像 第14回 永観堂見返り阿彌陀 第15回 総括			
教 科 書			
参 考 書	1. カラー版日本彫刻史 水野敬三郎 美術出版社		

超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	
その他特記事項	
講義概要・到達目標	
【テーマ】 仁徳陵古墳と世界遺産の関係をみる	
【授業の到達目標】 日本での世界遺産の登録とはいったい何か、文化財保護といかなる関係にあるのか。世界遺産の暫定リストにある「百舌鳥・古市古墳群」のうち仁徳陵古墳の文化財的な普遍的価値を中心に見学・検討することで、日本社会における文化財の保存、公開、活用のあり方を具体的に考えてみる。	
【授業の概要】 日本での世界遺産のあり方、「百舌鳥・古市古墳群」のうち仁徳陵古墳の実態を知る講義が中心である。学外授業を一部含む。講師を招いて講演会を含む。	
【準備学習(予習・復習)】 世界的な視座をもって、まちと歴史遺産の調和関係を考えてみる。	
講義スケジュール	
第1回 世界遺産とは 第2回 世界遺産の登録とは 第3回 仁徳陵古墳の評価とは 第4回 古墳時代のシンボル 第5回 あばかれた内部 第6回 仁徳陵古墳の話題性 第7回 墳丘の復原 第8回 埴輪と須恵器 第9回 古墳時代のネットワーク 第10回 古墳時代の空間イメージ 第11回 仁徳陵古墳の見学(学外授業) 第12回 陵墓としての仁徳陵古墳 第13回 百舌鳥・古市古墳群の世界遺産の登録要件とは 第14回 百舌鳥・古市古墳群の顕著な普遍的価値とは 第15回 文化財保護と世界遺産登録の関係を展望する	
教 科 書	1. 古墳時代のシンボル・仁徳陵古墳 一瀬和夫 新泉社 2009
参 考 書	

B131 歴史遺産研究 I

科目等履修生

英文科目名			
大 学 名	京都橘大学		
連 絡 先	学務第1課 TEL: 075-574-4324 FAX: 075-574-4134		
担当教員	一瀬 和夫(文学部歴史遺産学科教授)		
開 講 日 程	2016年09月21日(水)~2017年01月30日(月) 5講時 16時30分~18時00分(毎週木曜日)		
単 位 数	2	開 講 区 分	後期・秋学期
受 講 料	科32,000円		
会 場	科目開設校キャンパス		
授 業 定 員	80	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	授業中課題(40%) 授業中発表等(20%) 参加度(40%)		

B132 日本年中行事論：日本の年中行事について考える

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Annual Events in Japan		
大 学 名	京都ノートルダム女子大学		
連 絡 先	京都ノートルダム女子大学 教務部教務課 TEL: 075-706-3745 FAX: 075-706-3790		
担当教員	堀 勝博(人間文化学部人間文化学科教授)		
開 講 日 程	2016年09月28日(水)~2017年01月25日(水) 3講時13時10分~14時40分(毎週水曜日) ※休講2016/11/23(水・祝)、2016/12/28(水)、 2017/01/04(水)		
単 位 数	2	開 講 区 分	後期・秋学期
受 講 料	科目等履修 40,000円(本学卒業生は20,000円) 聴講 20,000円(本学卒業生10,000円)		
会 場	科目開設校キャンパス		
授 業 定 員		京カレッジ定員	5

試験・評価方法	授業態度の評点40%、定期試験の成績60%で評価する。ただし、出席回数が総授業時数の3分の2に満たない者は、不合格とする。
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	
その他特記事項	<通学に関する注意事項> 本学への通学は公共交通機関をご利用ください。 50ccを超えるバイクおよび自家用車での通学は認められておりません。また、自転車および50cc以下のバイクでの通学は登録制となっております。
講義概要・到達目標	
1.科目の教育目標 日本には、さまざまな年中行事が今も行われているが、それぞれがどのような由来をもち、どのような意味をもつものであるのかということについては、存外知られていない。正月にしめ縄を飾るのはなぜ？盆踊りは、何の意味がある？—この授業は、そのようにわれわれが忘れてしまった年中行事の意味について、由来や歴史をたどりつつ考察することを目的とする。	
2.教育・学習の個別課題 ①日本の年中行事にはどのようなものがあるかを知る ②日本の年中行事の特徴について学ぶ ③日本の年中行事の由来や歴史について探求する ④年中行事と関りの深い暦法について理解する ⑤日本の年中行事にゆかりのある名所・旧蹟に出かけ、実地で学習を深める（受講者多数の場合は実施せず）	
3.教育・学習の方法 ①日本の主な年中行事の由来や意味について、講義形式で解説する ②日本年中行事を記録した画像や映像を見る ③京都市内の寺社へ出かけ、年中行事について、実地学習を行う、もしくは京都の寺社関係者を講師としてお招きし、年中行事に関する特別講義をしていただく（下鴨神社を予定）	
4.準備学習の具体的な方法 ①事前にテキストを読んでくること ②事前に指示された調査課題・発表課題を準備してくること	
講義スケジュール	
第01回 年中行事とは何か（導入授業） 第02回 日本文化と日本年中行事 第03回 日本年中行事の種類 第04回 日本年中行事の特徴 第05回 日本年中行事の研究手法 第06回 日本年中行事の発祥と暦法 第07回 日本年中行事と改暦 第08回 日本年中行事各論—正月と年越し 第09回 正月行事の諸相 第10回 フィールドワークまたは特別講義 第11回 小正月の行事 第12回 フィールドワークまたは特別講義 第13回 雑祭り、涅槃会、彼岸、七夕など 第14回 盂蘭盆、中秋、重陽、七五三など 第15回 京都の祭り—祇園祭を中心に	
教科書	『日本年中行事論講義資料集・同別冊』堀勝博、京都ノートルダム女子大学、平成23年
参考書	1.『日本年中行事辞典』鈴木棠三、角川書店 2.『日本民俗事典』弘文堂、大塚民俗学会 3.『年中行事大辞典』加藤友康他、吉川弘文館

B135 複合領域科目2-89（朝鮮植民地問題入門）

聴講生

英文科目名	Introduction to the History of Japanese Colonial Rule in Korea.
-------	---

大学名	同志社大学		
連絡先	今出川キャンパス教務センター（経済学部・経済学研究科） TEL 075-251-3521 FAX 075-251-3064		
担当教員	福岡 正章（経済学部 教授） 板垣 竜太（社会学部 教授） 小川原 宏幸（グローバル地域文化学部 准教授） 太田 修（グローバル・スタディーズ研究科 教授） 他		
開講日程	2016年10月05日（水）～2017年01月25日（水） 1講時 09時00分～10時30分（毎週水曜日） ※休講2017/01/04（水）		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	聴22,000円		
会場	今出川キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	
試験・評価方法	・平常点（出席、クラス参加、グループ作業の成果等）60% 出席カードに授業の感想や質問などを書いて毎回提出する。 ・期末試験 40% 提示された論題について論じる。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
<概要> 「京都コリア学コンソーシアム」（2012年4月発足）の所属教員によるリレー講義。本学の社会学部、経済学部、グローバル地域文化学部、グローバル・スタディーズ研究科の教員のほか、立命館大学・佛教大学・京都大学の教員をゲスト・スピーカーとして招き、合わせて7名の講師がそれぞれ2回ずつ各自の専門のテーマについて講義を行う。今年度は日本の朝鮮植民地支配に焦点を当て、植民地化・脱植民地化の過程から現代にいたる諸問題をトピックス的に取り扱う。本講義は「大学コンソーシアム京都」の単位互換科目として提供されるため、京都地域の諸大学の学生たちと触れ合う機会になると期待される。			
<到達目標> 日本の朝鮮植民地支配に関する事実を確認し、植民地支配に起因する現代の問題をより深く理解できるようにする。			
講義スケジュール			
第01回 朝鮮の工業化と生活水準の変化1（福岡正章） 第02回 朝鮮の工業化と生活水準の変化2（福岡正章） 第03回 植民地統治と朝鮮の「親日派」1（ゲストスピーカー：李昇燁） 第04回 植民地統治と朝鮮の「親日派」2（ゲストスピーカー：李昇燁） 第05回 植民地朝鮮における文化財調査をめぐって1（ゲストスピーカー：吉井秀夫） 第06回 植民地朝鮮における文化財調査をめぐって2（ゲストスピーカー：吉井秀夫） 第07回 日本の朝鮮植民地化と韓国併合1（小川原宏幸） 第08回 日本の朝鮮植民地化と韓国併合2（小川原宏幸） 第09回 朝鮮人戦時強制動員の構造と戦後補償（ゲストスピーカー：庵途由香） 第10回 日本軍「慰安婦」問題とは（ゲストスピーカー：庵途由香） 第11回 植民地・戦時下の教育（太田修） 第12回 植民地・戦時下の学校生活（太田修） 第13回 植民地支配責任とは何か1（板垣竜太） 第14回 植民地支配責任とは何か2（板垣竜太） 第15回 授業内評価			
教科書	テキストや参考文献などは、そのつど担当者が指示する		
参考書	http://kyoto-korea.net 2012年4月に発足した「京都コリア学コンソーシアム」のウェブサイトです。イベント情報などが掲載されます。		

B136 イギリス文学史

科目等履修生/聴講生

英文科目名	History of English Literature		
大学名	同志社女子大学		
連絡先	◆本学今出川キャンパス開講 教務課 TEL : 075-251-4127 FAX : 075-251-4277		
担当教員	甲元 洋子 (表象文化学部教授)		
開講日程	2016年09月28日 (水) ~ 2017年01月25日 (水) 2講時 11時00分~12時30分 (毎週水曜日) ※開講 2016/11/23 (水・祝) ※休講 2016/10/26 (水)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科44,000円 (登録料24,000円・受講料20,000円)、 聴8,000円		
会場	今出川キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	毎回の提出物すなわちミニ・テストの成績やコメントの内容 (40%) と学期末の筆記試験 (60%) により評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	過去に「イギリス文学史Ⅰ」を受講した学生は、同一科目のため登録できません。		
講義概要・到達目標			
授業テーマ： 文学から見るイギリスの歴史			
授業目標： イギリスの文学作品を歴史の流れに沿って学びながら、イギリス文学の基礎知識を習得する。			
講義スケジュール			
各回の授業内容： 1. イントロダクション：イギリス文学の魅力 2. 神の豊かさ：チャーサーの中世絵巻 3. パラッドの魅力 4. 理想都市ユートピア 5. イギリスの演劇 6. シェイクスピアの魅力 7. 孤高の大詩人ミルトン 8. 偉大なる辞書編纂者ジョンソン博士 9. 古典主義からロマン主義へ 10. ロマン主義文学の魅力 11. 18世紀の文学：小説の発生と成熟 12. 19世紀の文学：小説に描かれる女性 13. 19世紀の文学：ディケンズとクリスマスの情景 14. 20世紀の文学：ウルフと意識の流れ 15. まとめ			
授業方法： 毎回配布する教材プリントに沿って授業を進める。主要作品は出来るだけ多く原文で提示する。授業の終わりに、学習内容に関して簡単なミニテストを実施したりコメントを書かせて提出させる。			
教科書	プリントを配布する		
参考書	その都度クラスで紹介する		

B137 旅行の歴史

科目等履修生

英文科目名	History of Tourist		
大学名	平安女学院大学		
連絡先	京都キャンパス 教務チーム TEL 075-414-8160 FAX 075-414-8159		
担当教員	高橋 義人		
開講日程	2016年09月26日 (月) ~ 2017年01月23日 (月) 5講時 16時30分~18時00分 (毎週月曜日) ※講義休止期間 2016年12月27日 (火) ~ 2017年01月04日 (水)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	40,000円 (選考料10,000円別途必要)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	70	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	授業参加度30%、小テスト20% 期末レポート50% 合計100% 本やネットを丸写ししたレポートは認めない。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	女子のみ受講可		
講義概要・到達目標			
【講義概要】 今日、われわれが知っているような近代的な「観光」がヨーロッパで始まるのは19世紀の後半になってからだが、じつはそれ以前にも日本にもヨーロッパにも、広義での「観光」があった。中世の巡礼の旅、および18世紀に主としてイギリス人のあいだで広まったグランドツアーである。 そこで本講義では、まず中世の巡礼の旅から始める。出発点は南フランスのトゥールーズ、目的地はスペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラである。巡礼の途中で立ち寄る中世の町やトイレ事情なども考察しながら、中世の人々の生活を浮かび上がらせる。 18世紀になると、当時世界一の金持ちだったイギリスの貴族の子供たちのあいだでは、フランスを通過してイタリアへ旅行し、帰途はドイツを通過して帰国するというコースが一般化した。フランス語もイタリア語もドイツ語もできない彼らが、車も銀行もない時代にどうやって旅行したか、その危険にして滑稽きまるグランドツアーの諸相を紹介する。 18世紀には馬車を使って旅行しなければならなかった。その馬車旅行がどれほど苦痛に満ちたものであったかを知るために、ゲーテのイタリア旅行、モーツァルトのバリ旅行を考察する。 19世紀の中頃になると、イギリスで鉄道網が発達しはじめる。それを使ってトーマス・クックが世界で最初の「観光業」を始める。彼が立案・実行した観光コースは、イギリス国内からやがてはパリ万博訪問、イタリア旅行、エジプト旅行、アメリカ旅行へと拡大していく。 観光は「過疎地」の活性化にも役立つ。日本の木曾街道などの手本になったのが、ドイツの「ロマンチック街道」と「メルヘン街道」である。産業の発展から取り残され、中世からほとんど変わらない古い街並みを保持していた街道沿いの町々は、観光によって脚光を浴び、「デッドタウン」から蘇った。 さらに新幹線や廉価な飛行機の登場が、世界の観光を大幅に変えつつある。本授業では、ビデオや写真を使って観光の歴史をたどりつつ、王侯英雄の歴史とは違った一般庶民の生活史を浮かび上がらせようとするものである。			
【到達目標】 ヨーロッパの歴史を、それぞれの時代に生きた生活者・観光客の視点から捉え、その歴史を、ヨーロッパの日本人向けのバスガイドと同等、あるいはそれ以上に詳しく説明できるようになること。たとえばタイムマシーンに乗って中世のヨーロッパの町に下り立ったとき、どれほど苦勞するか、レポートにまとめられるようになること。			

B 歴史を学ぶ

講義スケジュール	
(1) 日本とヨーロッパにおける巡礼の旅 (2) サンティアゴ・デ・コンポステーラ (3) 聖遺物 (4) 中世の旅行 (5) 中世のトイレ事情一日欧比較 (6) 大航海時代 (7) キャプテン・クック (8) グランドツアー (9) モーツァルトのパリ旅行とゲーテのイタリア旅行 (10) トーマス・クックと禁酒運動 (11) トーマス・クックとロンドン万博 (12) トーマス・クックとパリ万博 (13) トーマス・クックとイタリア・エジプト旅行 (14) ドイツ・ロマンチック街道と木曾路 (15) ダークツーリズムアウシュヴィッツからフクシマまで	
教科書	なし
参考書	小谷明『ドイツ・ロマンティック街道』（新潮社） 高橋義人『グリム童話の世界』（岩波新書） 本城靖久『トーマス・クックの旅』（講談社現代新書） 他は授業中に指示。

B138 西洋法史 / J

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Western Legal History		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】 TEL：075-466-3350		
担当教員	高橋 直人		
開講日程	2016年9月30日（金）～2017年1月13日（金） <毎週金曜日> 1～2時限：9：00～12：10 12月23日（金・天皇誕生日）は授業日です。 <教室案内> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf ※定期試験日程は別に設定します。 ※休講になった場合などは、10/22（土）、11/19（土）、12/10（土）、12/24（土）、1/20（金）に補講を行うことがあります。		
単位数	4	開講区分	後期・秋学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生：85,600円 ・聴講生：50,800円		
会場	衣笠キャンパス		
授業定員	350	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	【定期試験（筆記）】100% 授業で学んだ知識を活用し、設問に的確に答えられているか。その解答を通じて、前出の「到達目標」を達成していることが示されているか。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。 【諸手続】（単位互換生のみ） 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴		

その他特記事項	講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html
---------	--

講義概要・到達目標

【授業の概要】
この授業では、主にドイツを実例として、近世（講義前半）および近代（同後半）の西洋の法と法学について学びます。

前半では、近代法の形成を動的かつ連続的な視点から把握していくために、近世に遡って考察を行います。具体的な内容としては、1 神聖ローマ帝国の国制、2 近世の法学とその担い手、3 近世の裁判と社会—魔女裁判からみえてくるもの、4 啓蒙の光と影—18世紀の法改革とその多面性、という4つのテーマを取り上げます。 ※なお、古代や中世の法について、それ自体としては本講義のテーマに含めていませんが、上記の1～4を学ぶうえで必要な範囲において個別に取り上げます。

後半では、5 公法（ドイツ帝国の成立および前史—特に憲法史との関連から）、6 私法（歴史法学派と19世紀の私法）、7 刑事法（ドイツ近代刑事法史）、という3つの分野における近代ドイツの法（学）の展開について取り上げます。また近代のドイツやフランスの法と日本法との比較を通じ、日本の法文化の特色についても考えてみたいと思います。

毎回パワーポイントを使用し、チャートや写真を取り入れたヴィジュアルな授業を行います。

以上のようなテーマで学ぶことを通じ、単に近代法の基本的な考え方だけでなく、その前提にある人間観や国家観、社会観についても理解を深めることが本講義の重要な課題です。例えば、個人を自由な意思主体であるとする人間観が自覚的に法理論の基礎に組み込まれるに至ったことについては、啓蒙思想の影響を考察することなしには正確な理解ができません。人間の自由と平等が尊重され、国民に開かれた政治が実現されるためには、大前提として、近代以前の国家が依拠していた身分制を解体することが不可欠でした。経済的な観点からいえば、国家の介入から独立した私法秩序や資本主義的な「市場」というものは、上記の身分制の解体と同時に、封建制の否定や中間団体（例：同職組合）の特権の廃止があってこそ、初めて成り立つものです。このように、前提となる人間・国家・社会のあり方との関わりを含めて理解してこそ、近代法の基礎となる考え方を皆さん自身のものとして行うことができます。それは同時に、社会や政治との関わりをふまえて法を見る目を養うことにもつながるのです。

その上で、過去の法の現実を生き生きと描き出すためには、政治・経済と法との影響関係といったマクロな次元のみならず、たとえば法曹をはじめとする法の担い手の活動や大学における法学教育の状況、法学の「学問」としてのあり方、法の改革と同時代のメディアやコミュニケーションのあり方との関わりなど、過去の法を取り巻く具体的な諸環境に踏み込んだ法社会史的な切り口からの考察も欠かせません。それによって、近世・近代ドイツの法の世界を分かりやすくイメージできるよう講義内容を工夫しています。

【受講生の到達目標】

- 1 主にドイツ法史を素材として、西洋の近代法（学）の基本的な特徴を、その基礎にある人間観・国家観・社会観を含めて歴史的視点から理解することができる。
- 2 近世からの歴史の流れもふまえた動的かつ連続的なかたちで、近代法（学）の形成過程を理解することができる。
- 3 上記1・2の獲得過程を通じ、併せて、社会や政治との関わりを意識して法を考察する姿勢を身に付ける。

【事前に履修しておくことが望まれる科目】

日本法史も平行して履修、あるいは履修済みであることが望ましいです。日本と西洋の比較により、両者に関する理解や関心がいっそう深まると思われます。特に「近代日本における西洋法（学）の継受」の部分学ぶ際には、日本法史の知識が重要です。

また、法哲学や法社会学などの他の基礎法科目、さらには憲法・民法・刑法に関する実定法の基本的な科目は履修しておく方が、幅広い視野をもって授業に臨むことができます（もっとも、この点は西洋法史の場合に限ったことではありません）。

【授業外学習の指示】

授業外学習として皆さんに最も期待することは、毎回の授業内容に関する予習・復習です。西洋法史のように「史」のつく科目というのは、しばしば誤解されているような単なる「暗記科目」ではないにせよ、それでも他の分野以上に知識の「積み上げ」が大事な科目ではありません。

す。途中で授業内容が分からなくなれば、そこから先の話の流れも分からなくなってしまう。授業中にポイントとされたことを復習するとともに、次回の授業のポイントとなること（レジュメを事前配布します。あらかじめ目を通しておきましょう）について予習をして授業に臨むということ——古典的なようですが、まずもってこれが大切なのです。

【受講および研究に関するアドバイス】

西洋法史というのは、いわゆる「基本書」にあたるような簡明で網羅的な日本語文献が必ずしも揃っていない分野であるため、皆さんにとって自習が比較的難しい科目です。毎回の授業に確実に出席し、集中して講義を聞いていなければ、「到達目標」に達することは困難だと思われまます。

法の歴史そのものについては、初心者にも分かりやすく基礎から説明します。ただし、法の歴史を理解するために必要な大学受験レベルの基本的な知識（世界史・日本史、政治、哲学・思想、地理）および1回生終了程度の法学一般の基礎知識に関しては、それらを受講者がすでに有しているという前提で講義を行います。不安な場合、各自で十分な予習を行うこと。特に近世・近代のドイツやフランスの歴史については、些末な暗記は必要ありませんから、基本的な出来事や人物、大きな流れ程度はきちんと把握して授業に臨むようにしてください。「世界史が分からない」または「受験時に世界史を選択していなかった」等々のことは、西洋法史が分からないという理由にはなりません。

【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】

コミュニケーションペーパー／Communication Paper
manaba+R／Learning Management System (manaba+R)
学生との直接対話／Talk with Students

講義スケジュール

1 西洋法史の世界へようこそ—授業のポイントおよび導入講義
＜キーワード＞神聖ローマ帝国の多様性、ドイツと連邦制、帝国とラント、ドイツの近代化のプロセスと統一のプロセス

2 神聖ローマ帝国の国制1
＜キーワード＞帝国の二元的構造、皇帝、帝国等族、領邦等族

3 神聖ローマ帝国の国制2
＜キーワード＞帝国議会、帝国最高法院、選定候、帝国宮廷顧問会議

4 神聖ローマ帝国の国制3 + ローマ法の継受とその後の展開
＜キーワード＞普通法と地方法、帝国の立法、ローマ法の継受、学識法曹、人文主義法学、パンデクテンの現代的慣用

5 近世の法学とその担い手1
＜キーワード＞ボローニャ大学の誕生と法解釈学の登場（※中世）、中世の大学とその組織、近世の大学とその組織

6 近世の法学とその担い手2
＜キーワード＞近世の法学部のカリキュラムと授業形態、近世の大学における学生生活、18世紀に求められた法律家像

7 近世の法学とその担い手3
＜キーワード＞普通法学、普通刑事法学と啓蒙、刑事法学の「補助学」、刑法家たちの意識、刑事法改革と「世論」

8 近世の裁判と社会—魔女裁判からみえてくるもの1
＜キーワード＞近世における魔女のイメージ、魔女処罰の規定、カロリーナ刑事法典

9 近世の裁判と社会—魔女裁判からみえてくるもの2
＜キーワード＞糾問（糺問）手続の仕組み、魔女裁判にみられる不当な手続、裁判当局の姿勢

10 近世の裁判と社会—魔女裁判からみえてくるもの3
＜キーワード＞帝国やラントの権力構造の魔女迫害への影響、知識人の関与、民衆の意識と「下からの魔女狩り」

11 「18世紀＝啓蒙の時代」とはいかなる時代か—啓蒙期の改革を理解するために—
＜キーワード＞「啓蒙」とは何か、身分制的な社会構造の変容、啓蒙と絶対主義、教養市民層、メディアやコミュニケーションの変化

12 啓蒙の光と影—啓蒙期の法改革とその多面性1
＜キーワード＞啓蒙絶対主義、「神の法から国家の法へ」、社団国家と

中間権力（中間団体）、近世自然法論、自然法的法典編纂

13 啓蒙の光と影—啓蒙期の法改革とその多面性2
＜キーワード＞啓蒙期の法典編纂過程の特徴（承前）、啓蒙の人間観と近代法の発展への影響、帰責論

14 啓蒙の光と影—啓蒙期の法改革とその多面性3
＜キーワード＞「世俗化・合理化・人道化」、犯罪と刑罰との均衡、拷問の廃止、バイエルンの「魔女戦争」、ベッカーリア、『犯罪と刑罰』

15 啓蒙の光と影—啓蒙期の法改革とその多面性4
＜キーワード＞「上からの改革」の限界、等族的国制による限界、フランス革命、男性有産市民の権利、ナシオン主権とプーブル主権、近代的な私法秩序の端緒と資本主義的「市場」の創出

16 ドイツ帝国の成立および前史—特に憲法史との関連から1
※ この回以降、講義の「後半」
＜キーワード＞神聖ローマ帝国の崩壊、ウィーン体制とドイツ同盟（連邦）の成立、ナポレオン時代のドイツ諸邦国の改革、ベルリン大学とフンボルト理念、ドイツ同盟規約、同盟規約と「ラントシュテンデ制」

17 ドイツ帝国の成立および前史—特に憲法史との関連から2
＜キーワード＞メッテルニヒの反動的政策、1848年の革命、大ドイツ主義と小ドイツ主義、フランクフルト国民議会、フランクフルト憲法

18 ドイツ帝国の成立および前史—特に憲法史との関連から3
＜キーワード＞プロイセン憲法、三級選挙法の仕組み、プロイセン主導のドイツ統一、帝国憲法（ビスマルク憲法）

19 歴史法学派と19世紀の私法1
＜キーワード＞19世紀前半のドイツ私法の状況、法典論争、サヴィニーの立場、ティボーの立場

20 歴史法学派と19世紀の私法2
＜キーワード＞サヴィニーとティボーの対立の構図、同時代の思想状況、歴史法学、ロマンズテンとゲルマニズテン

21 歴史法学派と19世紀の私法3
＜キーワード＞19世紀ドイツの学界状況、パンデクテン法学、ドイツ民法典の編纂過程、民法典の特徴

22 ドイツ近代刑事法史1
＜キーワード＞19世紀の刑事立法史の概観、19世紀初頭の刑事法の法源、いわゆる「裁判官の恣意」の実態

23 ドイツ近代刑事法史2
＜キーワード＞フォイエルバッハの刑法理論の特徴、心理強制説、カントとヘーゲルの刑法思想、自由意思論をめぐる争い

24 ドイツ近代刑事法史3
＜キーワード＞意思の自由、裁判官の恣意、そして国家権力 / 糾問手続の問題点と新たな改革の主張 / 刑事弁護の面からみた糾問手続の欠陥 / 国民の司法参加の要求

25 ドイツ近代刑事法史4
＜キーワード＞19世紀後半のドイツにおける刑事立法 / プロイセン刑法典（1851年） / 帝国刑法典（1871年） / 責任能力および「自由」に対する考え方の変化 / 学問（Wissenschaft）としての刑事法学の誕生

26 近代法史の部分についての講義の全体像とポイントの再整理（※必要に応じて補足も含む）
＜キーワード＞※ 第1回～第25回までのキーワードを参照せよ〔復習〕

27 近代日本における西洋法（学）の継受1—刑法分野・前編
＜キーワード＞近代日本刑法史の3つの段階、旧刑法成立以前の状況、旧刑法の特徴、不平等条約改正との関連

28 近代日本における西洋法（学）の継受2—刑法分野・後編
＜キーワード＞ボワソナードの「折衷主義」、現行刑法成立の背景、現行刑法の特徴、旧刑法との対比

29 近代日本における西洋法（学）の継受3—憲法分野
＜キーワード＞明治憲法（大日本帝国憲法）、プロイセン憲法との比較、明治憲法下の状況の問題点、天皇機関説事件

30 補説：日欧間で法的な知とその担い手はどのように違うのか
 <キーワード>法の担い手の歴史 / 法的な知の多様な社会的存在形態
 / 敢えて大学で、敢えて学問として法的な専門知識を学ぶことの意義
 を考える

教科書	使用しません。毎回、レジュメを事前配布します。レジュメの事前配布は、manaba+Rでも行います（こちらはPDF版）。PDF版レジュメのバックナンバーも、manaba+Rに蓄積し、常時ダウンロード可能にする予定です。
参考書	特に指定はしません。第一回目の授業の際に、西洋法史・ドイツ法史の参考文献のリストを配布します。 なお、近年の文献の中から1冊例示するとすれば、勝田有恒、森征一、山内進編著『概説 西洋法制史』（ミネルヴァ書房、2004年）が良いと思います。

B139 経済学史

科目等履修生

英文科目名	History of Economic Thought		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 TEL：075-645-7891 FAX：075-643-5021		
担当教員	小峯 敦（経済学部 教授）		
開講日程	2016年09月20日（火）～2017年01月20日（金） 2講時 10時45分～12時15分（毎週火曜日＋金曜日） ※休講2016/10/18（火）報恩講のため ※休講2016/11/04（金）龍谷祭のため		
単位数	4	開講区分	後期・秋学期
受講料	40,000円		
会場	深草学舎		
授業定員	350	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	平常点：10% 毎回、コメントシートを提出します。 小テスト：40% 2回ほど簡単なチェックテストを課します。 レポート：20% 中間地点で1回、簡単なレポートを課します。 定期試験：30% 期末試験を行う予定です。		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に記載します。 【定期試験について】 本講義の定期試験は、1月24日（火）もしくは1月27日（金）の10時30分～11時30分の時間帯に行われる予定です。 ご留意ください。		
講義概要・到達目標	講義概要 ●経済学史とは「経済学の歴史」History of Economic Thoughtを探る学問のことです。過去の経済学者の学説（理論・政策・思想の混合体）を整理・分類し、現代的な視点から甦らせる作業です。 ●富の集中。戦争と平和。震災復興。戦争と平和。TPPと自由貿易。財政再建と不況克服。格差社会。環境問題と経済成長。現代には様々な経済問題があります。実は過去の経済学者（スミスやケインズ等）も似たような問題に直面していました。現代に生きる私たちはその叢智を学び、少なくとも同様の失敗を繰り返してはいけません。		

●この講義では現代との関連を重視しながら、過去を振り返ります。経済問題に興味があり、その論理をやさしく把握したい学生に役立つでしょう。歴史好きの人も歓迎です。板書中心ですが、時折はDVD等の視覚教材を使います。過去には『Elizabeth』・『Miss Potter』・『ゴスフォード・パーク』・『Oliver Twist』・『金色夜叉』・『ウォール街』・『モダンタイムス』等を用いました。

到達目標

多くの経済学者（スミス、リカード、マルサス、ミル、ケインズ、シュンペーター、ハイエクなど）の考えに触れ、経済学がいかに発展して現在の形になったかを実感します。マクロ経済学やミクロ経済学という標準的経済学の特徴を大まかにつかみ、同時にそれ以外の異端の経済思想に触れて総合的・批判的な思考を身につけます。

講義方法

板書中心ですが、時折はDVD等の視覚教材を使います。テキストの該当部分を講義中で指示します。プリント「経済学者の言葉」を配ります。

講義スケジュール

第01回	オリエンテーション
第02回	経済学史の目的と範囲、経済学史とは
第03回	経済の発見（1）
第04回	経済の発見（2）
第05回	社会経済の科学的把握
第06回	重商主義（1）
第07回	重商主義（2）
第08回	重農主義
第09回	経済学の生誕前夜
第10回	アダム・スミス（1）
第11回	第1回チェックテスト
第12回	アダム・スミス（2）
第13回	リカードの理論（1）
第14回	リカードの理論（2）
第15回	マルサス
第16回	フランスの正統と異端
第17回	J.S.ミル
第18回	非／反古典派
第19回	マックス・ウェーバー
第20回	限界革命（1）
第21回	限界革命（2）
第22回	限界革命（3）
第23回	マーシャル
第24回	ケンブリッジ学派
第25回	第2回チェックテスト
第26回	アメリカの正統と異端
第27回	ケインズ革命（1）
第28回	ケインズ革命（2）
第29回	孤高の経済学者
第30回	孤高から連帯へ

教科書	喜多見洋・水田健『経済学史』（ミネルヴァ書房）3,200円（ISBN：978-4-623-05936-2）
参考書	小峯 敦『福祉の経済思想家たち』（ナカニシヤ出版）2,500円（ISBN：978-4779504556） 小林昇・杉原四郎編『新版・経済学史』（有斐閣双書）1,800円（ISBN：4641110174） 早坂忠編『経済学史』（ミネルヴァ書房）3,200円（ISBN：462301858X） 八木紀一郎『経済思想』（日経文庫）728円（ISBN：4532104750） 西沢・服部・栗田編『経済政策思想史』（有斐閣）2,700円（ISBN：4641160716） 中村・八木・新村・井上『経済学の歴史』（有斐閣）2,200円（ISBN：4641121389） 小田中直樹『ライブ・経済学の歴史』（勁草書房）2,400円（ISBN：4326550465） 井上義朗『コア・テキスト 経済学史』（新世社）2,650円（ISBN：4883840735） 根井雅弘『経済学のことば』（講談社現代新書）720円（ISBN：4061497545） 根井雅弘『物語 現代経済学』（中公新書）740円（ISBN：4121018532） 根井雅弘『わかる現代経済学』（朝日新書）720円（ISBN：9784022731876） 日本経済新聞社『経済学 名著と現代』（日本経済新聞社）1,800円（ISBN：9784532352899）

C002 浄土のかたちとそのはたらき

科目等履修生/聴講生

英文科目名	The form and the function of the pure land		
大学名	京都西山短期大学		
連絡先	教学課 TEL: 075-951-0023 FAX: 075-954-1637		
担当教員	加藤 善朗		
開講日程	2016年04月14日(木)～2016年07月28日(木) 4講時 14時30分～16時00分(毎週木曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	20,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	100	京カレッジ定員	60 (40)
試験・評価方法	レポート		
超過時の選考方法	書類専攻		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
<p>『観無量寿経』の内容を絵画化した浄土変相図は、ベゼグリク千仏洞の誓願図やキジル石窟における禪観図など、西域の美術を吸収しながら展開し、6世紀半は敦煌で完成したと考えられています。この浄土変相図は8世紀頃わが国に伝来しました。二上山のふもと当麻寺には、いまでも4メートル四方という圧倒的な法量をもつ原本が伝存しています。</p> <p>この当麻曼荼羅が模写され転写されるきっかけは、13世紀末、図像を教典や注釈書に対照して読み解き、一般に語り聞かせる〈絵解き〉が行われるようになったことです。その結果、当麻曼荼羅を蓮糸で織ったという中将姫の物語は、さまざまな異聞をはりながら流布しました。</p> <p>この講座では、浄土教美術の集大成である当麻曼荼羅を4つのパートに分けて、図像に付された物語を読み解いていきたいと思えます。また、その図像に出逢うことで変化していった鎌倉仏教の祖師たちの人生を読み解きます。</p>			
講義スケジュール			
第01回	極楽の花ふるさと一大和・当麻寺と当麻曼荼羅		
第02回	よびかわす伝説—韋提希・弱法師・中将姫—		
第03回	往生のイメージトレーニング—入り日の観想—		
第04回	あの世の入口—阿闍世の救い—		
第05回	伝説を生きる—韋提希・弱法師・中将姫—		
第06回	極楽に往って還ってくる—往相廻向—還相廻向—		
第07回	法然の宗教体験—三昧発得と瘧の病—		
第08回	来迎の可視化—迎え講とその展開—		
第09回	極楽の食べ物—段食・触食・思食・識食—		
第10回	重源と当麻曼荼羅—その転写をめぐる—		
第11回	仏像胎内がはぐくむもの—月輪・未敷蓮華・経巻—		
第12回	二河白道図の成立		
第13回	一遍と二河白道		
第14回	<絵解き>と巡礼		
第15回	まとめ		
教科書	なし		
参考書	なし		

C003 オンライン版英国文化研究Ⅰ：サイバースペースに探る筆記用具の歴史

科目等履修生/聴講生

英文科目名	British Culture Studies I (Online)
-------	------------------------------------

大学名	京都ノートルダム女子大学		
連絡先	京都ノートルダム女子大学 教務部教務課 TEL075-706-3745 FAX075-706-3790		
担当教員	小林 順 (人間文化学部英語英文学専攻教授)		
開講日程	2016年04月14日(木)～2016年07月28日(木) 6講時 18時10分～19時40分(毎週木曜日) ※休講2016/05/05(木・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科目等履修生 40,000円(本学卒業生は20,000円) 聴講生 20,000円(本学卒業生は10,000円)		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	30	京カレッジ定員	15
試験・評価方法	特定テーマのプレゼンテーションおよびレポート		
超過時の選考方法	自宅および生活の本拠においてインターネット接続が可能であること。また、Skypeの使用ができること、オンライン受講にも対応できることなどを基準に選考予定。		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	パソコンやインターネットさえも筆記用具の進化型という観点にたち従来の筆記用具の歴史を辿りたい。歴史をひもとくための道具はオンラインという装置である。同時に英語である。英語で表された筆記用具に関する情報・データは膨大であり、英語を読み解くことで文化的な謎を解くことができる。受講者はオンライン状態を整備してもらいたい。それはいたって簡単そして単純である。普通のパソコンをインターネットに繋がればそれでオーケー。マイクとビデオカメラを繋いでもらえばオンライン上で講じる小林や他の受講者に出会うことができる。準備すべきはこれだけ。自室にしながら地球の体積に等しいのではないかと思えるほどの情報・データを掌中にできる。それがオンライン状態ということであり。疑問点はクラスで解き明かす、そんな気分で参加してもらえば良いと思えます。		
講義概要・到達目標			
1. 科目の教育目標			
イギリスの文化に親しむためのクラスです。とりあげるトピックとしては、筆記用具の歴史。主に、羽ペン。羽ペンに関する情報・データをネット上に涉猟、さらに、実際に羽ペンを製作する。京都市動物園に大型・中型の水鳥の羽を提供してもらい、本格的な羽ペンを再現。これを使って、グリーティングカードを書くイベントを予定。			
2. 教育・学習の個別課題			
イギリスと英語を学ぶコースです。具体的には筆記用具の歴史を英語の情報・データを読み解くことで紐解きます。その過程で、読解に力を入れます。読み解いた内容をまとめて使いやすい情報の単位(文字情報)をこしらえます。道具は?もちろん、筆記用具です。			
3. 教育・学習の方法			
オンライン上のインタラクティブなクラスです。パソコンとインターネットを使い、課題の調査と成果を表す準備が必要。英文読解のための道具類(オンライン辞書やGoogle提供道具類)の活用、オンライン指導、どこでも指導を受けられる環境など、クラスの課題にとりくむ環境をととのえます。オンライン参加が可能です。自室からオンラインにアクセスしてください。詳細は、教室で説明します。			
講義スケジュール			
第01回 イントロダクション			
インタラクティブになるための装置確認、関連資料の探索・収集法、ノート作成法、など。			
第02回 オンライン資料＝筆記用具に関する情報・データ探索その1			
第03回 オンライン資料＝筆記用具に関する情報・データ探索その2			
第04回 オンライン資料＝筆記用具に関する情報・データ探索その3			
第05回 オンライン資料＝筆記用具に関する情報・データ探索その4			
第06回 課題1ペンの歴史の解題			
第07回 課題2鉛筆の歴史の解題			

第08回 課題3紙の歴史の解題
第09回 課題4インクの歴史の解題
第10回 課題5印刷の歴史の解題
第11回・第12回 受講者発表: オンライン・プレゼンテーションの試み。
第13回～第15回 羽ペン製作、まとめイベント「羽ペンでグリーンティングカードを書こう」
教科書
参考書

C004 マンダラと梵字7A

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Sanskrit Calligraphy and Mandala6A		
大学名	種智院大学		
連絡先	種智院大学教務課 TEL 075-604-5600 FAX 075-604-5610		
担当教員	児玉 義隆 (人文学部仏教学科教授) 今井 淨圓 (人文学部仏教学科教授)		
開講日程	2016年04月12日 (火)～2016年07月26日 (火) 6講時 18時10分～19時40分 (毎週火曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	京カレッジ: 聴講生20,000円、科目等履修生24,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	20	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	平常点 (30%) : 遅刻等受講態度不良等は評価に影響する可能性がある。 定期試験 (70%) : 作品提出により評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	約4,000円 (道具・教材費・教科書)、道具・教科書を持っている人は約1,000円		
その他特記事項	特になし		

講義概要・到達目標

古代インドの文字である梵字は、弘法大師空海によって日本にもたらされて以来、1200年にわたり日本文化に定着して、卒塔婆や石塔、あるいはマンダラなどのさまざまな形で伝承されてきた。

本講義では、インドに始まる梵字の歴史やその書き方、読み方の基本を学ぶ。特に梵字で描かれた法マンダラ (種子マンダラ) のさまざまな作例をあげながら、その教理的な背景を解説し、さらに受講者自身も梵字のマンダラを描く。

春学期の授業では、光明真言曼荼羅 (2種類) を梵字で書く。授業においては、梵字の歴史と書き方を児玉が、マンダラの内容に関する講義を今井が担当して行う。昨年までに「マンダラと梵字」を受講したことがある方でも、本年度の講義を受講することができる。筆や教科書を持っている受講生は、材料費だけの負担になる。

講義スケジュール

- [実習] (児玉担当)
1. 梵字の歴史について
 2. 梵字の摩多 (母音) について
 3. 梵字の体文 (子音) について
 4. 筆書きの摩多の書法
 5. 筆書きの体文の書法
 - 6～7. 子音と母音が結合する場合の書法
 - 8～9. このマンダラに用いられる種子の書き方
 - 10～12. 作品制作とまとめ

[講義] (今井担当)	
1. 密教とマンダラ —表現形式によるマンダラの種類—	
2. 別尊マンダラの意味と種類 —内容によるマンダラの種類—	
3. このマンダラに登場する諸尊の説明	
教科書	児玉義隆「梵字必携」朱鷺書房1991年
参考書	児玉義隆「梵字でみる密教 その教え・意味・書き方」大法輪閣 児玉義隆「梵字の書法—真言密教・ほとけの文字—」大法輪閣 種智院大学『新梵字大鑑』法蔵館 2015年

C006 オンライン版英国文化研究II：サイバースペースに探るザ・ビートルズ物語

科目等履修生/聴講生

英文科目名	British Culture Studies II (Online)		
大学名	京都ノートルダム女子大学		
連絡先	京都ノートルダム女子大学 教務部教務課 TEL075-706-3745 FAX075-706-3790		
担当教員	小林 順 (人間文化学部英語英文学科教授)		
開講日程	2016年08月09日 (火)～2016年08月17日 (水) 1～2講時 09時00分～12時20分 (8月10日、8月12日、8月14日、8月16日、8月17日) ※2016年08月09日 (火) は1～3講時 09時00分～14時10分 ※2016年08月13日 (土) のみ京都ノートルダム女子大学で実施 13時00分～16時00分 ※2016年08月11日 (木・祝)、8月15日 (月) は授業なし		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	科目等履修生 40,000円 (本学卒業生は20,000円) 聴講生 20,000円 (本学卒業生は10,000円)		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	30	京カレッジ定員	15
試験・評価方法	特定テーマのプレゼンテーションおよびレポート		
超過時の選考方法	自宅および生活の本拠においてインターネット接続が可能であること。また、Skypeの使用ができること、オンライン受講にも対応できることなどを基準に選考予定。		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	受講者はオンライン状態を整備してもらいたい。それはいたって簡単そして単純である。普通のパソコンをインターネットに繋がればそれでオーケー。マイクとビデオカメラを繋いでもらえばオンライン上で講じる小林や他の受講者に会うことができる。準備すべきはこれだけ。自室にいながら地球の体積に等しいのではないかと思えるほどの情報・データを掌中にある。それがオンライン状態ということであり。疑問点はクラスで解き明かす、そんな気分で参加してもらえば良いと思います。		

講義概要・到達目標	
<p>1. 科目の教育目標 イギリスの文化に親しむためのクラスです。とりあげるトピックとしては、ザ・ビートルズの物語。主に、彼らの歌詞を読み解き、足跡を読み解く。4人に関する情報・データをネット上に渉猟、さらに、実際にオンライン上の音・ビデオ情報を再現して、彼らの音を体験し、歌詞の意味を読み解くことにする。</p> <p>2. 教育・学習の個別課題 言うなれば、ザ・ビートルズの足跡をたどり歌詞を読み解くことは、イギリスと英語を学ぶことでもあります。具体的には彼らの歌詞を集積しているサイトを訪れ、毎回一編ずつ歌詞を読解します。読解に必要な参考文献類もオンライン上に活用できるものを使います。オンラインに山積する英語情報がザ・ビートルズと彼らの歌詞を読み解くための指針となるはずで。</p> <p>3. 教育・学習の方法 オンライン上のインタラクティブなクラスです。パソコンとインターネットを使い、課題の調査と成果を表す準備が必要。英文読解のための道具類（オンライン辞書やGoogle提供道具類）の活用、オンライン指導、どこでも指導を受けられる環境など、クラスの課題にとりくむ環境を整えます。オンライン参加が可能です。自室からオンラインにアクセスしてください。詳細は教室で説明します。</p>	
講義スケジュール	
<p>第01回 インTRODクダクション インタラクティブになるための装置確認、関連資料の探索・収集法、ノート作成法、など。</p> <p>第02回 オンライン資料= “I wanna hold your hands” 読解 第03回 オンライン資料= “Please Please me” 読解 第04回 オンライン資料= “A Hard Day’s Night” 読解 第05回 オンライン資料= “I should have known better” 読解 第06回 課題1デビュー前後のザ・ビートルズの解題 第07回 課題2突然の富にとまどうザ・ビートルズの解題 第08回 課題3衝突緩衝装置の解題 第09回 オンライン資料= “Help” 読解 第10回 オンライン資料= “Let it be” 読解 第11回&第12回 受講者発表：オンライン・プレゼンテーションの試み 第13-15回 分裂の歴史解題：奇跡的10年間とあまりに人間的な衝突の悲喜劇解題（この間にも歌詞の読解をおこなう。受講者が作品を選び、プレゼンテーション形式の講義となる。）</p>	
教科書	なし
参考書	なし

別途負担費用	なし
その他特記事項	<p>【準備学習】 授業のレジュメはよく読んで内容を理解しておくこと。できれば授業中で紹介した作品のうち何本かは通して観ておくこと。疑問があれば質問できるようにしておくこと。</p> <p>【受講者への要望】 映像をたくさん見ることになるが、比較検討の材料とするので漫然と見ないように。私語は禁止。小レポートは必ず提出すること。</p>
講義概要・到達目標	
<p>【講義概要】 アニメーションとマンガは今や世界的な日本の文化となっている。本講座では、まずアニメーションの歴史と様々な技法を俯瞰した上で、日本のアニメーションの黎明期から現在までの発達史をたどりながら、日本のアニメーションの特徴を分析し、なぜアニメーションがここまで発達したのか、その文化的背景や、表現としての将来の可能性について検討する。</p> <p>【到達目標】 アニメに関する視野をひろげ、文化としてのアニメについて様々な角度から考察できる視点を獲得することを目的とする。</p>	
講義スケジュール	
<p>1、アニメーションとは何か 2、アニメーションの発達史（セル・アニメを中心に）(1) 3、アニメーションの発達史（セル・アニメを中心に）(2) 4、アニメーションの発達史（セル・アニメを中心に）(3) 5、アニメーションの発達史（セル・アニメを中心に）(4) 6、アニメーションの様々な技法 (1)（平面的な技法） 7、アニメーションの様々な技法 (2)（立体的な技法） 8、アニメーションの様々な技法 (3)（CG、その他の技法） 9、日本のアニメーションの歴史 (1) 黎明期から政岡憲三へ 10、日本のアニメーションの歴史 (2) 東映動画の誕生とそのスタイルの成立 11、日本のアニメーションの歴史 (3) テレビアニメの誕生と発展 12、日本のアニメーションの歴史 (4) テレビアニメの発展・メカと戦闘 13、日本のアニメーションの歴史 (5) テレビアニメの発展・アニメとヒロイン 14、日本のアニメーションの歴史 (6) 東映動画からジブリへ 15、日本アニメの現在から未来へ</p>	
教科書	特定の教科書は使用しない。
参考書	五味洋子『アニメーションの宝箱』ふゅーじょんぶろだくと。その他必要に応じて授業内で紹介する。

C007 アニメ文化論

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Anime culture		
大学名	京都学園大学		
連絡先	教育修学支援センター TEL：075-406-9114 FAX：075-406-9130		
担当教員	有吉 末充（人文学部非常勤講師）		
開講日程	2016年09月08日（木）～2016年09月10日（土） 1～5講時		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	科14,000円（初回登録時に登録料として30,000円が別途必要） 聴10,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	100	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	平常点（40％）出席状況等による（そのうち受講態度30％、質問等授業参加度10％。）小レポート（60％）		
超過時の選考方法	書類選考		

C008 マンダラと梵字7B

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Sanskrit Calligraphy and Mandala6B		
大学名	種智院大学		
連絡先	種智院大学教務課 TEL 075-604-5600 FAX 075-604-5610		
担当教員	児玉 義隆（人文学部仏教学科教授） 今井 淨圓（人文学部仏教学科教授）		
開講日程	2016年09月27日（火）～2017年01月17日（火） 6講時 18時10分～19時40分（毎週火曜日）		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	京カレッジ生：聴講生20,000円 科目等履修生24,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	20	京カレッジ定員	20

試験・評価方法	平常点 (30%) : 遅刻等受講態度不良等は評価に影響する場合があります。 定期試験 (70%) : 作品提出により評価する。
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	約4,000円 (道具・教材費・教科書)、道具・教科書を持っている人は約1,000円
その他特記事項	特になし
講義概要・到達目標	<p>悉曇とは悉曇文字のことで悉曇は梵語の「シッダム」を漢字で音写したものの、シッダ (成就する) から「成就吉祥あれ」の意味に解されている。4世紀後半にインドより仏教とともに中国に伝承された当時の梵字は、書体及び字母を悉曇として、梵語文法や語句解釈などを梵音といていた。わが国へ悉曇梵語が伝来してからは、転じて梵字の書体だけではなく、広く梵語の書法、読法、文法など、すべてを内包した総称として、「悉曇」と呼ばれるようになった。悉曇を形成する基礎的な文字が梵字である。</p> <p>本講義では、インドに始まる梵字の歴史やその書き方、読み方の基本を学ぶ。とくに梵字で描かれた法マンダラ (種子マンダラ) のさまざまな作例をあげながら、その教理的な背景を解説し、さらに受講者自身も梵字のマンダラを描く。</p> <p>秋学期には別尊マンダラの一つをとりあげて描く予定である。授業においては、梵字の書き方を児玉が、マンダラの内容に関する講義を今井が担当して行う。また春学期にマンダラと梵字7Aを受講していただくも、梵字の書き方の復習から始めるので、受講は可能である。</p>
講義スケジュール	<p>[実習] (児玉担当)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 梵字の歴史について 2. 梵字の摩多 (母音) について 3. 梵字の体分 (子音) について 4. 筆書の摩多の書法 5. 筆書の体分の書法 6~7. 子音と母音が結合する場合の書法 8~9. このマンダラに用いられる種子の書き方 10~12. 作品制作とまとめ <p>[講義] (今井担当)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 密教とマンダラ —表現形式によるマンダラの種類— 2. 別尊マンダラの意味と種類 —内容によるマンダラの種類— 3. マンダラに登場する諸尊の説明
教科書	児玉義隆「梵字必携」朱鷺書房
参考書	児玉義隆「梵字でみる密教—その教え・意味・書き方—」大法輪閣 児玉義隆「梵字の書法—真言密教・ほとけの文字—」大法輪閣 種智院大学『新梵字大鑑』法蔵館 2015年

C010 特殊講義「ジャパン・コンテンツの悠久と先端」／WP

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Lectures (Advanced IX)
大学名	立命館大学
連絡先	【教務課】 TEL : 075-466-3350
担当教員	細井 浩一
開講日程	<p>10月1日 (土)、10月8日 (土)、10月15日 (土)、 10月29日 (土)、11月5日 (土)、11月12日 (土)、 11月26日 (土)、12月3日 (土) 3~4講時 : 12 : 40~16 : 00</p> <p><教室案内> http : //www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf</p>

開講日程	※休講になった場合などは、1/20 (金)、1/21 (土)、1/22 (日) に補講を行うことがあります。		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生 : 63,000円 ・聴講生 : 37,600円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	130	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	【平常点評価】 100% 出席、および、毎回実施する小レポートの内容、授業の反映、クオリティを総合的に評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>【重要】講義は基本的に「大学コンソーシアム京都」(JR京都駅) において開講されますが、10月29日 (土) の「マンガ」(京都精華大学担当) のみ「京都国際マンガミュージアム」での開催になります。当日は、京都国際マンガミュージアムの入り口の券売機で、団体割引券 (640円) を購入の上、入場する際、受付にて大学コンソーシアム京都の授業に出席する旨を伝えてください。また、10月15日 (土) の「デザイン」(京都市立芸術大学担当) には、スティックのり、はさみ、新聞紙 (1部) を持参してください。</p> <p>※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。</p> <p>【諸手続】 (単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http : //www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html</p>		
講義概要・到達目標	<p>【授業の概要】 京都は、いうまでもなく美術、書画、文学を中心とする伝統的な日本文化の源流であるが、そのみならず、日本で最初の本格的な劇映画が制作され、産業としての映画製作が隆興、発展した地であり、太秦は日本映画の中心としての長い伝統を誇っている。また、家庭用ビデオゲームを世界的な産業に発展させ、現在のデジタルゲームの隆盛を築いてきた原動力が京都に本社を置く任天堂にあったこともよく知られている。本講義は、日本および世界のコンテンツ分野に関する教育研究を推進している京都の諸大学 (京都学園大学、京都嵯峨芸術大学、京都市立芸術大学、京都大学、京都造形芸術大学、立命館大学、京都精華大学) が協力して、それぞれアート、デザイン、映画、マンガ、アニメ、ゲームの分野を分担しつつ、各大学の力量と特色を生かしたリレー講義を実施することで、京都を中心に、また京都から発展してきた日本の表現文化、映像文化に関する総合的な理解と現状、そして今後の展望について学んでいく。</p> <p>【到達目標】 京都の地に発展してきた伝統的、現代的な表現文化、映像文化を学び、それらを歴史的、産業的に理解して、その展望について思索しうる力を養成する。また、それによって、地域や社会とコンテンツ=表現、映像との有機的な関係を創造する地域プロデュース力を養うことを目標とする。</p> <p>【事前に履修しておくことが望まれる科目】 コンテンツ産業論、メディア産業論</p> <p>【授業外学習の指示】 京都におけるコンテンツ分野の歴史、および、その振興政策の経緯や現状について、京都府および京都市の商工労働観光部のホームページ、また、京都商工会議所のホームページなどの情報に基づいた事前、事後学習を進めておくこと。また、それらのコンテンツ振興政策を統合</p>		

したオール京都のイベント「KYOTO CMEX」については下記ホームページを参照しておくこと。
<http://www.kyoto-cmex.jp/>

【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】
 担当教員メールアドレス：hosoik[at]im.ritsumei.ac.jp

講義スケジュール

【第1回】
 「イントロダクション」 担当：立命館大学（細井浩一・映像学部教授）
 10月1日（土）

第1回 京都とコンテンツの歴史～本講義の概要とねらい
 このパッケージ履修のねらい。京都の地に発展してきた伝統的、現代的な表現文化、映像文化を学び、それらを歴史的、産業的にも理解して、その展望について思索しうる力を養うことについて考える。さらに、そのことを通じて、地域や社会とコンテンツ＝表現、映像との有機的な関係を創造する地域プロデュース力を養う意義について解説する。

【第2、3回】
 「アニメ」 担当：京都学園大学（有吉末充・人間文化学部メディア社会学科准教授） 10月8日（土）

第2回 講義「政岡憲三 京都から始まったアニメの一潮流」
 第3回 講義と討論「アニメの現在と京都」
 講義では、京都でそのキャリアをスタートさせた「日本アニメの父」政岡憲三とその時代のアニメの発達を探る。討論では、日本アニメの現在を簡潔に俯瞰し、京都と関わりのあるアニメについて検討する事によって、アニメのこれからを考える。

【第4、5回】
 「デザイン」 担当：京都市立芸術大学（滝口洋子・美術学部教授）
 10月15日（土）

第4回 講義「デザインの基礎教育について」
 第5回 実習「色彩と構成とイメージについて」（実習）
 キーワード：ファンタジー、オリジナリティ、コミュニケーション
 内容：カード制作を通してビジュアルコミュニケーションの方法を体験する
 ※スティックのり、はさみ、新聞紙（1部）を持参してください。

【第6、7回】
 「マンガ」 担当：京都精華大学（吉村和真・マンガ学部教授） 10月29日（土）

第6回 講義「『マンガの現在』を考える1」
 第7回 講義「『マンガの現在』を考える2」
 1では、基礎知識となるマンガ作品・作家、マーケットや研究状況について、事例をまじえて考察する。2では、京都国際マンガ研究センター研究員と京都国際マンガミュージアムの展示および収蔵マンガ作品を題材に議論する。
 ※本授業のみ「京都国際マンガミュージアム」で実施（入場料800円が別途必要）

【第8、9回】
 「映画」 担当：京都造形芸術大学（林海象・芸術学部非常勤講師）
 11月5日（土）

第8回 講義「京都映画の研究1」
 第9回 講義「京都映画の研究2」
 京都は日本映画発祥の地であり、現在でも、東映京都撮影所、松竹京都撮影所の二つの撮影所をもつ「映画の都」である。撮影所のみならず、大学においても映画教育は盛んであり、京都で生まれた「映画の魂」は、活動屋とよばれる映画のプロたちだけではなく、若い学生たちにも引き継がれて今日にいたる。京都は過去から現在まで映画を創り続けている。その京都における映画とは何か？をその歴史を紐解きながら、新しい京都映画の未来を研究する。

【第10、11回】
 「キャラクター」 担当：京都嵯峨芸術大学（安齋レオ・短期大学部客員教授） 11月12日（土）

第10回 講義「原始的アニメ劇メーションについて」
 第11回 講義「コミックアート絵画について」
 第10回講義においては、アニメの原点である、劇メーションという映像表現の可能性と今後の展開を分りやすく解説する。特に第17回文部省メディア芸術祭エンタテインメント部門文部科学大臣賞優秀賞を受賞した劇メーション「燃える仏像人間」を題材にして、それがいかんにして制作され評価されたかを解説していく。第11回講義では、漫画、アニメ、ゲームなどに影響を受けた絵画であるコミックアート絵画に関して、デジタル及びアナログのそれぞれの立場から紹介するとともに、

無限に広がるキャンパス、RGB環境での絵画革命、またそのアンチテーゼとしてアナログで描く絵画の充実を解題する。

【第12、13回】
 「現代美術」 担当：京都大学（土佐尚子・情報環境機構教授） 11月26日（土）

第12回 講義「現代美術としてのメディアアート 基礎編」
 第13回 講義「現代美術としてのメディアアート 応用編」
 伝統文化、メディアアート、現代美術、カルチュラルコンピューティング。メディアアートが美術史に残るための要素を考える。
 <参考になるwwwページ>
<http://www.tosa.media.kyoto-u.ac.jp/index.html>
<http://www.naokotosa.com>

【第14、15回】
 「ゲームとクロスメディア」 担当：立命館大学（細井浩一・映像学部教授） 12月3日（土）

第14回 講義「ゲーム産業の黎明と京都」
 第15回 ゲストレクチャー+パネルディスカッション「クロスメディアの聖地としての京都」
 講義では、エレメカを含むゲーム産業の勃興、任天堂とファミコン、ゲーム産業の現在とこれから、ゲームを含むコンテンツとメディア革命、クロスメディアなどについて、京都との関わりに触れながら概説する。ゲストレクチャーにおいては、京都府および京都市においてコンテンツ支援政策を担当する当事者から、Kyoto CMEXなど京都エリアにおけるコンテンツ振興政策の現状と課題などを講義してもらい、あわせて会場との質疑を含むパネルディスカッションを行う。

教科書	
	以下の「書名」、「著者」、「出版社」、「ISBNコード」、「備考」を参照
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・カルチュラルコンピューティング 土佐尚子 NTT出版 ISBN-13: 978-4757102613 11月26日土佐教授の講義の参考書 ・アニメーションの宝箱 五味洋子 ふゅーじょんぶろどくと ISBN-13: 978-4893933188 10月8日有吉准教授の講義の参考書 ・教養としての「まんが」・アニメ 大塚英志他 講談社現代新書 ISBN-13: 978-4061495531 10月8日有吉准教授の講義の参考書 ・ファミコンとその時代 上村雅之・細井浩一・中村彰憲 NTT出版 ISBN-13: 978-4757170469 12月3日細井教授の講義の参考書 ・アーカイブ立国宣言 吉見俊哉他 ポット出版 ISBN-13: 978-4780802139 12月3日細井教授の講義の参考書

C101 いけばなと現代生活 I

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Flower Arrangement and Modern Life I		
大学名	池坊短期大学		
連絡先	池坊短期大学 教務部 TEL075-351-8595 FAX075-351-8591		
担当教員	本学華道講師		
開講日程	2016年04月09日（土）～2016年07月23日（土） 1～2講時09時00分～12時10分（毎週土曜日） ※2016年07月30日（土）単位認定筆記試験予定 ※2016年07月16日（土）休講		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	【京カレッジ】科目等履修生 50,000円（選考料10,000円、履修料40,000円）聴講生 40,000円（選考料免除）		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	20	京カレッジ定員	5

試験・評価方法	平常点：14%（授業態度） レポート課題：4%（花展見学レポート） 実技テスト：8% 小テスト：12% 提出物：22%（作品レポート） 単位認定試験：40% 生花、自由花それぞれ3分の2以上の出席がなければ単位認定試験を受けることが出来ません。
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	華道実習費；10,000円、花材費；30,000円【2016年4月9日（土）～4月30日（土）までに納入が必要です】
その他特記事項	<p>【華道用具】 初回ガイダンス時に説明があります。</p> <p>【華道免許】 「いけばなと現代生活Ⅰ」「いけばなと現代生活Ⅱ」の修得者は華道免許状が取得できます。（免許状取得には、別途申請料が必要です）。 ※京カレッジ生は科目等履修生のみ免許取得できません。 聴講生は取得できません。</p> <p>【履修条件】 「いけばなと現代生活Ⅰ」を単位修得された方は「いけばなと現代生活Ⅱ」の履修が可能です。※京カレッジ生が、「いけばなと現代生活Ⅱ」を受講する場合は、「いけばなと現代生活Ⅰ」を必ず科目等履修生として受講してください。</p> <p>【単位認定試験の受験資格】 「生花」、「自由花」それぞれの授業回数の3分の2以上の出席が無ければ、単位認定試験の受験資格を失います。※京カレッジ生は科目等履修生のみ単位認定の対象です。聴講生の単位認定は出来ません。</p> <p>【履修手続き】 顔写真（40×30mm）の提出が必要です。写真の裏面に「所属」「氏名」を記入してください。 「いけばなと現代生活Ⅰ」と「いけばなと現代生活Ⅱ」を履修する場合、費用の分納は出来ませんので4月30日（土）までに一括して納入してください。 ※手続期間：2016年4月9日（土）～4月30日（土）12：30まで</p> <p>【履修手続き／単位互換生】 大学コンソーシアム京都への出願の後、履修許可が出る前に本学での「登録」と「実習費等の納入」の手続きを必ず行ってください。期日までに手続きを行わない場合、履修を許可せず、辞退したものとみなします。</p> <p>【履修手続き／京カレッジ生】 出願者は本学での「登録」と「履修料等の納入」を行ってください。出願のみを行い、期日までに手続きを行わない場合、履修を辞退されたものとみなします。</p>
講義概要・到達目標	
授業テーマ： 草木の自然美を作品に表現する。 授業概要： 本学の建学の精神である「和と美」を日本の伝統文化であるいけばなを通して学び、必要な礼儀を身につける。草木に触れ、その自然美を捉え、暮らしに活かす技と心を体得する。 到達目標： 生花、自由花の基本的知識と技術を習得する。	
講義スケジュール	
「生花（しょうか）」と「自由花（じゅうか）」とで構成されていますので、片方だけの履修は出来ません。 毎週2コマ（土曜日1講時と2講時）の受講をしてください。	
（生花） 1.講義：ガイダンス 2.講義：「生花概論」 生花の発生と背景・華道道具の説明 3.実技：一種生1 基本形 ～正風体の構成～ 4.実技：一種生2 基本形 ～正風体の構成～ 5.実技：一種生3 基本形 ～正風体の構成～ 6.実技テスト：一種生4 基本形 ～正風体の構成～ 7.実技：一種生5 基本形 ～正風体の構成～	

8.講義：二種生、根締、いけばなに於ける植物の分類 9.実技：二種生1 10.実技：二種生2 11.実技：二種生3 12.実技テスト：二種生4 13.実技：二種生5 14.実技：二種生6 15.講義：まとめ（自由花） 1.講義：ガイダンス 2.講義：「自由花とは」 いけばなの様式と自由花 3.実技：自然的表現1 ～草木の性情を生かす～ 4.実技：自然的表現2 ～草木の性情を生かす～ 5.実技テスト：自然的表現3 ～草木の性情を生かす～ 6.講義：行事の花 節会 節句 7.実技：自然的表現4 ～草木の性情を生かす～ 8.実技：遊心 9.講義：自由花指定花器を用いて：基本形態 ～たて・ななめ・よこの構成～ 10.実技：基本形態1 ～たて・ななめ・よこの構成～ 11.実技：基本形態2 ～たて・ななめ・よこの構成～ 12.実技テスト：基本形態3 ～たて・ななめ・よこの構成～ 13.実技：基本形態4 ～たて・ななめ・よこの構成～ 14.実技：基本形態5 ～たて・ななめ・よこの構成～ 15.講義：まとめ
※学修した内容を、次回の授業までに整理・復習しておくこと。
【履修上の注意点等】 1. 花材等の都合で授業内容を変更する場合があります。 2. 遅刻は15分まで、以降は欠席になります。遅刻3回で1回の欠席になります。 3. 挨拶や後片付けはしっかりと行うこと。
教科書 池坊花伝書『入門』・『初級』 『はじめるいけばな学校華道』
参考書 必要に応じて資料を配布します。

C102 南アジアの文化1

聴講生

英文科目名	South Asian Cultures		
大学名	大谷大学		
連絡先	教務課 TEL 075-411-8117 FAX 075-411-8150		
担当教員	DASH SHOBHA		
開講日程	2016年04月06日（水）～2016年07月20日（水） 3講時 13時00分～14時30分（毎週水曜日） ※休講 2016/05/04（水） ※2016/07/27（水）は試験日の為、京カレッジ生は出席不要です。		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	聴講料 15,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	80	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	聴講生は受験資格なし		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	【質問・相談方法】 個人研究室は至誠館。オフィスアワーは水曜日2時限。質問・相談のある方は気軽に来てください。		

その他特記事項	【担当者からの連絡】 受講生の興味・関心に合わせて、授業計画を多少変更することもある。 途中退室、私語、遅刻、携帯電話の使用厳禁。 出席と授業への積極的な取り組みを必要とする。 次回の授業を効率よく理解するために、必ず復習をしてから授業に参加することが望ましい。
	講義概要・到達目標
【授業テーマ】 インド文化と出会う	
【授業の内容】 多様性はインド文化の特徴である。それらの諸相を紹介し、興味と理解を深める。衣・食・住・宗教・言語などに見られる特徴を写真、映像、実物、デモンストレーションを交えて説明する。さらに、インドと日本の生活習慣の違いに着目し、比較文化の視点からも異文化を理解できるように試みる。	
【学習到達目標と授業計画】 インド文化の多様性を学ぶとともに日本文化との比較を通じて、異文化理解を深める。	
講義スケジュール	
【学習内容】 1. ガイダンス 南アジアの紹介 2. インドの概観 3. インドの食文化 4. インド人の衣文化 5. インド文化と牛 6. インドの芸術 (1) 7. インドの芸術 (2) 8. インド人の婚姻慣行 (1) 9. インド人の婚姻慣行 (2) 10. インドの宗教 (1) 11. インドの宗教 (2) 12. インドの宗教 (3) 13. ボリウッドとは何か 14. インドの父マハートマー・ガンディー 15. テスト	
【授業方法】 第1～14回：写真・動画中心の講義 第15回：テスト	
【準備学習（予習・復習）・時間】 第1回：シラバスを読んでくること。 第2～14回：前回授業の内容や配布資料を復習してくること 第15回：今までの授業内容のノートを丁寧に作成し、持ってくること	
教科書	適宜プリントを配布する。
参考書	適宜プリントを配布する。

受講料	10,000円
会場	科目開設校キャンパス
授業定員	京カレッジ定員 10
試験・評価方法	授業への参加状況、及び期末レポート 出席を含めた授業への主体的参加状況 (40%) 期末レポート (60%)
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	
その他特記事項	【本授業に関する情報】 受講生の状況に応じて、シラバスの内容、順序等を変更する場合がある。 【自学自習についての情報】 授業で説明を受けた作曲家や楽曲について、自ら興味を持って復習し、関連する楽曲を視聴する機会を設けること。 【注意】 京カレッジ生への単位認定は行いません。 車での来学はご遠慮いただいております。 教室は授業初回日に本学掲示板にて確認してください。
講義概要・到達目標	
【授業の概要】 今日「クラシック音楽」と呼ばれているジャンルの楽曲について、特に「バロック時代」以降の作品の変遷を概観し、その魅力を探る。 【授業の到達目標】 音楽史の流れに沿って作曲家を把握し、作品を鑑賞することによって音楽についての認識を深め、その発展の過程と多様性にふれ、教育者として必要な基礎知識とする。 【授業の形式】 講義（部分的に演習形式も取り入れることがある）	
講義スケジュール	
【授業計画】 第1回 オリエンテーション バロック時代 J.S.バッハ以前 第2回 バロック時代 J.S.バッハとG.F.ヘンデル 第3回 古典派 W.A.モーツァルトとF.J.ハイドン 第4回 古典派 L.v.ベートーヴェン 第5回 ロマン派 F.シューベルトとF.メンデルスゾーンその他 第6回 ロマン派 F.リストとF.ショパン 第7回 ロマン派 R.シューマンとJ.ブラームス 第8回 後期ロマン派の作曲家たち R.シュトラウス、G.マーラーその他 第9回 国民楽派の作曲家たち 第10回 イタリアのオペラ 第11回 フランスの作曲家たち1 第12回 フランスの作曲家たち2 C.ドビュッシーその他 第13回 ロシアの作曲家たち 第14回 近代～現代の作曲家たち 第15回 総括	
教科書	特に使用しない。
参考書	

C106 音楽

聴講生

英文科目名	Music
大学名	京都教育大学
連絡先	教務・入試課教務グループ TEL：075-644-8548
担当教員	小笠原 真也（音楽科）
開講日程	2016年04月13日（水）～2016年08月03日（水） 2講時 10時30分～12時00分 ※授業休止日 2016/06/01（水） ※振替授業日 2016/05/31（火） ※定期試験週を含む
単位数	2
開講区分	前期・春学期

C107 基本書法

聴講生

英文科目名	Kihon Shoho (Calligraphy)
大学名	京都教育大学
連絡先	教務・入試課教務グループ TEL：075-644-8548
担当教員	岡田 直樹（美術科）

開講日程	2016年04月15日(金)～2016年08月05日(金) 1講時 08時45分～10時15分 ※定期試験週を含む		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	10,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	3
試験・評価方法	提出作品(70%)・授業への参加態度(30%)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【本授業に関する情報】 書の学習は日頃より各自で練習することが大切である。よって、授業時間外に課題を課すことがある。</p> <p>【自学自習についての情報】 初回の授業までに、毛筆書写に必要な用具用材を必ず用意しておくこと。 早く毛筆に慣れるために、各自授業時間外にも筆をとって練習するのが望ましい。それが、準備学習・復習等に繋がる。</p> <p>【注意】 京カレッジ生への単位認定は行いませんが、他の学生は出席時数も評価に含めて単位認定を行っています。授業にしっかり参加していただける方のみ応募してください。 車での来学はご遠慮いただいております。 教室は授業初回日に本学掲示板にて確認してください。</p>		
講義概要・到達目標			
【授業の概要】	硯・毛筆などの用具・用材の扱い方や、文字の結構など中学校国語科書写の基礎的な技術や知識を講義・実習を通して修得する。		
【授業の到達目標】	中学校国語科書写の基礎的理解と教育実践力を養うことができる。		
【授業の形式】	講義・実習		
講義スケジュール			
【授業計画】	第1回 書写の説明・用具・用材の扱い方 第2回 楷書I(筆使いと基本点画) 第3回 楷書II(形の整え方) 第4回 楷書に調和する平仮名I(筆使い) 第5回 楷書に調和する平仮名II(形の整え方) 第6回 楷書と楷書に調和する平仮名の調和I(少字数で制作) 第7回 楷書と楷書に調和する平仮名の調和II(多字数で制作) 第8回 行書I(筆使い) 第9回 行書II(形の整え方) 第10回 行書に調和する平仮名I(筆使い) 第11回 行書に調和する平仮名II(形の整え方) 第12回 行書と行書に調和する平仮名の調和I(少字数で制作) 第13回 行書と行書に調和する平仮名の調和II(多字数で制作) 第14回 書写の授業の進め方についてI(指導内容と指導計画) 第15回 書写の授業の進め方についてII(指導法の工夫)		
教科書	必要に応じて授業時に資料を配布する。		
参考書			

C108 日本音楽・民族音楽概論

聴講生

英文科目名	Japanese Music and World Music
大学名	京都教育大学

連絡先	教務・入試課教務グループ TEL:075-644-8548		
担当教員	田中 多佳子(音楽科)		
開講日程	2016年04月14日(木)～2016年08月04日(木) 4講時 14時35分～16時05分 ※定期試験週を含む		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	10,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	3
試験・評価方法	1. 遅刻2回で欠席1回とみなす。2/3以上の出席を満たさない場合、期末試験を受験しない場合は履修放棄とみなす。 2. 平常点30%(受講態度、実技・討論参加の積極性などを評価。ワークシート、ミニテスト、ノートのチェックなども予告なしに行うことがある。)、期末試験70%(視聴覚問題を含む。持ち込み一切不可)で評価する。 3. 任意レポート(授業内容に関わる自由レポート)を随時受け付ける。内容に応じて評価の際に加算する。書式・分量などは自由だがオリジナリティのあるものに限る。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【自学自習についての情報】 授業で音楽を聴くことのできる時間は限られているので、授業と並行して、日常生活の中で自ら身近な例を観察し耳を傾けたり、さまざまな演奏を聴くなどして、具体的に調べ考えて、自らの感性を磨く努力をすることが求められる。</p> <p>【注意】 京カレッジ生への単位認定は行いません。 車での来学はご遠慮いただいております。 教室は授業初回日に本学掲示板にて確認してください。</p>		
講義概要・到達目標			
【授業の概要】	様々な切り口から自らの属する日本の音楽文化と世界各地の音楽文化の特性を比較しながら、基礎知識を身につけると共に、音楽の基本的とらえ方やそれを表現する言葉を学び、教員として音楽を柔軟に幅広くとらえることができる資質を養う。		
【授業の到達目標】	1. 日本および諸外国のさまざまな種類の音楽を、興味を持って考えながら聴き、文化的背景と共に理解することができる。 2. さまざまな音楽に関する基礎知識を身につけ、言葉で説明することができる。 3. 学習したさまざまな音楽や知識を相互に関連づけて、教材や教育方法の発展性を考えることができる。		
【授業の形式】	講義形式。視聴覚資料や楽器資料を多用する。簡単な実技やグループ討論を行うことがある。		
講義スケジュール			
【授業計画】	第1回 ガイダンス：授業の進め方、資料、学習方法、導入のためのアンケート等 第2回 音楽とは何か 第3回 音楽と人間の区分—音楽/民族/民族音楽学 第4回 音楽の脈絡：人はなぜ音楽するのか(1) 第5回 音楽の脈絡：人はなぜ音楽するのか(2) 第6回 多声性をめぐって：音と音との関係 第7回 声と歌をめぐって(1)人はなぜ歌うのか 第8回 世界の音階と音楽 第9回 声と歌をめぐって(2)発声法から見たさまざまな声楽 第10回 世界のリズムと音楽 第11回 声と歌をめぐって(3)声を用いた音楽 第12回 世界の楽器と音楽(1) 第13回 世界の楽器と音楽(2)		

第14回 世界の楽器と音楽 (3)	
第15回 総括 音楽を総合的に聴く：世界の音楽と日本の音楽	
教科書	月溪恒子『日本音楽との出会い：日本音楽の歴史と理論』東京堂出版 (2010年) 必要に応じてプリント資料を配布する。
参考書	柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』音楽之友社 (1999年) その他、授業時に適宜紹介する。

C109 文学

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Literature		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター学修担当 TEL075-325-5307 FAX075-325-5317		
担当教員	肥留川嘉子 (キャリア形成学部キャリア形成学科教授)		
開講日程	2016年04月07日 (木) ~2016年07月21日 (木) 5講時16時10分~17時40分 ※休講 2016/5/5 (木・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科目等履修生 (履修料20,000円、選考料 科目数を問わず10,000円) 聴講生10,000円 (選考料免除)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	授業への取り組み状況40%、定期試験60%の配点で採点する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>女子のみ受講可 ※受講者人数によって、本学開講科目基準により不開講になる場合があります。</p> <p>【授業時間外学修 (予習・復習等) について】 作品本文や関係資料はプリントして配布するので、それらを事前に読み (特に『雨月物語』は、現代語訳だけではなく本文そのものも読むこと)、予習しておくこと。授業後、再度配布資料を使って復習し、疑問点がある場合は次回の授業で質問すること。</p> <p>個人研究室：賢風館2階203 オフィスパワー：木曜3講時</p>		
講義概要・到達目標	<p>【授業テーマ】 江戸時代の怪異小説を読む</p> <p>【授業の概要】 江戸時代の作家上田秋成著すところの読本『雨月物語』は、九編の短編怪異小説から成る。その怪異は、内乱を起こして敗れ、流されて失意のうちに亡くなった上皇の霊であったり、義兄弟との再会の約束を果たすために、自ら命を絶って現れた亡霊であったりと、さまざまであるが、そこにはいずれも生きた人間の悲しみや願いといった思いが描かれていることはもちろん、人が何を理想とし、その理想に向かってどう生きたのか、といった姿も実は描かれている。この授業では、そのような九編のうちで、男女の恋愛に関わって現れた怪異が描かれる三編を採り上げ、それぞれの主題を読み解いて行ってみよう。</p> <p>【到達目標】 1. 日本の古典文学作品の読解力を身につける。 2. 日本の歴史、および文学史の基礎知識を習得する。 3. 文学作品を通して人間の生き方を学び、自らの生き方について考えを深める。</p>		

講義スケジュール	
【授業計画】	
第1回	上田秋成、および『雨月物語』について概説
第2回	映画「雨月物語」前半鑑賞
第3回	映画「雨月物語」後半鑑賞
第4回	『雨月物語』巻之二「浅茅が宿」本文 (「勝四郎の上洛」「戦禍に遭遇する宮木」) 読解
第5回	同章本文 (「勝四郎近江にて発病」「七年目の帰郷」「勝四郎と宮木の再会」) 読解
第6回	同章本文 (「宮木の身の上」「荒廃のわが家」「妻の墓の辞世」) 読解
第7回	同章本文 (「翁の話」「真間の手児女」の昔話) 読解
第8回	『雨月物語』巻之四「蛇性の姪」本文 (「主人公豊雄の生い立ち」「真女児との邂逅」「豊雄真女児を訪問」「真女児の求愛」) 読解
第9回	同章本文 (「豊雄兄にとがめられる」「豊雄の弁解」「豊雄国司に召捕らる」「奇怪な真女児の家」「大和まで豊雄を追う真女児」) 読解
第10回	同章本文 (「真女児の弁明」「豊雄と真女児の婚儀」「姉夫婦との吉野行」「真女児の正体」) 読解
第11回	同章本文 (「豊雄故郷で結婚」「真女児富子に化す」「調伏の法師絶命」「真女児の最期」) 読解
第12回	『雨月物語』巻之三「吉備津の釜」本文 (「妬婦の利害をめぐる」「正太郎と磯良の結婚」「御釜祓いの占い」) 読解
第13回	同章本文 (「正太郎の放蕩」「正太郎の裏切り」「愛人袖の急死」) 読解
第14回	同章本文 (「墓参で逢った女」「磯良の亡霊の出現」) 読解
第15回	同章本文 (「陰陽師の助言」「正太郎の最期」) 読解、まとめ
【授業方法】	
プリントして配布するテキストは、頭注も現代語訳も付いているが、それらは作品理解の補助に使い、授業中は江戸時代に上田秋成が書いた本文そのもので読み進める。ただ、参考のために、溝口健二監督が秋成の『雨月物語』の、主に「浅茅が宿」と「蛇性の姪」とを基に制作したと思われる映画「雨月物語」も観てみる。	
教科書	プリントを配付してテキストとする。
参考書	日本古典文学大系56 上田秋成集/中村幸彦 校注/岩波書店/昭和49年 (第15刷) 新潮日本古典集成 雨月物語 痲癖談/浅野三平 校注/新潮社/昭和58年 (第3刷) 新編 日本古典文学全集 英草紙 西山物語 雨月物語 春雨物語/中村幸彦・高田衛・中村博保 校注・訳/小学館/1995年 (第1版第1刷)

C115 音楽学特講 e：ミサ曲テキストに見るプロテスタント思想

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Monographic Lecture in Musicology e		
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	教務学生課音楽教務担当 TEL：075-334-2222 FAX：075-334-2345		
担当教員	山本 毅 (音楽学部教授)		
開講日程	2016年04月15日 (金) ~2016年07月15日 (金) 3講時 13時00分~14時30分 (毎週金曜日) ※以下の祝日は開講 2016年4月29日 (金・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	入学料：28,200円 授業料：科 28,800円 聴 28,800円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	毎回の授業での小テストによる平常点、出席点による。		

超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	
その他特記事項	
講義概要・到達目標	
〔授業目標〕 ミサ曲のテキストの意味内容を理解し、背景にある神学とプロテスタントキリスト教徒の音楽観、宗教観を知る。	
〔授業概要〕 ミサ曲の歌詞の意味を辞書で調べることは簡単だが、その背景にある思想や感情を知ることなくそのことばを理解したとはいえない。聖書的・神学的背景を知らなくてはならない。演奏法も当然そこに土台がある。	
〔履修上の注意〕 毎授業時、楽譜を持参することが望ましい。	
講義スケジュール	
①キリスト教とプロテスタント教会音楽、ミサ曲概説 ②Kylie (主よ憐れみたまえ) ③Gloria in excelsis Deo Et in terra pax (いと高きところにいます神に栄光あれ地には平和あれ) ④Laudamus te (われら汝を讃え) ⑤Gratias agimus tibi (感謝し奉る) ⑥Domine Deus (主なる神) ⑦Qui tollis peccata mundi (世の罪を除きたもう者よ) ⑧Qui sedes ad dextram Patris (父の右に座したもう者よ) ⑨Quoniam tu solus sanctus (汝の望みなれば) ⑩Cum Sancto Spiritu (聖霊とともに) ⑪Credo in unum Deum (われは信ず、唯一なる神を) ⑫Sanctus (聖なるかな) ⑬Osanna in excelsis (いと高きところにオザンナ) ⑭Agnus Dei (神の子羊)	
教科書	授業で配布
参考書	バッハ・口短調ミサの楽譜 (スコア・ヴォーカルスコアどちらでも可。ペーレンライター版が望ましい)

その他特記事項	
講義概要・到達目標	
〔授業目標〕 民族音楽学という学問の視点と方法をまなぶ。それらにそって、諸民族の音楽にふれ、文化の多様性をみる観点を獲得する。また、諸民族の音楽の実践的な獲得を目指す。	
〔授業概要〕 「民族音楽学」の入門コース。「民族音楽学」という「ものの見方」「考え方」を、具体的に示すため、アジア、アフリカ、アメリカ、ヨーロッパの諸民族の伝統音楽の実際に接してみる。音の作り方、音を発するプロセスを実践をまじえながら理解していく。	
〔履修上の注意〕 立ったり座ったり手を動かしたり足を動かしたり声を出したりします。	
講義スケジュール	
①民族音楽学 (ethnomusicology) の視点と方法—かたち・パターン ②民族音楽学 (ethnomusicology) の視点と方法—意味と価値 ③民族音楽学 (ethnomusicology) の視点と方法—コンテキスト ④民族音楽学 (ethnomusicology) の視点と方法—諸民族の音楽を概観する ⑤地域研究1-1 ⑥地域研究1-2 ⑦地域研究1-3 ⑧地域研究1-4 ⑨地域研究2-1 ⑩地域研究2-2 ⑪地域研究2-3 ⑫地域研究2-4 ⑬地域研究2-5 ⑭授業内試験	
教科書	なし
参考書	

C117 民族音楽学 I b

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Ethnomusicology I b		
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	教務学生課音楽教務担当 TEL: 075-334-2222 FAX: 075-334-2345		
担当教員	藤田 隆則 (日本伝統音楽研究センター)		
開講日程	2016年04月11日 (月) ~ 2016年07月18日 (月) 1講時 9時00分~10時30分 (毎週水曜日) ※以下の祝日は開講 2016年07月18日 (月・祝) ※以下の日は休講 2016年05月02日 (月)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	入学料: 28,200円 授業料: 科 28,800円 聴 28,800円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	出席 (4割) とレポート (6割)。毎回の授業で授業に対するコメントなどを書いてもらい、評価の対象とします。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			

C121 情報デザイン概論II

聴講生

英文科目名	Introduction to Information Design II		
大学名	京都造形芸術大学		
連絡先	教学事務室 教務担当 TEL: 075-791-9125		
担当教員	佐藤 博一		
開講日程	2016年04月13日 (水) ~ 2016年07月27日 (水) 4講時 14時50分~16時10分 (毎週水曜日) ※休講 2016年05月04日 (水・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	無料		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	2
試験・評価方法	<p>■単位互換生 <基準> ・集中して授業を受け、講義内容を広い視野から読み解いているか。 ・情報を整理して各自の関心領域との接点を見だし、論理的に考察しているか。 ・授業テーマに対して興味をもって参加し、情報の蓄積を習慣化しているか。</p> <p><評価方法> ・コメントシート。 ・レポート。 ・授業への積極的な参加度。</p>		

試験・評価方法	■京カレッジ生 聴講生のため試験・評価なし
超過時の選考方法	抽選
別途負担費用	無し
その他特記事項	・履修許可通知後の受講手続きは特にありません。 履修生証の発行も行いませんが、本学に受講に来る際には必ず所属大学の学生証を持参してください。 ・駐車場、バイク駐輪場はありませんので公共交通機関をご利用ください。 ・学内で教科書等の販売は行っていません。一般書店でお買い求めください。
講義概要・到達目標	
■テーマ デザインの成り立ちと広がり	
■授業概要 情報デザインという専門領域がどのように形成されたのかを知る手がかりとして、近代デザインの形成期から現代のデザイン状況にいたる歴史の変遷を概観します。それぞれの時代と社会的背景が、どのようにデザイン概念の多様性と関わってきたのかを多面的に検証し、これからの専門分野で検討すべき課題について考えていきます。	
■到達目標 情報デザインの予備的な知識を身につけるとともに、デザインをより身近に感じ、今後の専門分野における学習に向けて、自分なりの視点から、問題意識を提示できるようになることを目標とします。	
講義スケジュール	
■授業計画 1. オリエンテーション：情報デザインの現在位置を探る 2. デザインへの視点：語義と解釈 3. デザインの実態：観察と評価 4. デザインの形成：対象と領域 5. 世界デザイン史：近代デザインの誕生以前 6. 世界デザイン史：写真とイラストレーション 7. 世界デザイン史：バウハウスの時代とその周辺 (1) 8. 世界デザイン史：バウハウスの時代とその周辺 (2) 9. 世界デザイン史：産業とデザイン 10. 世界デザイン史：世界と日本 (1) 11. 世界デザイン史：世界と日本 (1) 12. メディアとテクノロジー 13. デザインと物語性 14. 情報の編集とデザイン：新しい価値の生成 15. まとめ：情報デザインの展望と課題	
■予習・復習について デザインの歴史と現在を扱う授業です。授業5回目以降は、19世紀後半から20世紀末までの世界と日本の一般の歴史について事前に確認しておくことを推奨します。毎回の授業で学んだ事柄が今の日常生活の中にどう関係するのかを振り返り、周囲を注意深く観察することで、情報デザインに対する認識を高めることを復習とします。	
教科書	『増補新装 カラー版 世界デザイン史』阿部公正・監修 美術出版社 2012年 2700円
参考書	講義内容に応じてテキスト『世界デザイン史』を参照します。
参考書	参考書等は授業内で適宜、紹介します。

C122 情報デザイン論II

聴講生

英文科目名	Theory of Information Design II
大学名	京都造形芸術大学
連絡先	教学事務室 教務担当 TEL：075-791-9125

担当教員	都築 潤		
開講日程	2016年04月08日(金)～2016年07月22日(金) 5講時 16時30分～17時50分(毎週金曜日) ※休講 2016年04月29日(金・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	無料		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	2
試験・評価方法	◆単位互換生 <基準> ・社会や歴史の中に対象を位置づけ確認できているか。その情報を処理し掘りさげること、新たな視点を獲得しているか。 ・講義の内容を整理し、論理的に整理できているか。 ・情報の蓄積を習慣化し、持続的に運用しているか。 <評価方法> ・講義シート。 ・期末レポート。 ・授業参加の積極性。 ◆京カレッジ生 聴講生のため試験・評価なし		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	無し		
その他特記事項	・履修許可通知後の受講手続きは特にありません。 履修生証の発行も行いませんが、本学に受講に来る際には必ず所属大学の学生証を持参してください。 ・駐車場、バイク駐輪場はありませんので公共交通機関をご利用ください。 ・学内で教科書の販売は行っていません。一般書店でお買い求めください。		
講義概要・到達目標			
■テーマ イラストレーション論			
■授業概要 イラストレーションを始めとするビジュアルコミュニケーションの歴史や現在の状況、今後の展開を概観し、印刷、広告、映像、アニメーション、デジタル、アートなど、メディアで機能するグラフィックを多角的に紹介します。			
■到達目標 ・メディア、デザイン、イラストレーションの知識を予備的に携えることができるようになる。 ・クリエイティブに欠かせない発想や思考法をつかむことができるようになる。 ・歴史と領域から立体的に今をとらえ自己のマッピングや批判力を習得する。			
講義スケジュール			
■授業計画 01) ガイダンス 02) 欧米のヴィジュアルインパクト 03) 日宣美の時代 04) 日宣美の時代 05) 欧米のヴィジュアルインパクト 06) 年鑑日本のイラストレーション 07) 東映動画 08) サブカルチャーからサブカルへ 09) 年鑑日本のイラストレーション 10) 年鑑日本のイラストレーション 11) 80年代コンペティション 12) 80年代コンペティション 13) 欧米のビジュアルインパクト 14) 多様化の時代 15) ゲストトーク			
■予習・復習について			

ノートにもとづいて授業内容をふりかえる。みずからの計画にもとづいて自主的に復習をおこない、学びを深める。

教科書	テキストなし
参考書	『日本イラストレーション史』都築潤、福井真一＝監修 美術出版社 2010年

C123 情報デザイン論XI

聴講生

英文科目名	Theory of Information Design XI		
大学名	京都造形芸術大学		
連絡先	教学事務室 教務担当 TEL: 075-791-9125		
担当教員	藤本 由紀夫		
開講日程	2016年04月14日(木)～2016年07月28日(木) 5講時 16時30分～17時50分(毎週木曜日) ※休講 2016年05月05日(木・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	無し		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	2
試験・評価方法	<p>■単位互換生 <基準> ・情報の収集を心がけ好奇心を持って授業に臨んでいるか。 ・感覚をともなった思考を行っているか。 <評価方法> ・授業中のディスカッション ・授業中の課題、レポート</p> <p>■京カレッジ生 聴講生のため試験・評価なし</p>		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>・履修許可通知後の受講手続きは特にありません。履修生証の発行も行いませんが、本学に受講に来る際には必ず所属大学の学生証を持参してください。 ・駐車場、バイク駐輪場はありませんので公共交通機関をご利用ください。 ・学内で教科書等の販売は行っていません。一般書店でお買い求めください。</p>		
講義概要・到達目標	<p>■テーマ Think design/ Touch design—脳と身体でデザインを考える—</p> <p>■授業概要 デザインという言葉は、現在ではあまりにも日常的な言葉となっているために、改めてデザインとは何か?と問われると、よくわからなくなります。この授業では「デザインとは?」を、様々な分野の興味ある人達の行ってきたことを参考に、脳と身体を使って考えてみたいと思います。</p> <p>■到達目標 デザインをするということを自覚できるようになること。</p>		
講義スケジュール			
■授業計画	<p>アートとデザイン 1) アートとデザインは何が違うのか? 科学と芸術と技術 2) 観察と分析、そして妄想</p>		

- ブルーノ・ムナリー 椅子の座り方を考えた人
3) ムナリーを考える Fantasia
4) ムナリーに触れる A spontaneous form

- チャールズ & レイ・イームズ 椅子から宇宙までデザインした人
5) イームズを考える Design Q&A
6) イームズに触れる Powers of ten

- マーシャル・マクラーハン 見ることと聞くことの違いを考えた人
7) メディアを考える The medium is the message
8) メディアに触れる The medium is the massage

- ゲリット・リートフェルト 椅子を家に変身させた人
9) 椅子を考える How to Construct Rietveld Furniture
10) 椅子に触れる 椅子に座る、椅子を配置する

- リサ・ランドール 重力の弱さから五次元を考えた人
11) 宇宙を考える ワープする宇宙
12) 宇宙に触れる 宇宙の扉をノックする

- アタナシウス・キルヒャー 17世紀のデザイナー
13) キルヒャーを考える 好奇心と編集能力
14) キルヒャーに触れる 好奇心と発想力

- Think design./Touch design
15) 考えることと感じること

■予習復習について
授業の前後に参考図書を読むことが望ましい

教科書	特に無し
参考書	<p>1. 『ドミトリーともきんず』高野 文子著 中央公論新社 2014年 2. 『ファンタジア』ブルーノ ムナリー著 みすず書房 2006年 3. 『イームズ入門—チャールズ&レイ・イームズのデザイン原風景』デミトリオス イームズ著 日本文教出版 2004年 4. 『リサ・ランドール 異次元は存在する』リサ・ランドール+若田光一 著 日本放送出版協会 2007年 5. 『キルヒャーの世界図鑑—よみがえる普遍の夢』ジョスリン・ゴドウィン著 工作舎 1986年</p>

C125 美術各論

聴講生

英文科目名	Theories of Fine Art		
大学名	京都造形芸術大学		
連絡先	教学事務室 教務担当 TEL: 075-791-9125		
担当教員	専任教員オムニバス		
開講日程	2016年04月13日(水)～2016年07月27日(水) 1講時 9時00分～10時20分(毎週水曜日) ※休講 2016年5月4日(水・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	無料		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	<p>■単位互換生 <基準> ・各教員の講義の内容から自らの制作を振り返ることができたかどうか。 ・授業への積極的参加。</p>		

試験・評価方法	<p><評価方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業毎で提出する小レポートの内容を各教員が採点しその内容を評価する。 ・授業参加状況と小レポートでの質問などで評価する。 <p>■京カレッジ生 聴講生のため試験・評価なし</p>
超過時の選考方法	抽選
別途負担費用	無し
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・履修許可通知後の受講手続きは特にありません。履修生証の発行も行いませんが、本学に受講に来る際には必ず所属大学の学生証を持参してください。 ・駐車場、バイク駐輪場はありませんので公共交通機関をご利用ください。
講義概要・到達目標	<p>■テーマ 創作者の思考と実践</p> <p>■授業概要 専任教員による創作論を週毎に展開し、様々な創作者としての背景を知る。作家としての考え方、表現に至る手法、素材の選択、そして各作家としての教員が目標とするテーマを具体的にかつ学生からの視点に合わせて自身を紹介しながら創作者の指標を様々な領域から示す授業。美術各論は主に平面系創作者が担当する。</p> <p>【履修にあたって】 美術工芸学科作成のテキストを授業前に熟読しておき、必要に応じて質問なども考えておくとよい。</p> <p>■到達目標 受講生は、教員の創作への様々な切り口を知り、思考の原点を共有することから、学生自らの創作意識を高め、制作に於いて実践出来るようになる。</p>
講義スケジュール	<p>■授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 4/13 椿昇 (現代美術) 2. 4/20 東島毅 (油画) 3. 4/27 菅原健彦 (日本画) 4. 5/11 神谷徹 (油画) 5. 5/18 奥村美佳 (日本画) 6. 5/25 佐々木るり子 (日本画) 7. 6/1 山河全 (油画) 8. 6/8 大庭大介 (油画) 9. 6/15 吉川弘 (日本画) 10. 6/22 相見節子 (油画) 11. 6/29 竹内万里子 (写真) 12. 7/6 木村克朗 (油画) 13. 7/13 山田伸 (日本画) 14. 7/20 神内康年 (総合造形) 15. 7/27 奥田輝芳 (油画) <p>※担当教員は日程変更する場合があります。</p> <p>■予習・復習について 美術工芸学科作成のテキストを授業前に熟読する事を予習とし、毎回講義後の振り返りを行いレポートを提出する。</p>
教科書	<p>テキストあり。学科から初回授業で配布。 『美術工芸学科教員冊子』</p>
参考書	特に使用しない。

担当教員	椿昇、小野規、竹内万里子		
開講日程	2016年04月13日(水)～2016年07月27日(水) 2講時 10時40分～12時00分(毎週水曜日) ※休講 2016年5月4日(水・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	無料		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	<p>■単位互換生 <基準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の出来事に興味や関心を持たか ・なぜその問題があるのか歴史を元に考えぬく力 ・データベースをリサーチする習慣をもてたかどうか <p><評価方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内の小レポート ・授業参加度と授業での積極性 <p>■京カレッジ生 聴講生のため試験・評価なし</p>		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	無し		
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・履修許可通知後の受講手続きは特にありません。履修生証の発行も行いませんが、本学に受講に来る際には必ず所属大学の学生証を持参してください。 ・駐車場、バイク駐輪場はありませんので公共交通機関をご利用ください。 ・学内での教科書等の販売は行っていません。一般書店でお買い求めください。 		
講義概要・到達目標	<p>■テーマ 世界の都市問題と現代美術</p> <p>■授業概要 現在、私たちをとりまく都市文明は具体的にどのような姿で存在し、変化しつつあるのか。そして人間に対していかなる問題提起をはらんでいるのか。芸術と人間の基盤を形成するこの都市文明のアクチュアルなありようについて学ぶために、本講義では担当教員がそれぞれに体験してきた世界の様々な都市を紹介し、個別の体験を通して浮かび上がる都市や人間の問題について具体的に考察する。あたかも世界一周をするかのように、地理的、歴史的な移動をダイナミックに繰り返しながら、より幅広く柔軟な視点で自身と世界を結び付け、思考し、現代の表現者となる若者が世界に向き合う表現を目指すようナビゲートしたい。</p> <p>【履修にあたって】 ただ漠然と授業を受けるのではなく、世界で起こっている様々な問題のなかで特に関心のある地域や紛争などについてリサーチしておいてください。できればデスクトップのブラウザトップに以下URLを。 http://www.aljazeera.com/</p> <p>■到達目標 都市文明に関する基礎的な教養だけでなく、そこから人間や社会とは何かを主体的に考える力を獲得する。</p>		
講義スケジュール	<p>■授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション (椿・小野・竹内) 2. 小野 9.11以後の世界の表象とアート 3. 小野 パリ：イメージと現実のはざま 4. 小野 ベルリン：分断と統合の歴史 5. 小野 東南アジア：複数のアイデンティティ 6. 竹内 地図を読む、世界を読む 7. 竹内 東京：マガシティの沈黙 8. 竹内 ニューヨーク：単独者とコミュニティ 9. 竹内 キガリ：悲劇と奇跡の間 10. 椿 アメリカ大陸をドライブすれば・・・ 11. 椿 ロンドンで学ぶ 12. 椿 インドのアートシーン 		

C126 美術工芸史I

聴講生

英文科目名	History of Fine and Applied Arts I
大学名	京都造形芸術大学
連絡先	教学事務室 教務担当 TEL：075-791-9125

13. 椿 パレスチナの生活
 14. グループディスカッション (椿・小野・竹内)
 15. エピローグ (椿・小野・竹内)
 ※順序は変更の可能性あり

■予習・復習について
 常にアルジャジラ ウェブサイトを見ておくこと。

教科書	特に使用しない
参考書	ハンス・ウルリッヒ・オブリヒトの著作を図書館で読んでおくこと。 『一冊でわかるイラストでわかる図解世界史』成美堂出版編集部 成美堂出版 2006年

C127 美術工芸史II

聴講生

英文科目名	History of Fine and Applied Arts II		
大学名	京都造形芸術大学		
連絡先	教学事務室 教務担当 TEL: 075-791-9125		
担当教員	河上 眞理		
開講日程	2016年04月13日(水)～2016年07月27日(水) 1講時 9時00分～10時20分(毎週水曜日) ※休講 2016年5月4日(水・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	無料		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	<p>■単位互換生 <基準> ・授業外で課題に取り組む姿勢、図書館で参考文献を見だし、読み、分析する姿勢 ・課題の意図を理解し、理解した内容を表現する姿勢 ・日々たゆまぬ努力をする姿勢</p> <p><評価方法> ・学期末に提出するワークシートの完成度 ・毎回の授業で提示する問に対する回答内容、及びグループ・ワークでの発言内容 ・授業参加態度、授業内容を復習し翌週の授業につなげる姿勢</p> <p>■京カレッジ生 聴講生のため試験・評価なし</p>		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	無し		
その他特記事項	・履修許可通知後の受講手続きは特にありません。履修生証の発行も行いませんが、本学に受講に来る際には必ず所属大学の学生証を持参してください。 ・駐車場、バイク駐輪場はありませんので公共交通機関をご利用ください。 ・学内で教科書等の販売は行っていません。一般書店でお買い求めください。 ・既に履修済の場合は受講をしていただけません。		
講義概要・到達目標	<p>■テーマ 絵画史を西洋と日本の比較によって読み解く</p> <p>■授業概要 古代から現代までの絵画史を、西洋と日本との比較の観点から考察していきます。</p>		

比較のテーマは、1.身体表現、2.肖像画、3.歴史画、4.風景画・自然描写、5.静物画の5つです。
 5つのテーマにおいて、両者にどのような相違があるのかを、代表的な作品を取り上げながら見ていきましょう。
 相違は、西洋と日本、それぞれの文化や、人々の考え方が反映されたものであるでしょう。また、時代や個々の画家の相違も見えてくるでしょう。
 西洋と日本との比較によって歴史を知ることは、今や、我々自身の立ち位置を知るために不可欠なことです。

■到達目標
 授業で取り上げる5つのテーマに関する代表的な作品を知ること。また、それらの作品を西洋と日本との比較の観点から理解し、論じられるようになること。

講義スケジュール

■授業計画

1. 西洋の身体表現
2. 日本の身体表現
3. 西洋と日本の身体表現の比較
4. 西洋の肖像画
5. 日本の肖像画
6. 西洋と日本の肖像画の比較
7. 西洋の歴史画
8. 日本の歴史画
9. 西洋と日本の歴史画の比較
10. 西洋の風景画・自然描写
11. 日本の風景画・自然描写
12. 西洋と日本の風景画・自然描写の比較
13. 西洋の静物画
14. 日本の静物画、西洋と日本の静物画の比較
15. まとめ

■予習復習について

予習：参考書・参考文献の指定箇所の通読。
 復習：授業内容の整理ノートの制作。

教科書	毎回、講義内容のレジュメを配布する。 テキストは定めないが、掲載した参考書以外にも講義中に随時紹介する。
参考書	1.『増補新装 カラー版西洋美術史』高階秀爾監修 美術出版社 2002年 2.『増補新装 カラー版日本美術史』辻惟雄監修 美術出版社 2003年

C128 美術工芸史III

聴講生

英文科目名	History of Fine and Applied Arts III		
大学名	京都造形芸術大学		
連絡先	教学事務室 教務担当 TEL: 075-791-9125		
担当教員	福本 有寿子		
開講日程	2016年04月14日(木)～2016年07月28日(木) 2講時 10時40分～12時00分(毎週木曜日) ※休講 2016年5月5日(木・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	無料		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	<p>■単位互換生 <基準> ・染織史に興味を持ち、学習する。 ・実物資料・絵画資料・文献から読み取った内容で論を組み立てることができる。 ・日本染織史の概略を理解し、受講後の学習や制作</p>		

試験・評価方法	活動に生かすことができる。 <評価方法> ・学期末テスト ・授業への参加度 ■京カレッジ生 聴講生のため試験・評価なし
超過時の選考方法	抽選
別途負担費用	無し
その他特記事項	・既に履修済みの場合は、受講できません。 ・履修許可通知後の受講手続きはありません。履修生証の発行も行いませんが、本学に受講に来る際には必ず所属大学の学生証を持参してください。 ・駐車場、バイク駐輪場はありませんので公共交通機関をご利用ください。 ・学内で教科書等の販売は行っておりません。一般書店でお買い求めください。
講義概要・到達目標	
■テーマ 日本染織文化史	
■授業概要	日本の服飾と染織文化についての講義である。古代中国で創始された絹織物は、シルクロードを通り世界各地に広まった。日本の服飾文化も、絹織物に支えられ発展してきたといえる。本講義では、シルクロードを通じて諸外国の文化を受容する様子や、着物が成立する過程など、絹製染織品を中心に日本の服飾と染織文化を通覧する。
■到達目標	日本の染織史の概略をつかむと共に、実物資料、絵画資料、文献からどのようなことが読み取られるのかを理解して基礎的な学力を身につけることを目標とする。
講義スケジュール	
■授業計画	1. ガイダンス 染織品の基礎知識 2. 小袖の成立 十二単から小袖へ1 3. 小袖の成立 十二単から小袖へ2 4. 平安時代の工芸意匠 5. 公家の装束 6. 武家女性の服装 7. 桃山時代の服装 8. 辻が花 9. 南蛮ファッション 10. 江戸時代初期の小袖 慶長小袖 11. 江戸時代初期の小袖 寛文小袖 12. 友禅染 13. 江戸時代中期から後期の小袖 14. 中国と日本の染織品 15. まとめ
■予習復習について	受講後は要点を整理しておくことが望ましい。
教科書	テキストは使用しない。適宜プリントを配布する。
参考書	特に使用しない

C130 アーツマネジメント論

科目等履修生

英文科目名	General Introduction to Arts Management
大学名	京都橘大学
連絡先	学務第1課 TEL: 075-574-4324 FAX: 075-574-4134

担当教員	小暮 宣雄 (現代ビジネス学部都市環境デザイン学科教授)		
開講日程	2016年04月07日(木)～2016年08月03日(水) 1講時 09時00分～10時30分(毎週金曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科32,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	小テスト(20%) 授業中課題(30%) 参加度(50%) 毎回、A5版程度の用紙(出席確認を兼ねるもの)に感想や意見、時にはミニテストなどをして提出してもらう。欠席の場合はそれに替わるものをA5用紙で提出して15回をクリアすることをめざす。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	1. こぐれ日乗 小暮宣雄メインブログ http://kogure.exblog.jp/ 2. めくるめく紙芝居プロジェクト めくるめく紙芝居プロジェクト(略してMEK) 学外授業はもとより、できるだけ、現地での鑑賞・体験を行うようにすること。めくるめく紙芝居プロジェクト(略してMEK)には参加が有効。 https://www.facebook.com/mekmekY		
講義概要・到達目標			
【テーマ】	アーツマネジメントを学ぶ入り口		
【授業の到達目標】	アーツマネジメントが都市環境デザインにどう位置づけられるかを知る。 アーツマネジメントの基礎的用語を理解し説明できる。 アーツマネジメントの分類ができる。		
【授業の概要】	古典の世界を重視して、芸術リテラシー向上に資する。 アーティストやアーツマネージャーが呼びかけに来てくれることもあるので、楽しみに。		
【準備学習(予習・復習)】	アーツマネジメントの基本文献を紹介したり配布するので、時間外によく読んでおくこと。生協の読書奨励制度を積極的に活用するととても役立つ。 芸術鑑賞と文化ボランティアの学外での活動を評価する。		
講義スケジュール	第1回 これからの予定の紹介(冒頭に、これからの演劇ダンス公演のPRだとか、美術関係のボランティア募集などの呼びかけが随時行われることがあり、そこに登場する方々は、それぞれ新進気鋭のアーツマネージャーなので、適宜、生のアーツマネジメントの姿を挿入することを促進する。) 第2回 アーツマネジメント(芸術営)の基本、本質、実践 第3回 アーツマネジメント(芸術営の定義と文化政策、まちづくりとの関係) 第4回 芸術場(劇場ホール、美術館)芸術団(劇団、楽団など) 第5回 学外授業—芸術鑑賞 京都かその周辺(予定としては、東部文化会館5/21の若者向け雅楽鑑賞会) 第6回 アーツスペース論～劇場、コンサートホール、ライブハウス、美術館、画廊の真実～ 第7回 アーツ(諸芸術)の分類 第8回 伝統芸術概論—雅楽、能楽、文楽、歌舞伎 第9回 日本実演芸術概論—落語、講談、浪曲(できれば、浄瑠璃、長唄も) 第10回 アーツマネジメントの分類と歴史 第11回 文化芸術振興法と劇場法など法制度と芸術営 第12回 イベントプロデュースと芸術営の関係 第13回 非営利民間活動の公共性～アーツNPOと企業メセナ 第14回 限界芸術と先端芸術、伝統芸術、市場芸術の関係 第15回 まとめ・・・アーツ(マネジメント)の公共性とは		
教科書	使用しない		

参 考 書	1. アーツマネジメント学 小暮宣雄 水曜社 2013
	2. 文化政策学の展開 池上惇ほか 晃洋書房 2003
	3. アーツ・マネジメント概論三訂版 伊藤裕夫ほか 水曜社 2009
	4. アーツマネジメントみち 小暮宣雄 晃洋書房 2003
	5. 分権時代の自治体文化政策 中川幾郎 勁草書房 2001
	6. 限界芸術論 鶴見俊輔 筑摩書房 1999
	7. 著作権とは何か 福井健策 集英社 2005
	8. 地域再生の畧 久繁哲之介 筑摩書房 2010
	9. 未来型サバイバル音楽論 牧村憲一ほか 中央公論新社 2010
	10. これからのアートマネジメント 中川真ほか フィルムアート社 2011

第09回 五行と王朝の服色 (b) 五行相生 (2)	
第10回 三従、七去、三不去 (1)	
第11回 三従、七去、三不去 (2)	
第12回 七出三不去と律の規定	
第13回 妻の再婚と貞操 (1)	
第14回 妻の再婚と貞操 (2)	
第15回 妻の再婚と貞操 (3)	
教科書	プリント資料配付
参考書	随時紹介

C131 東洋文化史概論

科目等履修生

英文科目名	Introduction to Oriental Cultural History		
大学名	京都府立大学		
連絡先	学務課 教務担当 TEL: 075-703-5118 FAX: 075-701-2474		
担当教員	京都府立大学 文学部歴史学科 教授 中 純夫		
開講日程	2016年04月13日(水)～2016年07月27日(水) 4コース 14時30分～16時00分(毎週水曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	67,600円(入学者査料9,800円、入学料28,200円、授業料29,600円)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	120	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	出席状況及びレポート		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
【講義概要】 中国文化を中心に、東洋文化に幅広く題材を求めて講義を行う。今年度は「陰陽五行思想」「儒教の女性道徳」の二つのテーマを取り上げる。 陰陽五行は、古代以来の中国文化の基底をなした重要概念である。気や五行は原來は万物の構成要素としての存在論的概念であったが、陰陽思想は陽尊陰卑によって上下秩序を基礎づける理論的根拠ともなり、五行の循環は王朝交替の説明原理となるなど、多様な展開を見せた。「儒教の女性道徳」では、三従・七出など、男性中心であった儒教女性道徳の実態を文献に即して明らかにする。			
【到達目標】 東洋文化史に関する幅広い知見を身につけ理解を深めることを目標とする。原典資料に現代語訳をそえたプリント資料を用意して配布し、資料の味読を通して文化を読み解く面白さを伝えることができると考えている。			
講義スケジュール			
第01回 気と陰陽 第02回 五行と五材 第03回 陰陽と五行 第04回 五行の配当 (1) 第05回 五行の配当 (2) 第06回 五行と王朝の服色 (a) 五行相克 (1) 第07回 五行と王朝の服色 (a) 五行相克 (2) 第08回 五行と王朝の服色 (b) 五行相生 (1)			

C132 観光文化論

科目等履修生

英文科目名	Studies of Tourism Culture		
大学名	京都文教大学		
連絡先	教務課 TEL 0774-25-2426 FAX 0774-25-2498		
担当教員	橋本 和也(総合社会学部総合社会学科教授)		
開講日程	2016年04月07日(木)～2016年07月21日(木) 2講時 10時40分～12時10分(毎週木曜日) ※休講:2016年05月05日(木)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科50,000円(登10,000円 履40,000円)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	80	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	何度が筆記試験を行い、出席と合わせて評価する。 30% 期末試験(筆記) 60% 期間中試験 10% 平常点評価		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	特になし		
講義概要・到達目標			
本講義では、現代の観光現象を「観光文化」に焦点を当てて解明していく。近代のマス・ツーリズムはトマス・クック社にはじまるといわれる。そのマス・ツーリズムの基本的な特徴はメディアや知人からの紹介で「よく知られたものを確認しに行く」点にあるといえよう。講義では、「観光経験」と「地域文化観光」に焦点を当てて観光現象を解明する。(1) 観光の特徴と「観光文化」について、(2) みやげものと「観光経験」、(3) 「観光経験」を構築するガイド、(4) 構築される「地域文化観光」として、湯布院、遠野、内子などを例に挙げ、「YOSAKOIソーラン祭り」や、「アニメ聖地巡礼」など、現在の日本における「地域文化観光」の現状と問題点について考察する。			
講義スケジュール			
(1) はじめに (2) [I部] 「観光文化」と真正性について (2) 「観光」の特徴と定義(スミス、ナッシュ、アーリ) (3) トマスクック社とマス・ツーリズム (4) 「観光文化」と「真正性」 ① 「まがいもの」か「新たな観光文化の創出か」 ② 「真正性」と「換喩」 実物を見ることは「真正」なものを見ることか			
5. [II部] みやげものと観光経験 (5) みやげもの研究 ① みやげものの分類、② みやげもの購入の4スタイル、③ みやげものの「真正性」 (6) みやげもの通り(京都、鎌倉、横浜) (7) ご統治版キャラクター			

①「旅するハローキティ」、②「きもかわの意味」

(8) みやげもの人類学
①「ものがたり」が「解凍」する観光経験、②通過型観光の「ものがたり」、③観光経験の真正さ

[Ⅲ部] 観光経験を構築するガイド
(9) ものがたりと観光ガイド
①導きのナラティブ（ものがたり）、②発見の「ものがたり」をめぐって
(10) 「地域文化ツアー」と「エコツーリズム」

[Ⅳ部] 構築される「地域文化観光」
(11) 「地域観光文化」とは
創出される地域性
(12) 湯布院、内子、遠野
①「わかりやすい言葉」とは、②町並み保存のまち、③語りの里
(13) 伝搬する「地域文化創造」

YOSAKOIソーラン祭り
(14) 構築される「聖地」の「ものがたり」
アニメ聖地巡礼
(15) まとめ

教科書	『観光経験の人類学』橋本和也著 2011年 世界思想社
参考書	『観光人類学の戦略』橋本和也著 1999年 世界思想社

「古いが現代社会においてどんな役割を果たしているのか」といった、より大切に本質的な問いに向けて歩を進めます。そして、古いという実践を明らかにすることが近代社会を考える重要な鍵であることを明らかにしたいと思います。

具体的には、近世から現在に及ぶ期間に登場した古いに関する多くの事実をひもとき検討することで、その時代における古いと人間・社会とのかわりを知り、その変化を捉えていきたいと思っています（具体的に取り扱う内容は講義スケジュールを参照してください）。また授業では、理屈ばかりを追いかけけるのではなく、実際にいくつかの古いを実際にやってみたり、近世の古いの文献をみたりしながら、それぞれの「感触」を味わってみたいと思っています。身近な実感から問いを構築するのが、「世相史」の特徴でもあるのです。

講義スケジュール	
第1回	講義への招待 — 「世相史」の目的と方法 —
第2回	「古い」を定義する — 「古い」の学術的定義の射程を比較する —
第3回	人の名前の「近代」 — 国民国家と一人一名制の確立 —
第4回	近代以前の名前と古い — 近世の複名改名慣行と階級的な古い —
第5回	姓名判断の誕生 — 立身出世主義と「新聞革命」 —
第6回	運命論の登場 — 競争社会の激化と「市場社会」の誕生 —
第7回	観相術と千里眼 — 犯罪学と機会主義化する出世観 —
第8回	改姓名する人々 — 「近代法」の登場と生活世界の「法」化 —
第9回	近代家族と「教育する母」の登場 — 「命名女権論」「大正生命主義」 —
第10回	新家相学の誕生 — 郊外の誕生と近代的ライフコースの誕生 —
第11回	墓相学運動の隆盛 — 都市の改造と未来の消滅 —
第12回	速記と姓名学 — 「近代人」・熊崎健翁の生涯 —
第13回	現代と古い (1)
第14回	現代と古い (2)
第15回	「古い」を再び定義する
教科書	指定しない。
参考書	小林康正「名づけの世相史『個性的な名前』をフィールドワーク」(文化人類学ブックレット4) 風響社。ISBN-10: 4894897644。ISBN-13: 978-4894897649。自由課題レポートの資料とします。それ以外は、適宜紹介します。

C133 日本地域研究

科目等履修生

英文科目名	Japanese Studies		
大学名	京都文教大学		
連絡先	教務課 TEL 0774-25-2426 FAX 0774-25-2498		
担当教員	小林 康正 (総合社会学部総合社会学科教授)		
開講日程	2016年04月07日 (木) ~ 2016年07月21日 (木) 3講時 13時00分~14時30分 (毎週木曜日) 休講: 2016年05月05日 (木)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科50,000円 (登10,000円 履40,000円)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	80	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	学期末のレポート (2000字程度) (30%) と平常時の課題 (70%) によって評価します。なお、期間中に自由レポートの提出を認めます。提出者には、100点 (100%) 満点中20点 (20%) の範囲内で加点します。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	特になし		
講義概要・到達目標	この講義では、「古いの世相史」というテーマを設定し、近世から現在までの社会の変遷を「古い」という切り口から捉え、「近代」という社会の在り方を照射する予定です。少し考えてみましょう。現在でも新しい古い次々と生まれ、流行を繰り返しています。その背景には様々な要因が潜んでいるように思われますが、合理主義が前提となっている我々の社会で依然として古い幅を利かせていることは、不思議なことでもあるでしょう。ここでは、こうした素朴な疑問から出発して、「そもそも古いとは何か」、		

C137 アメリカ文学史

科目等履修生/聴講生

英文科目名	History of American Literature		
大学名	同志社女子大学		
連絡先	◆本学今出川キャンパス開講 教務課 TEL: 075-251-4127 FAX: 075-251-4277		
担当教員	湊 圭史 (表象文化学部准教授)		
開講日程	2016年04月13日 (水) ~ 2016年07月27日 (水) 2講時 11時00分~12時30分 (毎週水曜日) ※休講 2016/05/04 (水・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科44,000円 (登録料24,000円・受講料20,000円)、聴8,000円		
会場	今出川キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	平常点 (授業中に出す質問への回答を提出すること) 30%、 中間レポート (9週目までに提出) 20%、 期末試験 50%		
超過時の選考方法	書類選考		

別途負担費用	なし
その他特記事項	
講義概要・到達目標	
<p>授業テーマ： アメリカ合衆国文学およびその歴史の変遷についての基礎知識の学習</p> <p>授業目標： アメリカ合衆国文学の歴史を辿り、文学作品がどのようにアメリカの主流文化とそれからはみ出す要素を反映し、未来に向けたヴィジョンを生み出してきたかを、多くの原文を参照することで味わう。また、時代ごと、作家ごとの文体の変化に注意を払い、文学的表現と社会との関わりを考察する。</p>	
講義スケジュール	
<p>各回の授業内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アメリカ文学への視点、および、英語表現の基礎： 政治・文化・経済的背景、聖書、シェイクスピア、マザーグース 2. エドワーズとフランクリン：植民地期アメリカのキリスト教と啓蒙主義アーヴィングとクーパー：アメリカ的テーマを求めて 3. エマソン、ソロー、ホイットマンの思想と実践と詩： 超絶主義、「自然」、民主主義 4. ホーソン、ポーの短編、ディキンソンの詩： 「暗いロマン主義」の展開 5. メルヴィル『白鯨』とトウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』：異種の交わり 6. ショパン『目覚め』とドライサー『シスター・キャリー』： 「新しい女」、自然主義 7. パウンド、エリオット、ウィリアムズの詩：モダニズム、コスモポリタニズムと土着主義 8. フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』とフォークナー『アブサロム、アブサロム！』： 都市文化における自我と南部の語りの空間 9. ハーレム・ルネッサンス：黒人文学の登場、音楽と文学 10. サリンジャー『キャッチャー・イン・ザ・ライ』とラルフ・エリソン『見えない人間』：成長できない若者たち 11. 1950年代からのアメリカ詩：多様化の時代 12. バーセルミとカーヴァーの短編：ポストモダニズム、20世紀後半アメリカの絶望 13. トニ・モリソン『青い眼が欲しい』、シャーマン・アレクシー『リザベーション・ブルース』：人種とジェンダー 14. 現代のアメリカ詩と短編：The Best American Poetry / The Best American Short Storiesシリーズ、パフォーマンス・ポエトリー、アメリカの俳句 15. まとめ <p>授業方法： 講義を中心に行います。プリントとスライドを用意するので、気楽に聴いてください。授業中にいくつか問題を提起しますので、それぞれ自分の意見を用紙に書いて提出してもらいます。アメリカ文学とアメリカ合衆国という国のことをざっくりと、ただし、これまで考えていたのとは違った面を味わいつつ、想像力を働かせて理解するようにしてください。</p>	
教科書	なし。ハンドアウトを配布します。(ただし、参考文献にあげたアメリカ文学(史)についての本を一冊読み通すようにしてください。諏訪部浩一他『アメリカ文学入門』(三修社、2013)がおすすすめ。)
参考書	<p>諏訪部浩一他『アメリカ文学入門』三修社、2013.</p> <p>渡辺利雄『講義 アメリカ文学史 入門編』研究社、2011.</p> <p>別府恵子・渡辺和子編著『新版アメリカ文学史—コロンビアからポストコロニアルまで』ミネルヴァ書房、2000.</p> <p>亀井俊介『アメリカ文学史講義〈1〉・〈2〉』南雲堂、1997-2000.</p> <p>巽孝之『アメリカ文学史—駆動する物語の時空間』慶應義塾大学出版会、2003.</p> <p>平石貴樹『アメリカ文学史』松柏社、2010.</p> <p>都甲幸治『21世紀の世界文学30冊を読む』新潮社、2012.</p>

C138 観光地誌

科目等履修生

英文科目名	Topography and Tourist studies		
大学名	平安女学院大学		
連絡先	京都キャンパス 教務チーム TEL 075-414-8160 FAX 075-414-8159		
担当教員	高橋 義人		
開講日程	2016年04月11日(月)～2016年07月25日(月) 2講時 10時50分～12時20分(毎週月曜日) ※休講2016年05月02日(月) ※開講2016年07月18日(月・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	40,000円(選考料10,000円別途必要)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	70	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	授業参加度30%、小テスト20% 期末レポート50% 合計100% 本やネットを丸写ししたレポートは認めない。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	女子のみ受講可		
講義概要・到達目標			
<p>【講義概要】 ヨーロッパを中心とする国々・町々を、その風土や歴史との関係において考察する。一口にヨーロッパと言っても、その内実は多種多様である。古代ローマ帝国に代表される地中海文明が石の文化であるとすれば、ゲルマン民族の住むドイツ、イギリス、北欧はもともと木の文化だった。 また国民国家として成立したイギリスやフランスでいち早くナショナリズムが誕生したのに対し、小国家の緩やかな連合体だった神聖ローマ帝国(今のドイツ、オーストリア、北イタリア、チェコ、スイス、オランダ)では、各地域の平和共存が重視された。 自然においても、ヨーロッパはアルプス以南とアルプス以北では大いに異なる。 このように各国間の違いが大きいとはいえ、ヨーロッパはやはりひとつの統一性をなしている。統一性を与えているのはキリスト教である。キリスト教芸術のなかでも特に重要なのは教会建築で、その建築様式を見ることによって、その町の時代を知ることができるだろう。</p>			
<p>【到達目標】 今日知られているヨーロッパの自然と町々が長い年月をかけて歴史的に形成されてきたものであることを理解し、ヨーロッパの町の日本人向けのバスガイドと同等、あるいはそれ以上に詳しくヨーロッパの町々を説明できるようにすること。</p>			
講義スケジュール			
<ol style="list-style-type: none"> (1) アテネとエーゲ海の島々 (2) 「ヨーロッパとアジアの架け橋」イスタンブール (3) ローマ対ゲルマン (4) 中世のヨーロッパの町 (5) ドイツ木組みの家々 (6) 産業革命と「霧の町ロンドン」 (7) オスマンと「花の都バリ」大改造 (8) パサージュとパリ・モード (9) ヨーゼフ一世とウィーン大改造 (10) ベルリンの壁の跡をたどる (11) 自然美の発見——スイス・アルプスとドロミテ渓谷 (12) 水平都市 水の都ヴェネチア (13) 垂直都市 ニューヨーク (14) ガウディのバルセロナ (15) モン・サン=ミシェルと黒いマリア 			
教科書	なし		

参 考 書	喜安朗『パリ』（岩波新書） 田口晃『ウィーン』（岩波新書） その他は授業中に指示。
-------	---

(6)	ミラノとイタリア音楽
(7)	世界最古の大学のあるボローニア
(8)	世界の首都(?)ローマ
(9)	ドイツの文化首都ミュンヘン
(10)	マンハイム——コンスタンツェとの結婚
(11)	第2回パリ旅行——母の客死と交響曲『パリ』
(12)	ウィーンとトルコ(『トルコ行進曲』)
(13)	ウィーンと『フィガロの結婚』
(14)	ウィーンと『魔笛』
(15)	モーツァルトの死と「レクイエム」
教 科 書	なし
参 考 書	アインシュタイン『モーツァルト』(白水社、1976年) ヒルデスハイマー『モーツァルト』(白水社、1979年)

C139 地域研究 (ヨーロッパ)

科目等履修生

英文科目名	Area Studies on European Nations		
大 学 名	平安女学院大学		
連 絡 先	平安女学院大学 T E L 075-414-8160 F A X 075-414-8159		
担当教員	高橋 義人		
開 講 日 程	2016年04月11日(月)～2016年07月25日(月) 4講時 14時50分～16時20分(毎週月曜日) ※休講2016年05月02日(月) ※開講2016年07月18日(月・祝)		
単 位 数	2	開 講 区 分	前期・春学期
受 講 料	40,000円(選考料10,000円別途必要)		
会 場	科目開設校キャンパス		
授 業 定 員	70	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	授業参加度30%、小テスト20% 期末レポート50% 合計100% 本やネットを丸写ししたレポートは認めない。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	女子のみ受講可		
講義概要・到達目標			
<p>「モーツァルトとともにヨーロッパ各地を旅する」がテーマ。モーツァルト(1756-1791)は、神童とうたわれたにもかかわらず、就職口を探してヨーロッパ各地を旅行してまわらなければならなかった。本講義では、モーツァルトが訪れたヨーロッパの諸都市を紹介しながら、モーツァルトの生涯をたどる。</p> <p>モーツァルトが生まれたのはザルツブルクだった。今日、ザルツブルクはモーツァルトの生誕地としてのみならず、映画『サウンド・オブ・ミュージック』の舞台として知られ、多くの観光客が訪れているが、じつはモーツァルトの大嫌いな町だった。どうしてモーツァルトがザルツブルクを嫌ったのか、について論じる。</p> <p>ザルツブルク以外のところで就職口を見つけるため、モーツァルトは2回にわたってパリ旅行をする。馬車での旅行がいかに大変で辛いものだったか、パリはいかに衛生状態が悪かったか、母親はどうしてパリで死んでしまったか等について論じる。</p> <p>パリでの就活に失敗したモーツァルトは、さらにロンドンやウィーンにも赴くが、そこでも就職口は得られない。</p> <p>イタリア旅行は3回もしている。訪れたのは、ミラノ、ボローニア、ローマ等で、当時のイタリア音楽のすばらしさ、モーツァルトのイタリア観について論じる。</p> <p>1777年、ザルツブルクでの職を辞し、ミュンヘンとマンハイムに移住した。モーツァルトにとってのミュンヘンとマンハイムを考察する。</p> <p>結局、モーツァルトが成功したのはウィーンにおいてだった。ウィーン時代にモーツァルトの音楽がいかに花開いたかについて論じる。</p> <p>ウィーン滞在中、モーツァルトはブラハにも赴き、歌劇『ドン・ジョヴァンニ』はブラハで初演された。ブラハの人々がいかに『ドン・ジョヴァンニ』のブラハ初演を誇りに思っているかについて考察する。</p>			
講義スケジュール			
<p>(1) モーツァルトとザルツブルク (2) 映画『サウンド・オブ・ミュージック』とザルツブルク (3) 第1回パリ旅行——当時の馬車旅行 (4) 糞尿のあふれる街パリ (5) ロンドンのモーツァルト</p>			

C140 表象とメディア/L

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Representation and Media		
大 学 名	立命館大学		
連 絡 先	【教務課】 TEL : 075-466-3350		
担当教員	佐藤 守弘		
開 講 日 程	2016年4月12日(火)～2016年7月19日(火) <毎週火曜日> 2時限 : 10 : 40～12 : 10 5月7日(土)は授業日です。		
開 講 日 程	<教室案内> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf ※休講になった場合などは、4/30(土)、5/14(土)、6/18(土)、7/2(土)、7/16(土)、7/20(水)に補講を行うことがあります。		
単 位 数	2	開 講 区 分	前期・春学期
受 講 料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生 : 42,800円 ・聴講生 : 25,400円		
会 場	衣笠キャンパス		
授 業 定 員	70	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	<p>【レポート試験】70% レポートに関しては、受講生各自が任意のイメージを選び、それについて精密に記述/分析した上で、その社会的/文化的なはたらきについて述べるかたちになる予定。それによって、対象となるイメージを徹底的に「見る」力、「読む」力を評価したい。</p> <p>【平常点評価】30% 数回にわたるミニ・レポート類(予告なしに授業中に実施する)の内容を総合評価する。</p> <p>【備考】 平常点に含まれる授業中実施のミニ・レポートの提出にあたっては、立命館大学の学生はQRコード・シールの貼付が必須となる(貼付されていないものは出席点はつかない)ので、出席時には常に持参されたい。また、大学コンソーシアム京都の単位互換制度を利用して受講する者には別途、指示をおこなう。</p>		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		

その他特記事項	<p>※シラバスの内容は掲載内容から変更になることがありますので、 立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。</p> <p>【諸手続】（単位互換生のみ） 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html</p>
講義概要・到達目標	
<p>【授業の概要と方法】 メディア (media) という単語の単数形、メディウム (medium) には、死者の言葉を現世に伝える「霊媒」という意味もあるように、それは発信者と受信者の「間」にあって、何らかのメッセージを運ぶ乗り物のような存在である。普通の生活ではあまり意識はされていないが、私たちはメディアを通じて、世界を理解し、世界にメッセージを送っている。本講義では、1990年代に従来の美術史に対する反省や、文化研究／文化社会学の影響下に脱領域的研究分野として成立した視覚文化研究（ヴィジュアル・カルチャー・スタディーズ）を批判的に再考し、風景／トポグラフィ、写真、考現学／路上観察、ヴァナキュラー文化などの具体的な事例を取り上げる。また美学芸術学はもとより、物質文化論や聴覚文化論などの隣接領域も視野に入れて、視覚文化研究の可能性を受講生と共に探っていきたい</p> <p>【受講生の到達目標】 芸術を、それにまつわる諸経験を成立させる媒体の視点で理解すること。 媒体間の差異を超えたメディア論の視点で芸術、表象を理解すること。</p> <p>【授業外学習の指示】 講義の進め方、採り上げるトピック、参考文献や参考サイトへのリンクなどは、以下のウェブサイトにて事前に掲載される予定であるので、それを講義の予習復習に役立ててほしい。 http://d.hatena.ne.jp/satow_morihiro/</p> <p>【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】 コミュニケーションペーパー／Communication Paper</p>	
講義スケジュール	
01 イン트로ダクション <キーワード>メディア、イメージ、視覚文化	
02 「文化」を理解する <キーワード>記号、表象、意味、コンテクスト	
03 視覚イメージとリテラシー <キーワード>視覚的コミュニケーション、ヴィジュアル・リテラシー、ストーリー・マンガの文法	
04 物語映画のリテラシー <キーワード>モンタージュ（編集）、視線の力学	
05 初期映画というモード <キーワード>映画の発明、驚きとアトラクション	
06 文化と表象の制度 <キーワード>ピクトグラム、デザイン、ジェンダー	
07 広告の視覚文化論 <キーワード>コミュニケーション、イメージの機能、広告と「未来」	
08 複製技術とイメージ <キーワード>コピー、流用、プリコラージュ	
09 複製技術時代の音楽 <キーワード>ダブ、リミックス、ヒップ・ホップ（ブレイク・ビーツ）、聴覚文化論	
10 写真と痕跡	

<キーワード>記号論、痕跡／インデックス、修辞学	
11 「モノ」としての写真 <キーワード>ヴァナキュラー文化、物質文化論	
12 採集者の系譜 <キーワード>ストリート写真、考現学、路上観察	
13 世界を視る写真 <キーワード>旅行写真、観光、万国博覧会	
14 「古都」としての京都 <キーワード>トポグラフィ、観光、場所性	
15 まとめ	
教科書	
参考書	<p>以下の「書名」、「著者」、「出版社」、「ISBNコード」を参照</p> <p>（書名）トポグラフィの日本近代—江戸泥絵・横浜写真・芸術写真 （著者）佐藤守弘 （出版社）青弓社 （ISBN）978-4787273000</p> <p>（書名）ヴィジュアル・カルチャー入門—美術史を超えるための方法論 （著者）ジョン・A・ウォーカー／サラ・チャップリン （出版社）晃洋書房 （ISBN）978-4771012547</p> <p>（書名）イメージ—視覚とメディア （著者）ジョン・バージャー （出版社）筑摩書房 （ISBN）978-4480095039</p> <p>（書名）ベンヤミン「複製技術時代の芸術作品」精読 （著者）多木浩二 （出版社）岩波書店 （ISBN）978-4006000196</p> <p>（書名）絵画のメディア学—アトリエからのメッセージ （著者）島本流、岸文和 （出版社）昭和堂 （ISBN）978-4812298176</p> <p>【参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference】 講師による講義情報ウェブサイト http://d.hatena.ne.jp/satow_morihiro/</p> <p>【備考】 その他の文献は講義中に適宜指示する。</p>

C141 音楽学特講 d

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Monographic Lecture in Musicology d
大学名	京都市立芸術大学
連絡先	教務学生課音楽教務担当 TEL：075-334-2222 FAX：075-334-2345
担当教員	津崎 実（音楽学部教授）

開講日程	2016年09月20日(火)～2016年09月23日(金) 1～4講時 10時00分～17時00分 ※以下の祝日は休講 2016年09月22日(木・祝)		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	入学料:28,200円 授業料:科 28,800円 聴 28,800円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	レポートならびに平常点		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
〔授業目標〕 聴覚情景分析の機能と特性について理解することを目標とする。			
〔授業概要〕 聴覚は音声言語や音楽を聞くために必要な感覚である一方で、これらを持たない動物にも存在する感覚である。それは動物が聴覚を通して周囲に生じる事象を知る情景分析を行うためであり、そのために聴覚はいくつかの有効な手がかりを用いていることを講義を通して伝えたい。			
講義スケジュール			
①聴覚情報の特性 ②ゲシュタルト心理学 ③ギャロッピング・リズムと音脈分凝 ④同期性 ⑤周波数の近接性 ⑥時間の近接性 ⑦調波構造 ⑧空間の近接性 ⑨水平方向の統合と垂直方向の統合 ⑩共通運命性 ⑪Duplex perceptionと聴覚の透明性 ⑫トップダウンの影響			
教科書	なし		
参考書	乾 敏郎(編)『認知心理学1 知覚と運動』(東大出版会) 大山・今井・和気・菊池(編)『新編 Part2 感覚・知覚心理学ハンドブック』(誠信書房)		

単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	無し		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	60	京カレッジ定員	2
試験・評価方法	<p>■単位互換生 ＜基準＞ ・授業で学んだことだけではなく、自主的な学びがあるか。 ・論理的な思考を行い、メディアに対する自己の意見を組み立てられているか。 ・たゆまぬ努力によって、情報の蓄積をつけているか。 ＜評価方法＞ ・レポート ・授業への参加度</p> <p>■京カレッジ生 聴講生のため試験・評価なし</p>		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	無し		
その他特記事項	<p>・履修許可通知後の受講手続きは特にありません。履修生証の発行も行いませんが、本学に受講に来る際には必ず所属大学の学生証を持参してください。 ・駐車場、バイク駐輪場はありませんので公共交通機関をご利用ください。 ・学内で教科書の販売は行っておりません。一般書店でお買い求めください。</p>		
講義概要・到達目標			
■テーマ メディア論			
■授業概要 「メディア」と言う言葉が一般的なものになって久しいが、その意味やわれ方は拡散の一途をたどっている。この授業では、メディアというものが何であるか、複数の視点からピックアップした事例をもとに考察する。			
授業は2名の教員が担当する。前半は主として「メディア」を俯瞰的に考察できるようなテーマ設定、後半は"ラジオ"、"テレビ"というキーワードを軸に「共感するメディア」について考察する。自由な発想で環境に応じたメディアを選択する能力、もしくは創造する思考、それらを活用して空間をデザイン(発表)することを目標とする。授業は主として講義形式で進めるが、ディスカッションやワークショップも含めたい。また、講義ではスライドや映像などの視聴覚教材を有効に利用し、より具体的なイメージの共有を図る。			
【履修にあたって】 両日程とも受講すること。 ●8月8日(月)～10日(水)3・4講時 *8月10日のみ3・4・5講時 担当:大西宏志 ●8月25日(木)～30日(火)3・4講時 *8月27日(土)および28日(日)は休み 担当:毛原大樹			
■到達目標 メディアについての理解を深め、自身の表現や制作に役立てるための視点をつくる。			
講義スケジュール			
■授業計画 「メディア」 担当:大西 01. メディア論概論 02. メディアと技術 03. メディアと芸術1 映画 04. メディアと芸術2 アニメーション 05. メディアと芸術3 メディア・アート 06. メディアと倫理			

C143 情報デザイン論V

聴講生

英文科目名	Theory of Information Design V
大学名	京都造形芸術大学
連絡先	教学事務室 教務担当 TEL:075-791-9125
担当教員	大西 宏志、毛原 大樹
開講日程	<p>2016年08月08日(月)～2016年08月10日(水) 3～4講時 13:10～16:10 ※2016年8月10日(水)のみ3～5講時 13:10～17:50 担当:大西 宏志</p> <p>2016年08月25日(木)～2016年8月30日(火) 3～4講時 13:10～16:10 ※休講2016年8月27日(土)、8月28日(日) 担当:毛原 大樹</p> <p>※両日程とも受講すること</p>

07. レポート (小テスト)
 「メディアの空間的思考」
 担当: 毛原
 08. メディアがもたらす気まずさ
 09. テレビジョンがつくるコミュニティの変容 ー仮想空間のお茶の間ー
 10. インターネットの中のテレビジョン ー“テレビ”の継承ー
 11. テレビジョン再考1 ー新しいメディアを考えるー
 12. テレビジョン再考2 ー「ミニ・テレビ」というメディア遊びー
 13. ラジオ・アートの思想
 14. ラジオ・アートの思想と実践1
 15. ラジオ・アートの思想と実践2

■予習・復習について
 まず授業中にしっかりノートを取る。そして授業内容で分からなかったことや更に調べてみたくなったこと等を、図書館やインターネットで調べてノートに書き込んでおくこと。

教科書	テキストは使用せず。資料は、適宜ハンドアウトなどを配布。
参考書	<p><参考書></p> <p>1.『21世紀メディア論』水越 伸著 放送大学教育振興会 2011年</p> <p>2.『ユーロ・アニメーションー光と影のディープ・ファンタジー』昼間行雄 他 フィルムアート社 2007年</p> <p>3.『ロボット・アヴァンギャルドー20世紀芸術と機械』津堅 信之著 Parco出版 1985年</p> <p>4.『ニューメディアの逆説』粉川 哲夫著 晶文社 1984年</p> <p>5.『テレビ We are TV's Children』INAXギャラリー名古屋企画委員会 編 株式会社INAX 1988年</p> <p>参考URL アニメーションの原理と成立過程 https://www.youtube.com/playlist?list=PLF196F736E687C9B5 本学通信教育部で使用している映像</p> <p>初級 自由ラジオ講座 https://www.youtube.com/watch?v=iWrbEnG5VmY</p>

C145 いけばなと現代生活Ⅱ

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Flower Arrangement and Modern Life Ⅱ		
大学名	池坊短期大学		
連絡先	池坊短期大学 教務部 TEL075-351-8595 FAX075-351-8591		
担当教員	本学華道講師		
開講日程	2016年09月24日(土)～2017年01月21日(土) 1～2講時09時00分～12時10分(毎週土曜日) ※2017年01月28日(土) 単位認定筆記試験予定 ※2016年11月12日(土) 休講		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	【京カレッジ】科目等履修生 50,000円(選考料10,000円、履修料40,000円) 聴講生 40,000円(選考料免除)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	20	京カレッジ定員	5

試験・評価方法	平常点:14%(授業態度) レポート課題:4%(花展見学レポート) 実技テスト:8% 小テスト:12% 提出物:22%(作品レポート) 単位認定試験:40% ※生花、自由花はそれぞれ3分の2以上の出席がなければ単位認定試験を受けることが出来ません。
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	華道実習費;10,000円、花材費;30,000円【2016年4月9日(土)～4月30日(土)までに納入が必要です】
その他特記事項	<p>【華道用具】 初回ガイダンス時に説明があります。</p> <p>【華道免許】 「いけばなと現代生活Ⅰ」「いけばなと現代生活Ⅱ」の修得者は華道免許状が取得できます。(免許状取得には、別途申請料が必要です) ※京カレッジは科目等履修生のみ免許状を取得できます。 聴講生は取得できません。</p> <p>【履修条件】 「いけばなと現代生活Ⅰ」を単位修得された方は「いけばなと現代生活Ⅱ」の履修が可能です。授業の進行上、「いけばなと現代生活Ⅰ」を修得せずに「いけばなと現代生活Ⅱ」のみを受講する事は出来ません。 ※京カレッジ生が、「いけばなと現代生活Ⅱ」を受講する場合は、「いけばなと現代生活Ⅰ」を必ず科目等履修生として受講してください。</p> <p>【単位認定試験の受験資格】 「生花」、「自由花」それぞれの授業回数の3分の2以上の出席が無ければ、単位認定試験の受験資格を失います。※京カレッジ生は科目等履修生のみ単位認定の対象です。聴講生の単位認定は出来ません。</p> <p>【履修手続き】 顔写真(40×30mm)の提出が必要です。写真の裏面に「所属」「氏名」を記入してください。 「いけばなと現代生活Ⅰ」と「いけばなと現代生活Ⅱ」を履修する場合、費用の分納等は出来ませんので4月30日(土)までに一括して納入してください。 ※手続期間:2016年4月9日(土)～4月30日(土)12:30まで</p> <p>【履修手続き/単位互換生】 大学コンソーシアム京都への出願の後、履修許可が出る前に本学での「登録」と「実習費等の納入」の手続きを必ず行ってください。期日までに手続きを行わない場合、履修を許可せず、辞退したものとみなします。後期での追加募集は原則行いません。履修を希望する場合は必ず前期の時点で出願を行ってください。</p> <p>【履修手続き/京カレッジ生】 出願者は本学での「登録」と「履修料等の納入」を行ってください。出願のみを行い、期日までに手続きを行わない場合、履修を辞退されたものとみなします。後期での追加募集は原則行いません。履修を希望する場合は必ず前期の時点で出願を行ってください。</p>
講義概要・到達目標	<p>授業テーマ:草木の自然美を作品に表現する。</p> <p>授業概要: 本学の建学の精神である「和と美」を日本の伝統文化であるいけばなを通して学び、必要な礼儀を身につける。草木に触れ、その自然美を捉え、暮らしに活かす技と心を体得する。</p> <p>到達目標: 草木の性情を知り、暮らしに活かす技術を習得する。</p>

講義スケジュール	
「生花（しょうか）」と「自由花（じゆうか）」とで構成されていますので、片方だけの履修は出来ません。 毎週2コマ（土曜日1講時と2講時）の受講をしてください。	
（生花） 1.講義：生花の花形 ～花形の真・副・体～ 2.実技：一種生1 基本形 ～正風体の構成～ 3.実技：一種生2 基本形 ～正風体の構成～ 4.実技：二種生1 ～花形と花器の組み合わせ～ 5.実技：二種生2 ～本勝手・逆勝手～ 6.実技テスト：二種生3 7.講義：三種生 8.実技：三種生1 9.実技：三種生2 10.実技：三種生3 11.実技テスト：三種生4 12.講義：伝花 13.実技：五ヶ条 14.実技：一種生3 15.講義：まとめ	
（自由花） 1.実技：自然的表現 ～復習～ 2.実技：基本形態 ～たて・ななめ・よこの構成の復習～ 3.講義：自由花の歴史 盛る形、投げ入れる形 他 4.実技：投げ入れる形 5.実技：季節感の表現 ～かごを使って～ 6.講義：構成要素 ～点・線・面・マッスについて～ 7.実技：構成要素1 ～点・線・面・マッスの捉え方～ 8.実技テスト：構成要素2 ～点・線・面・マッスの捉え方～ 9.実技：構成要素3 ～点・線・面・マッスの捉え方～ 10.実技：グループ制作 11.講義：自由花の発想 12.実技：行事の花Ⅰ ～クリスマス～ 13.実技テスト：行事の花Ⅱ ～お正月～ 14.実技：自由制作 15.講義：まとめ	
※学修した内容を、次回の授業までに整理・復習しておく。 【履修上の注意点等】 1. 花材等の都合で授業内容を変更する場合があります。 2. 遅刻は15分まで、以降は欠席になります。遅刻3回で1回の欠席になります。 3. 挨拶や後片付けはしっかりと行うこと。	
教科書	池坊花伝書『入門』・『初級』 『はじめてのいけばな学校華道』
参考書	必要に応じて資料を配布します。

試験・評価方法	平常点(グループディスカッションや受講態度など)30%、期末試験70%、自由レポート(任意)を総合して評価する。遅刻2回で欠席1回とする。2/3以上の出席を満たさない場合や期末試験を欠席した場合は放棄と見なす。予告なしにミニテストを実施することがある。
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	
その他特記事項	【本授業に関する情報】 音楽観賞が目的ではないので、観賞はさまざまな実演や映像資料に積極的に接して各自行うこと。 【自学自習についての情報】 受動的に講義を聞くだけではなく、日常生活の中で関心を持ち、積極的に音楽芸能に触れたり、関連資料を読んだりすることが必要。 【注意】 京カレッジ生への単位認定は行いません。 車での来学はご遠慮いただいております。 教室は授業初回日に本学掲示板にて確認してください。
講義概要・到達目標	
【授業の概要】 日本音楽の代表的な諸ジャンルについて、民俗芸能も視野に入れ、画像や映像資料を用いながら、その特性と歴史的形成過程の概略を解説する。 【授業の到達目標】 1. 雅楽、声明、琵琶楽、能楽、近世邦楽など、日本音楽の代表的な諸ジャンルについて、歴史的形成過程とそこから培われてきた特性および日本人としての感性を、音とともに理解する。 2. 音楽様式・音楽家・楽器などに関する基本的用語を学び、それらを用いて日本音楽を説明することができる。 【授業の形式】 講義形式。視聴覚資料、楽譜資料、楽器資料などを多用する。	
講義スケジュール	
【授業計画】 第1回 日本音楽とは何か 第2回 日本音楽の主要種目と歴史区分 第3回 東アジアにおける古代音楽と日本 第4回 古代成立の楽舞と歌謡：雅楽(1) 第5回 古代成立の楽舞と歌謡：雅楽(2) 第6回 古代成立の楽舞と歌謡：雅楽(3) 第7回 古代・中世成立の仏教音楽：声明 第8回 中世成立の語り物音楽：平曲と琵琶楽 第9回 中世成立の楽劇：能楽 第10回 近世成立の非劇場音楽：地歌・箏曲・尺八楽(1) 第11回 近世成立の非劇場音楽：地歌・箏曲・尺八楽(2) 第12回 近世成立の劇場音楽：三味線音楽 第13回 近世成立の劇場音楽：文楽と歌舞伎(1) 第14回 近世成立の劇場音楽：文楽と歌舞伎(2) 第15回 近・現代の音楽と各地の民俗音楽	
教科書	月溪恒子『日本音楽との出会い：日本音楽の歴史と理論』東京堂出版。2010年(「日本音楽・民族音楽概論」と共通)
参考書	片桐功ほか『はじめての音楽史』音楽之友社 小島美子監修『日本の伝統芸能講座 音楽』淡交社 田中健次『図解日本音楽史』東京堂出版 など その他の参考書や関連資料も授業内で適宜紹介するとともに、必要に応じてプリント資料を配布する。

C150 日本音楽史

聴講生

英文科目名	History of Japanese Music		
大学名	京都教育大学		
連絡先	教務・入試課教務グループ TEL：075-644-8548		
担当教員	田中 多佳子(音楽科)		
開講日程	2016年10月06日(木)～2017年02月09日(木) 3講時 12時50分～14時20分 ※授業休止日 2016/12/22(木) ※冬季休業 2016/12/23(金)～2017/01/04(水) ※定期試験週を含む		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	10,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	3

C151 民族音楽学Ⅰ

聴講生

英文科目名	Ethnomusicology I
大学名	京都教育大学

連絡先	教務・入試課教務グループ TEL：075-644-8548		
担当教員	田中 多佳子 (音楽科)		
開講日程	2016年10月05日 (水)～2017年02月08日 (水) 2講時 10時30分～12時00分 ※冬季休業 2016/12/23 (金)～2017/01/04 (水) ※定期試験週を含む		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	10,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	3
試験・評価方法	基本的に、平常点 40% (受講態度、実技・討論参加の積極性などを評価。ワークシート、ミニテスト、ノートのチェックなども予告なしに行うことがある) と期末試験 60% (視聴覚問題を含む。持ち込み一切不可。) を総合して評価する。義務づけがないが、任意レポート (授業内容に関わるオリジナルなもの。分量・書式自由。) を随時受け付け、内容に応じて評価の際、加算する。 2/3以上の出席を満たさない場合や期末試験を受験しない場合は放棄と見なす。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【本授業に関する情報】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講前にテキストの該当箇所を読んでおくこと。 2. 鑑賞のための時間は限られているので、講義と並行して各自さまざまな音楽の鑑賞や体験の機会を自主的に確保するように努力すること。 3. 段階的に進めてゆくが、受講者にとっては初めて接する事項が多いので、欠席すると理解が困難になる。 4. 出席状況の評価における配分は低い。視聴覚資料を多用し、期末試験にも使用するため、欠席を重ねると期末試験がより困難なものになる。 5. 偏見を持たずに素直な耳と感性で積極的に受講しようとする態度が求められる。 <p>【自学自習についての情報】</p> <p>単に受動的に講義を聞くだけでは理解が難しい。自主的に実演や視聴覚資料に触れる機会を持ち感じたり考えたりすることが必要。</p> <p>【注意】</p> <p>京カレッジ生への単位認定は行いません。 車での来学をご遠慮いただいております。 教室は授業初日に本学掲示板にて確認してください。</p>		
講義概要・到達目標			
【授業の概要】	日本人と音楽文化の特性を念頭におきつつ、アジアおよびオセアニア諸国の音楽文化の特性を、そこに住む人々の生活様式や環境、価値観などと関連づけながら講義する。視聴覚資料を多用する。		
【授業の到達目標】	世界の音楽の多様な価値観を学ぶことによって、さまざまな音楽の基礎知識を身につけるとともに、偏見によらず素直な耳や感性で音楽を聴き、的確な言葉でそれを表現することができる。		
【授業の形式】	講義形式。視聴覚資料、画像資料、楽器資料を多用する。簡単な実技や討論を行うことがある。		
講義スケジュール			
【授業計画】	<p>第1回 導入：音楽とは民族とは</p> <p>第2回 民族音楽学の基礎知識</p> <p>第3回 東アジアの音楽文化 (1)</p> <p>第4回 東アジアの音楽文化 (2)</p> <p>第5回 東アジアの音楽文化 (3)</p> <p>第6回 東南アジアの音楽文化 (1)</p> <p>第7回 東南アジアの音楽文化 (2)</p> <p>第8回 南アジアの音楽文化 (1)</p>		

第9回 南アジアの音楽文化 (2)	教科書 柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』音楽之友社 (1999年) 必要に応じてプリント資料を配布する。
第10回 南アジアの音楽文化 (3)	
第11回 西・中央アジアの音楽文化 (1)	
第12回 西・中央アジアの音楽文化 (2)	
第13回 オセアニアの音楽文化 (1)	
第14回 オセアニアの音楽文化 (2)	
第15回 総括	参考書 教科書巻末の参考文献表を参照のこと。そのほか授業時に適宜紹介する。

C152 ことばと文化

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Language and Culture		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター修学担当 TEL075-325-5307 FAX075-325-5317		
担当教員	肥留川嘉子 (キャリア形成学部キャリア形成学科教授)		
開講日程	2016年09月29日 (木)～2017年01月19日 (木) 5講時 16時10分～17時40分 (毎週木曜日) ※休講 2016/11/3 (木・祝) ※休講 (冬季休暇) 2016/12/29 (木)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科目等履修生 (履修料20,000円、選考料 科目数を問わず10,000円) 聴講生10,000円 (選考料免除)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	授業への取り組み状況40%、レポート60%の配点で採点する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>女子のみ受講可 ※受講者人数によって、本学開講科目基準により不開講になる場合があります。</p> <p>【授業時間外学修 (予習・復習等) について】</p> <p>映画の鑑賞は教室ですが、それだけでは聞き取りにくいことや、映画の原作等、書かれたものがあつた方が理解しやすいことはプリントにして配付するので、それをよく読んで、わからないことは質問できるようにしてください。</p> <p>個人研究室：賢風館2階203 オフィスアワー：木曜3講時</p>		
講義概要・到達目標			
【授業テーマ】	映画『マイ・フェア・レディ』と『舞妓はレディ』		
【授業の概要】	パロディの文化は、世界各地に広く存在する。わが国にもむろん、古代からさまざまな形で存し、引き継がれ、また新たに生み出されている。そのようなパロディ作品の一つとして、この度は、周防正行監督の映画『舞妓はレディ』を採り上げてみたい。これは、そのタイトルからも明らかなように、ジョージ・キューカー監督のアメリカ映画『マイ・フェア・レディ』のパロディ作品であるが、その作品中の各所に設けられたパロディの要素を一々洗い出して、その面白さを具体的に味わってみる。パロディの面白さは、いわゆる洒落のようなことば遊びに拠っている面も多いので、このことが自ずから、ことばについて考え、感		

性を養う機会にもなると期待している。

【到達目標】

1. 英語も含めて、「ことば」の洒落がわかるようになる。
2. 映画に出てくる京都の伝統的な風俗や京都・鹿児島・津軽地方の方言を理解する。
3. パロディ作品の面白さを味わえるようになる。

講義スケジュール

【授業計画】

- 第1回 映画『マイ・フェア・レディ』と『舞妓はレディ』について概説
 第2回 映画『マイ・フェア・レディ』冒頭部分鑑賞と解説
 第3回 同中間部分鑑賞と解説
 第4回 同末尾部分鑑賞と解説
 第5回 映画『舞妓はレディ』前半鑑賞
 第6回 同後半鑑賞
 第7回 『マイ・フェア・レディ』の cockney 訛り
 第8回 『マイ・フェア・レディ』の訛り矯正レッスン
 第9回 『舞妓はレディ』の津軽弁、鹿児島弁
 第10回 『舞妓はレディ』の京言葉レッスン
 第11回 ミュージカル映画『マイ・フェア・レディ』の面白さ 1
 第12回 ミュージカル映画『マイ・フェア・レディ』の面白さ 2
 第13回 ミュージカル映画『舞妓はレディ』の面白さ 1
 第14回 ミュージカル映画『舞妓はレディ』の面白さ 2
 第15回 まとめ

【授業方法】

映画を、ビデオテープやブルーレイディスクで鑑賞しながら、その映画が面白く思えるゆえんがどこにあるのか、をやや分析的に観てみる。が、どこまでもそれによって、映画のストーリーそのもののもつ魅力が失われることのないよう、一々の細かい分析を経てこそ、その魅力が真に明らかになって深いところから映画を全体として楽しめるようなアプローチをしたい。

教科書	プリントを配付してテキストとする。
参考書	

C157 デザイン論

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Theory of Design		
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	教務課美術教務担当 TEL : 075-334-2220 FAX : 075-334-2345		
担当教員	砂山太一 (美術学部特任教員)		
開講日程	2016年09月28日 (水) ~ 2017年02月01日 (水) 2講時 10時40分~12時10分 (毎週水曜日)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	入学料: 28,200円 授業料: 科28,800円 聴28,800円		
会場			
授業定員	70	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	出席点および提出課題点。		
超過時の選考方法			
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
【授業目標】 複雑化する社会および技術の発展によってデザインの思考は日々更新され多様化している。今日の主要な動向を学ぶ事によって、これからのデザイン論を思考する洞察力を養うことを目標とする。			

【授業概要】

社会性、継続可能性、革新性、素材性、意味性、などをキーワードにデザインの手法論とそこにある思想などを講じる。

講義スケジュール

- ①授業ガイダンス
- ②ソーシャル・コミュニティ
- ③パーソナルファブリケーション
- ④生態学とデザイン
- ⑤アフォーダンス
- ⑥オブジェクト指向
- ⑦インタラクションデザイン
- ⑧記号論とデザイン
- ⑨パラメトリック・アルゴリズムック
- ⑩マテリアルデザイン
- ⑪知覚と認識
- ⑫表記と可視化
- ⑬プロセスとデザイン
- ⑭まとめ
- ⑮課題発表とその説明

教科書	
参考書	

C158 音楽学実習 d2 : 能楽の謡曲を学ぶ

聴講生

英文科目名	Perfomance Practice for Musicology d2		
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	教務学生課音楽教務担当 TEL : 075-334-2222 FAX : 075-334-2345		
担当教員	金剛 永謹 (音楽学部客員教授, 金剛流26世宗家)		
開講日程	2016年09月30日 (金) ~ 2017年01月13日 (金) 3~4講時 13時00分~16時10分 (金曜日) ※この間の金曜日のうち7回 ※日程は9月初旬にお知らせします。		
単位数	1	開講区分	後期・秋学期
受講料	入学料: 28,200円 授業料: 聴 14,400円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	30	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	実技試験 (修得度の試験)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	受講対象: 能楽の基本知識がある方 ※志望理由の欄に、これまでの能楽との関わりについて簡単に記入してください。		
講義概要・到達目標			
【授業のテーマ】 謡曲の初習者のための実習			
【授業内容】 能楽は、六百年の歴史を有する世界最古の音楽劇である。その音楽的要素は、謡いと呼ばれる声楽部と、能管 (笛, 小太鼓, 太鼓) の囃子からなる。 本実習では謡曲「邯鄲」(強吟・弱吟修得) の練習を通して、能の音楽的構成を学ぶとともに、能の総合理解を深める。			
講義スケジュール			
・ 能楽の概説 ・ 謡の概説, 謡曲「邯鄲」の練習			

	・謡曲「邯鄲」の練習（強吟・弱吟修得のため） ・能面の解説 ・実技試験
教科書	金剛流謡曲本『邯鄲』（檜書店）
参考書	

参考書	マタイ受難曲の楽譜（フルスコア・ヴォーカルスコアどちらでも可）
-----	---------------------------------

C159 音楽学特講 f：マタイ受難曲テキストに見るプロテスタント思想

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Monographic Lecture in Musicology f		
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	教務学生課音楽教務担当 TEL：075-334-2222 FAX：075-334-2345		
担当教員	山本 毅（音楽学部教授）		
開講日程	2016年09月30日（金）～2017年01月13日（金） 3講時 13時00分～14時30分（毎週金曜日） ※年内は12月16日まで 新年は01月06日から		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	入学料：28,200円 授業料：科 28,800円 聴 28,800円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	毎回の授業での小テストによる平常点，出席点による。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	前期開講科目「音楽学特講 e：ミサ曲テキストに見るプロテスタント思想」の続編となる。		
講義概要・到達目標			
【授業目標】 バッハ・マタイ受難曲のテキストを理解し，神学的背景とルター派プロテスタントキリスト教徒の宗教的感情を知る。			
【授業概要】 マタイ受難曲のテキストはキリスト教神学の中心的なテーマである十字架の死を扱っています。テキストの背景にある神学，思想，そこから導き出される宗教的感情を学び，それが音楽でどう表現されているかを研究します。			
【履修上の注意】 毎授業時楽譜を持参することが望ましい。			
講義スケジュール			
①導入 ②1-4曲 ③5-8曲 ④9-12曲 ⑤13-16曲 ⑥17-20曲 ⑦21-24曲 ⑧25-28曲 ⑨29-32曲 ⑩33-40曲 ⑪40-48曲 ⑫49-54曲 ⑬55-60曲 ⑭60-68曲			
教科書	授業で配布		

C160 民族音楽学Ⅱb

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Ethnomusicology IIb		
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	教務学生課音楽教務担当 TEL：075-334-2222 FAX：075-334-2345		
担当教員	竹内 有一（日本伝統音楽研究センター）		
開講日程	2016年09月27日（火）～2017年01月17日（火） 1講時 09時00分～10時30分（毎週火曜日） ※年内は12月20日まで 新年は01月10日から		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	入学料：28,200円 授業料：科 28,800円 聴 28,800円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	3分の2以上の出席が必須。出席と意欲60・小課題等20・期末レポート20を目安とします。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
【授業目標】 歌舞伎や三味線音楽というと、縁遠いと思われがちですが、私たちにも外国人にも共有できる感覚、親しめる要素がたくさんあります。それらを掘り出すことによって、グローバル化の著しい現代社会における私たち自身のアイデンティティを見つめ直してみましょう。			
【授業概要】 歌舞伎を彩る舞踊とその音楽に焦点をあて、その価値と普遍性を探ります。三味線音楽（常磐津節）を体感するワークショップ（声出しや三味線の体験）、歴史的資料（本物の錦絵、浄瑠璃本、番付など）にじかに触れながら考える作業を織り交ぜます。			
【履修上の注意】 南座などの歌舞伎公演や、三味線音楽の演奏会にも、積極的に出かけましょう。それらを、期末レポートの課題や校外補講として設定する可能性もあります。 三味線体験は希望者が多いので、抽選や授業時間外になる場合もあります。			
講義スケジュール			
①概説 歌舞伎・舞踊とその音楽 ②作品研究1 ③作品研究2 ④ワークショップ1（浄瑠璃の声出しと三味線体験） ⑤ワークショップ2（浄瑠璃の声出しと三味線体験） ⑥ワークショップ3（浄瑠璃の声出しと三味線体験） ⑦ワークショップ4（浄瑠璃の声出しと三味線体験） ⑧ワークショップまとめ ⑨錦絵を読み解く1 ⑩錦絵を読み解く2 ⑪錦絵を読み解く3 ⑫錦絵を読み解く4 ⑬まとめ1 ⑭まとめ2			
教科書	なし		
参考書	授業中に紹介します。		

C165 工芸各論

聴講生

英文科目名	Theories of Arts and Crafts		
大学名	京都造形芸術大学		
連絡先	教学事務室 教務担当 TEL: 075-791-9125		
担当教員	専任オムニバス		
開講日程	2016年09月28日(水)～2017年01月25日(水) 1講時 9時00分～10時20分(毎週水曜日) ※休講 2016年11月16日(水) ※祝日開講 2016年11月23日(水・祝) 【冬期休暇】 2016年12月23日(金・祝)～2017年01月09日(月・祝)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	無料		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	<p>■単位互換生 <基準> ・各教員の講義内容について理解し、それに対して自らの意見を持ち得たかどうか。 ・授業に積極的に参加したかどうか。</p> <p><評価方法> ・授業ごとに提出する小レポートの内容を書く教員が採点し、その合計で評価する。 ・授業の参加状況と授業時の質問などで評価する。</p> <p>■京カレッジ生 聴講生のため試験・評価なし</p>		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	無し		
その他特記事項	<p>・履修許可通知後の受講手続きは特にありません。履修生証の発行も行いませんが、本学に受講に来る際には必ず所属大学の学生証を持参してください。 ・駐車場、バイク駐輪場はありませんので公共交通機関をご利用ください。</p>		
講義概要・到達目標			
<p>■テーマ 創作者の思考と実践</p> <p>■授業概要 1日1教員のオムニバス創作論。 創作者としての目標、テーマ、考え方、素材の選択、表現の手法について、背景やキャリアを振り返りながら、学生の視点でわかりやすく紹介する。工芸各論は主に「素材」「技法」に関わりの深い領域の教員が担当する。 【履修にあたって】 授業前には、テキストの当日担当の教員部分を熟読しておくこと。疑問や質問など問題意識を持って授業に臨むこと。</p> <p>■到達目標 教員の創作への様々な切り口を知ることで、自身の制作について深く思考することができるようになる。</p>			
講義スケジュール			
<p>■授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 9/28 椿昇(現代美術) 10/5 西村充(陶芸) 10/12 清水博文(版画) 10/19 青木芳昭(日本画) 10/26 仁尾敬二(織) 11/2 やなぎみわ(現代美術) 11/9 鬼頭健吾(現代美術) 			

- 11/23 ヤノベケンジ(現代美術)
 - 11/30 小野規(写真)
 - 12/7 柴田純生(総合造形)
 - 12/14 山田真澄(日本画)
 - 12/21 金澤一水(総合造形)
 - 1/11 野田涼美(テキスタイル)
 - 1/18 清水六兵衛(陶芸)
 - 1/25 八幡はるみ(染)
- ※担当教員は日程変更する場合があります。

■予習復習について

美術工芸学科作成のテキストを授業前に熟読する事を予習とする。毎回振り返りのレポートを提出する。

教科書	テキストあり。学科から配布する。 「創作の背景」
参考書	特に使用しない。

C166 情報デザイン概論

聴講生

英文科目名	Introduction to Information Design I		
大学名	京都造形芸術大学		
連絡先	教学事務室 教務担当 TEL: 075-791-9125		
担当教員	都築 潤		
開講日程	2016年09月28日(水)～2017年01月25日(水) 4講時 14時50分～16時10分(毎週水曜日) ※休講 2016年11月16日(水) ※祝日開講 2016年11月23日(水・祝) 【冬期休暇】 2016年12月23日(金・祝)～2017年01月09日(月・祝)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	無料		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	2
試験・評価方法	<p>■単位互換生 <基準> ・集中して授業を受け、講義内容を広い視野から読み解いているか。 ・情報を整理して各自の関心領域との接点を見だし、論理的に考察しているか。 ・授業テーマに対して興味をもって参加し、情報の蓄積を習慣化しているか。</p> <p><評価方法> ・コメントシート。 ・レポート。 ・授業への積極的な参加度。</p> <p>■京カレッジ生 聴講生のため試験・評価なし</p>		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	無し		
その他特記事項	<p>・履修許可通知後の受講手続きは特にありません。履修生証の発行も行いませんが、本学に受講に来る際には必ず所属大学の学生証を持参してください。 ・駐車場、バイク駐輪場はありませんので公共交通機関をご利用ください。 ・学内で教科書等の販売は行っていません。一般書店でお買い求めください。</p>		

講義概要・到達目標	
■テーマ 情報・メディア・デザイン	
■授業概要 情報とメディアの本質を探り、デザインとの関係をとらえて、過去から現在のヴィジュアル的事象を概観します。	
■到達目標 情報デザインについての予備的な知識を身につけることで、過去を遡求しその延長に今があり未来を見通せる感性を養える。	
講義スケジュール	
■授業計画 1. ガイダンス 2. 情報・メディア・デザイン 3. 情報・メディア・デザイン 4. 情報・メディア・デザイン 5. 論理 6. ヴィジュアルコミュニケーション 7. ヴィジュアルコミュニケーション 8. ヴィジュアルコミュニケーション 9. ドローイング 10. ドローイング 11. マッピング 12. マスメディア・マッピング 13. マスメディア 14. マスメディア 15. ふりかえり	
※講義内容に応じてテキスト『世界デザイン史』 其他参考図書を参照します	
■予習・復習について 参考資料を事前に解釈し講義への予備知識を蓄える。自らの計画にもとづいて学びを深める。いま目にするヴィジュアルを観察し、自分の視点で切り取ることを習慣づける。	
教科書	『増補新装 カラー版 世界デザイン史』阿部公正・監修 美術出版社 2012年 2,700円
参考書	参考書 『アイデア』アイデア編集部 誠文堂新光社 2015年

C168 美術工芸史Ⅳ

聴講生

英文科目名	History of Fine and Applied ArtsⅣ		
大学名	京都造形芸術大学		
連絡先	教学事務室 教務担当 TEL: 075-791-9125		
担当教員	金澤 一水、清水 六兵衛、柴田 純生、西村 充		
開講日程	2016年09月28日(水)～2017年01月25日(水) 1講時 9時00分～10時20分(毎週水曜日) ※休講 2016年11月16日(水) ※祝日開講 2016年11月23日(水・祝)		
	【冬期休暇】 2016年12月23日(金・祝)～2017年01月09日(月・祝)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	無料		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	単位互換生 <基準>		

試験・評価方法	・積極的にテーマに即した歴史的知識を深めようとしたかを見る ・時代背景を基にそれぞれのテーマを知ろうとする積極性を見る <評価方法> ・授業参加度とレポート ■京カレッジ生 聴講生のため試験・評価なし
超過時の選考方法	抽選
別途負担費用	無し
その他特記事項	・履修許可通知後の受講手続きは特にありません。履修生証の発行も行いませんが、本学に受講に来る際には必ず所属大学の学生証を持参してください。 ・駐車場、バイク駐輪場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

講義概要・到達目標	
■テーマ 陶芸と彫刻にみる造形史	
■授業概要 人類は有史以来、輝かしい文明を築いてきました。それに呼応して造形芸術の世界も大きく変貌を遂げてきました。洋の東西を問わず、地域、時代、社会を反映し、生活に根づいたものから装飾性、芸術性の高いものへと個性豊かな造形世界を構築しています。ここでは陶芸、彫刻による東西、時代の特性を比較研究、考察します。	
■到達目標 古今東西の陶芸、彫刻を巡ることにより、その表現形式の変遷を考察することで造形の特質と社会との関わりを理解します。	

講義スケジュール	
■授業計画 1. 古代の造形 2. 縄文弥生のやきもの 3. 宗教にみる西洋彫刻 4. 仏像にみる彫刻美 5. 中国陶磁 6. 朝鮮半島のやきもの 7. ルネッサンス彫刻 8. 日本の甲冑美 9. 茶陶 10. 西洋に渡った日本の陶芸 11. 近代の彫刻 12. 近代陶芸 13. 現代の彫刻Ⅰ 14. 現代の彫刻Ⅱ 15. 現代の陶芸	
■予習復習について あらかじめテーマを、その時代背景を含めて理解しておく。授業後、其々のテーマ毎に各人が整理する。	
教科書	無し
参考書	無し

C171 映画論：女性映画

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Film Studies
大学名	京都ノートルダム女子大学
連絡先	京都ノートルダム女子大学 教務部教務課 TEL075-706-3745 FAX075-706-3790
担当教員	須川いずみ(人間文化学部英語英文学教授)

開講日程	2016年09月27日(火)～2017年01月17日(火) 4講時 14時55分～16時25分(毎週火曜日) ※休講2016/12/27(火)、2017/01/03(火)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科目等履修 40,000円(本学卒業生は20,000円) 聴講 20,000円(本学卒業生は10,000円)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	10
試験・評価方法	評価は、クラス出席レスポンス(30%)、試験(50%)、レポート(20%)、欠席、遅刻は減点の対象である。授業総日数の2/3以上出席しなければ、評価しない。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	<通学に関する注意事項> 本学への通学は公共交通機関をご利用ください。 50ccを超えるバイクおよび自家用車での通学は認められておりません。また、自転車および50cc以下のバイクでの通学は登録制となっております。		
講義概要・到達目標			
1. 科目の教育目標 まだ誕生して100年そこそこのメディアである映画をフェミニズムの視点で読みこなしてみようと思う。もともと映画は男性の規範だけで書き込まれた言説の一つであったわけだが、第2次世界大戦のときに期待できる観客が女性しかいなくなってしまう、女性が主役である「女性映画」というものが誕生することになる。かくして『風と共に去りぬ』の誕生である。「女性映画」を中心に映画とはどういうメディアなのかをしっかりと学ぶコースである。			
2. 教育・学習の個別課題 ①近代史と映画という文化の理解 ②映画というメディアの把握 ③女性映画誕生の背景の理解 ④フェミニズム批評研究			
3. 教育・学習の方法 ①映画観賞のあと講義形式をとる。 ②積極的授業の参加を求める。 ③レポート、試験あり。			
4. 準備学習の具体的な方法 観た映画の情報を整理することと、レポート提出のために準備が必要である。			
講義スケジュール			
第01回 オリエンテーション 第02回 映画の歴史 第03回 映画の中の女性像 第04回 初期映画 第05回 チャップリン映画と女性 第06回 第二次世界大戦と映画 第07回 『ステラ・ダラス』と母子ものの映画 第08回 『ギルダ』とフィルム・ノワールの悪女 第09回 『レベッカ』と悪夢のシンデレラ物語 第10回 『忘れじの面影』 典型的メロドラマ 第11回 『風と共に去りぬ』と南北戦争 第12回 『風と共に去りぬ』の仕掛け 第13回 聖女とファムファタール 第14回 フェミニズム批評と映画 第15回 まとめとその他			
教科書	プリント		
参考書	1. 『The Desire to Desire』 Mary Ann Doane Indiana Univ.Press 1987年 2. 『フェミニスト映画/性幻想と映像表現』 E.アン・カブラン 田畑書店 1985年 3. 『フィルム・ノワールの光と影』 編集：遠山純生 エクスクアイア・マガジン 1999年 4. 『A Feminist Reader in Early Cinema』 Ed. J.Bean & D. Negra Duke Univ. Press 2002年		

C172 アートマネジメント論

科目等履修生

英文科目名	Theory of Art Management		
大学名	京都文教大学		
連絡先	教務課 TEL 0774-25-2426 FAX 0774-25-2498		
担当教員	高橋 千晶(総合社会学部総合社会学科講師)		
開講日程	2016年09月26日(月)～2017年01月23日(月) 4講時 14時40分～16時10分(毎週月曜日) ※月曜振替1回開講 2017年11月05日(土) ※休講：2016年11月14日(月)、2016年12月26日(月)、2017年01月02日(月)、2017年01月09日(月・祝) ※開講：2016年10月10日(月・祝)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科50,000円(登10,000円 履40,000円)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	200	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	学期末試験：60% 筆記試験 授業内ミニレポート：30% 平常点評価：10% 授業への積極的参加		
超過時の選考方法			
別途負担費用			
その他特記事項	各回のテーマに応じて映像資料を用いた説明を行います。講義で視聴する映像資料を見なければ、試験や授業内ミニレポートへの回答は難しくなります。正当な理由のない欠席・遅刻・途中退出のないように、積極的に授業に参加してください。		
講義概要・到達目標			
講義概要： 今日、ますます多様化・グローバル化する社会の中で、アートを取り巻く環境は大きな変化に直面しています。アート・マーケットの拡大や、公共的な場でのアーティストたちの活動は、私たちの社会のさまざまな分野で確実にその存在感を増しています。そうした中で、変容を続けるアートと社会をつなぐ役割、すなわち「アートマネジメント」の視点はとりわけ重要です。この授業では、アートマネジメントの基本的知識を獲得することによって、アートの社会的意義や役割への理解を深めることを目指します。 具体的には、まず近代以降のアート概念の変容と拡張を理解し、市民社会におけるアートの確立を考察します。次に、美術館や美術展覧会などのアートに関する制度の成立と展開を踏まえて、「文化政策」や「地域おこし」、「アート・ツーリズム」としてアートマネジメントが社会に要請されるようになった背景を探ります。その中で、地域や世界における実際のアートプロジェクトを確認し、公的機関や企業、NPOなどによるアート支援の実践例を通して、アートマネジメントの今日的課題と可能性を追求します。			
達成目標： この講義の到達目標は次の3点です。 (1) アートマネジメントの歴史と現在を学ぶことによって、グローバル化する現代社会におけるアートの社会的意義について理解を深める。 (2) 国内外のアートマネジメントの実践を学ぶことによって、公的機関や企業、NPOなどによるアート支援の手法を理解する。 (3) アートマネジメントの今日的課題を検討することによって、アートが地域や世界と創造的につながっていく可能性を追求する視点を養う。			
講義スケジュール			
第01回	イントロダクション：アートマネジメントとは何か？		
第02回	アート概念の変容と広がり：市民社会におけるアートの役割		
第03回	アートを伝達する：アートの「発信者」「仲介者」「受信者」の関係		

第04回	アートを収集する：パトロンとコレクション
第05回	アートと制度 (1) 美術館／美術展覧会の成立 (欧米)
第06回	アートと制度 (2) 美術館／美術展覧会の成立 (日本)
第07回	アートマネジメントの成立 (1) 1960年代以降のアートの多様化
第08回	アートマネジメントの展開 (2) 1980年代以降のアート・マーケットの拡大
第09回	アートの祭典：国際美術展のあゆみ
第10回	アートの祭典：多文化主義のなかの国際美術展
第11回	アートと地域：国内のアートプロジェクトの軌跡
第12回	アートと地域：地域おこしとしてのアート
第13回	アートと企業：文化支援とメセナ活動
第14回	グローバル化するアートのゆくえ
第15回	総括：アートマネジメントの課題
教科書	教科書は使用しません。各回の授業の概要を示すプリントや参考資料のコピーを授業内に配布します。
参考書	小林真理・片山泰輔監修『アーツ・マネジメント概論 (三訂版)』水曜社、2009年。 林容子『進化するアートマネジメント』レイライン、2004年。 中川真・フィルムアート社編『これからのアートマネジメント：“ソーシャル・シェア”への道』フィルムアート社、2011年。

C176 映像論

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Motion Picture Studies		
大学名	同志社女子大学		
連絡先	◆本学京田辺キャンパス開講 教務課 TEL：0774-65-8413 FAX：0774-65-8418		
担当教員	森 公一 (学芸学部教授)		
開講日程	2016年09月28日 (水)～2017年01月25日 (水) 2講時 11時00分～12時30分 (毎週水曜日) ※開講 2016/11/23 (水・祝) ※休講 2016/10/26 (水・祝)、12/28 (水)、 2017/01/04 (水)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	料44,000円 (登録料24,000円・受講料20,000円)、 聴8,000円		
会場	京田辺キャンパス		
授業定員	200	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	出席重視 (2/3以上の出席を前提) とします。 試験の点数 (100%) によって評価します。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
授業テーマ：	映像表現の多様性 表現形式の理解		
授業目標：	本講義では、映像表現の先駆的な制作者たちが切り開いた多様な表現を取り上げ、その形式や内容の分析を行うことで、映像作品を「読む」力を養うことを目的とします。 19世紀末に誕生した映像技術は、およそ100年の間に数々の技術的革新を経て多様な表現を産んできました。20世紀が「映像の世紀」と呼ばれるように、映画・TV・ビデオなどによる情報が日常的の生活圏にまで浸透し、極めてスタンダードなコミュニケーションの手段となったのです。映像によってもたらされる情報は、私たちの感性や思考に		

多大な影響を与え続けていると言えます。また一方で、パーソナルコンピュータの普及・進化やネットワークのブロードバンド化によって、誰もが映像の作り手として発信者・表現者側に立つことの出来る状況が開かれてきました。本講義ではそのような現代の状況をふまえ、これからの映像表現の可能性を模索するための礎として、20世紀の映像表現の多様性について理解を促したいと考えます。

講義スケジュール	
各回の授業内容：	
1.映像の誕生	映画前史と映画の誕生
2.音楽と映像1	音楽と映像のマリアージュ
3.音楽と映像2	視覚的音楽としての映像表現1
4.音楽と映像3	視覚的音楽としての映像表現2
5.広告としての映像1	広告の戦略的発想とCM
6.広告としての映像2	公共広告におけるCM
7.広告としての映像3	アイデアの出し方
8.物語と映像1	物語表現のはじまりと映画文法の確立
9.物語と映像2	古典的ハリウッドの形式特性
10.物語と映像3	表現主義、印象主義、アバンギャルド
11.物語と映像4	モンタージュ派
12.娯楽映画の展開1	サイレント喜劇とトーキーによる映画表現の変化
13.娯楽映画の展開2	ハリウッド黄金期の映画表現
14.日本映画黄金期の表現	黒沢・小津・溝口の映画表現
15.まとめ	
授業方法：	講義を中心に展開します。
教科書	なし (資料を配布)
参考書	「世界映画全史」 ジョルジュ・サドウール 国書刊行会 「映画技法のリテラシー」 ルイス・ジネアッティ フィルムアート社 「スーパー・アヴァンギャルド映像術」 フィルムアート社 「アート系映画徹底攻略」 フィルムアート社 「映画演出法講義」 エイゼンシュテイン 未来社

C180 観光文化論

科目等履修生

英文科目名	Tourist Culture		
大学名	平安女学院大学		
連絡先	京都キャンパス 教務チーム TEL 075-414-8160 FAX 075-414-8159		
担当教員	高橋 義人		
開講日程	2016年09月26日 (月)～2017年01月23日 (月) 3講時 13時10分～14時40分 (毎週月曜日) ※講義休止期間 2016年12月27日 (火)～2017年01月04日 (水)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	40,000円 (選考料10,000円別途必要)		

会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	70	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	授業参加度30%、小テスト20% 期末レポート50% 合計100% 本やネットを丸写ししたレポートは認めない。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	女子のみ受講可		
講義概要・到達目標			
【講義概要】 「庭園の文化史」について論じる。ヨーロッパ各地には新石器時代に由来するストーンヘンジやストーンサークルの遺跡がある。ところがストーンヘンジやストーンサークルは縄文式時代の日本にもあり、日本では磐座や磐境と呼ばれている。この磐座や磐境は、多くの曲折を経ながらも、日本では庭園へと発展していった。 それに対してヨーロッパではストーンヘンジから庭園へと発展することはなかった。そこに日本の庭園とヨーロッパの庭園の根本的な違いがある。 本講義では、ヨーロッパの庭園の歴史を日本の庭園と比較しながら考察する。ヨーロッパの庭園の根柢にある「エデンの園」願望、人間は自然を支配できるという思想が、日本の庭園との大きな違いをなしていることを理解してほしい。			
【到達目標】 1ヨーロッパの庭園と日本の庭園の違いを理解し、それを他の人たちにも説明できるようになること。2庭園が文化一般のなかで果たす役割を理解できるようになること。3庭園とユートピア思想とのつながりを理解できるようになること。4イタリア式庭園、フランス式庭園、イギリス式庭園の様式の違いを理解できるようになること。			
講義スケジュール			
(1) ストーンサークルと磐境 (2) 神社と磐座 (3) 神仙思想と蓬萊山 (4) 枯山水庭園 (5) エデンの園と植物園 (6) ヨーロッパの動物園 (7) 旭山動物園 (8) イタリア式庭園 (9) フランス式庭園 (10) イギリス式庭園 (11) アルハンブラ宮殿 (12) 博覧会とテーマパーク (13) バリ万博 (14) 大阪万博 (15) 南太平洋の楽園（ゴーギャンとタヒチ）			
教科書	なし		
参考書	『エデンの園 楽園の再現と植物園』、J・プレスト著、八坂書房、1999年 『ヨーロッパの庭園』、岩切正介著、中公新書、2008年 その他は授業中に指示。		

C181 和と美の日本文化

科目等履修生/聴講生

英文科目名	“Wa” (Peace and Harmony) And Beauty in Japanese Culture
大学名	池坊短期大学
連絡先	池坊短期大学 教務部 TEL 075-351-8595 FAX075-351-8591
担当教員	華道家元池坊推薦講師、茶道家元推薦講師、香道家元(志野流)推薦講師等(予定) 本科目コーディネーター 松本公一(池坊短期大学教授)

開講日程	2016年09月05日(月)～2016年09月09日(金) 1講時 10時00分～12時00分 2講時 13時30分～15時30分 ※9月5日(月)はガイダンスの為、9時30分開始		
単位数	2	開講区分	集中
受講料	【京カレッジ】科目等履修生 30,000円(選考料10,000円、履修料20,000円)聴講生 20,000円(選考料免除)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	200	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	平常点 20% 単位認定レポート 80% 事前事後学習：花・茶の湯・香道等について関連する書籍を事前に読んでおく。講義後、内容をまとめておく。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	履修許可者は、履修生証発行のため本学での「登録票」[顔写真(40×30mm)]の提出が必要です。 2016年4月9日(土)～4月30日(土)12:30までに、池坊短期大学教務部にて提出を行ってください。(登録票は教務部窓口にて受け取ってください。) 期限内に提出がなかった場合は、9月5日から始まるこの科目を受講する事が出来ません。 ※顔写真提出の際は必ず裏面に「所属大学」「氏名」を記入してください。 ※2013年度までに「日本文化における花・茶・香」を修得された方は受講内容が重複するため受講できません。		
講義概要・到達目標			
授業テーマ： 茶の湯・いけばな・香道・雅楽等の日本文化の実際を理解・体感する。 授業概要： いけばな・茶の湯・香・雅楽・礼法などの日本文化の諸相について、その道の有識者を迎え講義する。また、実演をともなう回もある。 到達目標： 和・美という日本文化の内容を、芸能・芸道などさまざまな文化事象を通じて理解し、それを自らの言葉で発信することができる。			
講義スケジュール			
10講座を予定。 以下は、2015年「和と美の日本文化」実施内容			
1.ガイダンス(9:30～)、花・茶・香の系譜とこころ(池坊短期大学教授 松本公一)			
2.雅楽の宇宙観と可能性(雅楽師 / 池坊学園客員教授 東儀秀樹)			
3.もてなしの心(裏千家 今日庵 文庫長 筒井紘一)			
4.弓馬術礼法(弓馬術礼法小笠原流宗家 / 池坊学園客員教授 小笠原清忠)			
5.池坊における花形のあゆみ(華道家元池坊 中央研修学院 教授 東勝行)			
6.座敷の文化(京都美術工芸大学 工芸学部客員教授 日向進)			
7.茶懐石について(株式会社たん熊北店 代表取締役社長 栗栖正博)			
8.香は聞く(志野流香道家元 / 池坊園客員教授 蜂谷宗玄)			
9.いけばなの変遷(華道家元池坊 次期家元 池坊由紀)			
10.中世文化と香(学校法人真宗大谷学園常務理事 大谷高等学校・大谷中学校校長 志野流香道松隠会理事 太田清史)			
※講師・内容は調整中 ※全回出席することが大前提。遅刻は20分まで。 それ以後は欠席扱いとなります。10回のうち、4回欠席すると単位認定試験受験資格を失います。			

詳細については、講義初日のガイダンスにて説明します。 なお、受講態度の悪い者、授業妨害にあたる行為をした者は退席させ改善がみられない場合は、単位を認定しないこともあります。	
教科書	
参考書	

C601 日本伝統文化論：雅楽はどこからきたのか

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Traditional Japanese Culture		
大学名	京都ノートルダム女子大学		
連絡先	京都ノートルダム女子大学 教務部教務課 TEL：075-706-3745 FAX：075-706-3790		
担当教員	鳥居本 幸代 (生活福祉文化学部生活福祉文化学科教授)		
開講日程	2016年04月08日(金)～2016年07月29日(金) 2講時 10時45分～12時15分 ※対面授業を3回実施【第05回05月13日(金)、第11回06月24日(金)、第15回07月22日(金)】 ※上記以外はe-ラーニング授業		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科目等履修生40,000円(本学卒業生は20,000円) 聴講生20,000円(本学卒業生は10,000円)		
会場	eラーニング		
授業定員		京カレッジ定員	
試験・評価方法	評価は授業参加度(30%)、小テスト(20%)、確認テスト(50%)に基づいて総合的に行う。欠席・遅刻は、減点対象となる。欠席回数が3分の1を超過した場合は、原則として単位を与えない。		
超過時の選考方法			
別途負担費用	教科書代		
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・第06回および、第11回、第15回は対面授業(京都ノートルダム女子大学にて実施)とするが、他の12回の授業はe-ラーニングで行う。 ・毎授業時に配布するプリントは、web上から取得できる。 ・毎講義ごとにweb上から小テスト問題を取得し、期限内に予習確認小テストを行う。 ・毎講義ごとに授業参加度確認のため、提出課題を設定している。web上から取得し、期限内に提出する。 ・確認テストはweb上で取得し、期限内(7月24日～7月30日)に受験する。 <p><通学に関する注意事項> 本学への通学は公共交通機関をご利用ください。 50ccを超えるバイクおよび自家用車での通学は認められておりません。また、自転車および50cc以下のバイクでの通学は登録制となっております。</p>		

講義概要・到達目標

1. 科目の教育目標

雅楽は伝統芸能のなかで最も長い歴史を有しているが、日本古来のものではない。6世紀中葉、仏教伝来とともに中国、朝鮮、ベトナムなどから伝来した外来の音楽と舞である。大宝律令に雅楽寮を置いて育成保護に務め、平安時代には宮廷行事に不可欠な存在となり、貴族の教養科目の1つに数えられるほど愛好された。千年の時を隔てて継承された雅楽を通して、伝統文化の一端を探る。

2. 教育・学習の個別課題

①雅楽の歴史

- ②雅楽をとりまく環境
- ③雅楽と舞楽
- ④雅楽と装束
- ⑤平安朝文学作品と雅楽

3. 教育・学習の方法

講義形式で授業を進めるが、ビデオなどを活用してテキストの内容を補足する。さらに、雅楽器を手にとって演奏の体験をし、舞楽の観賞も実施する。

4. 準備学習の具体的な方法

第01回の授業以降、次の授業内容に相応するテキストの箇所を指定し、読んでおくこと。その結果確認のため、授業冒頭で小テストを行う。

- 第02回 P3～13
- 第03回 P15～27
- 第04回 P28～45
- 第05回 P5～12
- 第06回 P46～65
- 第07回 P66～73
- 第08回 P75～94
- 第09回 P95～122
- 第10回 P123～146、P172～182
- 第11回 P218～250
- 第12回 P46～50、P183～196
- 第13回 P147～163
- 第14回 P36～39、P200～201
- 第15回 P251～268

講義スケジュール

- 第01回 序論 日本音楽の流れ
- 第02回 雅楽の定義
- 第03回 三韓楽と伎楽の伝来
- 第04回 外国音楽の消化
- 第05回 雅楽器の演奏体験(対面授業)
- 第06回 正倉院宝物の雅楽器を見る
- 第07回 正倉院宝物の伎楽面
- 第08回 雅楽の日本化
- 第09回 平安貴族のくらしと雅楽
- 第10回 平安朝の宮廷行事と雅楽
- 第11回 舞楽の鑑賞(対面授業)
- 第12回 東大寺大仏開眼会にみる法会と雅楽
- 第13回 祭礼と雅楽
- 第14回 『源氏物語』と雅楽
- 第15回 雅楽の現代(対面授業)

教科書	『雅楽一時空を超えた遙かな調べ』鳥居本幸代著、春秋社、2008年
参考書	1. 『日本の古典芸能第2巻「雅楽・王朝の宮廷芸能」』芸能史研究会編、平凡社、1970年 2. 『雅楽のデザイン・王朝装束の美意識』多忠磨編、小学館、1990年 3. 『日本音楽叢書1「雅楽」』木戸敏郎編、音楽友之社、1990年 4. 『雅楽・重要無形文化財』下中記念財団編、平凡社、1990年 5. 『雅楽入門』増本伎共子著、音楽友之社、2000年

C602 文学作品をよむ 『小倉百人一首』の世界 一鑑賞と研究の違いをふまえて一

聴講生

英文科目名	Literature of Japan
大学名	京都文教短期大学
連絡先	教務課 TEL 0774-25-2411 FAX 0774-25-2455
担当教員	千古利恵子(幼児教育学科 教授)

開講日程	2016年09月29日(木)～2017年01月19日(木)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	20,000円		
会場	eラーニング		
授業定員	60	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	レポート試験		
超過時の選考方法			
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
<p>「文学作品」として評価されている作品を鑑賞し、自らの作品評価と比べながら、「文学作品」という評価を生み出す背景を考えてみる。従って、本講義では、「よむ」ためには基礎的な知識が必要であること、鑑賞と研究の違いをふまえた「よみ」の方法があること、を和歌集や和歌を例に学ぶ。</p> <p>さらに、その学習の実践として『百人一首』の鑑賞を行い、その鑑賞が「生きることの考察」に通じる「よみ」に発展させることを、目標とする。</p>			
講義スケジュール			
<p>第01回 オリエンテーション 第02回 「文学作品」の姿形－「本」のいろいろ 第03回 「文学作品」という区分－「文学史」というテキストの存在 第04回 作品の誕生と作品の製造－勅撰和歌集と私撰和歌集のちがい 第05回 作品の運命－無名作品・ベストセラー作品の寿命 第06回 『小倉百人一首』をよむ(1)－鑑賞してみよう－ 第07回 『小倉百人一首』をよむ(2)－研究のための知識－ 第08回 『小倉百人一首』をよむ(3)－作品をめぐる人間の欲望 第09回 『小倉百人一首』収録歌人の人生をよむ(1)－武士の決断 第10回 『小倉百人一首』収録歌人の人生をよむ(2)－父と息子の葛藤 第11回 『小倉百人一首』収録歌人の人生をよむ(3)－勢力争い 第12回 「よむ」姿勢に影響する他者の評価 第13回 「よむ」姿勢に影響する固定概念－「女性らしさ」の検証 第14回 古典文学の生き残り法－伝統文化の継承 第15回 まとめ</p>			
教科書			
参考書	『和歌文学へのいざない』和歌文学研究の入門と鑑賞 (千古 利恵子著 創文社刊)		

D001 Integrated Skills -英語口と英語舌から発音力とリスニング力アップ- [高大連携]

科目等履修生

英文科目名	Integrated Skills		
大学名	京都外国語大学		
連絡先	教務部 TEL 075-322-6032 FAX 075-322-6247 e-mail : kyomu@kufs.ac.jp		
担当教員	倉田 誠 (本学教授・コーディネーター) 渋谷 良方 (本学准教授) 横山 仁視 (本学非常勤講師)		
開講日程	2016年04月09日 (土) ~2016年07月16日 (土) 2講時 土曜日 10時50分~12時20分		
単位数	1	開講区分	前期・春学期
受講料	16,500円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	20	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	平常試験		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>大学生および京カレッジ生の対象はTOEIC350点~550点またはそれに準ずる語学能力を有する者となります。授業は上記3名のリレー形式で、原則として日英両言語で行いますが、途中で数回ネイティブスピーカーをゲスト講師として招く予定です。予習と復習を確実にすることにより、実力を飛躍的に伸ばしてください。毎回小テストがありますので、皆勤を目指してたくさん学生の学生に受講していただきたいと思ひます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この授業は初回より教科書を使用します。 ・教科書は初回授業開始前に特別価格 (1,400円) で販売しますので、受講する場合は必ず授業初回時に購入してください。(市販のテキストにはCDが付いていません) よって、初回から出席をとりますので注意してください。 ・辞書はかならず持参してください。 ・質問がある場合は、担当部署宛メールアドレスにご連絡ください。 		
講義概要・到達目標	<p>日本人の英語学習者はどうして英語の発音が下手なのでしょう？日本人は英語の音を作るのに向いていないのでしょうか？それは全く違います。原因は日本人の口と舌の使い方が日本語を話すときと同じ使い方をしているからです。口と舌の使い方さえ間違えなければ、英語母語話者と同じ音ができます。この授業は他の授業では経験したことがないようなアプローチをとり、英語の発音向上から英語力アップを目指します。特に日本人が不得手とする母音や子音等を中心に単語レベルで練習し、その後様々な例文を音読しながら「英語口」と「英語舌」を作り上げ、最後にTOEICのリスニング形式問題で締めくくるという方法を取ります。正しい発音を身に着ければ、その音が内在化し、リスニング力も向上します。皆さんにはまず英語母語話者が使っている調音点や調音方法を頭と体で理解していただき、それから何度も何度も繰り返し声に出して練習していただきます。時おり、映画のスクリーンも使って、感情豊かに英語を伝えることができるようにもします。頑張った受講者のlistening/speakingの能力は大幅アップするでしょう。</p>		
講義スケジュール	<p>(1) 4月9日 アクセント、リズム、イントネーション (TOEIC Listening 1) (2) 4月16日 まぎらわしい母音1 (TOEIC Listening 2) (3) 4月23日 まぎらわしい母音2 (TOEIC Listening 3) (4) 4月30日 まぎらわしい母音3 (TOEIC Listening 4)</p>		

- (5) 5月7日 まぎらわしい母音4 (TOEIC Listening 5)
 - (6) 5月14日 まぎらわしい母音5 (TOEIC Listening 6)
 - (7) 5月21日 まとめ (TOEIC Listening 7)
 - (8) 5月28日 やっかいな子音1 (TOEIC Listening 8)
 - (9) 6月4日 やっかいな子音2 (TOEIC Listening 9)
 - (10) 6月11日 やっかいな子音3 (TOEIC Listening 10)
 - (11) 6月18日 やっかいな子音4 (TOEIC Listening 11)
 - (12) 6月25日 やっかいな子音5 (TOEIC Listening 12)
 - (13) 7月2日 単語の連結 (TOEIC Listening 13)
 - (14) 7月9日 単語の同化 (TOEIC Listening 14)
 - (15) 7月16日 試験・学期のまとめ (TOEIC Listening 15)
- ※上記スケジュールは変更になる場合があります。

教科書	「A New Threshold for the TOEIC Test Listening」CD付き (Seibido) ¥1,400 ※初回より教科書を使用します。 ※特別価格で販売しますので、初回授業時に購入してください。(市販のテキストにはCDが付いていません)
参考書	

D002 Integrated Skills (コミュニケーション編) [高大連携]

科目等履修生

英文科目名	Integrated Skills		
大学名	京都外国語短期大学		
連絡先	教務部 TEL 075-322-6032 FAX 075-322-6247		
担当教員	イアン・デイヴィ (本学短期大学専任講師) 他複数教員		
開講日程	2016年09月24日 (土) ~2017年01月14日 (土) 2講時 土曜日 10時50分~12時20分		
単位数	1	開講区分	後期・秋学期
受講料	16,500円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	20	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	平常試験		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標	<p>This communicative English course integrates development and practice of the students' speaking, listening, reading and writing skills. Reading and listening materials will be used to introduce various topics and issues that encourage students to compare different points of view on a wide range of topics. Supplementary materials may also be introduced by the teacher to expand on the topics covered.</p>		
講義スケジュール	<p>1. 9/24 Lifestyles - What shapes our daily lives 2. 10/1 Culture - travel abroad, culture shock 3. 10/8 Countries, Cities - the good and the bad 4. 10/15 Books - haiku reading / writing 5. 10/22 Film - making a film poster 6. 10/29 Halloween - festivals, traditions 7. 11/5 Music - song lyrics, singing songs 8. 11/12 Yourself ? the shape of your life</p>		

9. 11/19 Education ? school subjects quiz
 10.11/26 Information Technology ? mobile phones and text messaging
 11.12/3 Politeness - expressions game
 12. 12/10 Holidays - people, places, good and bad
 13. 12/17 Christmas - music and culture
 14. 1/7 Describing people - alien invaders
 15.1/14 Your future - a future photo album
 ※上記スケジュールは変更になる場合があります。

教科書	プリント
参考書	

D007 特殊講義「クリティカル・リーディングの技法」／ZM

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Special Lectures		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】 TEL : 075-466-3350		
担当教員	薄井 道正		
開講日程	2016年9月29日(木)～2017年1月19日(木) <毎週木曜日> 4時限 : 14 : 30～16 : 00 <教室案内> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf ※休講になった場合などは、1/20(金)、1/21(土)、1/22(日)に補講を行うことがあります。		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生 : 42,800円 ・聴講生 : 25,400円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	50	京カレッジ定員	15
試験・評価方法	【平常点評価】100% 授業中に課す課題レポートや発表および毎回の当日レポートにより授業の理解度や修得度を到達度評価する。 2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象とする。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。 【諸手続】(単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html		
講義概要・到達目標	【授業の概要】 本授業では、クリティカル・リーディング(批判的読み)のスキルを活用し、演習を通してテキストを「読む」力を身につけることを目指す。		

クリティカル(批判的)とは、一方的に否定・非難することでも、理不尽な難癖をつけることでもない。クリティカルとは、既存の価値にとらわれないこと、自分の思い込みで判断しないことである。つまり、クリティカル・リーディングとは、「あたりまえ」だと思っていることを「それはほんとうにあたりまえのことなのか」と問うことで、常識(制度的思考)を組み換えることである。そうしたクリティカル・リーディングの力を身につけるために、さまざまなテキストを用いて演習(協働的読み)をおこなっていく。

【到達目標】

- 1.文章や絵画などのテキストを批判的に読み、理解することができる。
- 2.議論や論証の構造が理解できる。
- 3.他者(テキスト)との対話を重ねることにより、自身がとらわれている認識の枠組みを意識化させ、解体し、更新することができる。
- 4.「あたりまえ」を疑い、問うことを通して批判的思考ができる。
- 5.議論や論証を分析・批評することができる。

【授業外学習の指示】

授業中に指示した予習や課題に真摯に取り組むこと。

【参考になる WWW ページ】

NHK高校講座「ロンリのちから」(<http://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/ronri/>)
 NHK「考えるカラス～科学の考え方～」(<http://www.nhk.or.jp/rika/karasu/>)

講義スケジュール

- 1 「批判的に読む」「論理的に読む」とはどういうことか
<キーワード・文献等>授業の進め方・評価の仕方 クリティカル・リーディング クリティカル・シンキング プレ調査
- 2 「理論」の構造を把握する
<キーワード・文献等>演繹と帰納 論証 仮説形成 論理の流れ 追認可能性 接続表現
- 3 「論証」「議論」の構造
<キーワード・文献等>トウルミンの議論(論証)モデル ロジカル・フラワー・チャート 根拠と主張と論拠
- 4 「根拠」「論拠」の批判的吟味1
<キーワード・文献等>記述的主張 規範的主張 経験的事実 検証可能性 観察語 論理的負荷語 フレーミング前提
- 5 「根拠」「論拠」の批判的吟味2
<キーワード・文献等>議論の前提を疑う 外延と内包
- 6 「論証」「議論」の妥当性・推測力の批判的吟味1
<キーワード・文献等>妥当な論証 根拠の信頼性
- 7 「論証」「議論」の妥当性・推測力の批判的吟味2
<キーワード・文献等>議論の流れを疑う
- 8 本の読み方
<キーワード・文献等>エクステンシブ・リーディング スキミングとスキニング インテンシブ・リーディング
- 9 「問い」の立て方
<キーワード・文献等>あたりまえを疑う デカルトの「考える方法」四原則
- 10 演習：テキスト分析1
<キーワード・文献等>クリティカル・リーディングの協働的演習とルーブリックを活用した評価
- 11 演習：テキスト分析2
<キーワード・文献等>クリティカル・リーディングの協働的演習とルーブリックを活用した評価
- 12 演習：テキスト分析3
<キーワード・文献等>クリティカル・リーディングの協働的演習とルーブリックを活用した評価
- 13 演習：テキスト分析4
<キーワード・文献等>クリティカル・リーディングの協働的演習とルーブリックを活用した評価

14 演習：テキスト分析5 ＜キーワード・文献等＞クリティカル・リーディングの協動的演習とルーブリックを活用した評価	
15 ふりかえり ＜キーワード・文献等＞ポスト調査	
教科書	必要な資料は授業で配布します。整理してすべてファイルしてください。
参考書	以下の「書名」、「著者」、「出版社」、「ISBNコード」を参照。 ・論理的に読む技術 福澤一吉 ソフトバンク クリエイティブ 978-4-7973-7033-1 ・文章を論理で読み解くためのクリティカル・リーディング 福澤一吉 NHK出版 978-4-14-088377-8C0281 ・哲学思考トレーニング 伊勢田哲治 筑摩書房 4-480-06245-9 C0210 ・「科学的思考」のレッスン 戸田山和久 NHK出版 978-4-14-088365-5 C0240

D008 特殊講義「グローバル時代の英語スキル習得法」／ZK

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Special Lectures		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】 TEL：075-466-3350		
担当教員	山岡 憲史		
開講日程	2016年9月27日（火）～2017年1月17日（火）＜毎週火曜日＞ 5時限：16：20～17：50 ＜教室案内＞ http://www.ritsumeiji.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf ※休講になった場合などは、1/20（金）、1/21（土）、1/22（日）に補講を行うことがあります。		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生：42,800円 ・聴講生：25,400円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	40	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	【レポート試験】50% いくつかのテーマの中から自らが関心のあるものを選んで指定された語数で、学んだことを取り入れながら建設的な観点で論じているかを評価する。 【平常点評価】50% 平素の課題への取り組みとそのクオリティを評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	受講までに実用英語検定2級、TOEFL IBT 80点、TOEIC730点以上を取得しておくことが望ましい。 【事前に履修しておくことが望まれる科目】 基礎的な英語購読科目および英語ライティング科目		
講義概要・到達目標			
【授業の概要と方法】	グローバル化時代を迎えた現在、英語を使ってさまざまな名人々と交流		

する機会が増えている。英語のコミュニケーション能力は、単なる「海外旅行のための道具」や「趣味の英会話」のような装飾的スキルではなく、現代を生きるための重要な要素となってきた。本講座では、多様化する英語コミュニケーションに必要なスキルとは何かを論じるとともに、その育成を目指す英語教育のあり方について考える。そのうえで、英語コミュニケーションにおける受信と発信とに必要なさまざまなスキル習得のための実践演習を行い、受講者の英語力養成を目指す。

【受講生の到達目標】

1. グローバル化時代に求められる英語コミュニケーション能力について理解する。
2. コミュニケーション能力育成のための英語教育への理解を深める。
3. 英語のコミュニケーションに必要なスキルを習得し、グローバル化時代に対応できる英語力の伸長を図る。

【授業外学習の指示】

各回の課題に取り組む。テーマに応じて、英語を読む、書く、発表の準備を行うなどを課す。

【受講および研究に関するアドバイス】

グローバル化時代に求められる英語スキルについて理解し、それらを総合的に伸ばしたいと考えている受講生を望みます。課題にしっかり取り組み、授業で積極的な発表を行ってもらえることを強く希望します。

【参考になる WWW ページ】

http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/

講義スケジュール	
1～2	グローバル化時代に求められる英語スキル コミュニケーション能力、英語教育、4技能、受験英語、検定試験、受信と発信、対話と対書、オーセンティックな英語
3～4	文法能力とコミュニケーション 英文法、英語語法、文法書、辞書、文法の形式・意味・機能
5～6	英語読解スキルと発信 英語理解、読解と和訳、速読と精読、リーディングの方略、音読、談話分析、再話、要約
7～9	リスニング能力と発信 マイクロスキル、マクロスキル、リスニング方略、英語耳、
10～11	スピーキング能力 英会話とスピーキング能力、発音、英語舌、正確さと流暢さ、談話能力、対話、スピーチ、プレゼンテーション
12～13	ライティング能力 和文英訳とライティング、正確性、結束性、ブレインストーミング、パラグラフライティング、目的に応じたライティング
14～15	ディベートの能力 アカデミックディベート、立論、尋問、反駁、最終弁論、肯定側、否定側
教科書	以下の「書名」、「著者」、「出版社」、「ISBNコード」を参照 ・「グローバル時代を生き抜くためのハーバード式英語学習方」、「青野伸達」、「秀和システム」、「978-4-7980-4317-3」 その他、講義中には多くのハンドアウトを使用し教材とする。
参考書	以下の「書名」、「著者」、「出版社」、「ISBNコード」を参照 ・『英語教育を知る58の鍵』大修館書店 松村昌紀 大修館書店 978-4469245387 ・『英語パラグラフライティング講座』ケリー伊藤 研究社 978-4327451608 ・『英語ディベート 理論と実践』松本茂 玉川大学出版部 9784472403798 その他、講義中で紹介する。

D009 特殊講義「日本語の技法—アカデミック・ライティングの基礎講座—」 ／ZL

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Special Lectures		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】 TEL：075-466-3350		
担当教員	薄井 道正		
開講日程	2016年9月29日(木)～2017年1月19日(木) <毎週木曜日> 2時限：10：50～12：30 <教室案内> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf ※休講になった場合などは、1/20(金)、1/21(土)、1/22(日)に補講を行うことがあります。		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生：42,800円 ・聴講生：25,400円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	50	京カレッジ定員	15
試験・評価方法	【平常点評価】100% 2/3以上の出席をもって評価の対象とする。課題レポート・課題論文等により、授業の理解度や修得度を評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
<p>【授業の概要と方法】 学問的(研究的)な学びに必要な「問いを立てる力」や「論証力」、そして基礎的な「アカデミック・ライティング」の力の育成を目的とする。基礎的な文章作成の技術の指導には、15回の授業を通して複数回のレポートを課す。また、講義と演習を通して、議論や論証の方法、思考の型や文章作成の技法等を段階的・体系的に学びつつ、学問・研究に必要なレポートや学術的な論文の構造の理解や「議論の分析力」を身につける。さらに、自らが書き手となるために必要となる「思考力」や「議論力」を養うために「問い」の基本的な枠組みと方法を理解する。また、文章作成に必要なパラグラフ・ライティングの基礎の習得も目指す。</p> <p>【受講生の到達目標】 1基本的な議論(論証)とパラグラフ・ライティングの知識について理解し、それを用いて議論(論証)とパラグラフの構造を論理的に把握することができる。(知識・理解) 2基本的な日本語と論文のルールについて理解し、論文の構造やアウトラインを論理的に把握することができる。(知識・理解) 3議論(論証)とパラグラフ・ライティングについての知識を活用して、ものごとを論理的に説明することができる。(思考・判断) 4学問的・研究的な興味関心を持ち、自ら調べ、意欲的に考える(疑問を抱き、問い立てようとする)態度をもつ。(関心・意欲) 5トウルミンの議論モデルを踏まえて論文のアウトラインが設計でき、論文・レポートを書くことができる。(技能・表現)</p> <p>【授業外学習の指示】 授業内で指示する。</p> <p>【受講および研究に関するアドバイス】 レポートや論文を初めて作成することになる初年次生、またレポートや論文の作成力をさらにアップしたいと思っている人を対象とした授業です。 文章作成の基礎的な知識を理解し、課題や演習を積み重ね、最終的</p>			

には1編の論文を完成させていきます。

「書く」ことに苦手意識をもっている人には、ぜひ受講することを勧めます。

【参考になる WWW ページ】

NHK高校講座「ロンリのちから」(<http://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/ronri/>)

NHK「考えるカラス～科学の考え方～」(<http://www.nhk.or.jp/rika/karasu/>)

講義スケジュール

- 論文へのアプローチ (1) 学問的・研究的な「学び」論文とは何か
◆キーワード：学問の作法/問題提起・仮説(主張)・論証
1ブレ調査
2論文とは問題提起と仮説と論証からなることが理解できる。
- 論文へのアプローチ (2) 引用と剽窃 情報収集の方法
◆キーワード：引用の仕方/剽窃/参考文献の揚げ方/資料収集の方法
1剽窃と引用の違いを知り、引用の仕方や参考文献の書き方が理解できる。
2情報機器や図書館を利用した情報・資料の収集方法が理解できる。
- 論文へのアプローチ (3) 「問い」の形式 「問い」の展開
◆キーワード：問いの定式化/問いのブレイクダウン/問いと答えのフィールド
1「問い」のもつ意味と重要性を理解できる。
2「問い」のブレイクダウンの方法を活用して自らの「問い」をブレイクダウンできる。
- 文章作法とパラグラフ・ライティング (1) 文を書くときの工夫
◆キーワード：単文/重文/複文/一文一義
1日本語の文の特徴(単文・重文・複文)が理解できる。
2「一文一義」など、わかりやすい日本語の文を書くための技法が理解できる。
- 論理と論証 (1) 論理とは何か 論証とは何か
◆キーワード：論理/文の接続/論証/推論
1論理と「文の接続関係」について理解できる。
2論証について理解できる。
- 論理と論証 (2) 根拠と主張
◆キーワード：根拠/主張/経験的事実/記述的主張と価値的主張
1論証のプロトタイプ(根拠と主張の関係)について理解できる。
2論証文から「根拠と主張」が抽出できる。
- 論理と論証 (3) トウルミンの議論モデル
◆キーワード：論拠/価値的論拠と記述的論拠
1トウルミンの議論モデルの構造が理解できる。
2論拠について理解し、論証文から論拠を推定できる。
- 文章作法とパラグラフ・ライティング (2) パラグラフの構造とルール
◆キーワード：パラグラフ/トピック・センテンス/サポート・センテンス/コンクルーディング・センテンス/1パラグラフ・1トピック
1パラグラフの重要性とその構造が理解できる。
2論証型のパラグラフ構造が理解できる。
- 文章作法とパラグラフ・ライティング (3) パラグラフの作り方1
◆キーワード：パラグラフの構造化/パラグラフの型
1論証をパラグラフ構造で書くことができる。
2論証型以外の「パラグラフの型」が理解できる。
- 文章作法とパラグラフ・ライティング (4) パラグラフの作り方2
◆キーワード：パラグラフの揃え方/既知から未知へ/直列型/並列型/統一型
1パラグラフを揃えて書く方法が理解できる。
2既知から未知へとつなぐ三つの型(直列型・並列型・統一型)が理解できる。
- 文章作法とパラグラフ・ライティング (5) パラグラフのつなぎ方

◆キーワード：直列型／並列型
1パラグラフのつなぎ方（直列型と並列型）が理解できる。
2パラグラフのつながりをつくることができる。

12 論文の技法 (1) 論文の構造
◆キーワード：論文の典型構造（序論・本論・結論）／背景・問題・主張（仮説）・根拠・論拠・結論
1論文の典型構造が理解できる。
2ロジカル・フラワー・マップが活用できる。

13 論文の技法 (2) 〈議論〉の評価
◆キーワード：根拠の確かさ／論拠の妥当性
1根拠の的確性を評価できる。
2論拠（価値的論拠と記述的論拠）を評価できる。

14 論文の技法 (3) 反論と反駁
◆キーワード：想定される反論／反論への反駁
1反論と反駁について理解できる。
2反論を想定することができ、その反論に反駁することができる。

15 論文の技法 (4) 論文の自己点検
◆キーワード：論文のルーブリック／評価の観点
1論文のルーブリックを用いて自己点検する方法が理解できる。
2ポスト調査

教科書	授業でテキストを配布。
参考書	<p>以下は「書名」、「著者」、「出版社」、「ISBNコード」、「備考」を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新版 論文の教室 戸田山和久 日本放送出版協会 978-4-14-091194-5 論文のアウトラインの作り方が丁寧に紹介されている。 ・議論のレッスン 福澤一吉 日本放送出版協会 978-4-14-088025-8 トウールミンの議論モデルに基づいた「議論のルールブック」。議論・論証の構造が分かる実践的な本。 ・留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック 二通信子他 東京大学出版会 978-4-13-082016-5 レポート・論文作成のための辞書と参考書の役割を果たす本。事例も豊富で、レポート・論文を書くときの「座右の書」。

女子のみ受講可 ※受講者人数によって、本学開講科目基準により不開講になる場合があります。
<p>【授業時間外学修（予習・復習等）について】</p> <p>Students should spend roughly 15 minutes per day reviewing problems, grammar, and vocabulary.</p> <p>Each student MUST bring a B5 Campus Notebook to each class, and an appropriate English-Japanese and Japanese-English dictionary.</p>

講義概要・到達目標

【授業テーマ】
First Preparation for the TOEIC Exam

【授業の概要】
This is the first semester of a first course in the TOEIC exam. It will begin from elementary-level problems. During the first half of the first term, we will practice the listening problems of the TOEIC. The instructor will provide the student with some "rules of thumb" for doing the listening tasks. However, the basic challenge to the student is to improve her own listening ability.

【到達目標】
The aim of this class is twofold :
(1) improve proficiency in English generally
(2) improve TOEIC test-taking skills

講義スケジュール

【授業計画】
Week 1 : (a) introduction to the TOEIC test; (b) problem-set 1 : question-response problems
Week 2 : (a) question-response exercises; (b) problem-set 2 : question-response problems
Week 3 : (a) question-response exercises; (b) problem-set 3 : conversation problems
Week 4 : (a) conversation problems; (b) problem-set 4 : conversation problems; (c) talks transcripts 1;
Week 5 : (a) conversation problems; (b) vocabulary review; talks problem-set 1; (c) talks transcripts 2;
Week 5 : (a) vocabulary review; talks problem-set 1; (b) vocabulary review; talks problem-set 2; (c) talks transcripts 3;
Week 6 : (a) vocabulary review; talks problem-set 2; (b) vocabulary review; talks problem-set 3; (c) comprehensive review;
Week 7 : Comprehensive Listening Exam; home-study print : basic English grammar review
Week 8 : (a) return exams; introduction to TOEIC reading problems; (b) review English grammar: (c) distribute problem-set 1 : sentence-completion exercises
Week 9 : (a) grammar review; (b) vocabulary review; problem-set 1 : (c) distribute problem-set 2 : sentence-completion exercises
Week 10 : (a) grammar review; (b) vocabulary review; problem-set 2 : (c) distribute problem-set 3 : sentence-completion exercises
Week 11 : (a) grammar review; (b) vocabulary review; problem-set 3 : (c) distribute problem-set 4 : text-completion and reading exercises
Week 12 : (a) vocabulary review; problem-set 4 : (b) distribute problem-set 5 : text-completion and reading exercises with listening
Week 13 : (a) vocabulary review; problem-set 5 : (b) distribute problem-set 6 : text-completion and reading exercises with listening
Week 14 : (a) vocabulary review; problem-set 6 : (b) distribute comprehensive TOEIC review
Week 15 : Comprehensive TOEIC exam

【授業方法】
The class will exercise the student's ability in English using several sets of TOEIC problems, with supplementary review of vocabulary and grammar.
All distributed material should be pasted in the student's B5 Notebook.

教科書	There is no textbook. The instructor will provide all study materials.
参考書	

D110 TOEIC I

科目等履修生/聴講生

英文科目名	TOEIC1		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター修学担当 TEL075-325-5307 FAX075-325-5317		
担当教員	J. ドレイトン (James Drayton) (キャリア形成学部キャリア形成学科 准教授)		
開講日程	2016年04月12日 (火) ~ 2016年07月26日 (火) 5講時 16時10分~17時40分 (毎週火曜日) ※休講 2016/05/03 (火・祝)		
単位数	1	開講区分	前期・春学期
受講料	科目等履修生(履修料10,000円、選考料 科目数を問わず10,000円) 聴講生5,000円(選考料免除)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	Assessment will be based on a midterm test and a final exam and the grade received on the student's study Notebook. Students will also be assessed on participation during class.		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		

D112 通訳研究

科目等履修生

英文科目名	Translation		
大学名	京都橋大学		
連絡先	学務第1課 TEL：075-574-4324 FAX：075-574-4134		
担当教員	西村 友美（人間発達学部英語コミュニケーション学科教授）		
開講日程	2016年04月07日（木）～2016年08月03日（水） 1講時 09時00分～10時30分（毎週木曜日）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科32,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	試験（70%）参加度（30%）		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
【テーマ】 通訳の理論と集中訓練			
【授業の到達目標】 (1) 実践を通して通訳術の基本を習得することを目指す。 (2) 通訳を通じて異文化コミュニケーションについて考察する力を養う。			
【授業の概要】 「通訳基礎論」で習得した基礎的理論と技術をもとに、より高度な通訳を集中的に訓練する。毎回の授業で、段階的なトレーニングを重ね、最終的には簡単な通訳（逐次・同時）ができるようにしたい。また同時に、通訳の基礎的な理論を学ぶ。教科書の理論編を分担して授業でプレゼンをし、全体でディスカッションをする。自ら通訳者を目指さない受講者も、通訳者はことばの壁をどう乗り越えているのか、また異文化間のコミュニケーションを円滑に進めるためにどんな工夫をしているのかを知ることは、自分の英語の運用にも役立つはずである。授業はそのような観点から進めていきたい。			
【準備学習（予習・復習）】 教科書の理論編を理解するための文献を読む。各種通訳練習。本格的通訳トレーニングは、TOEIC 800点程度取得、あるいは英検準1級を取得してから始めるというのが通説になっている。この授業では、受講者ができるだけ早くそのレベルに到達することができるよう指導するので、授業外での自習をしっかりとすることが必須条件となる。			
講義スケジュール			
第1回 通訳とは、通訳事例の観察 第2回 通訳の種類と活動の場 第3回 通訳に求められるもの 第4回 通訳の研究 第5回 通訳モデル 第6回 通訳と翻訳 第7回 中間まとめ 第8回 記憶とノートテキング 第9回 逐次通訳（1） 第10回 逐次通訳（2） 第11回 同時通訳（1） 第12回 同時通訳（2） 第13回 同時通訳（3） 第14回 通訳とデリバリー 第15回 まとめ			
教科書	1. 通訳学101 友野百枝他 大阪教育図書 2012		
参考書	授業で指示する。		

D113 アラビア語 I

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Arabic I		
大学名	京都ノートルダム女子大学		
連絡先	京都ノートルダム女子大学 教務部教務課 TEL：075-706-3745 FAX：075-706-3790		
担当教員	鷲見 朗子（人間文化学部人間文化学科教授）		
開講日程	2016年04月14日（木）～2016年07月28日（木） 3講時 13時10分～14時40分（毎週木曜日） ※休講 2016/05/05（木）		
単位数	1	開講区分	前期・春学期
受講料	科目等履修20,000円（本学卒業生は10,000円） 聴講10,000円（本学卒業生は5,000円）		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	40	京カレッジ定員	3
試験・評価方法	授業参加（25%）、小テスト・宿題（25%）、試験（50%）。5回以上の欠席者には単位を与えない。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	教科書代		
その他特記事項	回によっては、イマージョン・スペースや教室の内 外で、ネイティブ・スピーカーなどのゲスト講師を招 くなどにより、コミュニケーション力やアラブ・イ スラーム文化理解の向上をめざす授業を行うことが ある。 <通学に関する注意事項> 本学への通学は公共交通機関をご利用ください。 50ccを超えるバイクおよび自家用車での通学は認め られておりません。また、自転車および50cc以下の バイクでの通学は登録制となっております。		
講義概要・到達目標			
1. 科目の教育目標 「アラビア語」は中東・北アフリカを中心とする国々で用いられ、世界の言語の中でも大変広い地域で話されている。また国連の公用語の1つにも数えられている主要言語のひとつである。本科目の目標はアラビア語の読み・書き・聞く・話す基本を習得し、基礎的なコミュニケーション能力を養うことである。またアラビア語の背景にあるアラブ・イスラーム文化の理解もめざす。内容としては、28文字からなるアラビア語のアルファベットの書き方と発音を学び、基礎的な語彙、挨拶や日常会話表現を学習する。			
2. 教育・学習の個別課題 ①28文字から成るアラビア語のアルファベットの書き方・発音を学ぶ。 ②教科書の基本文や会話を理解し、文法を学ぶ。 ③ドリルで応用力をつける。 ④アラビア語の背景にあるアラブ・イスラーム文化を理解する。			
3. 教育・学習の方法 ①予習で事前に課題を理解し、語彙など必要事項を記憶する。 ②授業で十分に理解する。 ③授業中のテストで理解の確認を行う。 ④復習で学習したことを把握し、保持する。			
4. 準備学習の具体的な方法 ①教科書の課された範囲を毎回予習する。 ②小テストがある場合は、それに備える。			
講義スケジュール			
第01回 アラビア語とは 第02回 「こんにちは」アラビア語のアルファベット 第03回 「おはよう」アラビア語のアルファベット 第04回 「またお会いするまで」アラビア語のアルファベット 第05回 「こんばんは」アラビア語のアルファベット 第06回 「ありがとう」アラビア語のアルファベット			

- 第07回「ようこそ」アラビア語のアルファベット
- 第08回「お元気ですか」アラビア語のアルファベット以外の文字と記号
- 第09回「アッサラーム・アライクム」太陽文字と月文字
- 第10回「あなたの名前は？」○○人という表現、数字1～10
- 第11回「私の名前は…」名前の書き方
- 第12回「はい」「いいえ」格について
- 第13回「ごめんなさい」名詞の性について
- 第14回「あなたは学生ですか」独立人称代名詞
- 第15回 まとめ

教科書	『初歩のアラビア語』 鷲見朗子著、放送大学教育振興会、2011
参考書	1. 『パスポート日本語アラビア語辞典』 本田幸一他編、白水社、2004 2. 『パスポート初級アラビア語辞典』 本田幸一他編、白水社、1997

形の動詞派生形とその活用などを学習する。アラビア語学習のなかでアラブ文化の理解もさらに育んでいく。

2. 教育・学習の個別課題
- ①コミュニケーション力を伸ばす。
 - ②文法事項を正確に理解する。
 - ③語彙・表現力をつける。
 - ④正しい発音を身につける。
 - ⑤アラブ文化の理解を促進する。

3. 教育・学習の方法
- ①ペア・グループ学習
 - ②講義
 - ③演習
4. 準備学習の具体的な方法
- ①予習・復習
 - ②CD、DVDの視聴
 - ③小テストに備えて学習

講義スケジュール

- 第01回 インTRODクション
- 第02回 「ジュハーが好きです」 疑問詞
- 第03回 「いつ旅行から帰りましたか」 (動詞の復習)
- 第04回 「いつ旅行から帰りましたか」 (語根と語形パターン)
- 第05回 「私は彼がとても好きなの」 (曜日表現)
- 第06回 「私は彼がとても好きなの」 (月の表現)
- 第07回 「僕は教師だったんだ」 (カーナの活用)
- 第08回 「僕は教師だったんだ」 (ライサの活用)
- 第09回 「何時ですか」 (数の表現)
- 第10回 「何時ですか」 (時間の表現)
- 第11回 「3本のペンがあります」 (基数と序数0～10)
- 第12回 「3本のペンがあります」 (基数と序数11～19)
- 第13回 「ジュースが飲みたいです」 (動詞未完了接続法の活用)
- 第14回 「ジュースが飲みたいです」 (動詞未完了接続法の用法)
- 第15回 まとめ

教科書	参考文献を組み合わせたものを授業で配布する。
参考書	『AlKitaab Part1 2nd ed.』 AlBatal, Georgetown UP 『Mastering Arabic 1』 2nd ed. Wightwick, Hippocrene Books 『初歩のアラビア語』 鷲見朗子、放送大学教育振興会、2011
	参考URL 大阪大学アラビア語コンテンツ http://el.minoh.osaka-u.ac.jp/flc/ara/

D114 アラビア語Ⅲ

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Arabic III		
大学名	京都ノートルダム女子大学		
連絡先	京都ノートルダム女子大学 教務部教務課 TEL: 075-706-3745 FAX: 075-706-3790		
担当教員	鷲見 朗子 (人間文化学部人間文化学科教授)		
開講日程	2016年04月14日 (木) ~ 2016年07月28日 (木) 4講時 14時55分~16時25分 (毎週木曜日) ※休講 2016/05/05 (木・祝)		
単位数	1	開講区分	前期・春学期
受講料	科目等履修20,000円 (本学卒業生は10,000円) 聴講10,000円 (本学卒業生は5,000円)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	40	京カレッジ定員	3
試験・評価方法	授業参加20%、小テスト・宿題30%、試験50%。5回以上の欠席者には単位を与えない。		
超過時の選考方法	書類審査		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>「アラビア語Ⅰ」「アラビア語Ⅱ」の単位取得者およびそれと同等のアラビア語の学力を備えていると担当教員がみなした者を対象とする。 受講生の理解の進み具合によって、授業内容の進度を調整する場合もある。 また、回によっては、イマージョン・スペースや教室の内外で、ネイティブ・スピーカーなどのゲスト講師を招くなどにより、コミュニケーション力やアラブ・イスラム文化理解の向上をめざす授業を行うことがある。</p> <p><通学に関する注意事項> 本学への通学は公共交通機関をご利用ください。 50ccを超えるバイクおよび自家用車での通学は認められておりません。また、自転車および50cc以下のバイクでの通学は登録制となっております。</p>		
講義概要・到達目標	<p>1. 科目の教育目標 本科目の目標は、「アラビア語Ⅰ」「アラビア語Ⅱ」で学んだことを基盤に、4技能(読み・書き・聞く・話す)を統合的に活用でき、正しい文法知識に基づいた、より高度なコミュニケーション能力を伸ばすことである。また、スキットと会話表現を通じて、新しい語彙、動詞活用、正しい発音を習得することである。内容としては、現在の習慣や状況の説明、既に起こったことの説明、数詞(序数)、時刻、第2形~第10</p>		

D115 外国語教育論Ⅰ

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Foreign Language Education I		
大学名	同志社女子大学		
連絡先	◆本学今出川キャンパス開講 教務課 TEL: 075-251-4127 FAX: 075-251-4277		
担当教員	若本 夏美 (表象文化学部教授)		
開講日程	2016年04月14日 (木) ~ 2016年07月28日 (木) 2講時 11時00分~12時30分 (毎週木曜日) ※休講 2016/05/05 (木・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科44,000円 (登録料24,000円・受講料20,000円)、 聴8,000円		
会場	今出川キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	5

試験・評価方法	Assignments (40%)、授業中のディスカッション態度 (10%)、ファイナルテスト (50%)。
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	なし
その他特記事項	
講義概要・到達目標	
<p>授業テーマ： 外国語教育（教授・学習）のメカニズムについて理解を深めよう： 早期英語教育は効果があるのだろうか？</p> <p>授業目標： このコースでは、以下にあげる2点を目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第一・第二言語習得理論（SLA）から外国語習得のメカニズムについて理解と関心を深める。 2. 特に年齢が外国語学習に与える影響について理解を深める。 3. 特に外国語学習における学習動機（Motivation）の役割について理解を深める。 <p>将来、教職に就きたいと考えている学生（英語・日本語教育）だけでなく、英語教育副専攻の日本語日本文学科の学生、外国語教育（英語・日本語教育）に一般的な興味・関心がある（例えば、自分自身の英語学習をさらに発展させたらよいか、将来子供を持ったときどのような外国語教育を自分の子供に受けさせるかなど）、または塾講師など何らかの形で外国語教育に関わる仕事に就きたいと考えている学生など、幅広い学生の受講を歓迎します。また、将来、オーストラリアなど国内外で日本語を教える（ATJProgram）といった、日本語教育に関心のある学生にとっても有益な情報が得られると思います。</p>	
講義スケジュール	
<p>各回の授業内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション、Applied Linguistics、 応用言語学とは？（1） 2. グループ・ワーク、コースへの期待、 応用言語学とは？（2） 3. Section 1. 母語習得（L1）・第二言語習得理論（SLA） 習得理論：「言語の習得に賞味期限はあるの？」 一年齢の影響—臨界期・敏感期 4. 年齢の影響—1st language acquisition (Genie/Victorの場合) (1) Natural Experiment 5. 年齢の影響—1st language acquisition (Genie/Victorの場合) (2) Input 6. 年齢の影響—1st language acquisition (Genie/Victorの場合) (3) Language Acquisition Device 7. 年齢の影響—1st language acquisition (Genie/Victorの場合) (4) Universal Grammar 8. 年齢の影響—2nd language acquisition (Patkowskyの研究) (1) Immigrants 9. 年齢の影響—2nd language acquisition (Patkowskyの研究) (2) Is younger better? 10. 年齢の影響—2nd language acquisition (Snow達の研究) (Section 1のまとめ) Learning Dutch 11. Section 2. 学習者要因「なぜ個人差があるのか？」 —英語を学ぶ動機は影響する？ Motivation (1) Maslow, Gardner & Lambert 12. 英語を学ぶ動機は影響する？ Motivation (2) Deci & Ryan, Dörnyei 13. 文化やパーソナリティは影響する？ Culture and Personality 14. 世界における英語使用「国際共通語？」 —世界の英語 (World Englishes) ESL, EFL, EIL 15. まとめ <p>授業方法： 授業計画のテーマに沿い、授業をすすめます。いくつかのパターンが想定されますが、講義に加えてグループを中心に、自ら考え・意見交流ができるようなActive Learningの形を目指します。いずれにせよ、このコースでは、予め読むテキストの範囲が指定され、その内容理解に基づき、自分なりの考えをまとめることが求められます。まなばやMoodleなどのインターネットLMSの利用も検討します。できる限り、ビデオなど視聴覚教材およびコンピュータを利用し、わかりやすい授業を心がけます。</p>	
教科書	未定（但し、秋学期、外国語教育論IIと共通）、Handoutsも配布します。

参考書	授業中に指示
-----	--------

D116 人文学特殊講義「白川学の世界」 /LE

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Selected Problems in Humanities		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】TEL：075-466-3350		
担当教員	今場 正美、萩原 正樹、真下 厚		
開講日程	<p>2016年4月13日（水）～2016年7月13日（水） ＜毎週水曜日＞ 5時限：16：20～17：50 5月21日（土）および6月25日（土）は授業日です。</p> <p>＜教室案内＞ http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf ※休講になった場合などは、4/30（土）、5/14（土）、6/18（土）、7/2（土）、7/16（土）、7/20（水）に補講を行うことがあります。</p>		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生：42,800円 ・聴講生：25,400円		
会場	衣笠キャンパス		
授業定員	40	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	<p>【平常点評価】100%</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レポート60% 担当者ごとに課題を設定し、受講生はそのいずれかを選択して提出する。授業の内容を踏まえ、論理的に記述しているかを評価する。 2. 授業への参加度40% 授業への参加度と受講態度を合わせて判断する。 		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。</p> <p>【諸手続】（単位互換生のみ） 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 ＜受講手続案内ホームページ＞ http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html</p>		
講義概要・到達目標			
<p>【授業の概要】 白川静博士の「白川学」は、日本や中国を含む東アジアの、古代から現代、未来をも見通す可能性を秘めたきわめて有用な学問体系である。この「白川学」の概要を把握することを通して、独創的な発想や批判的精神など、学問研究の基礎を学ぶとともに、本学出身である世界的な学者の学問と生涯について理解を深めていく。 今年度は、中国古代文学や日本文学との比較文学的内容（『万葉集』研究を主とする）に重点を置いた講義を行う。</p>			
【受講生の到達目標】			
<ol style="list-style-type: none"> (1) 「白川学」の概要について理解することができる。 (2) 「白川学」の独創性や意義について、報告することができる。 			

(3) 「白川学」の理解を通して、発想の転換や批判的精神など、学問研究の基礎を身につける。

【授業外学習の指示】

『入門講座 白川静の世界』全三巻（平凡社、2010年）を一読するとよい。白川静出演のテレビ番組や特集番組、講演会のビデオなどを見ると、さらに興味が深まる。

【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】

学生との直接対話/Talk with Students

その他 / Other

E-Mail（予定）

講義スケジュール

1 コーディネーターによるオリエンテーション 担当：萩原正樹
<キーワード>白川静の生涯と立命館大学

2 中国古代文学研究1 担当：谷口義介（ゲストスピーカー）
<キーワード>詩経学史

3 中国古代文学研究2 担当：谷口義介（ゲストスピーカー）
<キーワード>詩経研究1

4 中国古代文学研究3 担当：谷口義介（ゲストスピーカー）
<キーワード>詩経研究2

5 中国古代文学研究4 担当：谷口義介（ゲストスピーカー）
<キーワード>詩経研究3

6 中国古代文学研究5 担当：今場正美
<キーワード>楚辞研究1

7 中国古代文学研究6 担当：今場正美
<キーワード>楚辞研究2

8 中国古代文学研究7 担当：今場正美
<キーワード>楚辞研究3

9 中国古代文学研究8 担当：今場正美
<キーワード>漢代の文学

10 中国古代文学研究9 担当：今場正美
<キーワード>漢魏の文学

11 中国古代文学研究10 担当：今場正美
<キーワード>晋・宋の文学、古代文学研究のまとめ

12 日中比較文学研究1 担当：真下厚
<キーワード>前期万葉集1

13 日中比較文学研究2 担当：真下厚
<キーワード>前期万葉集2

14 日中比較文学研究3 担当：真下厚
<キーワード>後期万葉集1

15 日中比較文学研究4 担当：真下厚
<キーワード>後期万葉集2、日中比較文学研究のまとめ

教科書	レジュメを配布する。
参考書	以下の「書名」、「著者」、「出版社」、「備考」を参照 ・白川学の世界Ⅰ文字 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所編 平凡社 ・白川学の世界Ⅱ文字 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所編 平凡社 ・白川学の世界Ⅲ思想・歴史 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所編 平凡社 ・白川静を読むときの辞典 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所編 平凡社 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所叢書第五

参考書	【備考】 その他、講義中に適宜紹介する。 【参考になる WWW ページ】 中国文学専攻ホームページ：白川静の世界 http://www.ritsumei.ac.jp/acd/cg/lt/cl/shirakwa/index.htm
-----	--

D124 TOEIC II

科目等履修生/聴講生

英文科目名	TOEIC 2		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター修学担当 TEL075-325-5307 FAX075-325-5317		
担当教員	J. ドレイトン (James Drayton) (キャリア形成学部キャリア形成学科 准教授)		
開講日程	2016年09月20日(火)～2017年01月17日(火) 5講時 16時10分～17時40分(毎週火曜日) ※休講 2016/11/22(火) ※休講(冬季休暇) 2016/12/27(火) ※休講(冬季休暇) 2017/01/03(火)		
単位数	1	開講区分	後期・秋学期
受講料	科目等履修生(履修料10,000円、選考料 科目数を問わず10,000円) 聴講生5,000円(選考料免除)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	Assessment will be based on a midterm test and a final exam and the grade received on the student's study Notebook. Students will also be assessed on participation during class.		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	女子のみ受講可 ※受講者人数によって、本学開講科目基準により不開講になる場合があります。 【授業時間外学修(予習・復習等)について】 Students should spend roughly 15 minutes per day reviewing problems, grammar, and vocabulary. Each student MUST bring a B5 Campus Notebook to each class.		
講義概要・到達目標	【授業テーマ】 First Preparation for the TOEIC Exam 【授業の概要】 This is a second semester course in an introductory course to the TOEIC exam. It will begin from elementary-to-intermediate level problems. During the first half of the term, we will practice the reading problems of the TOEIC. During the second half, we will practice the listening problems. The instructor will provide the student with some "rules of thumb" for doing the listening tasks. However, the basic challenge to the student is to improve her own general understanding of English - only an improved understanding of English will improve one's TOEIC score. 【到達目標】 The aim of this class is twofold : (1) improve proficiency in English generally (2) improve TOEIC test-taking skills		

D127 アラビア語Ⅳ

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Arabic IV		
大学名	京都ノートルダム女子大学		
連絡先	京都ノートルダム女子大学 教務部教務課 TEL: 075-706-3745 FAX: 075-706-3790		
担当教員	鷲見 朗子 (人間文化学部人間文化学科教授)		
開講日程	2016年09月29日 (木) ~ 2017年01月26日 (木) 4講時 14時55分~16時25分 (毎週木曜日) ※休講 2016/11/03 (木・祝)、2016/12/29 (木)、 2017/01/05 (木)		
単位数	1	開講区分	後期・秋学期
受講料	科目等履修20,000円 (本学卒業生は10,000円) 聴講10,000円 (本学卒業生は5,000円)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	40	京カレッジ定員	3
試験・評価方法	授業参加20%、小テスト・宿題30%、試験50%。5 回以上の欠席者には単位を与えない。		
超過時の選考方法	書類審査		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>「アラビア語Ⅲ」の履修者およびそれと同等のアラビア語の学力を備えていると担当教員がみなした者を対象とする。</p> <p>受講生の理解の進み具合によって、授業内容の進度を調整する場合もある。</p> <p>また、回によっては、イマージョン・スペースや教室の内外で、ネイティブ・スピーカーを招くなどにより、コミュニケーション力やアラブ・イスラーム文化理解の向上をめざす授業を行うことがある。</p> <p><通学に関する注意事項> 本学への通学は公共交通機関をご利用ください。 50ccを超えるバイクおよび自家用車での通学は認められておりません。また、自転車および50cc以下のバイクでの通学は登録制となっております。</p>		
講義概要・到達目標	<p>1. 科目の教育目標</p> <p>本科目の目標は、「アラビア語Ⅰ」「アラビア語Ⅱ」「アラビア語Ⅲ」で学んだことを土台に、文法に関連付けた、よりレベルの高いコミュニケーション能力をつけ、応用力を高めることである。バランスのとれた4技能(読み・書き・聞く・話す)の育成にも力を入れる。また、スキット、会話表現を通じて、語彙力を拡充し、より正しい発音を習得することをめざす。内容としては、仮定の出来事表現、命令形を使った表現、受け身の表現、比較の表現などを学習する。アラビア語学習のなかでアラブ文化の理解もさらに深めていく。</p> <p>2. 教育・学習の個別課題</p> <p>①コミュニケーション力を伸ばす。 ②文法事項を正確に理解する。 ③語彙・表現力をつける。 ④正しい発音を身につける。 ⑤アラブ文化の理解を促進する。</p> <p>3. 教育・学習の方法</p> <p>①ペア・グループ学習 ②講義 ③演習</p> <p>4. 準備学習の具体的な方法</p> <p>①予習・復習 ②CD、DVDの視聴 ③小テストに備えて学習</p>		

講義スケジュール

第01回	イントロダクションと復習
第02回	「毎朝何時に起きますか」(日常行動の表現)
第03回	「毎朝何時に家を出ますか」(日常行動の表現)
第04回	「月曜日に彼女に会いました」(曜日・月)
第05回	「月曜日に彼女に会いました」(曜日・月)
第06回	「砂糖を1袋とりんごを3つください」(動詞命令形単数)
第07回	「砂糖を1袋とりんごを3つください」(動詞命令形複数)
第08回	「犬はテーブルの下にいます」(前置詞の復習)
第09回	「犬はテーブルの下にいます」(接尾人称代名詞の復習)
第10回	「今日は何度ですか」(基数と序数11~19)
第11回	「今日は何度ですか」(基数と序数20~100)
第12回	「親愛なるアフマドへ」(はがきの書き方)
第13回	「親愛なるアフマドへ」(手紙の書き方)
第14回	「大学ではアラブ文学を専攻しています」(教育についての表現)
第15回	まとめ
教科書	参考文献を組み合わせたものを授業で配布する。
参考書	『AlKitaab Part1 2nd ed.』AlBatal, Georgetown UP 『Mastering Arabic 1』2nd ed. Wightwick, Hippocrene Books 『初歩のアラビア語』鷲見朗子、放送大学教育振興会、2011 参考URL 大阪大学アラビア語コンテンツ http://el.minoh.osaka-u.ac.jp/flc/ara/

D128 外国語教育論Ⅱ

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Foreign Language Education II		
大学名	同志社女子大学		
連絡先	◆本学今出川キャンパス開講 教務課 TEL: 075-251-4127 FAX: 075-251-4277		
担当教員	若本 夏美 (表象文化学部教授)		
開講日程	2016年09月29日 (木) ~ 2017年01月19日 (木) 2講時 11時00分~12時30分 (毎週木曜日) ※開講 2016/11/03 (木・祝) ※休講 2016/12/29 (木)、2017/01/05 (木)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科44,000円 (登録料24,000円・受講料20,000円)、 聴8,000円		
会場	今出川キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	Assignments (40%)、授業中のディスカッション態度 (10%)、ファイナルテスト (50%)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			
講義概要・到達目標	<p>授業テーマ： 外国語教育 (教授・学習) のメカニズムについて理解を深めよう： 日本の英語教育は間違っている？</p> <p>授業目標： このコースでは、以下にあげる3点を目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 主要教授法の比較から外国語教育についての理解と関心を深める。 2. 第二言語習得理論 (SLA) 理論から外国語教授法を議論する。 3. 日本人が目指すべき英語コミュニケーション能力とは何か理解を 		

深める。
将来、教職に就きたいと考えている学生（英語・日本語教育）だけでなく、英語教育副専攻の日本語日本文学科の学生、外国語教育（英語・日本語教育）に一般的な興味・関心がある（例えば、自分自身の英語学習をさらに発展させたらよいか、将来子供を持ったときどのような外国語教育を自分の子供に受けさせるかなど）、または塾講師など何らかの形で外国語教育に関わる仕事に就きたいと考えている学生など、幅広い学生の受講を歓迎します。また、将来、オーストラリアなど国内外で日本語を教える（ATJ Program）といった、日本語教育に関心のある学生にとっても有益な情報が得られると思います。

講義スケジュール	
各回の授業内容： 1. イントロダクション (1) 2. イントロダクション (2) グループ・ワーク 3. Section 3. 「効果的な外国語の教え方とは？」 － 文法訳読法 (Grammar Translation Method) 4. コミュニティブアプローチ (Communicative Language Teaching) ・イマージョン教育 (Immersion) 5. 直接法アプローチ (Direct Method) 6. 小学校外国語活動から高校の英語の授業まで 7. Section 4. 「第二言語習得理論は何を教えてくれる？」 － インプット仮説 (Input Hypothesis) 8. 自然習得順序仮説 (Natural Order Hypothesis) ・情意フィルター仮説 (Affective Filter Hypothesis) 9. アウトプット仮説 (Output Hypothesis) 10. 相互作用仮説 (Interaction Hypothesis) 11. Section 5. 「コミュニケーション能力とは？」 － コミュニケーション能力 (Communicative Competence) 1 12. コミュニケーション能力 (Communicative Competence) 2 13. コミュニケーション能力 (Communicative Competence) 3 14. これから私達はどうか外国語を学び・教えればいいのか？ 15. まとめ	
授業方法： 授業計画のテーマに沿い、授業をすすめます。いくつかのパターンが想定されますが、講義に加えてグループを中心に、自ら考え・意見交流ができるようなActive Learningの形を目指します。いずれにせよ、このコースでは、予め読むテキストの範囲が指定され、その内容理解に基づき、自分なりの考えをまとめることが求められます。まなばやMoodleなどのインターネットLMSの利用も検討します。できる限り、ビデオなど視聴覚教材およびコンピュータを利用し、わかりやすい授業を心がけます。	
教科書	未定（但し、秋学期、外国語教育論Iと共通）、Handoutsを配布します。
参考書	授業中に提示します。

D130 会話分析入門B

科目等履修生

英文科目名	Introduction to conversation analysis B		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教育学部 電話 075-645-7891 FAX 075-643-5021		
担当教員	松村省一（国際学部グローバルスタディーズ学科教授）		
開講日程	2016年09月23日（金）～2017年01月20日（金） 3講時 13時15分～14時45分（毎週金曜日） ※休講 2016/11/04（金） 学内行事により終日休講となります。 2016/12/23（金・祝） 祝日のため終日休講となります。		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	20,000円		
会場	深草学舎		

授業定員	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	小テスト（80%：授業の内容理解度を確認するためのテスト）、および試験（20%）。詳細は第1回の授業で説明。	
超過時の選考方法		
別途負担費用		
その他特記事項	【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。 【定期試験について】 本講義の定期試験は、1月27日（金）15時00分～16時00分の時間帯に行われる予定です。ご注意ください。	
講義概要・到達目標		
講義概要：文の意味は、実際に用いられる状況の中から必要な含意が汲み取られてはじめて、生きた意味、全体としての文の意味となる。含意が相手に伝わらなければコミュニケーションは失敗に終わる。コミュニケーションが母語でなく外国語でなされるなら含意を汲み取ることはより一層難しい。本科目では、英語母語話者と日本語母語話者が英語で会話をする場面に焦点を当て、2者間におけるコミュニケーションの失敗例を取り上げ、失敗の原因を「中間言語の語用論」の観点から考察する。		
到達目標：「言語の使用場面と働き」に焦点をあてたコミュニケーション活動を英語でできるようになるために、日本語母語話者が英語で行う会話を分析し、実践力の基盤を形成する。		
講義方法：レクチャー方式。授業言語は日本語、資料は英語。		
講義スケジュール		
第01回：イントロダクションー「言外の意味」とは何か 第02回：英語母語話者の会話にみる「言外の意味」統語論からの推察 第03回：英語母語話者の会話にみる「言外の意味」意味論からの推察 第04回：英語母語話者の会話にみる「言外の意味」語用論からの推察 第05回：英語母語話者の会話にみる「言外の意味」音声学からの推察 第06回：「中間言語」使用における「コミュニケーション・ブレイクダウン」とは何か 第07回：日本語母語話者の中間言語（英語）使用における「言外の意味」解釈プロセス 第08回：日本語母語話者の中間言語（英語）使用における「言外の意味」誤解の要因 第09回：日本語母語話者の中間言語（英語）使用における「言外の意味」誤解の修復ストラテジー 第10回：日本語母語話者の中間言語（英語）使用における「言外の意味」意味交渉プロセス 第11回：「言外の意味」とKasperの会話分析理論 第12回：標準テストで測る英語運用能力と語用論的能力習得レベルの関係について 第13回：日本語母語話者の英語使用における「転移」について 第14回：日本語母語話者の英語使用における「アイデンティティ」について 第15回：まとめ		
教科書	特になし。	
参考書	Koester, J., & Lustig, M. W. (2010). Intercultural Competence: Interpersonal Communication across Cultures. MA: Allyn & Bacon. Leech, G. (2014). The Pragmatics of Politeness. Oxford: Oxford University Press. 井出祥子 (2006) 『わかまへの語用論』大修館書店	

E001 ブッダに学ぶ

聴講生

英文科目名	Learning from the Buddha		
大学名	大谷大学		
連絡先	教務課 TEL 075-411-8117 FAX 075-411-8150		
担当教員	三宅 伸一郎		
開講日程	2016年04月14日(木)～2016年08月04日(木) 6講時 18時10分～19時40分(毎週木曜日) ※休講:5/5(木)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	聴講料 15,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	20	京カレッジ定員	4
試験・評価方法	聴講生は受験資格なし		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>【質問・相談の方法】 授業終了後、直接担当者に質問・相談するか、オフィスアワー時間内に研究室に来てください</p> <p>【担当者からの連絡】 この授業は、JR京都駅前「キャンパスプラザ京都」において毎週木曜日18:10～19:40に開講します。</p>		

講義概要・到達目標

【授業テーマ】
チベットにおけるブッダの教え

【授業の内容】
ヒマラヤ山脈の麓に広がるチベット。そこではおもにインド大乘仏教と後期密教の伝統が継承され、仏教が人々に根付いている。一方で仏教と同じく輪廻からの脱出と成仏を目標としながら、チベット土着の宗教伝統を受け継ぐユンドゥン・ポンの教えもこの地には存在する。こうしたチベットの宗教の中で、ブッダはどのように描かれ、どのような教えを説いたとされるのかを俯瞰しながら、そこから我々が何を学ぶべきかを考える。

【学習到達目標と授業計画】
チベットの宗教においてブッダはどのように描かれ、どのような教えを説いたとされるのかを知るとともに、私たちの日常にあまり関係のないと思われるところから思う／想像することをめざす。

講義スケジュール

- 【学習内容／授業方法】
- チベットの地理的位置・・・チベットはどこにあるか？
 - チベット人の暮らし・・・衣食住(1)
 - チベット人の暮らし・・・衣食住(2)
 - チベット人の暮らし・・・衣食住(3)
 - チベットの言語事情
 - チベットの歴史(1)
 - チベットの歴史(2)
 - チベットにおいてブッダはどのように描かれ、どのような教えを説いたとされるか(1)
 - チベットにおいてブッダはどのように描かれ、どのような教えを説いたとされるか(2)
 - チベットにおいてブッダはどのように描かれ、どのような教えを説いたとされるか(3)
 - チベットにおいてブッダはどのように描かれ、どのような教えを説いたとされるか(4)
 - チベットにおいてブッダはどのように描かれ、どのような教えを説いたとされるか(5)
 - チベットにおいてブッダはどのように描かれ、どのような教えを説いたとされるか(6)
 - チベットにおいてブッダはどのように描かれ、

どのような教えを説いたとされるか(7)
15.まとめ

【準備学習(予習・復習)・時間】
次の授業までに、ノートや配布資料を見て、今回の講義内容を確認しておくこと。予習方法については、その都度指示する。

教科書	特になし。
参考書	授業中に適宜指示する。

E002 真言密教入門A—真言密教の教義と歴史—

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Introduction to the Esoteric Buddhism in the Shingon Sect A		
大学名	種智院大学		
連絡先	種智院大学教務課 TEL 075-604-5600 FAX 075-604-5610		
担当教員	北尾 隆心(人文学部仏教学科教授)		
開講日程	2016年04月09日(土)～2016年07月23日(土) 4講時 14時30分～16時00分(毎週土曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	京カレッジ生:聴講料20,000円 履修料24,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	20	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	平常点:50%レポート:50%		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	東寺拝観料、智積院拝観料 等		
その他特記事項	特になし		

講義概要・到達目標

テーマ:真言密教の教えと共に真言密教の見方、考え方を身に着けよう

今日、テレビや雑誌等でも「マンダラ」、「マントラ」等の用語や梵字や両手で印を結んだ姿等をよく見かけますがこれらはすべて真言密教から発しているものであります。平安時代に弘法大師空海(774～835)は、中国に渡って当時の最先端であった密教を持ち帰り、その密教を日本的により発展させて真言密教を完成されました。本講義では空海が完成された真言密教とはどのような教えであるのか、ということを中心に分かり易く説き示します。また、真言密教に基づく教えがどのように現代に生かされているか、ということを実際に寺院を訪ねて見ていくことにより、真言密教を理解していただくことを目標とします。

【学習到達目標と授業計画】
チベットの宗教においてブッダはどのように描かれ、どのような教えを説いたとされるのかを知るとともに、私たちの日常にあまり関係のないと思われるところから思う／想像することをめざす。

講義スケジュール

- 真言密教とは何か
- 仏教と真言密教
- 「真言」の意義
- 曼荼羅の見方・考え方
- 「密教」の意義
- 我々の本質とは何か(六大思想)
- 我々の活動と仏の活動(三密思想)
- 真言密教の目指すところ
- 真言密教の歴史1
- 真言密教の歴史2
- 金剛界と胎藏界との二つの密教(両部思想)
- 我々が仏に成れる理由(即身成仏思想)
- 真言密教の思考方法
- 東寺見学会
- 智積院見学会

教科書	授業中適宜プリントを配付、並びに指示を行います。
参考書	

E003 坐禅入門 I

科目等履修生

英文科目名	Introduction to Zen Meditation I		
大学名	花園大学		
連絡先	教務課 TEL: 075-811-5181 FAX: 075-823-2413		
担当教員	宝積玄承 (本学文学部客員教授)		
開講日程	2016年04月08日(金)～2016年07月22日(金) 6講時 18時10分～19時40分		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	20,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	80	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	出席を重視する		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	テキスト代		
その他特記事項	椅子による坐禅を行う		
講義概要・到達目標	禅の思想と体験。 自己の究明、一回きりの人生をどう生きるか。		
講義スケジュール	1～15回 坐禅等 現代人は何もかも知っている。でも知らないものが一つある。それは自分自身の事である。その自分を究明していくことが禅である。キャンパスプラザの静かな教室で椅子による坐禅は、この授業を受ける学生にしか味わうことができない。ここでは人間とは何かを問い、自分を見つめ、自己点検から、更にいのちの充電に発展していけばと願い、そんな授業を試みている。自己とは何か(己事究明)、人間とは何か(霊性の自覚)、身体を調える(調身)、呼吸を整える(調息)、精神を調える(調心)。		
教科書	「目で見える坐禅入門」東方出版		
参考書	特になし		

E005 キャリア形成特殊講義「ユースサービス概論～わかものを元気にする仕事～」／SG

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Special Lectures in Career Design		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】 TEL: 075-466-3350		
担当教員	水野 篤夫		
開講日程	2016年9月6日(火)～2016年9月10日(土) 3～5時限: 12:40～17:50		

開講日程	<教室案内> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生: 42,800円 ・聴講生: 25,400円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	70	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	【平常点評価】100% 最終日に行う企画提案内容及び、授業における積極的な参加を見る。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、 立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。 【諸手続】(単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html		
講義概要・到達目標	【授業の概要】 “若者はどうやって「大人」になれるのか”、見えにくい時代になっています。その中で、若者が生きやすい社会づくりを目指す、学校外での教育・支援の取組(ユースサービス・ユースワーク)が重要さを増しています。この授業では、そうした若者と関わる現場で働く多様なスタッフを招いてお話を聞き、現場を訪問しながら、若者の成長支援の“新しい仕事”のあり方を学ぶとともに、そのための基盤となる「若者学」について受講の皆さんとともに考えていきます。 ----- 9月8日(木)と9月9日(金)は、キャンパスプラザ京都ではなく、終日ユースワークの現地授業を予定しています。2日間とも、現地集合・現地解散とします。詳しい場所などは授業時に指示します。 【到達目標】 ○学校外の若者の学びや成長支援の多様な課題とあり方を理解する。 ○若者の成長支援に携わる専門スタッフの仕事について知る。 ○若者を巡る問題を包括的に考える「若者学」について考える。 【受講および研究に関するアドバイス】 ○実践現場で働くスタッフやスペシャリストをゲストに招いてお話を聞く。 ※シラバスのテーマ順をゲストの都合により組み替える場合あり。 ○現場訪問を組み込み、実際の事業現場を見てもらう機会をつくる。 ○グループでのディスカッションや共同作業を取り入れて進めるので積極的な参加を求める。		
講義スケジュール	1 ユースサービス(ユースワーク)とは何か?(水野 篤夫) 2～3 子どもや若者に関わる社会的課題を考える(水野他) 4 子どもや若者の貧困とNPO活動(幸重 忠孝:幸重社会福祉士事務所) 現地授業の予定 5 若者とセクシャルヘルス=性や身体健康(齊藤真緒:立命館大学/YS協会ユースワーカー) 現地授業の予定 6 若者と非行(谷口 肇:法務省法務教官)※予定 現地授業の予定		

7 若者と雇用＝職業的自立支援の活動（若者サポートステーションの取組から） 現地授業の予定
8 ユースワークの実際＝青少年活動センターの事業から1（YS協会ユースワーカー） 現地授業の予定
9 ユースワークの実際＝青少年活動センターの事業から2（YS協会ユースワーカー） 現地授業の予定
10 若者とメンタルヘルス（知名 純子：まるいクリニック医務部長／PSW）※予定
11 若者とシチズンシップ（川中 大輔：シチズンシップ共育企画）
12 企画を考える（グループ分け・準備）＝現代における若者を巡る社会課題とは？
13～14 若者の成長支援のための新しいサービスを考える（企画会議）
15 企画発表＝若者の成長支援のための新しいサービス
教科書
参考書 （書名）若者の居場所と参加 （著者）田中治彦 （出版社）東洋館出版 【参考になる WWW ページ】 京都市ユースサービス協会ウェブサイト URL http://www.ys-kyoto.org

E007 特殊講義「現代人に求められるコミュニケーションスキル」／ZC

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Special Lectures		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】 TEL：075-466-3350		
担当教員	林 徳治		
開講日程	2016年8月5日（金）～7日（日）、8月9日（火） 3～6時限：12：40～19：40 ※ただし8月9日（火）のみ、3～5時限：12：40～17：50 <教室案内> http://www.ritsumeimei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生：42,800円 ・聴講生：25,400円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	【レポート試験】50% 実施したそれぞれのコミュニケーション演習の目的、演習内容、結果、気づきと改善点の項目について小レポート、最終レポートを総合的に評価する。 【平常点評価】50% 出席による参画態度、意見等の発信・交換（SNS、メール含む）、プレゼンの相互評価を総合的に評価する。		

超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	なし
その他特記事項	※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、 立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。 【諸手続】（単位互換生のみ） 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumeimei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html
講義概要・到達目標	
【授業の概要と方法】 スマホや電子タブレットなど携帯情報端末が浸透したICT（情報通信技術）社会において、コミュニケーション活動でのトラブルが社会問題になっている。本授業では、私たち人間の相互理解のための現代のコミュニケーション活動（言語、非言語、メディア活用）を見直し、ものごとを論理的に考える力、相手を受容・洞察する力、モラルや自己責任、正しく表現・伝達するプレゼン力などの演習をアクティブラーニングにより実施する。成果発表として個人またはグループ毎の中間・最終プレゼンを実施し相互評価する。	
【受講生の到達目標】 1. コミュニケーション能力を構成する要素について説明できる 2. コミュニケーション能力の各演習を計画－実施－評価－改善（Plan-Do-Check-Action；PDCA）できる 3. グループワークにおいて主体的に参画し、独創的に取り組むことができる 4. 「わかる」「楽しい」「ためになる」プレゼンの計画－実施－評価－改善ができる 5. ICT社会でのコミュニケーション活動の特徴（利点、欠点）を説明でき、日常生活に生かすことができる	
【事前に履修しておくことが望まれる科目】 以下のコミュニケーションのためのデジタルWEB教材（VOD）を視聴しておくことと授業導入に役立つ。 http://www.hayashi-tokuji.com/td-ict/index.html	
【授業外学習の指示】 ・facebookなどSNSを利用した発信、情報共有のコミュニケーション活動を授業外学習で行うので主体的な学習姿勢で臨むこと	
【受講および研究に関するアドバイス】 ・テキストは、当日用意するので代金を用意すること ・SNSを活用し、受講生間での情報の共有を積極的に行うこと ・プレゼンやSNSを通し、責任ある発信力を習得できるようにすること ・IT企業等が開催するイベントに参加して、実際のプレゼンや接客の言動や態度（コミュニケーション能力）を体得すること ・グループ演習のため、他のメンバーに迷惑をかける遅刻や無断欠席はしないこと	
【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】コミュニケーションペーパー／Communication Paper 学生との直接対話／Talk with Students その他／Other ・eメールによる個人間でのコミュニケーション ・SNSによる受講者と教員間でのコミュニケーション	
【その他】 昨年度は、関東の学生（早稲田）や関西の複数大学からの受講がありました。グループワーク中心で行いますから、主体的な態度で学習に臨んでください。	

講義スケジュール	
1～3 ガイダンス グループ作り、メンバー紹介、学習内容の確認、役割分担の決定 各グループでの演習課題の選択 コミュニケーション能力の向上に役立つ要素についての講義	
4～8 グループ毎で選択したコミュニケーション演習のアクティブラーニング（計画－実施－評価－改善） グループ討議、学びの整理、小レポート作成	
9 中間プレゼンによる相互評価 評価シート結果の集計、グループ討議、小レポートの作成	
10～14 グループ毎で選択したコミュニケーション演習のアクティブラーニング（計画－実施－評価－改善） 評価シート結果の集計、グループ討議、学びの整理、小レポート作成	
15 最終プレゼンによる相互評価 これからの社会で求められるコミュニケーション能力についての討議 教員からのコメント、助言 まとめ	
教科書	（書名） 教学改善のすすめ （著者） 林徳治 他 （出版社） ぎょうせい （備考） 2016年3月発行 （書名） 相互理解を深めるコミュニケーション実践学 （著者） 沖裕貴 他 （出版社） ぎょうせい （ISBNコード） 978-4-324-09005-3 C3037
参考書	

<p>たち人間の課題について考える。</p> <p>【学習到達目標と授業計画】 親鸞は、その生涯を通して「人間の真実の生き方」をたえず問い続けていった人である。親鸞の言葉をてがかりに、その人間観を学び、現代を生きる私たち自身の生き方を問い尋ねる姿勢を培う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 親鸞の生涯とその基本的な思想を理解し説明することができる。 2. 人間の課題を学び、それを自らの課題として主体的に考察する力を培う。 	
講義スケジュール	
<p>【学習内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 親鸞に学ぶことの意義 2. 親鸞の生涯 誕生・出家（1） 3. 親鸞の生涯 誕生・出家（2） 4. 親鸞の生涯 比叡山時代（1） 5. 親鸞の生涯 比叡山時代（2） 6. 親鸞の生涯 比叡山時代（3） 7. 親鸞の生涯 六角堂参籠 8. 親鸞の生涯 法然との出遇い（1） 9. 親鸞の生涯 法然との出遇い（2） 10. 親鸞の生涯 吉水時代 11. 親鸞の生涯 法難 12. 親鸞の生涯 越後・関東時代 13. 親鸞の生涯 帰洛・入滅 14. 親鸞の人間観 『歎異抄』に学ぶ（1） 15. 親鸞の人間観 『歎異抄』に学ぶ（2） <p>【授業方法】 全回、講義形式で行う。 随時、小レポートなどで授業の感想を求める。</p> <p>【準備学習（予習・復習）・時間】 授業後、復習し、分からなかった語句や事柄は辞書などで調べ、内容の理解に努め、次回の授業に備えること。 また、人間や社会の問題・課題に関心を持つこと。</p>	
教科書	【書名／出版社名】 『歎異抄』／東本願寺出版部 適宜プリントを配布する。
参考書	授業時に随時紹介する。

E008 親鸞に学ぶ

聴講生

英文科目名	Learning from Shinran		
大学名	大谷大学		
連絡先	教務課 TEL 075-411-8117 FAX 075-411-8150		
担当教員	山田 恵文		
開講日程	2016年09月27日（火）～2017年01月24日（火） 6講時 18時10分～19時40分（毎週火曜日） ※休講：12/27（火）、1/3（火）		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	聴講料15,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	20	京カレッジ定員	4
試験・評価方法	聴講生は受験資格なし		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	この授業は、JR京都駅前「キャンパスプラザ京都」において毎週火曜日18:10～19:40に開講します。		
講義概要・到達目標			
【授業テーマ】 親鸞に学ぶ ―親鸞の人間観―			
【授業内容】 親鸞の生涯とその基本的な思想を学ぶことを通して、現代を生きる私			

E009 コミュニケーション論

聴講生

英文科目名	Communication Skill		
大学名	京都文教短期大学		
連絡先	教務課 TEL0774-25-2411 FAX0774-25-2455		
担当教員	森川知史（ライフデザイン学科 教授）		
開講日程	2016年09月27日（火）～2017年01月17日（火） 5講時16:20～17:50（毎週火曜日）		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	20,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	30	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	筆記試験と授業時のコメントカード／小テスト		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			

講義概要・到達目標	
<p>「コミュニケーションとは何か」を考える。 周囲を肯定的に受けとめ、人を信頼できるなら、もっと素敵な日々が過ごせるはず。 もの・こと・ひとを受けいれるコミュニケーション、「人とどう向きあうか」について、いっしょに考えていきたい。</p> <p>言語学・社会学・記号論・意味論・言語哲学等々の知識と理解を踏まえ、自明のこととして疑われないことの中にある興味深い問題に気付きたい。</p>	
講義スケジュール	
第01回 本講義の概要 第02回 人とどう向きあうかを考えよう 第03回 コミュニケーションはどんな行為か 第04回 ことばを獲得するということ 第05回 「社会性を獲得する」ということ 第06回 「もの・こと」との関わり方 第07回 「いま・ここ」ということ 第08回 現代のコミュニケーション 第09回 人と向き合うと自分が見えてくる 第10回 人と向き合うカンドコロ 第11回 自分と向き合う 第12回 困った自分と向き合う 第13回 支え合うということ 第14回 人間関係をどう育てるか 第15回 まとめ	
教科書	『今考えたい 人と向きあう力』森川知史著/京都書房 ことのは新書
参考書	プリントを適宜用意する。

E010 真言密教入門B—密教瞑想の思想と実践—

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Introduction to the Esoteric Buddhism in the Shingon Sect B		
大学名	種智院大学		
連絡先	種智院大学教務課 TEL 075-604-5600 FAX 075-604-5610		
担当教員	北尾 隆心 (人文学部仏教学科教授)		
開講日程	2016年09月24日(土)～2017年01月07日(土) 4講時 14時30分～16時00分(毎週土曜日)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	京カレッジ生：聴講料20,000円 履修料24,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	20	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	平常点：50%レポート：50%		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	特に無し		
講義概要・到達目標			
<p>テーマ：真言密教の修行方法、密教瞑想(阿字観)を実際に体感しよう</p> <p>真言密教は思想だけではどうにもならないのであり、それに基づいた実践行法を実際に行うことによってこそ真言密教独自の思想が明確に理解できるように構築されている。 古くは思想を「教相(きょうそう)」と云い、実践行法を「事相(じそう)」と呼び、教相と事相とは車の両輪、鳥の両翼と喩えてどちらも必</p>			

要であることを説き示した。
 本講義では、真言密教の実践行法、事相の中核である密教瞑想の思想を解き明かすと共に、誰でもが行うことが可能なように創意工夫された最もシンプルな密教瞑想として構築された「阿字観」を体感することにより、真言密教そのもの、仏の宇宙を味わっていただくことを目標とします。
 また、八百五十有余年の歳月を経て復興した胎蔵界の阿字観についても紹介する。

講義スケジュール	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 真言密教の基礎知識1 2. 真言密教の基礎知識2 3. 釈迦の生涯から見えてくるもの 4. 釈迦の生涯と密教瞑想 5. 密教瞑想の意義と密教の呼吸法 6. 密教瞑想の実習 7. 阿字観について 8. 阿字観の系譜と本尊について 9. 金剛界阿字観の解説 10. 金剛界阿字観の実習1 11. 阿字観本尊の立体化 12. 金剛界阿字観の実習2 13. 広観・斂観について 14. 金剛界阿字観の実習3 15. 金剛界阿字観の実習4と胎蔵界阿字観の紹介 	
教科書	北尾隆心著「密教瞑想入門—阿字観の原典を読む」(大法輪閣) 適宜、プリントを配付する。
参考書	適宜紹介する

E011 坐禅入門Ⅱ

科目等履修生

英文科目名	Introduction to Zen Meditation II		
大学名	花園大学		
連絡先	教務課 TEL：075-811-5181 FAX：075-823-2413		
担当教員	宝積玄承(本学文学部客員教授)		
開講日程	2016年09月23日(金)～2017年01月13日(金) 6講時 18時10分～19時40分		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	20,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	80	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	出席を重視する		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	テキスト代		
その他特記事項	椅子による坐禅を行う		
講義概要・到達目標			
<p>禅の思想と体験。 自己の究明、一回きりの人生をどう生きるか。</p>			
講義スケジュール			
1～15回 坐禅等			
<p>現代人は何もかも知っている。でも知らないものが一つある。それは自分自身の事である。その自分を究明していくことが禅である。キャンパスプラザの静かな教室で椅子による坐禅は、この授業を受ける学生にしか味わうことができない。ここでは人間とは何かを問い、自分を見つめ、自己点検から、更にいのちの充電に発展していけばと願い、</p>			

そんな授業を試みている。
 禪の身体、禪の思想、禪の文化、禪の生活、禪の国際化。

教科書	「目で見える坐禅入門」東方出版
参考書	特になし

E012 自己表現

科目等履修生

英文科目名	Self-Expression		
大学名	佛教大学		
連絡先	学生支援部教務課 TEL 075-491-2141 (代)		
担当教員	山口 進 (非常勤講師)		
開講日程	2016年9月23日 (金)～2017年1月13日 (金) 毎週金曜日4講時 (14:30～16:00) ※講義休止期間がありますので、「募集ガイド」の「プラザ科目の学年暦」を参照してください。		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	20,000円 (京カレッジ生のみ必要)		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	50	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	定期試験 (課題) にて評価する。課題や提出期限は講義中に発表する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	講義中に紹介する参考文献を多く読み、理解を深めること。		
講義概要・到達目標	<p>「コミュニケーション効果」 コミュニケーション効果を研究した実験や論文を取りあげ、より良い自己表現の方法を追求する。 「影響力」をコンセプトとする社会心理学的アプローチによって、人間関係論にまでたどりつくことを目指してゆく。 常に興味深い題材を用意し、魅力ある講義を展開したい。</p>		
講義スケジュール	第1回 自己をみつめる 第2回 効果的な表現方法 第3回 効果的なメッセージ1 第4回 効果的なメッセージ2 第5回 効果的なメッセージ3 第6回 効果的なメッセージ4 第7回 効果的なメッセージ5 第8回 効果的な送り手1 第9回 効果的な送り手2 第10回 効果的な送り手3 第11回 効果的な送り手4 第12回 効果的なチャンネル1 第13回 効果的なチャンネル2 第14回 効果的なチャンネル3 第15回 効果的な受け手		
教科書	特になし		
参考書	講義中に紹介する。		

E013 法然の生涯と思想 ～万民平等の救い～

科目等履修生

英文科目名	The Life and the Thought of Honen		
大学名	佛教大学		
連絡先	学生支援部教務課 TEL 075-491-2141 (代)		
担当教員	本庄 良文 (教授)		
開講日程	2016年9月27日 (火)～2017年1月17日 (火) 毎週火曜日1講時 (9:00～10:30) ※講義休止期間がありますので、「募集ガイド」の「プラザ科目の学年暦」を参照してください。		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	20,000円 (京カレッジ生のみ必要)		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	50	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	成績評価の基準 定期試験 (教室) 90% 授業内試験 10%		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			
講義概要・到達目標	<p>■授業の概要 法然 (1133-1212) は、浄土宗・浄土真宗の開祖としても、いわゆる「鎌倉新仏教」のトップランナーとしても、また、鎮護国家をほとんど論じない仏教思想家としても、日本思想史の分水嶺を形成しているといわれる。けれどもその重要性に見合った評価がなされているとは言えない。 この授業では、印度仏教、中国仏教、日本仏教、特に浄土教を概説した上で、法然の思想の特色を、その生涯とともに把握する。適宜、著作や法語、和歌にも触れたい。</p> <p>■授業の目的・ねらい (1) 宗教の定義と社会的存在意義を考える (2) 仏教思想の特色を考察する (3) 「宗派を立てる」プロジェクトの規模を追体験する (4) 法然独自の万民救済思想の構造を知る (5) 浄土教の平和思想に触れる</p> <p>■到達目標 法然の生涯と思想の概略を友人に語るこののできる。</p> <p>■準備学習・留意事項・課題についての具体的な指示 (1) シラバスの通りにテキストをよく読むこと (2) 授業のあと短時間でよいので復習すること (3) 問題意識をもって関連資料にあたること (4) 板書は書き逃さないこと</p>		
講義スケジュール	第1回 宗教とは何か・釈尊の生涯と思想 (紀元前500) 第2回 部派仏教と大乘仏教 第3回 中国仏教と日本仏教 第4回 法然に至る浄土教の歴史 (印度・中国・日本) 第5回 末法思想と恵心僧都源信『往生要集』 第6回 法然出現の背景 (貴族政治から武家政治へ) 第7回 誕生・父との死別 第8回 出家と求道 第9回 善導浄土教との出会いと浄土宗開宗 第10回 浄土宗の広まり 第11回 『選択本願念仏集』 (日本史上初の発禁本) 第12回 専修念仏思想と社会との軋轢 第13回 建永の法難と四国への流罪 第14回 晩年と入滅・弟子源智の報恩行 第15回 まとめ (付:和歌に見る人柄)		

教科書	『法然と極楽浄土』林田康順（監修）（青春出版社） 1,133円＋税 ※適宜プリントを配布する。
参考書	適宜授業中に指示する。

E014 特殊講義「学習者を中心にした学び：教授学習心理学の視点から」／ZI

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Special Lectures
大学名	立命館大学
連絡先	【教務課】 TEL：075-466-3350
担当教員	川那部 隆司
開講日程	2016年9月27日（火）～2017年1月17日（火）＜毎週火曜日＞ 2時限：10：50～12：20 ＜教室案内＞ http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf ※休講になった場合などは、1/20（金）、1/21（土）、1/22（日）に補講を行うことがあります。
単位数	2 開講区分 後期・秋学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生：42,800円 ・聴講生：25,400円
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	20 京カレッジ定員 5
試験・評価方法	【平常点評価】100% 到達目標「1.」、「3.」について、授業内容に関する小レポート課題を毎回の授業で課す。評価は記述内容に応じて3点満点で行う（3点×15回＝45点）。また、毎回の授業における討論や受講生による発表に対する参加の程度を2点満点で評価する（2点×15回＝30点）。 到達目標「2.」、「4.」について、1500字程度のレポート課題を課す。内容は、学生支援の望ましいあり方について、授業内容を踏まえた自分なりの考えを論じるものとする。第9回でテーマの提示を行い、第13回授業に持参することとする。評価は記述内容に応じて25点満点で行う。
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	なし
その他特記事項	※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。 【諸手続】（単位互換生のみ） 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 ＜受講手続案内ホームページ＞ http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html
講義概要・到達目標	【授業の概要と方法】 近年の日本では進学率の増加や入試方式の多様化により、学生の多様化が進んでいる。同じ大学の同じ学部に進学した学生であっても、学

力の違いはもとより、興味や関心の違い、日常生活あるいは学習に対する態度の違い、将来の目標の違いなどが見られる。当然ながら、こうした学生の多様化は、教育的ニーズの多様化につながる。そして近年の大学は多様なニーズに応じた学生支援を提供することが求められている。本授業では、こうした日本の大学教育の現状について受講生自身の経験と照らして理解を深め、どのようなニーズがあり、それぞれに対してどのような支援をどのように提供することが望ましいのかを、討論や受講生の発表を通じて考えていく。特に支援方法については、コミュニケーションの取り方に関する実践的な演習を行い、その技法の習得も目指す。

【受講生の到達目標】

1. 近年の日本の大学教育が抱える課題について、その背景にある社会情勢を踏まえ、原因や検討すべき事柄を指摘できる（知識・理解）
2. 学生の多様な教育的ニーズに対する望ましい支援のあり方について、大学教育の現状や心理学的な視点に基づき、自分の考えを述べることができる（思考・判断）
3. 学生支援において支援者に求められるコミュニケーションの技法を身につけ、実践で活用できる（技能・表現）
4. 多様な教育的ニーズに目を向け、受け入れつつ、自らが可能な範囲で支援者となろうとする態度をもつ（関心・意欲・態度）

【授業外学習の指示】

授業では、大学教育や学生支援に関する基礎的な研究成果や実践事例を紹介する。受講生には、授業内容の予習・復習を行ったり、提示された文献の読みこみだけでなく、自身の大学生活を客観的に振り返り、授業内容と関連付けることを求める。また、授業で学んだコミュニケーションの技法を実際の大学生活において、積極的に活用することを求める。

【受講および研究に関するアドバイス】

本授業では、毎回の授業で討論や受講生による発表の機会を設ける。積極的に参加し、他者の意見を聞き、自らの意見を述べてほしい。また、本授業では学生支援の中でも、特に学生同士の教えあい、学びあいといったピア・サポートに関わる話題を多く取り上げる。そのため、ピア・サポート活動に従事していた、あるいは従事している受講生がいる場合、学生支援の最前線の話として実情を報告してもらってもある。

【参考になるwwwページ】

授業内で適宜紹介する。

【備考】

遅刻や私語、その授業の妨げとなる行為はやめてください。授業に対する要望があれば、コミュニケーションペーパーに書くか、担当教員に直接言ってください。可能な範囲で対応します。また、何らかの障がいを持っている学生は、担当教員に連絡してください。学習を支援できるようなクラス環境や授業方法について検討します。

講義スケジュール

- 1 大学教育をめぐる情勢（1）
＜キーワード＞本授業の概要・到達目標・成績評価・授業の進め方、少子化、大学進学率の向上、入試方式の多様化、グローバル化
- 2 大学教育をめぐる情勢（2）
＜キーワード＞学力の多様化、学力低下問題、学習動機づけ
- 3 大学教育をめぐる情勢（3）
＜キーワード＞正課と課外、キャリア発達、キャリア教育
- 4 大学教育をめぐる情勢（4）
＜キーワード＞高大接続、初年次教育
- 5 大学教育をめぐる情勢（5）
＜キーワード＞学習者中心の教育、アクティブラーニング、教育の情報化
- 6 学生支援の実情（1）
＜キーワード＞ピア・サポート、学生同士の学びあい
- 7 学生支援の実情（2）
＜キーワード＞学習支援、リメディアル教育
- 8 学生支援の実情（3）
＜キーワード＞課外活動における支援

9 学生支援の実情 (4) <キーワード>進路・就職に関する支援	
10 学生支援の実情 (5) <キーワード>特別なニーズをもつ学生への支援	
11 支援者に求められるコミュニケーションの技法 (1) <キーワード>相手の立場に立つ、受容的な態度で聞く	
12 支援者に求められるコミュニケーションの技法 (2) <キーワード>相手の意欲を高める、ほめる	
13 支援者に求められるコミュニケーションの技法 (3) <キーワード>説得的に伝える、わかりやすく教える	
14 学生支援の望ましいあり方について考える (1) <キーワード>これまでの授業内容を踏まえた討論	
15 学生支援の望ましいあり方について考える (2) <キーワード>これまでの授業内容を踏まえた討論、授業全体のまとめと振り返り	
教科書	使用しない。必要な資料は授業内で配布し、manaba+Rにアップロードする。
参考書	授業内で適宜紹介する。

【授業の到達目標】 日本語指導の必要な児童・生徒を学校において支援するために必要な基礎的な知識を身につけること	
【授業の形式】 講義、グループ討論など	
講義スケジュール	
【授業計画】 第1回 日本語を学ぶ子どもたち 第2回 学校における外国人児童生徒の受け入れ 第3回 文化間移動と異文化適応 第4回 バイリンガルの子どもの言語習得 (1) 第5回 バイリンガルの子どもの言語習得 (2) 第6回 こどものことばの力の評価 (1) 第7回 こどものことばの力の評価 (2) 第8回 外国語としての日本語の特徴 (1) 音声 第9回 外国語としての日本語の特徴 (2) 文字・語彙 第10回 外国語としての日本語の特徴 (3) 文法 1 第11回 外国語としての日本語の特徴 (4) 文法 2 第12回 外国語としての日本語の特徴 (5) 文法 3 第13回 外国語としての日本語の特徴 (6) 社会言語学的側面 第14回 日本語指導のプログラム (1) 第15回 日本語指導のプログラム (2)	
教科書	
参考書	齋藤ひろみ他『外国人児童生徒のための支援ガイドブック~子どもたちのライフコースによりそって~』凡人社ISBN: 9784893587992 2,100円 川上郁雄(編著)『私も「移動する子ども」だった』くろしお出版 ISBN: 9784874244746 1,512円 齋藤ひろみ・佐藤郡衛『文化間移動をする子どもたちの学び—教育コミュニティの創造に向けて—』ひつじ書房ISBN: 9784894763432 2,800円 田中薫『学習力を育てる日本語指導』くろしお出版 ISBN: 978-4874246467 2,052円 中島和子『マルチリンガル教育への招待—言語資源としての外国人・日本人年少者』ひつじ書房ISBN: 9784894764460 3,360円 ジム・カミンス, 中島和子『言語マイノリティを支える教育』慶応義塾大学出版会 ISBN: 9784766418569 2,940円 バトラー後藤裕子『学習言語とは何か—教科学習に必要な言語能力』三省堂 ISBN: 9784385365114 3,045円

E 教育・人生観を学ぶ

E106 児童・生徒のための日本語教育論A

聴講生

英文科目名	Teaching Japanese for Children A		
大学名	京都教育大学		
連絡先	教務・入試課教務グループ TEL: 075-644-8548		
担当教員	浜田 麻里 (国文学科)		
開講日程	2016年04月18日 (月) ~ 2016年08月08日 (月) 3講時 12時50分~14時20分 ※定期試験週を含む		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	10,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	5
試験・評価方法	小テスト 50% 期末テスト 50%		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	【自学自習についての情報】 参考書欄に挙げられた書籍の他、授業中に参考文献を紹介するので、講義の前に指示された箇所を一読しておいてください。 【注意】 京カレッジ生への単位認定は行いません。車での来学はご遠慮いただいております。教室は授業初回日に本学掲示板にて確認してください。		
講義概要・到達目標			
【授業の概要】	日本の学校には日本語指導を必要とする児童・生徒が現在2万人以上いると言われます。日本語指導は「特別の教育課程」として正規の課程に位置づけられています。学校に1人など少数点在のケースでも、それぞれの教員が日本語指導の適切な知識と技能を身に付けていれば十分に対応が可能です。この授業では、日本語指導の必要な児童・生徒の指導に必要な基本的な知識を身に付けることを目指します。		

教科書	
参考書	齋藤ひろみ他『外国人児童生徒のための支援ガイドブック~子どもたちのライフコースによりそって~』凡人社ISBN: 9784893587992 2,100円 川上郁雄(編著)『私も「移動する子ども」だった』くろしお出版 ISBN: 9784874244746 1,512円 齋藤ひろみ・佐藤郡衛『文化間移動をする子どもたちの学び—教育コミュニティの創造に向けて—』ひつじ書房ISBN: 9784894763432 2,800円 田中薫『学習力を育てる日本語指導』くろしお出版 ISBN: 978-4874246467 2,052円 中島和子『マルチリンガル教育への招待—言語資源としての外国人・日本人年少者』ひつじ書房ISBN: 9784894764460 3,360円 ジム・カミンス, 中島和子『言語マイノリティを支える教育』慶応義塾大学出版会 ISBN: 9784766418569 2,940円 バトラー後藤裕子『学習言語とは何か—教科学習に必要な言語能力』三省堂 ISBN: 9784385365114 3,045円

E108 社会心理学

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Social Psychology		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター修学担当 TEL075-325-5307 FAX075-325-5317		
担当教員	川西 千弘 (健康科学部心理学科教授)		
開講日程	2016年04月06日 (水) ~ 2016年07月20日 (水) 2講時 10時30分~12時00分 (毎週水曜日) ※休講 2016/05/04 (水・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科目等履修生 (履修料20,000円、選考料 科目数を問わず10,000円) 聴講生10,000円 (選考料免除)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	受講態度: 出席や日々の授業への取組状況等を総合的に評価する。出席・遅刻等のルール(基準)については、出欠管理リーダーの基準を準用する。学生証を忘れた場合は必ず申告すること。		

試験・評価方法	<p>授業中の課題： 講義期間中に2〜3回課題の提出を求める。課題内容については授業中に詳細な説明をする。</p> <p>平常試験： 全授業内容に関して、択一式、穴埋め式及び論述式を含んだテストを行う。ノート・参考書など一切の持ち込みを不可とする。日時は基本的には15回目（最終）の授業時とするが、授業進度によっては定期試験に切り替える可能性がある。試験実施にあたっては、光華ナビの掲示を注意すること。</p> <p>上記評価の配点は、受講態度及び課題50%、試験50%とする</p>
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	なし
その他特記事項	<p>女子のみ受講可 ※受講人数によって、本学開講基準により不開講になる場合があります。</p> <p>【授業時間外学修（予習・復習等）について】 予習については、シラバスの授業計画を参照し参考書などを活用してキーワードについて意味を調べ理解しておくこと、また復習については、配布プリントを元に授業内容について理解を図り、疑問点がある場合は教員へ質問するなど速やかに解決すること。予習・復習併せておおよそ30分から1時間程度がのぞましい。</p> <p>授業中の課題提出日に欠席した人に対しては、光華naviにリベンジ課題を掲載し、後日提出できるようにするので、光華naviの掲示に留意すること。</p> <p>オフィスアワー月曜日・水曜日・木曜日・金曜日の授業・会議時間以外（事前連絡要） メールアドレス kawanis@mail.koka.ac.jp 研究室 4306</p>
講義概要・到達目標	<p>【授業テーマ】 対人関係において今までと違うものの見方・考え方を発見してみよう！</p> <p>【授業の概要】 人間は社会的動物といわれるように他者との交わりの中で生き生かされている。それ故に人は様々な人間関係や自分と社会の関わり、そして刻々と変化する社会的現象に常に関心を寄せている。そこで、本講では社会心理学の知見を基に「人と人の結びつき、人と社会の関わり」について論じる。</p> <p>【到達目標】 社会行動における自己の機能、偏見など対人認知のメカニズム、他者への好悪感情などの対人魅力、さらに攻撃と援助について、社会心理学の知識や実証的データからの理論を学習し、その問題点を考察して、多様な価値観の中で自己を吟味し、新しく客観的な視点から他者との関係性を創造する力を身につける。</p>
講義スケジュール	<p>【授業計画】 以下に、各週別の授業計画を示す（例、1. は第1週目のことである）。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 自己 (1) (・自己とは ・自己評価維持規制 など) 3. 自己 (2) (・自己の混乱 など) 4. 自己 (3) (・自己開示 ・自己呈示 など) 5. 自己 (4) (・自己を意識するとき、しないとき～客体的自覚と没個性化～など) 6. 対人認知 (1) (・対人認知とは など) 7. 対人認知 (2) (・ステレオタイプの功罪～血液型ステレオタイプ～ など) 8. 対人認知 (3) (・偏見のメカニズムと実態 など) 9. 対人魅力 (1) (・対人魅力の規定因 など) 10. 対人魅力 (2) (・恋愛による心の変化 など) 11. 対人魅力 (3) (・関係崩壊と対象喪失 など) 12. 攻撃と援助 (1) (・人はなぜ他者を攻撃するのか？ 攻撃理論 など) 13. 攻撃と援助 (2) (・援助とは、ストレスとソーシャルサポート など)

14. 攻撃と援助 (3) (・ストレスとソーシャルサポート など)	
15. まとめ	
【授業方法】	各テーマ毎にプリントを配布し、それに基づいて講義形式で進めていく。必要に応じて、ビデオやパーソナリティテストを導入し、学習興味や意欲を喚起し、更なる理解を深める。各单元ごとに配布するプリントは授業の進度に沿ったものであるが、重要なポイントについては各自が受講時に記入するような穴埋め形式になっているので、必要に応じて受講生が記載するものとする。
	また、学期期間中に2〜3回課題の提出を求める。課題の詳細については、その都度具体的課題内容を説明するが、ビデオをみて特定の質問に回答する課題などが含まれる。課題の提出については、基本的にその授業終了時とする。
	なお、特に教科書は指定しないが、さらに深く学習したい人あるいは授業内容の復習には以下の参考書を参照してほしい。これら以外にも必要に応じて授業時に参考書や推薦図書の紹介を行う。
教科書	なし
参考書	女性が学ぶ社会心理学 / 宗方比佐子 / 福村出版

E109 発達心理学

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Developmental Psychology		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター修学担当 TEL075-325-5307 FAX075-325-5317		
担当教員	礪波 朋子（健康科学部心理学科准教授）		
開講日程	2016年04月12日（火）～2016年07月26日（火） 2講時 10時30分～12時00分（毎週火曜日） ※休講 2016/05/03（火）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科目等履修生（履修料20,000円、選考料 科目数を問わず10,000円） 聴講生10,000円（選考料免除）		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	<p>授業に対する取組状況と、小テスト1回、感想文提出1回と期末試験1回の成績により評価を行う。</p> <p>配点—授業に対する取組状況（30%）、小テスト1回（10%）、感想文提出（10%）、期末試験（50%）</p> <p>授業に対する取組状況：出席や日々の授業への取組状況等を総合的に評価する。尚、6回以上欠席した場合は評価不可とする。</p> <p>小テスト：原則、第7回目の授業時に小テストを実施する。小テストの範囲及び日時については、授業中に説明するので注意すること。小テストは、○×式もしくは穴埋め式で行う。授業で配布した資料等、すべて持ち込み可。</p> <p>感想文提出：授業中に視聴したDVDについて感想文を提出する。感想文提出にあたる回については授業内でアナウンスを行うので注意すること。</p> <p>期末試験：筆記試験で、平常試験で行う。第15回目の授業時に試験を行う。全授業内容から出題する。授業で配布した資料等、すべて持ち込み可。</p>		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		

その他特記事項	女子のみ受講可。 ※受講者人数によって、本学開講基準により不開講になる場合があります。
	【授業時間外学修（予習・復習等）について】 前回までの講義内容について、配布資料等を元に必ず復習し、疑問があれば、次回授業時に質問すること。復習時間についてはおおよそ1時間程度が望ましい。 研究室：慈光館4F 研究室4303 オフィスアワー：木曜一昼休み（12：00-12：50）、金曜一昼休み（12：00-12：50） ※基本的には前日までにメール（tonami@mail.koka.ac.jp宛）で予約をいれて下さい。その際、必ず、名前と連絡先をお知らせ下さい
講義概要・到達目標	
【授業テーマ】 社会・文化という視点から、生涯にわたる人の発達について学ぶ。	
【授業の概要】 人は、社会の中で生まれ、成長し、活動する、社会的・文化的存在である。本授業では、社会や文化という視点から人間の発達について理解することを目的とする。まず、発達を支える社会文化的基盤について概観し、次いで、生物学的な親子関係を軸に、乳幼児期・児童期・青年期・成人期・高齢期の各時期における発達の問題を展望する。さらに、発達早期の保育、学齢期の学校・仲間、ソーシャルネットワーク、情報社会における社会的関係や文化について学ぶ。	
【到達目標】 1.人の発達を社会的・文化的視点から理解する 2.生涯の各時期における発達の問題を社会的視点に基づき理解する 3.現代社会の人間関係や文化の特徴を把握し、その中での発達について理解する	
講義スケジュール	
【授業計画】 第1回 オリエンテーション、発達の場としての社会・文化 第2回 発達を支える社会文化的基盤 第3回 生物学的発達論と社会文化的発達論 第4回 心の理解 第5回 道徳性、向社会的行動 第6回 攻撃性・抑うつと問題行動 第7回 情動（小テスト） 第8回 アタッチメント 第9回 動機づけ 第10回 児童期・青年期・成人期・高齢期の家族関係 第11回 仲間関係 第12回 ソーシャルネットワークとソーシャルサポート 第13回 情報化社会の人間関係 第14回 養育者としての発達 第15回 まとめ<期末試験と解説>	
【授業方法】 講義形式で行う。授業時に資料と書き込み式のレジュメを配付する。必要に応じてビデオ教材等を用いる。	
教科書	なし
参考書	社会・文化に生きる人間（発達科学ハンドブック5） / 日本発達心理学会編 / 氏家達夫・遠藤利彦編 / 新曜社 / 2012年

E111 児童英語教育研究

科目等履修生

英文科目名	Studies in English Education for Children
大学名	京都橋大学
連絡先	学務第1課 TEL：075-574-4324 FAX：075-574-4134

担当教員	金山 敬（人間発達学部英語コミュニケーション学科助教）		
開講日程	2016年04月07日（木）～2016年08月03日（水） 4講時 14時45分～16時15分（毎週金曜日）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科32,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	授業中発表等（60％）参加度（40％） 授業への積極的な取り組みと意欲的な態度を高く評価します。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	発表の日の欠席は大きく減点します。		
講義概要・到達目標			
【テーマ】 幼児や児童の英語教育について			
【授業の到達目標】 小学校への外国語活動導入が必修化された今、なぜ英語教育が児童に必要なのか、また、どのように教えたらいのかを異文化理解と英語教育のあり方について、実践と理論の両側面から考察する。			
【授業の概要】 実際に幼児や小学生に教える場合にすぐに役立つ歌、リズム、ゲームを始めとして、言語習得理論に基づいた指導法などを紹介し、学習した後、発表する。			
【準備学習（予習・復習）】 発表は創意工夫に富んだものにすること。			
講義スケジュール			
第1回 ガイダンス（異文化理解と英語教育について） 第2回 英語の指導技術について 第3回 歌の指導法 第4回 歌指導の発表 I 第5回 歌指導の発表 II 第6回 ナーサリーライムの指導法 第7回 ナーサリーライム指導の発表 I 第8回 ナーサリーライム指導の発表 II 第9回 フォニックスの指導法 第10回 フォニックス指導の発表 I 第11回 フォニックス指導の発表 II 第12回 異文化理解教育について 第13回 異文化理解を促す指導の発表 I 第14回 異文化理解を促す指導の発表 II 第15回 まとめ			
教科書	使用しない		
参考書			

E112 児童英語教材研究

科目等履修生

英文科目名	Studies in Teaching Materials of English Education
大学名	京都橋大学
連絡先	学務第1課 TEL：075-574-4324 FAX：075-574-4134
担当教員	金山 敬（人間発達学部英語コミュニケーション学科助教）
開講日程	2016年09月21日（水）～2017年01月30日（月） 5講時 16時30分～18時00分（毎週金曜日）

単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科32,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	授業中発表等（60％）参加度（40％） 授業への積極的な取り組みと意欲的な態度を高く評価します。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	発表の日の欠席は大きく減点します。		
講義概要・到達目標			
【テーマ】 幼児や児童の英語教育について			
【授業の到達目標】 小学校への外国語活動導入が必修化された今、なぜ英語教育が児童に必要なのか、また、どのように教えたらよいのか、その目的と指導法について学ぶ。			
【授業の概要】 実際に幼児や小学生に教える場合にすぐに役立つチャンツ、ゲームを始めとして、言語習得理論に基づいた指導法などを紹介し、学習した後、発表する。 期末の課題としてオリジナル絵本を製作する。			
【準備学習（予習・復習）】 発表は創意工夫に富んだものであること。			
講義スケジュール			
第1回 ガイダンス（EFL学習の目的と指導） 第2回 チャンツの指導法 第3回 チャンツの指導発表 I 第4回 チャンツの指導発表 II 第5回 TPRの指導法 第6回 TPRの指導発表 I 第7回 TPRの指導発表 II 第8回 折々の行事について 第9回 Halloween Party 第10回 ストーリーテリングの指導法 第11回 オリジナル絵本製作のガイダンス 第12回 絵本のあらすじと構成 第13回 絵本のストーリーを英文にまとめる 第14回 絵本製作 第15回 絵本発表 ※なお、この授業では必要に応じて学外授業を行うことがある。			
教科書	使用しない		
参考書			

E113 死の哲学

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Philosophy of Death
大学名	京都ノートルダム女子大学
連絡先	京都ノートルダム女子大学 教務部教務課 TEL075-706-3745 FAX075-706-3790
担当教員	宮永 泉（人間文化学部人間文化学科教授）
開講日程	2016年04月12日（火）～2016年07月26日（火） 2講時 10時45分～12時15分（毎週火曜日） ※休講2016/05/03（火・祝）

単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科目等履修 40,000円（本学卒業生は20,000円） 聴講 20,000円（本学卒業生は10,000円）		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	10
試験・評価方法	評価は、授業参加度・態度[40%]、レポート[60%]を以て総合的に行う。なお、ちょうど数学のように、前回学んだことを前提して次に進みます。従って欠席すると、授業がわからなくなります。3分の2以上の出席を要す。		
超過時の選考方法	志望動機を400字詰原稿用紙1枚に書いて提出。その上でふさわしい受講者を選定。		
別途負担費用	教科書代のみ必要		
その他特記事項	<通学に関する注意事項> 本学への通学は公共交通機関をご利用ください。 50ccを超えるバイクおよび自家用車での通学は認められておりません。また、自転車および50cc以下のバイクでの通学は登録制となっております。		
講義概要・到達目標			
1. 科目の教育目標 死は人生で最大の問題であるが、この問題を哲学的に考察し、受講生が将来自分自身の死生観を確立するためのヒントを提示する。後期の「キリスト教的死生観」と一対をなす。			
2. 教育・学習の個別課題 ①臨死体験の考察。 ②死に対する様々な態度あるいは考え方の考察。 ③上記1,2と並行して、各自で岸本英夫著『死を見つめる心』を読み、レポート提出。 ④その他、適当な講演会やビデオなどを利用して、レポートを提出して貰うことがある。			
3. 教育・学習の方法 ①授業方法：講義と講読の併用。 ②学習方法：テキスト熟読、講義・講読への積極的参加、レポート作成。			
4. 準備学習の具体的な方法 岸本英夫著『死を見つめる心』（講談社文庫）を予め熟読しておく。 授業は受講者が上記書を熟読していることを前提して進める。			
講義スケジュール			
第01回 (1) 授業準備（単位認定の仕方の説明等）(2) 哲学の三つの型 第02回 二つのタブー（性） 第03回 二つのタブー（死） 第04回 二つのタブー（タブーの崩壊） 第05回 臨死体験の考察（立花隆） 第06回 臨死体験の考察（ムーディー） 第07回 臨死体験の考察（キューブラ・ロス） 第08回 「死に対する様々な態度あるいは考え方の考察」の全体像（無神論、汎神論） 第09回 「死に対する様々な態度あるいは考え方の考察」の全体像（有神論） 第10回 死の忘却（新聞記事） 第11回 死の忘却（慰戯） 第12回 末期の目をもって生きる（正岡子規） 第13回 末期の目をもって生きる（末期ガン患者） 第14回 末期の目をもって生きる（学生の体験） 第15回 まとめ			
教科書	『死を見つめる心』岸本英夫著、講談社文庫		
参考書	授業中に適宜紹介する		

E116 キリスト教の文化A

科目等履修生

英文科目名	Culture of Christianity A		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教育学部 電話 075-645-7891 FAX 075-643-5021		
担当教員	久松 英二		
開講日程	2016年04月11日(月)～2016年07月18日(月) 3講時 13時15分～14時45分(毎週月曜日) *7/18(月)は祝日ですが、授業を実施致します。		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	20,000円		
会場	深草学舎		
授業定員		京カレッジ定員	10
試験・評価方法	平常点20%および定期試験80%で評価する。		
超過時の選考方法			
別途負担費用			
その他特記事項	【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。 【定期試験について】 本講義の定期試験は、8月1日(月)15時00分～16時00分の時間帯に行われる予定です。 ご留意ください。		
講義概要・到達目標	本講義では、歴史の歩みとともに展開をとげ、これまでその文化形成に重要な役割を果たしてきたキリスト教に焦点を当てる。具体的には、西洋における個々人の心理現象、行動規範、集団形成など、人間が生活していく上での様々な文化的環境の背景をなしているキリスト教の、その文化創造の原動力となった「聖書」の思想を考察する。とくに、聖書に描かれた神思想と神に対する人間のあり方に関わる思想の文化的背景およびその思想が西洋世界に及ぼした文化的影響を検討する。日本人にとって異文化である西洋文化を正しく理解するためには、その土台となっているキリスト教の理解が必須の前提となっている。本講義は、そのキリスト教の教えの出発点であり根拠である聖書を取り上げ、そこに展開されているキリスト教独自の宗教観の文化的背景を検討することを目的とする。		
講義スケジュール	第01回：聖書思想の地理的、文化的背景 第02回：聖書思想の歴史的、文化的背景 第03回：「聖書」という言葉の文化的意味 第04回：聖書における契約思想の西洋における文化的意義 第05回：聖書における啓示思想の西洋における文化的意義 第06回：西洋のユートピア思想に与えた聖書の救済思想の文化的意義 第07回：聖書神話成立に与えた異文化の影響1「バベルの塔」 第08回：聖書神話成立に与えた異文化の影響2「洪水伝説」 第09回：イスラエル民族族に見られる異文化同士の確執1-アブラハム物語とイサク物語 第10回：イスラエル民族族に見られる異文化同士の確執2-ヤコブ物語とヨセフ物語 第11回：イスラエル民族族に見られる異文化同士の確執3-サムソン物語 第12回：聖書に見られる「表の文化」と「裏の文化」 第13回：聖書に見られる中心主義的思考文化と周辺主義的思考文化 第14回：聖書に見られる未来志向的発想の文化 第15回：聖書に見られる人間の美学		
教科書			
参考書	聖書(新約聖書と旧約聖書の合併本)可能であれば、持参してください。日本語訳は数種ありますが、授業では「新共同訳」を使用します。		

E117 人間の心理と発達：人生を自己構築するために役立つ講義

科目等履修生

英文科目名	Psychology and Development of Human		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教育学部 TEL：075-645-7891 FAX：075-643-5021		
担当教員	金子 龍太郎(社会学部教授)		
開講日程	2016年04月14日(木)～2016年07月28日(木) 4講時 15時20分～16時50分(毎週木曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	20,000円		
会場	瀬田学舎		
授業定員	50	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	平常点 30% 10回以上の出席がなければ定期試験を受けられない レポート 20% 自らの人生を深く考える内容を課す 定期試験 50% 小論文形式の出題とする 定期試験では、教科書のみ持込を許可する。		
超過時の選考方法			
別途負担費用			
その他特記事項	【会場】 龍谷大学瀬田学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。 【授業時間外における予・復習の指示】 教科書の予習を前提に講義を行い、試験では教科書のみ持ち込みなので、予習・復習を十分行うことを求める。 【履修状の注意・担当者からの一言】 講義中のスマートフォン・携帯の使用と私語を控えて下さい。教室内がざわついている時には、講義を中断して静かになるまで授業を進めません。遅刻や講義中の退室を控えて下さい。 【定期試験について】 本講義の定期試験は、8月4日(木)に行われる予定です。 ご留意ください。		
講義概要・到達目標	【講義概要】 様々な人々の生きる姿を通して人間存在を知り、幸福な人生を他者と共に構築しよう！ 担当者の著書「抱っこで育つ、三つ子の魂」を教科書として、乳児期から老年期までの生涯を通じた人間の心理について学ぶ。その際、有名人を含む人々の事例を学ぶことにより、喜怒哀楽を抱えて人生を送る人間像を知る。学生諸君は、これから就職・結婚・育児という重要な出来事と相対することになるが、様々な人と関わりながら幸せな人生を送るための“人生のヒント”を示したい。 【到達目標】 学生諸君一人ひとりが、唯一無二の自分の人生を深く想い、かけがえない人々と共に、幸福な人生を構築し始めた時に、この講義の目標が果たせるのである。 【講義方法】 教科書を初めとして、映像を交えた様々な資料を紹介しつつ、講師が体験したエピソードを交えて講義する。二学科合同の大教室での授業のため、講義中に個々の学生と関わることは困難だが、学生諸君の魂に届くような講義に努める。		

講義スケジュール	
第01回 (4月14日)	オリエンテーション ケース研究: 厳父と良妻賢母に育てられた飯島愛の生涯 - ケース研究 教科書p.141-148
第02回 (4月21日)	「三つ子の魂」の正体とは - 三つ子の魂、心の発達 教科書p.12-32
第03回 (4月28日)	心の根本: 安心感、基本的信頼感、安定した愛着、自己肯定感 - 魂=心の根本 教科書p.12-32
第04回 (5月12日)	胎児期から死ぬまでの間に育つ心 - 生涯発達、胎教 教科書p.33-42
第05回 (5月19日)	人間の心理と発達における「抱き」の意義 - 身体接触、心の発達 教科書p.50-62
第06回 (5月26日)	心の自立をめざす - 心理的自立 教科書p.63-88
第07回 (6月2日)	野外保育: 森のようちえんの子どもたち - 遊び、学び、森のようちえんの子どもたち登場
第08回 (6月9日)	子どもは親になる: 親になるための発達課題 - DV問題から考える
第09回 (6月16日)	マイケル・ジャクソン 生涯、虐待の心の傷に苦しみつつ、愛を求め、愛を与え続けた King of Pop - マイケル・ジャクソン、被虐待児 教科書p.136-141
第10回 (6月23日)	「源氏物語」の登場人物から人生を考える - 源氏物語、浮舟 教科書p.153-157
第11回 (6月30日)	幼少期に親に傷つけられた人が幸せをつかむまで - 教科書p.163-178
第12回 (7月7日)	人間の心理と発達に大きな影響を及ぼす母親と父親 - 教科書p.98-134
第13回 (7月14日)	歌詞に見る人の心と人生と - 希望と絶望 教科書p.149-152
第14回 (7月21日)	親子の愛、男女の性愛、そして人類愛: 映画監督: 新藤兼人の生涯 - 人間とは 教科書p.183-188
第15回 (7月28日)	人生を自己構築するために
教科書	金子龍太郎 抱っこで育つ「三つ子の魂」: 幸せな人生の始まりは、ほど良い育児から 明石書店 1,800円 (ISBN: 9784750340296)
参考書	その都度、様々な資料を配付する。

E118 特殊講義 A1 親鸞の救済観一生きる意味の探求

科目履修生

英文科目名	Special Lecture : Shin Buddhist Doctrine A1		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教育学部 TEL 075-645-7891 FAX 075-643-5021		
担当教員	鍋島 直樹		
開講日程	2016年04月11日(月)～2016年07月18日(月) 2講時 10時45分～12時15分(毎週月曜日) *07/18は祝日ですが、授業を実施します。		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	20,000円		
会場	大宮学舎		
授業定員	120	京カレッジ定員	30
試験・評価方法	平常点50% 授業への積極的な参加状況、ならびに講義時の感想やミニレポートを通して、理解力、発見力を評価する。 定期試験50% 期末試験(またはレポート)を実施し、思索力、構想力、表現力を評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			

その他特記事項	【会場】 龍谷大学大宮学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。
	【定期試験について】 本講義の定期試験は、8月1日(月)10時30分～11時30分の時間帯に行われる予定です。 ご注意ください。
講義概要・到達目標	
<p>■目的・ねらい■ 私はいったい何のために生まれ、何のために生きているのだろうか。ひとは苦しみを背負わなければならない時、愛する者を失って孤独になった時、自己の存在基盤が壊れてしまうことを体験する。絶望の中で、ひとは本当に大切なものが何であるかに気づき、真の生き方を探し求める。</p> <p>この講義で「親鸞の救済観」を考える目的は、人が自らの生活を見つめ、自分の支えとなるものとのつながりを再発見して、生きる意味に気づき、互いに慈しみ、支えあって生き抜いていくところにある。宗教における救いの三類型、仏教、親鸞における救済観、金子みすゞのいのちへのまなざしを通して、生きる意味や救いについて共に考えたい。</p> <p>■講義概要■ 仏教における苦のサンスクリット原語ドゥフカは、「思い通りにならない」ことを意味する。釈尊は、誰もがもっている苦しみに向き合った。苦しみは自らの生きる意味を問いかけてくる。釈尊は「生きとし生けるものの苦しみを取り除きたい」と誓い、厳しい修行の果てに、縁起のさとりを開いた。「人はひとりで生きているのではない。他の誰かに生かされている。あらゆるものは相互に支えあっている。予め運命によって人生は決まっていない。縁と努力によって自由にも未来は開かれてくる。苦しいからこそ慈しみあって生き抜こう」という知見であった。親鸞は、源氏と平家の争いがつづく戦乱の中で、修学修行し、ついに法然にめぐりあって、雑行をすてて仏の本願に帰した。本願とは尊卑賢愚にかかわらず、生きとし生けるものを救う仏の願である。傲慢な自分が決して見捨てられずに仏に願われているという信は、感謝して生きる力をうみだした。この講義では、どのようにして苦しみを超えていけるのかについて、親鸞の救済観、金子みすゞ、宮沢賢治の人生観、東日本大震災の悲しみに学んでいきたい。実際に苦悩を乗り越えた人間の言葉や物語は、自らの行くべき道を示す灯となる。仏教の明かしてきた人間像は、時代に左右されることなく、何千年も日本人の心を支えてきた。親鸞の生涯と思想もまた、多くの人々にとって生きる羅針盤となっている。親鸞の見出したものは、自己を偽らず、いかなるものにも媚びずに見出した真実だからであろう。</p> <p>私自身は、東日本大震災の東北を訪問して、心の交流をつづけてきた。グリーンケアを通じて、私は多くのことを被災地の遺族から教えていただいた。「深い悲しみの中から真の絆が生まれる」、「津波で家や家族を流されても、心は流されない」、「愛する人はみ仏となって今も心に生きている」、それらは現場からうまれる視座である。それらのかげがえのない真実を、この講義で伝えたい。</p> <p>この講義は、龍谷大学人間・科学・宗教オープンリサーチセンターの関連講義とする。</p> <p>あわせて、この領域に関するスペシャリストを招いて、特別講演も開催したい。</p> <p>■講義方法■ 講義用レジメを毎回配布して、講義を行う。東京大学の宗教学の成果に学び、宗教における救いの三類型を学ぶ。親鸞の救済観については、「歎異抄」「教行信証」などの文献を通して学ぶ。金子みすゞの童謡にみる生命観は、金子みすゞ記念館の調査研究を通して学んだことを紹介する。また、広島平和記念資料館を訪問して、ヒロシマ原爆被爆者との交流で学んだこと、東日本大震災における心のケアで学んだこと、DVDなどの上映などを通じて、心を支える人間理解と救済観を考えたい。</p> <p>一番大切にしたいことは、講義を受けた学生の感想や質問をとりあげながら、相互に学び深める講義にしたいことである。</p> <p>■授業時間外における予・復習等■ 講義テキストを一人ひとりが読んで、予習と復習に役立て、理解を深めてください。</p> <p>■履修上の注意・担当者からの一言■ 先輩の心に学び、自分に向き合える時間にしたいです。心に花が咲くような講義にしたいと思います。</p>	
講義スケジュール	
<p>■第1～2回■ 宗教における救いの三類型</p> <p>■第3～4回■</p>	

金子みすゞのいのちへのまなざし みんながってみんないい
 ■第5～6回■
 仏教・浄土教の人間観 テキスト『地球と人間のつながり』
 ■第7～8回■
 親鸞の人間観 テキスト『地球と人間のつながり』
 ■第9～10回■
 親鸞における悪人正機の真意 『歎異抄』第三章
 ■第11～12回■
 親鸞における愛と慈悲 『歎異抄』第四章
 ■第13回■
 親鸞における人間理解と救い 『歎異抄』第九章
 ■第14回■
 ヒロシマ原爆被爆者に学ぶ－非暴力と平和
 ■第15回■
 怨みと悲しみを超える道－バリのテロで妻を亡くしたレリスさんの手紙

教科書	鍋島直樹・玉木興慈著『地球と人間のつながり』法蔵館 3,600円 鍋島直樹著『死別の悲しみと生きる』本願寺出版 100円 矢崎節夫著『金子みすゞの生涯』JULA出版 3,500円
参考書	鍋島直樹『仏教死生観デジタルアーカイブ研究』（方丈堂出版）2,500円（ISBN:9784892310881） 鍋島直樹『親鸞の生命観』（法蔵館）6,500円（ISBN:9784831824172） 中村久子『花びらの一片 中村久子の世界』（中村久子女史顕彰会）1,000円 青木新門『それからの納棺夫日記』（法蔵館）1,700円（ISBN:9784831864260） テキストを読解しながら、親鸞思想に迫ります。

E119 仏教と人間Ⅱ

聴講生

英文科目名	Buddhism and Human Beings II		
大学名	大谷大学短期大学部		
連絡先	教務課 TEL 075-411-8117 FAX 075-411-8150		
担当教員	富岡 量秀		
開講日程	2016年09月23日（金）～2017年01月20日（金） 1講時 09時00分～10時30分（毎週金曜日） ※休講 2016/11/11（金）、2016/12/30（金）、2017/01/06（金） ※授業実施 2016/12/23（金） ※2017/01/27（金）は試験日の為、京カレッジ生は出席不要です。		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	聴講料 15,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	80	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	聴講生は受験資格なし		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	【質問・相談の方法】 初回の授業時に質問・相談方法などを伝える。 【担当者からの連絡】 この科目は親鸞思想の基礎を学ぶことをとおして、現代社会における「教養」の意義を考える。		

講義概要・到達目標

【授業テーマ】
 親鸞思想の現代的意義について学ぶ。
 本授業では、日本と世界との「宗教」に対する認識の異なりや、現代の「宗教」をめぐる問題等を取り上げ、私たちと「宗教」との関係性について考えていく。

【授業の内容】
 親鸞の生涯と教えへの学びをとおして、現代に生きるわたしたちとの関わりを考える視点を学ぶ。
 自分自身の生き方と向き合い、主体的に考えることの意義を知る。

【学習到達目標と授業計画】
 1. 親鸞の生涯に学ぶことをとおして、わたしたちと仏教との関係の意義について学ぶ。
 2. 親鸞思想の現代的意義を、「ほんとうの生きる力とは？」という視点から学ぶ。

講義スケジュール

【学習内容／授業方法／準備学習（予習・復習）・時間】
 1.オリエンテーション／
 授業のオリエンテーション。授業の進め方、評価方法などについて。
 予習：事前にテキスト『ブツダと親鸞』の「親鸞」の内容について目を通す。

2.親鸞の生涯に学ぶ／
 テキストおよび配布資料などを使っての授業。親鸞という人物についての紹介と学ぶ視点を学ぶ。
 復習：「親鸞」という人物についての基本事項を整理をする。
 予習：テキストを読み、親鸞が生きた時代についての理解を深める。（読む箇所は授業時に指示）

3.親鸞の生涯（1）／
 テキストおよび配布資料などを使っての授業。親鸞の生きた時代背景について知る。現代との相違点と共通点を考える。
 復習：親鸞の生きた時代について整理をする。
 予習：テキストを読み、親鸞が生きた時代についての理解を深める。（読む箇所は授業時に指示）

4.親鸞の生涯（2）／
 テキストおよび配布資料などを使っての授業。親鸞の生きた時代背景について知る。現代との相違点と共通点を考える。
 復習：親鸞の生きた時代について整理をする。
 予習：テキストを読み、親鸞が生きた時代についての理解を深める。（読む箇所は授業時に指示）

5.親鸞の生涯（3）／
 テキストおよび配布資料などを使っての授業。親鸞の出会った人々と親鸞にととの「師・法然上人」について学ぶ。
 復習：親鸞の出会いについて整理をする。特に「師・法然上人」との関係性を考察する。
 予習：テキストを読み、親鸞思想の「悪人・凡夫」についての疑問点を整理する。（読む箇所は授業時に指示）

6.親鸞の人間観（1）－悪人・凡夫とは－
 テキストおよび配布資料などを使っての授業。親鸞思想における「悪人・凡夫」の基本的な意味を知り、人間の抱える課題について考える。
 復習：親鸞の「悪人・凡夫」について整理する。特に現代社会における認識との相違点への考察をする。
 予習：テキストを読み、親鸞思想の「信」についての疑問点を整理する。（読む箇所は授業時に指示）

7.親鸞の人間観（2）－自身の深信－
 テキストおよび配布資料などを使っての授業。親鸞における「信」の基本的な意味を知り、現代社会における宗教に対する視点との相違点を明確にする。
 復習：親鸞の「信」について整理をする。特に現代社会における認識との相違点への考察をする。
 予習：テキストを読み、親鸞思想の「ともに」についての疑問点を整理する。（読む箇所は授業時に指示）

8.親鸞の人間観 (3) ー共に生きる者・われらの発見ー/
 テキストおよび配布資料などを使っての授業。親鸞における「ともに」の基本的な意味を知り、現代社会の課題を考える。/
 復習:親鸞の「ともに」について整理をする。特に現代社会における「ともに」という課題についての考察をする。
 予習:テキストを読み、親鸞思想の「すくい・救済」についての疑問点を整理する。(読む箇所は授業時に指示)

9.親鸞の思想 (1) ー悪人のすくいー/
 テキストおよび配布資料などを使っての授業。親鸞における「すくい・救済」の基本的な意味を知り、現代における宗教に対する視点との相違点を明確にする。/
 復習:親鸞の「すくい・救済」について整理をする。特に現代社会における認識との相違点への考察をする。
 予習:テキストを読み、親鸞における「信」をめぐる問題意識についての疑問点を整理する。(読む箇所は授業時に指示)

10.親鸞の思想 (2) ー信についてー/
 テキストおよび配布資料などを使っての授業。親鸞における「信」をめぐる問題意識の基本的な意味を知り、人間にとっての宗教の意義を考える。/
 復習:親鸞の「信」をめぐる問題について整理をする。特に人間にとっての宗教の意義への考察をする。
 予習:テキストを読み、親鸞思想の「浄土」についての疑問点を整理する。(読む箇所は授業時に指示)

11.親鸞の思想 (3) ー浄土についてー/
 テキストおよび配布資料などを使っての授業。親鸞における「浄土」の基本的な意味を知り、人間と生きている「場所」との課題について考える。/
 復習:親鸞の「浄土」について整理をする。特に自分と自分の生きている「場所」への考察をする。
 予習:親鸞の考えたことへの疑問点を整理する。(読む箇所は授業時に指示)

12.現代と親鸞 (1) ー私たち自身の生活を通して1ー/
 テキストおよび配布資料などを使っての授業。親鸞の人間と社会への視点をふまえて、私たちの身近にある課題を考える。/
 復習:親鸞の捉えた人間と社会について整理をする。特に自分との関わりへの考察をする。
 予習:親鸞の考えたことへの疑問点を整理する。(読む箇所は授業時に指示)

13.現代と親鸞 (2) ー私たち自身の生活を通して2ー/
 親鸞の人間と社会への視点をふまえて、私たちの身近にある課題を考える。/
 復習:親鸞の捉えた人間と社会について整理をする。特に自分との関わりへの考察をする。
 予習:親鸞の考えたことへの疑問点を整理する。(読む箇所は授業時に指示)

14.現代における親鸞思想の意義/
 現代社会のものの見方への問題提起としての親鸞思想を考える。特に「教養」ということを考える。/
 復習:現代社会のものの見方への考察をし、人として身につけるべき「教養」とは何かを考える。
 予習:本授業での学びを整理し、疑問点をまとめる。

15.本授業のまとめ/
 本授業の内容を振り返り、ポイントを整理する。仏教および親鸞への認識を深め、自分自身の課題を考える。/
 復習:本授業の学びを振り返り、ポイントを整理する。

16.試験

教科書	【著者名/書名/出版社名】 一楽 真他/『ブツダと親鸞』/東本願寺出版部
参考書	授業中に適宜紹介する

E122 児童・生徒のための日本語教育論B

聴講生

英文科目名	Teaching Japanese for Children B		
大学名	京都教育大学		
連絡先	教務・入試課教務グループ TEL: 075-644-8548		
担当教員	浜田 麻里 (国文学科)		
開講日程	2016年10月03日 (月) ~ 2017年02月06日 (月) 3講時 12時50分~14時20分 ※振替授業日 2016/10/11 (火) ※冬季休業 2016/12/23 (金) ~ 2017/01/04 (水) ※定期試験週を含む		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	10,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	5
試験・評価方法	課題提出・発表 80% レポート 20%		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【本授業に関する情報】 「児童・生徒のための日本語教育論A」の内容を理解していることを前提に授業を行います。指導案作成の経験は、必須ではありませんが、あると有効です。</p> <p>【自学自習についての情報】 活動案作成は課題になります。</p> <p>【注意】 京カレッジ生への単位認定は行いません。車での来学はご遠慮いただいております。教室は授業初回日に本学掲示板にて確認してください。</p>		
講義概要・到達目標	<p>【授業の概要】 日本の学校には日本語指導を必要とする児童・生徒が現在2万人以上いると言われます。日本語指導は「特別的教育課程」として正規の課程に位置づけられています。学校に1人など少数点のケースでも、それぞれの教員が日本語指導の適切な知識と技能を身に付けていれば十分に対応が可能です。この授業では、日本語指導に必要な児童・生徒の指導に必要な実践的知識を身に付けることを目指します。</p> <p>【授業の到達目標】 日本語を母語としない児童・生徒の言語習得・教科学習を支援するために必要な実践的知識を身に付けること</p> <p>【授業の形式】 講義, 発表, 討論</p>		
講義スケジュール	<p>授業の基本的流れは 理論の理解→活動案作成→発表・検討の順で行われます。 第1回 日本語指導が必要な児童生徒の直面する課題 第2回 第二言語習得論から見た子どもの言語習得 第3回 日本語指導のプログラム 第4回 サバイバルの指導 (1) 第5回 サバイバルの指導 (2) 第6回 日本語基礎 (発音・文字・語彙) の指導 (1) 第7回 日本語基礎 (発音・文字・語彙) の指導 (2) 第8回 日本語基礎 (文型) の指導 (1) 第9回 日本語基礎 (文型) の指導 (2) 第10回 日本語基礎 (文型) の指導 (3)</p>		

第11回 日本語と教科の統合指導 (1)	
第12回 日本語と教科の統合指導 (2)	
第13回 日本語と教科の統合指導 (3)	
第14回 日本語と教科の統合指導 (4)	
第15回 まとめ	
教科書	
参考書	大蔵守久『日本語学級』1～3 凡人社 各1,890円 大蔵守久・池上摩希子『子どもといっしょに! 日本語授業おもしろネタ集』1・2 凡人社 各1,050円 佐藤郡衛ほか『外国人児童の「教科と日本語」シリーズ』全5冊 スリーエーネットワーク 各1,890円 文部科学省『外国人児童生徒受入の手引き』(以下のサイトよりダウンロードすること http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/002/1304668.htm) 齋藤ひろみ・池上摩希子・近田由紀子『外国人児童生徒の学びを創る授業実践 - 「ことばと教科の力」を育む浜松の取り組み』くろしお出版 2,376円

【授業の形式】	
講義・グループ活動・模擬授業・討議	
講義スケジュール	
第1回 インTRODクション	
第2回 日本語の授業を見てみよう	
第3回 日本語の教授法	
第4回 日本語の文法 (1)	
第5回 日本語の文法 (2)	
第6回 日本語の文法 (3)	
第7回 文化と言語	
第8回 評価	
第9回 学習者のニーズを考える	
第10回 コースデザイン	
第11回 ニーズ調査とニーズ分析	
第12回 学修のデザイン	
第13回 マイクロティーチング (1)	
第14回 マイクロティーチング (2)	
第15回 まとめ	
教科書	
参考書	『みんなの日本語 初級I・II』(スリーエーネットワーク) 各2,700円 『まるごと 日本のことばと文化』入門A1 (りかい・かつどう), 初級1A2 (りかい・かつどう), 初級2A2 (りかい・かつどう) 各1,620円～2,052円 『ベーシック日本語教育』(ひつじ書房) ISBN:9784894762855 1,900円 『国際交流基金日本語教授法シリーズ』(ひつじ書房) 各735～1,050円 『日本語教育実践』鮎澤孝子編 (凡人社) 2,052円

E127 日本語教育方法論

聴講生

英文科目名	Japanese Language Education Methodology			
大学名	京都教育大学			
連絡先	教務・入試課教務グループ TEL: 075-644-8548			
担当教員	浜田 麻里 (国文学科)			
開講日程	2016年10月07日 (金)～2017年02月10日 (金) 2講時 10時30分～12時00分 ※授業休止日 2016/11/11 (金)、2017/01/13 (金) ※振替授業日 2016/12/22 (木) ※冬季休業 2016/12/23 (金)～2017/01/04 (水) ※定期試験週を含む			
単位数	2	開講区分	後期・秋学期	
受講料	10,000円			
会場	科目開設校キャンパス			
授業定員	京カレッジ定員	5		
試験・評価方法	授業中の課題	70%	最終レポート	30%
超過時の選考方法	書類選考			
別途負担費用				
その他特記事項	【自学自習についての情報】 指導案の作成など、授業中に出された課題を、時間外に考えて提出することが求められます。 【注意】 京カレッジ生への単位認定は行いません。 車での来学はご遠慮いただいております。 教室は授業初回日に本学掲示板にて確認してください。			
講義概要・到達目標	【授業の概要】 日本語教育について、実際にコースデザインから模擬授業までを体験して学びます。また留学生は、希望に応じて、学習者役として実習に参加することができます。 【授業の到達目標】 日本語教育に必要なコースデザイン力、教える力、教師としての成長力を身につけます。留学生は学習者の立場で授業に参画することで、学習者にとってわかりやすく役に立つ授業の方法を身につけます。			

E128 発達障害教育学概論

聴講生

英文科目名	The Introduction of Education on Developmental Disabilities		
大学名	京都教育大学		
連絡先	教務・入試課教務グループ TEL: 075-644-8548		
担当教員	佐藤 克敏 (発達障害学科)		
開講日程	2016年10月03日 (月)～2017年02月06日 (月) 3講時 12時50分～14時20分 ※振替授業日 2016/10/11 (火) ※冬季休業 2016/12/23 (金)～2017/01/04 (水) ※定期試験週を含む		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	10,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	京カレッジ定員	5	
試験・評価方法	学期末レポート (70%)	授業への出席及び授業への参加の様子 (30%)	
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	【本授業についての情報】 障害もしくは特別支援教育についてはじめて学ぶ学生が多いため、視聴覚教材を用いた授業を心がけるが、理解を深めるためには参考書や学習指導要領を読んで授業に臨むことが重要である。 【自学自習についての情報】 特別支援学校の学習指導要領に目を通し、疑問点など整理をして授業に臨むこと。		

【注意】 京カレッジ生への単位認定は行いません。 車での来学はご遠慮いただいております。 教室は授業初回日に本学掲示板にて確認してください。
【授業の概要】 特別支援教育の基本的な考え方や障害のある子どもの理解と教育的対応の基本的な事柄について、講義する。
【授業の到達目標】 1.特別支援教育の歴史や制度に対する基礎的な知識を身に付ける。 2.障害の捉え方や各障害のある児童生徒の教育的対応の基礎的な知識を身に付ける。
【授業の形式】 ビデオ等の視覚教材などを利用しながら講義形式を主とする。
【授業計画】 第1回 オリエンテーション 第2回 特別支援教育の基本的な考え方 第3回 特別支援教育の動向 第4回 障害のある子どもの教育に関する歴史的流れ 第5回 特別支援教育に関する制度 第6回 視覚障害のある子どもの理解と対応 第7回 聴覚障害のある子どもの理解と対応 第8回 知的障害のある子どもの理解と対応 第9回 肢体不自由のある子どもの理解と対応 第10回 病弱の子どもの理解と対応 第11回 重度重複の子どもの理解と対応 第12回 小・中学校等における特別支援教育 第13回 自立活動について 第14回 個別の教育支援計画と個別の指導計画 第15回 まとめ
教科書 特別支援学校の学習指導要領について説明することが多いため購入もしくは文部科学省のHP等からダウンロードして目を通しておくこと。その他、参考資料は適宜配付する。
参考書 はじめての特別支援教育-教職を目指す大学生のために-有斐閣アロマ

E129 臨床心理学入門

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Intoroduction of Clinical Psychology		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター-修学担当 TEL075-325-5307 FAX075-325-5317		
担当教員	今西 徹 (健康科学部心理学科准教授) 徳田 仁子 (健康科学部心理学科教授)		
開講日程	2016年09月20日 (火) ~2017年01月17日 (火) 2講時 10時30分~12時00分 (毎週火曜日) ※休講 2016/11/22 (火) ※休講 (冬季休暇) 2016/12/27 (火) ※休講 (冬季休暇) 2017/01/03 (火)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科目等履修生 (履修料20,000円、選考料 科目数を問わず10,000円) 聴講生10,000円 (選考料免除)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	授業中の課題 (ミニレポートや質問カード) を通した興味関心の評価 50% レポート試験 50% 前半のレポートは、8回目に提出すること 後半のレポートは15回目に提出すること		

超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	なし
その他特記事項	女子のみ受講可。 ※受講者人数によって、本学開講基準により不開講になる場合があります。
その他特記事項	【授業時間外学修 (予習・復習等) について】 1. 前半は臨床心理学の歴史とその背景をもとにした課題、後半は精神発達理論をもとにした課題、前半と後半それぞれ異なるテーマで課題を自らの興味関心に応じて、文献を読み、レポートにまとめて提出すること。そのためには、毎回復習を30分程度行うことが望ましい。 2. 大きなテーマでレポートにまとめる作業は前期、後期1回ずつとなるが、最低限の目安として、配布資料を基に文献を調べる時間は約1時間、実際に文献に読む時間は3時間、まとめて記述する時間は2時間程度必要となろう。
講義概要・到達目標	【授業テーマ】 臨床心理学の歴史および精神発達理論を通して理解する心の健康と病理について 【授業の概要】 臨床心理学の簡単な歴史とその背景、精神発達理論を学び、心の健康と病理についての身近な話題を通して、心の構造やその働きを理解する 【到達目標】 1. 臨床心理学の簡単な歴史とその背景を理解する。 2. 心の健康とその病理について身近な話題を通して心理臨床の知見に触れ、心の構造の理解を深める。 3. 精神発達理論における各年代の発達課題とその危機を理解する。
講義スケジュール	【授業計画】 第1回：オリエンテーション (今西・徳田) 第2回：臨床心理学の歴史：精神医学・心理学との関連・位置づけ、考え方の基本 (今西) 第3回：心理療法：援助の方法、聴くということ (今西) 第4回：心理査定法について：歴史の概観、種類の紹介、人格理論の紹介 (今西) 第5回：心の病概論 (1)：神経症 (今西) 第6回：心の病概論 (2)：統合失調症 (今西) 第7回：心の病概論 (3)：躁うつ病 (今西) 第8回：ダイエットの臨床心理学：身体性、女性性、摂食障害、効率主義など (今西) 第9回：心の構造とは何か (1) フロイトによる精神分析 (徳田) 第10回：心の構造とは何か (2) ユングによる深層心理学 (徳田) 第11回：心の発達とライフサイクル論 (1) 乳幼児期の危機と病理：母と子の絆 (徳田) 第12回：心の発達とライフサイクル論 (2) 学童期の危機と病理：不登校の姿 (徳田) 第13回：心の発達とライフサイクル論 (3) 思春期青年期の危機と病理：アイデンティティの確立 (徳田) 第14回：心の発達とライフサイクル (4) 中年期の危機と病理：バーンアウト (徳田) 第15回：精神発達理論と病理まとめ (徳田) 【授業方法】 1. 授業は各回の配布資料を中心に講義形式でおこなう。 2. 心の健康と病理についての身近な話題を紹介したVTRを見ながらミニレポートにまとめる。 3. 質問や課題提出はなるべく時間内に行うこと。
教科書	なし
参考書	神谷美恵子「こころの旅」みず書房 河合隼雄「無意識の構造」中公新書 河合隼雄「コンプレックス」岩波書店 滝川一廣「心の本質とは何か」ちくま書房 滝川一廣「家庭の中の子ども学校のなかの子ども」岩波書店

E133 キリスト教的死生観

科目等履修生/聴講生

英文科目名	The Christian View of Death		
大学名	京都ノートルダム女子大学		
連絡先	京都ノートルダム女子大学 教務部教務課 TEL075-706-3745 FAX075-706-3790		
担当教員	宮永 泉 (人間文化学部人間文化学科教授)		
開講日程	2016年09月27日(火)～2017年01月17日(火) 2講時 10時45分～12時15分(毎週火曜日) ※休講2016/12/27(火)、2017/01/03(火)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科目等履修 40,000円(本学卒業生は20,000円) 聴講 20,000円(本学卒業生は10,000円)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	10
試験・評価方法	評価は、授業参加度・態度[40%]、レポート[60%]を以て総合的に行う。なお、ちょうど数学のように、前回学んだことを前提して次に進みます。従って欠席すると、授業がわからなくなります。3分の2以上の出席を要す。		
超過時の選考方法	志望動機を400字詰原稿用紙1枚に書いて提出。その上でふさわしい受講者を選定。		
別途負担費用	教科書代のみ必要		
その他特記事項	<通学に関する注意事項> 本学への通学は公共交通機関をご利用ください。50ccを超えるバイクおよび自家用車での通学は認められておりません。また、自転車および50cc以下のバイクでの通学は登録制となっております。		
講義概要・到達目標			
1. 科目の教育目標 死は人生で最大の問題であるが、この問題を哲学的に考察し、受講生が将来自分自身の死生観を確立するためのヒントを提示する。前期の「死の哲学」と一対をなす。			
2. 教育・学習の個別課題 ①死に対する様々な態度あるいは考え方の考察。 ②十七世紀フランスの自然科学者にしてカトリック思想家であったパスカルが、その父の死に際して書いた手紙(内容的には、死の神学が展開された論文)の精読。 ③上と並行して、各自で山田晶著『アウグスティヌス講話』を読み、レポート提出。 ④その他、適当な講演会やビデオなどを利用して、レポートを提出して貰うことがある。			
3. 教育・学習の方法 ①授業方法: 講義と講読の併用。 ②学習方法: テキスト熟読、講義・講読への積極的参加、レポート作成。			
4. 準備学習の具体的な方法 山田晶著『アウグスティヌス講話』(講談社学術文庫)を予め熟読しておく。授業は受講者が上記書を熟読していることを前提して進める。			
講義スケジュール			
第01回 (1) 講義準備(単位認定の仕方の説明等) (2) 哲学の三つの型			
第02回 前期講義「死の哲学」の要約			
第03回 無神論的立場の死の理解、虚無の自覚(無神論)			
第04回 無神論的立場の死の理解、虚無の自覚(虚無)			
第05回 汎神論的立場の死の理解(二重世界)			
第06回 汎神論的立場の死の理解(ストア哲学)			
第07回 キリスト教的立場の死の理解(原罪に対する罰)			
第08回 キリスト教的立場の死の理解(原罪からの浄化)			
第09回 パスカルの手紙に開陳された「死の神学」の考察(死と三位一体の神)			

第10回 パスカルの手紙に開陳された「死の神学」の考察(イエス・キリストの考察)
第11回 パスカルの手紙に開陳された「死の神学」の考察(聖なるキリスト者の生と死)
第12回 パスカルの手紙に開陳された「死の神学」の考察(自己愛と死の恐怖)
第13回 パスカルの手紙に開陳された「死の神学」の考察(天国・煉獄・地獄)
第14回 パスカルの手紙に開陳された「死の神学」の考察(私審判と公審判)
第15回 まとめ

教科書	(1)『アウグスティヌス講話』山田晶著、講談社学術文庫 (2)「パスカルの手紙」(プリント配布)
参考書	授業中に適宜紹介する

E134 障害児(者)教育論

科目等履修生

英文科目名	Education for Persons with Disabilities		
大学名	京都府立大学		
連絡先	学務課 教務担当 TEL: 075-703-5118 FAX: 075-701-2474		
担当教員	京都府立大学 公共政策学部 福祉社会学科 准教授 服部敬子		
開講日程	2016年10月03日(月)～2017年01月30日(月) 2コース 10時30分～12時00分(毎週月曜日) ※月曜振替1回 2017/01/10(火) ※冬期休業 2016/12/25(日)～2017/01/09(月)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	67,600円(入学考査料9,800円、入学金28,200円、授業料29,600円)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	90	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	授業中の討議による平常点(40%)と期末レポート(60%)による。レポートの評価基準は、講義内容のポイントがおさえられていれば60点、考察の深さ、多面性、斬新性などに応じて加点する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
【講義概要】2006年12月の国連総会において「障害者の権利条約 Convention on the Rights of Persons with Disabilities」が採択された。21世紀では初の国際人権法に基く本条約に日本は2007年に署名し、障害者基本法や障害者差別解消法といった国内法を整えてようやく2013年12月の参議院本会議において本条約の批准を承認した。この条約では、「障害」が「発展するevolving概念」であり、「障害者と障害者に対する態度及び環境による障壁との間の相互作用」であること、「障害者が他の者と平等に社会に完全かつ効果的に参加することを妨げるものによって生ずること」が述べられている。 本講義では、障害児の権利保障という角度から障害児教育の実践的な課題を明らかにしたい。すべての子どもの発達する権利を保障するという立場に立つ教育(保育・療育)実践の分析を通じて、「障害」の発達の理解をもとに障害児(者)教育の課題を整理する。 【到達目標】「障害者の権利」をめぐる歴史的経緯と国際的動向をふまえて、発達過程において顕在化する各種の障害について、通常の発達過程との共通性と独自性においてより深く理解し、障害に由来する特別なニーズにふさわしい保育・教育をすすめる方法について考える力量を培う。			

講義スケジュール	
第01回目	オリエンテーション：障害の社会的発生と社会的責任
第02回目	「障害者の権利」をめぐる歴史的経緯と国際的動向：障害者権利宣言から障害者権利条約へ
第03回目	「障害」のとりえ方の変遷：WHOの定義
第04回目	障害児の「教育を受ける権利」の歴史的展開－戦後障害者教育の歴史
第05回目	実践の歴史に学ぶ：『夜明け前の子どもたち』（1968年）が問いかけたこと
第06回目	「発達」の観点から「障害」をとらえる：「発達障害」とは
第07回目	「生後第1の新しい発達の原動力」誕生に困難がある場合：重度心身障害児の発達と療育
第08回目	「生後第2の新しい発達の原動力」誕生に困難がある場合：自閉性障害の場合
第09回目	障害児保育の方法（1）：療育施設の場合
第10回目	障害児保育の方法（2）：保育園・幼稚園の場合
第11回目	「生後第3の新しい発達の原動力」誕生に困難がある場合：LD、ADHDなど
第12回目	障害児教育の方法（1）：特別支援学級での対応
第13回目	障害児教育の方法（2）：特別支援学校での対応
第14回目	障害者教育の方法（3）：授産施設や作業所における労働と教育
第15回目	まとめ：障害児・者教育の現状と課題
教科書	玉村公二彦『障害児の発達理解と教育指導：「重症心身障害」から「軽度発達障害」まで』（三学出版）
参考書	清水貞夫ほか編『キーワードブック障害児教育?特別支援教育時代の基礎知識』（クリエイツかもがわ）

E138 特殊講義A2 親鸞の死生観－悲しみを希望にかえるもの

科目等履修生

英文科目名	Special Lecture：Shin Buddhist DoctrineA2		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 TEL075-645-7891 FAX075-643-5021		
担当教員	鍋島 直樹		
開講日程	2016年09月19日（月）～2017年01月16日（月） 2講時 10時45分～12時15分（毎週月曜日） ＊9/19、10/10は祝日ですが、授業を実施します。		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	20,000円		
会場	大宮学舎		
授業定員	120	京カレッジ定員	30
試験・評価方法	平常点50% 授業への積極的な参加状況、ならびに講義時の感想文や前期レポートを通して、理解力、発見力を評価する。 定期試験50% 期末試験（またはレポート）を実施し、思索力、構想力、表現力を評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			

その他特記事項	【会場】 龍谷大学大宮学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。
	【定期試験について】 本講義の定期試験は、1月23日（月）10時30分～11時30分の時間帯に行われる予定です。 ご留意ください。

講義概要・到達目標
■目的・ねらい■ ひとは誰しも幸せになることを願っている。しかし、思うようにならずに思い悩む。特に、愛する人との別れ、挫折、死は深い悲しみを伴う。そうした苦しみに直面する時、どのように迷いを突破していけばよいのだろうか。ひとは絶望の闇の中で光を求め、困難の中で出会う優しさに、勇気を与える。泥の水たまりに青空が映り、泥の中から蓮の花が咲くように、悲しみから花の咲くことがある。この講義では、親鸞が死を超える道をどのように明らかにしたかについて一緒に考えたい。
■講義概要■ 生と死の悲しみを超越する道を親鸞がどのように見出していったかを中心に考察したい。そのために、親鸞における愛別離苦への姿勢、アジャセ王の救いについても紹介する。また、宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』にみられる死生観、中村久子の詩にみる死生観、ビハラー活動、臨床宗教師研修にも注目したい。私自身は、死の前で不安になっている人々に寄り添い、生死の悲しみを越えた真実とは何かについて研究してきた。また、東日本大震災の東北を訪問して、心の交流をつづけている。グリーフケアを通じて、私は多くのことを被災地の遺族から教えていただいた。思い返すと、ボランティアは私自身のために行ったと感じる。「津波で家や家族を流されても、心は流されない」、「愛する人はみ仏となって今も心に生きている」、それらは現場からうまれる真実の知見である。それらのかけがえのない真実を、この講義で伝えたい。この講義は、龍谷大学人間・科学・宗教オープンリサーチセンターの関連講義とする。 前期と後期には、龍谷ミュージアムを参観する時間を持ちたい。あわせて、この領域に関するスペシャリストを招いて、特別講義も開催したい。
■講義方法■ 講義レジュメを配布して、講義を進める。講義を聞いた学生の感想や質問をとりあげながら、学生とともに学び味わう講義としたい。『生死を超える絆』などの研究書、『歎異抄』、『教行信証』などの文献、宮沢賢治、中村久子などの詩と文学作品、東日本大震災における心のケアで学んだこと、DVDなどの上映などを通じて、誰しも訪れる死の問題を見つめる。講義を受けた学生の感想や質問をとりあげながら、相互に学び深める講義としたい。
■授業時間外における予・復習等■ 講義テキストを一人ひとりが読んで、予習と復習に役立て、理解を深めてください。
■履修上の注意・担当者からの一言■ 自分を見つめなおす時間にしましょう。東日本大震災の被災地と教室とをつなぐような講義にしたいと思います。
講義スケジュール
■第1～2回■ 宮沢賢治における死と愛－『銀河鉄道の夜』
■第3～4回■ 自死をみつめて
■第5～6回■ 中村久子と『歎異抄』－生きる力を求めて
■第7～8回■ 忘れられないあなたに宛てたラブレター 東日本大震災の悲しみに寄り添う
■第9～10回■ 闇に届く光－故遠藤未希さんのご家族に学ぶ
■第11回■ 愛別離苦への姿勢－キサゴータミーやパターチャーリーの悲しみに寄り添う 釈尊 テキスト『仏教死生観デジタルアーカイブ研究』
■第12回■ アジャセ王の救い 親鸞の救済観 テキスト『アジャセ王の救い』
■第13回■ 親鸞の生涯と思想－別れと出遇い
■第14回■ 親鸞思想とビハラー活動 『生死を超える絆』
■第15回■ 臨床宗教師の可能性－悲しみから生まれるもの

教科書	鍋島直樹・玉木興慈・黒川雅代子 『生死を超える絆 親鸞思想とビハーラ活動』(方丈堂出版) 2,600円 (ISBN: 9784892310935) 鍋島直樹 『死別の悲しみと生きる』(本願寺出版) 100円 (ISBN: 4894169304) 鍋島直樹 『自死を見つめて』(本願寺出版) 800円 (ISBN: 9784894162457) 鍋島直樹 『アジャセ王の救い』(方丈堂出版) 2,500円
参考書	鍋島直樹 『仏教死生観デジタルアーカイブ研究』(方丈堂出版) 2,500円 (ISBN: 9784892310881) 鍋島直樹 『親鸞の生命観』(法蔵館) 6,500円 (ISBN: 9784831824172) ケサン王女特別講演 『ブータン王国の国民総幸福政策』(方丈堂出版) 1,000円 (ISBN: 9784892310959) テキストを読解しながら、親鸞思想に迫ります。

E141 人と文化 一 禅一

科目等履修生

英文科目名	Human and Culture -Zen-		
大学名	花園大学		
連絡先	教務課 TEL: 075-811-5181 FAX: 075-823-2413		
担当教員	本学学長他		
開講日程	2016年09月07日(水)～2016年09月09日(金) 1～5講時 9時00分～17時50分		
単位数	2	開講区分	集中
受講料	20,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	150	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	レポートにて評価するが、出席を特に重視する。		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	実習費1,600円必要(最終日昼食代+拝観料)		
その他特記事項	講義初日まで諸手続は必要なし。 ただし受講許可が下りた後、受講を辞退する場合は早急に申し出ること。		
講義概要・到達目標	禅とは何か、禅の語録、修行、生活はどんな内容かを考察するとともに、美術、建築、東洋医学との関連を学ぶ。 期間の後半は坐禅の方法や食事作法についても修得してもらう。		
講義スケジュール	9月7日(水)、8日(木)、9日(金)3日間の集中講義(オムニバス)として行なう。 詳細は時間割表、掲示に注意すること。		
教科書	必要に応じレジュメを配布する		
参考書			
1.禅の思想			
2.禅の修行			
3.禅と美術			
4.禅の建築			
5.仏教の修行生活			
6.禅の語録			
7.禅と東洋医学			
8.坐禅指導			
9.～12.坐禅実習			
13.本山妙心寺での食事、諸堂拝観			
14.～15.坐禅実習			
(担当者の都合により順序変更もある)			

E501 保育者論

科目等履修生

英文科目名			
大学名	大谷大学短期大学部		
連絡先	教務課 TEL 075-411-8117 FAX 075-411-8150		
担当教員	大城邦義		
開講日程	2016年4月24日(日)、5月1日(日) 3～4講時 12:40～16:00 2016年5月15日(日)、5月29日(日)、 5講時 16:20～17:50 2016年6月12日(日)、6月26日(日)、7月3日(日)、 7月10日(日) 3～4講時 12:40～16:00 2016年7月17日(日) 3講時 12:40～14:10		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	受講料 30,000円(1単位あたり15,000円)		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	110	京カレッジ定員	110
試験・評価方法	出席及び課題(小レポート)と筆記試験(又はレポート)。筆記試験(又はレポート)は、問われている事柄を理解し考察できているかを見る。以上による総合評価。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	教科書(下記参照のこと)		
その他特記事項	本科目は、幼稚園教諭免許状や保育士資格の取得特例制度に基づいて開設されています。特例制度の適用に該当しない方は受講いただけませんのでご注意ください。 ※受講に関しては、選考の上履修を許可することとなりますのでご了承ください。 現在、幼稚園・保育所(園)にお勤めの方は、「京カレッジ志望理由書」に、施設名と所在地(住所)を含めて記入してください。 ※履修許可後、各大学・短期大学における履修手続の際、所有資格証明(「幼稚園教諭免許状(写)」または「保育士証(写)」)の提出が必要となります。ご注意ください。		
講義概要・到達目標	【授業テーマ】 「子どもと関わる人間学」—現代社会における保育者としての人間のあり方・生き方を省察する— 【授業概要】 保育者としての役割・責任・倫理、制度の根本にある本質を省察する。省察するとは自分の身に引き当てて考えることである。保育者として根本的に何が大切なことであるのか、何が問われているのか、幼児教育(保育)に携わることを本質は何であるのか、広く深く理解する。〈援助〉〈かわり〉の根本に問われていることを考えながら、子どもに関わる自己自身の在り方を省察する。 【学習到達目標】 現代社会において、保育者の位置・意義・役割等の根本において問われていることを省察することによって、子どもに関わる人間として何が大切なことであるかを広く深く考え、保育の道を歩むことの意義を再確認する。		

講義スケジュール	
第1回：ガイダンス—人間学としての保育者論について—	
第2回：保育と教育—育ての心—	
第3回：現代社会における保育者（幼児教育者）の位置・役割について	
第4回：保育者（幼児教育者）の職務の本質	
第5回：保育（幼児教育）における（関わり）（援助）について（1）生活というもの	
第6回：保育（幼児教育）における（関わり）（援助）について（2）家庭という場	
第7回：保育（幼児教育）における（関わり）（援助）について（3）園という場	
第8回：保育（幼児教育）における（関わり）（援助）について（4）遊びの本質	
第9回：保育（幼児教育）における（関わり）（援助）について（5）子どもの心	
第10回：保育（幼児教育）における（関わり）（援助）について（6）誘導保育法	
第11回：保育（幼児教育）における（関わり）（援助）について（7）誘導保育法	
第12回：保育者（幼児教育者）としての成長について（1）自尊心	
第13回：保育者（幼児教育者）としての成長について（2）人間教育	
第14回：保育者（幼児教育者）としての成長について（3）自己教育	
第15回：まとめ	
教科書	『(倉橋惣三文庫3)育ての心 上』『(倉橋惣三文庫4)育ての心 下』 倉橋惣三著（フレーベル館） *事前に各自で購入して受講してください。
参考書	『倉橋惣三選集』全5巻（フレーベル館）、 『倉橋惣三 その人と思想』坂元彦太郎著（フレーベル館）、 『子どもに生きた人・倉橋惣三—その生涯・思想・保育・教育—』森上史朗著（フレーベル館） 『保育援助論』小川博久著（生活ジャーナル）

E502 教育制度論（日本国憲法を含む）

科目等履修生

英文科目名			
大学名	大谷大学短期大学部		
連絡先	教務課 TEL 075-411-8117 FAX 075-411-8150		
担当教員	中島千恵		
開講日程	2016年5月8日（日）、5月15日（日）、5月22日（日）、 5月29日（日）、6月5日（日） 2～4講時 10：50～16：00		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	受講料 30,000円（1単位あたり15,000円）		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	110	京カレッジ定員	110
試験・評価方法	コメントカード（10点×5回）50% 筆記試験（授業内試験）50%		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			

その他特記事項	【教員からのコメントとお願い】 お昼時間が限られているので（30分程度）、お弁当とドリンクを持参してください。
	*** 本科目は、幼稚園教諭免許状や保育士資格の取得特例制度に基づいて開設されています。特例制度の適用に該当しない方は受講いただけませんのでご注意ください。 ※受講に関しては、選考の上履修を許可することとなりますのでご了承ください。 現在、幼稚園・保育所（園）にお勤めの方は、「京カレッジ志望理由書」に、施設名と所在地（住所）を含めて記入してください。 ※履修許可後、各大学・短期大学における履修手続の際、所有資格証明（「幼稚園教諭免許状（写）」または「保育士証（写）」）の提出が必要となります。ご注意ください。
講義概要・到達目標	
【授業テーマ】 幼児期の保育を保障する制度と仕組み（含：日本国憲法）	
【授業の概要】 保育の新システムが打ち出され、日本の保育界は急激な変化を経験しつつある。次々と打ち出される改革によって、乳幼児期の保育や教育に携わる諸施設は新たな経営や対応を迫られている。本授業では、まず、従来の保育制度を支える基本理念や仕組みを理解した上で、近年の保育制度改革がどのような基本理念で、何を变え、または変えようとしているのかを学ぶ。同時に、改革の背景にある社会や保育観の変化、改革に伴う葛藤や諸問題について学び、変動が激しい社会における保育の課題や保育者の使命について考える。	
【専門的学習目標】 幼児期の保育・教育制度の基本理念や仕組みと変化がわかる 保育制度や運営に関する基本事項を説明できる。変化の中の児童と保護者の保育ニーズについて視野が広がる。保育環境の変化による園経営への影響や変化がわかる。保育士や幼稚園教諭が置かれている社会状況を理解し、議論できる。保育の保障と質の向上に対する意識を高め、実践に活かせる。	
【汎用的学習目標】 社会の変化や社会問題、社会の仕組みに対する意識を高め、実生活に活かす態度が身につく。議論する姿勢を培う。自分の意見を文章で簡潔かつ効果的に表現する力を培う。	
【授業方法】 講義が基本であるが、毎日、20～30分のトークセッションを持ち、特定のトピックについて自由に経験や意見を語り、トピックに関する理解を深める。	
講義スケジュール	
I. イントロダクション 第1回：なぜ私たちはここに居るの？（保育者の資格と養成） 第2回：保育制度の歴史を振り返る 第3回：子どもの権利保障における行政の役割	
II. 保育制度の基本理念と仕組み 第4回：保育施設の普及、現状、概要 第5回：保育を支える法令 第6回：子どもの権利保障と保育の質保障の仕組み	
III. 保育施設の財政と課題 第7回：幼稚園、保育所、認定こども園を支える財政 第8回：幼稚園、保育所、認定こども園の保育料 第9回：家庭的保育とその財政	
IV. 保育の制度的課題 第10回：子どもと家族の状況 第11回：待機児童問題、認可外保育施設、規制緩和 第12回：保育所の経営改革	
V. 子ども子育て新システム 第13回：新システム導入の背景 第14回：新システムの基本理念と概要 第15回：まとめ	

教科書	特に定めませんが、参考文献をテキストとして購入すると内容を理解しやすい。
参考書	『保育白書2015』全国保育団体連絡会(ひとなる書房) 『未来に生きる教育学:変動期の教育の構築』田中、越後、中島(あいり出版)2015年 ※『保育白書』は毎年、8月に最新版が発行されます。

第07回 保育実践を通して指導計画から教育課程を展望する 5歳児編	
第08回 特色ある幼稚園づくりと教育課程	
教科書	幼稚園教育要領解説書(文部科学省)フルーベル館 保育所保育指針解説書(厚生労働省)フルーベル館 テキストは当日までに各自で揃えて第1回授業にご持参ください。
参考書	京都教育大学附属幼稚園教育課程(授業時に希望者に販売予定)

E503 教育課程論

科目等履修生

英文科目名	Curriculum		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター修学担当 TEL075-325-5307 FAX075-325-5317		
担当教員	鍋島恵美(こども教育学科教授)		
開講日程	2016年08月06日(土)10時50分~14時10分(2講時~3講時)、08月13日(土)10時50分~16時00分(2~4講時)、08月20日(土)10時50分~16時00分(2~4講時)		
単位数	1	開講区分	夏期集中
受講料	科目等履修生(履修料10,000円、選考料 科目数を問わず10,000円)特例科目につき、履修許可後、選考料・履修料を納入して下さい。		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	100	京カレッジ定員	100
試験・評価方法	出席及び授業中のレポートによる		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>※この科目は、幼稚園教諭免許状および保育士資格併有へむけた特例制度に該当する方のみを対象としています。</p> <p>それ以外の方の受講はできませんので、ご注意ください。</p> <p>※受講に関しては、選考の上履修を許可することとなりますのでご了承ください。</p> <p>現在、幼稚園・保育所(園)にお勤めの方は、「京カレッジ志望理由書」に、施設名と所在地(住所)を含めて記入してください。</p> <p>※履修許可後、各大学・短期大学における履修手続きの際、所有資格証明(「幼稚園教諭免許状(写)」または「保育士証(写)」)の提出が必要となります。ご注意ください。</p> <p>受講生の実践された保育計画やあれば保育所保育課程を持参してください。</p>		
講義概要・到達目標	<p>【講義概要】 保育における教育課程の考え方を、幼児の発達の特徴に応じた保育を幼児の主体性と意図的な環境構成から概説し、教育課程の編成についての基本的な考え方を解説する。また、保育所保育課程の考え方についても解説する。具体的な指導計画・教育課程などの資料に基づいて、討論(ワークショップ)も含めて、学べるように配慮する。</p> <p>【到達目標】 幼児期の発達特性を理解し、その園独自のこどもの学びの履歴としての教育課程の編成の基本を理解する。</p>		
講義スケジュール	<p>第01回 教育課程(カリキュラム)とは何か 第02回 保育における教育課程の考え方 第03回 長期指導計画と短期指導計画の考え方 第04回 幼稚園教育要領と教育課程 第05回 保育実践を通して指導計画から教育課程を展望する 3歳児編 第06回 保育実践を通して指導計画から教育課程を展望する 4歳児編</p>		

E504 保育内容指導法

科目等履修生

英文科目名			
大学名	京都西山短期大学		
連絡先	京都西山短期大学 教学課 TEL: 075-951-0023 FAX: 075-954-1637		
担当教員	原田健次・伊藤華野		
開講日程	2016年11月13日(日)~2016年12月04日(日)2~4講時 ※開講13日(日)2~5講時、20日(日)2~4講時、27日(日)2~5講時、12月04日(日)2~5講時、		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	20,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	110	京カレッジ定員	110
試験・評価方法	授業内課題、レポート		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>※この科目は、「幼稚園教諭免許状の取得特例制度」に基づく開設科目です。</p> <p>※受講に関しては、選考の上履修を許可することとなりますのでご了承ください。</p> <p>※現在、幼稚園・保育所(園)にお勤めの方は、「京カレッジ志望理由書」に、施設名と所在地(住所)を含めて記入してください。</p> <p>※履修許可後、各大学・短期大学における履修手続きの際、所有資格証明(保育士証(写))の提出が必要となります。</p> <p>※この科目は、幼稚園教諭免許状および保育士資格併有へむけた特例制度に該当する方のみを対象としています。それ以外の方は受講できませんので、ご注意ください。</p>		
講義概要・到達目標	<p>幼稚園教育は、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行われることを基本としている。各幼稚園においては、関係法令や幼稚園教育要領の示すところに従い教育課程を編成し、幼稚園教諭は、幼児の自発的な活動としての「遊び」が重要な学習であることを考慮し、適切な施設設備の下に、遊びを通じた総合的な指導を組織的・計画的に行っている。そこで、本講義においては、いわゆる5領域の内容について、「遊び」を通じた総合的な指導法について学習することを目的とする。</p>		
講義スケジュール	<p>第01回 保育の基本と内容・方法の理解 第02回 保育内容の歴史的変遷 第03回 幼稚園教育要領の発達観 第04回 幼稚園教育要領での保育内容の構成 第05回 5領域とは 第06回 保育の方法 第07回 子どもの活動の捉え方 第08回 保育の環境・環境構成とは</p>		

第09回	保育者の援助
第10回	遊びを通しての総合的指導
第11回	子どもの主体性と保育の計画
第12回	保育の展開と評価
第13回	関係機関との連携
第14回	保育内容の課題
第15回	まとめ
教科書	講義内で適宜指示する
参考書	

講義スケジュール	
第1回	子どもの「発達の姿」を学ぶ
第2回	現代家族の抱えた問題を学ぶ
第3回	子育て文化を考える
第4回	子育て支援の業務について
第5回	子育て支援の実際
第6回	アセスメントの実際・子どもの観察技法
第7回	事例研究（お母さんの相談室）
第8回	描画法の分析入門

教科書	ワークブック「こころの取り扱い説明書」三畳間文庫 (第1回目の授業で頒布します。なお、ワークブックの頒布代金は450円です。)
参考書	『君はそのままでもいいんじゃないか』佐賀枝夏文 東本願寺出版部 絵本『ぼくはいまここにいる』佐賀枝夏文 東本願寺出版部 『わかってたまるか ウチらの言い分』佐賀枝夏文 東本願寺出版部 *東本願寺境内の販売所で販売しています

E505 保育臨床相談

科目等履修生

英文科目名	
大学名	大谷大学短期大学部
連絡先	教務課 TEL 075-411-8117 FAX 075-411-8150
担当教員	佐賀枝夏文
開講日程	2016年6月18日(土)、6月25日(土)、7月2日(土)、7月9日(土) 2～3講時 10:50～14:10
単位数	1
開講区分	前期・春学期
受講料	受講料 15,000円
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	110
京カレッジ定員	110
試験・評価方法	授業参加(40%)とレポート(60%)
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	教科書(下記参照のこと)
その他特記事項	本科目は、幼稚園教諭免許状や保育士資格の取得特例制度に基づいて開設されています。特例制度の適用に該当しない方は受講いただけませんのでご注意ください。 ※受講に関しては、選考の上履修を許可することとなりますのでご了承ください。 現在、幼稚園・保育所(園)にお勤めの方は、「京カレッジ志望理由書」に、施設名と所在地(住所)を含めて記入してください。 ※履修許可後、各大学・短期大学における履修手続きの際、所有資格証明(「幼稚園教諭免許状(写)」または「保育士証(写)」)の提出が必要となります。ご注意ください。
講義概要・到達目標	<p>【授業テーマ】 乳幼児の発達の姿の理解、「子育て相談」など支援活動の実際について学ぶことをテーマとする。</p> <p>【授業概要】 ワークブック『こころの取り扱い説明書』をもちいて、子育て支援・保育相談の技術編を使い授業をすすめる。子どもの「発達の姿」、子育てと社会の変化、現代家族の抱える問題について学ぶ。そのなかで、子育て相談、母子相談のためのカウンセリング技法について、ワークシートをとおして学ぶ。</p> <p>【学習到達目標】 子どもの発達の姿について基本に立ち返って学習します。子どもの問題行動、その発見について学習します。母子相談のさまざまな事例を通して学習します。傾聴の技法としてのカウンセリングについて学習します。カウンセリングの心得について学習します。これらの学習をとおして「子育て支援」をテーマに学習していただきます。</p>

E506 福祉と養護

科目等履修生

英文科目名	
大学名	京都西山短期大学
連絡先	京都西山短期大学 教学課 TEL: 075-951-0023 FAX: 075-954-1637
担当教員	賞雅 さや子
開講日程	2016年08月18日(木)～2016年08月28日(日) 2～5講時 10時50分～17時50分 ※開講 18日(木) 2～5講時、19日(金) 2～5講時、27日(土) 2～5講時、28日(日) 2～4講時
単位数	2
開講区分	夏期集中
受講料	20,000円
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	110
京カレッジ定員	110
試験・評価方法	授業内課題、レポート
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	
その他特記事項	※この科目は、「保育士資格の取得特例制度」に基づく開設科目です。 ※受講に関しては、選考の上履修を許可することとなりますのでご了承ください。 ※現在、幼稚園・保育所(園)にお勤めの方は、「京カレッジ志望理由書」に、施設名と所在地(住所)を含めて記入してください。 ※履修許可後、各大学・短期大学における履修手続きの際、所有資格証明(幼稚園教諭免許状(写))の提出が必要となります。 ※この科目は、幼稚園教諭免許状および保育士資格併有へむけた特例制度に該当する方のみを対象としています。それ以外の方は受講できませんので、ご注意ください。

講義概要・到達目標	
<p>幼稚園教諭免許を有する者が、特例制度を利用して保育士資格取得に必要な科目の「社会福祉」「児童家庭福祉」「社会的養護」を履修するものである。</p> <p>幼稚園等での勤務経験を考慮し、社会福祉・児童家庭福祉・社会的養護の意義と役割、制度と実施体系及び施設養護の実際等、幼稚園等の勤務経験では得られない内容を中心に学ぶ。</p>	
講義スケジュール	
<p>第01回 社会福祉の基礎概念 第02回 社会福祉の歴史と展開 第03回 社会福祉の制度と実施体系 第04回 社会福祉の援助と方法 第05回 子どもと家庭を取り巻く状況 第06回 児童家庭福祉の基礎概念と展開 第07回 児童家庭福祉の制度と実施体系 第08回 児童家庭福祉の課題 第09回 社会的養護の基礎概念と展開 第10回 社会的養護の制度と実施体系 第11回 社会的養護の実践事例 第12回 児童虐待と養護 第13回 児童福祉施設における子どもと家庭支援事例 第14回 社会福祉援助技術演習 第15回 まとめ</p>	
教科書	福祉と養護（保育士資格取得特例教科目テキストシリーズ） 「福祉と養護」編集委員会：編 みらい：発行 教科書は各自、事前に書店等で購入すること
参考書	

別途負担費用	教科書（下記参照のこと）
	<p>本科目は、認定こども園法の改正に伴い実施される特例制度（※）に基づく科目として開講します。</p> <p>1. 受講に関しては、選考の上、履修を許可することとなりますのでご了承ください。 現在、幼稚園・保育所（園）にお勤めの方は、「京カレッジ志望理由書」に、園名と所在地を含めて記入してください。</p> <p>2. 履修許可後、本学の履修手続きの際に「幼稚園教諭免許状（写）」の提出が必要となりますので、ご留意ください。</p> <p>3. 受講の時点では必要ありませんが、全ての指定科目を履修し、「幼稚園教諭免許状」又は「保育士証」を申請する際には、文部科学省及び厚生労働省が指定する施設において、3年以上かつ4,320時間の実務経験が必要となります。</p> <p>※平成27年度から施行の子ども・子育て支援新制度における新たな「認定こども園制度」への円滑な移行・促進のために、平成31年度末までの間、幼稚園教諭免許状又は保育士資格をお持ちの方のために実施される幼稚園教諭免許状や保育士資格の取得特例制度です。</p> <p>●参考WEBページ 厚生労働省「幼稚園教諭免許状を有する者における保育士資格取得特例」 http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/hoiku/tokurei.html</p>
その他特記事項	

E507 相談支援

科目等履修生

英文科目名	Counseling and Support		
大学名	京都ノートルダム女子大学		
連絡先	京都ノートルダム女子大学 教務部教務課 TEL：075-706-3745 FAX：075-706-3790		
担当教員	安藤和彦 亀田十未代		
開講日程	2016年08月11日（木）～2016年08月30日（火） 2～3講時または2～4講時 ●2016年8月11日（木）（亀田十未代） 2～3講時 10：50～14：10 ●2016年8月12日（金）（亀田十未代） 2～3講時 10：50～14：10 ●2016年8月13日（土）（亀田十未代） 2～4講時 10：50～16：00 ●2016年8月20日（土）（安藤和彦） 2～4講時 10：50～16：00 ●2016年8月21日（日）（安藤和彦） 2～3講時 10：50～14：10 ●2016年8月30日（火）（安藤和彦） 2～4講時 10：50～16：00		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	科目等履修生40,000円（本学卒業生は20,000円）		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	110	京カレッジ定員	110
試験・評価方法	授業参加（20%）とレポート（80%）		
超過時の選考方法	書類選考		

講義概要・到達目標	
<p>1 講義の概要 本科目は、認定こども園法の改正に伴い実施される特例制度に基づく科目として、保育士資格取得を希望する幼稚園教諭免許状保有者を対象として、指定保育士養成施設における「家庭支援論」及び「保育相談支援」の内容を取り上げる講義科目です。</p> <p>2 達成目標 (1) 家族、とりわけ現代の子育て家族の動向について理解を深める。 (2) 子育て家庭を取り巻く社会的状況と支援体制について理解を深める。 (3) 保育における家庭支援・相談支援の意義と役割について理解を深める。 (4) 保育における家庭支援・相談支援の理論と技法について理解を深め、実践力を向上させる。</p>	
講義スケジュール	
<p>第01回 保育相談支援の意義と基本1 第02回 保育相談支援の意義と基本2 第03回 保育相談支援の実際（計画・記録・実施と評価） 第04回 保育所における保育相談支援（事例検討） 第05回 地域で子育てしている保護者の保育相談支援（事例検討） 第06回 児童養護施設における保育相談支援（事例検討） 第07回 障害児施設などにおける保育相談支援（事例検討） 第08回 家庭支援の意義と役割 第09回 子育て支援サービスの概要 第10回 保育所における家庭への支援 第11回 地域の子育て家庭への支援 第12回 子ども虐待のある家庭への支援 第13回 障害のある子どもの家庭への支援 第14回 関係機関・専門職との連携 第15回 まとめ</p>	
教科書	「保育士資格取得 特例科目テキストシリーズ 相談支援」 （「相談支援」編集委員会編、発行所株式会社みらい） ISBN 978-4-86015-333-5 C3036 ＊事前に各自で購入して受講してください。
参考書	

E508 保健と食と栄養

科目等履修生

英文科目名			
大学名	大谷大学短期大学部		
連絡先	教務課 TEL 075-411-8117 FAX 075-411-8150		
担当教員	<保健分野> 西園貞子 <食と栄養分野> 豊原容子		
開講日程	<保健分野> 2016年8月6日(土)、8月7日(日) 2~3講時 10:50~14:10 2016年8月9日(火) 2~4講時 10:50~16:00 <食と栄養分野> 2016年8月23日(火)、8月24日(水) 3~5講時 12:40~17:50 2016年8月25日(木) 3~4講時 12:40~16:00		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	受講料 30,000円(1単位あたり15,000円)		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	110	京カレッジ定員	110
試験・評価方法	試験50%程度、授業参加50%程度		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	教科書(下記参照のこと)		
その他特記事項	本科目は、幼稚園教諭免許状や保育士資格の取得特例制度に基づいて開設されています。特例制度の適用に該当しない方は受講いただけませんのでご注意ください。 ※受講に関しては、選考の上履修を許可することとなりますのでご了承ください。 現在、幼稚園・保育所(園)にお勤めの方は、「京カレッジ志望理由書」に、施設名と所在地(住所)を含めて記入してください。 ※履修許可後、各大学・短期大学における履修手続の際、所有資格証明(「幼稚園教諭免許状(写)」)または「保育士証(写)」の提出が必要となります。ご注意ください。		
講義概要・到達目標	【授業テーマ】 「子どもの健康と保育」「安全管理」「食育の基本と内容」 【授業概要】 <保健分野> 1.子どもの健康 2.子どもの発育に関する基本的知識 3.乳幼児に特徴的な疾病や事故 4.保健・衛生管理と安全管理 5.栄養に関する基本的知識 6.子どもの発育・発達と食生活 7.食育の基本と内容 8.特別な配慮を要する子どもの食と栄養 <食と栄養分野> 小児にとって、食生活は単に栄養補給にとどまらず、情緒面などの成長・発達にも影響を及ぼす重要なものである。本講義では、食生活に関する基本的な知識や小児の食生活の問題点などについて学び、正しい小児の食生活を理解し、小児が正しい食生活を営むことができる力をつけていくための食育の進め方などについても考えていく。 【学習到達目標】 <保健分野> 1.子どもの身体発育を生理機能及び運動機能並びに精神機能の発達と関連づけて理解できる。 2.子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義が理解できる。		

- 3.子どもの疾病とその予防法及び適切な対応について理解し、具体的な対応策が説明できる。
 - 4.子どもの精神保健の現状を理解し、その課題等を説明できる。
 - 5.保育における環境及び衛生管理並びに安全管理の意義を理解し具体的な対応策が説明できる。
 - 6.施設等における子どもの心身の健康及び安全の実施体制の課題を理解し解決策を考案できる。
- <食と栄養分野>
- 1) 栄養に関する基礎的事項を理解できる。
 - 2) 小児の食生活のありかたについて正しい把握ができる。
 - 3) 子どもたちの食生活を正しく指導していくことができる。

講義スケジュール	第1回:子どもの成長と発達と評価指標(発育の原則、形態的発達、運動発達、発達評価) 第2回:子どもの健康状態の把握と主な疾病の特徴 第3回:子どもの生活環境と精神保健・子どもの心の健康とその課題 第4回:保育環境整備と保健 第5回:母子保健対策と保育 第6回:保育現場における衛生管理 第7回:保育現場における事故防止及び安全対策並びに危機管理 第8回:栄養の基礎Ⅰ(栄養素の種類とその役割について) 第9回:栄養の基礎Ⅱ(必要な栄養素を満たすための食事について) 第10回:乳児期の栄養の特性(母乳栄養、人工栄養の特徴について) 第11回:離乳の進め方(離乳の必要性和離乳食の進め方と留意点について) 第12回:幼児期・学童期の栄養の特性(幼児・学童期の食の特徴、食事摂取基準と食構成および献立作成時の留意点について) 第13回:特別な配慮を要する子どもの食生活の実際(食物アレルギーや疾病のある子どもへの対応、障害のある子どもへの対応について) 第14回:食育の基本(食育により培っていく力とそれを培う内容について) 第15回:食育計画について(食育指導計画の立て方、家庭・地域との連携について)
教科書	<保健分野> 『これならわかる!子どもの保健演習ノート 改訂第2版』小林美由紀、診断と治療社(2160円) ※事前に各自で購入して受講してください。 <食と栄養分野> 『子どもの食と栄養演習 第2版「日本人の食事摂取基準(2015年版)対応」』(小川雄二)建帛社 *本書は、2015年4月に刊行されたものです。 2011年出版のものとは異なりますので注意してください。 建帛社のHP(http://www.kenpakusha.co.jp/np/index.html)より購入できます。 ※事前に各自で購入して受講してください。
参考書	

E509 乳児保育

科目等履修生

英文科目名	Day care for infants		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター-修学担当 TEL075-325-5307 FAX075-325-5317		
担当教員	和田幸子(こども教育学科准教授)		
開講日程	2016年08月02日(火)10時50分~17時50分(2講時~5講時) 2016年08月03日(水)10時50分~17時50分(2講時~5講時) 2016年08月04日(木)10時50分~17時50分(2講時~5講時) 2016年08月05日(金)10時50分~16時00分(2講時~4講時)		
単位数	2	開講区分	夏期集中

受講料	科目等履修生（履修料20,000円、選考料 科目数を問わず10,000円）特例科目につき、履修許可後、選考料・履修料を納入して下さい。
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	50 京カレッジ定員 50
試験・評価方法	出席・ワークショップ/討議へ参加・授業中のレポート
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	
その他特記事項	<p>※この科目は、幼稚園教諭免許状および保育士資格併有へむけた特例制度に該当する方のみを対象としています。それ以外の方の受講はできませんので、ご注意ください。</p> <p>※京都西山短期大学の『乳児保育』と重複しての出席はできません。</p> <p>※受講に関しては、選考の上履修を許可することとなりますのでご了承ください。</p> <p>現在、幼稚園・保育所（園）にお勤めの方は、「京カレッジ志望理由書」に、施設名と所在地（住所）を含めて記入してください。</p> <p>※履修許可後、各大学・短期大学における履修手続きの際、所有資格証明（「幼稚園教諭免許状（写）」または「保育士証（写）」）の提出が必要となります。ご注意ください。</p> <p>受講生の実践された保育計画やあれば保育所保育課程を持参してください。</p> <p>・ワークショップも行ないますので動きやすい服装で参加してください。</p> <p>・乳児にしてあげたいと思う「えかきうた」を一つ、調べてきてください。</p>
講義概要・到達目標	<p>【講義概要】 乳児保育に関する理念の変遷、新生児期からの子どもと養育者との関わりと育ちをたどり、児童福祉施設における3歳未満児の保育を担当する保育者の役割を理解していく。</p> <p>【到達目標】 1.乳児は養育者や保育者に関わってもらうことによって育つ存在であることを知る。 2.乳児期の子どもの食事、排泄、生活リズムなどの発達と援助、健康、安全について知る。 3.乳児の発達に即した保育内容と環境づくりを理解する。</p>
講義スケジュール	<p>1.子どもが生まれるということ 2.乳児の発達と保育内容（6ヶ月未満） 3.乳児の発達と保育内容（6ヶ月～1歳3ヶ月頃） 4.乳児の発達と保育内容（1歳3ヶ月～2歳頃） 5.乳児の発達と保育内容（2歳） 6.乳児保育の一日と育児担当制 7.乳児保育の環境づくり 8.遊びにおける保育者との関わり 9.乳児期の健康、安全 10.乳児保育の実践①（発声・からだの動き・手指の動きを促す関わり） 11.乳児保育の実践②（排泄とその援助） 12.乳児保育の実践③（伝承遊びに焦点を当てて） 13.子守唄の源流 14.乳児との応答的関わり 15.育ちの見通しをもつことについて</p>
教科書	園と家庭を結ぶ「げんき」編集部『乳児の発達と保育』エイデル研究所（各自でご用意ください）
参考書	

E510 乳児保育（京都西山短期大学）			
科目等履修生			
英文科目名			
大学名	京都西山短期大学		
連絡先	京都西山短期大学 教学課 TEL：075-951-0023 FAX：075-954-1637		
担当教員	池内 昌美		
開講日程	2016年08月16日（火）～2016年08月31日（水） 2～5講時 10時50分～17時50分 ※開講8月16日（火）2～5講時、17日（水）2～5講時、 26日（金）2～5講時、31日（水）2～4講時		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	20,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	50	京カレッジ定員	50
試験・評価方法	授業内課題、レポート		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	テキスト代：本体¥2,200+税		
その他特記事項	<p>※この科目は、「保育士資格の取得特例制度」に基づく開設科目です。</p> <p>※受講に関しては、選考の上履修を許可することとなりますのでご了承ください。</p> <p>※現在、幼稚園・保育所（園）にお勤めの方は、「京カレッジ志望理由書」に、施設名と所在地（住所）を含めて記入してください。</p> <p>※履修許可後、各大学・短期大学における履修手続きの際、所有資格証明（幼稚園教諭免許状（写））の提出が必要となります。</p> <p>※この科目は、幼稚園教諭免許状および保育士資格併有へむけた特例制度に該当する方のみを対象としています。それ以外の方は受講できませんので、ご注意ください。</p>		
講義概要・到達目標	<p>0～3歳未満児の各時期の発達の特徴について理解するとともに、健やかな成長を支える3歳未満児の生活と遊びについても理解する。また、乳児を集団で保育することについての現状と課題について学び、多様なニーズに対応する今後の保育所のあり方についても目を向け、乳児保育における保育者が担う役割を認識する。</p>		
講義スケジュール	<p>第01回 乳児保育の理念 第02回 6か月未満児の発達と保育内容 第03回 6か月から1歳3か月未満児の発達と保育内容 第04回 1歳3か月から2歳未満児の発達と保育内容 第05回 2歳児の発達と保育内容 第06回 保育所における乳児保育 第07回 乳児院における乳児保育 第08回 家庭的保育などにおける乳児保育 第09回 乳児や家庭を取り巻く環境と子育て支援の場 第10回 乳児保育における基本的な知識・技術における援助や関わり 第11回 赤ちゃんの事故とその予防 第12回 乳児や家庭を取り巻く環境と子育て支援 第13回 保護者とのパートナーシップ 第14回 保健・医療機関などの関係機関との連携 第15回 授業全体のまとめ</p>		
教科書	乳児保育（保育者養成シリーズ） 中野由美子 他：編 一藝社：発行 教科書は当日教室でお渡しします。 代金、本体¥2,200+税をご準備ください。		
参考書			

E601 コミュニケーション論

聴講生

英文科目名	Communication Skill		
大学名	京都文教短期大学		
連絡先	教務課 TEL0774-25-2411 FAX0774-25-2455		
担当教員	森川知史 (ライフデザイン学科 教授)		
開講日程	2016年04月22日 (金) ~2016年07月28日 (木)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	20,000円		
会場	eラーニング		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	レポート試験/小テスト		
超過時の選考方法	書類選考 (志望理由)		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
確かな人間関係を築き、育てるためのコミュニケーションのあり方を考えたい。他者とコミュニケーションすることで、私たち自身に起こる様々な変化についても考えたい。私たちが日常的に行っているコミュニケーションについて、改めて見つめ直し、考え直すきっかけにしたい。			
講義スケジュール			
第01回 はじめに 第02回 ことばとはなにか 第03回 ことばと身体 第04回 ことばと身体のコミュニケーション 第05回 交流としてのコミュニケーション 第06回 モノとイメージのコミュニケーション 第07回 コミュニケーションのダイナミズム 第08回 意味とコミュニケーション 第09回 コミュニケーションのいま 第10回 メディアとコミュニケーション 第11回 「わたし」とコミュニケーション 第12回 よりよいコミュニケーション 第13回 同質な群れからの脱出 第14回 人間関係をどう育てるか 第15回 まとめ			
教科書	「確かな人間関係のためのコミュニケーション論」 森川知史、京都書房		
参考書	特になし。		

授業定員	50	京カレッジ定員	25
試験・評価方法	各回のまとめレポート、中間レポート、学期末レポート		
超過時の選考方法	書類選考 (志望理由)		
別途負担費用			
その他特記事項	「インド仏教史 (仲宗根)」修得者は履修できません。		
講義概要・到達目標			
インド仏教史、およびチベット、スリランカ、東南アジア地域の仏教史、さらにはわたしたちにもかかわりの深い日本の仏教史に関する基本的な知識を身につけることを目標とする。			
講義スケジュール			
第01回 はじめに、仏教興起以前のインド 第02回 ブッダの生涯 (1) 誕生・青年時代・出家 第03回 ブッダの生涯 (2) 成道・梵天勧請 第04回 ブッダの生涯 (3) 初転法輪・最後の旅 第05回 初期仏教と部派仏教 第06回 大乘仏教の興起 第07回 大乘仏教の教理 第08回 チベットにおける仏教の歴史 第09回 スリランカにおける仏教の歴史 第10回 東南アジアにおける仏教の歴史 (1) 第11回 東南アジアにおける仏教の歴史 (2) 第12回 日本における仏教公伝と飛鳥時代の仏教 第13回 奈良時代~平安時代の仏教 第14回 鎌倉時代~室町時代の仏教 第15回 まとめ			
教科書	特になし。		
参考書	(1) 中村元・田辺和子『ブッダ物語』, 岩波書店, 1990年。 (2) 三枝充憲『仏教入門』, 岩波書店, 1990年。 (3) 中村元・三枝充憲『バウッタ [佛教]』, 講談社, 2009年。 (4) 松尾剛次『仏教入門』, 岩波書店, 1999年。 (5) 末木文美士『日本仏教史』, 新潮社, 1996年。		

E602 仏教学入門

聴講生

英文科目名	A Brief History of Buddhist Studies		
大学名	京都文教短期大学		
連絡先	教務課 TEL0774-25-2411 FAX0774-25-2455		
担当教員	仲宗根充修 (幼児教育学科 准教授)		
開講日程	2016年09月27日 (火) ~2017年01月31日 (火)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	20,000円		
会場	eラーニング		

F001 特殊講義「運動と栄養と暮らしをエネルギーから考える」/ZB

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Special Lectures		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】 TEL: 075-466-3350		
担当教員	海老久美子		
開講日程	2016年8月30日(火)～2016年9月2日(金) 8月30日(火): 2～4時限 10:50～16:00 8月31日(水)、9月1日(木): 1～4時限 9:00～16:00 9月2日(金): 大阪ガス施設での開講となるため別途指示する。 <教室案内> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生: 42,800円 ・聴講生: 25,400円		
会場	キャンパスプラザ京都、他		
授業定員	30	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	【平常点評価】100% 原則、全授業出席者のみを評価の対象とする。 評価は以下で行なう。 1) 毎回の授業の終わりに実施する小テスト(60%) 2) 最終レポート(40%)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	調理実習費用として1500円を徴収します。		
その他特記事項	※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。 【諸手続】(単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html		

講義概要・到達目標

【授業の概要と方法】

人が生きていくためにはエネルギーが必要である。脳や身体を動かすためにはエネルギーを消費し、その分のエネルギーを私たちは食べることで摂取している。また、生きるための暮らしの中でも、色々なエネルギーが必要であり、そのためのエネルギーを生産している。ここでは、これら人が生きていくために必要なエネルギーという視点から、運動と栄養と暮らしについて考える。

【受講生の到達目標】

以下の視点からエネルギーを理解することができる。
1) 運動の視点から人の消費エネルギーについて、運動の種類によるエネルギーの違い、エネルギー消費量の測定方法を理解できる。
2) 栄養の視点からエネルギー源となる三大栄養素について、またそれらと微量栄養素の関係について理解できる。
3) 暮らしの中のエネルギーについて、その種類、生産と消費、エコロジー等について理解できる。
4) 生活の中で実際にどのようにエネルギーを使っているのかについて理解できる。

講義スケジュール

- 1 エネルギーについて考える: ガイダンス (担当: 立命館大学/大阪ガス株式会社)
- 2 暮らしの中のエネルギー (担当: 大阪ガス株式会社)
- 3 エネルギーの作り方 (担当: 大阪ガス株式会社)
- 4 エネルギーの使い方 (担当: 大阪ガス株式会社)
- 5 運動の消費エネルギー (担当: 立命館大学スポーツ健康科学部 藤田教授)
- 6 有酸素運動・無酸素運動 (担当: 立命館大学スポーツ健康科学部 藤田教授)
- 7 身体の消費エネルギー量の測定方法 (担当: 立命館大学スポーツ健康科学部 家光教授)
- 8 運動と暮らしの中の身体活動の消費エネルギーについて (担当: 立命館大学スポーツ健康科学部 家光教授)
- 9 食事の摂取エネルギー (担当: 立命館大学スポーツ健康科学部 海老)
- 10 エネルギー源となる三大栄養素について (担当: 立命館大学スポーツ健康科学部 海老)
- 11 微量栄養素とエネルギーの関係 (担当: 立命館大学スポーツ健康科学部 海老)
- 12 身体活動と食事の関係 (担当: 立命館大学スポーツ健康科学部 海老)
- 13 暮らしの中のエネルギーを測定する (実習; 会場Hug+M/担当: 大阪ガス株式会社)
- 14 調理を通じてエネルギーを考える (実習; 会場Hug+M/担当: 大阪ガス株式会社)
- 15 これからのエネルギーを考える (会場Hug+M/担当: 大阪ガス株式会社・立命館大学スポーツ健康科学部)

教科書

参考書

F002 消化管のサイエンス

科目等履修生

英文科目名	The Science of Alimentary Tract		
大学名	京都薬科大学		
連絡先	教務課 TEL: 075-595-4613 FAX: 075-595-4792		
担当教員	竹内 孝治 (京都薬科大学名誉教授)		
開講日程	2016年04月09日(土)～2016年07月16日(土) 2講時 10時50分～12時20分 (毎週土曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科 20,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	60	京カレッジ定員	10

試験・評価方法	レポート提出
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	なし
その他特記事項	
講義概要・到達目標	
胃、十二指腸、小腸など、消化管の働きに関して、様々な研究も含めて紹介し、さらに薬剤の副作用として生じる様々な消化管障害、ならびに治療薬について解りやすく説明する。	
講義スケジュール	
1.総論：消化管の働きに関する様々な研究の紹介と講義全体の概要 2.攻撃因子（1）：胃酸分泌の調節と酸分泌抑制薬 3.攻撃因子（2）：胃酸分泌の調節と酸分泌抑制薬 4.防禦因子（1）：プロスタグランジンによる粘膜保護 5.防禦因子（2）：一酸化窒素による粘膜保護 6.防禦因子（3）：カプサイシン感受性知覚神経を介する保護作用 7.防禦因子（4）：重炭酸イオン分泌の調節と分泌促進薬 8.防禦因子（5）：重炭酸イオン分泌の調節と分泌促進薬 9.防禦因子（6）：胃粘膜血流（粘膜保護における重要性） 10.薬の副作用による消化管障害（1）：非ステロイド系抗炎症薬 11.薬の副作用による消化管障害（2）：非ステロイド系抗炎症薬 12.薬の副作用による消化管障害（3）：骨粗鬆症薬と抗うつ薬 13.薬の副作用による消化管障害（4）：抗血栓薬による胃出血の増大 14.消化管障害モデルを使用した抗潰瘍薬の評価（1） 15.消化管障害モデルを使用した抗潰瘍薬の評価（2）	
教科書	なし
参考書	なし

F003 子どもの発達とヨーガ遊び

科目等履修生/聴講生

英文科目名	
大学名	京都西山短期大学
連絡先	教学課 TEL：075-951-0023 FAX：075-954-1637
担当教員	伊藤 華野
開講日程	2016年08月23日（火）～2016年08月25日（木） 1～5講時 09時00分～17時50分（集中講義）
単位数	2
開講区分	夏期集中
受講料	20,000円
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	60
京カレッジ定員	10
試験・評価方法	授業内課題、実技、レポート
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	
その他特記事項	ヨーガマットあるいは大判バスタオル持参
講義概要・到達目標	
本講義では胎児期～思春期に至る主な発達的特徴の理解とヨーガ実技の修得を目的とする。子どもの発達には遊びが重視される。遊びとは本来、主体的意思に基づいた自由で目的の無い行為である。一方、ヨーガはインドに発祥を由来し、瞑想を目的とする実践哲学である。このうち現代人の健康法として広く活用されているハタ・ヨーガを子どもの保育・教育現場に導入する場合、ヨーガ遊びとしての展開は可能となるのであろうか。この講義では子どもの心身の発達を促す遊びとしてのヨーガの具体的実践方法を提案し、環境を通じた保育や教育的配慮のあり方について、受講生と共に考察していきたい。	

講義スケジュール	
第01回子どもの遊びと発達について 第02回子どもとは。ヨーガとは 第03回胎児期の発達的特徴 第04回ベアレントへのヨーガ遊び実技 第05回医療と子どもヨーガの可能性 第06回乳児期の発達的特徴 第07回スキップ・ヨーガあそび実技 第08回幼児期の発達的特徴 第09回模倣遊びとヨーガ実技 第10回福祉と子どもヨーガの可能性 第11回児童期の発達的特徴 第12回お話とヨーガ実技 第13回思春期の発達的特徴 第14回ストレスマネジメントとヨーガ実技 第15回教育と子どもヨーガの可能性	
教科書	『はじめよう! キッズ・ヨーガ 親子で楽しいヨーガあそび』（エンターブレインムック）伊藤華野 著（KADOKAWA/エンターブレイン） 『子どもとおとなのキレイな姿勢をつくる絵本—おんねまあえにまねまねヨーガ』伊藤華野 著（京都通信社）
参考書	

F004 生活の中の仏教

聴講生

英文科目名	Buddhist Culture in Life	
大学名	京都文教短期大学	
連絡先	教務課TEL0774-25-2411 FAX0774-25-2455	
担当教員	林雅清（非常勤講師）	
開講日程	2016年09月27日（火）～2017年01月17日（火） 5講時16：20～17：50（毎週火曜日）	
単位数	2	開講区分 後期・秋学期
受講料	20,000円	
会場	キャンパスプラザ京都	
授業定員	30	京カレッジ定員 10
試験・評価方法	レポート（2000字以上、テーマは授業中に指示、最終授業までの授業中に提出）60%授業中の課題・感想文20%受講態度20%	
超過時の選考方法	書類選考	
別途負担費用		
その他特記事項	単位認定には3分の2以上の出席が必要	
講義概要・到達目標		
私たちの生活の中には、仏教に由来する言葉や行事、あるいはマナーなどが溢れている。また、日本の伝統芸能や音楽などにも、仏教と関係の深いものがたくさんある。この授業では、そのような日本人の生活の中に息づいている「仏教」について紹介していく。		
講義スケジュール		
第01回 日本の中の仏教 第02回 日常会話の中の仏教語1 第03回 日常会話の中の仏教語2 第04回 日本の仏教行事1 第05回 日本の仏教行事2 第06回 仏像の種類と仏教の世界観 第07回 お寺と神社の違い 第08回 葬儀の心得とマナー 第09回 法要の意味と作法 第10回 お墓と仏壇		

第11回 日本の礼儀作法と仏教
 第12回 仏教と音楽1～雅楽～
 第13回 仏教と音楽2～声明～
 第14回 中国と日本のお寺と「信仰」
 第15回 総括

教科書	
参考書	授業中に適宜紹介する。

F005 スポーツってどことなくすり？— 病気に対する運動のはたらき—

科目等履修生

英文科目名	Sports as Medicines : Exercise without Disease		
大学名	京都薬科大学		
連絡先	教務課 TEL : 075-595-4613 FAX : 075-595-4792		
担当教員	濱崎 博 (京都薬科大学名誉教授)		
開講日程	2016年09月24日(土)～2017年01月14日(土) 2講時 10時50分～12時20分 (毎週土曜日)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科 20,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	60	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	出席とレポート (毎時終了時にミニレポートを提出する)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			

講義概要・到達目標

近年のめざましい医療技術進歩や有効な新薬開発は、死亡率を低下させ平均寿命の延長に寄与しています。

このような時代背景から社会には健康ブームが広がり、健康食品、健康産業および健康〇〇といった言葉があふれています。今や我々の一番関心の高い事象といっても過言ではありません。「健康」とは一体何でしょうか？国民の将来を考える「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)」では、第一に「栄養・食生活」をあげ第二に「身体活動・運動」を提案しています。最近では「平均寿命」より「健康寿命」という言葉が重要視されるようになりました。このような超高齢化社会、そして少子高齢化社会において今一度「健康」、「幸福」および「生命」を再考する必要が有ります。

人の身体は60兆の細胞と100兆とも200兆ともいわれる細菌や菌で構成されています。その個々に遺伝情報が入り、それぞれの身体活動を維持するために働いています。世界の総人口が72億人(世界人口白書2014)と言われているから、その約1万倍の細胞が一人の生命維持のために働いていることとなります。

我々の現在の身体は、この世に生を受けてから「食べてきたもの」、「動いてきたこと」によってつくられてきました。一ヵ月前の食事や運動でつくられてきたものではありません。その身体に異常が起きれば「ホメオスタシス」によって、正常な状態に戻ろうと身体の新細胞や細菌などが働きます。決して薬や外科的治療が治すものではありません。

私たちは今一度ミクロの世界に目を向け、自身の細胞、細菌、細菌などが正常に活発に働ける体内環境を整える必要が有ります。

このために「食事」、「運動」そして「心」が健康に生きるためのキーワードとなります。

本講義では、最新の情報を紹介しながら、運動(スポーツ)実践の目的、意義および効果を理解し、スポーツが疾患の予防や改善、服薬減量およびQOL(生活の質)向上に寄与していることを学びます。最終的に受講生の皆さんが実際に運動やスポーツを実践し、より充実した健康生活を築くことができる能力を身につけることを目標とします。

講義スケジュール

A：身体、運動についての基礎的理解を深める
 1講時：なぜ運動が必要か。スポーツとは何か？
 2講時：心拍数(脈拍)とは何か、身体にとってどんな意味があるのか理解する。
 3講時：血圧の意味を理解し、体や病気との関わりを理解する。
 4講時：酸素摂取量の意味や算出方法を理解し、身体活動における意義を考える。
 B：医療の一環として運動を行う運動療法の基礎的理解
 5講時：運動療法における運動の種類、運動強度、運動量について理解する。
 6講時：運動処方原則について理解する。
 C：運動処方の実際：各種疾患と運動について
 7講時：脂肪は悪玉？その働きとメカニズム
 8講時：肥満の治療は減量ではない。体内脂肪を減らすことである。
 9講時：血圧はなぜ高くなるか、高いと何故良くない？
 10講時：降圧に効果的な運動の種類、方法について理解する。
 11講時：脂質異常はどんな疾患か。そのメカニズムを知り、運動が疾患に与える効果を理解する。
 12講時：糖尿病はどんな疾患か。その原因とメカニズムを理解する。
 13講時：糖尿病の怖さを知り、運動が与える効果について理解する。
 14講時：心臓病の原因と身体に与える影響を理解する。
 15講時：心臓病に対する運動の効果を、実践例を見て理解する。

教科書	テキストを配布する
参考書	必要に応じて指示する

F101 社会福祉学特殊講義 VI

科目等履修生

英文科目名	Special Topics in Social Welfare VI		
大学名	龍谷大学短期大学部		
連絡先	教学部 TEL : 075-645-7891 FAX : 075-643-5021		
担当教員	松永 信也 (龍谷大学短期大学部 非常勤講師)		
開講日程	2016年04月14日(木)～2017年01月19日(木) 4講時 15時00分～16時30分 (毎週木曜日) ※土曜授業実施日1回 2016/6/4(土) 15時00分～16時30分		
単位数	4	開講区分	通年
受講料	40,000円		
会場	深草学舎		
授業定員	60	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	平常点30% (授業への積極的な参加、ならびに出席状況で評価。) 小テスト20% レポート50%		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。		

講義概要・到達目標

目的・ねらい

視覚障害当事者である講師の実体験に基づく講義や、視覚障害者へのサポートならびに点字の実習、また実際の福祉現場の見学などを通して、多角的かつ具体的に視覚障害への理解を深め、視覚障害者とのコミュニケーションについて学ぶ。それらを通して、障害者も共に生きる社会への考察を深める。

講義概要

- 1、視覚障害への理解を深める（講義）
- 2、視覚障害者への移動支援の方法（場面別実習）
- 3、点字の読み方・書き方の基礎（実習）
- 4、視覚障害者福祉施設の見学ならびに支援活動体験（フィールドワーク）
- 5、障害者を取りまく現状と、目指すべき社会について考える（ディスカッション）

到達目標

移動支援や点字など、視覚障害者へのサポートおよびコミュニケーション技術の基礎を習得する。そして、障害者も参加しやすい社会についての視点を学び、社会福祉を目指す学生ひとりひとりが、具体的な行動につなげていくことを目標とする。

講義方法

講義形式を中心に、内容に応じて実習や意見交換を行う。フィールドワークとして、学外の福祉現場（京都における視覚障害者支援の拠点である京都ライトハウスや、就労継続支援B型事業所）の見学も実施する。

授業時間外における予・復習等の指示

テーマ理解促進のための予習や、点字習得のための復習などについて、適宜、授業時間内に伝える。

履修上の注意・担当者からの一言

街角で白杖（はくじょう）の人を見かけて、声をかけようかと迷ったことはありませんか？
「見えない世界」を学ぶことで、きっと福祉の心が育つでしょう。

講義スケジュール

- 1回目 視覚障害の正しい理解
- 2回目 視覚障害者の日常生活（DVD視聴）
- 3回目 視覚障害者移動支援の実習（基本姿勢・狹所・椅子への誘導）
- 4回目 視覚障害者移動支援の実習（階段の昇降）
- 5回目 点字（五十音）
- 6回目 点字（濁音・半濁音・拗音など）
- 7回目 点字（単語）
- 8回目 点字（分かち書きなどのルール）
- 9回目 視覚障害者への移動支援の実習（戸外の移動）
- 10回目 視覚障害者と就労（DVD視聴）
- 11回目 視覚障害者の就労継続B型事業所の見学実習1
- 12回目 視覚障害者の就労継続B型事業所の見学実習2
- 13回目 視覚障害者の移動支援（白杖・同行援護・盲導犬）
- 14回目 盲導犬の正しい理解
- 15回目 障害の受容（DVD視聴）
- 16回目 点字（数字）
- 17回目 点字（文章の点訳）
- 18回目 視覚障害者の障害の意味についての考察
- 19回目 障害者差別防止法と合理的配慮
- 20回目 テーブルオリエンテーションの実習
- 21回目 言葉による情報伝達
- 22回目 朗読ボランティアの活動体験
- 23回目 視覚障害者福祉施設の見学実習（京都ライトハウス）1
- 24回目 視覚障害者福祉施設の見学実習（京都ライトハウス）2
- 25回目 点字（年賀状製作）
- 26回目 点字（点字文章の墨訳）
- 27回目 アイマスクによる歩行体験（白杖・手引き）
- 28回目 障害者の心理
- 29回目 視覚障害と趣味
- 30回目 共に生きる社会に向けての提言

教科書	松永 信也 「風になってください ―視覚障害者からのメッセージ」（法蔵館）1,512円 松永 信也 「風になってくださいII ―視覚障がい者からのメッセージ」（法蔵館）1,080円
-----	---

参考書

F107 婚礼文化論

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Culture of Wedding Ceremonies		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター修学担当 TEL075-325-5307 FAX075-325-5317		
担当教員	一岡 里栄（キャリア形成学科 非常勤講師）		
開講日程	2016年04月07日（木）～2016年07月21日（木） 5講時 16時10分～17時30分（毎週木曜日） ※休講 2016/05/05（木・祝）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科目等履修生（履修料20,000円、選考料 科目数を問わず10,000円） 聴講生10,000円（選考料免除）		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	授業態度30%、課題20%、定期試験50%		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	女子のみ受講可 ※受講者人数によって、本学開講科目基準により不開講になる場合があります。 【授業時間外学修（予習・復習等）について】 前回までの講義内容については、必ず復習し、疑問があれば次回授業の冒頭に質問すること。復習時間は約30～1時間が望ましい。		
講義概要・到達目標	【授業テーマ】 婚礼の文化的要素の検証とその歴史から、今後の婚礼の在り方を考察する。 【授業の概要】 婚礼においては今なお、古くからの伝統や慣習が息づいており、その知識の習得は不可欠である。婚礼の慣習やその意味、歴史的背景、また近年加速を増している「欧米化」に伴い、欧米の婚礼の慣習やしきたりについても理解を深める。更にこれらを踏まえて今後の婚礼の在り方を考察する。 【到達目標】 1、婚礼の基礎知識、現状の婚礼市場を理解する 2、日本における婚礼の慣習・しきたりと、欧米の婚礼について理解する 3、習得した基礎知識をもとに今後の婚礼の在り方を考察する		
講義スケジュール	【授業計画】 1、日本の婚礼の歴史 2、婚礼にまつわる慣習 3、結婚観の変容 4、近年の婚礼市場について 5、結納 6、婚礼衣裳 7、婚礼料理 8、挙式スタイル（神前式・仏前式・自宅婚式） 9、挙式スタイル（キリスト教式・人前式） 10、地域における婚礼の慣習の特性 11、欧米の婚姻の歴史 12、欧米における婚礼の慣習・しきたり 13、3大宗教宗派の挙式（カトリック・プロテスタント・ユダヤ教） 14、婚礼における日本と欧米の相違 15、今後の婚礼の在り方		
【授業方法】	レジュメの内容に沿った講義形式で行う。適宜DVD映像を使用する。		
教科書	適宜プリントを配布する。		
参考書			

F108 障害者福祉

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Social Welfare of Persons with Disabilities		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター学修担当 TEL075-325-5307 FAX075-325-5317		
担当教員	佐々木 勝一 (健康科学部医療福祉学科教授)		
開講日程	2016年04月12日(火)～2016年07月26日(火) 4講時 14時30分～16時00分(毎週火曜日) ※休講 2016/05/03(火)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科目等履修生(履修料20,000円、選考料 科目数を問わず10,000円) 聴講生10,000円(選考料免除)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	定期試験(60%)、出席状況(10%)、不定期に実施する小テスト(10%)ト、講義時の積極性(20%)などで総合的に評価します。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>女子のみ受講可。 ※受講者人数によって、本学開講基準により不開講になる場合があります。</p> <p>【授業時間外学修(予習・復習等)について】 前回の授業内容を必ず復習してください。疑問があれば、次回の授業時に積極的に尋ねてください。</p> <p>日常から、障がいをもつ人たちへの関心を持って、ボランティアへの積極的な参加を求めます。</p>		
講義概要・到達目標	<p>【授業テーマ】 障がいをもつひとたちに対する教育、就労など生活全般に関係する法・施策の現状と課題への理解を深め、支援のあり方について知識と感性、技術を高めます。また、関係する社会福祉関係法や施策への理解を深めることも目的とします。</p> <p>【授業の概要】 心身に障がいをもつ人たちの生活理解、援助のあり方、法・施策、現状について学び、その課題についても考えます。また、関係法への理解を深めることで、就労支援や権利擁護が重視される今後のノーマライゼーション社会の構築に必要な意識を広めるためには何が必要なのかを深慮し、援助者として求められる視点に気付くことが講義の主旨です。</p> <p>【到達目標】 障がい児・者に対して、積極的な関わり、社会で共生する対等な関係を築くことが出来るようになることです。</p>		
講義スケジュール	<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション、障がい者福祉制度の意義について 2.障がいの概念と実態、社会福祉法制度について、歴史的経緯と現代の認識 3.障がい者福祉の歴史、特にわが国の第二次大戦後の経緯(関係法制度の成立背景など) 4.福祉サービスの体系、法制度の経緯と現状説明 5.国際的動向、特に北欧とアメリカの歴史的経緯 6.環境と意識、一般社会の「障がい観」への考察と解決すべき偏見・差別への気づき 7.教育に関係する法・施策 8.就労に関係する法・施策 9.住環境とまちづくりに関係する法・施策、「福祉のまちづくり」の効果と課題 10.社会保障と社会資源、年金、手当てなどの理解と生活支援について 		

- 11.事例(身体、知的に障がいをもつ人を事例として)
- 12.事例(精神に障がいをもつ人たちを事例として)
- 13.コンシューマー、アドボカシー、エンパワメントなど新たな分析視点からの理解
- 14.権利擁護、自己決定、生活モデル、QOLなど今後のノーマライゼーション社会構築に必要な視点
- 15.ICF、難病を代表に障がいカテゴリーへの考察、まとめ

【授業方法】

講義形式を主体としつつ、適時ビデオ学習やゲストスピーカーを招いて理解を深めます。

教科書	『新版・社会福祉士養成講座 障害者福祉論』福祉士養成講座編集委員会編集、中央法規出版社、2,500円
参考書	『障害者施設研究 序説』佐々木勝一著、学文社、1,600円

F109 免疫学

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Immunology		
大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL: 075-705-1985 FAX: 075-705-1582		
担当教員	中田 博 (総合生命科学部)		
開講日程	2016年04月08日(金)～2016年07月22日(金) 2講時 10時45分～12時15分(毎週金曜日) ※開講 2016/04/29(金) ※休講 2016/05/06(金)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科 25,000円 聴 17,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	150	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	定期試験50%、レポート30%、平常点(講義のまとめの提出)20%		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	履修上の注意 講義開始時に、毎回講義内容をまとめるペーパーを配布し、出席の確認とする。		
講義概要・到達目標	<p>講義概要</p> <p>生体は様々な病原菌に遭遇する危険にさらされている。それらの病原菌を処理することを無くしては、生体の維持は困難である。本講義では、免疫学の基本である体液性免疫および細胞性免疫について解説する。また、バイオテクノロジーの基本的な技術の一つである単クローン抗体の作成技術およびその理論的背景について解説する。さらに、近年研究の進んでいる自然免疫についても述べる。</p> <p>授業の到達目標</p> <p>基本的な免疫機構を理解すること</p> <p>身に付く力</p> <p>免疫学の内容は日常的に見られる現象として実感できる場合が多い。出来るだけ多くの機会をとらえ、自由課題を課し討論の題材とする。ディベートを通してコミュニケーションスキルを高める。</p>		
講義スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 免疫学の歴史 2. 免疫細胞の種類と機能 3. 抗体の構造と機能 4. 抗原と抗原抗体反応 		

5. 抗体の多様性をもたらすメカニズム
6. 単クローン抗体の作成技術
7. 抗体を利用した様々な技術
8. T細胞の分化・成熟
9. T細胞の種類と機能
10. 主要組織適合性抗原
11. 抗原提示
12. TおよびB細胞の抗原刺激に伴う情報伝達
13. 免疫抑制剤の作用機構
14. 補体
15. 自然免疫

準備学習等（事前・事後学習）

準備学習：事前に講義のキーワードや中心となる生体分子を示し、化学構造などについて参考図書などで自習する。

事後学習：当日の講義内容のまとめを次回の講義時に提出する。

教科書	
参考書	笹月健彦『免疫生物学』（南江堂）

- 第3回 医療制度（医療保険制度の概要）
- 第4回 医療制度（介護保険分野）
- 第5回 医療制度（医療法と医療法人制度）
- 第6回 医療制度（医療・介護総合改革）
- 第7回 中間まとめと理解度の確認
- 第8回 医療経営（人的資源管理）
- 第9回 医療経営（業務管理）
- 第10回 医療経営（資金管理）
- 第11回 医療経営（リスク管理）
- 第12回 医療技術評価の基礎
- 第13回 医療技術評価の基礎
- 第14回 外部講師による特別講演（予定）
- 第15回 講義全体のまとめと理解度の確認

教科書	使用しない
参考書	1. 医療・介護問題を読み解く 池上直己 日経文庫 2014 2. 医療の選択 桐野高明 岩波新書 2014 3. 2015年版イラスト図解医療費の仕組み 木村憲洋、川越満 日本実業出版社 2014 4. 医療政策を問いなおす 島崎謙治 ちくま新書 2015 5. 医療経営白書2015-16年版 ヘルスケア総合研究所 日本医療企画 2015

F110 医療経営入門

科目等履修生

英文科目名	Introduction to Management of Medical Service		
大学名	京都橘大学		
連絡先	学務第1課 TEL：075-574-4324 FAX：075-574-4134		
担当教員	高山 一夫（現代ビジネス学部現代マネジメント学科教授）		
開講日程	2016年04月07日（木）～2016年08月03日（水） 1講時 09時00分～10時30分（毎週木曜日）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科32,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	80	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	小テスト（50%）授業中課題（25%）参加度（25%）		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	病気等により遅刻・欠席する場合は、遅滞なく担当教員に連絡すること。また、授業中に紹介した参考書などを積極的に読むとともに、新聞や雑誌の医療記事に目を通す習慣をつけること。		
講義概要・到達目標			
【テーマ】 医療経営についての入門科目			
【授業の到達目標】 医療経営とその背景をなす医療制度と医療技術について、基礎的な知識を獲得する			
【授業の概要】 医療制度、医療経営、医療技術とその評価について、講義形式で授業を行う。外部講師による特別講演も予定している。			
【準備学習（予習・復習）】 受講に際して前提となる知識は不要であるが、授業中の配布プリントや確認テストを活用して知識の習得に努めること。			
講義スケジュール			
第1回 ガイダンスと話題提供			
第2回 概説－医療経営の特徴			

F111 トランスパーソナル心理学

科目等履修生

英文科目名	Transpersonal psychology		
大学名	京都文教大学		
連絡先	教務課 TEL 0774-25-2426 FAX 0774-25-2498		
担当教員	濱野 清志（臨床心理学部臨床心理学科教授） 鏡 リュウジ（臨床心理学部臨床心理学科客員教授）		
開講日程	2016年04月12日（火）～2016年07月26日（火） 5講時 16時20分～17時50分（毎週火曜日） ※ 休講 2016年05月03日（火・祝）、2016年07月05日（火）、2016年07月12日（火）、2016年07月19日（火）、2016年07月26日（火） ※ 補講 2016年07月2日（土）2限～5限 授業日程が一部変則になっていますので注意してください。		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科50,000円（登10,000円 履40,000円）		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	学期末のレポートを基本に評価します		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
自我中心の人間理解の限界を超えて、新しい心理学の姿を模索したトランスパーソナル心理学についてのおおまかな歴史、主要な人物、主要なトピックスを概観し、心理学全体の中でのトランスパーソナル心理学の特徴と存立意義を理解する。さらに、日本におけるトランスパーソナル心理学のもつ意味について、東洋的なものの方について知識を広げ、気功瞑想などの実習を交え、体験的に考える（濱野）。また、トランスパーソナルな視点をもって人間を理解しようとする西洋占星術、さらにその背景となる西洋エンテリスムの基本概念を理解し（鏡）、臨床心理学的理解との異同を検討する（鏡、濱野）。			

講義スケジュール	
<p>火曜日5限の時間帯に11回の講義を行い、残り4回分の講義を7月2日（土）に集中形式で行う。前半は濱野が担当し、後半は主として鏡が担当し、濱野との対話の場を設ける。前半の濱野の担当分の大まかな流れは以下のようなものになる。パーソナルとトランスパーソナルの違いを考え、トランスパーソナルな次元を考慮に入れることが現代の社会には非常に求められている理由を探る。また、トランスパーソナル心理学が誕生した中心人物、アブラハム・マズローの人間性心理学からトランスパーソナル心理学への動きや、スタニスラフ・グロフの活動と変性意識状態についての知見を理解する。また、ウィリアム・ジェームズ、C.G.ユングの影響やユング派のジェームズ・ヒルマンの考えなどをたどりトランスパーソナルな視点の基本姿勢を概観していく。また、気功的瞑想とトランスパーソナル心理学の関係に目を向け、東洋思想におけるさまざまな人間理解の特徴を、気、明、玄といった言葉をもとに理解し、東洋的なものの見方と瞑想実践の基本を体験学習する。また、第9回から15回まで、鏡が占星術と深層心理学の関連を取り上げ、古い特有の論理と、深層心理学やトランスパーソナル心理学の理論との共通点や違いに言及していく。ここでは、可能な限り濱野も参加し、占星術的象徴を通じた人間理解と臨床心理学的人間理解のつながりを検討していく。</p>	
<p>・講義日程 第1回 オリエンテーション（トランスパーソナルとは何か）（4月12日 濱野） 日本的文脈からトランスパーソナル心理学を考える。瞑想実践の導入。</p> <p>第2回 トランスパーソナル心理学の歴史（4月19日 濱野） ウィリアム・ジェームズ、ユング、マズローそしてグロフ</p> <p>第3回 心の世界と環境世界（4月26日 濱野） ジェームズ・ヒルマンとソウルメイキング ヒルマンの魂論を読み解く</p> <p>第4回 魂、気、身体（5月10日 濱野） 気とは何か、魂とは何か、身体の一人名性</p> <p>第5回 聴くこととからだ（5月17日 濱野） イメージのリアリティ、瞑想実践による新たなリアリティの創造</p> <p>第6回 意識の在り方の多様性（5月24日 濱野） 意識のスペクトル、井筒俊彦の神秘主義的態度</p> <p>第7回 タオイズムとトランスパーソナル（5月31日 濱野） 井筒俊彦の思想に寄せて、意識と本質、混沌の思想</p> <p>第8回 仏教思想とトランスパーソナル（6月7日 濱野） 井筒俊彦の思想に寄せて、意識と本質、禪的意識</p> <p>第9回 ケン・ウィルバーの思想（6月14日 鏡） トランスパーソナル心理学の人間理解 ユングとの対比で</p> <p>第10回 西洋占星術の位置づけ、エソテリズム研究の可能性（6月21日 鏡） コレスポンデンス、対応、マクロコスモスとミクロコスモス</p> <p>第11回 占星術象徴を通じた人間理解 太陽と月（6月28日 鏡） 占星術的世界観を太陽と月を題材に検討する</p> <p>第12回 占星術象徴を通じた人間理解 火星と金星（7月2日（土曜日）鏡） 占星術的世界観を火星と金星を題材に検討する</p> <p>第13回 占星術象徴を通じた人間理解 水星と土星（7月2日（土曜日）鏡） 占星術的世界観を水星と土星を題材に検討する</p> <p>第14回 占星術象徴を通じた人間理解 木星（7月2日（土曜日）鏡） 占星術的世界観を木星を題材に検討する</p> <p>第15回 思考の方法論について（7月2日（土曜日）鏡） 「内側からの理解」と「外側からの理解」、科学的思考と内省的思考</p>	
教科書	

<p>濱野清志『覚醒する心体』新曜社 井筒俊彦『意識と本質』岩波書店 ジェームズ・ヒルマン『元型的心理学』『魂の心理学』 『夢は黄泉の国から』青土社 ジェームズ・ヒルマン『世界に宿る魂』人文書院 トマス・ムーア『内なる惑星』青土社 ケン・ウィルバー『意識のスペクトル』『アートマン・プロジェクト』春秋社 マギー・ハイド『ユングと占星術』青土社 リズ・グリーン『占星術』青土社 鏡リュウジ『占星綺想』青土社 堀江宗近『歴史の中の宗教心理学』岩波書店 島園進『スピリチュアリティの興隆』岩波書店 フランセス・イエイツ『ジョルダノ・ブルーのヘルメス教の伝統』工作社 『現代のエスプリ435 トランスパーソナル心理療法』 諸富祥彦・藤見幸雄編 2003年 『トランスパーソナル心理療法入門』諸富祥彦編 著 （日本評論社）2001年</p>	<p>参 考 書</p>
---	--------------

F112 心理療法学

科目等履修生

英文科目名	Theories & Practices of Psychotherapy		
大 学 名	京都文教大学		
連 絡 先	教務課 TEL 0774-25-2426 FAX 0774-25-2498		
担 当 教 員	高石 浩一（臨床心理学部臨床心理学科教授）		
開 講 日 程	2016年04月08日（金）～2016年07月22日（金） 3講時 13時00分～14時30分（毎週金曜日） ※休講：2016年4月29日（金・祝）		
単 位 数	2	開 講 区 分	前期・春学期
受 講 料	科50,000円（登10,000円 履40,000円）		
会 場	科目開設校キャンパス		
授 業 定 員	100	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	学期末試験による。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	教員からのメッセージ「勉強は自分でするもの」だから、出席は取りません。自力で勉強するのが好きな方は、図書館でも頑張ってください。わざわざ授業に来られた方々は、退屈させないよう頑張ります。4回生は大学院入試準備のための知識の整理に、3回生、2回生は興味本位でご出席下さい。		
講義概要・到達目標			
フロイト以降現代に至るまでの心理療法の流れを人と理論の観点から整理し、さらに昨今のトピックスについて言及する。概論や精神医学など一通りの知識を得た上で、知識の整理に役立ててほしい。			
講義スケジュール			
1.オリエンテーション、質疑応答 2.精神分析の流れ（フロイト） 3. ♪ 理論 4.初期の離反（アドラー・ユング） 5.精神分析の展開I（タウスク・フェダーン） 6. ♪ II（フェレンツィ） 7. ♪ III（ランク・ライヒ） 8.対象関係論の展開（クライン） 9.中間派の人々（バリント・ウィニコット） 10.自我心理学の流れ（ハルトマン・マラー） 11.ネオ・フロイト派			

12. ラカン派 13. 分析心理学の展開 14. 新しい心理療法学 15. まとめ
授業方法 初回のみ質疑応答にて授業参加を乞う。 以降は講義中心。
教科書
参考書 菅佐和子他『臨床心理学の世界』有斐閣アルマ、2000年

10. 看護の概念定義をグループワーク（当日） 11. 看護の概念定義をグループワーク及び発表（当日） 12. 健康ステージと看護（片山） 13. ライフサイクルと看護（片山） 14. 医療における自己決定権と患者の権利擁護（片山） 15. 看護のインフォームドコンセントと個人情報の管理（片山）
授業方法： テキストやレジュメを使って講義形式で行い、適宜、グループワークを取り入れる。 必要に応じて、視聴覚資料や参考文献の資料を用いる。
教科書 ライダー・島崎玲子、岡崎寿美子他『看護学概論 看護追求へのアプローチ』医歯薬出版
参考書 日本看護協会出版会監修『新版看護者の基本的責務：定義・概念/基本法/倫理』 日本看護協会出版会（2006） 日本看護協会編『日本看護協会看護業務基準集2007年改訂版』 日本看護協会出版会（2007） 立川昭二『病気の社会史』岩波文庫（2007） 増田れい子『看護—ベッドサイドの光景』岩波新書

F113 看護学概論

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Introduction to Nursing		
大学名	同志社女子大学		
連絡先	◆本学京田辺キャンパス開講 教務課 TEL：0774-65-8413 FAX：0774-65-8418		
担当教員	当日 雅代（看護学部教授）、片山 由加里（看護学部准教授）		
開講日程	2016年04月11日（月）～2016年07月25日（月） 3講時 13時15分～14時45分（毎週月曜日） ※開講 2016/07/18（月・祝） ※休講 2016/05/02（月）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科44,000円（登録料24,000円・受講料20,000円）、 聴8,000円		
会場	京田辺キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	出席状況・学習態度20%、グループワークレポート30%、最終レポート50%によって評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
授業テーマ：看護の概念と看護職の役割			
授業目標：			
1) 看護学の導入として、看護の概念や定義、看護の歴史、専門職としての看護、看護の対象者の特徴を学ぶことを通して、看護学についての理解を深める基盤とする。			
2) 医療における自己決定権と患者の権利擁護について理解する。			
講義スケジュール			
各回の授業内容：			
1. 看護学コースガイダンス（当日・片山）			
2. 看護の概念と定義、学問としての看護学（当日）			
3. 保健・医療・福祉における看護職の役割（当日）			
4. 看護の主要概念： 人間とは何かの理解1グループワーク（当日）			
5. 看護の主要概念： 人間とは何かの理解2グループワーク及び発表（当日）			
6. 看護の主要概念： 健康とは何かの理解1グループワーク（当日）			
7. 看護の主要概念： 健康とは何かの理解2グループワーク及び発表（当日）			
8. 看護の主要概念： 環境とは何かの理解1グループワーク（当日）			
9. 看護の主要概念： 環境とは何かの理解2グループワーク及び発表（当日）			

F114 薬の発明・発見史 I

科目等履修生/聴講生

英文科目名	History of Drug Discovery I		
大学名	同志社女子大学		
連絡先	◆本学京田辺キャンパス開講 教務課 TEL：0774-65-8413 FAX：0774-65-8418		
担当教員	谷本 剛（薬学部特任教授）		
開講日程	2016年04月14日（木）～2016年07月28日（木） 2講時 11時00分～12時30分（毎週木曜日） ※休講 2016/5/5（木・祝）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科44,000円（登録料24,000円・受講料20,000円）、 聴8,000円		
会場	京田辺キャンパス		
授業定員	200	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	期末試験（100%）。 小論文形式による期末試験で評価し、100点満点中60点以上を合格とする。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
授業テーマ：	病苦から人を救う重要な手段となる薬が、人々の日々の営みからどのようにして見出され、安全でより有効な薬が近代科学の進歩を背景にしてどのように発明・創製されていったかを概観することによって、科学と人間の関わりについて考える。		
授業目標：	古代より人は天然草木に体の変調を修復する働きのあることを経験的に知り、次第に治療薬としての薬を科学的に天然物に求めていくようになった。近代科学の進歩は、天然物に求めた薬の化学構造を明らかにし、薬を人為的に合成する方法を確立していった。化学合成法の確立は薬の大量生産を可能にし、更にはより効果の大きな薬やより安全な薬の発明・発見へと導き、より多くの人々に福音をもたらした。現代の先端技術を駆使した薬の発明に至る古代からの薬の発明・発見の歴史を辿りながら、今日多くの病に対応した薬が発明・発見された現		

状を理解する。更には、このようにして発明・発見された薬の影の部分である薬害・薬禍の現状も理解し、科学技術の可能性と限界を考察する。

講義スケジュール	
各回の授業内容： 1. 薬とは？ 2. 古代・中世の薬 3. 近代の薬の夜明け 4. 近代科学の発展と薬の発明・発見 5. アスピリンの発明 6. 微生物との戦いー抗生物質・合成抗菌薬ー 7. ウイルスとの戦いー抗ウイルス薬ー 8. 酵素の発見と薬への応用 9. ビタミンの発見と薬への応用 10. ホルモンの発見と薬への応用 11. 脳機能と薬 12. 心と体ーうつ病と抗うつ薬ー 13. 薬害・薬禍事件 14. 偽造医薬品 15. まとめ	
授業方法： 配布資料、パワーポイントによる視聴覚資料を用いた講義方式	
教科書	特には指定しない。
参考書	くすりの小箱（湯之上・久木田 編、南江堂）、 くすりの発明・発見史（岡部 著、南江堂）

講義概要	
<p>仏教者が医療や福祉の分野に積極的に関わる活動や考え方をビハーラといいます。患者さんとその家族の苦しみは、身体的、心理的、社会的、スピリチュアルと多岐にわたります。そのために他職種がチームでアプローチします。私も仏教チャプレン（ビハーラ僧）として、緩和ケア病棟や急性期の病院のチームに参加しています。臨床での経験を紹介しながら、医療と仏教、死生観、生命倫理などについて実践的に考えてみたいと思います。</p>	
到達目標	
ビハーラの意味を知り、死生観を確立する。	
講義方法	
講義を基本とし、ゲスト講師を招く予定です。	
授業時間外における予・復習等の指示	
<p>予習ー前日に課題を指示します。 復習ー小レポート、小テストの内容を前日に指示します。(2回程度)</p>	

講義スケジュール	
<p>1回目 オリエンテーション 2回目 ビハーラの基礎知識 3回目 ビハーラとホスピス 4回目 事例検討（コミュニケーション） 5回目 「生命」と「いのち」 6回目 患者とその家族の苦悩 7回目 生命倫理 8回目 ビハーラと生命倫理 9回目 広島県立病院の緩和ケア 10回目 終末期臨床での涙とユーモア 11回目 死生観（生死観） 12回目 臓器売買を通していのちを考える（グループディスカッション） 13回目 全体討議 14回目 グリーフケア 15回目 目標ー温もりと笑顔のビハーラ、試験</p>	
教科書	毎回レジュメを準備します。
参考書	随時参考図書を紹介する。

F115 ビハーラ活動内容総論

科目等履修生

英文科目名	Activity Theory of Vihara Care		
大学名	龍谷大学短期大学部		
連絡先	教育学部 TEL：075-645-7891 FAX：075-643-5021		
担当教員	長倉伯博（龍谷大学短期大学部 非常勤講師）		
開講日程	2016年07月29日（金）～2016年08月02日（火） 1～4講時（詳細は下記の通り） 2016年07月29日（金）1-4講時（9:00～16:30） 2016年07月30日（土）1-4講時（9:00～16:30） 2016年08月01日（月）1-4講時（9:00～16:30） 2016年08月02日（火）1-3講時（9:00～14:45）+試験		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	20,000円		
会場	深草学舎		
授業定員	150	京カレッジ定員	25
試験・評価方法	平常点20%、小テスト30%、その他（試験）50% 授業出席状況、課題レポート内容によって評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。		
講義概要・到達目標			
目的・ねらい	この講義が、自己の人生観・死生観を考える機会になればと願っています。		

F116 高齢者・障害者の心理

科目等履修生

英文科目名	Psychology of the Elderly Person and the Handicapped		
大学名	龍谷大学短期大学部		
連絡先	教育学部 TEL：075-645-7891 FAX：075-643-5021		
担当教員	吉島 紀江（龍谷大学短期大学部 非常勤講師）		
開講日程	2016年08月03日（水）～2016年08月05日（金） 1～5講時（9:00～18:15）		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	20,000円		
会場	深草学舎		
授業定員	150	京カレッジ定員	25
試験・評価方法	平常点50%（出席状況と受講態度・演習等の受講姿勢等） レポート35%（最終講義にて、レポートを作成） その他15%（リアクションペーパー）		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		

その他特記事項	<p>【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。</p> <p>サブタイトル：ケアワーク事例を通じた高齢者と障害者の理解</p>
講義概要・到達目標	
<p>目的・ねらい</p> <p>日本において高齢化率はすでに23%をこえ、超高齢社会に突入している。一方、障害者に関しても医療技術・機器・救急医療の進歩などによりその人口は増え続けている。高齢者、障害者の人口は増え、その福祉ニーズ、医療・介護ニーズも加速度的に肥大化している。この講義では、日本における高齢者・障害者のおかれている現状を踏まえながら、その心理・行動に焦点をあて理論的な整理を行う。また、介護サービスを受けている高齢者・障害者の事例を通して、その心理と行動について分析・検討し、理解を深めたい。</p>	
<p>講義概要</p> <p>日本の高齢者・障害者のおかれている現状を、各種統計等を見ながら客観的に把握し、日本独特の課題を明らかにしていく。心理的な理論解釈や医学的理解、社会的理解を深めていく。高齢者・障害者の心理的援助とその関わり方についても深めていく。事例を通して、実際に介護サービスを受けている事例で、援助をうけている高齢者・障害者の心理的な理解を深め、かつ、援助者の関わり方についても検討していく。</p>	
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・障害者の心理特性、行動特性について基礎的な理論を習得する。 ・高齢者特性、障害者特性をそれぞれ踏まえた対人援助等のあり方の基礎を習得する。 ・実際にケアを受けている高齢者・障害者の心理を理解し、そのおかれている環境・人間関係の相関で理解できるようになる。 	
<p>講義方法</p> <p>各回で資料配布し、それに基づいて講義を行う。必要に応じてグループワーク、演習、ディスカッションを行う。</p>	
<p>授業時間外における予・復習等の指示</p> <p>講義中に指示します。</p>	
<p>履修上の注意・担当者からの一言</p> <p>連続性のある講義となっています。欠席しないよう健康管理に気をつけてください。</p>	
講義スケジュール	
<p>1回目：日本の高齢者・障害者：日本の高齢者・障害者を取り巻く環境や諸制度について</p> <p>2回目：高齢者のおかれている状況：高齢社会白書・各種統計等からみた高齢者の実態について等</p> <p>3回目：高齢者の心理Ⅰ：高齢者の身体的・心理的・社会的特性について</p> <p>4回目：高齢者の心理Ⅱ：高齢期のパーソナリティと適応</p> <p>5回目：高齢者の心理Ⅲ：高齢期に特徴的な複合喪失について</p> <p>6回目：障害者のおかれている状況：障害者白書・各種統計等からみた障害者の実態について</p> <p>7回目：障害者の心理Ⅰ：障害者の身体的・心理的・社会的特性について</p> <p>8回目：障害者の心理Ⅱ：障害受容について</p> <p>9回目：障害者の心理Ⅲ：障害の概念・ICFについて</p> <p>10回目：事例研究Ⅰ：障害者の事例</p> <p>11回目：ケアを受ける人の理解Ⅱ：要介護状態の障害者の現状について</p> <p>12回目：ケアを受ける人の理解Ⅲ：ケアワークを通じた高齢者・障害者の理解及び対人援助について</p> <p>13回目：ケアを受ける人の理解Ⅰ：要介護状態の在宅高齢者の現状について</p> <p>14回目：事例研究Ⅱ：在宅高齢者の事例</p> <p>15回目：講義全体のまとめ、レポート作成</p>	
教科書	特になし

参考書	<p>参考文献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渡部俊之著「ケアを受ける人の心を理解するために」(中央法規) 1,800円 ・鈴木秀子「心の対話者」(文春新書) 700円 ・佐藤真一 他2名「老いところのケア」(ミネルヴァ書房) 3,240円
-----	--

F120 武道指導論

聴講生

英文科目名	Instruction of Budo		
大学名	京都教育大学		
連絡先	教務・入試課教務グループ TEL：075-644-8548		
担当教員	藪根 敏和 (体育学科)		
開講日程	2016年10月05日(水)～2017年02月08日(水) 2講時 10時30分～12時00分 ※冬季休業 2016/12/23(金)～2017/01/04(水) ※定期試験週を含む		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	10,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	京カレッジ定員	5	
試験・評価方法	授業態度(30%)、ペーパーテストまたはレポート(70%)を総合して評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【自学自習についての情報】 テキストを予習し、講義で質問できるようにしておくこと。講義後は内容を復習すること。</p> <p>【注意】 京カレッジ生への単位認定は行いません。 車での来学はご遠慮いただいております。 教室は授業初回日に本学掲示板にて確認してください。</p>		
講義概要・到達目標			
<p>【授業の概要】 剣道、柔道の思想から、武道原理や伝統性を明らかにし、それを指導するための方法を講義する。</p> <p>【授業の到達目標】 武道の原理や伝統性を知り、それを指導するための理論を得る。</p>			
講義スケジュール			
<p>【授業計画】</p> <p>第1回 オリエンテーション(武道とは)</p> <p>第2回 剣術史1</p> <p>第3回 剣術史2</p> <p>第4回 剣術史3</p> <p>第5回 気の意味と活人剣</p> <p>第6回 兵法と武士道</p> <p>第7回 柔術史1</p> <p>第8回 柔術史2</p> <p>第9回 術と道</p> <p>第10回 柔道史と嘉納治五郎の思想</p> <p>第11回 各流派、並びに柔道に共通する術の原理と伝統性</p> <p>第12回 武道の意味の確認とその指導法1(始めに講義すべき内容)</p> <p>第13回 武道の指導法2(形の使い方と礼のとらえ方)</p> <p>第14回 武道の指導法3(指導順序と評価)</p> <p>第15回 まとめ</p>			
教科書	柔道再発見(不昧堂)		
参考書			

F121 婚礼実務論

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Wedding Ceremony Business Studies		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター修学担当 TEL075-325-5307 FAX075-325-5317		
担当教員	一岡 里栄 (キャリア形成学科 非常勤講師)		
開講日程	2016年09月29日(木)～2017年1月19日(木) 5講時 16時10分～17時40分(毎週木曜日) ※休講 2016/11/03(木) ※休講(冬季休暇) 2016/12/29(木)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科目等履修生(履修料20,000円、選考料 科目数を問わず10,000円) 聴講生10,000円(選考料免除)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	授業態度30%、課題20%、定期試験50%		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	女子のみ受講可 ※受講者人数によって、本学開講科目基準により不開講になる場合があります。 【授業時間外学修(予習・復習等)について】 講義内容については必ず復習し、疑問があれば次回講義冒頭で質問をすること。復習時間については約30分～1時間が望ましい。		
講義概要・到達目標	<p>【授業テーマ】 ブライダルマーケットに関する知識を深め、ビジネスの観点で婚礼業務を実務レベルで理解する</p> <p>【授業の概要】 多様化するブライダルマーケットの中で、ブライダル事業に携わる「ウェディングプランナー」に求められるスキルを理解する。婚礼全般の知識の習得、商品の提案力や営業力だけでなく、ヒューマンスキルの重要性を理解する。実務に必要な知識としては、接客マナーや接客などの基本的な心得、接客スキル向上のためのテクニック、婚礼業務における各資料の理解を全般的に習得する。</p> <p>【到達目標】 1、ブライダルマーケットの現状と今後の展望について理解を深める 2、婚礼業務の知識を実務レベルまで理解する 3、接客に必要なマナー、接客、と求められる接客スキルについて習得する</p>		
講義スケジュール	<p>【授業計画】 1、ブライダルマーケットの特性 2、接客マナー、接客 3、接客スキルの重要性とポイント 4、顧客に求められる人材像とは 5、婚礼業務の概要 6、新規接客業務に関する知識 7、実務資料：アンケート、見積書 8、打合せ業務に関する知識 9、実務資料：進行表、席次表、オーダーシート 10、婚礼当日業務に関する知識 11、主体商品の基礎知識 12、付帯商品の知識(衣装、装花) 13、付帯商品の知識(美容、写真、演出、その他) 14、ブライダルの販売促進(フェア) 15、ブライダルの販売促進(パッケージ商品)</p>		
【授業方法】	レジュメの内容に沿った講義形式で行う。適宜DVD映像を使用する。		

教科書	適宜プリントを配布する。
参考書	

F122 臨床心理学概論

科目等履修生

英文科目名	Introduction to Clinical Psychology		
大学名	京都文教大学		
連絡先	教務課 TEL 0774-25-2426 FAX 0774-25-2498		
担当教員	森谷 寛之(臨床心理学部臨床心理学科教授)		
開講日程	2016年09月23日(金)～2017年01月20日(金) 4講時 14時40分～16時10分(毎週金曜日) ※開講：2016年12月23日(金・祝) ※休講：2016年11月11日(金)、2016年12月30日(金)、2017年01月06日(金)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科50,000円(登10,000円 履40,000円)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	270	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	学生には期末の筆記試験が中心。時に、レポート、講義の参加態度などを総合して評価する。教員に対する評価は毎回の学生の感想文を参考にして、改善を試みる。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	臨床心理学は、これまでの教科とは異なり、自分自身の心の観察が重要になってくる。自分自身の心と対話をしながら、講義を聞いてほしい。		
講義概要・到達目標	<p>臨床心理学の全体像を理解するために、臨床心理学がどのように成立してきたのか、その歴史的由来を説明する。歴史的由来を理解することによって、今後のさらに臨床心理学諸科目を学ぶことの助けになるであろう。すなわち、臨床心理学の基本的知識を習得することを目指す。そのことによって自己理解、他者理解を深めるきっかけとする。</p> <p>臨床心理学は、20世紀になってようやく出現した若い学問である。16-17世紀に始まったガリレオ、ニュートンらによって物理学が誕生した。また、同じ頃にヴェサリウスによる解剖学、外科学の誕生が誕生する。18世紀にはラヴォアジエによる近代化学が誕生する。19世紀にはダーウィンの進化論など、生物学革命の後を受けて、19世紀後半にようやく心理学(実験心理学)が誕生した。臨床心理学はそれよりも半世紀を遅れて、医学の分野からフロイトによっていのちを吹き込まれる。その創造の意義とその後の展開について解説する。</p>		
講義スケジュール	<p>1) 臨床心理学とは何か 2) 臨床心理学以前一古代における癒しの技術 3) 4) メスメルの動物磁気術 5) 6) フロイトの心理学 7) ユングの心理学—ユングの生い立ちと基本的考え方 8) ロジャーズの考え方—クライエント中心療法 9) 無意識の概念 10) 11) 12) 13) 臨床心理学における心の構造モデル 14) 夢の心理 15) 臨床心理学と社会</p>		
教科書	森谷 寛之 『臨床心理学』 サイエンス社		
参考書	『無意識の発見上下』エレンベルガー (弘文堂) など。講義進行中に適宜推薦する。教科書の参考文献欄を見てほしい。		

F123 薬の発明・発見史Ⅱ

科目等履修生/聴講生

英文科目名	History of Drug Discovery II		
大学名	同志社女子大学		
連絡先	◆本学京田辺キャンパス開講 教務課 TEL：0774-65-8413 FAX：0774-65-8418		
担当教員	富岡 清（薬学部特任教授） 小西 天二（本学嘱託講師）		
開講日程	2016年09月27日（火）～2017年01月24日（火） 4講時 15時00分～16時30分（毎週火曜日） ※休講 2016/11/29（火）、12/27（火）、 2017/01/03（火）		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科44,000円（登録料24,000円・受講料20,000円）、 聴8,000円		
会場	京田辺キャンパス		
授業定員	200	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	出席状況（60%）および課題レポート（40%）にて 評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
授業テーマ： 薬の発明と発見の歴史を縦軸に現代医薬品を科学する			
授業目標： 薬は人類の知と汗の結晶である。草根木皮や鉱石を病から解放される物質として利用し、更には、加工調整し薬として利用してきた。天然薬物が伝統医学における薬として、さらには現代医薬品や化粧品、原料あるいは食品として利用されていることを知る。また、現代医薬品である合成医薬品の発明と発見のドラマを人類の英知の活動として理解する。			
講義スケジュール			
各回の授業内容： No.1「くすり」の科学 No.2 合成医薬品：世界最古 No.3 合成医薬品：世界で一番売れている No.4 合成医薬品：世界一合成経路が長い No.5 合成医薬品：天使と悪魔 No.6 合成医薬品：競い合い No.7 合成医薬品：臓器移植 No.8 合成医薬品：作用機構と生命の謎解き No.9 伝統医学：アラビア医学、インド医学、中国医学など No.10天然薬物の利用：スパイス、ハーブ No.11世界の薬物資源（1）：南北アメリカ原産植物 No.12世界の薬物資源（2）：ヨーロッパ原産植物 No.13世界の薬物資源（3）：アフリカ原産植物 No.14世界の薬物資源（4）：アジア原産植物 No.15世界の薬物資源（5）：動物および海洋生物			
授業方法： 講義形式で、時に演習形式で行う。 主にパワーポイントなどの映像を利用し、行う。			
教科書	独自作成教科書、プリントを利用する。		
参考書	山崎幹夫 著「歴史の中の化合物 一薬と医療の歩みをたどる」 東京化学同人 G. L. Patrick著 富岡清等監訳 『メディシナルケミストリー』 丸善		

F124 ビハーラ活動論

科目等履修生

英文科目名	Theory of Vihara Care		
大学名	龍谷大学短期大学部		
連絡先	教学部 TEL 075-645-7891 FAX 075-643-5021		
担当教員	打本 未来（龍谷大学短期大学部 非常勤講師）		
開講日程	2017年02月02日（木）～2017年02月04日（土） 1～5講時（9：00～18：15）		
単位数	2	開講区分	集中
受講料	20,000円		
会場	深草学舎		
授業定員	150	京カレッジ定員	25
試験・評価方法	平常点50%（数時間に1回のミニレポートを課します） レポート50%		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。 サブタイトル：あなたのいのちについて考えよう		
講義概要・到達目標			
目的・ねらい 生まれ、生き、死んでいくいのちをケアする思想とその具体的な実践をスピリチュアルケアを中心に学びます。これらを学ぶプロセスの中で自分と他者のいのちをみつめる力を養いたい。			
講義概要 ビハーラとは、1984年に田宮仁氏が仏教ホスピスという言葉に代えて、仏教の主体性と独自性を表す言葉として提唱され、仏教徒による看取りの施設を表します。講義では、まずビハーラに影響を与えたホスピス運動の歴史や、現在の日本の緩和ケアについて学びます。また、世界と日本のホスピス/ビハーラについても具体的施設の実践から学びます。 死を意識した患者や、患者を見守る家族のケアを行うスピリチュアルケア専門職の活動について学びます。講義を進めていく中で、生まれ死にゆくいのちを看取ることや自分の生や死について、受講生と意見交換しながら学び深めていきたい。			
到達目標 ビハーラ、ホスピス、緩和ケアについて学びながら、受講生それぞれの死生観を深める機会とする。具体的には、自分自身や身近な人、あるいはそうではない他者の生と死、いのちについて考える力を身につける。			
講義方法 適宜、映像資料・参考文献を紹介しながら、講義時に配布するプリントにそって、講義形式の授業を行います。またグループ毎に話し合ったり、意見を発表してもらおう場も設けます。			
授業時間外における予・復習等の指示 日本ホスピス緩和ケア協会HP http://www.hpcj.org/index.html あそかビハーラクリニックHP			
講義スケジュール			
1回目	ビハーラとは（概論）		
2回目	シシリー・ソンドースとホスピス運動		
3回目	緩和ケア・ホスピスケア・ビハーラケア		
4回目	スピリチュアルペイン		
5回目	スピリチュアルケアの実践		
6回目	病院チャプレンの役割		
7回目	ホスピス、ビハーラ病棟の実践 緩和ケア病棟における音楽療法		

8回目	ビハラの歴史：九条武子の震災後の医療活動
9回目	死生観を深める：コラージュ
10回目	死生観を深める：コラージュ
11回目	グリーフケアとは
12回目	グリーフワーク
13回目	死生観を深める：喪失体験ワーク1
14回目	死生観を深める：喪失体験ワーク2
15回目	まとめ
教科書	
参考書	谷山洋三・伊藤高章・窪寺俊之『ホスピス、ビハラの臨床から』（関西学院大学キリスト教と文化研究センター）

F125 比較家族論

科目等履修生

英文科目名	Comparative Study of Family		
大学名	京都華頂大学		
連絡先	学生部修学支援課 TEL：075-551-1282 FAX：075-551-1450		
担当教員	秋山 裕之（現代家政学部准教授）		
開講日程	2016年09月27日（火）～2017年01月17日（火） 4講時 14時40分～16時10分 ※12/23（金・祝）火曜授業です ※10/44・12/27・1/3 授業はありません		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	20,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	95	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	平常試験（レポート50%、平常点50%） 平常試験（レポート）2000字以上。 平常点は授業への取り組みを重視する。		
超過時の選考方法			
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
【サブテーマ】 多様な家族			
【授業の概要】 一口に家族といってもそのありようは様々であり、社会・文化・宗教によって多様な形態をとる。本講義では「子を育て、生をつなぐための、親族を基盤とした社会的装置」として家族を位置づけ、世帯レベルだけでなくそれを内包する親族集団をも射程にとらえて、多様な家族像を通文化的かつ歴史的に概観する。それらの多様性をふまえたうえで、現代日本における家族のありようの動態をとらえ、将来の日本の家族像を展望する。			
【到達目標】 1) 文化・地域・歴史などにより家族は多様であることを学び、家族と社会の関係性を理解する。 2) 子を育てる社会的装置としての機能に注目し、日本の家族が抱える問題について考える。			
【留意事項】 受講生による討論を行います。積極的に発言してください。			

講義スケジュール	
第01回	家族とは何か～はじめに （内容）家族の定義について考える （必要な準備）「家族とは何か」について考えておく
第02回	家族の起源 （内容）霊長類の社会集団 （必要な準備）資料を読んでおく
第03回	アフリカ狩猟採集民1 （内容）ブッシュマンの家族と親族集団1 （必要な準備）資料を読んでおく
第04回	アフリカ狩猟採集民2 （内容）ブッシュマンの家族と親族集団2 （必要な準備）資料を読んでおく
第05回	東アフリカ牧畜民 （内容）東アフリカ牧畜民の家族と親族集団 （必要な準備）資料を読んでおく
第06回	アフリカ農耕民 （内容）アフリカ農耕民の家族と親族集団 （必要な準備）資料を読んでおく
第07回	極北インディアン （内容）ヘヤー・インディアンにおける家族 （必要な準備）資料を読んでおく
第08回	イスラム圏 （内容）イスラム教圏における家族 （必要な準備）資料を読んでおく
第09回	西洋 （内容）西洋キリスト教社会における家族 （必要な準備）資料を読んでおく
第10回	タイ （内容）仏教圏の家族 （必要な準備）資料を読んでおく
第11回	韓国 （内容）家長制と儒教理念 （必要な準備）資料を読んでおく
第12回	一妻多夫 （内容）一妻多夫性の家族 （必要な準備）資料を読んでおく
第13回	多様な家族：家族と社会の関係 （内容）家族と社会の関係・日本の家族 （必要な準備）討論に備えて自分の考えをまとめておく
第14回	子を育てる社会的装置 （内容）子育ての比較文化論 （必要な準備）討論に備えて自分の考えをまとめておく
第15回	家族とは何か～おわりに （内容）これまでの授業をふまえて家族について考える （必要な準備）討論に備えて自分の考えをまとめておく
教科書	なし。プリントを配布する。
参考書	授業中に適宜紹介する。

G001 天文学と私たち ～神山天文台からのアプローチ～

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Introduction to Our Universe		
大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL: 075-705-1985 FAX: 075-705-1582		
担当教員	中道 晶香 (全学共通教育センター)		
開講日程	2016年09月06日 (火)～2016年09月09日 (金) 2～5講時 10時50分～17時50分 計15講義 (※最終日のみ2～4講時、5講時は試験を行う)		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	科25,000円 聴17,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	200	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	試験100% 試験は最終日<9月9日 (金)>に行う。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
<p>講義概要 天文学は人類最古の学問と言われるほど、私たち人間とのかかわりの深い学問である。 京都産業大学は創設者が宇宙物理学者であったということから、天文学には縁のある大学であり、そのシンボルとして神山天文台を設置し、最新の天文学研究を推進している。宇宙を通して、人類の存在を新たな視点で捉えることが本講義の目的である。 私たちは、この宇宙という広大無辺な広がりの中で、どのような位置を占め、そしてどのような時代に生きているのであろうか。「宇宙」という表記は、空間の広がりを表す「宇」と時間の流れを表す「宙」から成ると言われる。この宇宙の成り立ちと、その多様な姿を紹介することで、私たちの置かれている立場を受講者が認識することが授業の到達目標である。 また、天文学と社会とのかかわりについて、社会教育や学校教育をテーマとして紹介する。</p> <p>到達目標 ・天文学の幅広いテーマの基礎を理解し、天文学と人間生活との関わりについて考察することができるようになる。 ・科学的な見方を身につける。つまり、与えられた情報を鵜呑みにせず、論理的に理由を考えて自分で判断することができるようになる。</p>			
講義スケジュール			
<p>第1回 世界の星座 第2回 天体の運行と月食 第3回 太陽 第4回 いろいろな惑星、小惑星、彗星 第5回 星間物質と星形成 第6回 太陽系の形成 第7回 主系列星から巨星、その後の進化 第8回 中性子星、ブラックホール 第9回 銀河、銀河団、宇宙の大規模構造 第10回 望遠鏡の仕組み 第11回 スペクトル (虹) とは 第12回 ドップラー効果、赤方偏移 第13回 宇宙膨張の証拠 第14回 宇宙の未来 ～ ダークマターとダークエネルギー ～ 第15回 天文教育・普及を考える 第16回 試験</p> <p>ゲスト講師による講義も予定している。日時は初日に発表する。</p>			

G 自然・環境を学ぶ

[事前学習]
・事前学習として、天文関係の書物 (一般啓蒙書や科学雑誌でかまわない) を読破しておくことが望ましい。書物に理解できない点があれば、自分がどこに納得できないのか明らかにしておき、その疑問を解決しようという意識を持って講義に臨むこと。
・毎回の講義の時間内に質問タイムを設けるので、関連する疑問点について積極的に質問してほしい。

[事後学習]
・その日のうちに復習し、わからない点を無くしておくこと。

教科書	
参考書	<p>事前学習ではどの本を選んでいただいてもよいですが、事後学習にも末永く使える詳しい良書を挙げますと、例えば下記の書籍があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半田 利弘 著 『基礎からわかる天文学』 (誠文堂新光社 2011年) ・岡村 定矩、池内 了、海部 宣男、佐藤 勝彦、永原 裕子 著 『シリーズ現代の天文学 I 人類の住む宇宙』 (日本評論社 2007年) ・Michael A. Seeds, Dana E. Backman 著 有本 信雄 監訳 『最新天文百科: 宇宙・惑星・生命をつなぐサイエンス』 (丸善株式会社 2010年)

G003 特殊講義「科学的見方・考え方」 /ZH

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Special Lectures		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】 075-466-3350		
担当教員	安岡 高志		
開講日程	2016年4月12日 (火)～2016年7月26日 (火) <毎週火曜日> 5時限: 16:20～17:50 <教室案内> http://www.ritsumeit.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf ※休講になった場合などは、7/23 (土)、7/24 (日) に補講を行うことがあります。		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生: 42,800円 ・聴講生: 25,400円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	30	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	<p>【平常点評価】100% 日常的な授業への取り組み状況 (Manaba+Rのディスカッション) への参加状況、ミニレポートなど)</p> <p>詳細 ・ミニレポート・・・・・・・・・・: 30% ・Manaba+Rへの書き込み状況: 30% (30回の投稿) ・最終レポート・・・・・・・・・・: 40%</p>		
超過時の選考方法	書類審査		
別途負担費用			
その他特記事項	※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。		

その他特記事項	さい。 【諸手続】 （単位互換生のみ） 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html
---------	---

講義概要・到達目標

【授業の概要と方法】
 この授業は特殊講義「科学的見方・考え方」ZHである。情報化の時代にあつては、知識が豊富であることの価値は徐々に減少し、それに代わって、情報を選択する能力や情報をもとに新しいことを構築する能力が価値を持つようになる。この情報を選択する能力や新しいことを構築する能力は主に次の能力を鍛えることで開発される。第一は自分が何をしたいのか自分を明確に把握する能力である。第二は自分の持っている知識をもとに科学的に判断する能力である。第三は情報を総合する能力である。第一の能力を開発するよい方法は自分の考えていることを文章にしてみることであり、第二の能力は疑問を持つことにより、第三の能力は法則性を発見することにより開発される。

この授業では科学の歴史的事例を題材として、科学者がどのような疑問を持ち、どのような発想をしたかを紹介する。受講生は日常生活において、疑問に思ったことや発見したことをManaba+Rのディスカッションに毎週報告していれば、疑問を持ったり、発見する能力が自然と身に着いてくる。疑問についてはできるだけ、次の時間に回答する。

【受講生の到達目標】
 到達目標は考える習慣が身に付き、無意識の内に何故だろう、こんな法則が潜んでいるのではないかと考えながら生活するようになることである。

【授業外学習の指示】
 この授業の目的は授業外で疑問を抱く習慣をつけることであり、ミニレポートは自分の考えをまとめる訓練と文章力の向上であるので、真剣に取り組むことを期待している。

【受講および研究に関するアドバイス】
 講義自身は科学的な見方や考え方を身につけたり、考える習慣をつけるための刺激であり、自主的に参加しなければあまり意味がない。大切なことは意識的に教室外で探したり、考えたりして、いつの間にかそれが習慣づくことである。

【その他】
 緊急あるいは必要なときは次のメールアドレスに連絡してください。件名を「科学的見方・考え方受講生」として、本文のはじめに学生証番号、氏名を必ず記載のこと。
yasuoka@fc.ritsumei.ac.jp

講義スケジュール

- ガイダンスおよび私の発見・発明の紹介
気がついたことは発見、工夫したことは発明、酸素を磁石にくっつける方法
- 科学的な見方・考え方とは
<キーワード>再現性、価値観
- 質量保存の法則の発見
<キーワード>ラボアジエ、天秤、化学反応
- 電子・原子の発見
<キーワード>X線、油滴、イオン、クーロン力
- くらしの中の発見・発明
<キーワード>鉛筆、消しゴム、マッチ
- 食べ物の発見・発明
<キーワード>チーズ、アイスクリーム、インスタントラーメン
- 有機化学の発見・発明
<キーワード>コールタール、染料、プラスチック、ビニール

- 医学・薬学の発見・発明
<キーワード>ワクチン、抗生物質
- 化学工業の発見・発明
<キーワード>硫酸、織物産業、ダイナマイト
- 電気の発見・発明
<キーワード>摩擦電気、電池、発電機
- 原子力の発見・発明
<キーワード>核分裂、核融合、ウラン
- エジソン
<キーワード>真空管、蓄音機
- ドクター・中松
<キーワード>フロッピーディスク、CD、DVD
- 日常に生かす科学的な見方・考え方
<キーワード>能力開発、癖、習慣、見方・考え方
- この授業を通して学んだことや身に付いたことについて発表
プレゼンテーションのコツ、科学的見方・考え方

教科書	
参考書	以下の「書名」、「著者」、「出版社」を参照 ・発見・発明の大常識、板倉聖宣 監修、ポプラ社 ・化学工業の発明発見物語、大沼正則 編、国土社 ・エジソン、ニール・ポールドヴィン、椿正春訳、三田出版会 ・ドクター・中松の発明ノート、ドクター・中松、PHP研究所

G111 農業実習 I ー 学校園で役立つ農園芸実習 I ー

聴講生

英文科目名	Agricultural Practice I		
大学名	京都教育大学		
連絡先	教務・入試課教務グループ TEL: 075-644-8548		
担当教員	南山 泰宏 (環境教育実践センター)		
開講日程	2016年04月14日(木)～2016年08月04日(木) 3～4講時 12時50分～16時05分 ※定期試験週を含む		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	10,000円		
会場	第2学舎		
授業定員		京カレッジ定員	20
試験・評価方法	授業に10回以上出席した者を評価の対象にする。実習への出席・取り組み・活動状況とレポートにより総合的に評価する。		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用			
その他特記事項	【会場】 京都教育大学環境教育実践センター (第2学舎、アクセス: http://www.kyokyo-u.ac.jp/access/access02/) 【自学学習についての情報】 授業時間以外でも環境教育実践センターに足を運び、植物の生育を観察することが重要である。		

【注意】	京カレッジ生への単位認定は行いません。 車での来学はご遠慮いただいております。 教室は授業初回日に本学掲示板にて確認してください。
講義概要・到達目標	<p>【授業の概要】 本学の環境教育実践センター内の圃場、温室において、作物、野菜、花卉を実際に4月から7月の前期の期間に栽培することにより、植物の生長に及ぼす環境要因の影響や植物栽培の知識・技能の基礎を学ぶとともに、植物を栽培する楽しみ、生命の不思議さ、農業の大切さや困難さを体験し、汗を流して勤労する喜びを理解する。また、有機物リサイクルシステムを用いて、作物残渣や生ゴミからの堆肥の作成やその利用による「食の循環」の意義を学ぶ。</p> <p>【授業の到達目標】 1.植物を栽培する活動を通して、農業の意義やその教育力を理解する。 2.環境要因の影響下で植物を栽培するための知識・技術の基礎を習得する。</p> <p>【授業の形式】 実習</p>
講義スケジュール	<p>【授業計画】 第1回 スイートコーンの栽培畑において畦の準備、播種 第2回 ジャガイモの植えつけ、芽かき、春植え球根の植えつけ、管理 第3回 サツマイモの育苗、栽培畦の準備、植えつけ、イチゴの管理、収穫 第4回 イネの播種、田植え、管理、ピーナツ播種、苗の管理 第5回 トマトの育苗、接ぎ木、植えつけ、管理、スイートコーンの管理、中耕、除草 第6回 タマネギの管理、収穫 第7回 ジャガイモの追肥、土寄せ、収穫 第8回 スイートコーンの管理、除穂、収穫 第9回 アサガオの播種、仮植、定植、仕立て、管理 第10回 キク、花木・樹木の挿し木、植えつけ、鉢上げ、鉢替え、管理 第11回 ハボタンの播種、植えつけ、プリムラ・マラコイデスの播種 第12回 みどりのカーテンの栽培、管理、野菜のトンネルの栽培、管理 第13回 秋植え球根の掘り上げ、貯蔵、繁殖処理 第14回 インドゴムノキ他の取り木、コンテナガーデニング、野菜の袋栽培 第15回 有機物のリサイクル処理、リサイクル堆肥の作成、九条ネギの掘りあげ、乾燥、樹木剪定枝からの木質ペレットの作成</p>
教科書	必要に応じて資料プリントを配布する。
参考書	毛利他著「学校園の栽培便利帳」農山漁村文化協会、向山他著「学校園の観察実験便利帳」農山漁村文化協会、森他監修「応用植物科学栽培実習マニュアル」養賢堂

G112 環境学a

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Environmentology		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター修学担当 TEL075-325-5307 FAX075-325-5317		
担当教員	高野 拓樹 (キャリア形成学部キャリア形成学科准教授)		
開講日程	2016年04月06日(水)～2016年07月20日(水) 5講時 16時10分～17時40分(毎週水曜日) ※休講 2016/05/04 (水・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科目等履修生(履修料20,000円、選考料 科目数を問わず10,000円) 聴講生10,000円(選考料免除)		

会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	受講態度(15%)、授業中のレポート内容など(15%)、試験期間中の筆記試験(70%) ※中間クイズは成績には含めない。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>女子のみ受講可。 ※受講者人数によって、本学開講基準により不開講になる場合があります。 ※環境学aと環境学bは同一科目であり、受講はどちらかのみ可</p> <p>【授業時間外学修(予習・復習等)について】 最新の環境・エネルギー問題に関する情報を新聞やニュースなどから入手しておく必要がある。</p> <p>外部講師による授業を入れる場合がある。また、環境問題は日々変化しつづけるため、授業の途中でタイムリーな話題が発生した場合には、予告なく授業進路を変更する可能性がある。</p>		
講義概要・到達目標	<p>【授業テーマ】 地球の未来を考える。</p> <p>【授業の概要】 自然界と人類の営みの矛盾から生じた環境問題を学ぶために、この授業では、世界に衝撃を与えた事例(地球温暖化、砂漠化、種の絶滅など)を提示することから始める。環境問題を「わがごと」として捉え、未来の自分と私たちの子孫のために、地球環境に対して正しい行動をとるための基本となる考え方を習得することを目的とする。</p> <p>【到達目標】 1. 地球環境問題の現状について理解している。 2. 地球環境問題が起こった経緯を理解している。 3. 人類がめざすべき循環型社会について、正しい知識をもとに論じることができる。</p>		
講義スケジュール	<p>【授業計画】 1. ガイダンスーこの授業の進め方や評価方法などー 2. 仏教の環境観 3. すべての生き物のための地球 4. 地球温暖化の本当のお話 5. 平均気温の上昇を2℃以下に抑える意味 6. 環境問題の被害者は弱い生き物 7. 絶滅の連鎖 8. 島が沈んでゆく 9. 砂漠化ー黄砂とPM2.5ー 10. 中間クイズ 11. 有害物質ー世界一危険な生き物ー 12. 環境ホルモンがあなたの命を脅かす 13. リサイクルは誰の責任なのか 14. もし大災害が発生したら 15. 中間クイズ2</p>		
教科書	高野拓樹 著 / 地球環境クライシスー未来へつなぐ命のバトンー / ムイスリ出版 / 2016		
参考書	環境省 編 / 環境白書 / 平成27年度版 東京商工会議所 編 / 環境社会検定試験®(eco検定)公式テキスト / 2014 (改訂5版)		
授業方法	教科書、スライド、映像などを用いた講義形式で行う。		

G113 環境学b

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Environmentology		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター修学担当 TEL075-325-5307 FAX075-325-5317		
担当教員	高野 拓樹 (キャリア形成学部キャリア形成学科准教授)		
開講日程	2016年04月08日 (金) ~ 2016年07月29日 (金) 4講時 14時30分~16時00分 (毎週金曜日) ※休講 (学校行事) 2016/04/15 (金) ※休講 2016/04/29 (金・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科目等履修生 (履修料20,000円、選考料 科目数を問わず10,000円) 聴講生10,000円 (選考料免除)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	受講態度 (15%)、授業中のレポート内容など (15%)、試験期間中の筆記試験 (70%) ※中間クイズは成績には含めない。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	女子のみ受講可。 ※受講者人数によって、本学開講基準により不開講になる場合があります。 ※環境学aと環境学bは同一科目であり、受講はどちらかのみ可 【授業時間外学修 (予習・復習等) について】 最新の環境・エネルギー問題に関する情報を新聞やニュースなどから入手しておく必要がある。 外部講師による授業を入れる場合がある。また、環境問題は日々変化しつづけるため、授業の途中でもタイムリーな話題が発生した場合には、予告なく授業進路を変更する可能性がある。		
講義概要・到達目標	<p>【授業テーマ】 地球の未来を考える。</p> <p>【授業概要】 自然界と人類の営みの矛盾から生じた環境問題を学ぶために、この授業では、世界に衝撃を与えた事例 (地球温暖化、砂漠化、種の絶滅など) を提示することから始める。環境問題を「わがこと」として捉え、未来の自分と私たちの子孫のために、地球環境に対して正しい行動をとるための基本となる考え方を習得することを目的とする。</p> <p>【到達目標】 1. 地球環境問題の現状について理解している。 2. 地球環境問題が起こった経緯を理解している。 3. 人類がめざすべき循環型社会について、正しい知識をもとに論じることができる。</p>		
講義スケジュール	<p>【授業計画】 1. ガイダンスーこの授業の進め方や評価方法などー 2. 仏教の環境観 3. すべての生き物のための地球 4. 地球温暖化の本当のお話 5. 平均気温の上昇を2℃以下に抑える意味 6. 環境問題の被害者は弱い生き物 7. 絶滅の連鎖 8. 島が沈んでゆく 9. 砂漠化ー黄砂とPM2.5ー 10. 中間クイズ 11. 有害物質ー世界一危険な生き物ー</p>		

12. 環境ホルモンがあなたの命を脅かす
13. リサイクルは誰の責任なのか
14. もし大災害が発生したら
15. 中間クイズ2

【授業方法】

教科書、スライド、映像などを用いた講義形式で行う。

教科書	高野拓樹 著 / 地球環境クライシスー未来へつなぐ命のバトナー / ムイスリ出版 / 2016
参考書	環境省 編 / 環境白書 / 平成27年度版 東京商工会議所 編 / 環境社会検定試験® (eco検定) 公式テキスト / 2014 (改訂5版)

G115 基礎遺伝学

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Basic Genetics		
大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL : 075-705-1985 FAX : 075-705-1582		
担当教員	寺地 徹 (総合生命科学部)		
開講日程	2016年04月11日 (月) ~ 2016年07月19日 (火) 3講時 13時15分~14時45分 (毎週月曜日) 1講時 09時00分~10時30分 (毎週火曜日) ※月曜日と火曜日の両方へ出席してください。 ※火曜振替1回 2016/05/06 (金) ※開講 2016/07/18 (月・祝) ※休講 2016/05/03 (火・祝)		
単位数	4	開講区分	前期・春学期
受講料	科 50,000円 聴 34,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	定期試験		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	履修上の注意 過去に「基礎遺伝学 I・II」を受講した学生は、同一科目のため登録できません。		
講義概要・到達目標	<p>講義概要 「蛙の子は蛙」、「瓜のツルに茄子はならない」などの諺を引き合いにだすまでもなく、子供が親に似るということは世の中の常識のひとつである。ではどうして子供は親に似るのであろうか? つきつめて考えると、これはなかなか難しい問題である。また反対に「鶯が鷹を産んだ」という諺もある。これは時として親からは全く想像ができない、優れた子供が生まれる場合があることを意味する。遺伝学とは、子供が親に似、さらに孫が子供に似るのはなぜかを追及する学問である。と同時に、その裏返しの結果をもたらす突然変異、さらには突然変異の歴史的蓄積である生物進化についてのしくみを考える学問でもある。最近の研究では、生命現象はすべて、その根源的なところで遺伝子の働きによって制御されていることがわかってきている。したがって生命現象をより深く理解するためには、個々の遺伝子の構造や働きその他に、遺伝子の伝達のしくみや遺伝子の変化の要因を理解することが不可欠である。本講義では遺伝のしくみと形質発現、さらには進化のしくみに関する基本的事項を解説する。講義の前半部分では、遺伝現象をつかさどる遺伝子を、あえて概念的なもの、すなわち染色体上に並ぶ単なる粒子として講義を進めるが、後半部分では、遺伝子がDNAという「物質」であることに言及していく。そのため、微生物、とりわけ大腸菌とそれを宿主とするウイルス (バクテリオファージ) を用いて行われた遺伝研究を紹介し、ここで得られた遺伝学上重要な発見をふり返るとともに、その発見が現代遺伝学の最新の知見とどのように結びついているのか解説したい。</p>		

講義スケジュール	
以下の各項目に関して、プリントや映像資料など各種教材を用いて講義する。	
1. イントロダクション（遺伝学とはどのような学問か、遺伝学の諸分野、講義の進め方と評価方法）	
2-5. 遺伝学の実験に用いられる生物 (上記2-5回は適宜実物観察とビデオによる学習を行う)	
6. 遺伝と環境、変異について	
7-10. メンデル遺伝	
11. 染色体、体細胞分裂と減数分裂	
12-13. 連鎖と組換え	
14. 性染色体と伴性遺伝	
15. 講義内容の復習と補足、必要に応じて中間試験	
16. ここまでの復習	
17-20. 染色体の変化	
21-23. ヒトの遺伝の基礎	
24. 集団遺伝学の基礎	
25-26. 大腸菌とバクテリオファージの遺伝学	
27. 遺伝子の構造と発現（DNAとRNA、セントラルドグマ、遺伝暗号）	
28. 突然変異のしくみ（遺伝子突然変異とは、頻度、突然変異の種類）	
29. 分子進化入門	
30. 講義内容の復習と補足（遺伝学の最新のトピックスなど）	
教科書	無し
参考書	授業中に指示する

G116 相対論

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Relativity		
大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL: 075-705-1985 FAX: 075-705-1582		
担当教員	九後 太一（理学部）		
開講日程	2016年04月07日（木）～2016年07月21日（木） 3講時 13時15分～14時45分（毎週木曜日） ※休講 2016/05/05（木）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科 25,000円 聴 17,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	60	京カレッジ定員	
試験・評価方法	定期試験（筆記試験）～60%、レポート（2回）～20%、平常点（授業への参加度合い）～20%。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	履修上の注意 講義の理解が困難になるので、遅刻、欠席をしないこと。 参考書を挙げておくので、講義に合わせて復習をして理解を確実にすること。		
講義概要・到達目標			
講義概要 アインシュタインによって1905年に発表された（特殊）相対性理論は、従来の時間と空間の概念を覆す革命的なものであった。時間と空間は絶対的なものではなく、互いに等速運動する観測者（慣性系）の間では、ローレンツ変換と呼ばれる変換で時間・空間は一体のものとして変換し合う。粒子の運動はもちろん、自然界の基礎理論はすべてローレンツ変換のもとで不変でなければならない。 一方Newtonの重力理論は、光速が相互作用の最大の伝播速度であるとすると相対論と矛盾していた。加速度運動による見かけの力と重力が局所的には等価であることに注目したアインシュタインは、慣性系だけ			

ではなく加速度系まで含めた観測者に対しても運動方程式が同じ形をとることを要求する一般相対性理論として重力の理論を作ることになった。一般相対論は、星のまわりの重力のみならず重力が支配的な宇宙の大域的構造をも決定し、宇宙論にとって基本的な理論となった。本講義では、この特殊相対論および一般相対論の基本的な考え方、理論展開、ならびにその応用について学ぶ。

授業の到達目標

光速不変の原理と特殊相対性原理（すべての慣性系の観測者にとって物理法則が同じ形をとるという要請）とからローレンツ変換の導出を理解すること。静止系と（等速）運動している座標系において、同時刻という概念が異なること、また時間の進み方や物の長さが異なることを理解する。さらに、電磁気学がローレンツ（変換のもとで）不変であること、相対論的な運動学、とくに $E=mc^2$ を理解すること。曲がった時空の表現として、計量テンソルの意味と、そこでの共変微分の概念を理解すること。時空の曲がりの2階微分としての曲率テンソルと、それを引き起こす物質のエネルギー・運動量との関係を示した、アインシュタインの重力方程式の理解。その具体的な解として、シュバルツシルト解、フリードマンの解の導出と、その内容の理解。

身に付く力

論理的思考力、論理的分析力、物理学の基礎学力、時間・空間の理解力

講義スケジュール	
講義スケジュール	
第一章 特殊相対性理論	
1. ニュートン力学における時間と空間	
2. 光速不変の原理とマイケルソン・モーレイの実験	
3. 同時性、時間の遅れ、ローレンツ短縮、双子のパラドックス	
4. ローレンツ変換	
5. 速度の合成、ドップラー効果	
6. ミンコフスキー空間	
第二章 物理法則の共変形式	
7. 擬回転としてのローレンツ変換群、スカラー、ベクトル、テンソル	
8. 相対論的運動学と質点の力学	
9. 電磁場のマクスウェル方程式の共変形式	
10. 荷電粒子の相対論的運動方程式、相対論的運動学その2	
11. 特殊相対性理論の限界と等価原理	
第三章 一般相対性理論	
12. リーマン幾何学、共変微分、曲率	
13. アインシュタイン方程式	
14. シュバルツシルト解	
15. フリードマンの宇宙解とビッグバン宇宙モデル	
準備学習等（事前・事後学習） ベクトルやテンソル、ローレンツ変換、一般座標変換、リーマン幾何学、といった数学的な道具立てを必要とするので、ノートや参考書で復習して、十分に新しい数学と物理の概念に慣れることが必要である。	
教科書	なし
参考書	風間洋一「相対性理論 入門講義」（現代物理学入門講義シリーズ）（培風館、1997） 佐藤勝彦「相対性理論」（岩波基礎物理学シリーズ）（岩波書店、1996） ランダウ・リフシッツ「場の古典論」（東京図書）

G117 環境デザイン概論

聴講生

英文科目名	Introduction to Environmental Design
大学名	京都造形芸術大学
連絡先	教学事務室 教務担当 TEL: 075-791-9125
担当教員	専任教員+ゲスト講師
開講日程	2016年04月14日（木）～2016年07月28日（木） 2講時 10時40分～12時00分（毎週木曜日） ※休講 2016年5月5日（木・祝）

単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	無し		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	<p>■単位互換生 <基準> ・環境デザイン領域の広さと深さを理解する ・教員の作品や研究について自らの視点で論述する。</p> <p><評価方法> 毎回のレポートによる。</p> <p>■京カレッジ生 聴講生のため試験・評価なし</p>		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	無し		
その他特記事項	<p>・履修許可通知後の受講手続きは特にありません。 履修生証の発行も行いませんが、本学に受講に来る際には必ず所属大学の学生証を持参してください。 ・駐車場、バイク駐輪場はありませんので公共交通機関をご利用ください。</p>		
講義概要・到達目標			
<p>■テーマ 教員の仕事を通してみる環境デザインの現在</p> <p>■授業概要 環境デザイン学科専任教員によるリレー方式の授業。各教員が自分の研究や制作をとおして環境デザインを多角的に検証する。教員自らのリアルな問題意識と、その解決に向けての試行錯誤のプロセスを語るにより、環境デザインの現在を伝える。</p> <p>■到達目標 教員の研究や制作をとおして、環境デザイン領域の広さと深さを理解したうえで、自らの専門領域の設定に資する。</p>			
講義スケジュール			
<p>■授業計画</p> <p>第1回 城戸崎和佐「空気のカタチ」(建築デザイン) 第2回 河合健「海外ランドスケープデザインの現在」(ランドスケープデザイン) 第3回 辻村久信「素材とデザイン」(インテリアデザイン) 第4回 荒川朱美「住まいから考える」(インテリアデザイン) 第5回 中村勇大「都市住宅のデザイン手法」(建築デザイン) 第6回 ヤギタカシ「インテリアデザインの時代」(インテリアデザイン) 第7回 小野暁彦「ヴィヴィッド・テクノロジー」(建築デザイン) 第8回 木村靖隆「未定」インテリアを仕事にする 第9回 佐々木葉二「都市の再生 六本木ヒルズの環境デザイン」(ランドスケープデザイン) 第10回 前田博「歴史的町並みの保存と再生」(建築デザイン) 第11回 坂茂「作品づくりと社会貢献の両立を目指して」(建築デザイン) 第12回 尼崎博正「未定」庭づくりを仕事にする 第13回 島田 陽「未定」建築を仕事にする 第14回 加藤友規「未定」庭づくりを仕事にする 第15回 岸 和郎「未定」建築を仕事にする (以上、内容等予告なく変更することがあります。)</p> <p>■予習復習について 毎回、授業を受けて考えたことをレポートにまとめ、期限内に提出する。</p>			
教科書	使用しない。 資料を授業時に配布する。		
参考書	使用しない。		

G118 京都の自然

科目等履修生

英文科目名	Natural Resources in Kyoto		
大学名	京都府立大学		
連絡先	学務課 教務担当 TEL: 075-703-5118 FAX: 075-701-2474		
担当教員	京都府立大学 生命環境学部 生命分子化学科: 佐野智 講師、中尾淳 助教、沼田宗典 准教授 農学生命科学科: 中尾史郎 准教授、久保康之 教授、桂明宏 准教授、増村威宏 教授、大島一正 助教		
開講日程	2016年04月12日(火)~2016年07月26日(火) 4コース 14時30分~16時00分(毎週火曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	67,600円(入学考査料9,800円、入学料28,200円、授業料29,600円)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	170	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	担当教員による随時のテストの素点平均で評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	受講後に、不明点や興味をもった内容について質問や文献調査をおこなうことで学習内容を正しく深く理解することを希望する。		
講義概要・到達目標			
<p>人類が農耕を始めた時、森林、草原、河川などの自然生態系の中に生産を目的とした農耕地が加わり、生態系を制御することで農生態系が出現した。そして、栽培植物に対する環境の制御だけでなく、植物の遺伝性にも制御を加え、高い生産効率が維持されるようになった。さらに近年は、環境保全型の農業として作物の病害虫に対して生物的防除法が開発、推進されている。これらの人為による制御の効果と影響を農生態系の中で総合的に解析し、制御技術を改良していくことが、高い生産性を維持するために必要となろう。本講義ではこれらの内容や関連現象をリレー講義で論ずる。</p>			
講義スケジュール			
<p>第01回 序論: 生物多様性の成立と利用・管理 第02回 京都の昆虫 第03回 京都の地質と地形 第04回 京都の土壌分布とその規定要因 第05回 京都の土質・土壌と人とのかかわり 第06回 保護されて生育するイネの姿(1) 第07回 保護されて生育するイネの姿(2) 第08回 宇治茶の被覆栽培と環境ストレス(1) 第09回 宇治茶の被覆栽培と環境ストレス(2) 第10回 植物が利用している化学物質とその反応(1) 第11回 植物が利用している化学物質とその反応(2) 第12回 植物病害の生物的防除として開発された拮抗微生物、抵抗性誘導微生物、微生物由来の農薬、弱毒ウイルスなどの利用(1) 第13回 植物病害の生物的防除として開発された拮抗微生物、抵抗性誘導微生物、微生物由来の農薬、弱毒ウイルスなどの利用(2) 第14回 侵入農業害虫と生物学的防除 第15回 生物多様性と生態系サービス</p>			
教科書	特に指定しない。随時紹介する。		
参考書	特に指定しない。随時紹介する。		

G119 生命の科学1 (菌類の生物学)

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Life Science 1		
大学名	同志社大学		
連絡先	理工学部・理工学研究科事務室 TEL: 0774-65-6200 FAX: 0774-65-6800		
担当教員	大園 享司 (理工学部教授)		
開講日程	2016年04月11日 (月) ~ 2016年07月25日 (月) 2講時 10時45分~12時15分 (毎週月曜日) *休講 2016年5月 2日 (月) *休日授業日 2016年7月18日 (月・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科 93,000円 (選 10,000円、登 35,000円、履 48,000円)、聴32,000円		
会場	京田辺校地		
授業定員	160	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	平常点 20% 出席に加えてクイズにより理解度を判定する 提出物 30% 自習課題の提出とグループ討議への取り組みにより評価する 期末試験 50% 講義内容の理解度により評価する		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
<p><概要> 菌類 (fungi) は真菌類ともよばれ、きのこやかび、酵母としてなじみ深い生物です。しかし菌類は、菌糸とよばれる微小な細胞で生活を営んでいるため、普段ほとんど目につくことはありません。この菌類が、菌糸の生長や生殖を通じて、また植物や動物や人間の共生者として、自然界のなかで、他の生物にはないユニークな役割を担っています。講義では、生長や生殖といった菌糸の生活の様式と、人間との関わりや形態、分類、機能などの側面からみた菌類の特徴について、具体例を通じて受講生とともに考えていきます。</p> <p><到達目標> 基礎知識の習得により、「菌類とはどのような生物か」という問いに対して、自分の言葉で答えることができるようになる。菌類学の基礎知識を習得し、菌糸の生長・繁殖や、われわれ人間との共通性・相違性について理解することで、自然と生物を多面的に捉える能力を養う。</p>			
講義スケジュール			
第1回 ガイダンス 第2回 菌類とは 第3回 菌糸の系統 第4回 菌糸の生活 第5回 菌糸の栄養 第6回 菌糸の環境 第7回 菌糸の代謝 第8回 講義内容と理解度の確認 第9回 菌糸の生殖 第10回 菌糸の一生 第11回 菌糸と人間 第12回 菌糸の分類 第13回 菌糸の機能 第14回 南極の菌類 第15回 講義内容と理解度の確認 進捗状況に応じて、講義の順番を入れ替える、野外観察を実施するなどの場合がある。			
教科書	広瀬大・大園享司 『菌類の生物学—生活様式を理解する』(京都大学学術出版会2011)		

参考書	細矢剛 『菌類のふしぎ—形とはたらきの驚異の多様性』(東海大学出版会2014) 柿原眞・徳増征二 『菌類の生物学—分類・系統・生態・環境・利用』(共立出版2014) 本郷次雄・伊沢正名・上田俊穂 『きのこ (新装版山溪フィールドボックス)』(山と溪谷社2006)
-----	--

G120 環境と人間A

科目等履修生

英文科目名	The Environment and Humanity A		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 TEL 075-645-7891 FAX 075-643-5021		
担当教員	奥田 哲士		
開講日程	2016年04月11日 (月) ~ 2016年07月18日 (月) 4講時 15時20分~16時50分 (毎週月曜日) ※7月18日 (月・祝) は祝日ですが授業を実施します。		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科20,000円		
会場	瀬田学舎		
授業定員		京カレッジ定員	
試験・評価方法	小テスト100% 授業2・3回に1度、授業終了時に行う		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	単位互換定員には京カレッジ生も含まれます。 【会場】 龍谷大学瀬田学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。		
講義概要・到達目標			
<p>講義概要 かつては公害問題が環境問題であったが、公害問題については法的な対応や行政的な対応によって社会的対応がなされたといえる。しかしその後も、ダイオキシンなどの微量汚染物質が問題となったり、地球温暖化などの社会のエネルギー利用を根本的に考え直さなければならぬような大きな環境問題が出現してきている。さまざまな環境問題の機構や実態、さらに現在の取り組みについて知識を深め、今後どのように対処していかなければならないかについての考え方を紹介する。</p> <p>到達目標 さまざまな環境問題を理解し、そのソリューションについての基本的な考え方を確立する。</p>			
講義スケジュール			
1 環境と社会づくり 2 大気、水圏、土壌、森林 3 地球温暖化、オゾン層 4 酸性雨、森林破壊、砂漠化 5 大気汚染 6 水質汚濁 7 廃棄物 8 大気汚染防止技術 9 水質汚濁防止技術			

10 化学物質、車社会	
11 温暖化、エネルギー	
12 CSR、ISO、環境マネジメント、環境会計	
13 LCAや他の環境指標	
14 生活と環境	
15 まとめと確認テスト	
教科書	石川宗孝『環境読本』（電気書院）2,700円 (ISBN: 978-4-485-22016-0)
参考書	

13回目	数当てカード（2進数）
14回目	バーコードの数理（誤り訂正符号）
15回目	柔らかな数学（トポロジー）
教科書	
参考書	

G121 生活の中の数学

科目等履修生

英文科目名	Mathematics in Daily Life		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教育学部 TEL075-645-7891 FAX075-643-5021		
担当教員	大西 俊弘		
開講日程	2016年04月13日（水）～2016年07月27日（水） 3講時 13時35分～15時05分（毎週水曜日）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科20,000円		
会場	瀬田学舎		
授業定員		京カレッジ定員	
試験・評価方法	小テスト 100%（授業中に2～3回実施する）		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	単位互換定員には京カレッジ生も含まれます。 【会場】 龍谷大学瀬田学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。		
講義概要・到達目標			
講義概要 高校まではほぼ全員が数学を学んできたが、大学では縁遠くなってしまふ人が多い。これはとても残念なことで、高校までで出会った数学も使い方次第、発展のさせ方次第で、世の中の事象と深く関わっている。この講義では、日常生活の中で出会ういくつかの事象について、数学的な考察をし、関連するモデル等を作る予定である。 なお、この科目は、特定の専攻・分野向けの数学的基礎知識を準備するためのものではない。			
到達目標 日常生活で見られる事象・事象と数学の関連について学び、数学がどのように活用されているか説明することができる。			
講義スケジュール			
1回目 封筒と数学 2回目 コピー用紙の数理（白銀比） 3回目 正五角形の不思議（黄金比1） 4回目 正20面体の不思議（黄金比2） 5回目 面積消失パズル（フィボナッチ数列1） 6回目 自然界の数理（フィボナッチ数列2） 7回目 ローンの数学（等比数列・指数関数） 8回目 折り鶴の数理 9回目 紙の3等分（オリガミクス） 10回目 無限操作の不思議（フラクタル1） 11回目 自然界に潜む曲線（フラクタル2） 12回目 直線で曲線を描く（包絡線）			

G122 里山学

科目等履修生

英文科目名	SATOYAMA Studies : The sustainable interaction of nature and humans in landscape		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教育学部 TEL075-645-7891 FAX075-643-5021		
担当教員	横田 岳人、丸山 徳次、遊磨 正秀、越川 博元、寺田 憲弘、 朴 炫国、帖地 孝人、鈴木 龍也、山崎 英恵、須藤 明子		
開講日程	2016年04月11日（月）～2016年07月18日（月） 3講時 13時35分～15時05分（毎週水曜日） ※7/18（月・祝）は祝日ですが授業実施日です。		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科20,000円		
会場	瀬田学舎		
授業定員		京カレッジ定員	
試験・評価方法	レポート 100%		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	単位互換定員には京カレッジ生も含まれます。 【会場】 龍谷大学瀬田学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。 複数教員によるチェーンレクチャーであり、それぞれの教員ごとにいろいろな方法で講義する。		
講義概要・到達目標			
講義概要 里山は、人間が長期にわたって手を入れ、自然と多様な形で関わり、自然と共生することによって、人間同士の共存を可能にしてきた場所であった。日本の生物の多様性の一部は里山の存在によって維持されてきたということも明らかになりつつある。ところがエネルギー革命と農業革命のため里山は放置され、都市の膨張とともに開発のターゲットにされてきた。生物多様性を維持し、人間の生活を支え、日本文化の形成にも密接に関連していたと考えられる里山が失われようとしている。「里山学」では、里山の環境、動植物、歴史、里山と文化・制度との関わりなどについて、複数の教員が講義する。			
到達目標 里山といわれる環境について、その歴史や現状を理解することができる。里山を代表とする身近な自然環境と人間との関係について、自分自身の意見を持ち表明することができる。			
講義スケジュール			
1. 里山の歴史と現状 2. 里山の環境倫理 3. 水辺環境と里山 4. 里山の生物多様性 5. 環境社会学からみた里山 6. 里山と山の神<日本編> 7. 里山と山の神<韓国編>			

8. 人と自然の関係～森からの思想	
9. 里山の所有と利用	
10. 食と文化	
11. 人の生活と水環境	
12. 里山のバイオマス利用	
13. 瀬田地域の里山の歴史	
14. 里山が放置され、増える生きものと減る生きもの	
15. 植物と里山文化	
教科書	講義時間内に教員ごとに指示する。
参考書	丸山徳次・宮浦富保 『里山学のすすめ』（昭和堂）2,310円（ISBN：9784812207383） 丸山徳次・宮浦富保 『里山学のまなざし』（昭和堂）2,310円（ISBN：9784812209165） 村澤真保呂・牛尾洋也・宮浦富保 『里山学講義』（晃洋書房）2,500円（ISBN：9784771026339） 講義時間内に教員ごとに指示する。

G123 里山学

科目等履修生

英文科目名	SATOYAMA Studies : The sustainable interaction of nature and humans in landscape		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教育学部 TEL075-645-7891 FAX075-643-5021		
担当教員	谷垣岳人（動物生態学 政策学部）、丸山徳次（哲学・倫理学 文学部）、高柳敦（京都大学大学院農学研究科）、龍口明生（仏教学 文学部名誉教授）、吉村文彦（まつたけ十字軍代表）、江南和幸（金属学 理工学部名誉教授）、須藤護（民俗学 国際文化学部名誉教授）、好廣眞一（霊長類学 経営学部名誉教授）、土屋和三（植物生態学 文学部）、村澤真保呂（社会思想史 社会学部）、友永雄吾（文化人類学 国際学部）、中田治（中源株式会社）、牛尾洋也（民法 法学部）、宮崎敬二（大津市役所 環境部環境政策課）、中佐昌弘（京都府農林水産部 モデルフォレスト・全国育樹祭推進課）		
開講日程	2016年04月11日（月）～2016年07月18日（月） 3講時 13時15分～14時45分（毎週月曜日） ※開講 7月18日（月・祝） リレー講義とフィールドワーク 「龍谷の森」※での野外実習は参加必須。それ以外のフィールドワークは選択。詳細は講義中にアナウンスします。 ※「龍谷の森」は「生物多様性保全上重要な里地里山」として環境省に選定されました。 1：「龍谷の森」の里山保全 4/24（日）13時 瀬田学舎（滋賀県大津市）バス停集合、16時解散予定。 2：北山林業 5/15（日） 3：田上の民俗 5/22（日） 4：「龍谷の森」および周辺水田での自然観察 6/19（日） 雨天中止等の案内は以下の環境サイエンスコースの情報サイトに掲示します。 http://d.hatena.ne.jp/kankyo-science		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科20,000円		
会場	深草学舎		
授業定員	200	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	毎回A4一枚程度のレポートを課します（約70点）。 野外実習報告（1回）（20点）、全講義終了後の総括レポート（10点）、以上を合計して100点満点とする。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	野外実習の交通費が必要		

【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。	
その他特記事項 予・復習に関しては、担当教員によりその都度指示を出すようにします。 リレー講義と野外実習で里山を体験し理解する、龍谷大学ならではの科目です。	
講義概要・到達目標	
<講義概要> リオデジャネイロで開催された地球サミット（1992年）は、地球環境問題の解決にむけた大転換点であり、日本においても環境行政の歴史に残る大転換がなされた。1993年には『生物多様性条約』を締結し、国際社会への責任として国内法が整備された。『環境影響評価法』（1999年施行）においては、（生態系の体系的保全）、（身近な自然との触れ合い活動の場の確保）の要項が新たに加わった。さらに『生物多様性国家戦略2012-2020』が策定され、いま日本の社会は、開発・成長型から安定・成熟型にむけて進みつつある。 エネルギー、木材、食料の自給率が低下する現代の日本において、人間活動が歴史的につくりだしてきた身近な自然である里地・里山（沿岸部では里海）の生物多様性の不可逆的な崩壊、人と自然とを結ぶ文化の消滅の危機が広く知られてきた。現在、地球規模での自然環境の保全・再生、そして日本各地でも新たな環境再生の模索が始まっている。人と自然との新たな共存を創成するためには、人間の智のあらわれである宗教・人文・社会・芸術文化・自然科学、そして地域社会の住民、行政との横断的連携・相互交流が不可欠であることが明らかになってきた。古代より開発が始まった近畿地方では、土地面積の65.6%が里山（二次林・植林地）であり、中山間地域の放置された里山・農林業・地域社会の振興も現在直面している緊急の課題である。 2001年3月、龍谷大学は、絶滅危惧種のオオタカの棲む瀬田学舎隣接地の里山（38ha）の大規模造成をやめ、里山を活用した新たな教育・研究と地域社会との連携にむけて動き始めた。以来この里山は「龍谷の森」と呼ばれるようになり、2004-08年には、「里山学・地域共生学オープン・リサーチ・センター」を、2009年からは「里山学研究センター」を開設し、生物多様性・環境計測調査、社会人文科学・地域共生学調査研究により里山の総合研究を行っている。この講座は、それらの研究成果の公開の場でもある。	
<到達目標> 人文・社会・自然科学研究領域の交差・融合する世界を体験すること。地域社会、行政との協働による新たな環境創成の活動を体験すること。将来世代に引き継ぐべき環境を見通すこと。 里山フィールドワークでは、生の自然体験を通して考える。	
講義スケジュール	
1回目 里山の環境倫理～里山学のすすめ～（丸山徳次） 2回目 日本の里山、ヒマラヤの里山（土屋 和三） 3回目 「里山」という問題（村澤真保呂） 4回目 オーストラリア先住民の伝統知と環境管理（友永雄吾） 5回目 京都の山林と環境～北山杉650年の伝統美～（中田治） 6回目 里山と民俗学（須藤護） 7回目 里山の開発の歴史と今日の課題（牛尾洋也） 8回目 人々の暮らしと野生動物（高柳敦） 9回目 「龍谷の森」に暮らす哺乳類の15年の変化～赤外線センサーカメラで調べる～（好廣眞一） 10回目 大津市の環境人育成事業と環境保全活動について（宮崎敬二） 11回目 仏教と森（アランニヤ）とのかかわり（龍口明生） 12回目 都マツタケの復活（吉村文彦） 13回目 京都モデルフォレスト運動に学ぶ（中佐昌弘） 14回目 里山がうみだした文化と芸術（江南和幸） 15回目 昆虫にとって里山とは何か（谷垣岳人）	
教科書	村澤真保呂 牛尾洋也 宮浦富保 『里山学講義』（晃洋書房）（ISBN：9784771026339）
参考書	『里山学のまなざし』丸山・宮浦著 『里山のガバナンス』牛尾洋也 鈴木龍也 編（晃洋書房） 『里山学のすすめ』丸山徳次 宮浦富保 編（昭和堂） 講義時に紹介する

G125 農学生命科学集中実習

科目等履修生

英文科目名	Intensive Training/Practice in Agricultural Life Sciences		
大学名	京都府立大学		
連絡先	学務課 教務担当 TEL: 075-703-5118 FAX: 075-701-2474		
担当教員	京都府立大学 生命環境学部 農学生命科学科 寺林敏 教授、板井章浩 教授、大迫敬義 講師、 伊達修一 講師		
開講日程	2016年09月13日(火)～2016年09月15日(木) 予定 2泊3日の宿泊あり		
単位数	1	開講区分	夏期集中
受講料	52,800円(入学考査料9,800円、入学金28,200円、 授業料14,800円)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	40	京カレッジ定員	1
試験・評価方法	実習参加時間数、終了時に提出するレポート		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	5,000円当日徴収(使途:食費、宿泊用寝具)		
その他特記事項	京都府立大学下鴨キャンパスに初日集合の後、バスにて移動。 京都府立大学精華農場にて実習及び宿泊。 農作業ができる服装の用意		
講義概要・到達目標			
<p>【講義概要】2泊3日の日程で、作物(イネ)、野菜、花卉、果樹を対象に、作物栽培の基本となる、播種、定植、種々管理(除草、防除など)、収穫・調整等の作業を行う。</p> <p>【到達目標】園芸作物を中心に作物の特徴、栽培技術の理論と実際、農地を取り巻く環境等について理解を深める。</p>			
講義スケジュール			
1.バス移動 下鴨キャンパスを午前9時出発 2.農場施設の説明 3.水田環境と水稲生育の観察 4.野菜の栽培法と夏野菜の収穫 5.秋野菜の播種、定植 6.野菜(トマトなど)の施設栽培法 7.花の栽培法と繁殖(花苗移植) 8.花の収穫と調整 9.作物の肥培管理 10.作物の保護(除草と病虫害防除) 11.果樹類の形態及び栽培法の説明 12.果樹(ブドウ)の収穫 13.果樹(ブドウ)収量調査と調整 14.レポート作成 15.バス移動 京都府立大学下鴨キャンパスにて解散(午後5時予定)			
教科書	なし(適宜プリント配布)		
参考書	特になし		

G133 農業実習Ⅱ ー学校園で役立つ農園芸実習Ⅱー

聴講生

英文科目名	Agricultural Practice II
大学名	京都教育大学
連絡先	教務・入試課教務グループ TEL: 075-644-8548

担当教員	南山 泰宏(環境教育実践センター)		
開講日程	2016年10月06日(木)～2017年02月09日(木) 3～4講時 12時50分～16時05分 ※授業休止日 2016/12/22(木) ※冬季休業 2016/12/23(金)～2017/01/04(水) ※定期試験週を含む		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	10,000円		
会場	第2学舎		
授業定員		京カレッジ定員	20
試験・評価方法	授業に10回以上出席した者を評価の対象にする。 実習への出席・取り組み・活動状況とレポートにより総合的に評価する。		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【会場】 京都教育大学環境教育実践センター(第2学舎、 アクセス: http://www.kyokyo-u.ac.jp/access/access02/)</p> <p>【自習学習についての情報】 授業時間以外でも環境教育実践センターに足を運び、植物の生育を観察することが重要である。</p> <p>【注意】 京カレッジ生への単位認定は行いません。 車での来学はご遠慮いただいております。 教室は授業初回日に本学掲示板にて確認してください。</p>		
講義概要・到達目標			
<p>【授業の概要】 本学の環境教育実践センター内の圃場、温室において、作物、野菜、花卉を実際に10月から1月の前期の期間に栽培することにより、植物の生長に及ぼす環境要因の影響や植物栽培の知識・技能の基礎を学ぶとともに、植物を栽培する楽しみ、生命の不思議さ、農業の大切さや困難さを体験し、汗を流して勤労する喜びを理解する。また、有機物リサイクルシステムを用いて、作物残渣や生ゴミからの堆肥の作成やその利用による「食の循環」の意義を学ぶ。さらに、バイオマス利用システムによる木質有機物のエネルギーとしての利用についても実習を通して理解する。</p> <p>【授業の到達目標】 1.植物を栽培する活動を通して、農業の意義やその教育力を理解する。 2.さまざまな環境要因の影響下で種々の植物を栽培するための知識・技能の基礎を習得する。</p> <p>【授業の形式】 実習</p>			
講義スケジュール			
<p>【授業計画】 第1回 イネの収穫、乾燥、調整、ワラ処理 第2回 イネの脱穀、カキの収穫、脱渋 第3回 プリムラ・マラコイデス、サイネリア、パンジーなどの鉢上げ 第4回 九条ネギの播種、育苗、管理、植えつけ、ピーナッツの収穫 第5回 サツマイモ収穫、茎葉の粉碎処理、リサイクル堆肥の作成 第6回 タマネギの育苗、植えつけ、追肥、 第7回 プリムラ・マラコイデス、サイネリアなどの鉢替え、イチゴ苗の植えつけ 第8回 花壇の設計、ハボタンやパンジー等の草花の植えつけ、管理、コンテナへの植えつけ 第9回 秋植え球根の植えつけ、管理、水栽培、球根他の繁殖実験 第10回 春植え球根の掘り上げ、貯蔵、箱詰め、草花の寄せ植え、管理 第11回 イネワラ加工、モチツキ 第12回 果樹、樹木の剪定、整枝、寒肥施用 第13回 温室、ビニールハウスの管理、温室植物の管理 第14回 播種用培養土の消毒、乾燥肥料の作成、トラクターによる耕うん 第15回 樹木、果樹剪定枝の粉碎、リサイクル堆肥作成、ペレット状リサイクル堆肥の作成、樹木剪定枝からの木質ペレットの作成、ペレットストーブの運転</p>			

教科書	必要に応じて資料プリントを配布する。
参考書	毛利他著「学校園の栽培便利帳」農山漁村文化協会、 向山他著「学校園の観察実験便利帳」農山漁村文化協会、 森他監修「応用植物科学栽培実習マニュアル」養賢堂

4. 太平洋の国々からの叫び
5. あきらめずに進める環境活動
6. 有害物質の人体への影響
7. ごみ問題は誰の責任なのか
8. 誰がやってもうまくいく環境活動
9. 原子力の再稼働問題
10. 江戸時代の森林と今の森林
11. 生物多様性ホットスポット
12. 自動車業界のエコ戦略
13. 落葉コンポスト・生ごみコンポスト
14. 環境教育の重要性について熱く語る
15. まとめ

【授業方法】
教科書とスライドを使った講義形式

教科書	高野拓樹 著 / 地球環境クライシスー未来へつなぐ命のバトン / ムイスリ出版 / 2016
参考書	

G134 地域と環境

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Regional Environment		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター修学担当 TEL075-325-5307 FAX075-325-5317		
担当教員	高野 拓樹 (キャリア形成学部キャリア形成学科准教授)		
開講日程	2016年09月20日(火)～2017年01月17日(火) 4講時 14時30分～16時00分 (毎週火曜日) ※休講 2016/11/22 (火) ※休講 (冬季休暇) 2016/12/27 (火) ※休講 (冬季休暇) 2017/01/03 (火)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科目等履修生(履修料20,000円、選考料 科目数を問わず10,000円) 聴講生10,000円(選考料免除)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	授業への積極的な取組姿勢(30%)、最終レポート(60%) ※800字程度のレポートを授業中に課す。		
超過時の選考方法	書類審査		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	女子のみ受講可。 ※受講者人数によって、本学開講基準により不開講になる場合があります。 【授業時間外学修(予習・復習等)について】 最新の環境・エネルギー問題に関する情報を新聞やニュースなどから入手しておく必要がある。		

講義概要・到達目標

【授業テーマ】
地域の環境問題について考察する。

【授業の概要】
公害問題から始まり、地球環境問題にまで発展してしまった理由のひとつに、環境教育が十分に行われていなかったという背景がある。実際に、現在でも世界中には明治から昭和初期にかけての日本のように公害物質を垂れ流して生活を送っている国や地域がたくさんあり、ここで生活する大部分の人々は、日々の生活に追われて環境教育を十分に受けていない。この授業では、キャリア形成学科を卒業する学生には是非、学生時代に学んでおいて欲しい、最新の環境問題について解説する。

【到達目標】
1. 最近の環境問題についての知識がある。
2. 世間の風潮ではなく、自らの環境問題に対する意見を持っている。
3. 環境問題を深刻に捉え、このままの生活ではダメだという危機感を持っている。

講義スケジュール

【授業計画】
1. 第6回目の大量絶滅
2. 地球温暖化の目撃者
3. 地球は人間だけの惑星ではない

G137 生命の科学2 (菌類の多様性)

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Life Science 2		
大学名	同志社大学		
連絡先	理工学部・理工学研究科事務室 TEL: 0774-65-6200 FAX: 0774-65-6800		
担当教員	大園 享司 (理工学部教授)		
開講日程	2016年10月03日(月)～2017年01月27日(金) 2講時10時45分～12時15分(毎週月曜日) ※休日授業日 2016年10月10日(月・祝) ※休講 2016年11月28日(月) ※月曜日授業振替実施日(2017年1月27日(金)には月曜日の授業を実施します)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科 93,000円(選 10,000円、登 35,000円、履 48,000円)、聴32,000円		
会場	京田辺校地		
授業定員	160	京カレッジ定員	5

試験・評価方法
平常点20%
出席に加えてクイズにより理解度を判定する
提出物30%
自習課題の提出とグループ討議への取り組みにより評価する
期末試験50%
講義内容の理解度により評価する

超過時の選考方法 抽選

別途負担費用 なし

その他特記事項

講義概要・到達目標

<概要>
菌類 (fungi) は真菌類ともよばれ、きのこやかび、酵母としてなじみ深い生物です。かつては植物の仲間と考えられていましたが、最近になって菌類は植物よりもむしろ動物と近縁であることが明らかになりました。菌類は、地球上に150万種存在すると推定されているものの、現在までに10万種くらいしか記載されておらず、まだまだナゾの多い生物群です。講義では、菌類の生物界における位置づけと系統、多様性、そして極地など地球上のさまざまな生態系で暮らす菌類の姿を紹介し、ます。

<到達目標>	
基礎知識の習得により、「菌類とはどのような生物か」という問いに対して、自分の言葉で答えることができるようになる。菌類学の基礎知識を習得し、菌類の分類や系統と多様性について理解することで、自然と生物を多面的に捉える能力を養う。	
講義スケジュール	
第1回 講義の概要 第2回 菌類とは 第3回 菌類の系統 第4回 菌類の観察法 第5回 きこの世界 第6回 菌類の多様性 第7回 菌類の研究法 第8回 講義内容と理解度の確認 第9回 菌類の分類 第10回 基部に来る菌類 第11回 子のう菌類 第12回 担子菌類 第13回 地衣類・不完全菌類・偽菌類 第14回 北極の菌類 第15回 講義内容と理解度の確認	
進捗状況に応じて、講義の順番を入れ替える、野外観察を実施するなどの場合がある。	
教科書	各自でこの図鑑を少なくとも1冊は入手すること
参考書	細矢剛 『菌類のふしぎ一形とはたらきの驚異の多様性』（東海大学出版会2014） 柿嘉真・徳増征二 『菌類の生物学—分類・系統・生態・環境・利用—』（共立出版2014） 本郷次雄・伊沢正名・上田俊穂 『きのこ（新装版山溪フィールドブックス）』（山と溪谷社2006） 杉山純多 『菌類・細菌・ウイルスの多様性と系統』（裳華房2005） 広瀬大・大園享司 『菌類の生物学—生活様式を理解する』（京都大学学術出版会2011）

G138 びわ湖・滋賀学

科目等履修生

英文科目名	Biwa Lake and Shiga Prefecture		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教育学部 TEL075-645-7891 FAX075-643-5021		
担当教員	松田 征也（非常勤講師） 脇田 健一（社会学部教授：コーディネーター） 山本 充孝（非常勤講師） 楊 平（非常勤講師） 渡部 圭一（非常勤講師）		
開講日程	2016年09月21日（水）～2017年01月11日（水） 1講時 09時20分～10時50分（毎週水曜日） ※開講 2016年11月23日（水・祝） ※休講 2016年12月28日（水）、2017年1月4日（水）		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科20,000円		
会場	瀬田学舎		
授業定員		京カレッジ定員	
試験・評価方法	レポート100% 講義は4名の講師が担当し、各講師の担当期間の終了にあわせてレポートの提出を求める。		

超過時の選考方法	
別途負担費用	
その他特記事項	<p>【会場】 龍谷大学瀬田学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に記載します。</p> <p>【履修上の注意・担当者から一言】 授業のコーディネートは社会学部社会学科教員の脇田が担当しますが、個々の授業は、滋賀県立琵琶湖博物館の学芸員である松田征也先生、山本充孝先生、渡部圭一先生、楊平先生、以上の4人の先生方にご担当いただきます。</p> <p>【授業時間外における予・復習等の指示】 とくに指定しない。講義を通して、琵琶湖と滋賀県の環境をめぐる日々話題や身近なニュースに関心を持ってほしい。</p>
講義概要・到達目標	<p>【講義概要】 本講義は、現代における滋賀県の特徴について、「琵琶湖」と人の関わりという視点から理解を深めることを目的とする。私たちが通い、あるいは住んでいる滋賀県がもつ個性を理解していく上では、この地域で暮らしてきた人々の産業や日常の文化のありかたを見つめ直し、それらと琵琶湖集水域という環境との密接な関わりについて学ぶことが大切な鍵になるからである。 具体的なトピックとして、琵琶湖のユニークな生き物とその保全の問題、湖と河川を舞台とする多様な産業（漁業）とそれに関連する伝統行事、さらに琵琶湖の周囲で繰り広げられてきた水利用や稲作農業の特徴を取り上げ、琵琶湖岸を拠点とする琵琶湖博物館の新しい調査研究の成果をまじえて解説する。履修者にとって、この講義が実際の琵琶湖・滋賀県のフィールドへと足を運んでみるきっかけとなることを期待している。</p> <p>【到達目標】 琵琶湖の水産資源を題材として、滋賀県の産業（漁業）の特徴を理解する。 滋賀県の生活文化の特徴について、具体的なフィールドの事例を通して理解を深める。</p> <p>【講義方法】 必要な資料は各回の講師が適宜配付する。とくに琵琶湖・滋賀県を対象としたフィールドワークの成果（写真・映像等）の紹介を重視する。</p>
講義スケジュール	第01回 オリエンテーション（松田 征也） 第02回 琵琶湖の概要と水生生物（松田 征也） 第03回 外来生物と希少生物（松田 征也） 第04回 琵琶湖および河川漁業（山本 充孝） 第05回 滋賀県の養殖業（山本 充孝） 第06回 村の祭りを琵琶湖1：湖南の淡水魚神饌・なれずし（渡部 圭一） 第07回 村の祭りと琵琶湖2：湖北のオコナイの鏡餅（渡部 圭一） 第08回 水をめぐる祈りと祭り：雨乞いと虫送り（渡部 圭一） 第09回 人の生死と村落空間：近江の「両墓制」（渡部 圭一） 第10回 近江の「宮座」の世界（渡部 圭一） 第11回 湖と人々の暮らし（楊 平） 第12回 琵琶湖周辺の水利用と暮らし（楊 平） 第13回 水資源を活かした地域づくり（楊 平） 第14回 稲作農業にみる湖と暮らし（楊 平） 第15回 水田をめぐる農業政策と人々の暮らし（楊 平）
教科書	特になし
参考書	参考URL 滋賀県立琵琶湖博物館 http://www.lbm.go.jp/index.html

G139 環境社会学Ⅰ：公害・開発から環境問題へ、そして「環境の商品化」へ

科目等履修生

英文科目名	Environmental Sociology I		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 TEL075-645-7891 FAX075-643-5021		
担当教員	田中 滋 (社会学部教授)		
開講日程	2016年09月22日(木・祝)～2017年01月19日(木) 3講時 13時35分～15時05分 (毎週木曜日) ※開講 2016/9/22 (木・祝)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	履修料20,000円 (1単位10,000円)		
会場	瀬田学舎		
授業定員	30	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	レポート 50% 定期試験 50% 授業期間中のレポート (50点) と定期試験 (50点) によって評価する。		
超過時の選考方法			
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【会場】 龍谷大学瀬田学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に記載します。</p> <p>【授業時間外における予・復習等の指示】 授業の際に通知する。</p> <p>【履修上の注意・担当者からの一言】 環境問題の社会問題としての複雑さ・根深さを知って欲しい。</p> <p>【定期試験について】 本講義の定期試験は、1月26日(木)に行われる予定です。 ご注意ください。</p>		
講義概要・到達目標			
<p>【講義概要】 環境問題は、日本の戦後史を振り返っただけでも、多様な形態を取って現われ、人々の環境問題に対する認識もそれに応じて大きく変化してきた。環境問題に限らず何を社会問題と見なすのかは時代によって変化し、ある社会問題のクローズアップの影で他の問題が不可視化されるということが繰り返されてきた。 本講義では、「公害・開発から環境問題へ、そして『環境の商品化』へ」という表現に集約できる戦後日本の「環境問題」の歴史とその社会的意味を読み解く作業をおこない、同時にその作業のためにどのような社会学的パースペクティブが拓かれるべきなのかを考える。</p> <p>【到達目標】 環境問題をたんに現代社会の一つの問題としてみるのではなく、環境問題を通して現代社会そのものを理解することができるはず。</p> <p>【講義方法】 身近な事例をなるべく多く挙げ、それらについての受講生皆さんの意見を聴くというスタイルの授業を進め、対話を重視する。</p>			

講義スケジュール

第01回	はじめに
第02回	環境問題とは？ (1)
第03回	環境問題とは？ (2)
第04回	環境問題とは？ (3)
第05回	社会学的発想とは？ (1)
第06回	社会学的発想とは？ (2)
第07回	社会学的発想とは？ (3)
第08回	公害研究—行為の時代としての近代 (1)
第09回	公害研究—行為の時代としての近代 (2)
第10回	公害研究—行為の時代としての近代 (3)
第11回	原発問題 (1)
第12回	原発問題 (2)
第13回	開発問題 (1)
第14回	開発問題 (2)
第15回	まとめ
教科書	鳥越 皓之・帯谷 博明 『よくわかる環境社会学』 (ミネルヴァ書房) 2,400円 (ISBN: 978-4-623-05324-7)
参考書	

H001 若者と自殺—いのちのリレー講座—

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Suicide Prevention among Young People		
大学名	京都ノートルダム女子大学		
連絡先	京都ノートルダム女子大学 教務部教務課 TEL075-706-3745 FAX075-706-3790		
担当教員	河瀬 雅紀 (心理学部心理学科教授)		
開講日程	2016年04月28日(木)～2017年01月12日(木) 6講時 18時10分～19時40分(木曜日) 第01回 04月28日、第02回 05月12日、 第03回 05月26日、第04回 06月09日、 第05回 06月23日、第06回 07月14日、 第07回 07月28日、第08回 08月25日、 第09回 09月29日、第10回 10月13日、 第11回 10月27日、第12回 11月10日、 第13回 11月24日、第14回 12月08日、 第15回 01月12日		
単位数	2	開講区分	通年
受講料	科目等履修 40,000円(本学卒業生は20,000円)、 聴講 20,000円(本学卒業生は10,000円)		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	80	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	授業参加度(20%)、 レポート; 随時、授業にてレポート作成を指示する (80%)		
超過時の選考方法	書類審査		
別途負担費用			
その他特記事項	京都府との連携により実施		
講義概要・到達目標			
<p><講義概要> 現在、我が国において大学生を含む若者の死亡原因の第1位は自殺であり、癌や不慮の事故を上回っている。また、日本の自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)は、アメリカ、イギリスなどの自殺死亡率をはるかに上回り、世界的にも高い水準となっているが、これらの現状は大学生も含めてまだまだ知られていない。しかし、大学生をはじめ青年期にあっては、今後、進学や就職、さらには家庭を築く中で、学業不振、過労、家族問題など様々な困難や悩みのため自殺を考えるような事態に直面したり、あるいは、友人や家族が自殺するという事態に直面したりすることもあり得る。すなわち、自死・自殺は決して他人事ではなく身近な社会的課題である。</p> <p>そこで、本プログラムでは、平成27年3月に都道府県で初となる自殺対策に関する条例を制定した京都府において、現場で自死・自殺対策に携わっている自死遺族・遺児支援団体、NPO法人や社会福祉法人の方、医師、臨床心理士、法律家、大学教授、行政機関職員などを京都府自殺対策推進協議会及び相談・支援ネットワーク「京のいのち支え隊」の協力のもとゲストスピーカーとして招聘し、自死・自殺についてリレー形式による多角的かつ実践的な講義を展開する。</p> <p>最新の自死・自殺の現状、課題、対策・支援等を学ぶだけでなく、自死・自殺の危険を示すサインに気づき適切な対応ができることを目指して授業を進めたい。</p> <p><到達目標> 我が国における自死・自殺の現状と自死・自殺の要因を説明できる。 我が国の自死・自殺対策に関する課題を説明できる。自死・自殺につながるサインや状況および適切な対応(接し方や話の聴き方、相談・支援機関へのつなげ方など)について説明できる。</p>			
講義スケジュール			
第01回 自殺の現状～若年層の自殺を中心として～(河瀬雅紀・京都ノートルダム女子大学心理学部教授)			
第02回			

京都府の自殺対策(本橋豊・京都府保健医療対策監)	
第03回 精神科医療と自殺対策(三木秀樹・一般社団法人京都精神科病院協会会長)	
第04回 自殺で親を亡くした子どもたちを支える(尾角光美・一般社団法人リヴン代表理事)	
第05回 自殺予防・自死遺族支援に係る宗教者の役割(鍋島直樹・龍谷大学文学部教授)	
第06回 自死遺族に寄り添う(石倉紘子・こころのカフェきょうと(自死遺族サポートチーム)代表)	
第07回 電話でつながるこころの居場所(外村まき・特定非営利活動法人チャイルドライン京都理事長)	
第08回 自死・自殺に本気で向き合う～悩みを抱えた若者の居場所～(霍野廣由・特定非営利活動法人京都自死・自殺相談センター居場所作り委員長)	
第09回 自殺予防と心の健康(日高正宏・社会福祉法人京都いのちの電話運営委員長・研修委員長)	
第10回 臨床心理士による自殺対策～学生相談を中心に～(森谷寛之・京都文教大学臨床心理学部教授)	
第11回 企業におけるメンタルヘルス対策(伊佐将人・杉田玄白記念公立小浜病院精神科医師)	
第12回 自死に関わる法律上の諸問題と弁護士による支援(小林務・京都弁護士会人権擁護委員会自殺対策部会長)	
第13回 自死に関わる法律上の諸問題と司法書士による支援(山口基樹・京都司法書士会副会長)	
第14回 ゲートキーパー入門(波床将材・京都市こころの健康増進センター所長)	
第15回 自殺予防について考えよう(グループ討論)(土田英人・京都府精神保健福祉総合センター所長)	
教科書	
参考書	自殺対策白書(内閣府) 「よくわかる自殺対策—多分野連携と現場力で「いのち」を守る—」本橋豊(編著)、ぎょうせい

H 現代社会を学ぶ

H002 VB 特殊講義「関西の21世紀学」 ／PY

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Special Lecture on Vision Broadening		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】 TEL: 075-466-3350		
担当教員	清水 直樹、玉井 雅隆、見上 崇洋、南 慎二郎		
開講日程	2016年9月13日(火)～2016年9月17日(土) 1～3時限: 9:00～14:10		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生: 42,800円 ・聴講生: 25,400円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	80	京カレッジ定員	20

試験・評価方法	【平常点評価】100% 出席および小テストによって評価する。小テストは数回行う予定。 小テストの内容は、講義中に説明されることが基本となる。
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	なし
その他特記事項	※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、 立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。 【諸手続】(単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html
講義概要・到達目標	【授業の概要】 関西は21世紀にどう輝けるのか。20世紀から21世紀にかけて大きく輝いた関西地域が抱える特有の課題について、21世紀の政策規範・政策構想・政策研究にかんがみ、多角的に検討する講義である。21世紀が抱える課題は政治学、経済学、国際関係学、環境科学等の複合的なアプローチでなければ解決できない。特に関西が抱える固有の課題として、広域行政や大都市制度の課題、様々な社会問題、都市公害等の課題、歴史と伝統の継承の課題、沖縄・東アジアとの経済的あるいは歴史的側面での紐帯等があげられる。これらの課題を21世紀学の観点からとらえなおし、政策分析・政策構想・政策研究の3つの側面から21世紀の関西を理解し、関西の課題と「輝き方」を模索する。 【到達目標】 多角的なアプローチを用いて21世紀の関西が直面する課題を検討する 【その他】 遅刻・私語等は減点対象となる。 剽窃等に対しては厳しく対応する。
講義スケジュール	1～3 20世紀における関西の政策課題の歴史の変遷と現状 <キーワード> 21世紀の関西の卓越性・その可能性、未来学、ローカリズム 地方創生 4～6 21世紀の政策研究と関西：都市公害の歴史と現代的課題について <キーワード> 都市公害 環境再生 アスベスト ストック災害 被害予防・補償・救済 7～9 21世紀の関西の政策分析：地方政治行政の検討を中心に 村松岐夫編『テキストブック地方自治第2版』（東洋経済新報社、2010年）、稲継裕昭『地方自治入門』（有斐閣コンパクト、2011年）、川人貞史他『新版現代の政党と選挙』（有斐閣アルマ2011年）、建林正彦他『比較政治制度論』（有斐閣アルマ、2008年）、砂原庸介『大阪』（中公新書、2012年） 10～12 21世紀の関西の国際政策の構想 <キーワード> 渡来人 在日韓国・朝鮮人 在日華僑 中華街 阪神間モダニズム 13～15 関西の一都市から見た関西の姿 関西の一自治体の課題・・・議員活動を通じて 関西の一都市から見た関西の姿
教科書	
参考書	以下、書名・著者・出版社・ISBNコード・備考 【備考】講義中に各担当者が指示することがある。 ・関西のポテンシャル 塩沢 由典 晃洋書房 978477102091-7 1～3回

参考書	・テキストブック地方自治 村松岐夫編 東洋経済新報社 9784492211830 7～9回 ・地方自治入門 稲継裕昭 有斐閣 9784641173811 7～9回 ・新版現代の政党と選挙 川人貞史他 有斐閣 9784641124240 7～9回 ・比較政治制度論 建林正彦他 有斐閣 9784641123649 7～9回 ・大阪 砂原庸介 中央公論新社 9784121021915 7～9回 ・環境経済学 新版 宮本憲一 岩波書店 9784000224819 4～6回 ・西淀川公害の40年：維持可能な環境都市をめざして 除本理史, 林美帆編 ミネルヴァ書房 9784623065899 4～6回 ・アスベスト汚染と健康被害 第2版 森永謙二編 日本評論社 4535584788 4～6回 ・終わらぬアスベスト災害：地震大国日本への警告 宮本憲一, 森永謙二, 石原一彦編 岩波書店 9784002708010 4～6回 ・阪神学事始 河内厚郎 神戸新聞総合出版センター 9784875214823 10～12回 ・近代日朝関係史 趙景達 有志舎 9784903426624 10～12回 ・大王から天皇へ 日本の歴史03 熊谷公男 講談社学術文庫 9784062919036 10～12回
-----	--

H005 環境政策論

科目等履修生

英文科目名	Environmental Policy		
大学名	京都府立大学		
連絡先	学務課 教務担当 TEL: 075-703-5118 FAX: 075-701-2474		
担当教員	京都府立大学 生命環境学部 環境デザイン学科 教授 山川肇		
開講日程	2016年04月13日(水)～2016年07月27日(水) 5講時 16時20分～17時50分(毎週水曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	67,600円(入学考査料9,800円、入学科28,200円、授業料29,600円)		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	20	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	レポート試験で評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標	【講義概要】この講義では、主に環境政策の考え方を事例を通して解説する。ただしこの授業では環境政策を広く捉え、市民・NPOや企業の環境問題の改善に向けた他者への働きかけも、環境政策と捉える。 【到達目標】受講生は、環境政策の基本的な概念、手法を理解し、環境問題を巡る社会の動きについて考察するための基礎を身につける。		
講義スケジュール	第01回目：授業の概要・持続可能性と環境問題1 第02回目：持続可能性と環境問題2 第03回目：公害対策と規制的手法1 第04回目：公害対策と規制的手法2 第05回目：環境政策の手法 第06回目：ごみ有料化と経済的手法1 第07回目：ごみ有料化と経済的手法2		

第08回目：ごみ有料化と経済的手法3
 第09回目：リサイクル活動と市民・NPOの環境政策1
 第10回目：リサイクル活動と市民・NPOの環境政策2
 第11回目：環境配慮型製品の開発と企業の環境政策1
 第12回目：環境配慮型製品の開発と企業の環境政策2
 第13回目：容器包装リサイクル法とEPR政策1
 第14回目：容器包装リサイクル法とEPR政策2
 第15回目：まとめ

教科書	なし。プリントを配布する。
参考書	都度、紹介する。

H006 特殊講義「探求・発見ゼミナール1」／ZF

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Special Lectures		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】 TEL：075-466-3350		
担当教員	安岡 高志		
開講日程	2016年4月12日（火）～2016年7月26日（火）＜毎週火曜日＞ 6時限：18：10～19：40 ＜教室案内＞ http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf ※休講になった場合などは、7/23（土）、7/24（日）に補講を行うことがあります。		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生：42,800円 ・聴講生：25,400円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	30	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	【平常点評価】100% 最終レポート：40% 平常点：討論への参加度：20% Webコールツールへの投稿数：20% ミニレポート：20% *2/3以上の出席がなければ、評価の対象とならないので注意すること。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。 【諸手続】（単位互換生のみ） 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 ＜受講手続案内ホームページ＞ http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html		

講義概要・到達目標

【授業の概要】

この授業は特殊講義「探求・発見ゼミナール1」ZFであり、自主的な取り組みを各自が行い、自ら学ぶアクティブラーニングとなることを期待している科目である。自主的な取り組みは自発的な疑問、特に何故を発することから始まるといっても過言ではない。日常生活において疑問、特に何故を発するには一定の訓練が必要である。この授業では主に日常生活において常識、あたりまえ、解りきっていることに疑問を発する訓練を行うことを目的としている。

授業では一週間のうちに見つけた疑問、課題、発見などを持ち寄り、これを題材に討論を行う。これを行うことにより、世の中は疑問だらけであることに気付くとともに、疑問を発する習慣が身につく。これを行うことが発見・発明の近道であり、自分で気がついたことは全て発見であり、工夫したことは全て発明である自覚が自分を成長させることになる。

議論が主であるので、会話の80%以上は学生同士の討論である。

【到達目標】

受講者の到達目標は考える習慣が身に付き、無意識の内に何故だろう、こんな法則が潜んでいるのではないかと、課題を解決する方法はないかと考えながら生活するようになることである。

【授業外学習の指示】

一週間のうちに見つけた疑問を前日までにManaba+Rのディスカッションのコーナーに投稿すること。ミニレポートがあるので、各自見つけた課題についてコツコツと提出すること。

【受講および研究に関するアドバイス】

授業中の発言はプレゼンテーションの訓練であり、ミニレポートは文章力の養成であることを自覚して授業に臨むことを期待している。

【その他】

緊急、その他連絡が必要な場合、次のメールアドレスに連絡してください。件名を「特殊講義受講生」として、本文のはじめに学生証番号氏名を必ず記載してください。

yasuoka@fc.ritsumei.ac.jp

講義スケジュール

1 ガイダンス

今までの疑問や発見の経験を含めた各自の自己紹介
 今までに自分で気がついたことや工夫したことは全て発見や発明であることを自覚し、発見や発明のコツを知るとともに自分にも発見や発明が可能であることを自覚する。

＜キーワード＞疑問 発見 発明 考える習慣 知識の活用などがキーワードであるが、最も大切なことは何故という疑問を発することから始まることを理解することである。

2～7 各自見つけた疑問や法則の紹介、法則の証明と討論

例えば、空は何故青い、雲は何故白いなどの疑問や中年婦人のアクセサリーはゴールドが多いというような法則など各自見つけた疑問や法則を紹介すると共に疑問に対して回答を探したり、その法則がどの程度成り立つかなどについて討論を行う。具体的には一週間のうちに見つけた疑問や法則をManaba+Rのディスカッションに前日までに投稿しておく、教員がそれを印刷して授業に持ってゆくの、それについて討論を行う。各自見つけた疑問や法則の紹介と討論であるので、毎回の授業内容は決まったものではなく、疑問や法則の発見の質が良ければ、討論内容も充実することとなる。

＜キーワード＞疑問 発見 発明 考える習慣 知識の活用

8 授業を通して学んだことの中間発表

ここでは自分自身を振り返ってみて、どのように変わったか、他の学生の疑問や気がついたことと比較して何を感じたかについてミニプレゼンテーションを行う。このころまでにより疑問とそうでない疑問の区別が自分の中に芽生えることが望ましい。

＜キーワード＞疑問 発見 発明 考える習慣 知識の活用

9～14 各自見つけた疑問や法則の紹介、法則の証明とディスカッション

各自見つけた疑問や法則の紹介と討論であることには変わりないが、疑問の種類が後半で変わることを期待する。疑問の種類が単に何故から、このような法則が潜んでいるのではないかと疑問となることである。

＜キーワード＞疑問 発見 発明 考える習慣 知識の活用

15 疑問に対する回答、発見した法則についてのプレゼンテーションとレポート提出

疑問に対する回答、発見した法則などについてのプレゼンテーションを行うと同時にこの授業を通して学んだことや身に付いたことを報告する。最終レポートを授業の最終回に提出する。 <キーワード>疑問 発見 発明 考える習慣 知識の活用	
教科書	
参考書	(書名) 文化の法則を探ろう (著者) 中川正 (出版社) 三重大学出版会 (ISBNコード) 4-944068-42-5 (備考) 定価=本体価格1200円+消費税 <三重大学出版会> 〒514-8799 津中央郵便局 私書箱 88 電話：059-232-1211 内線3711 or 2699 Fax：059-231-9199 電話&Fax：059-232-1356

講義概要・到達目標	
【講義概要】 皆さんは日常的に家族や友人と語っています。語りはあまりにも日常的な行為なので気に留めることはありませんが、何気ない語りの中にはそれまでの人生や社会とのかかわりが詰まっています。本講義では、人の語りからありうる未来の社会像を紡ぎだす方法を実践しながら学びます。 大学コンソーシアム京都加盟校の学生であれば受講できる本科目では、異なる背景の人たちが語らうことで、どうつながれるのか／つながれないのか、体験しながら議論を深めます。毎週、実際に語らう時間をもちながら、関連する知識や技術の修得を図ります。 学期の後半はグループワークで「語りの場づくり」に取り組みます。 【到達目標】 ナラティブ・アプローチ（語りを中心とした調査研究の方法）の基礎とおもしろさを知り、受講生の興味関心に合わせた調査手法や活動手法として用いられるようにすること。 【講義方法】 講義（ゲストスピーカー含む可能性がある）、ワークショップ、グループワーク 【系統的履修】 コミュニティマネジメント特論（笠井担当）：金曜6限にキャンパスプラザ京都で開講される通年科目で、世界遺産とともに課題発見・解決に取り組む「京都世界遺産PBL」の一環です。本科目と同時履修すると「語りの場づくり」がより深く学べるでしょう。	
講義スケジュール	
第01回（4月15日） オリエンテーション 第02回（4月22日） 自分を紹介する 第03回（5月6日） 人について知る 第04回（5月13日） 話の聴き方を身に付ける 第05回（5月20日） 語れないことについて考える 第06回（5月27日） 記録の取り方を練習する 第07回（6月3日） ゲスト講演（予定） 第08回（6月10日） 語れる場の作り方を議論する 第09回（6月17日） グループを決める 第10回（6月24日） 語りの事例（1） 民家を借りて 第11回（7月1日） 語りの事例（2） 調査研究で 第12回（7月8日） 語りの事例（3） 被災地で 第13回（7月15日） 複数の語りをつなぎ合わせる 第14回（7月22日） グループワークを発表する 第15回（7月中） 語りから未来を紡ぐ（キャンパス外で語りの場を見学）	
教科書	
参考書	

H007 語りから未来を紡ぐ：方法論と実践

科目等履修生

英文科目名	Linking past and future from narratives : methodology and practice		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教育学部 TEL：075-645-7891 FAX：075-643-5021		
担当教員	笠井 賢紀（社会学部講師）		
開講日程	2016年04月15日（金）～2016年07月22日（金） 5講時 16時20分～17時50分 ※休講2016/04/29（金・祝）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	20,000円		
会場	キャンパスプラザ京都、他		
授業定員	60	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	平常点 60% 各回の課題（持ち帰り課題、授業時間内のコメントシート） その他 40% グループワークによる発表、グループワークへの貢献度 欠席1回につき5点を減じる。		
超過時の選考方法			
別途負担費用			
その他特記事項	【授業時間外における予・復習等の指示】 課題が提出されることがあるので取り組むこと。また、さまざまな語りの場に自ら訪れて欲しい。 【履修上の注意・担当者からの一言】 出席は前提としています。受講者と協議の上で、7月中に一度、キャンパス外で「語りの場」の現地見学に行く予定があります（この日も出席を原則としますが、日程の都合で行けない者は欠席による減点はないものとします）。 【教員との連絡方法】 木曜日3限（13：35-15：05）を基本としますが、時間は柔軟に対応します。受講前に連絡を取りたい場合は kasai [アットマーク] soc.ryukoku.ac.jp に問い合わせ下さい。研究室は龍谷大学瀬田学舎2号館305号室で、キャンパスプラザ京都には常駐しません。		

H008 消費者問題と現代社会

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Consumer affairs in modern society		
大学名	同志社大学		
連絡先	商学部・商学研究科事務室 TEL075-251-3660 FAX075-251-3068		
担当教員	青木 真美（商学部教授）		
開講日程	2016年09月06日（火）～2016年09月10日（土） 2～4講時 10時50分～16時00分		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	科 79,000円（選 10,000円、登 35,000円、履 34,000円）、聴22,000円		
会場	キャンパスプラザ京都		

授業定員	80	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	<p><成績評価基準> 出席 15% 遅刻、早退の有無も含める 小レポート 15% 出欠票に掲載したテーマについて毎日提出 期末レポート 40% 講義終了一週間後に提出 提出物 30% グループワークのまとめなど 小レポートについては、授業への理解度を確認する。期末レポートについては、全体を通じてどのような学びを得たか、消費者問題についての自覚の度合いなどを確認する。提出物については授業参加と他の受講者との意見交換ができていのかどうかをみる。</p>		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>本講は京都市消費生活総合センターによる寄付講座、京カレッジ科目であり、大学コンソーシアム京都・単位互換科目として、キャンパスプラザ京都で、集中講義として実施される。期日は2016年9月6日(火)～9月10日(土)である。</p>		
講義概要・到達目標			
<概要>			
<p>これまでの経営学や商学では、生産者、供給者の視点からのアプローチが主であり、消費者や利用者の立場からの議論は少なかった。消費者の保護という視点から、消費者の権利を尊重すると共に消費者の自立を支援することを基本理念とした「消費者基本法」が2004年6月に施行され、経営や商学において消費者の立場からのアプローチも重要な課題となってきている。消費者の啓発と教育が「消費者基本法」には定められており、本講も同法の具体的な実現の計画などを示す「消費者基本方針」の一環として実施されるものである。</p> <p>多様化、国際化する社会の中で、消費者をめぐる問題は複雑化している。本講では、具体的な消費者問題をとりあげながら、現代の消費者政策について、市民の立場から考察する。</p>			
<到達目標>			
<p>受講者が現代社会における自立した消費者として、「消費者力」とは何かを理解し、現実的にその能力を身につけるためにはどのようなことが必要かということについて会得することを目標としている。そのために、学生生活で直面するような契約トラブルや食の安全・安心などの具体的な問題を取り上げ、現代社会の消費者問題の構造、その解決のための消費者教育や消費者政策について、「消費者市民社会」の視点から論じていく。</p>			
講義スケジュール			
<授業計画>			
<p>第1回(9月6日)開講にあたって「消費者問題と現代社会」 第2回(9月6日)消費者被害の現場から(1) 第3回(9月6日)消費者被害の現場から(2) 第4回(9月7日)消費者契約法 第5回(9月7日)「食」と健康 第6回(9月7日)食の安全・安心のために 第7回(9月8日)学生生活の安全のために 第8回(9月8日)京都市のごみ半減化の取り組みから 第9回(9月8日)グループワーク 第10回(9月9日)「消費」が市場を変える 第11回(9月9日)フェアトレードから見えてくること 第12回(9月9日)企業と消費者の対話 第13回(9月10日)消費者行政の課題 第14回(9月10日)「消費者市民社会」と消費者教育 第15回(9月10日)全体のまとめと講評</p>			
<p>講義には各種団体からの講師を招聘しているため、都合上、講義スケジュールが前後する場合がある。</p>			
教科書			
参考書			

H009 VB特殊講義「若者の選挙参加」 /PZ

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Special Lecture on Vision Broadening		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】TEL：075-466-3350		
担当教員	村山 皓		
開講日程	<p>2016年9月6日(火)～2016年9月9日(金) 1～4時限：9：00～16：00 ※但し、9月9日(金)のみ1～3時限：9：00～14：10</p> <p><教室案内> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf</p>		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	<p>京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生：42,800円 ・聴講生：25,400円</p>		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	130	京カレッジ定員	15
試験・評価方法	【平常点評価】100% 政策提案を含むレポートで成績評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。</p> <p>【諸手続】(単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html</p>		
講義概要・到達目標			
【授業の概要】 講義の名称は「若者の選挙参加」である。近年、国政、地方選挙ともに投票率は低下傾向にあり、特に若者の投票率は低く、20歳代の有権者の3人に1人しか投票に行かない現実がある。そこで、若者の投票行動に注目して、選挙参加の低迷の原因を探り、選挙を基盤とする民主主義のための処方箋を考えることは、今日の重要な政策課題である。この授業は、大学での学習を通じて、京都における選挙への若者の参加についての政策提案を行うことを目指す実践的な内容となっている。具体的には、京都市政や選挙に関わる行政の機能についての知識の獲得、人々の投票行動のデータ分析の技法の習得、メディアの選挙報道や選挙啓発活動への理解などによって、若者への選挙啓発の政策提案を学生一人一人が作成する。			
【到達目標】 若者の選挙参加の低迷の政策課題について、研究を基盤とする政策提案の手法を学ぶ。			
【授業外学習の指示】 数学や統計学の知識が特に必要なわけではないが、投票行動のデータの分析をも学ぶ授業内容になっている。			
【受講および研究に関するアドバイス】 集中講義なので、授業を欠席するとついていけなくなる。			

講義スケジュール	
1 選挙と民主主義 選挙を取り巻く最新の課題、政治参加と政治動員	
2 選挙に関わる行政と政策 選挙管理委員会、明るい選挙推進協議会	
3 京都における若者の選挙参加（集積データと標本調査データ） 京都市民の投票行動についてのデータ、日本国民の投票行動についてのデータ	
4～7 投票行動のデータ分析（京都市民の投票行動－京都市議会議員選挙での明るい選挙推進協議会調査－） データ分析の実践1234	
8 日本の選挙とアメリカ合衆国の選挙 有権者登録、投票用紙、選挙公報、投票所設置などの具体的な比較	
9 選挙とメディア 選挙報道、選挙広報、マニフェスト	
10～12 政策提案作成の実践 投票行動のデータ分析の結果などの研究を基盤とする政策提案の手法	
13～15 若者の選挙への参加の促進に向けての政策提案の発表会 123	
教科書	特になし
参考書	特になし

H011 子供のネット安全教育の理論と実践

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Theory and Practice of Network Safety for Elementary School Students		
大学名	京都ノートルダム女子大学		
連絡先	京都ノートルダム女子大学 教務部教務課 TEL075-706-3745 FAX075-706-3790		
担当教員	神月紀輔（心理学部心理学科教授） 堀出雅人（華頂短期大学講師）		
開講日程	2016年09月29日（木）～2017年01月19日（木） 6講時 18時10分～19時40分（毎週木曜日） ※休講2016/11/03（木）、2016/12/29（木） ※演習のうち実習は1～2月に別途行う		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科目等履修 40,000円（本学卒業生は20,000円）聴講 20,000円（本学卒業生は10,000円）		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	40	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	授業参加度（50%）、毎時間のコメント（20%）、指導実習内容（30%）		
超過時の選考方法	書類により選考。指導実習参加可能者を優先する。		
別途負担費用	指導実習先への交通費は自己負担		
その他特記事項	講義のうち2回程度は、講義時間以外の1月または2月に、京都府内の小学校または児童館などに出かけて実習を行う。 自己評価やまとめはその後行うことになる。		
講義概要・到達目標			
1. 科目の教育目標	子供たちのネット利用において、詐欺にあう、ネットいじめ、個人情報		

報の流出など様々な問題が起きている。本科目では、京都府消費生活安全センターと協力し、特に消費者教育の観点から、子供自らが考えて安心してネットを利用できるよう、小学校等での啓発プログラムを開発し、実践することを目標としている。
なお現状から当面は、小学校4・6年生程度を対象としたプログラムの開発を行う。

2. 教育・学習の個別課題

- ・現在起きているネットの安全使用に関する問題を知る。
- ・子供たちにとって危険な状況を知る。
- ・学校現場など状況に合わせた啓発プログラムを開発する。
- ・開発したプログラムを実践する。
- ・プログラムの実施に対してその評価を行い改善をする。

3. 教育・学習の方法

現状の把握や学習理論については、講師やゲストスピーカーから講義を聞き、そこで得た知見をもとに、演習により、子ども向け啓発プログラムを開発する。その際にはグループによるディスカッションなどコミュニケーションが必要である。さらに実際に子どもの前に立ち、実践を行い、実践から得たデータなどをもとに、啓発プログラムの自己評価を行い、改善点を見出し、さらにプログラムをよいものに仕上げ、再生可能なものにする。

講義スケジュール	
第01回	本講義を始めるにあたって
第02回	学校における情報モラル指導の実践
第03回	教育社会学から見た子供のネット利用
第04回	京都府消費生活安全センターへの相談の現状
第05回	他の都道府県での取り組み
第06回	京都府消費生活安全センターにおける子ども啓発
第07回	子供への指導方法の開発
第08回	子供のへの模擬指導と評価
第09回	小学校における子どもへの指導実習
第10回	児童館における子どもへの指導実習
第11回	小学校児童館における実習の評価、課題の掘り起し
第12回	保護者を含めた指導方法の開発
第13回	専門家による評価
第14回	今後の問題点討議
第15回	まとめと自己評価

※演習のうち実習は1～2月に別途行う

教科書	プリントやネットワークを通じて資料を配布する。
参考書	授業内で適宜紹介する。

H012 インターネットと人権

科目等履修生

英文科目名	Internet and Human Rights		
大学名	京都府立大学		
連絡先	学務課 教務担当 TEL：075-703-5118 FAX：075-701-2474		
担当教員	京都府立大学 生命環境学部 環境・情報科学科 教授 吉富康成 ほか		
開講日程	2016年09月27日（火）～2017年01月17日（火） 6講時 18時10分～19時40分（毎週火曜日）		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	67,600円（入学検査料9,800円、入学科28,200円、授業料29,600円）		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	70	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	出席（3点満点×15回）、レポート（第15回に課題を提示）（55点満点）		
超過時の選考方法	書類選考		

別途負担費用	
その他特記事項	
講義概要・到達目標	
<p><講義概要> インターネットは情報革命とグローバル化をもたらし、すでに社会基盤の1つとなっている。経済活動や生活などの利便性向上という点で、インターネットの功績は非常に大きい。その反面、人権の尊重や防犯の点では、インターネットは新たな問題を引き起している。</p> <p>本講義では、インターネット上で起っている人権侵害、犯罪について、心理、法律、教育、実状、対策などの観点から論述する。現状を俯瞰するため、京都府消費生活安全センター 啓発・教育担当 消費生活相談員 三室久枝 氏、および、京都府警察本部サイバー犯罪対策課、京都府教育庁、から講師をお招きして、各分野の状況と対策をご講演いただく。そして、社会問題となっている「ネットいじめ」について様々な観点で研究されている、佛教大学 教育学部 原清治 教授、兵庫県立大学 環境人間学部 竹内和雄 准教授にご講演いただく。なお、京都府教育庁の講師の講演内容は、「ネットいじめ」に限らず「いじめ」全般を対象とする。</p> <p><到達目標> インターネット上で起っている人権侵害、犯罪について実状を把握すると共に、様々な場面、立場で、ネット社会で身を守るために何ができるかを理解する。</p>	
講義スケジュール	
<p>第01回 序論：心を蝕むインターネット、ネット人権侵害の基礎知識（吉富康成）</p> <p>第02回 サイバー犯罪の現状について（京都府警察本部サイバー犯罪対策課）</p> <p>第03回 インターネットに関する消費者トラブルについて（京都府消費生活安全センター三室久枝）</p> <p>第04回 いじめの現状と対策について（京都府教育庁）</p> <p>第05回 インターネットの仕組みと人権侵害（吉富康成）</p> <p>第06回 スマホ時代に対応した生徒指導・教育相談（兵庫県立大学 竹内和雄）</p> <p>第07回 ネットいじめはなぜ「痛い」のか（佛教大学 原清治）</p> <p>第08回 ネットパトロールがとらえたSNSの危険性（吉富康成）</p> <p>第09回 ネット人権侵害，法律と倫理（その1）（吉富康成）</p> <p>第10回 ネット人権侵害，法律と倫理（その2）（吉富康成）</p> <p>第11回 ネット人権侵害，法律と倫理（その3）（吉富康成）</p> <p>第12回 ネット社会での人権教育の現状と課題（吉富康成）</p> <p>第13回 ネットパトロール技術の現状と課題（吉富康成）</p> <p>第14回 ネットヘイトスピーチの現状について（吉富康成）</p> <p>第15回 総括：ネット社会の道しるべ（吉富康成）</p>	
教科書	第01,05,08～14回 吉富康成 編著「インターネットはなぜ人権侵害の温床になるのかーネットパトロールがとらえたSNSの危険性ー」, ミネルヴァ書房, 2014.
参考書	第06回 竹内和雄, 「スマホ時代に対応する生徒指導・教育相談」, ほんの森出版, 2014. 第07回 原清治, 山内乾史 編著「ネットいじめはなぜ「痛い」のか」, ミネルヴァ書房, 2011.

H013 特殊講義「探求・発見ゼミナール2」/ZD

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Special Lectures
大学名	立命館大学
連絡先	【教務課】TEL：075-466-3350
担当教員	安岡 高志

開講日程	2016年9月27日（火）～2017年1月17日（火）<毎週火曜日> 5時限：16：20～17：50		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生：42,800円 ・聴講生：25,400円		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	30	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	<p>【平常点評価】100% 最終レポート：40% 平常点：討論への参加度；20% Webコールツールへの投稿数；20% ミニレポート；20%</p> <p>*2/3以上の出席がなければ、評価の対象とならないので注意すること。</p>		
超過時の選考方法	書類審査		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。</p> <p>【諸手続】（単位互換生のみ） 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html</p>		
講義概要・到達目標	<p>【授業の概要と方法】 この授業は特殊講義「探求・発見ゼミナール2」ZDであり、自主的な取り組みを各自が行い、自ら学ぶアクティブラーニングとなることを期待している科目である。授業運営は前期の特殊講義「探求・発見ゼミナール1」ZFと同じであるが、発する疑問や発見する法則が高度化することを期待した科目である。しかし、後期から「探求・発見ゼミナール」を受けることは全く問題はない。</p> <p>自主的な取り組みは自発的な疑問、特に何故を発することから始まるといっても過言ではない。日常生活において疑問、特に何故を発するには一定の訓練が必要である。この授業では主に日常生活において常識、あたりまえ、解りきっていると思っていることに疑問を発する訓練を行うことを目的としている。</p> <p>授業では一週間のうちに見つけた疑問、課題、発見などを持ち寄り、これを題材に討論を行う。これを行うことにより、世の中は疑問だらけであることに気付くとともに、疑問を発する習慣が身につく。これを行うことが発見・発明の近道であり、自分で気がついたことは全て発見であり、工夫したことは全て発明である自覚が自分を成長させるのである。</p> <p>議論が主であるので、会話の80%以上は学生同士の討論である。</p> <p>【受講生の到達目標】 受講者の到達目標は考える習慣が身に付き、無意識の内に何故だろう、こんな法則が潜んでいるのではないかと、課題を解決する方法はないかと考えながら生活するようになることである。</p> <p>【授業外学習の指示】 一週間の内に見つけた疑問を前日までにManaba+Rのディスカッションのコーナーに投稿すること。ミニレポートがあるので、各自見つけた課題についてコツコツと提出すること。</p>		

<p>【受講および研究に関するアドバイス】 授業中の発言はプレゼンテーションの訓練であり、ミニレポートは文章力の養成であることを自覚して授業に臨むことを期待している。</p> <p>【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】 緊急、その他連絡が必要な場合、次のメールアドレスに連絡してください。件名を「特殊講義受講生」として、本文のはじめに学生証番号氏名を必ず記載してください。 yasuoaka@fc.ritsumeai.ac.jp</p>	
<p>講義スケジュール</p>	
1	<p>ガイダンス 今までの疑問や発見の経験を含めた各自の自己紹介 今までに自分で気がついたことや工夫したことは全て発見や発明であることを自覚し、発見や発明のコツを知るとともに自分にも発見や発明が可能であることを自覚する。 疑問 発見 発明 考える習慣 知識の活用などがキーワードであるが、最も大切なことは何故という疑問を発することから始まることを理解することである。</p>
2～7	<p>各自見つけた疑問や法則の紹介、法則の証明と討論 例えば、空は何故青い、雲は何故白いなどの疑問や中年婦人のアクセサリーはゴールドが多いというような法則など各自見つけた疑問や法則を紹介すると共に疑問に対して回答を探したり、その法則がどの程度成り立つかなどについて討論を行う。具体的には一週間の内に見つけた疑問や法則をManaba+Rのディスカッションに前日までに投稿しておく、教員がそれを印刷して授業に持ってゆくの、それについて討論を行う。各自見つけた疑問や法則の紹介と討論であるので、毎回の授業内容は決まったものではなく、疑問や法則の発見の質が良ければ、討論内容も充実することとなる。 <キーワード>疑問 発見 発明 考える習慣 知識の活用</p>
8	<p>授業を通して学んだことの中間発表 ここでは自分自身を振り返ってみて、どのように変わったか、他の学生の疑問や気がついたことと比較して何を感じたかについてミニプレゼンテーションを行う。このころまでよい疑問とそうでない疑問の区別が自分の中に芽生えることが望ましい。 <キーワード>疑問 発見 発明 考える習慣 知識の活用</p>
9～14	<p>各自見つけた疑問や法則の紹介、法則の証明とディスカッション 各自見つけた疑問や法則の紹介と討論であることには変わりはないが、疑問の種類が後半で変わることを期待する。疑問の種類が単に何故から、このような法則が潜んでいるのではないかという疑問となることである。 <キーワード>疑問 発見 発明 考える習慣 知識の活用</p>
15	<p>疑問に対する回答、発見した法則についてのプレゼンテーションとレポート提出 疑問に対する回答、発見した法則などについてのプレゼンテーションを行うと同時にこの授業を通して学んだことや身に付いたことを報告する。最終レポートを授業の最終回に提出する。 <キーワード>疑問 発見 発明 考える習慣 知識の活用</p>
教科書	
参考書	<p>(書名) 文化の法則を探ろう (著者) 中川正 (出版社) 三重大学出版会 (ISBNコード) 4-944068-42-5 (備考) 定価=本体価格1200円+消費税</p> <p><三重大学出版会> 〒514-8799 津中央郵便局 私書箱 88 電話：059-232-1211 内線3711 or 2699 Fax：059-231-9199 電話&Fax：059-232-1356</p>

H105 情報社会の理解a

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Literacy and Ethics in the Information Society
-------	--

大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター-修学担当 TEL075-325-5307 FAX075-325-5317		
担当教員	阿部 一晴 (キャリア形成学部キャリア形成学科教授)		
開講日程	2016年04月07日(木)～2016年07月28日(木) 2講時10時30分～12時00分(毎週木曜日) ※休講(学校行事) 2016/04/21(木) ※休講 2016/05/05(木・祝)		
単位数	2	開講区分	前期
受講料	科目等履修生(履修料20,000円、選考料科目数を問わず10,000円) 聴講生10,000円(選考料免除)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	<p>授業への参加度(20%) レポート・演習課題・小テスト等の評価(40%) 期末筆記試験(40%)により評価をおこなう。 授業には出席することが前提のため、出席に対しての加点および評価はおこなわない。ただし、欠席が5回以上の者は期末試験の受験を認めない。 定期試験期間中に、授業内容の理解度を確認する筆記による期末試験を実施する予定である。</p>		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>女子のみ受講可。 ※情報社会の理解aと情報社会の理解bは同一科目であり、受講はどちらかのみ可。</p> <p>【授業時間外学修(予習・復習等)について】 前回までの講義内容について、必ず復習を行うこと。また、指示された教科書の指定箇所を次回授業までに必ず読んでおくこと。レポートやその他指示された課題に期日までに取り組むこと。 新聞やテレビニュース等で取り上げられる「情報通信技術(コンピュータ・ネットワーク)」「セキュリティ」「情報社会におけるトラブルや事件」に関連するものに関心を持ち、特に気になったものはレポートに書き留めておくこと。 疑問等があれば、メール、光華naviのQ&Aまたは次回授業冒頭時に担当教員に質問すること。(疑問点はクラスで共有することが望ましいので、できるだけ授業で質問すること) (予復習を含めこの科目の学習には、毎週3時間程度をかけること)</p> <p>授業は真面目に受講すること。授業中に不適切な態度(私語に終始、飲食、居眠り、携帯電話の使用、音楽プレーヤの使用、帽子・サングラスの着用等)の者には退室を命ずる。 本科目は必修科目であり、これからの情報社会を生き抜くうえですべての人が身につけなければならない重要な内容を取り扱うことを強く意識して授業に取り組むこと。 研究室番号：賢風館 209号室 オフィスパワー：水曜日・木曜日・金曜日 昼休み、金曜日 12:50～14:20</p>		
講義概要・到達目標			
<p>【授業テーマ】 社会の情報化が及ぼす影響と課題、現代の情報社会を生きていく上で必要となる情報倫理や情報セキュリティの重要性についての理解を深める。</p>			
<p>【授業の概要】 現代社会の特徴は高度な情報化にあり、社会経済システム・生活・文化とあらゆる面で情報化が進み、情報社会と呼ばれる。この情報社会がかかえる種々の問題の解決に積極的にICT(情報通信技術)が活用されている。本科目では、「情報社会の光と影」という視点で現代の情報社会への理解を深めるとともに、この情報社会を生きていく上で必要</p>			

となる情報倫理や情報セキュリティ、法制度等を含む広い概念としての情報リテラシーを修得する。

【到達目標】

1. 情報基礎リテラシーならびに情報倫理・情報セキュリティについて理解し、その概要および重要性について説明できるようになる
 2. 情報社会で発生し得る様々な問題に対して、実際の状況に即して的確な判断・決定をおこなうことができるようになる
- 具体的なレベルとしては、ケーススタディ、質疑に対する回答やレポート等による考察内容(概ね70点以上)、課題等への取り組み姿勢(加点)および授業で取り上げた重要項目についての理解や考察内容について期末筆記試験等で合格水準(概ね70点以上)に達しているかで評価する。

講義スケジュール

【授業計画】

1. ガイダンス／情報と情報社会(情報とは何か、社会の発展と情報社会、情報社会とはどのような社会か)
2. インターネットと情報社会(インターネットの光と影・インターネットとリテラシー)
3. インターネットと個人情報(個人情報・個人情報の漏えい・個人情報の保護)
4. プライバシー侵害と名誉毀損
5. インターネットと知的財産権(知的財産権・著作権・著作権侵害・著作物の利用)
6. インターネットと生活(情報社会の生活・携帯情報通信端末)
7. 電子政府・電子図書館・電子書籍・電子医療、情報と福祉
8. インターネットとビジネス(インターネットビジネス・インターネットショッピング)
9. インターネットと教育(インターネットと学校教育・教育の情報化・eラーニング)
10. ネットいじめ・ネット依存症
11. インターネットとコミュニケーション(電子メール・ソーシャルメディアと情報共有)
12. インターネットと犯罪(サイバー犯罪・不正アクセス・ネット詐欺)
13. インターネットとセキュリティ(情報セキュリティと認証・コンピュータウイルス)
14. 暗号化技術・電子認証と電子公証
15. まとめ／健全な情報社会をめざして

※基本的には上記授業計画に基づき進めるが、最新の話題等ができるだけタイムリーに取り上げるため、授業計画および内容等は変更する可能性がある。(詳細は授業内で指示する)

【授業方法】

主としてテキスト・プリントとスライドを中心とした講義形式でおこなうが、ビデオ等の視聴覚資料や実機デモンストレーションも利用する。事前にテキストの指定された箇所を読んでいることを前提に授業を進める。
宿題としてほぼ毎回レポート等の課題を課す。また、必要に応じて授業内で小テスト等による理解度確認をおこなう。

教科書	インターネットの光と影Ver.5：被害者・加害者にならないための情報倫理入門/情報教育学会研究会・情報倫理教育研究グループ 編/北大路書房/2014年 ISBN：978-4-7628-2829-4
参考書	最新情報トピックス2016 -インターネットと情報機器を上手に利用するために/久野靖・佐藤義弘・辰巳丈夫・中野由章/日経BP社/2016年

単位数	2	開講区分	前期
受講料	科目等履修生(履修料20,000円、選考料 科目数を問わず10,000円) 聴講生10,000円(選考料免除)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	授業への参加度(20%) レポート・演習課題・小テスト等の評価(40%) 期末筆記試験(40%)により評価をおこなう。 授業には出席することが前提のため、出席に対しての加点および評価はおこなわない。ただし、欠席が5回以上の者は期末試験の受験を認めない。 定期試験期間中に、授業内容の理解度を確認する筆記による期末試験を実施する予定である。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	女子のみ受講可。 情報社会の理解aと情報社会の理解bは同一科目であり、受講はどちらかのみ可。 【授業時間外学修(予習・復習等)について】 前回までの講義内容について、必ず復習を行うこと。また、指示された教科書の指定箇所を次回授業までに必ず読んでおくこと。レポートやその他指示された課題に期日までに取り組むこと。 新聞やテレビニュース等で取り上げられる「情報通信技術(コンピュータ・ネットワーク)」「セキュリティ」「情報社会におけるトラブルや事件」に関連するものに関心を持ち、特に気になったものはレポートに書き留めておくこと。 疑問等があれば、メール、光華naviのQ&Aまたは次回授業冒頭時に担当教員に質問すること。(疑問点はクラスで共有することが望ましいので、できるだけ授業で質問すること) (予復習を含めこの科目の学習には、毎週3時間程度をかけること) 授業は真面目に受講すること。授業中に不適切な態度(私語に終始、飲食、居眠り、携帯電話の使用、音楽プレーヤの使用、帽子・サングラスの着用等)の者には退室を命ずる。 本科目は必修科目であり、これからの情報社会を生き抜くうえですべての人が身につけなければならない重要な内容を取り扱うことを強く意識して授業に取り組むこと。 研究室番号：賢風館 209号室 オフィスアワー：水曜日・木曜日・金曜日 昼休み、金曜日 12：50～14：20		

講義概要・到達目標

【授業テーマ】
社会の情報化が及ぼす影響と課題、現代の情報社会を生きていく上で必要となる情報倫理や情報セキュリティの重要性についての理解を深める。

【授業の概要】
現代社会の特徴は高度な情報化にあり、社会経済システム・生活・文化とあらゆる面で情報化が進み、情報社会と呼ばれる。この情報社会がかかえる種々の問題の解決に積極的にICT(情報通信技術)が活用されている。本科目では、「情報社会の光と影」という視点で現代の情報社会への理解を深めるとともに、この情報社会を生きていく上で必要となる情報倫理や情報セキュリティ、法制度等を含む広い概念としての情報リテラシーを修得する。

【到達目標】

1. 情報基礎リテラシーならびに情報倫理・情報セキュリティについて理解し、その概要および重要性について説明できるようになる
2. 情報社会で発生し得る様々な問題に対して、実際の状況に即して的確な判断・決定をおこなうことができるようになる

具体的なレベルとしては、ケーススタディ、質疑に対する回答やレポート等による考察内容(概ね70点以上)、課題等への取り組み姿勢(加点)および授業で取り上げた重要項目についての理解や考察内容について期末筆記試験等で合格水準(概ね70点以上)に達しているかで評価する。

H106 情報社会の理解b

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Literacy and Ethics in the Information Society
大学名	京都光華女子大学
連絡先	学生サポートセンター修学担当 TEL075-325-5307 FAX075-325-5317
担当教員	阿部 一晴(キャリア形成学部キャリア形成学科教授)
開講日程	2016年04月07日(木)～2016年07月21日(木) 4講時14時30分～16時00分(毎週木曜日) ※休講 2016/05/05(木・祝)

講義スケジュール	
【授業計画】	
1. ガイダンス／情報と情報社会（情報とは何か、社会の発展と情報社会、情報社会とはどのような社会か）	
2. インターネットと情報社会（インターネットの光と影・インターネットとリテラシー）	
3. インターネットと個人情報（個人情報・個人情報の漏えい・個人情報の保護）	
4. プライバシー侵害と名誉毀損	
5. インターネットと知的財産権（知的財産権・著作権・著作権侵害・著作物の利用）	
6. インターネットと生活（情報社会の生活・携帯情報通信端末）	
7. 電子政府・電子図書館・電子書籍・電子医療、情報と福祉	
8. インターネットとビジネス（インターネットビジネス・インターネットショッピング）	
9. インターネットと教育（インターネットと学校教育・教育の情報化・eラーニング）	
10. ネットいじめ・ネット依存症	
11. インターネットとコミュニケーション（電子メール・ソーシャルメディアと情報共有）	
12. インターネットと犯罪（サイバー犯罪・不正アクセス・ネット詐欺）	
13. インターネットとセキュリティ（情報セキュリティと認証・コンピュータウイルス）	
14. 暗号化技術・電子認証と電子公証	
15. まとめ／健全な情報社会をめざして	
※基本的に上記授業計画に基づき進めるが、最新の話題等をできるだけタイムリーに取り上げるため、授業計画および内容等は変更する可能性がある。（詳細は授業内で指示する）	
【授業方法】	
主としてテキスト・プリントとスライドを中心とした講義形式でおこなうが、ビデオ等の視聴覚資料や実機デモンストレーションも利用する。事前にテキストの指定された箇所を読んでいることを前提に授業を進める。	
宿題としてほぼ毎回レポート等の課題を課す。また、必要に応じて授業内で小テスト等による理解度確認をおこなう。	
教科書	インターネットの光と影Ver.5：被害者・加害者にならないための情報倫理入門/情報教育学研究会・情報倫理教育研究グループ 編/北大路書房/2014年 ISBN：978-4-7628-2829-4
参考書	最新情報トピックス2016 -インターネットと情報機器を上手に利用するために/久野靖・佐藤義弘・辰己丈夫・中野由章/日経BP社/2016年

開講日程	■第五回 5/21（土） ⑩⑪講義と実習 10：00～13：00 ■第六回 6/18（土） ⑫⑬講義と実習 10：00～13：00 ■第七回 6/25（土）*未定 ⑭⑮講義 10：00～13：00		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科67,600円（選考料9,800円、入学科28,200円、授業料29,600円）聴 受講料9,200円(単位認定なし)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	出席、課題提出により評価		
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
ユニバーサルデザインの考え方とその実践例について様々な視点から講義する。			
講義スケジュール			
■4月8日（金） （場所：0311）：ガイダンス ユニバーサルデザインについて述べる。 また講義概要と疑似体験の概要を解説する。 ■4月16日（土） ：障害者の生活で困っていることを聞き・学ぶ ・視覚に障害のある生活からユニバーサルデザインを考える ・片マヒなど身体に障害のある生活からユニバーサルデザインを考える ■4月23日（土） ：ユニバーサルデザインの基礎知識を学ぶ ・企業の取り組みについて ・様々な障害者について ■5月7日（土） ：ユニバーサルデザインに向けて、疑似体験Ⅰ ・疑似体験の中から、問題点の「気づき」を学ぶ ■5月14日（土） ：ユニバーサルデザインに向けて、疑似体験Ⅱ ・チーム別に「気づき」からユニバーサルデザインのモノ・コトの提案と発表 ■5月21日（土） ：医療機器のユニバーサルデザインⅠ ・講義と実習 ■6月18日（土） ：医療機器のユニバーサルデザインⅡ ・講義と実習 ■6月25日（土）*未定 ：情報のユニバーサルデザイン・講義とまとめ			
教科書			
参考書	講師により都度準備する		

H107 実践ユニバーサルデザイン

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Universal Design and Its Challenge
大学名	京都工芸繊維大学
連絡先	学務課学部教務係 TEL：075-724-7221 FAX：075-724-7120
担当教員	久保 雅義（デザイン・建築学系 教授）他
開講日程	2016年04月07日（木）～2016年06月25日（土） 1～2講時形式 10時00分～13時00分 *1ガイダンスは講義時間が異なります。ご確認ください。 ■4/8（金） 1ガイダンス 17:50～19:20（場所：0311） ■第一回 4/16（土） 2講義 10：00～11：30 3講義 11：30～13：00 ■第二回 4/23（土） 4講義 10：00～11：30 5実習 11：30～13：00 ■第三回 5/7（土） 67実習 10：00～13：00 ■第四回 5/14（土） 8実習 10：00～11：30 9発表 11：30～13：00

H110 ジェンダーと法

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Gender and Law		
大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL：075-705-1985 FAX：075-705-1582		
担当教員	新 恵里（法学部）		
開講日程	2016年04月13日（水）～2016年07月20日（水） 2講時 10時45分～12時15分（毎週水曜日） ※水曜振替1回 2016/05/07（土） ※休講 2016/05/04（水・祝）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科25,000円 聴17,000円		
会場	科目開設校キャンパス		

授業定員	京カレッジ定員
試験・評価方法	学期末に試験を実施します。試験の成績と出席及びレポートなどの提出物を、総合評価します。定期試験(筆記試験)80%、授業で課すレポート等の提出物20%。
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	
その他特記事項	【履修上の注意】 数回、授業中に小レポートの提出を求めることがあります。私語、携帯電話など、他の受講生に迷惑となる行為は禁止します。各講はそれぞれにつながりがあります。欠かさず出席をすること。
講義概要・到達目標	
【講義概要】 従来使われてきた「性別」(sex)ということばは、生物学的な「雌・雄」をあらわすが、男らしさ女らしさは社会的・文化的につくられるものである。こうした理由で、最近では男女の差異をしめす概念として、ジェンダー (gender) という用語が用いられることが多い。本講義では、このジェンダーをとりまく、さまざまな議論、社会問題について、制度、立法、判例等も絡めて考えたい。	
【到達目標】 ジェンダーの概念、ジェンダーを取り巻く社会問題や法制度等を理解すること。ジェンダーに関する視点を取り入れ、現代の社会問題を考える考察力、分析力を養うこと。	
【身に付く力】 課題発見力、論理的な分析力、総合的判断力、柔軟な思考力など。	
講義スケジュール	
【講義スケジュール】 講義では、以下の内容を予定しています。 1. 「ジェンダー」概念の誕生と歴史 2. 性アイデンティティと法—インターセクシュアル、性同一性障害 3. 婚姻の形態とあり方について—法律婚と事実婚、非婚 4. 離婚制度をめぐる問題 (1) 5. 離婚制度をめぐる問題 (2) 6. リプロダクティブヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康および権利) —妊娠、不妊治療、中絶と中絶論争、出産をめぐる法的問題 7. リプロダクティブヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康および権利—生殖医療と法 8. 雇用、労働をめぐる問題—男女雇用機会均等法 9. 雇用、労働をめぐる問題—男女雇用機会均等法成立以降の諸問題と立法 10. ドメスティック・バイオレンス (DV)、デートDV 11. 少子高齢化政策と、育児・介護をめぐる問題 12. 女性の犯罪と刑事政策 13. セクシュアル・ハラスメント 14. 男女共同参画社会 15. 男女差別撤廃条約とわが国におけるジェンダーをめぐる国際的課題	
【準備学習等 (事前・事後学習)】 授業で推奨された図書をあらかじめ読んでおくことが望ましい。また、授業の前後に、新聞、雑誌等で扱われているジェンダーに関連する記事等にも留意して読んでおくこと。	
教科書	随時、プリントを配布します。
参考書	参考となる図書については、授業中に適宜紹介します。 参照URL：内閣府—男女共同参画局 (http://www.gender.go.jp/)

H111 英米法Ⅱ

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Anglo-American Law 2
-------	----------------------

大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL: 075-705-1985 FAX: 075-705-1582		
担当教員	キャンデル キャリン ポーラー (法学部)		
開講日程	2016年04月12日(火)～2016年07月19日(火) 4講時 15時00分～16時30分 (毎週火・金曜日) ※火曜日と金曜日の両方に出席してください。 ※火曜振替1回 2016/05/06(金) ※開講 2016/04/29(金・祝) ※休講 2016/05/03(火・祝)		
単位数	4	開講区分	前期・春学期
受講料	科 50,000円 聴 34,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	72	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	Students will be graded mainly on the basis of midterm and final examinations (75%), but also based on class participation, preparation, effort and attitude (25%).		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	Special notes, cautions *** THIS CLASS WILL BE CONDUCTED IN ENGLISH USING A CLASS PARTICIPATION METHOD. *** Because the class will be taught in English, it is recommended only for students with good English skills and who are willing to study very hard. Perfect English ability is not necessary because the class will be taught at a slow pace; however, the lower a student's English ability the harder he or she will have to work. Students will be provided in advance with materials so they can prepare for each class. Because this class emphasizes class participation, ATTENDANCE IS ESSENTIAL AND REQUIRED. Fourth-year students may be excused from a limited number of classes during the job-hunting period; however, all students who are excused from class for that or any other valid reason are required to obtain copies of any distributed materials and to learn the topic (s) we have studied in class on their own.		
講義概要・到達目標			
Course outline The aim of this course is to provide an introduction to the American legal systems and American law while giving students a good opportunity to practice and improve their English.			
Expected outcome Provided that a student studies very hard, i.e., prepares for and regularly attends and actively participates in the classes and does assignments, the student should be able to gain knowledge about American law and legal systems and improve English skills as well as gain other skills such as those mentioned below.			
Special abilities to be attained Provided that a student studies very hard, i.e., prepares for and regularly attends and actively participates in the classes and does assignments, the student should be able to acquire or improve skills including, but not limited to, logical thinking and analysis, issue recognition, practical and creative thinking and decision-making, comparative thinking and analysis, discipline, ability to work diligently and independently, ability to communicate ideas to others, English language ability (such as reading and listening comprehension,			

speaking and writing skills and increased vocabulary) , ability to do basic Internet research in English and ability to use tools for lifelong learning.

講義スケジュール

Course description/plan

This course will examine some of the fundamentals of American law and the American legal systems, such as the common law case system, federalism, the jury system and legal authorities and sources. We will also study an overview of some specific areas of law.

Week 1 (2 classes) - Introduction to the class; advice to students; introduction to basic differences between American and Japanese law and legal systems

Week 2 (2 classes) - Basic fundamental aspects of American law and legal systems - federalism

Week 3 (2 classes) - Basic fundamental aspects of American law and legal systems - common law and jury systems

Week 4 (2 classes) - Basic concepts and vocabulary; classifications of law - substantive versus procedural law; public versus private law

Week 5 (2 classes) - Classifications of law - Civil law versus criminal law; actions at law versus actions in equity

Week 6 (2 classes) - How civil law and criminal law work together to achieve justice : the O.J. Simpson case

Week 7 (2 classes) - How federal law and state law work together to achieve justice; legal authorities and sources of law

Week 8 (2 classes) - Legal authorities and sources of law (continued)

Week 9 (2 classes) - Review of midterm exam; introduction to case law

Week 10 (2 classes) - Case law (continued)

Week 11 (2 classes) - Case study

Week 12 (2 classes) - Product liability - breach of warranty (contract law) ; basics of contract law

Week 13 (2 classes) - Product liability - negligence, strict liability, misrepresentation, market share liability (tort law)

Week 14 (2 classes) - Trial phases and procedure

Week 15 (2 classes) - Jury system project : - You are a juror

(Note - The above schedule is an example for general guidance purposes only and the exact schedule and topics may differ based on the students' prior knowledge, interests, English levels, etc. or as necessary. Students will be informed of the homework assignment and the exact topics to be studied in the following class in each class.)

Preparation and assignments

PREPARATION FOR EACH CLASS IS ESSENTIAL. Students are expected to study the assigned materials and look up all new vocabulary in a dictionary before class. In addition, students are expected to do all other homework assignments , e. g., Internet research.

教科書	Materials will be distributed in class. Students may occasionally be given assignments to do research and obtain additional materials.
------------	--

参考書	
------------	--

H112 警察学概論

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Sociologie of the Police		
大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL : 075-705-1985 FAX : 075-705-1582		
担当教員	浦中 千佳央 (法学部)		
開講日程	2016年04月11日 (月) ~ 2016年07月18日 (月) 4講時 15時00分~16時30分 (毎週月曜日) ※開講 2016/07/18 (月・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科25,000円 聴17,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	5
試験・評価方法	第1回目講義にて詳しく説明しますが、100%テストで評価します。ただ、講義態度、出席率を採点時に考慮する場合があります。講義中に不適切な態度を取る学生は、所定の規律にて厳しく処断します。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
<p>【講義概要】 「警察とはなにか?」という根本的な疑問を考えるべく、警察と社会の関係について政治学、歴史学、社会学的に解明していく。警察活動そのものの歴史の意味合いと、今日の意味合いを考察する講義である。法律的な観点から警察を考察するものではないので、注意すること。</p> <p>【到達目標】 毀誉褒貶が激しい警察を学問し、警察とは何かを考える。</p>			
講義スケジュール			
<p>【講義スケジュール】 第1回～第8回 警察とは何か 社会統制論、D・イーストンの政治システム論という観点から警察の役割・機能に着目し、警察とは何かを考察します。1) 警察学の歴史、2) 警察の定義、3) 警察組織、4) 政治と警察、5) 社会と警察</p> <p>第9回～10回 歴史の中の警察 ギリシャ語のpoliteiaが語源の警察 (police) がどのように発展してきたかを俯瞰し、警察の変遷を考察する。 1) 世界の警察、2) 日本の警察</p> <p>第11～15回 21世紀、今後の警察 今、法化社会 (judicialisation de la soci et?)、グローバリゼーション、ポストモダン社会の中、世界各国の警察が岐路に立っている様に、日本の警察も岐路に立たされている。こうした中で警察が直面していくであろう問題を取り扱う。1) コミュニティー・ポリシーシング、2) 警察の軍事化・軍の警察化、3) 民間警備業</p>			
教科書			
参考書	由井正臣 大日方純夫『日本近代思想体系 官僚制・警察』(岩波書店、1990年) 広中俊雄『警察の法社会学』(創文社、2004年) 村山真維『警邏警察の研究』(成文堂、1990年) 菊池良生『警察の誕生』(集英社、2010年) 瀧美東洋『コミュニティー・ポリシーシングについて』(『警察学論集』第42巻9号、1994年) 警察学論集、警察公論		

H114 政策分析論

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Theories for policy analysis		
大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL: 075-705-1985 FAX: 075-705-1582		
担当教員	足立 幸男 (法学部)		
開講日程	2016年04月12日 (火) ~ 2016年07月19日 (火) 3講時 13時15分~14時45分 (毎週火曜日) ※火曜振替1回 2016/05/06 (金) ※休講 2016/05/03 (火・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科25,000円 聴17,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	5
試験・評価方法	講義内容をどの程度理解しているかによって評価する(筆記試験100%)。ただし、6回以上無断欠席した受講生は試験を受けることができない。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	【履修上の注意】 講義の内容を現実の公共問題に適用してみようという心構えをもって受講していただきたい。		
講義概要・到達目標			
【講義概要】 政策分析という用語は、最も広い意味では、政策過程を構成する各フェーズ(アジェンダ設定、政策決定、政策実施、政策評価)において様々な政策アクターが行う政策についての分析すべてを指しているが、より専門的には、《さまざまな政策アクターが政策過程に発信しようとする(既存政策の中止や改良の提案も含む)「政策案の構想・選択・提言」(政策立案)を究極の目的として行う分析》という意味で用いられている。本講義では、このような意味での政策分析の理論と技法の基礎を概説する。			
【到達目標】 公共政策によって対処しようとする問題一般の複雑さ、難しさについての理解を深めること。 政策分析の理論と技法の基礎を修得すること。			
【身に付く力】 政策分析力。 問題解決能力。			
講義スケジュール			
【講義スケジュール】 第1回: 政策分析とは何か 第2回~第3回: 公共問題の歴史的変遷、文化的差異 第4回~第5回: 政策分析の6つのフェーズ 第6回: 政策目的設定のフェーズに含まれる価値選択という要素 第7回~第8回: 政策目的をどのように定式化するか(レキシカルオーダーとトレードオフ) 第9回~第10回: 処方箋の構想・政策の類型 第11回~第12回: 政策過程 第13回: 政策分析と政治 第14回: 政策分析における議論の重要性 第15回: 試験及びまとめ 参加学生の問題意識や理解度に応じて、各回の内容が若干変化する場合がある。			
【準備学習等(事前・事後学習)】 事前にテキストの関連箇所をあらかじめ読んでくること。事後に講義内容を整理して振り返りを行うこと。			
教科書	テキスト: 足立幸男『公共政策学とは何か』(ミネルヴァ書房)、特にその序章、第1章、第3章。 テキストに書かれていない問題について講義する際には関連資料をmoodle上にアップロードする。		

参考書

H115 地方自治未来論

科目等履修生/聴講生

英文科目名	The Debate on the Future of Local Governments		
大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL: 075-705-1985 FAX: 075-705-1582		
担当教員	芦立 秀朗 (法学部)		
開講日程	2016年04月12日 (火) ~ 2016年07月19日 (火) 4講時 15時00分~16時30分 (毎週火曜日) ※火曜振替1回 2016/05/06 (金) ※休講 2016/05/03 (火・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科 25,000円 聴 17,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	85	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	基本的に期末試験(100%)で評価します(出題形式は未定ですが、15回の講義で話したことは細かいことであっても全て試験範囲に含まれます)。次に出欠に関するルールですが、毎回B5のコメント用紙を配布し、その提出をもって「出席」とします。但し、コメント内容から、物理的な出席しかしていないことが分かる受講生に関しては、コメント用紙を提出していても「出席」とみなしません。以上の出欠確認の結果、3分の2の「出席」要件を満たさない場合、期末試験の受験を認めません。公認欠席など証明書のある欠席の場合は一定程度は考慮しますが、リレー講義という性格上、限度があることは理解して下さい。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	履修上の注意 仕事の現場におられる方々が直接講義をして下さることの重要性を理解している真摯な学生の参加を望みます。講師の先生方のお話が先生方の所属機関の印象を左右するのと同様に、受講生の皆さんの言動が本学の印象に影響を及ぼします。従って、匿名性よりも実名性を重んじます。所属機関の身分証明書を毎回持参して、いつでも提示できるようにして下さい。言うまでもありませんが、遅刻早退は厳禁です。円滑な授業運営に協力を求めます。あまりにも非協力的な受講生に関しては、翌週以降の出席を認めない場合があります。		
講義概要・到達目標			
講義概要 本講義は、各地でそれぞれの立場(国政政治家、地方首長、地方議員、各種の行政職員、警察官、消防士、経済人、文化人など)から、日本における「地方自治の未来」に関して重い責任と高い理想を持っておられる方々をお招きし、現場から見た地方自治の問題点と今後の方向性について、率直にかつ熱く語って頂きます。			
授業の到達目標 地方自治の実情を、これまで学んできた政治学や法律学の枠組みで理解することを最大の目標とします。また、将来の進路として、ビジネス分野だけでなく、公共的な分野があることを理解し、進路選択の参考にすることも目標となります。			
身に付く力 コミュニケーションスキル(状況把握力、傾聴力) 態度・志向性(規律性、市民としての社会的責任、生涯学習力)			

講義スケジュール	
<p>講義スケジュール</p> <p>教壇に立って頂く方々は、春学期の開始までに人選します。2015年度の場合、地方首長・幹部が3名、地方議員が2名、地方公務員（行政職員、消防士、警察官）が6名、文化人3名の計14名の方々でした。お一人1回ずつのリレー講義方式です。受講者は、毎回違った講師の方々から、それぞれ独自の地方自治論を学ぶことができるはずです。その場で質問する時間も設けるつもりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. リレー講義 (1) 3. リレー講義 (2) 4. リレー講義 (3) 5. リレー講義 (4) 6. リレー講義 (5) 7. リレー講義 (6) 8. リレー講義 (7) 9. リレー講義 (8) 10. リレー講義 (9) 11. リレー講義 (10) 12. リレー講義 (11) 13. リレー講義 (12) 14. リレー講義 (13) 15. リレー講義 (14) <p>準備学習等（事前・事後学習） 事前学習：教科書・参考書を精読し、地方自治に関する理論的枠組みを修得しておいて下さい。 事後学習：B5のコメント用紙にその週の講義の感想を、理論的枠組みに照らし合わせて書き提出して下さい。つまり、「実情が分かり勉強になりました」ではなく、「本講義により地方政府の持つ○○という側面が実証されたと考えます」という理解の仕方をして下さい。そのため、授業中にメモをとるなどの当たり前の行為がより重要になります。</p>	
教科書	村上弘・佐藤満編著 『よくわかる行政学 [第2版]』（ミネルヴァ書房、2016年）
参考書	秋月謙吾 『行政・地方自治』（東京大学出版会、2001年）

H116 被害者学

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Victimology		
大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL：075-705-1985 FAX：075-705-1582		
担当教員	新 恵里（法学部）		
開講日程	2016年04月11日（月）～2016年07月18日（月） 3講時 13時15分～14時45分（毎週月曜日） ※開講 2016/07/18（月・祝）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科 25,000円 聴 17,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	
試験・評価方法	学期末に試験を実施します。試験の成績と出席及びレポートなどの提出物を、総合評価します。定期試験（筆記試験）80％、授業で課すレポート等の提出物20％。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	履修上の注意 数回、授業中に小レポートの提出を求めることが		

その他特記事項	あります。私語、携帯電話、他の受講生に迷惑となる行為は禁止します。 各講はそれぞれにつながりがあります。欠かさず出席をすること。
講義概要・到達目標	
<p>講義概要</p> <p>被害者を対象とする被害者学（victimology）は、20世紀半ばから登場した比較的新しい学問である。日本では2000年以降、順次、被害者に関する政策が整備されてきたが、被害者運動に支えられて1960年代から被害者対策を行ってきた欧米諸国に、20年は遅れているといわれている。本講義では、主に施策、支援政策について、欧米と比較し、具体的な事例を示しながら、その歴史と、わが国の犯罪被害者政策の現状と課題について考えていきたい。近年、とくに「犯罪被害者等基本法」が成立し、犯罪被害者等基本計画が策定されるなど、年々新しい動きをみせている。これらの状況についても現在進行形で解説を加えたい。本講義のなかでは、犯罪被害者の現状や問題点等についてを語っていただくゲストスピーカーによる講義も予定している。なお、本講義では、犯罪被害者における諸問題について、立法、その改正に関する解説を中心に行うが、具体的な支援政策については、「被害者政策」で解説するので、関心のある学生は、そちらの受講も検討されたい。</p>	
身に付く力	
課題発見力、論理的分析力、総合的判断力	
講義スケジュール	
<p>講義スケジュール</p> <p>本年度は、以下のテーマのなかから、被害者への政策論を中心に講義を行う。近年変化の多い、新法などの解説も加える予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 被害者学（victimology）の誕生と歴史 2. 初期の被害者学の問題点と、被害者学の今日の問題 3. 犯罪被害者への経済的救済制度－立法とその歴史 4. 犯罪被害者への経済的救済に関する今日の問題 5. 海外の被害者支援－欧米の立法を中心に 6. 日本の民間による犯罪被害者支援の状況 7. 犯罪被害者保護関連三法について（1） 8. 犯罪被害者保護関連三法について（2） 9. 犯罪被害者等基本法と犯罪被害者等基本計画について 10. 刑事司法手続きにおける被害者参加 11. 少年法と犯罪被害者 12. 修復的司法 13. 犯罪被害者と心理学的問題－トラウマ、PTSD とそのケア 14. 近年の被害者保護－児童虐待防止法、DV防止法、ストーカー防止法（1） 15. 近年の被害者保護－児童虐待防止法、DV防止法、ストーカー防止法（2） 	
準備学習等（事前・事後学習）	
授業で推奨された図書をあらかじめ読んでおくことが望ましい。また、授業の前後に、新聞、雑誌等で扱われている犯罪被害者に関する記事等にも留意して読んでおくこと。	
教科書	新恵里『犯罪被害者支援－アメリカ最前線の支援システム』（径書房、2000）本体2,500円
参考書	河原理子『犯罪被害者－いま人権を考える』（平凡社新書、1999）693円 土師守『淳』（新潮社、2002）460円 参照URL：全米被害者援助機構（NOVA）－（英文） (http://www.trynova.org/) 警察庁犯罪被害者対策室 (http://www.npa.go.jp/higaisya/home.htm) 検察庁－犯罪被害者の方々へ (http://www.moj.go.jp/KEIJI/keiji11.html) 日本弁護士連合会－犯罪被害者支援委員会 (http://www.nichibenren.or.jp/jp/katsudo/katsudo/jinken/higaishashien.html) 内閣府－犯罪被害者等施策 (http://www8.cao.go.jp/hanzai)

H117 法社会学A

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Sociology of Law A		
大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL: 075-705-1985 FAX: 075-705-1582		
担当教員	久保 秀雄 (法学部)		
開講日程	2016年04月08日 (金) ~ 2016年07月22日 (金) 2講時 10時45分~12時15分 (毎週金曜日) ※開講 2016/04/29 (金) ※休講 2016/05/06 (金)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科25,000円 聴17,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	5
試験・評価方法	小テスト20% 学期末試験80% (初見の事例を出して、法社会的に分析する力が身に付いているか確かめる) なお、上記以外にも、各種の実験・デモンストレーションに協力した場合は、ボーナス点が随時与えられる。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【履修上の注意】 出欠はとらない。ただし、幅広く高度な内容も扱うので、独学でマスターするには相応の努力が必要である。</p> <p>【その他】 普段は改めて意識することがないような“素朴”でいて“根源的”な謎に向き合うことは、あなたの「ものの見方」を飛躍的にレベルアップさせるであろう。</p> <p>そして、一見“当たり前”のように成り立っている日常世界の不思議さに気づき、その成り立ちのメカニズムを、世界史規模の巨大な座標軸でもって原理的に把握できるようになってほしい。</p> <p>さらに、そのような原理的把握を可能とする広い視野と深い洞察力をもって、自らの「日々の実験」(行動選択)のよりベターな可能性を見極める力を鍛えてほしい。</p>		
講義概要・到達目標	<p>【講義概要】 「なぜ法は社会で守られたり破られたりするのかわかるのか?」 「なぜ法は社会で必要とされるのかわかるのか?」 「そもそも法とはいったい何なのか?」</p> <p>こうした法にまつわる根源的な謎を解くことを通して、(法によって支えられた)社会の成り立ちそのものを解き明かす。つまり、われわれが日々生きる世界の存立の秘密をつきとめる。世界の存立の秘密を科学的に解明することで、あなたの「ものの見方・考え方・打つ手」は大きく変わることになるだろう。</p> <p>【到達目標】 自力で、法にまつわる謎を解き明かせるようになること。</p> <p>そのために、社会的にデータを読み解き分析する力を身に付けること。</p> <p>さらには、その分析力を、日常生活の中でさまざまな社会現象に対して幅広く応用できるようになること (汎用性をもたせること)。</p> <p>【身に付く力】 科学的に推論する能力、さまざまな視点からものごとを多角的に捉える力、広い視野、洞察力</p>		

講義スケジュール

【講義スケジュール】

<オープニング>

1.導入

<基礎編>

2-8.法社会学の基礎となる理論

<インターミッション>

9.特別授業 (順序変更の可能性あり)

<応用編>

10.警察の謎

11.検察の謎

12.裁判の謎1

13.裁判の謎2

14.まとめ

<クロージング>

15.特別授業

【準備学習等 (事前・事後学習)】

第2回から毎回「資料集」を作成して配布するので、授業前に必ず目を通し、授業後には精読すること。

「資料集」は、なるべくたくさん生のデータや原著 (有名な学問的著作) に触れてもらうために、この授業の内容に合わせて特別に作成したものである。

教科書	教科書は用いず、「レジュメ」を作成して配布する。なるべくたくさん生のデータや原著 (有名な学問的著作) に触れてほしいので、「資料集」を作成して配布する。
参考書	

H118 金融論Ⅱ

科目等履修生

英文科目名	Money and Banking 2		
大学名	京都文教大学		
連絡先	教務課 TEL 0774-25-2426 FAX 0774-25-2498		
担当教員	野崎 浩成 (総合社会学部総合社会学科教授)		
開講日程	2016年04月12日 (火) ~ 2016年07月26日 (火) 1講時 9時00分~10時30分 (毎週火曜日) ※休講 2016/05/03 (火)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科50,000円 (登10,000円 履40,000円)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	学期末試験 / Final Examination : 80% 期末テストは、各授業の小テストを踏まえながらブラサルファを出題する 平常点評価 / Performance in Class : 20% 毎回の授業の小テストは、出欠を兼ねて行うため、その点数の高低は全体の成績評価のごく一部。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	特になし		

講義概要・到達目標	
授業の概要／Course Outline 金融論の基礎のまとめと応用を学ぶ。金融論Ⅰでは金融の主な役割や基本を学んだが、本授業ではやや高度なレベルまでチャレンジする。進め方としては、直接金融と間接金融、金利や株の概念についての復習を行い、これを使った応用問題に取り組んでいく。将来、社会人としてある事業を進めるべきかどうかの判断に迫られる時に、どういった考え方で臨むべきか、など現実に役に立つような学問である。	
到達目標／Class Objectives 数学的な基礎を含めて、ファイナンス全般への習熟を目指す。	
講義スケジュール	
第01回 金融の基礎の復習1～ 直接金融と間接金融、金融機関の役割 第02回 金融の基礎の復習2～ 中央銀行と金融政策、貨幣の供給 第03回 金融の基礎の復習3～ 債券と株の基礎知識 第04回 金融システムの発展とファイナンス～ 歴史を学びながらデリバティブまでを紹介する 第05回 金融の応用に行く前に～ 数学・統計学・経済学の基礎を復習する 第06回 リスクについて～ リスクとリターン、リスク管理、最強のパフォーマンス評価。 第07回 コーポレートファイナンスの基礎～ 時間的価値、機会損失、サンクコスト、プロジェクト評価。 第08回 ポートフォリオ理論の基礎～ 投資とポートフォリオについて 第09回 ポートフォリオ理論と資本市場理論～ 最適ポートフォリオと資本市場線 第10回 効率的市場仮説～ アナリストにとって必要な？ 第11回 デリバティブ～ オプション理論とプロ野球ドラフト 第12回 証券化～ 証券化の基礎と応用 第13回 契約理論とガバナンス～ 契約相手に言うことを聞かせるには 第14回 金融危機の経済学と金融規制～ 世界的金融危機とグローバル金融規制 第15回 金融論の総括～ トップアナリストとしての経験談を交えて	
教科書	野崎浩成「トップアナリストがナビする金融のしくみと理論」2015年 同文館出版
参考書	谷内 満「入門 金融の現実と理論 第2版」2013年、センゲージラーニング。 石山嘉英・野崎浩成「グローバル金融システムの苦悩と挑戦-新規制は危機を抑止できるか」2014年、金融財政事情研究会。 野崎浩成「銀行の罪と罰」2010年、蒼天社。

H119 公共哲学

科目等履修生

英文科目名	Public Philosophy		
大学名	京都文教大学		
連絡先	教務課 TEL 0774-25-2426 FAX 0774-25-2498		
担当教員	黒宮 一太（総合社会学部総合社会学科准教授）		
開講日程	2016年04月06日（水）～2016年07月20日（水） 4講時 14時40分～16時10分（毎週水曜日） ※休講：2016年05月04日（水・祝）、2016年5月25日（水） ※補講：2016年05月28日（土）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科50,000円（登10,000円 履40,000円）		
会場			
授業定員	80	京カレッジ定員	10

試験・評価方法	学期末試験／Final Examination 60% 第15回授業で実施する到達度調査によって評価する。 学期中の試験／Mid Term Examination 0% 平常点評価／Performance in Class 40% 授業内で指示した課題への取り組み、および授業中におこなわれる討論に対する取り組みを評価する。
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	
その他特記事項	本講義では、われわれにとって「善い社会」とはどのような社会であるか、それについて構想するためにはいかなる思考の仕方が求められるかを考えていきます。受講者には、現代社会において大事な問題が何であるか、それについてどのように考え、どのような態度をとるべきであるか、自ら考えてみせようと思望することを望みます。
講義概要・到達目標	本講義では、近年になってにわかに注目を集めている「公共哲学」と呼ばれる学問分野において問題とされている事柄について、それを思考するための知識と思考の仕方を学んでいく。「公共哲学」は、社会において大事とされる「価値」について考える、いいかえれば、われわれにとって「善い社会」とは何かを考える学問分野であり、また、現代社会において実際に立案、施行される各種政策の基礎となる、あるいは各種政策が前提にしている「価値」の善し悪しについて思考する学問分野であるともいえる。 そこで本講義では、身のまわりで生じている事柄から国際社会において生じている諸問題を事例として、その背後に控えている「価値」に着目し、どのように考え、どのように応答するのが望ましいのかを、受講者とともに考えていく。具体的には、まず「公共哲学」と呼ばれる学問分野の問題領域を提示し、ついで、公共哲学として括られる諸理論を、「公正」「自由」「平等」などといった諸価値に焦点をあてながら考察していく。以上をふまえ、現代社会において生じている諸問題にどのように応答すべきかを、「公共哲学」という観点から考えていく。
講義スケジュール	1. 導入：「公共哲学」では何をどのように考えるか。 2. 社会的な「正しさ」をめぐる各種アプローチ：「犠牲の状況」をどう考えるか。 3. より多くの人がより多くの満足を得られる社会が「正しい社会」か：功利主義をめぐる 4. 「個人の自由」をどのように考えるべきであるか1：リバタリアニズムをめぐる 5. 「個人の自由」をどのように考えるべきであるか2：リベラリズムをめぐる 6. 「(社会的)格差」「(平等)」をどのように考えるべきであるか1：J.ロールズ『正義論』からの展開 7. 「(社会的)格差」「(平等)」をどのように考えるべきであるか2：J.ロールズ『正義論』からの展開 8. 「(社会的)格差」「(平等)」をどのように考えるべきであるか3：J.ロールズ『正義論』からの展開 9. 「市場価値（価格）」への還元はどこまで許されるか1：市場の道徳的限界をめぐる 10. 「市場価値（価格）」への還元はどこまで許されるか2：市場の道徳的限界をめぐる 11. 「市場価値（価格）」への還元はどこまで許されるか3：市場の道徳的限界をめぐる 12. 現在の日本の問題を「公共哲学」の立場から考える1 13. 現在の日本の問題を「公共哲学」の立場から考える2 14. 現在の日本の問題を「公共哲学」の立場から考える3 15. 到達度調査
教科書	特定の文献を教科書に用いることはしない。
参考書	受講者の学習の助けとなる文献を適宜紹介していく。

H120 比較思想論

科目等履修生

英文科目名	Comparative Philosophy		
大学名	京都文教大学		
連絡先	教務課 TEL 0774-25-2426 FAX 0774-25-2498		
担当教員	黒宮 一太(総合社会学部総合社会学学科准教授)		
開講日程	2016年04月11日(月)~2016年07月25日(月) 2講時 10時40分~12時10分(毎週月曜日) ※休講:2016年05月02日(月) ※開講:2016年07月18日(月・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科50,000円(登10,000円 履40,000円)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	80	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	学期末試験:第15回授業で実施する到達度調査によって評価する(60%) 平常点評価:授業内でおこなう課題を評価する(40%)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
われわれが生を営む「現代社会」は、さしあたり「近代社会」を形成してきた諸価値を踏襲しつつ、変容させたところにおいて形成されたものだ理解することができる。すなわち、現代社会を理解するには、また、現代社会に生起している諸問題について解釈するには、近代社会を形成してきた諸価値が何であったかをまず知らねばならない、ということである。			
本講義は、「現代」という時代、ならびに「現代社会」で大事な問題が何であるか、それをどのように考えたらよいか、その手がかりを受講者に与えていくことを目的とする。したがって、各回の講義をとおして、近代社会を形成した諸原理や諸価値がどのようなものであったか、そしてそれがどのように変容し現代社会が形成されているかを「思想」を視座にして解釈していくことにする。また、「近代日本」というそれ自体矛盾を孕んだ事柄について思索した思想家たちの知的営為を手がかりにして「近代日本」の根本問題について考えていく。			
受講者には、「現代」という時代、ならびに「現代社会」を総合的に理解するよう努め、そのための知識や思考の仕方を学び、「現代」という時代、ならびに「現代社会」で大事な問題が何でありそれをどのように考えたらよいかを表現できるようになることを求める。			
講義スケジュール			
1. 問題提起			
2~14.			
以下の4つのテーマを主に考えていくことにする。			
1グローバル化と国家			
2大衆社会化と政治・経済・文化			
3合理化の進展と「個人」のゆくえ			
4「自由」「平等」の普遍性とそれをめぐる問題			
15. 到達度調査			
なお、本講義は、主として講義形式で授業を進めるが、受講者の人数やテーマによって適宜議論する機会を設けることにする。また、講義される内容が「近代日本」に無関係ではないことを受講者に理解させるために、適宜、政治、経済、社会、文化にかんする現在の具体的な問題を思考の素材として提供していくことにする。			
教科書	特定の文献を教科書に用いることはしない。		
参考書	各回の授業で適宜推奨する文献を提示する。		

H122 企業分析1

聴講生

英文科目名	Business Analysis in Japan 1		
大学名	同志社大学		
連絡先	今出川キャンパス教務センター(経済学部・経済学研究科) TEL 075-251-3521 FAX 075-251-3064		
担当教員	八木 匡(経済学部教授)		
開講日程	2016年04月08日(金)~2016年07月22日(金) 3講時 13時10分~14時40分(毎週金曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	聴22,000円		
会場	今出川校地		
授業定員		京カレッジ定員	30
試験・評価方法	・期末レポート試験・論文 50% 講義の理解の確認と講義内容を発展させた調査と分析 ・出席点 50% 講義内容の理解が十分に行われているかを確認します。そのため、授業への出席が基本となります。出席確認は、C-learningを用いて行います。その上で、発展的な調査と分析を求めます。授業への出席が不足している場合には、レポートの評価は低くなります。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
<講義概要>			
現在、企業競争力は創造性に依存して決定されております。ファッション産業は、創造産業の中でも、最も長い歴史を有している産業といえまして、そこでのビジネスモデルは、他の産業にとっても重要な意味を与えております。ファッション産業は、デザイン、製造、流通といった分野が統合的に競争力を持つ必要があり、単にデザインのみがすぐれているだけでは、競争力を長期的に維持することができません。本講義では、現在日本のファッション産業を牽引する企業の方をお呼びし、ファッション産業の構造と戦略についてお話をさせていただきます。			
本講義は、ファッション産業の業界団体が設立したIFI(Institute for Fashion Industry)ビジネススクールと呼ばれる、ファッション産業のための専門的教育機関の寄付講座として設置されたものでございます。そのため、本講義のプロデュースは、IFIビジネススクール(高坂貞夫氏)と八木との協同によって進められました。そのため、ファッション産業の断片的な理解ではなく、包括的かつ本質的な理解が可能となります。本講義を履修することにより、創造的経済の本質を理解していただき、今後の日本の企業が進むべき方向性を掴んで頂けますことを期待しております。経済産業省が提言している産学連携の一環として、次代を担う若者に、産業界への理解を深めてもらうとともに、有能な人材をこの業界に導くことも本講義の目的となっております。			
<到達目標>			
経済理論を学んだ者、およびこれから本格的に経済を学ぼうと考えている者が、現実の経済の動きを企業戦略の視点から理解し、より深く経済学を理解できる能力を養成する。90年代以降の日本は、産業主導型から消費者主導型経済へとシフトして来た。「ニーズ」型から「ウォンツ」型への需要の変化は、「商品」以上に「消費者の感情や心理・ライフスタイル」が重視されるようになった。ソフト化、サービス化が進展する中、その代表的ポジションにあるファッション産業における先端企業の話から、「ヒューマンキャピタル」「ブランド」「ナレッジマネジメント」「ビジネスモデル」といったグローバル時代の競争基盤であるナレッジ資産の本質的理解と「顧客価値創造」「競争優位の構築プロセス」を実践的に学ぶことを目標としている。			
毎回の授業の後半では、携帯電話を用いたコメント・質問の提出を義務づけており、これにより出席確認も同時に行っている。ゲスト講師の先生からは、コメント・質問に対する回答を頂くことになっている。			

H 現代社会を学ぶ

講義スケジュール	
1 (4月 8日) 産業創造性とクリエイティブ・ビジネス 高坂 貞夫氏 I F I ビジネス・スクール・コーディネーター (M&LインSTITUTE代表) 八木 匡 同志社大学 経済学部 教授	
2 (4月15日) トレンドディレクションとビジネス 小森 美穂子氏 エクリュ代表 クリエイティブ・ディレクター	
3 (4月22日) Store as a brand...経験価値創造の経営戦略 山崎 万里子氏 (株) ユナイテッドアローズ執行役員経営戦略本部 副本部長 経営企画部部长	
4 (5月 6日) 経験価値としてのビジュアル・マーチャンダイジング 沼田 明美氏 (株) スマタデザインアソシエイツ代表取締役	
5 (5月13日) 付加価値創造のパラダイムシフト 高坂 貞夫氏 I F I ビジネス・スクール・コーディネーター (M&LインSTITUTE代表)	
6 (5月20日) ビッグデータ活用によるナレッジマネジメント 曾我 芳博氏 (株) アベイル取締役副社長	
7 (5月27日) 垂直統合のビジネスモデルとグローバルブランド展開 ノルベール・ルレ氏 (株) ザラ・ジャパン代表取締役	
8 (6月 3日) 経験価値創造のオープンイノベーション～コミュニ ティ 吉川 稔氏 カフェ・カンパニー (株) 取締役副社長	
9 (6月10日) ブランドコアとしてのビームス・カルチャー 青野 賢一氏 (株) ビームス ビームス創造研究所 クリエイティブディレクター	
10 (6月17日) 消費構造の変遷と近未来のショッピングセンター 六車 秀之氏 (株) ダイナミックマーケティング社 代表取締役	
11 (6月24日) 消費者セントリック～ネットとリアルとの融合 奥谷 孝司氏 (株) 良品計画 WEB事業部長	
12 (7月 1日) 消費者セントリックとビジネスイノベーション 福田 三千男氏 (株) アダストリアホールディングス 代表取締役会長	
13 (7月 8日) ファッション業界におけるマーケティング戦略 早瀬 京鏑氏 トリンプ・インターナショナル・ジャパン (株) 取締役マーケティング 本部長	
14 (7月15日) クリエイティブ産業の未来 高坂 貞夫氏 I F I ビジネス・スクール・コーディネーター (M&LインSTITUTE代表)	
15 (7月22日) 総括討論会 高坂 貞夫氏 I F I ビジネス・スクール・コーディネーター (M&LインSTITUTE代表) 八木 匡 同志社大学 経済学部 教授	
講師・講義内容は変更になる場合がある。	
講義の中では携帯電話を用いた講義システム (C-Learning) を導入し、リアルタイムで学生の質問・コメントを公開します。このシステムによりファッション産業の先端を走る講師陣と議論をできるかぎりしたいと考えております。学生の皆さんも是非とも議論に参加して下さい。	
教科書	
参考書	・八木匡ホームページ (http://tyagi.doshisha.ac.jp/) C-learningコメントを掲載

H124 財務諸表論		科目等履修生/聴講生	
英文科目名	Financial Accounting		
大学名	同志社大学		
連絡先	商学部・商学研究科事務室 TEL075-251-3660 FAX075-251-3068		
担当教員	稲見 亨 (商学部教授)		
開講日程	2016年04月11日 (月)～2016年07月25日 (月) 4講時 14時55分～16時25分 (毎週月曜日) 休講 2016年5月 2日 (月) 休日授業日 2016年7月18日 (月・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科 79,000円 (選 10,000円、登 35,000円、履 34,000円)、聴22,000円		
会場	今出川校地		
授業定員		京カレッジ定員	20
試験・評価方法	<成績評価基準> 期末筆記試験 100% 講義内容の的確な理解に基づく論述、用語説明		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
<概要> 会計は企業活動の成果および状況を数値情報に置き換え、株主、銀行 (債権者)、従業員といった利害関係者に伝達するプロセスとい うことができる。つまり、企業が会計情報を発信し、利害関係者がそれ を受信・利用するという関係が存在する。その際、企業と利害関係者 に共有されるべき会計情報は「財務諸表」として公表される。本講義 では、「財務諸表」の意義および内容について、その歴史的側面、国 際的側面、そして関連法制との関係を明らかにしながら、受講者がそ の基本的知識を習得することを目指す。			
<到達目標> 本講義の受講をつうじて、財務諸表の意義とそれに係わる最新のト ピックについて、正確な理解ができるようになる。			
講義スケジュール			
<授業計画> (実施回) (内容)			
1 ガイダンス：財務諸表の意義			
2 歴史的観点からみた財務諸表 (1)			
3 歴史的観点からみた財務諸表 (2)			
4 歴史的観点からみた財務諸表 (3)			
5 国際的観点からみた財務諸表 (1)			
6 国際的観点からみた財務諸表 (2)			
7 国際的観点からみた財務諸表 (3)			
8 財務諸表と法的規制 (会社法)			
9 財務諸表と法的規制 (証券取引法)			
10 財務諸表と法的規制 (法人税法)			
11 財務諸表をめぐる最新の論点 (1)			
12 財務諸表をめぐる最新の論点 (2)			
13 財務諸表をめぐる最新の論点 (3)			
14 財務諸表をめぐる最新の論点 (4)			
15 総括			
授業計画は変更の可能性あり。			
教科書	安藤英義『簿記会計の研究』(中央経済社, 2001)		
参考書	適宜指示する。 講義内容に即して、適宜プリントを配布する。		

H126 制度会計論

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Accounting and Law		
大学名	同志社大学		
連絡先	商学部・商学研究科事務室 TEL075-251-3660 FAX075-251-3068		
担当教員	田口 聡志 (商学部教授)		
開講日程	2016年04月11日 (月)～2016年07月25日 (月) 6講時 18時25分～19時55分 (毎週月曜日) 休講 2016年5月 2日 (月) 休日授業日 2016年7月18日 (月・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科 79,000円 (選 10,000円、登 35,000円、履 34,000円)、聴22,000円		
会場	今出川校地		
授業定員		京カレッジ定員	20
試験・評価方法	<p>中間試験 (講義内容の理解度) 50% 講義内容の理解度 期末試験 (講義内容の理解度) 50% 講義内容の理解度</p> <p>各回ごとの講義の的確な理解が、合格のための最低限のラインとなる。講義内では個別の会計基準や会計処理についての解説は行わないが、これらの知識を大前提とした上で講義を進める。よって、これらの知識が不足していると思われるものは、各自独学でそれを習得する必要があるし、また他の会計科目との併行履修などを強く推奨する。</p>		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			
講義概要・到達目標			

<概要>
本講義では、会計制度とは何かという点について、「人間のこころ (人間心理)」や「人間の意思決定・行動」に注目した上で、ゲーム理論、進化ゲーム理論や契約理論、実験経済学といった新しい手法を用いて分析することを目的とする。
近年、大規模な会計不正事件や金融危機などを背景に、会計制度のあり方が大きく問われているが、ここでは、単なる会計処理の中身だけではなく、それを用いる人間心理や、そのような人間心理を踏まえた制度の構造そのもののあり方が、大きく問われている。つまり、ここでは、「人間のこころ」を前提とした制度設計が必要となるといえる。
そこで本講義では、この「人間のこころ」および「制度」をキーワードに、会計制度設計のあり方ないし会計研究のあり方を考えることにしたい。

以上のような問題意識から講義を行うため、本講義では、個別の会計基準の「解説」や会計処理方法の中身の説明は基本的には行わない。つまり、それらの (簿記や会計に関する) 基本的知識を有していることを前提としたうえで講義を進めるので、受講予定者は、この点を踏まえて、履修するか否かの意思決定をお願いしたい (簿記会計の基礎知識がないままでは講義理解・単位取得は難しいので、履修しないほうがよい。他の科目の受講もしくは独学でそのような知識を平行して習得する意欲のあるもののみ、履修されたい)。また、本講義では、ゲーム理論や実験経済学の手法を用いるが、これらの新しい手法に不慣れな受講予定者は、合わせて「心理と行動の経済学」を受講することを強く推奨する。

<到達目標>
会計制度が、絶対的かつ規範的なものではなく、様々なプレイヤーの意思決定ないしそれらの相互作用から生まれるものであることを理解することが出来るようになることが、本講義の到達目標である。

講義スケジュール

<授業計画>

- (実施回) (内容)
- 1 イントロダクション
 - 2 方法論の基礎：ゲーム理論と実験
 - 3 会計制度のゲーム理論分析
 - 4 コンバージェンスのゲーム理論分析
 - 5 コンバージェンスの実験比較制度分析
 - 6 中間評価
 - 7 情報の非対称性と会計制度
 - 8 情報開示制度の実験比較制度分析
 - 9 記録と記憶
 - 10 内部統制監査制度の理論と実験
 - 11 会計倫理の実験比較制度分析
 - 12 基準設定主体の実験比較制度分析
 - 13 会計教育の比較制度分析
 - 14 総括
 - 15 講評

受講者との相談の上、上記講義の内容・順番等を一部変更する可能性もある。

教科書	田口聡志『実験制度会計論－未来の会計をデザインする－』(中央経済社, 2015年), 会計制度をゲーム理論と実験経済学により分析
参考書	ウィリアム R. スコット 著, 太田 康広・椎葉 淳・西谷 順平 訳『財務会計の理論と実証』(中央経済社, 2008年), 会計実務と実証研究・分析的研究との関係を捉えた良書。文献のサーベイが豊富で、リサーチ・クエスチョンを探るのに最適。 田村威文『ゲーム理論で考える企業会計』(中央経済社, 2010), 企業会計をゲーム理論的に分析した良著。 亀田達也『社会の決まりはどのように決まるか』(勁草書房, 2015年), 社会の決まりの決まり方について、社会心理学とゲーム理論を用いて分析する良著。 ボナー『心理会計学』(中央経済社, 2012), 心理学と会計学の融合

H 現代社会を学ぶ

H129 働くということー現代の労働組合

科目等履修生/聴講生

英文科目名	The Work and Life -Labor Unions, their Practices and Challenge-		
大学名	同志社大学		
連絡先	社会学部・社会学研究科事務室 TEL : 075-251-3411 FAX : 075-251-3031		
担当教員	寺井基博 (社会学部准教授)、石田光男 (社会学部教授)、上田眞士 (社会学部教授)、三山雅子 (社会学部教授)		
開講日程	2016年04月08日 (金)～2016年07月22日 (金) 5講時 16時40分～18時10分 (毎週金曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科 79,000円 (選 10,000円、登 35,000円、履 34,000円)、聴22,000円		
会場	今出川校地		
授業定員	180	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	<p>出席点 45% 授業開始前に配付されるコメントシートに講義に対する意見等を記載して、授業終了後に提出。15分以上遅刻した者は欠席として扱う。</p> <p>レポート 45% 講義内容を踏まえて、各自の考えが整理できているか。</p> <p>質問点 10% 質問者に加算。※質問の際には、必ず所属および氏名を名乗ること。</p>		
超過時の選考方法	書類選考		

別途負担費用	
その他特記事項	本講義は、労使関係の実践的編として位置づけられる講義である。したがって、労働組合や労使関係に関する基礎知識については、以下の講義等を受講することが望ましい。
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会と労働(社会学部※社会学部生のみ履修可) ・労働法Ⅱ(社会学部) ・雇用政策法(法学部) ・雇用と法(法学部※法学部生のみ履修可)
講義概要・到達目標	
<概要>	
<p>本講義は、社団法人教育文化協会の協力による「連合寄付講座」として開講される。</p> <p>企業活動のグローバル化やメンタルヘルスの問題、評価制度や雇用制度の変化など、労働領域における今日的課題について、第一線で活躍する労働組合役員がそれぞれの得意分野について講義する。各テーマについて最も適切な人物を講師に迎え、組合活動の視点から現実的な課題を提示し、その課題解決に向けた具体的取り組みを講義する。第一線の労働組合役員の知見を通じて、現場が直面している最も重要な課題を知ることは「働くということの意味」を総合的に考える手がかりを掴むことになると考えられる。自らの体験を超えて総合的かつ課題提的に「働くということ」を考えること、これが本講義の目的である。</p> <p>働く上での課題を具体的に理解し、その課題解決に向けて考える姿勢を養う。労働組合の活動や課題を正確に知り、労働の意味を深く考え、そこからさらに労働組合の意義、企業のマネジメント職の意義に発想を及ぼすことができる能力を養う。</p>	
<到達目標>	
<p>労働や雇用を手がかりに、日本社会で何が問題であるのかを正確に認識できるようになる。</p> <p>自分自身がどのような職業生活をおくるべきか、展望をいただくことができるようになる。</p>	
講義スケジュール	
<p>1 【開講の辞】 連合寄付講座で同志社大学の皆さんに学んでほしいこと 【課題提起1】 労働者を取り巻く現状と課題ー労働組合の果たすべき役割とはー 南雲 弘行 (公社) 教育文化協会理事長</p> <p>2 【課題提起2】 労働相談に見る職場の現状と労働組合の役割・意義ー若者を取り巻く雇用の現状を中心にー 駒井 卓 連合 中央アドバイザー</p> <p>3 【ケーススタディ1】 非正規労働者の処遇改善に向けた取り組み 桑原 正廣 イトーヨーカドー労働組合 中央執行副委員長</p> <p>4 【ケーススタディ2】 総労働時間の短縮とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組み 藤本 英和 生保労連 中央副執行委員長</p> <p>5 【ケーススタディ3】 公務労働の現状と公共サービスの役割 ー公務関係労組の取り組みー 岸 真紀子 自治労 組織対策局長</p> <p>6 【ケーススタディ4】 中小企業で働く労働者に対する産業別労働組合の支援ー機械・金属産業労組の事例からー 狩谷 道生 JAM オルガナイザー 育成推進室長</p> <p>7 【ケーススタディ5】 雇用と生活を守る取り組みー労働組合をつくるー 井尻 雅之 連合大阪 副事務局長 村田 憲彦 連合大阪 副事務局長</p> <p>8 【ケーススタディ6】 労働諸条件の維持・向上に向けた取り組みー2016春闘における取り組みー 富田 珠代 自動車総連 副事務局長</p> <p>9 【中間まとめ】 労働組合の意義・役割とは何かー今一度振り返って考えてみるー 高木 郁朗 日本女子大学 名誉教授</p> <p>10 【課題への対応1】 進行するグローバル化にどう対応するかー国際労働運動の役割と取り組みー</p>	

西原 浩一郎 JCM 顧問	
11 【課題への対応2】 地域における政策・制度実現に向けた取組みー連合京都における取組みー 廣岡 和晃 連合京都 事務局長	
12 【課題への対応3】 ワークルール確立に向けた取組みー労働規制緩和にいかにか歯止めをかけるかー 安永 貴夫 連合 副事務局長	
13 教員による論点整理 同志社大学教員	
14 グループディスカッションによる論点整理と重要な論点の確認(修了講義を迎えるにあたって) 同志社大学教員	
15 【修了講義】 「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて 逢見 直人 連合 事務局長	
教科書	テキストは使用しません。適宜資料を配布します。
参考書	中條 毅 責任編集『人事労務管理用語辞典』(ミネルヴァ書房、2007年) シドニー&ベアトリス・ウェッブ著 高野岩三郎 監訳『産業民主制論』復刻版(法政大学出版局、1969年)

H130 専門特殊講義Ⅱ「読売マスコミ講座」/SG

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Variable Theme in Specialized Area II		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】TEL: 075-466-3350		
担当教員	柳澤 伸司		
開講日程	<p>2016年4月11日(月)~2016年7月18日(月) <毎週月曜日> 4時限: 14:40~16:10 7月18日(月・海の日)は授業日です。</p> <p><教室案内> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf ※休講になった場合などは、4/30(土)、5/14(土)、6/18(土)、7/2(土)、7/16(土)、7/20(水)に補講を行うことがあります。</p>		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生: 42,800円 ・聴講生: 25,400円		
会場	衣笠キャンパス		
授業定員	400	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	<p>【平常点評価】100% manaba+Rを用いて、毎回の出席確認、授業の振り返り等コメントレポートの提出(出席を含めたレポート60%)。 最終レポート(40%)</p> <p>【備考】 manaba+Rでの出席確認、レポート提出を行ってまいりますので、それに対応できるようにしておいてください。</p>		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		

その他特記事項	<p>※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、 立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。</p> <p>【諸手続】(単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html</p>
講義概要・到達目標	
<p>【授業の概要】 20世紀を支えてきた巨大メディアの新聞とテレビをめぐる環境は、多メディア、デジタル化時代を迎えて大きく変化している。新聞では、紙媒体に加えネット記事も浸透し、紙媒体を補完する形でインターネット、デジタル化時代に備えている。テレビでは、広告収入を基本とする経営が主流であったが、オンデマンド形式の放送では、番組単位で販売されるなど、新たなビジネスモデルも生まれている。これらの変化は、経営面はもちろんのこと、コンテンツにも多大な影響を与えている。また、2011年3月11日に起こった東日本大震災、あるいは現在の政治・経済・外交などの社会の変化における様々な事象に対する新聞、テレビの報道の取り組みは、メディアの公共性へ課題を提起している。</p> <p>本講義では、このような激変する環境の中で、テレビ、新聞などの番組、記事が今、どのような課題に取り組み、どのような展望が構想されているのか、21世紀の放送・ジャーナリズムの課題とは何か、新たなメディアとの競合、協調の可能性はどう考えることができるのか、コンテンツを巡る経営環境の課題は何か、新たな展開のための戦略とは何か、等々の課題を考察することを通じて教育目標の実現を図る講座とする。</p> <p>本講座は、変貌するメディア環境をめぐる諸問題を視野に入れて、日本のメディアを牽引する読売新聞と読売テレビの最前線で働く方々の講義を通じて、21世紀のメディアの課題と可能性を具体的に探ることを目的としている。そのため、毎回の授業は、論説・編集委員、記者、広報、ディレクター、プロデューサー、編成マン、事業セクション等多様なプロフェッショナルの方々による、「新聞・テレビの現在と未来」[公共性としてのメディア]をキーワードとする講義から構成される。</p> <p>【受講生の到達目標】 変貌するメディア環境をめぐる問題点を踏まえて、これからのメディアの課題と可能性を具体的に説明することができる。</p> <p>【授業外学習の指示】 各回の講師は読売新聞と読売テレビで仕事をしている一線の方々です。どのように新聞をつくり、どのようにテレビ番組を制作しているのか、毎回のテーマに関わって、新聞紙面に触れ(新聞を読み)、番組を見て、実際の話を書くように心がけてください。受講者は、新聞を読み、テレビ番組を見て参加することを前提とします。</p> <p>【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】 manaba+R / Learning Management System (manaba+R) 学生との直接対話 / Talk with Students その他 / Other 授業に関わる質問・意見などは基本的に、manaba+Rで対応します。それ以外の相談は柳澤を通じて、講師につなぐようにします。メールアドレスは下記を参照。 syt01970@ss.ritsumei.ac.jp</p> <p>【備考】 本講座は、manaba+Rを使って、出席確認、課題レポートの提出(および評価)、関連資料の掲示、質疑応答等を行います。随時、manaba+Rを確認し、事前に資料等が掲示されている場合は、必ずそれを読んで受講するようにしてください。お知らせ等も直前になる場合がありますので、リマインダーなどを設定し、情報を受け取れる環境を整えておくようにしてください。</p>	

講義スケジュール	
1	概説～日本の新聞とテレビ、歴史と現状～ <キーワード>柳澤 伸司 (立命館大学産業社会学部教授)
2	【新聞】新聞とは、ジャーナリズムとは(概論) <キーワード>読売新聞大阪本社 編集局総務/永田 広道 氏
3	【新聞】事件報道 <キーワード>読売新聞大阪本社 社会部主任/岸辺 護 氏
4	【新聞】政治報道 <キーワード>読売新聞大阪本社 政治部主任/十郎 浩史 氏
5	【新聞】スポーツジャーナリズム <キーワード>読売新聞大阪本社 編集委員/大月 達也 氏
6	【新聞】3.11以降のジャーナリズム <キーワード>読売新聞大阪本社 科学医療部主任/安田 幸一 氏
7	【新聞】国際報道 <キーワード>読売新聞大阪本社 経済部主任/永田 毅 氏
8	【テレビ】テレビ放送の基礎知識 <キーワード>読売テレビ放送 コンプライアンス推進室/河野 正志 氏
9	【テレビ】1鳥人間コンテストの舞台裏/2ドラマは、こう作る <キーワード>読売テレビ放送 1制作局/太田 匡隆 氏 / 2制作局(東京) / 講師未定
10	【テレビ】1テレビ記者の仕事/2ミヤネ屋の毎日 <キーワード>読売テレビ放送 1報道局/宇田洵子 氏 / 2報道局/辰壮 一朗 氏
11	【テレビ】編成とは? & 地上波テレビの未来 <キーワード>読売テレビ放送 編成局/吉積 伸介 氏
12	【テレビ】大災害発生時のテレビ <キーワード>読売テレビ放送 技術局/高田 裕都 氏
13	【テレビ】1民放局はどのように収益をあげるか/2アナウンサーの仕事 <キーワード>読売テレビ放送 1営業局/長畑 郁 氏 / 2編成局/植村 なおみ 氏
14	【新聞、テレビ】ミニシンポジウム <キーワード>読売新聞大阪本社 編集局次長 松尾 徳彦 氏 / 読売テレビ放送 報道局 春川正明 氏
15	まとめ～日本の新聞とテレビ、明日への展望～ <キーワード>柳澤 伸司 (立命館大学産業社会学部教授)
<p>※本講座は現場の第一線でご活躍されている読売新聞大阪本社、読売テレビ放送の社員の方に講師としてお越しいただきます。そのため講師の業務の予定により、テーマや講師の変更、順番の入れ替えの可能性がります。</p>	
教 科 書	
参 考 書	<p>【備考】必要に応じて授業時、あるいはmanaba+Rで紹介します。</p> <p>【参考になる WWW ページ】 YOMIURI ONLINE (読 売 新 聞) http://www.yomiuri.co.jp/?from=ygnav YTV (読 売 テレ ビ 放 送) http://www.ytv.co.jp/index.html 日本新聞協会 http://www.pressnet.or.jp/</p>

H131 地方自治法/J

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Local Government Law		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】 TEL : 075-466-3350		
担当教員	駒林 良則		
開講日程	2016年4月11日(月)～2016年7月18日(月) <毎週月曜日> 3時限: 13:00～14:30 7月18日(月・海の日)は授業日です。 <教室案内> http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf ※定期試験日程は別に設定します。 ※休講になった場合などは、4/30(土)、5/14(土)、6/18(土)、7/2(土)、7/16(土)、7/20(水)に補講を行うことがあります。		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生: 42,800円 ・聴講生: 25,400円		
会場	衣笠キャンパス		
授業定員	350	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	【定期試験】100% 到達目標のうち大きなウエートを占めるところの、地方自治の法制度を構成している基本的概念を理解しているかが評価の基準である。それゆえ、出題は、地方自治法の基本的知識を問うものが中心となる。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。 【諸手続】(単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html		
講義概要・到達目標	【授業の概要】 1999年に地方分権一括法が成立して、今次の地方分権改革が始まったが、2006年に地方分権改革推進法ができ、2007年から第2次地方分権改革がスタートした。また、近時においては道州制や議会と長の関係など地方制度の今後の動向が注目されている。本講義では、こうした流動的状況を踏まえながらも、現行の地方自治制度の法的仕組みをできるだけわかりやすく説明する。 【到達目標】 なによりも、地方自治の法制度の全体像を把握できるようになる。その前提として、地方自治の法制度に関する基本的概念の理解ができるようになる(これが主たる目標の大きなウエートを占めるであろう)。付随的ではあるが、自治体実務について関心をもつことができるようになる。 【授業外学習の指示】 現実の地方自治の動きが法制度とどう関連するかについても興味を持ってもらいたい。		

【受講および研究に関するアドバイス】
 テキストを中心に講義をすすめるが、地方自治法の改正などテキストでは不十分な場合は随時レジュメで補うことにする。

【事前に履修しておくことが望まれる科目】
 地方自治法は行政組織法の一部であるので、行政法の履修が望ましい。

【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】
 インタラクティブシート / Interactive Sheet

講義スケジュール

- 第1回
 講義の進め方、地方自治の仕組みの概要、自治体の種類など
 <キーワード> 団体自治と住民自治
- 第2回
 自治体の事務の問題について、概説する。特に、自治事務と法定受託事務について解説する。
 <キーワード> 自治事務、法定受託事務、関与
- 第3回
 国と地方の関係
 団体自治のテーマである「国と地方の関係」について説明する。
 <キーワード> 自治権、国の関与
- 第4回
 特別地方公共団体
 民間委託や指定管理者制度など、地方自治の担い手の変容について説明する。
 <キーワード> 特別区、組合、外郭団体、公の施設
- 第5回
 地方分権改革の動向について説明する。特に、議会と長の関係といった制度改革の議論にも関心を寄せたい。
 <キーワード> 道州制、「議会」内閣制とは
- 第6回
 自治体の組織構造 (1)
 自治体組織の基本構造原理である首長制について詳しく説明する。自治体の議事機関たる議会について説明する。
 <キーワード> 二元代表制、議会の権限
- 第7回
 自治体の組織構造 (2)
 議会に引きつづき、長を中心とする執行機関について説明をしたのち、議会と長の関係について法的視点から考察する。また、地方公務員法制についても簡単に触れる。
 <キーワード> 執行機関の多元主義、長の総合調整権、議会と長の関係 (長の不信任と議会解散、再議権、専決処分)
- 第8回
 自治体法論 (1)
 自治体の法形式、条例、特に条例制定権(自治立法権)について説明する。
 <キーワード> 条例、規則
- 第9回
 自治体法論 (2)
 地方自治法の重要なテーマのひとつである法令と条例の関係について、判例を紹介しつつ説明する。
 <キーワード> 自主条例、徳島市公安条例事件最高裁判決、法律先占論
- 第10回
 自治体法論 (3)
 規則や要綱など条例以外の自治体法について説明する。
 <キーワード> 長の規則、過料等の罰則
- 第11回
 住民の権利総論
 自治体の情報公開制度
 <キーワード> 地方参政権
- 第12回
 直接民主主義的制度 (1)
 直接請求制度の解説し、住民参加制度の1つであるパブリックコメント手続について紹介する。

<キーワード>条例の制定改廃請求、解職請求 第13回 直接民主主義的制度 (2) 住民投票制度の動向についてその問題点も含め紹介する。 <キーワード>投票結果の法的拘束力 第14回 住民訴訟 (1) 住民監査請求制度の概要、住民訴訟制度の概要を説明する。 <キーワード>監査委員、財務会計行為 第15回 住民訴訟 (2) 住民訴訟に関する判例を分析する。 <キーワード>住民訴訟の拡大傾向	
教科書	(書名) 地方自治法入門 (著者) 駒林良則・佐伯彰洋編 (出版社) 成文堂
参考書	(書名) 地方自治判例百選 (出版社) 有斐閣 (書名) 地方自治法概説第6版 (著者) 宇賀克也 (出版社) 有斐閣 (備考) 概説書としては詳しい内容である (書名) 行政法Ⅲ第4版 (著者) 塩野宏 (出版社) 有斐閣 備考: 判例百選を授業で使うことはあまりないが、参照してもらうときは指示する。

超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	なし
その他特記事項	※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。 【諸手続】(単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html

講義概要・到達目標

【授業の概要】
 本講義では、先進国の福祉と労働に関して、講義します。具体的な内容としては、ワークシェアリング(労働時間を短縮して雇用を増やす方法)、福祉多元主義、フレキシキュリティー(解雇要件を緩和して流動性を確保する一方、セーフティネットを強化する方法)、ベーシック・インカム(毎月の一定の基本所得を全員に保証する方法)、派遣労働の増加の問題点などに関して、学びます。ただし、上記の方法のいずれも、どちらかといえば、パーツの問題です。うまくいくかいかないかは、政治の仕組みの問題です。その政治の仕組みの問題と関連させて学んでいきます。

【受講生の到達目標】
 政治学の理論や分析枠組みを使って、福祉と労働にかかわる現代政治を理解する。

【事前に履修しておくことが望まれる科目】
 政治学入門など、政治学系講義科目など

【授業外学習の指示】
 講義内容は現代政治と深く関わります。したがって、授業では、日々の政治的出来事に常に言及します。新聞は、紙以外でも、インターネット、携帯でも読めますので、必ず読んでください。

【参考になる WWW ページ】
 新聞を読んでおくことは、就職活動の筆記試験や面接でも非常に助けになります。土壇場になって読もうと思っても、専門用語がわからないで読めないということになりますので、今から読むようにしましょう。
 新聞は、紙以外でも、インターネット、携帯でも読めますので、必ず読んでください。
<http://www.asahi.com/>
<http://www.yomiuri.co.jp>
<http://mainichi.jp/>
<http://sankei.jp.msn.com/>

【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】
 manaba+R / Learning Management System (manaba+R)
 学生との直接対話 / Talk with Students
 その他 / Other mkt04690@law.ritsumei.ac.jp

講義スケジュール

- 1 現代日本政治における問題の確認
 <キーワード> 派遣切り、新卒就職難、サービス残業、年金危機、生活保護
- 2 福祉国家の国際比較と、その歴史的展開
 <キーワード> 社会民主主義、第一次世界大戦、世界恐慌、ファシズム、第二次世界大戦
- 3 ワークシェアリング
 <キーワード> オランダ・モデル
- 4 日本におけるワークシェアリングの試みと挫折
- 5 社会民主主義
 <キーワード> ドイツ社会民主党、イギリス労働党、フランス社会党

H132 福祉政治 / J

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Welfare and Politics		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】 TEL : 075-466-3350		
担当教員	小堀 眞裕		
開講日程	2016年4月13日(水)～2016年7月13日(水) <毎週水曜日> 4時限: 14:40～16:10 5月21日(土)および6月25日(土)は授業日です。 <教室案内> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf ※定期試験日程は別に設定します。 ※休講になった場合などは、4/30(土)、5/14(土)、6/18(土)、7/2(土)、7/16(土)、7/20(水)に補講を行うことがあります。		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生: 42,800円 ・聴講生: 25,400円		
会場	衣笠キャンパス		
授業定員	130	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	【定期試験(筆記)】 70% 講義の理解度を基準にします。 【平常点評価】 30% 3回程度の小テストないしはレポート執筆・提出を行います。		

- 6 新自由主義
 <キーワード>サッチャー、ハイエク、フリードマン
- 7 福祉多元主義
 <キーワード>市場化、規制化
- 8 フレキシキュリティ
 <キーワード>デンマーク
- 9 究極の方法としてのベーシック・インカム
 <キーワード>ワークフェア
- 10 スウェーデン政治の教訓：積極的労働市場政策
- 11 福祉国家の3類型
 <キーワード>エスピング・アンデルセン
- 12 1960年代・70年代日本の福祉政治
- 13 1980年代・90年代以降の日本の福祉政治
- 14 包摂か、平等か、福祉の達成すべきもの
 <キーワード>ジョン・ロールズ、アマルティア・セン
- 15 日本とヨーロッパ各国との総比較

教科書	レジュメを配布するので、それがテキストの代わりになると思います。
参考書	以下の「書名」、「著者」、「出版社」を参照 ・オランダ・モデル 長坂寿久 日本経済新聞社 ・現代イギリス政治 梅川正美他 成文堂 ・福祉政治 宮本太郎 有斐閣

H134 ジャーナリズム論Ⅰ：マスメディアへの招待

科目等履修生

英文科目名	Journalism I		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 TEL075-645-7891 FAX075-643-5021		
担当教員	李 相哲 (社会学部教授)		
開講日程	2016年04月12日 (火)～2016年07月26日 (火) 2講時 11時05分～12時35分 (毎週火曜日) ※休講 2016/05/03 (火・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	20,000円		
会場	瀬田学舎		
授業定員		京カレッジ定員	10
試験・評価方法	平常点 20% 小レポート レポート 20% 授業中に課す課題などへの取り組み 定期試験 60% 試験問題、或いはレポートで評価		
超過時の選考方法			
別途負担費用			
その他特記事項	【会場】 龍谷大学瀬田学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に記載します。 【授業時間外における予・復習等の指示】 時間毎に指示する。		

その他特記事項	【定期試験について】 本講義の定期試験は、8月2日 (火) に行われる予定です。 ご留意ください。
講義概要・到達目標	【講義概要】 マスコミのマスやコミの意味は？ジャーナリズムとは？メディアとはマスコミのこと？ これら、概念を知らずにジャーナリズムやマスメディアのことを理解することはできない。マスメディアを学ぶということは、これら基本的な概念を理解することである。さらに、知る権利とは何か、言論の自由と報道の自由はどう違うのかという、普段知っているようでも質問されると答えにくい「言葉」を理解することでもある。「ジャーナリズム論Ⅰ」では、マスメディアに関する最も基本的な概念について学びます。 【到達目標】 マスメディアとソーシャルメディアの違い、マスメディアのもつ社会的意義を理解する 【講義方法】 講義
講義スケジュール	第01回 授業の進め方について 参考文献リスト、授業内容について 第02回 基本概念の理解 (1) ジャーナリズムとは何か 第03回 基本概念の理解 (2) マスコミュニケーションとは何か 第04回 基本概念の理解 (3) マスコミとソーシャルメディア 第05回 ジャーナリズム論 (1) 新聞と近代社会 第06回 ジャーナリズム論 (2) 日本の政治と新聞 第07回 ジャーナリズム論 (3) 日本のマスメディア産業 第08回 ジャーナリズム論 (4) 言論の自由について 第09回 ジャーナリズム論 (5) 報道の自由について 第10回 ジャーナリズム論 (6) 知る権利について 第11回 ジャーナリズム論 (7) 特定秘密保護法と知る権利 第12回 メディア論 (1) 日本のテレビ 第13回 メディア論 (2) テレビと政治 第14回 ニューメディア論 マスメディアとソーシャルメディア 第15回 試験 レポート、もしくは筆答試験で評価
教科書	李相哲・小黒純 (他) 『超入門ジャーナリズム』 (晃洋書房) 2,100円 (ISBN:978-4-7710-2161-7)
参考書	講義時にプリントを配付する。

H135 メディア文化論A (ジャーナリズムの課題と可能性)

科目等履修生

英文科目名	Media and Culture A		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 電話 075-645-7891 FAX 075-643-5021		
担当教員	八幡 耕一		
開講日程	2016年04月14日 (木)～2016年07月28日 (木) 3講時 13時15分～14時45分 (毎週 木曜日)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	20,000円		
会場	深草学舎		
授業定員		京カレッジ定員	10
試験・評価方法	平常点 (20%) 中間試験 (30%) 定期試験 (50%)		

試験・評価方法	<p>【平常点】 各講義の理解度を把握すべく、小テストやミニ・レポートを授業内で複数回実施する。</p> <p>【中間試験】 学期半ば頃に授業内で、到達目標1～2の達成状況を確認すべく中間試験を実施する。</p> <p>【定期試験】 定期試験期間に、到達目標1～5の達成状況を確認すべく実施する。</p>
超過時の選考方法	
別途負担費用	
その他特記事項	<p>【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。</p> <p>【定期試験】 本講義の定期試験は、8月4日（木）、15時00分～16時00分の時間帯に行われる予定です。ご留意ください。</p>
講義概要・到達目標	<p>【講義概要】 ジャーナリズム (journalism) とは、「時事的な問題の報道・解説・批評など伝達する活動の総称」(大辞泉) だが、その究極の目標は「真実の追求」にある。ジャーナリズムは、中世における大量印刷技術の確立とともに成長し、権力の濫用を監視・糾弾してきた歴史を持つ。その伝統は現代のマスメディアにも受け継がれ、社会正義を実現すべく世論を喚起し、いわゆる「公共圏」なるものを形成する役割が期待されている。</p> <p>その一方、ジャーナリズムは時に権力と迎合することがあったし、テレビ放送界における視聴率至上主義の弊害なども広く認識され、現代ではネット上にマスメディア批判の言説が氾濫している。こうしたジャーナリズムの課題を理解することは、いわゆるメディア・リテラシーを鍛えると同時に、私たちが当然視する民主主義社会の重要性を再認識することにも繋がる。これが大学でジャーナリズム論を学ぶ一つの大きな意義であろう。</p> <p>本科目では、ジャーナリズムの歴史・意義などを概観した上で、「真実の追求」が健全な民主主義社会の維持・発展に重要な役割を果たすことを学ぶ。その上で、特に日本のジャーナリズム界が抱える構造的・現代的な課題に焦点を当て、歪められたジャーナリズムの現状と日本社会に忍び寄る危機的状況について講義していく。同時に、様々なメディアを活用した市民等のアマチュアによるジャーナリズムの可能性も検討していきたい。</p> <p>【到達目標】 以下の点について、具体例や根拠を示しながら他者に説明できるようになる。 1ジャーナリズムの定義、誕生と発展の歴史について 2ジャーナリズムと民主主義の関係、ジャーナリズムの現代的意義について 3職業ジャーナリズムの課題と可能性について 4市民ジャーナリズムの課題と可能性について 5日本と諸外国のジャーナリズム環境を比較したときの差異について</p>
講義スケジュール	<p>01 イントロダクション 02 ジャーナリズムとは何か、報道と何が違うのか 03 ジャーナリズムの誕生と発展 04 ジャーナリズム、知る権利、民主主義 05 ジャーナリズムの意義と可能性1 06 ジャーナリズムの意義と可能性2 07 中間試験（予定）、解説 08 現代ジャーナリズムの課題1 09 現代ジャーナリズムの課題2 10 現代ジャーナリズムの課題3 11 現代ジャーナリズムの課題4 12 ネット社会と市民ジャーナリズム1 13 ネット社会と市民ジャーナリズム2 14 ジャーナリズムの将来展望 15 総括</p>

教科書	必要に応じてレジュメ等、教員が準備した資料を配布する。
参考書	<p>福永勝也『衰退するジャーナリズム』ミネルヴァ書房 津金澤聡廣・武市英雄ほか『メディア研究とジャーナリズム 21世紀への課題』ミネルヴァ書房 鈴木秀美・山田健太編著『よくわかるメディア法』ミネルヴァ書房 伊藤守編著『よくわかるメディア・スタディーズ』ミネルヴァ書房 上杉 隆『ジャーナリズム崩壊』幻冬舎 清水 潔『騙されてたまるか 調査報道の裏側』新潮社</p> <p>※その他の参考文献については授業内で適宜紹介する。</p>

H136 財政学

科目等履修生

英文科目名	Public Finance		
大学名	龍谷大学		
連絡先	<p>教育学部 TEL 075-645-7891 FAX 075-643-5021</p>		
担当教員	只友 景士 (政策学部教授)		
開講日程	<p>2016年04月15日 (金)～2016年07月22日 (金) 2講時 10時45分～12時15分 (毎週金曜日) ※開講2016年4月29日 (金)</p>		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	20,000円		
会場	深草学舎		
授業定員	京カレッジ定員	10	
試験・評価方法	<p>定期試験 (100%) 財政学の基礎知識を習得していること</p> <p>途中に数回リアクション・ペーパーの提出を求め、それを平常点として加算することがあります。</p>		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。</p> <p>【授業時間外における予・復習等の指示】 講義に際しては、予習・復習箇所を適宜指示します。また、ケース・スタディの事例などを事前に配付しますので、事前に配付された資料は必ず読んで講義に臨んでください。</p> <p>【履修上の注意】 講義中は、ノートを必ずとりましょう。ノートは、「コーネルメソッドノート」を推奨します。ノートの取り方など講義中に適宜指示します。講義中の私語は厳禁ですが、講義中の議論には積極的に参加してください。</p> <p>【オフィスアワー】 オフィスアワーは、火曜日4講時 (15時00分から16時30分)。予約は不要です。</p>		

講義概要・到達目標	
<p>【講義概要】 パンチの効いた強力な政策の背後に必ず財政の存在があるはずで、国や地方自治体が展開する様々な政策は、国や地方自治体の財政の裏付けがあります。あらゆる政策は、財政現象の一形態であると言っても過言ではありません。財政学とは、国や地方自治体などの公共部門の経済活動(財政現象)を対象とした学問です。財政学の方法論は、経済学、政治学、社会学などの研究成果を摂取しながら発展してきました。そのため、財政学は、総合的社会科学を目指して発展してきた学問であるとも言えます。</p> <p>現代国家の財政は、租税を強制的に徴収する一方で、様々な公共財を供給しています。そうした財政活動により、私たちのくらしや社会の存立の基盤は支えられており、その動向は私たちの暮らしや社会に大きな影響を与えています。本講義では、現代の公共政策を考える上で、必須の素養である財政学的考え方を修得することを目標にします。本講義では、現代財政問題への入門的な解説から始め、公共財の理論、租税論、公債論、予算論、財政思想史など財政学の基礎を講義します。また、民主主義社会における財政とシチズンシップについても考えていきます。</p>	
<p>【到達目標】 現代の公共政策を考える上で、不可欠な財政学の基礎理論を修得することを目的とします。現代日本の財政制度や財政政策を具体例とし、現代日本の財政制度と政策への理解を深めるとともに、あわせて、グローバル化や国際的な環境問題の深刻化など財政に対応が求められている新たな役割・機能についての考察を行います。</p>	
<p>【講義方法】 指定テキストに準拠しながら、ケース・スタディも交えながら講義を進めます。</p>	
講義スケジュール	
第01回：財政学への招待 予算、国家財政、財政現象、租税国家、財政の三機能、国民負担率、公共財 第02回：現代財政と財政学の方法論 ドイツ正統派財政学、ケインズ理論、公共選択論、リベラリズム 第03回：予算と財政民主主義 予算原則、予算制度、財政民主主義、日本国憲法 第04回：経費論 生産的経費、不生産的経費、経費膨張の法則、転位効果 第05回：公共投資論 公共投資、社会資本整備、公共事業の公共性、社会的共通資本 第06回：租税論(1) 租税の根拠、租税原則、租税の公平、租税の転嫁と帰着 第07回：租税論(2) 所得税、法人税、消費税、税制改革、所得税のフラット化 第08回：公債論 公債負担論、公債管理政策 第09回：社会保障(1) 医療保険財政 社会保険、国民健康保険、国民皆保険 第10回：社会保障(2) 年金財政 国民皆年金 第11回：公企業と民営化 公企業、公企業の料金理論、民営化 第12回：日本財政論 第13回：変動為替相場制と財政金融政策 マンデル＝フレミング・モデル、中央銀行の独立性と民主主義 第14回：環境問題と財政 環境税、グリーン予算 第15回：シチズンシップと財政学 市民参加予算、財政民主主義、ユーザードモクラシー、熟議、共通善、リベラリズム、コミュニティアン	
教科書	テキスト 金澤史男『財政学』(有斐閣) 2,835円 必ず購入してください。
参考書	神野直彦『財政のしくみがわかる本』(岩波書店) 819円 スティグリッツ『スティグリッツ公共経済学(上)』(東洋経済新報社) 4,725円 スティグリッツ『スティグリッツ公共経済学(下)』(東洋経済新報社) 4,515円 山岡淳一郎『国民皆保険が危ない』(平凡社) 756円 志賀櫻『タックス・ヘブーン逃げていく税金』(岩波書店) 798円 小野善康『成熟社会の経済学』(岩波書店) 798円 井手英策『日本財政 転換の指針』(岩波書店) 840円 諸富徹『私たちはなぜ税金を納めるのか—租税の経済思想史—』(新潮社) 1,470円 講義中に適宜指示します。

H137 地域関係論		科目等履修生	
英文科目名	Interregional Relations		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 TEL075-645-7891 FAX075-643-5021		
担当教員	三谷 はるよ (社会学部講師)		
開講日程	2016年04月11日(月)～2016年07月18日(月・祝) 1講時 09時20分～10時50分(毎週月曜日) ※開講 2016/07/18(月・祝)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	20,000円		
会場	瀬田学舎		
授業定員	30	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	平常点 30% グループ活動に主体的に参加しているか。 レポート 70% 授業で学んだことを踏まえて、論理的に記述できているか。		
超過時の選考方法			
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【会場】 龍谷大学瀬田学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に記載します。</p> <p>【授業時間外における予・復習等の指示】 議論を活性化させるため、事前課題を出すことがある。</p> <p>【履修上の注意・担当者からの一言】 受け身で講義を受けるのではなく、他の受講生と議論することを通して自らの考えを深め、表現する力を身につけましょう。</p> <p>【教員との連絡方法】 授業中に示したメールアドレスに連絡すること。</p>		
講義概要・到達目標			
<p>【講義概要】 近年、日本では”無縁社会”や”社会的孤立”など、人と人とのつながりが弱まり、私たちが暮らす地域社会が変わりつつあるといわれている。では、地域社会の何が変わり、何が其の変化をもたらしたのだろうか。そして今後、私たちはどのようなコミュニティを築いていけるのだろうか。本授業では、地域社会の現状を捉えるために社会調査データの的確な読み解き方を学んでもらう。さらに、これからのコミュニティのあり方を議論し、自らの意見を他者に向かって表現することを学んでもらう。</p>			
<p>【到達目標】 地域社会の現状を正しく把握し、今後のコミュニティのあり方について自らの意見を表現する。</p>			
<p>【講義方法】 スライドを用いた講義とグループディスカッション、グループワークを組み合わせる。</p>			
講義スケジュール			
第01回 イントロダクション 第02回 地域の何が変わってきたのか? (1)～議論～ 第03回 地域の何が変わってきたのか? (2) 第04回 地域の何が変わってきたのか? (3) 第05回 何が地域を変えたのか? (1)～議論～ 第06回 何が地域を変えたのか? (2) 第07回 何が地域を変えたのか? (3) 第08回 どのようなコミュニティを築けるか (1)～議論～			

第09回	どのようなコミュニティを築けるか (2)
第10回	事例紹介 (1) ～議論～
第11回	事例紹介 (2) ～議論～
第12回	事例研究 (1) ～グループワーク～
第13回	事例研究 (2) ～グループ発表～
第14回	事例研究 (3) ～グループ発表～
第15回	総括
教科書	
参考書	授業中に適宜指示する。

講義スケジュール	
1回目 「ガイダンス」 野村証券の予定に合わせるため、第2回目以降の講義については、第1回目の講義時に案内します。	
教科書	特になし
参考書	野村証券投資情報部『証券投資の基礎』(丸善株式会社) 1,500円、氏家純一『日本の資本市場 (JapaneseFinancialMarkets)』(東洋経済新報社) 3,000円

H138 特別講義「証券市場とグローバル証券ビジネス」

科目等履修生

英文科目名	The securities market and Global Securities business		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教育学部 TEL075-645-7891 FAX075-643-5021		
担当教員	野村証券(株)		
開講日程	2016年04月12日(火)～2016年07月26日(火) 3講時13時15分～14時45分(毎週火曜日) ※5月3日(火)は、授業実施日ではありません。		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科20,000円		
会場	深草学舎		
授業定員	100	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	定期試験により評価します。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。 【定期試験について】 本講義の定期試験は、8月2日(火)13時30分～14時30分の時間帯に実施予定です。 (詳細は、後日確認ください。)		
講義概要・到達目標			
【講義概要】 直接金融への期待が高まる現在、資本市場に求められる役割とは何か。金融ビッグバン以降、激変する日本の資本市場の全容と投資とリスク&リターンの考え方、株式投資・債券投資・グローバル証券投資・分散投資の方法などを実務の観点から解説します。			
【到達目標】 証券・金融市場関連のテーマを中心とする講義を通じて、社会・経済の動向に関する見聞を広めると共に、今後の資産形成・起業の際に必要な知識を習得する。			
【講義方法】 講義は現役の野村グループ社員が担当するオムニバス形式で行われる。実際のビジネスシーンや、その時々タイムリーな話題についても解説し、みなさんにとって充実したものにしていきたい。			
【履修上の注意・担当者からの一言】 金融資本市場・経済に関するトピックを取り上げる機会が多いので、日経新聞等の経済情報に日頃から目を通しておくことが望ましい。また、オムニバス形式の講義であるため、出席して聴講することが重要です。			

H140 空間エンタテインメント概論/W1

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Location Based Entertainment		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】 TEL : 075-466-3350		
担当教員	菅野 聡之		
開講日程	2016年9月5日(月)～2016年9月9日(金) 2～4時限 : 10 : 40～16 : 10 <教室案内> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf		
単位数	2	開講区分	夏期集中
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生 : 63,000円 ・聴講生 : 37,600円		
会場	衣笠キャンパス		
授業定員	80	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	【平常点評価】 100% 1授業への参加度、学習意欲を評価する(出席、質問、コメント) : 50% 2グループでの企画立案への取り組みと発表内容(プレゼンテーション)を評価する : 50%		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。 【諸手続】 (単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html		
講義概要・到達目標			
【授業の概要】 エンタテインメントを成立する場所ごとに分けると1ロケーション・ベースド・エンタテインメント、2ホーム・エンタテインメント、3モバイル・エンタテインメントの3つに分類される。この授業ではテーマパークやシネマコンプレックス、アミューズメント施設、観光集客施設、テーマレストランなど、街に存在し空間に人を集めて成立する「ロケーション・ベースド・エンタテインメント」、いわゆる『空間エンタテインメント』を主題として取り上げる。授業内容は「空間エンタテイン			

メント」分野の概観から今後の動向までを、かつてオリエンタルランド及びセガに在籍、シネコン運営会社の経営経験もあり、大手芸能プロダクション・アミューズ社の新規事業として「東京ワンピースタワー」の企画・プロデュースに携わった講師自らが参画してきた具体的なプロジェクトを題材として取り上げ、その真髄を学ぶ。さらに学生自らが、グループごとにプロジェクト事例を課題にした「空間エンタテインメント」ブランニングを、企業内での企画立案過程と同様の流れに沿って、コンセプト・企画立案からプレゼンテーションまでを主体的に参加するワークショップ形式で体験する。

【到達目標】

- 1 「空間エンタテインメント」分野の概観から、最新事情までを具体的なプロジェクト事例を通して幅広く理解する
- 2 学生自らが「ワークショップ」を通して「空間エンタテインメント」のコンセプト・企画立案からプレゼンテーションまでを経験し、社会で通用する実践的な「プロデューサー感覚」を体得する
- 3 街で体感する様々な「空間エンタテインメント」を、授業を受ける前とは異なる「プロデューサー」としての視点で見直すことができる

【授業外学習の指示】

- 1 授業前に既存のエンタテインメント空間や大型の商業施設を可能な限り見学や体験しておくこと
- 2 授業内で適宜指示する

【受講および研究に関するアドバイス】

- 1 テーマパークやアミューズメント施設といった「空間エンタテインメント」に興味があること
- 2 こんな「空間エンタテインメント」があったらよい、というラフなアイデアを携えて授業に臨むこと

【学生・教員間の連絡について】

メールで可能
メールアドレス：sugano@pony.ocn.ne.jp

講義スケジュール

- 1 学生グループ分け/グループ内での自己紹介等
講師自己紹介、授業の全体概要と評価基準の説明
社会で大切なこと
【キーワード】オリエンタルランド、セガ、アミューズ、仕事を選ぶこと、プロデュース力、企画をする、プレゼンテーションをする
- 2 課題のオリエンテーションと質疑応答
ワークショップ：グループ内での議論
【キーワード】施設（空間）概要及び問題点の理解、活性化目的の把握、役割分担、スケジュールの確認
- 3 ワークショップ：グループごとに課題である京都市内（予定）集客施設の実地調査
【キーワード】施設（空間）詳細及び問題点の把握、交通アクセス・来場者層の把握
- 4 講義：空間エンタテインメント概論1「エンタテインメント産業の概要」
【キーワード】エンタテインメント産業の概念・12分類・市場規模、映画産業、映画興行収入、シネマコンプレックス、アニメーション、マンガ、キャラクター、家庭用ゲーム、アミューズメント施設、宮崎駿、押井守、大友克洋、ハローキティ、ポケットモンスター
- 5 ゲスト講義：商業施設関連企業の実務担当者（予定）
【キーワード】商業施設の開発手法、企画立案の手法、最新事例紹介、今後の潮流
- 6 ワークショップ：グループごとにブレインストーミング&プランニングを実施、適宜講師によるフィードバック
【キーワード】ターゲット層の分析（誰に）、企画概要の立案（何を）
- 7 講義：空間エンタテインメント概論2「観光立国からの視点」
【キーワード】観光立国、訪日外国人数、地域活性化、まちづくり、ミシュランガイド、北海道、伊勢神宮、土産土法、身土不二、地産地消、カジノ、シンガポール、MICE
- 8 ゲスト講義：エンタテインメントビジネス関連企業の実務担当者（予定）
【キーワード】アイデア発想法、企画立案の手法、エンタテインメントビジネス事例紹介、今後の潮流

9 ワークショップ：グループごとにブレインストーミング&プランニングを実施、適宜講師によるフィードバック

【キーワード】企画概要の立案（何を）、展開手法の立案（どのように）

10 講義：空間エンタテインメント概論3「クールジャパンを活用する」
【キーワード】クールジャパン、ソフトパワー、ポップカルチャー、秋葉原、裏原宿、ジョセフ・ナイ、ダグラス・マッグレイ、GNC（グロス・ナショナル・クール）、フランス・ジャパンエキスポ、東京ワンピースタワー

11 テーマ：

講義：「ウォルト・ディズニー・カンパニー」

【キーワード】ディズニーシナジー、テーマパークビジネス、ディズニーランド、ウォルトディズニーワールド、エプコットセンター、東京ディズニーリゾート、上海ディズニーランド、ロイヤリティビジネス

12 ワークショップ：グループごとにプレゼンテーションの準備実施、適宜講師によるフィードバック

【キーワード】プレゼンテーションの表現方法（パワーポイント、OHP、模造紙、パフォーマンス等の最適組み合わせ）

13 グループごとにプレゼンテーションの実施（70分）及び講師による講評（20分）

14 グループごとにプレゼンテーションの実施（70分）及び講師による講評（20分）

15 すべてのプレゼンテーションに対する全体講評と学生との意見交換、本講義での重要ポイントの説明（復習）

【キーワード】ウォルト・ディズニーやエンタテインメント業界を代表する人たちの名言紹介

教科書	
参考書	以下の「書名」、「著者」、「出版社」を参照 ・表現のビジネス コンテンツ制作論 浜野保樹 東大出版会 ・模倣される日本 浜野保樹 祥伝社 ・クリエイティブ資本論 リチャードフロリダ ダイヤモンド社 ・「エンタメ」の夜明け ディズニーランド 馬場康夫 講談社 ・日本のポップパワー 中村伊知哉 日本経済新聞社 ・ソフトパワー ジョセフ・ナイ 日本経済新聞社 ・趣都の誕生 森川嘉一郎 幻冬舎 ・ディズニーランド物語 有島哲夫 日経ビジネス人文庫

H150 ワーク・ライフ・バランス入門

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Introduction to Work-Life Balance		
大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL：075-705-1985 FAX：075-705-1582?		
担当教員	田中 寧（経済学部）		
開講日程	2016年09月22日（木）～2017年01月19日（木） 4講時 15時00分～16時30分（毎週木曜日） ※開講 2016/09/22（木・祝） ※休講 2016/11/03（木） 2016/12/29（木） 2017/01/05（木）		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科25,000円 聴17,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	5

試験・評価方法	期末テスト85%、授業後に提示される課題15%
超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	
その他特記事項	
講義概要・到達目標	
<p>少子高齢化が進捗し様々な社会経済課題を抱える日本においては、「性や年齢にかかわらず、すべての人が能力・個性を生かしながら、仕事も生活もどちらも充実させることの出来る社会の実現」が不可欠となりつつあります。このような社会を「ワーク・ライフ・バランス(WLB)社会」と呼びますが、日本ではその実現のために2007年に「WLB憲章」が策定され、WLBがより注目されるようになりました。</p> <p>この授業は、二つのことを目的として開講されています。一つは、日本社会にWLBが浸透するには今後どのような制度作りや変革が必要なのかを検討することです。もう一つは、受講者が自分のWLBについて考え、自分自身の人生を豊かにするためのヒントをつかむことです。多くの大学生は卒業すると間もなく、人生の激動期を迎えることになります。それを乗り越えるためには、大学生のうちから、様々なライフ・ステージで起こりうることを具体的にイメージすることが大きな助けとなるはず。</p> <p>授業では、個人のライフ・ステージに沿って各人が直面する様々な課題(教育、就職、結婚、出産、育児、労働、医療、介護、定年、年金、資金運用、WLBと性など)を、それぞれの分野の専門家がリレー講義形式で扱っていきます。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WLBについてその概念や言葉が生まれた歴史的背景を理解する。 ・各ライフ・ステージにおけるWLBの現状を理解する。 ・日本におけるWLBの政策や制度を理解するとともにその限界について知り、課題解決を検討する。 ・自分自身の今後のWLBについて具体的に考えたり、見通したりする。 	
講義スケジュール	
<p>第1回目 「ワーク・ライフ・バランス(WLB)とは何か?」(担当:藤野)</p> <p>WLBの定義や概念について歴史的な観点・国際比較(日本・アメリカ・イギリス・フランス)の観点から学ぶ。最新のWLBの考え方についても触れる。</p> <p>第2回目 若年期Ⅰ:「教育から就職へのスムーズな移行のために」(担当:田中)</p> <p>教育と将来の賃金を結びつけるのが人的資本論という考え方だが、大学教育を例にとってその経済効果を検証する。最近話題になっているインターンシップについても紹介する。</p> <p>第3回目 若年期Ⅱ:「職場における自分の価値は?」(担当:田中)</p> <p>賃金は自分の生産性を反映する。つまり、一般的に賃金が高いのは職場で自分が高い評価を受けていることを意味する。それでは、男女の賃金格差はどのように生まれるのだろうか。</p> <p>第4回 結婚(カップル)・出産期:「カップルの形成や出産の時期」(担当:藤野)</p> <p>日本の晩婚化・未婚化の要因や避妊・妊娠・不妊等、カップルのセクシュアリティにおける日本の問題を考察し、WLBとの関連の中で今後の課題を検討する。</p> <p>第5回 子育て期:「育児と仕事をどうやって両立するのか?」(担当:藤野)</p> <p>仕事と子育ての両立をめぐる日本の現状や社会システム(育児休業制度・保育)を考察し、WLBとの関連の中で今後の課題を検討する。</p> <p>第6回:若年期~壮年期Ⅰ:「長時間労働について考える」(担当:上村)</p> <p>わが国の労働時間は減少傾向にあるものの、依然、先進国中では上位となっている。なぜ長時間労働が発生するのか、何が問題点なのか、どう解決できるのかを考える。</p> <p>第7回:若年期~壮年期Ⅱ:「失職、転職とどう向き合っていくか」(担当:上村)</p> <p>失職や転職は、勤労収入の変化にとどまらず、生活に様々な影響をもたらす。失職、転職はなぜ発生するのか、それらとどう向き合えばよいのかを考察する。</p> <p>第8回目 中高年期:「医療:病気になった時にどのような医療サービスが受けられるのか?」(担当:花村)</p>	

<p>公的医療保険の保険給付内容や医療サービスの提供体制を取り上げ、医療をめぐる課題と改革の方向性について考察する。</p> <p>第9回目 中高年期Ⅱ:「介護:誰が高齢者介護を担っているのか?」(担当:花村)</p> <p>公的介護保険の基礎的知識を習得し、WLBの観点から今後の課題を考察する。</p> <p>第10回 退職後の生活:「定年後の再雇用制度について」(担当:松尾)</p> <p>2013年4月に施行された改正高齢者雇用安定法により、定年(60歳)以降も働けるようになりました。60歳以降の高齢者雇用制度について解説した上で、高齢者労働の現実や働き方について考えていきます。</p> <p>第11回 退職後の生活:「公的年金制度」(担当:松尾)</p> <p>わが国の公的年金制度について解説します。わが国では、年金だけで生活できない貧しい高齢者が増えています。老後、貧困に陥らないための方策について考えます。</p> <p>第12回目 WLBとパーソナル・ファイナンス1(担当:西村)</p> <p>働き方と、利用できる公的年金を補完する年金制度(確定給付型企业年金や企業型・個人型確定拠出年金など)や退職金制度の現状について学ぶ。</p> <p>第13回目 WLBとパーソナル・ファイナンス2(担当:西村)</p> <p>老後の生活は「時間を味方に設計せよ」といわれる。リタイアメント・プランニングについて、資産運用、遺産相続、リバース・モーゲージの利用など、様々な可能性について検討する。</p> <p>第14回 男性の働き方・女性の働き方とワーク・ライフ・バランス(担当:荒山)</p> <p>ワーク・ライフ・バランスと言っても、男性と女性では、「ワーク」の実態も「バランス」の取り方も異なります。まず、データを見ながらその違いを考えて見ましょう。</p> <p>第15回 ワーク・ライフ・バランスの「経済学」(担当:荒山)+15分程度の授業総括(担当:田中)</p> <p>「経済学」という道具を使ってワーク・ライフ・バランスを扱って見ましょう。皆さんの学んでいる「経済学」が、分析力と説明力を併せ持たたいへん頼もしい学問であることを実感してもらえんと思います。</p>	
教科書	毎回の授業の資料はムードル上にアップされます。
参考書	

H151 環境ガバナンス論

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Environmental Governance		
大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL: 075-705-1985 FAX: 075-705-1582		
担当教員	焦 従勉(法学部)		
開講日程	2016年09月20日(火)~2017年01月17日(火) 3講時 13時15分~14時45分(毎週火曜日) ※休講 2016/11/08(火) 2016/12/27(火) 2017/01/03(火)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科25,000円 聴17,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	5
試験・評価方法	小テスト20%(10点満点、授業中に2回) 期末試験80%		

超過時の選考方法	書類選考
別途負担費用	
その他特記事項	【履修上の注意】 とくにないが、環境問題に関心を持っていることが望ましい。
講義概要・到達目標	
<p>【講義概要】 「環境ガバナンス」とは、環境にかんする政策課題やより良い環境管理を、狭い意味での政治や行政の世界だけでなく、企業や市民社会全体の適切な参加も必要です。すなわち、民間団体、専門家グループ、マスコミ、国際機関など、多元的で多様性を持った主体の存在とその役割を認識し、環境問題をよりよく対応するための学問分野です。本講義では、持続可能な社会の構築に向けての理論、課題および各国の事例について考察します。</p> <p>【到達目標】 環境問題の複雑性・多様性・重層性を理解し、社会を構成する多様な主体が環境問題に関する政策形成過程においての相互作用を分析することを通して、環境ガバナンスに対する理解を深めることを目指します。</p> <p>【身に付く力】 論理的思考力、問題解決力</p>	
講義スケジュール	
<p>【講義スケジュール】 第1回：講義の概要 第2回：環境ガバナンスとは何か 第3回：日本の環境問題の変遷と環境ガバナンス 第4回：市民とNPO/NGOの役割 第5回：企業と環境ガバナンス—経済活動と持続可能性 第6回：DVD鑑賞 第7回：環境ガバナンスにおける地方政府の役割 第8回：環境ガバナンスにおける中央政府の役割 第9回：地球環境ガバナンス 第10回：環境NGOの活動と課題（ゲストスピーカー） 第11回：日本の環境ガバナンス事例 第12回：中国の環境ガバナンス事例（1） 第13回：中国の環境ガバナンス事例（2） 第14回：地球温暖化問題をめぐる国際交渉の歴史 第15回：講義のまとめ</p> <p>【準備学習等（事前・事後学習）】 授業の3日間前までに、講義のパワーポイント資料と参考資料をMOODLEにアップしますので、必ず事前予習と事後学習すること。また、参加型の講義形式をとりますので、積極的に発言、質問することが望ましい。</p>	
教科書	
参考書	<p>松下和夫『環境ガバナンス 市民・企業・自治体・政府の役割』岩波書店、2002年 松下和夫『環境ガバナンス論』京都大学学術出版会、2007年 星野智『環境政治とガバナンス』中央大学出版部、2009年 長峯純一『比較環境ガバナンス 政策形成と制度改革の方向性』ミネルヴァ書房、2011年 植田和弘『環境経済学』岩波書店、1996年 新澤秀則『温暖化防止のガバナンス』ミネルヴァ書房、2010年</p>

H152 警察政策論

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Study of security science
大学名	京都産業大学
連絡先	教学センター TEL：075-705-1985 FAX：075-705-1582

担当教員	浦中 千佳央（法学部）		
開講日程	2016年09月26日（月）～2017年01月23日（月） 4講時 15時00分～16時30分（毎週月曜日） ※月曜振替1回 2016/11/08（火） ※休講 2016/10/10（月・祝） 2016/11/07（月） 2017/01/02（月） 2017/01/09（月・祝）		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科25,000円 聴17,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	京カレッジ定員 5		
試験・評価方法	第1回講義時に詳しく説明するが、100%テストである。なお、採点時に出席率を考慮する場合がある。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	【履修上の注意】 指定教科書がないので、しっかり自分たちで勉強する事。		
講義概要・到達目標			
<p>【講義概要】 実証的な取り組みを例に挙げつつ、地域における治安上の安心・安全をいかに実現するかという地域政策の観点、および、テロ対策のような国際的な治安上の安心・安全をいかに実現するかという、国際政策の両面から講義する。</p> <p>【到達目標】 国家、社会、警察、個人がそれぞれ取り組むべき課題を理解する。</p>			
講義スケジュール			
<p>【講義スケジュール】 第1回 オリエンテーション 第2回～8回 1) 公共政策・公共治安政策、2) 地域警察、コミュニティ・ポリシング 第9～11回 国際協力体制 1) 国際テロ対策、2) 国際捜査協力機構：インターポール、ユーロポール 第12～13回 集団警備・秩序維持の概念 第14～15回 国際比較警察組織論（アメリカ、フランス、スペイン）</p> <p>【準備学習等（事前・事後学習）】 参考図書： 小野正博『警察政策論』（立花書房、2007年） 小宮信夫『NPOによるセミフォーマルな犯罪統制 ボランティア・コミュニティ・コモンズ』（立花書房、2001年）</p>			
教科書		参考書	

H153 国際取引法Ⅲ（英米）

科目等履修生/聴講生

英文科目名	International Transactions 3 (Anglo-American Law)
大学名	京都産業大学
連絡先	教学センター TEL：075-705-1985 FAX：075-705-1582
担当教員	キャンデル キャリン ポーラー（法学部）
開講日程	2016年09月20日（火）～2017年01月20日（金） 3講時 13時15分～14時45分（毎週火・金曜日） ※火曜日と金曜日の両方に出席してください。 ※開講 2016/12/23（金・祝） ※休講 2016/11/04（金） 2016/11/08（火）

開講日程	2016/12/27 (火) 2016/12/30 (金) 2017/01/03 (火) 2017/01/06 (金)		
単位数	4	開講区分	後期・秋学期
受講料	科 50,000円 聴 34,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	72	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	Students will be graded mainly on the basis of midterm and final examinations (75%) , but also based on class participation, preparation, effort and attitude (25%) .		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>Special notes, cautions *** THIS CLASS WILL BE CONDUCTED IN ENGLISH USING A CLASS PARTICIPATION METHOD. ***</p> <p>Because the class will be taught in English, it is recommended only for students with good English skills and who are willing to study very hard. Perfect English ability is not necessary because the class will be taught at a slow pace; however, the lower a student's English ability the harder he or she will have to work. Students will be provided in advance with materials so they can prepare for each class.</p> <p>Because this class emphasizes class participation, ATTENDANCE IS ESSENTIAL AND REQUIRED.</p> <p>Fourth-year students may be excused from a limited number of classes during the job-hunting period; however, all students who are excused from class for that or any other valid reason are required to obtain copies of any distributed materials and to learn the topic (s) we have studied in class on their own.</p>		
講義概要・到達目標			
Course outline	The aim of this course is to provide an introduction to international business transactions while giving students a good opportunity to practice and improve their English. The subject is studied from the practical viewpoint of an American lawyer.		
Expected outcome	Provided that a student studies very hard, i.e., prepares for and regularly attends and actively participates in the classes and does assignments, the student should be able to gain knowledge about international business transactions and law and improve English skills as well as gain other skills such as those mentioned below.		
Special abilities to be attained	Provided that a student studies very hard, i.e., prepares for and regularly attends and actively participates in the classes and does assignments, the student should be able to acquire or improve skills including, but not limited to, logical thinking and analysis, issue recognition, practical and creative thinking and decision-making, comparative thinking and analysis, discipline, ability to work diligently and independently, ability to communicate ideas to others, English language ability (such as reading and listening comprehension, speaking and writing skills and increased vocabulary) , ability to do basic Internet research in English and ability to use tools for lifelong learning.		

講義スケジュール	
Course description/plan We will examine important matters which must be considered in international business transactions. We will study the "actors" involved and major issues to be considered in international transactions.	
Common types of international transactions and related contractual provisions will be discussed, and sample contracts may be examined. Some basic principles of American law affecting international business transactions will also be studied.	
Week 1 (2 classes) - Introduction to the class; advice to students; basic international business concepts and vocabulary	
Week 2 (2 classes) - Basic international business concepts and vocabulary (continued)	
Week 3 (2 classes) - American law/legal systems considerations; basic concepts and vocabulary re corporations	
Week 4 (2 classes) - "Actors" in international business	
Week 5 (2 classes) - "Actors" in international business (continued); legal authorities and jurisdiction	
Week 6 (2 classes) - Special problems and issues that can arise in international business	
Week 7 (2 classes) - Major types of international business activities and agreements - Overview	
Week 8 (2 classes) - Major types of international business activities and agreements - Trade	
Week 9 (2 classes) - Major types of international business activities and agreements - Licensing, Investment	
Week 10 (2 classes) - Midterm exam review; cultural and due diligence considerations in international business	
Week 11 (2 classes) - L/Cs and other payment methods; INCOTERMS; C.I.S.G. versus U.C.C.	
Week 12 (2 classes) - General clauses in international agreements; arbitration	
Week 13 (2 classes) - One-time basic sales agreements	
Week 14 (2 classes) - Contractual perspectives of parties; long-term international sales agreements	
Week 15 (2 classes) - International agency, distributorship, licensing and joint venture agreements	
(Note - The above schedule is an example for general guidance purposes only and the exact schedule and topics may differ based on the students' prior knowledge, interests, English levels, etc. or as necessary. Students will be informed of the homework assignment and the exact topics to be studied in the following class in each class.)	
Preparation and assignments PREPARATION FOR EACH CLASS IS ESSENTIAL. Students are expected to study the assigned materials and look up all new vocabulary in a dictionary before class. In addition, students are expected to do all other homework assignments, e.g., Internet research questions.	
教科書	Materials will be distributed in class. Students may occasionally be given assignments to do research and obtain additional materials.
参考書	

H155 政策規範論

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Guidelines for policy-making		
大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL: 075-705-1985 FAX: 075-705-1582		
担当教員	足立 幸男 (法学部)		
開講日程	2016年09月20日 (火) ~2017年01月17日 (火) 3講時 13時15分~14時45分 (毎週火曜日) ※休講 2016/11/08 (火) 2016/12/27 (火) 2017/01/03 (火)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科25,000円 聴17,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	5
試験・評価方法	講義内容をどの程度理解しているかによって評価する (筆記試験100%)。ただし、6回以上無断欠席した受講生は試験を受けることができない。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	【履修上の注意】 日本と世界が直面する政策課題への問題意識をもって受講していただきたい。		
講義概要・到達目標			
【講義概要】 本講義では、ある特定の公共問題を「解決」するために構想されるある政策案のよしあしやよさの程度、複数の政策代替案の比較・順位付けをどのような指針 (規範) に基づいて行うべきかを、概説する。その際、政策判断・選択のための哲学的・倫理的規範よりはむしろ、現実の政策実務を導くことができるようなより具体的な指針についての検討により多くの時間を割く。			
【到達目標】 どのような基準に従って政策を構想・選択すればよいか、その基礎的知識と技法を修得していただきたい。 春学期に開講する政策分析論を既習していることが望ましい。			
【身に付く力】 政策構想・立案力。 政策選択に含まれる価値判断という作業をいかに行うべきかについての理解力。			
講義スケジュール			
【講義スケジュール】 第1回: 政策デザイン指針 (政策規範): (1) 社会計画の思想を超えて 第2回: 同上 (2) 究極の公共的価値の探究 第3回: 同上 (3) 政治の擁護 第4回: 同上 (4) 政策決定のコンテキスト 第5回~第7回: 合理的政策決定の格率 (包括的合理主義、限定合理主義、インクルメンタリズム、合理的選択) 第8回: 政策デザインのための実践的基準 (1) 有効性 第9回~第10回: 同上 (2) 費用対効果 第11回~第12回: 同上 (3) 複雑性および実行可能性の配慮 第13回~第14回: 同上 (4) 不確実性への対応 第15回: 試験及びまとめ 参加学生の問題意識に応じて内容を若干変更する場合がある。			
【準備学習等 (事前・事後学習)】 事前にテキストの関連箇所を読んでおくこと。事後に授業内容を整理してふりかえりを行なうこと。			
教科書	テキスト: 足立幸男『公共政策学とは何か』(ミネルヴァ書房)の第2章、第4章、終章。 テキストに書かれていない問題について講義する際には関係資料をmoodle上に掲載する。		

参考書

H157 被害者政策

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Policy Consideration on the Protection of Crime Victims		
大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL: 075-705-1985 FAX: 075-705-1582		
担当教員	新 恵里 (法学部)		
開講日程	2016年09月26日 (月) ~2017年01月23日 (月) 3講時 13時15分~14時45分 (毎週月曜日) ※月曜振替1回 2016/11/08 (火) ※休講 2016/10/10 (月・祝) 2016/11/07 (月) 2017/01/02 (月) 2017/01/09 (月・祝)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科 25,000円 聴 17,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	
試験・評価方法	学期末に試験を実施します。試験の成績と出席及びレポートなどの提出物を、総合評価します。定期試験 (筆記試験) 80%, 授業で課すレポート等の提出物20%。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	履修上の注意 数回、授業中に小レポートの提出を求めることがあります。私語、携帯電話、他の受講生に迷惑となる行為は禁止します。 各講はそれぞれにつながりがあります。欠かさず出席をすること。		
講義概要・到達目標			
講義概要 被害者を対象とする被害者学 (victimology) は、20世紀半ばから登場した比較的新しい学問である。犯罪の現象を分析する犯罪学から分化して誕生した被害者学の流れとは別に、欧米諸国では、1960年代から被害者への救済や支援政策が整備されてきた。わが国においても、近年、立法化等により進められてきているものの、そのような先進国に比して、20年は遅れているといわれている。本講義では、主に犯罪被害者への施策、支援政策について、欧米と比較し、具体的な事例を示しながら、わが国の犯罪被害者政策の現状と課題について考えていきたい。近年、刑事訴訟法の被害者参加制度が始まり、また裁判員制度の導入など、司法における犯罪被害者の問題も、まさに大きな節目にきている。これらの状況についても現在進行形で解説を加えたい。本講義のなかでは、テーマに応じて、随時、警察関係者、市町村職員、矯正機関 (刑務所など) 職員、民間被害者支援スタッフなどのゲストスピーカーによる、被害者のおかれた現状や、政策の問題点等について実際に語っていただく講を予定している。なお、本講義では、犯罪被害者における諸問題について、具体的な支援政策に関する解説を中心に行うが、被害者学の理論、歴史、立法、その改正に関する解説については、「被害者学」で解説するので、関心のある学生は、そちらの受講も検討されたい。			
身に付く力 課題発見力, 論理的分析力, 総合的判断力			
講義スケジュール			
講義スケジュール 本年度は、以下のテーマのなかから、被害者への政策論を中心に講義を行う。近年変化の多い、新法などの解説も加える予定である。			

1. 犯罪被害者政策の国際的な流れ
2. わが国における犯罪被害者政策
3. 犯罪被害者への経済的救済政策と今後の方向性
4. 海外の被害者支援、政策－欧米の状況を中心に
5. 民間団体による犯罪被害者支援の状況
6. 犯罪被害者等基本法と犯罪被害者等基本計画について
7. 刑事司法手続きにおける犯罪被害者の保護
8. 刑事司法手続きにおける被害者参加
9. 裁判員制度と犯罪被害者
10. 交通事件の被害者と支援政策の課題
11. 犯罪被害者遺族への支援政策と課題
12. 犯罪被害者の心理と支援政策の課題 (1)
13. 犯罪被害者の心理と支援政策の課題 (2)
14. 各機関・団体の被害者支援政策－警察の被害者支援、検察庁の支援、弁護士会の取り組み
15. 矯正機関における犯罪被害者支援政策の現状と課題

準備学習等 (事前・事後学習)

授業で推奨された図書をあらかじめ読んでおくことが望ましい。また、授業の前後に、新聞、雑誌等で扱われている犯罪被害者に関する記事等にも留意して読んでおくこと。

教科書	新恵里『犯罪被害者支援－アメリカ最前線の支援システム』(径書房, 2000) 本体2,500円
参考書	河原理子『犯罪被害者－いま人権を考える』(平凡社新書, 1999) 693円 土師守『淳』(新潮社, 2002) 460円 参照URL: 全米被害者援助機構 (NOVA) - (英文) (http://www.trynova.org/) 警察庁犯罪被害者対策室 (http://www.npa.go.jp/higaisya/home.htm) 検察庁－犯罪被害者の方々へ (http://www.moj.go.jp/KEIJI/keiji11.html) 日本弁護士連合会－犯罪被害者支援委員会 (http://www.nichibenren.or.jp/jp/katsudo/katsudo/jinken/higaishashien.html) 内閣府－犯罪被害者等施策 (http://www8.cao.go.jp/hanzai/)

アパレル製品のもつ諸特性の中でも特に基本となる繊維素材と色彩について詳しく解説するとともに、アパレルや色彩に関する心理的效果や流行現象等についても言及する。

講義スケジュール	
第01回アパレルの色彩 (1) 表色系	第02回アパレルの色彩 (2) 色の知覚的效果
第03回アパレルの色彩 (3) 色彩調和と配色	第04回アパレルの色彩 (4) 色彩嗜好
第05回アパレルの色彩 (5) パーソナルカラー	第06回アパレルの素材 (1) 天然繊維
第07回アパレルの素材 (2) 化学繊維	第08回アパレルの素材 (3) 糸
第09回アパレルの素材 (4) 布: 織物	第10回アパレルの素材 (5) 布: 編物
第11回アパレルの流行と心理 (1)	第12回アパレルの流行と心理 (2)
第13回アパレルの流行と心理 (3)	第14回アパレルの流行と心理 (4)
第15回アパレルの流行と心理 (5)	
教科書	使用しない
参考書	『わかりやすいアパレル素材の知識』一見輝彦 (ファッション教育社)、『色彩のデザイン (色彩科学選書2)』松田豊 (朝倉書店)、『カラーコーディネーターのための配色入門』川崎秀昭 (日本色研事業)、『カラーコーディネーターのための色彩心理入門』近江源太郎 (日本色研事業)、『装いの心理』小林茂雄 (アイケイコーポレーション)

H 現代社会を学ぶ

H159 アパレル流行論

科目等履修生

英文科目名	Theory of Apparel Fashion		
大学名	京都文教大学		
連絡先	教務課 TEL 0774-25-2426 FAX 0774-25-2498		
担当教員	河本 直樹 (総合社会学部総合社会学科教授)		
開講日程	2016年09月23日 (金)～2017年01月20日 (金) 3講時 13時00分～14時30分 (毎週金曜日) ※休講: 2016年11月04日 (金)、2016年12月30日 (金)、2017年01月06日 (金) ※開講: 2016年12月23日 (金・祝)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科50,000円 (登10,000円 履40,000円)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	200	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	学期末試験 (筆記) 80%、授業中に実施する小テスト等20%		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			

H160 観光ビジネス論

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Tourism Business		
大学名	京都文教大学		
連絡先	教務課 TEL 0774-25-2426 FAX 0774-25-2498		
担当教員	片山 明久 (京都文教大学総合社会学部准教授)		
開講日程	2016年09月29日 (木)～2017年01月19日 (木) 3講時 13時00分～14時30分 (毎週木曜日) ※休講: 2016年12月29日 (木)、2017年1月5日 (木) ※開講: 2016年11月03日 (木・祝)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科50,000円 (登10,000円 履40,000円)		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	80	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	学期末試験: 30% 課題に対するレポートを提出してもらいます。レポートでは、課題に対する調査報告と共に、考察において自分の意見とその根拠が論理的に述べられていることを重視します。 学期中の試験: 30% 課題型論述における、記述の内容を評価対象とします。 平常点評価: 40% 毎回のコメントカードにおける質問や意見の積極性等を評価対象とします。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	無し		

その他特記事項	観光に関わる仕事の面白さは、何によりもそれが人と関わる仕事あること、人の喜びがダイレクトに感じられる仕事であることに尽きます。観光がビジネスとしてどのように成長してゆくかということも大事なことですが、観光がどのように人の役に立つのか、どのように人を精神的に豊かにするのか、観光ビジネスは其中でどのような役割を担えるのか。こんな視点からも観光ビジネスを見てみたいと思います。将来、観光ビジネス関係や余暇・レジャー関係の仕事に就きたい人に役に立つ講義です。
講義概要・到達目標	
<p>・講義概要</p> <p>本講義では、まず日本の観光ビジネスの概要をつかみ、様々な観光ビジネスの業務内容を概観します。その上で旅行会社の業務を、経営戦略、個人旅行、団体旅行、会員型旅行、商品企画に分けて詳しく理解してゆきます。これらの学びを深耕するために、業界からゲストスピーカーを招き、小講義並びに討議を行います。また観光ビジネスにおいて必要となる観光マーケティングについても学習します。最後に、今日の観光ビジネスの課題に対して課題型論述を行い、それを基に討議を行います。</p> <p>・到達目標</p> <p>1観光ビジネスに関する基礎的な知識が習得できます。 2今日の観光ビジネスにおける課題を理解し、それに対して考える力を身につけることができます。この力は将来的に観光ビジネス業界への就職を希望する人にとっては、必要となる力です。 3ゲストスピーカーとの討議や課題型論述の学びを経て、課題に対して自らの意見を深め、記述・発表する能力を向上させることができます。</p>	
講義スケジュール	
<ol style="list-style-type: none"> ガイダンス～観光ビジネスの紹介 様々な観光ビジネス1 ー航空業 様々な観光ビジネス2 ーホテル業 様々な観光ビジネス3 ー鉄道業 様々な観光ビジネス4 ー東京ディズニーリゾート 様々な観光ビジネス5 ーテーマパーク業 旅行会社を知る1 ーその経営戦略と主な業務 旅行会社を知る2 ー個人旅行 旅行会社を知る3 ー海外パッケージ商品企画 観光ビジネスの本質 事例研究：星野リゾート 事例研究：ナムコフードテーマパーク 課題型論述 課題テーマ別ワークショップ 課題テーマ別発表 ～ 授業全体のまとめ 	
教科書	使用しません。授業内で適宜資料を配布します。
参考書	高橋一夫・大津正和・吉田順一編著『1からの観光』、碩学舎、2010年

H161 観光政策論

科目等履修生

英文科目名	Tourism Policy		
大学名	京都文教大学		
連絡先	教務課 TEL 0774-25-2426 FAX 0774-25-2498		
担当教員	片山 明久 (京都文教大学総合社会学部准教授)		
開講日程	2016年09月29日(木)～2017年01月19日(木) 2講時 10時40分～12時10分(毎週木曜日) ※休講：2016年12月29日(木)、2017年01月05日(木) ※開講：2016年11月03日(木・祝)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科50,000円(登10,000円 履40,000円)		

会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	80	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	<p>学期末試験： 30% 課題に対するレポートを提出してもらいます。レポートでは、課題に対する調査報告と共に、考察において自分の意見とその根拠が論理的に述べられていることを重視します。</p> <p>学期中の試験： 30% 課題発表における、調査・考察・発表の内容を評価対象とします。</p> <p>平常点評価： 40% 毎回のコメントカードにおける質問や意見の積極性等を評価対象とします。</p>		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	無し		
その他特記事項	<p>地域で観光振興の政策を進めれば、地域経済は潤うけれど、昔ながらの地域文化が壊れてしまう…。 このような問題が、実はまだまだ解決されていません。世の中には、このように物事を二項対立的にとらえると解決できない問題が多くあります。この講義では観光をめぐるアクターが様々な利害を越え、共に「共生」し、時には「利他的」にさえなれる可能性を、事例を基に考えてゆきたいと思います。将来観光関係の仕事に就きたい人、公務員を目指す人に役に立つ講義です。</p>		
講義概要・到達目標			
<p>・講義概要</p> <p>本講義では、まず戦後日本の観光と観光政策の歴史をたどり、観光政策の基礎的な知識を得ると共に、それらが発生した理由を理解します。次にその地域ならではの資源を活用した様々な観光政策の事例を見てゆきます。そしてそれらが持つ課題について文献を基に考えると共に、近郊の観光地へのフィールドワークを行い、今日の観光地の実情を体験します。最後に、各自が調査・考察した内容に基づく課題発表を行い、考察のまとめを行います。</p> <p>・到達目標</p> <p>1観光政策の基礎的な知識が習得できます。 2今日の観光政策・観光まちづくりの課題に対する問題意識が持てるようになります。 3自らが設定した課題の発表を通して、調査・考察・発表能力を向上させることができます。</p>			
講義スケジュール			
<ol style="list-style-type: none"> ガイダンス～戦後日本の観光・観光政策の歴史1 戦後日本の観光・観光政策の歴史2 戦後日本の観光・観光政策の歴史3 ツーリズムの変遷とその理由 地域における観光政策(観光まちづくり)の事例1 ー歴史観光 地域における観光政策(観光まちづくり)の事例2 ー温泉観光 地域における観光政策(観光まちづくり)の事例3 ーファスト風土 地域における観光政策(観光まちづくり)の事例4 ー内発的發展1 地域における観光政策(観光まちづくり)の事例5 ー内発的發展2 今日の観光政策における課題1 ー『観光の地域ブランディング』購読1 今日の観光政策における課題2 ー『観光の地域ブランディング』購読2 今日の観光政策における課題3 ー『観光の地域ブランディング』購読3 近郊の観光現場へのフィールドワーク 課題発表1 ーまちづくりの理念をつかむ 課題発表2 ーまちづくりの理念をつかむ 			
教科書	使用しません。授業内で適宜資料を配布します。		
参考書	敷田麻美・内田純一・森重昌之編著『観光の地域ブランディング』、2009、学芸出版社		

H162 企業分析2

聴講生

英文科目名	Business Analysis in Japan 2		
大学名	同志社大学		
連絡先	今出川キャンパス教務センター（経済学部・経済学研究科） TEL 075-251-3521 FAX 075-251-3064		
担当教員	八木 匡（経済学部教授）		
開講日程	2016年10月07日（金）～2017年01月20日（金） 5講時 16時40分～18時10分（毎週金曜日） ※休日授業日 2016年12月23日（金・祝）		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	聴22,000円		
会場	今出川校地		
授業定員	京カレッジ定員	30	
試験・評価方法	・期末レポート試験・論文 50% 授業の理解ができていのか。また、独自に授業内容を展開できているのかを確認。 ・出席点 50% C-Learningシステムにより皆さんよりコメントと質問をいただき、リアルタイムで表示します。このシステムにより、出席確認も同時に行われます。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			

講義概要・到達目標

<講義概要>

日本企業の収益力が、欧米企業に比較すると低い、大雑把に括ると「約半分」であることは、よく知られた事実です。この事実は、ここ数年の短期に限ったことではなく、バブル崩壊後の四分の一世紀のことでもなく、もっと長期にわたり、脈々と続いている事実です。

企業が事業活動により産み出す「付加価値」のうち、勤労者への賃金、借入金の金利、租税、賃借料など企業の外部に流出する付加価値を控除した後に、企業に残る付加価値が小さいというわけです。

この収益力を計るものさしとしてしばしば採用される指標にROE（Return on Equity）があります。投資家が当該企業に長期にわたり投資してきた結果として、BS上に計上されている「株主資本（Equity）」が事業に使用されることにより、どれだけ収益（Return）をもたらすか、という、投資家から見た指標です。

2014年8月、METIが組織する研究会「『持続的成長への競争力とインセンティブ～企業と投資家の望ましい関係構築～』プロジェクト」は、「持続的成長への競争力とインセンティブ～企業と投資家の望ましい関係構築～（通称：伊藤レポート）」を公表しました。その目的は次のとおりです。

「マクロで見た経済状況が改善する中、日本経済を継続的な成長軌道に乗せていくためには、ミクロの企業レベルでの競争力を強化し、その収益力（稼ぐ力）を高めていくことが急務である。さらに長期的に見て重要な課題は、日本経済が本格的な人口減少社会に直面する中で、国富を維持・形成することである。そのためには、企業が「稼ぐ力」を高め、持続的に価値を生み出し続けることと併せて、長期的な投資からリターンを得られる仕組み、すなわち経済の「インベストメント・チェーン」の全体最適化を図っていく必要がある。これを妨げるインセンティブ構造があれば、それを改善し、より良い均衡に向かっていくような仕組みに転換していかなければならない。」（<http://www.meti.go.jp/press/2014/08/20140806002/20140806002-3.pdf> から引用）

アベノミクス「日本再興戦略」の立場から言えば、「第三の矢」にあたる「企業活動」に関し、「過小投資」の歪みを是正し、「民間投資（設備・R&D）の拡大」に繋げていくための前提として、「投資に対する収益性をいかに高めるか」という課題解決に向かっての回答案の一つといえると思います。実は、この課題は「収益性の高い事業を誰よりも早く見つけて投資すること」、その逆は「収益性が今後低くなると見込まれる事業から早く撤退（廃業、売却）して、投下資金を回収すること」が本質です。つまり「少数の目利きの存在」と「経営資源の流動性」。

伊藤レポートでは、世界で最もイノベティブな国の一つであると見られている日本（企業）が「持続的低収益性」であるのはパラドックスである、との見立ての下に、企業（経営者）と投資家との対話を活発にして、つまり率直に言えば、投資家の収益性向上の要求を経営者が採り入れて、ROE8%以上を達成すべきと、提言しています。そこで、秋学期特別講義「企業分析2」テーマ

「日本企業の収益力を高めるには ～ROE向上を考える～」と決めました。

この講義では、12名の講師が、自らの経験をベースにして、理論よりも実務の立場から、企業経営のあり方を論じていく、オムニバス講義です。

この講義では、講師と学生との相互交流を重視しています。講師が一方的に学生に対して知識を教授する、という方法を避けたいと思っています。そのために、

(1) 開講時に、基本資料として「伊藤レポート」を批判的に読むことを求めます。レポートは、<http://www.meti.go.jp/press/2014/08/20140806002/20140806002-2.pdf> から、各自、ダウンロードして入手してください。伊藤レポートを読んで、各自が確実に問題意識を持つために、すなわち、このレポートの内容把握、レポートの問題点、この問題に対する「開講時点での」意見、何度読んでも理解できない点、その後の講義でぜひ知りたい点などをまとめて、箇条書きの形式にして、ワード標準（10.5p）A4判2枚以上で、八木に電子メールで提出してください。

提出先：tyagi@mail.doshisha.ac.jp

提出期限：10月8日。期限までに、このレポート提出がないときには、この講義の聴講意思がないものとみなします。

(2) この「企業分析2」では、講義の一部または全部を英語で行うことがあります。

(3) 原則として、各講義の1週間前、講義のレジюме（パワーポイントのコピー）を配布します。講義は、それを事前に読んできたものとして進めます。

(4) この講義では、学生諸君と講師とのコミュニケーションにより、よりよく問題を理解していくことをめざしています。一方、講義の時間は90分しかありません。そこで、上記（3）のほかに、二つの補完策を採ります。一つは、C-learningシステムにより、学生諸君から提出されたコメントに対して、講師がアフターケアとして、講義後1週間を目処に、コメント・リプライを書いて、八木のHP上に公表します。学生諸君は、それを見て、さらに理解を深めることができるはずです。

(5) 二つ目は、講師に余裕がある場合には、講義の終了後も教室に残りますから、学生諸君はできるだけ時間をつくって、ディスカッションに参加してください。一方通行になりがちの講義に比べて、ディスカッションでは参加者が考えていることを相互に知ることができるので、理解を深めることができるはずです。

(6) 第8回及び第15回は、学生諸君によるプレゼンテーションと、それにもとづくディスカッションの機会です。その1か月ほど前に、「テーマ」を提示しますので、聴講生は、全員、レポートを提出してください。その中から、優れたもの数点を選びますので、該当する学生は10分程度のプレゼンテーションを行ってください。

<到達目標>

経済理論を学んだ者、およびこれから本格的に経済を学ぼうと考えている者が、現実の経済の動きを企業戦略の視点から理解し、より深く経済学を理解できる能力を養成する。また、英語で経済・ビジネスに関する議論ができるようになるためのトレーニングを行い、グローバル経済で活躍できる能力を形成する。

講義スケジュール

- 1 (10月 7日)
八木 匡
- 2 (10月14日)「付加価値とは何か」
吉田 浄（元・日立製作所）
- 3 (10月21日)「企業財務を視る眼」
児玉 万里子（元・三國事務所）
- 4 (10月28日)「タイヤビジネスの現状と今後」
竹内 昌之（ブリヂストン）
- 5 (11月 4日)「日本の長寿企業」
竹田 忍（日本経済新聞）
- 6 (11月11日)「航空産業」
千島 良樹（元・日本航空）

- 7 (11月18日)「銀行の自己資本比率規制とROE」
里村 正治 (フィデアHD)
- 8 (11月25日)前半の講義についての討論の機会
- 9 (12月 2日)「中国企業における『収益性』基準」
斎藤 健一 (ISC)
- 10 (12月 9日)「金融から見た日本の競争力」
渡辺 博史 (国際協力銀行)
- 11 (12月16日)「海外営業の醍醐味」
石井 博規 (シーシーエス)
- 12 (12月23日)「日本の外航海運」
宮本 教子 (日本郵船)
- 13 (1月 6日)「繊維・素材産業」
深澤 徹 (東レ)
- 14 (1月13日)「電機産業に見る過当競争と収益性」
吉田 浄 (元・日立製作所)
- 15 (1月20日)後半の講義についての討論の機会

講師・講義内容は変更になる場合がある。

講義レジュメを講義日の1週間前に配布するので、事前に必ず通読のこと。できれば、関心を持った事項について、「自調自考(自ら調べ自ら考える)」を行い、論点とそれに対する自分の意見を簡単にまとめておくこと。

講義の中では携帯電話を用いた講義システム(C-Learning)を導入し、リアルタイムで学生の質問・コメントを公開します。このシステムにより講師との議論を活発に行います。講師・講義内容は変更になる場合がある。また、希望者が、講義終了後に講師との討論ができるような場を設定する予定である。

教科書	
参考書	・八木匡ホームページ (http://tyagi.doshisha.ac.jp/) C-learningコメントを掲載

場の統合が進んでいます。その結果、日本の株価・金利・為替レートは、日本の企業業績や経済動向だけでなく、諸外国の経済動向や、外国投資家の日本の経済及び政策に関する評価に強く影響されるようになっていきます。また反対に、日本の経済動向や政策が東アジアをはじめ諸外国の株価や経済指標を動かすことさえあります。本講義では証券投資の基礎知識の学習を通じて、このように複雑化する国内外の証券市場の動向を理解する眼を養います。

この講義は野村証券の講師陣によるリレー講義形式で行われます。株式・債券・投資信託・外国為替の基礎知識、投資のリスク・リターンの考え方など、投資の基礎知識(投資家の立場から見て最低限知っておくべき知識)について、実務家の視点から講義を行います。また、世界の投資家が日本経済をどういう眼で見ているか、証券会社の実務家が日本や世界の金融資本市場動向をどのように捉えているか、といった点についても紹介される予定です。

<到達目標>

学生が証券(債券・株式・投資信託)の基礎知識、ならびに、証券投資の仕組みとメリット・デメリットを理解できるようになること。

講義スケジュール

<授業計画>

- (実施回)(内容)
- 1 ガイダンス
 - 2 経済情報の捉え方
 - 3 ライフプランニングとNISA
 - 4 債券市場の役割と投資の考え方
 - 5 株式市場の役割と投資の考え方
 - 6 投資信託の役割とその仕組み
 - 7 金融資本市場の役割とその変化
 - 8 リスク・リターンとポートフォリオ分析
 - 9 外国為替相場とその変動要因
 - 10 世界の金融資本市場展望
 - 11 グローバル化する世界と資本市場の果たす役割
 - 12 投資銀行ビジネス
 - 13 住宅金融と証券化
 - 14 資本市場における投資家心理
 - 15 授業内評価(または総括)

授業計画の内容及び順序は、講師の都合により、一部変更する場合があります。

教科書	なし
参考書	野村証券投資情報部編『証券投資の基礎』(丸善, 2002) 榊原茂樹・城下賢吾・姜喜永・福田司文・岡村秀夫『入門証券論』第3版(有斐閣, 2013) 池上浩一『これからの10年で成長するリーディング業界を予測するルールー投資家目線の世界の動きを読み解く本一』(東洋経済新報社, 2014)

H165 証券ビジネス

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Security Business		
大学名	同志社大学		
連絡先	商学部・商学研究科事務室 TEL075-251-3660 FAX075-251-3068		
担当教員	五百旗頭 真吾(商学部准教授)		
開講日程	2016年10月05日(水)~2017年01月25日(水) 3講時 13時10分~14時40分(毎週水曜日)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科 79,000円(選 10,000円、登 35,000円、履 34,000円)、聴22,000円		
会場	今出川校地		
授業定員	京カレッジ定員	20	
試験・評価方法	<成績評価基準> 中間レポート 20% 講義内容を踏まえて、深く考察し、自分の言葉で記述できているか。 期末筆記試験 80% 講義内容の理解度。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
<概要>	マネーが瞬時に国境を越えて、グローバルに行き来する時代になりました。情報通信技術の飛躍的進歩の下、地球規模での金融・証券市		

H171 まちおこし論

科目等履修生

英文科目名	Principles and Practices of Community Development		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 TEL075-645-7891 FAX075-643-5021		
担当教員	三谷 はるよ(社会学部講師) 笠井 賢紀(社会学部講師) 竹山 和弘(社会学部非常勤講師)		
開講日程	2016年09月21日(水)~2017年01月11日(水) 1講時 09時20分~10時50分(毎週水曜日) ※開講2016/11/23(水・祝)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	履修料20,000円(1単位10,000円)		

会 場	瀬田学舎
授 業 定 員	30 京カレッジ定員 10
試験・評価方法	レポート 60% 期末レポート(2000字以上) その他 40% グループ発表。第14回講義時間内に実施。
超過時の選考方法	
別途負担費用	
その他特記事項	【会場】 龍谷大学瀬田学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に記載します。 【授業時間外における予・復習の指示】 各講師より、自学自習の指示が出されることがある。 【履修上の注意・担当者からの一言】 本科目はコンソーシアムの単位互換科目であり、他大学生も歓迎する。
講義概要・到達目標	
【講義概要】	本授業では、「協働」「資源」「創造性」の視点から、まちづくり（まちおこし）について学んでもらう。 担当者は、三谷はるよ（社会学部CM学科）、笠井賢紀（同左）、竹山和弘（栗東市商工観光課）の3人である。 「協働」「資源」「創造性」の3つのキーワードを軸としながら、理論編を三谷が、事例編を竹山が、ワーク・まとめ編を笠井が担当する。 3人の講師のローテーションによる体系的な学習編成によって、まちづくりの考え方や取り組みについて十分理解した上で、自分たちにとっての「まちづくり」について対話・構想を深めてもらう。
【到達目標】	まちづくりの考え方や取り組みについて理解し、今後のまちづくりについて自らの構想を人に伝えられるようになること。
【講義方法】	講義、ケーススタディ、ワークショップ、グループワークから構成される。
講義スケジュール	
第1-3回 概説	
第4-6回 イベントとまちづくり	
第7-9回 景観とまちづくり	
第10-12回 福祉とまちづくり	
第13-15回 グループワーク	
教 科 書	
参 考 書	

H172 刑事政策

科目等履修生

英文科目名	Criminal Policy
大 学 名	龍谷大学
連 絡 先	教育学部 TEL075-645-7891 FAX075-643-5021
担当教員	赤池 一将
開 講 日 程	2016年09月23日（金）～2017年01月20日（金） 4講時 15時00分～16時30分（毎週金曜日） ※11月4日（金）は大学行事のため、授業は実施しません。 ※12月23日（金）は祝日のため、授業は実施しません。 ※12月30日（金）は冬期休業のため授業は実施しません。

単 位 数	2	開 講 区 分	後期・秋学期
受 講 料	20,000円		
会 場	深草学舎		
授 業 定 員		京カレッジ定員	10
試験・評価方法	定期試験（100%） 定期試験では、科目の性格から比較的自由に資料の参照を認める。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に記載します。 【講義方法】 あくまで教員が、この分野で取上げるべき問題について、自己の検討過程を披露するという伝統的な講義方法で行う。ただ、制度等を具体的にイメージしていただくために、今年度は視聴覚教材を意識的に多用する。 毎回の講義の最後に次週の講義内容に使用する資料等の紹介と簡単な解説を問題提示という形で行い、講義外で充実した準備と自習が行えるよう配慮する。また、講義の各パートごとに比較的大部のレジュメ等を配布し、講義自体が相互的理解の下に充実した構成になるよう配慮する。 【系統的履修】 刑事法入門、刑法、刑事訴訟法、少年法の学部科目のほか、龍谷大学矯正・保護課程の運営による科目の履修および同過程が組織する刑務所および少年院の参観を勧める。 【定期試験について】 本講義の定期試験は、1月27日（金） 16時30分～17時40分の時間帯に行う予定です。 ご留意ください。		
講義概要・到達目標			
【講義概要】	講義の前提認識を共有するために、犯罪の社会的役割についての検討を行う。犯罪について語ることがその原因を語ることとして了解され、その原因の除去が可能と前提されて、対策が構成されることを自明視する支配的なパラダイムの形成過程をたどり、犯罪概念自体が、この問題に関わる人々の動的な社会的相互作用の産物であるという分析視角を提示する。		
	次に、犯罪に対抗するものとして観念されてきた刑罰の社会的役割についての検討を行う。この講義では、ミシェル・フーコー（Michel Foucault）の『監獄の誕生』における分析を前提に、社会的相互作用の重要な柱としての自由刑とその社会内への展開を中心とする現在の刑罰制度の形成過程を分析し、その現代における役割とそこでの課題を明らかにする。		
	さらに、以上の議論を踏まえて、犯罪対策として構築される現在の刑罰政策の特徴的課題を取り上げ、これに多角的な検討を加える。		
【到達目標】	到達目標は、次の3点である 1) 犯罪対策における犯罪学的知見と刑罰論の関係を批判的に理解すること 2) 日本における行刑制度と運用の現状を理解すること 3) 日本社会における刑罰制度の特殊性を国際的視点から理解すること。		
講義スケジュール			
第1回 犯罪についての認識			
第2回 「発生」と「認知」			
第3回 犯罪をめぐる思考の変遷 犯罪の原因と自由意思-犯罪研究とは			

何であったのか-

第4回 犯罪をめぐる思考の変遷 社会構造論から社会過程論へ

第5回 犯罪研究と「真理の歴史」犯罪原因論の危機とパラダイム・シフト

第6回 犯罪研究と「真理の歴史」犯罪原因論の危機とパラダイム・シフト (続)

第7回 犯罪研究と「真理の歴史」犯罪研究の自明性をいかに問題化するか

第8回 刑罰とはなにか 犯罪研究と刑罰研究 (犯罪現象の二重構造と相互作用、「犯罪」=「規範違反」の無意味さ、犯罪実体の研究、犯罪対応の問題性と刑罰論)

第9回 刑罰とはなにか 犯罪研究と刑罰研究 (刑罰目的としての「一般予防」「特別予防」)

第10回 刑罰とはなにか 犯罪研究と刑罰研究 犯罪者処遇と刑罰

第11回 刑罰とはなにか 犯罪研究と刑罰研究 日本の犯罪者処遇の現状

第12回 刑罰とはなにか 犯罪研究と刑罰研究 犯罪者処遇と刑罰2

第13回 刑罰とはなにか 現代日本における理論的関心、刑罰の現代的形態、刑務所という刑罰、「刑罰=刑務所」の自明性を問いつ

第14回 刑罰とはなにか 特別講義1

第15回 刑罰とはなにか 特別講義2

教科書	講義の各パートごとに配布し、龍谷大学WEBシラバスに随時掲載する比較的大部のレジュメを基準に学習してください。
参考書	講義で用いる文献については随時紹介する。 また、上記のレジュメにおいて必要文献の指示を行う。

H173 政治思想概論

科目等履修生

英文科目名	Political Thought		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 TEL075-645-7891 FAX075-643-5021		
担当教員	清水 耕介		
開講日程	2016年09月23日(金)～2017年01月20日(金) 3講時 13時15分～14時45分(毎週金曜日) ※休講 2016/11/04(金) 学内行事により終日休講となります。		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	20,000円		
会場	深草学舎		
授業定員		京カレッジ定員	10
試験・評価方法	■小テスト×2回(100%)		
超過時の選考方法			
別途負担費用			
その他特記事項	【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。		

講義概要・到達目標	
講義概要 / Course outline	
本講義は現代の国際関係理論に登場する政治思想を説明します。本来は、ソクラテスに代表されるギリシア哲学あたりからスタートすべきなのですが、時間の都合から近代哲学の思想家を主に取り上げる予定です。この講義は2つの時代区分によって成り立っています。第一にいわゆる近代合理主義の時代(マキャベリ～マルクス)、そして第二次大戦前後から現代(E.H.カー～ポスト・コロナリズム、宮崎駿)までです。これらの議論を取り上げる中で、様々な思想家たちの考えた哲学と政治的実践の問題を中心に議論していきたいと思ひます。	
到達目標 / Attainment objectives	
これまでの政治思想を自分と社会(世界)との関係の中で理解できるようにすること。	
講義方法 / Study Method	
主として担当者による講義形式になりますが、できるだけディスカッションを取り入れていきたいと思ひます。ただし、受講者多数の場合はディスカッションが難しくなりますので、ディスカッションに参加したい方はできるだけ前の方につめて座るようにしてください。	
授業時間外における予・復習等の指示 / Direction related to study out of class	
前半は基本的に授業の復習が中心になると思ひますが、後半は考えることが重要となります。授業時間外でもしっかり考えてみてください。	
講義スケジュール	
1回目 現代において政治思想を学ぶ意味「自分探し」なんてやめてしまえ! 2回目 ホブス: 支配という正義 宗教からの解放と政治的支配への同意 3回目 ロック: 抵抗という正義 学生には不能な教員に抵抗する権利はあるのか? 4回目 カント: 主体の確立という正義 人間は縛られるからこそ自由である 5回目 マルクス: 弁証法という正義 理想は達成されるのか? 6回目 中間テスト 7回目 E.H. カー: 現実という正義 理想は実現されないからこそ理想である 8回目 京都学派: 多文化共生という正義 なぜ多文化主義は戦争を肯定したのか 9回目 グラムシ: 批判という正義 文化は支配する 10回目 フランクフルト学派: 議論という正義 教員と学生は対等に議論できるのか 11回目 アレント: 公共という正義 悪意の善行と善意の悪行 どちらが正しいのか? 12回目 ポスト構造主義1: 多様性という正義 「欲望とは他者の欲望である」とは他者の欲望である? 13回目 ポストコロナリズム: 「語る」という正義 物理的暴力、構造的暴力、文化的暴力 14回目 宮崎駿: 「語らない」という正義 トトロとポニョは抵抗する 15回目 まとめ	
教科書	特になし
参考書	特になし

H174 地方財政論

科目等履修生

英文科目名	Local Public Finance
大学名	龍谷大学
連絡先	教学部 TEL075-645-7891 FAX075-643-5021
担当教員	只友 景士(政策学部教授)

開講日程	2016年09月20日(火)～2017年01月17日(火) 3講時 13時15分～14時45分(毎週火曜日) ※休講2016年10月18日(火)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	20,000円		
会場	深草学舎		
授業定員		京カレッジ定員	10
試験・評価方法	定期試験(100%) 地方財政論の基礎知識を習得していること。 途中で数回アクション・ペーパーの提出を求め、それを平常点として加算することがあります。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。</p> <p>【授業時間外における予・復習等の指示】 適宜、教科書及び配付資料の予習・復習を指示する。</p> <p>【履修上の注意】 講義中は、ノート必ずとりましょう。ノートは、「コーネルメソッドノート」を推奨します。ノートの取り方など講義中に適宜指示します。講義中の私語は厳禁ですが、講義中の議論には積極的に参加してください。</p> <p>【定期試験について】 1月24日(火) 15:00～16:00に行われる予定です。</p> <p>【オフィスアワー】 オフィスアワーは、火曜日4講時(15時00分から16時30分)。予約は不要です。</p>		
講義概要・到達目標			
<p>【講義概要】 地方財政論は、財政学の一分野であり、地方公共団体の経済活動を対象領域としている。財政活動は国民経済の中で大きな比重を占めており、地方分権化の時代において、地方財政のあり方は私たちの生活に大きな影響を与えている。本講義では、日本の地方財政を素材に、地方財政システムを分析する理論と手法の基礎を講義する。地方分権、地方自治をキーワードに持続可能な地域社会を支える地方財政のあり方を検討していきたい。</p> <p>【講義方法】 指定教科書と配付資料を使いながら講義を進める。具体的なテーマについて、講義中のクラス内での討論も交えながら、知識と考える力の養成を進める。</p> <p>【到達目標】 我が国の地方財政制度を素材にして、地方分権・地方自治の時代に相応しい財政上の地方自治を支える地方財政制度の在るべき姿について考察することの出来るようになる。我が国の地方財政制度に関する基礎知識を習得し、公務員試験等で問われる水準の知識を身につけることができる。地方財政問題を考察することができる。</p>			
講義スケジュール			
第01回：地方財政論への招待 公共財、租税、フリーライダー、市場の失敗、共同体の失敗			
第02回：現代日本地方財政の現状 集権的分散システム、地方自治、不均等発展、地域問題			
第03回：グローバル化と地方分権 均衡論的地域経済成長モデル、グローバル国家論			
第04回：地方経費論(1) 地域共同需要、地方経費分析 地域共同需要、地方経費、公共性、目的別分類、性質別分類、公共事業偏重型財政運営			
第05回：地方経費論(2) 経費負担論、地方経費の二重性、地域共同需要の充足の社会システム 財政連邦主義、シャープ勧告、利害関係基準			

第06回：国と地方の財政関係(1) 特定補助金と一般補助金 特定補助金、一般補助金	
第07回：国と地方の財政関係(2) 国庫支出金その1 国庫負担金、国庫補助金、国庫委託金、財源統制、事務統制	
第08回：国と地方の財政関係(3) 国庫支出金その2 超過負担問題、利害関係基準、行政責任の明確化	
第09回：国と地方の財政関係(4) 地方交付税交付金 財政調整機能、財源保障機能	
第10回：国と地方の財政関係(5) 地方交付税交付金の意義と問題点 地方交付税の補助金化問題	
第11回：地方債制度と地方交付税制度 許可制、事前協議制	
第12回：地方税制度の現状と課題(1) 地方税制度、課税自主権	
第13回：地方税制度の現状と課題(2) シャープ勧告、地方自治、地方税の国際比較	
第14回：地方公営企業・第三セクターの経営財政問題	
第15回：シティズンシップと地方財政	
教科書	テキスト 重森・植田編『Basic地方財政論』(有斐閣) 必ず購入してください。
参考書	神野直彦『地域再生の経済学』(中央公論) 講義の中で適宜指示します。『Basic地方財政論』は指定テキストです。

H175 地方自治論

科目等履修生

英文科目名	Theory of Local Autonomy		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 TEL: 075-645-7891 FAX: 075-643-5021		
担当教員	京都府庁		
開講日程	2016年09月20日(火)～2017年01月20日(金) 3講時13時15分～14時45分(毎週火・金曜日) ※休講2016/10/18(火) 報恩講のため ※休講2016/11/4(金) 龍谷祭のため		
単位数	4	開講区分	後期・秋学期
受講料	科: 40,000円		
会場	深草学舎		
授業定員	100	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	・平常点:50%(出席状況)・レポート:50%(毎回、講義終了時にミニレポートを提出)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。</p>		
講義概要・到達目標			
<p>【講義概要】 経済社会が厳しく変動する中で、地方分権の進展や危機的な財政状況に対応して行財政システムの抜本的な見直し求められるなど、地方自治体をめぐる環境が、かつてない速度で変貌を遂げている。この講義では、地方行財政制度全般についてその概略を説明するとともに、各分野ごとの現在の地方自治の最先端の問題や動きについて、京都府や府内市町村の具体的な取組も交えて、実務家の視点からわかりやすく紹介していきたい。</p> <p>【到達目標】 1. 地方自治の意義と経済・社会における役割を理解する。 2. 地方自治の仕組みや現状を理解する。 3. 地方自治や地方分権改革のための政策や今後のあり方を理解する。</p>			

【講義方法】
地方分権や広域連携、行財政改革など最新の話も交えながら、地方自治制度全般について説明をした上で、京都府の経営戦略、個々の地方行政分野における課題と施策展開などについて、実例を含めて言及していく。
また、期間中に自治体トップ等による特別講義も予定。

【履修上の注意・担当者からの一言】
市町村の役場、府庁などは、住民に身近な行政機関でありながら、その仕事の内容はあまり理解されていないと思う。住民票の交付などの身近な事務から地球環境問題まで、地方行政の幅広さと奥深さを感じていただければ幸いである。講義を担当する講師は毎回異なるオンラインレクチャー方式で実施します。

講義スケジュール	
1回目	オリエンテーション等 ＜今後の講義計画等の詳細は授業開始時に説明します＞
2～30回目	京都府行政について、フェルンチャー方式で講義を実施
教科書	その都度、参考文献及び関連資料を示す。
参考書	その都度、参考文献及び関連資料を示す。

【講義方法】
講義形式で行います。講義に際して、レジュメと資料、予習・復習問題を「まなば」で配布します。

【到達目標】
地方自治の意義、自治体の政治・行政機構、主要な政策分野における自治体の政策、参加と協働に関する基礎的な知識を習得し、変化の中にある地域社会において生じる様々な問題について、“自治”の視点から考察することができる能力を身につけることを目標とします。

講義スケジュール	
第1回	地方自治の意義
第2回	少子高齢化、人口減少時代の自治体と地方分権
第3回	地方自治の政府体系～都道府県と市区町村
第4回	自治体の機構1二元代表制・議会
第5回	自治体の機構2執行機関
第6回	自治体の機構3自治体の組織
第7回	自治体公務員
第8回	自治体の財政運営
第9回	自治体の合併・連携
第10回	自治体における政策展開1福祉政策
第11回	自治体における政策展開2まちづくり
第12回	自治体における総合計画・計画行政
第13回	自治体における参加と協働1住民参加の歴史と方法
第14回	自治体における参加と協働2参加と協働の展開、自治基本条例
第15回	自治体における参加と協働3コミュニティの自治と協働
教科書	特になし
参考書	テキスト 磯崎初仁 『地方自治(第3版)』(北樹出版) 2,800円 テキスト 中川義朗 『これからの地方自治を考える』(法律文化社) 2,900円

H176 地方自治論

科目等履修生

英文科目名	Local Autonomy		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 TEL 075-645-7891 FAX 075-643-5021		
担当教員	今里 佳奈子(政策学部教授)		
開講日程	2016年09月23日(金)～2017年01月20日(金) 2講時 10時45分～12時15分(毎週金曜日) ※休講2016年11月4日(金)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	20,000円		
会場	深草学舎		
授業定員		京カレッジ定員	10
試験・評価方法	平常点(30%)、期末試験(70%)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。</p> <p>【授業時間外における予・復習等の指示】 レジュメや予習・復習問題を活用して予習・復習を行って下さい。</p> <p>【定期試験について】 1月27日(金) 12:00～13:00に行われる予定です。</p> <p>【履修上の注意】 新聞やテレビなどを見る際には、自治体でどのようなことが起こっているのか、いつも、注意してみるように心がけて下さい。</p>		
講義概要・到達目標			
【講義概要】	近年、少子高齢化、人口減少、グローバル化、地方分権など、自治体を取り巻く環境は大きく変わりつつあり、これに対応して、自治をどう構想し実現していくのかが、行政にとっても住民にとってもこれまで以上に重要になってきています。本講義は、このような自治の構想に不可欠な基本的な知識を提供し、地方自治全般について基礎的な理解を深めることを目的とします。		

H177 特別講義「資産運用の基礎と実務」

科目等履修生

英文科目名			
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 TEL 075-645-7891 FAX 075-643-5021		
担当教員	SMBC日興証券グループ		
開講日程	2016年09月23日(金)～2017年01月20日(金) 3講時 13時15分～14時45分(毎週金曜日) ※休講2016/11/4(金) 龍谷祭のため		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科20,000円		
会場	深草学舎		
授業定員	150	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	小テスト 15 不定期での理解度確認テスト、課題など レポート 25 株式ゲームへの参加状況・レポート(要提出) 定期試験 60		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。</p> <p>【定期試験について】 本講義の定期試験は、1月27日(金)、15時00分～16時00分の時間帯に行われる予定です。ご留意ください。</p>		

H178 文化人類学Ⅰ：異なる文化に生まれていたら

科目等履修生

講義概要・到達目標	
【講師】 日興リサーチセンター(株) 柳井 香織	
【講義概要】 長期にわたる超低金利や年金制度等の将来に対する不安が増す中、いまや誰にとっても、自らの手で将来の生活に備えることが不可欠となりました。単に「貯める(貯蓄)」だけでなく、貯めたお金を上手に「殖やす(投資)」ことも必要な時代を迎えています。近年は、多様な金融商品やサービスが登場するなど、個人の選択肢は大きく拡大し、より高い収益性や利便性を追求できるようになりましたが、金融取引にかかわるリスクは、私たち自身が「自己責任」で負担することが原則となり、さまざまなリスクやトラブルから自己防衛するための知識の重要性も増しています。 こうした変化に対応するため、私たちには、金融商品や取引の仕組みを理解する金融知識の習得と、各自の生活設計に合った適切な商品を選択し、取引を実践するためのスキル・判断力の向上が求められています。	
本講義では、社会人としても知っておくべき金融・経済に関する基本的理解を深めるとともに、金融投資に最低限必要な基礎知識の習得を目標とします。また、インターネットによる株式売買の仮想ゲームを行い、模擬的な投資体験を通じて、株式と実体経済との関係を学びます。	
【到達目標】 1経済と金融・証券市場の関係を理解する。 2ライフ・プランニングの基本を理解する。 3金融投資に関する知識と、それを実生活で活用する基礎的なスキルを身につける。	
【講義方法】 講義形式で、各テーマに関連する時々のニュース・話題なども紹介しながら解説します。 なお、経済や市場動向との関わりを実感していただくため、講義と並行して、株式売買ゲームを行います(約2カ月)。 履修者には全員株式ゲームに参加するとともに、レポートを作成してもらいます。	
【履修上の注意・担当者からの一言】 テーマに関連するトピックを取り上げることも多いので、日頃から、金融・経済に関する新聞記事・報道等に関心を持って下さい。 基礎的な金融知力の習得を目指したい、熱意のある学生の受講を期待します。	
講義スケジュール	
1回目 金融知力の必要性～金融リテラシーとは？ 2回目 金融・経済の基礎知識1 3回目 ライフ・プランニング 4回目 株式市場・取引のしくみ 5回目 株式投資の基礎知識1 (株式ゲーム・エントリー) 6回目 株式投資の基礎知識2 7回目 金融・経済の基礎知識2 8回目 金融取引のリターンとリスク 9回目 資産配分とリスク管理 10回目 金融商品を知る～株式1 11回目 金融商品を知る～株式2 12回目 金融商品を知る～債券 13回目 金融商品を知る～投資信託1 14回目 金融商品を知る～投資信託2、その他商品 15回目 金融消費者の保護と自己責任	
教科書	金融知力普及協会『今日から役に立つ、経済の読み方と投資の基礎』定価：1,400円 (ISBN：978-4-907341-00-8) 毎回資料を配布します。
参考書	日本経済新聞。その他、適宜教室で指示します。

英文科目名	Cultural Anthropology I		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 TEL075-645-7891 FAX075-643-5021		
担当教員	青木 恵理子(社会学部教授)		
開講日程	2016年09月20日(火)～2017年01月17日(火) 3講時 13時35分～15時05分(毎週火曜日) ※休講 2016年10月18日(火)(学内行事により終日休講となります。)		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	履修料20,000円(1単位10,000円)		
会場	瀬田学舎		
授業定員	30	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	平常点 20% 授業中の質疑応答への参加 レポート 20% 授業中の小レポート 定期試験 60%		
超過時の選考方法			
別途負担費用			
その他特記事項	【会場】 龍谷大学瀬田学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に記載します。 【定期試験について】 本講義の定期試験は、1月24日(火)に行われる予定です。 ご留意ください。 【授業時間外における予・復習の指示】 復習を必ずしてください。適宜課外の課題を出すのでやってください。 【履修上の注意・担当者から一言】 授業はライブです。皆さんの疑問に思っていることを感じていることをぶつけてください。シラバスはあくまでも目安です。皆さんのやりとりのなかでダイナミックな授業が実現できることを楽しみにしています。 分からないことがあったら、授業中いつでも質問してください。 【オフィスアワー】火曜1限 【連絡方法】 email aoki@soc.ryukoku.ac.jp		

講義概要・到達目標	
【講義概要】 もし異なる文化に生まれていたら、どんな風に暮らしていたかということ想像しながら、さまざまな社会や文化のあり方を、人の一生の流れに従って、理解していく。その過程で、同時に二つのことも学修して行く。 1自分の属している、社会的・文化的環境がどのようなものかを理解する。 2文化人類学のもの見方を学修する。 授業の終盤では、理論的な理解を深めて、私たちの暮らしている現代社会は交換・宗教・自然・身体をどのように位置づけているかを照らし出し、理論的な考察をする。	
【到達目標】 異なる文化や社会での振る舞い方や考え方を理解することにより、目からうろこが落ちる経験をして、文化や社会によって自分の振る舞いや考え方や経験がどのように作られているかを理解する。身近な出来事を、文化人類学の考え方で考察することができる。	

全く異なった振る舞いや考え方を理解するための想像力を身につける。
論理的考え方を身につける。
知的生産の基本技術（たとえば、聞いたことを適切にノートする）を身につける。

【講義方法】

講義中心。ビデオ、その他映像資料、音響資料を使う。映像資料のコメントなどを授業中に書いてもらう。人数などから判断して、可能ならば、グループ学習（グループ毎の発表、その準備、グループ間のディスカッション）を取り入れる。聞きながら理解し、まとめ、ノートを取ることができるよう講義を行う。質問の時間を取り、受講者の理解を丁寧に確かめながら授業をすすめる。

講義スケジュール

- 1回目 文化人類学Ⅰの大体のイメージをつかむ — 概要 進行の説明
- 2回目 私のフィールドワークの経験を紹介しながら、文化人類学のやり方について理解する。 — 旅 フィールドワーク
- 3回目 文化についての基本的考え方を理解する。 — 意味の網の目
- 4回目 「生まれる」ことに関する、世界各地にみられる様々な慣行や意味づけと、それについての理論的考察について理解する。 — 生まれる
- 5回目 「成長」が社会的に意味づけられていることを様々な事例から理解する。 — 子どもと成長
- 6回目 「女か男かそれ以外か」「性」といったことが社会的に意味づけられていることを様々な事例から理解し、様々な理論を理解する。 — 男か女か 性
- 7回目 様々な「恋愛」や「結婚」のしかたについて、理解する。 — 恋愛 結婚
- 8回目 近代における子どもと家族を相対化する。 — 「子どもの誕生」近代家族
- 9回目 「病気」に関する様々な慣行や意味づけについて理解し、理論的考察について理解する。 — 病む 治る
- 10回目 異文化における不運・不幸の説明の仕方や対処の仕方を理解し、自文化を理解する。 — 呪術 互助
- 11回目 世界に見られる様々な「家族関係」「親族関係」「社会関係」のあり方について、物の分け合い、贈り物の仕方、助け合いの仕方などと関係づけながら理解し、人間の社会性について考察する。 — 群れる 分けあう 助けあう 贈る
- 12回目 「若さ」と「年齢」に関する位置づけが社会によって大きく異なることを理解する。 — 若さ 年齢 老い
- 13回目 「死ぬ」ことについての振る舞いや意味づけが社会によって様々であることを理解し、人類学の宗教研究について触れる。 — 死 祖霊 宗教
- 14回目 それ以前には自然に基づくと考えられていた人種差別や性差別を、社会的に構築したものとする批判を可能にした、言語学的転回について理解する。 — 構築主義の基礎
- 15回目 まとめ

教科書	
参考書	波平恵美子編『文化人類学』（医学書院）2,100円（ISBN：9784260013178） 米山・谷 編『文化人類学を学ぶ人のために』（世界思想社）1,886円（ISBN：4790703886） 田中・中谷 編『ジェンダーで学ぶ文化人類学』（世界思想社）1,995円（ISBN：4790710963） 必要に応じその都度示す。

H602 情報処理技術

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Information Processing Technology
大学名	京都学園大学
連絡先	教育修学支援センター TEL：075-406-9114 FAX：075-406-9130
担当教員	駒田忠一（経済経営学部准教授）
開講日程	2016年04月15日（金）～2016年08月03日（水）

単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科14,000円（初回登録時に登録料として30,000円が別途必要） 聴10,000円		
会場	eラーニング		
授業定員	100	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	学習履歴状況と提出物（40%）等。e-learningにより課す課題評価（60%）		
超過時の選考方法	書類選考（志望理由）		
別途負担費用			
その他特記事項	VOD方式による完全オンライン授業 能動的な姿勢で課題に取り組むことを期待する。		
講義概要・到達目標			
<p>【講義概要】 社会人には、一定の情報に関する知識と情報技術が求められている。データの特徴に応じた情報の整理・分類、必要に応じた表・グラフの作成、さらに、業務・処理フローを把握し、改善を加え、情報処理が行える情報技術である。これら、知識・技術を習得するための講座である。</p> <p>【到達目標】 社会人として必要なコンピュータ操作が行え、機能を把握し、データから表・関係データベースを作成し、業務に活用できる。</p>			
講義スケジュール			
<p>1.講義の概要、e-learningの進め方 セキュリティ問題と対策 セキュリティと暗号技術、デジタル署名 システムの信頼性、ネットワークの接続と信頼性</p> <p>2.基本的なデータ構造 各種データ構造の特徴 線形構造と木構造、表・スタック・キュー・2分探索木 表計算 表計算を使った集計・統合処理および検索・抽出処理</p> <p>3.SQL文から見たデータベース テーブル作成からサブクエリ</p> <p>4.データベース データベースの種類と特徴 ファイル 正規化演習</p> <p>5.リレーショナルデータベース 構造と正規化、設計</p> <p>6.データベースを使ったデータ処理（1 正規化作業） データ整理、集計、分析</p> <p>7.データベースを使ったデータ処理（2 Select文の基本） データ整理、集計、分析</p> <p>8.データベースとSQL（1 データ処理演習） SQL言語による操作 問い合わせ、副問い合わせ</p> <p>9.データベースとSQL（2 流れのある処理） SQL言語による定義・生成と修正 表の設計、表・ビューの定義</p> <p>10.データベースの設計・利用 演習 SQL操作理解確認演習</p> <p>11.SQLによるデータベースの定義・利用 演習 SQL・データベースまとめ課題</p> <p>12.スクリプト（java） スクリプト記述の基本 基本処理手順のスクリプト記述</p> <p>13.スクリプトと基本アルゴリズム 接続・繰り返し・判断 イベント処理</p> <p>14.基本的なアルゴリズム 並べ替え処理と記述、関数作成・割り込み スクリプト演習：バブルソート</p> <p>15.総合演習</p>			
教科書	なし、各講義で資料をネットワークから配布する。		
参考書	教材から指示する。		

H605 消費者取引と大学生～理論と実際の対策～

科目等履修生/聴講生

英文科目名	Consumer Transaction in Student Life		
大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL : 075-705-1985 FAX : 075-705-1582		
担当教員	吉永 一行 (法学部)		
開講日程	2016年04月22日 (金) ~ 2016年07月30日 (土)		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	科 25,000円 聴 17,000円		
会場	eラーニング		
授業定員	30	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	<p>期末レポート(7月中旬締切り)100%。ただし、15回の授業で毎回提示される課題(200字程度のレポート)をすべて提出し、合格することが、期末レポート提出の条件となる。レポートの課題は、提出の1週間前に発表する。その他詳細は、LMS上で通知する。</p>		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>履修上の注意 授業ビデオの配信はVOD (Video on Demand) 方式であり、インターネット環境さえあればどこでも、自由な時間に視聴することが可能である。しかし毎回の授業には課題が付されており、これを週に1ないし2回分ずつ計画的に提出することが必要である。短期間にまとめて課題を提出することはできないので注意すること。 対面で行う授業とは異なり、学習者が学習している場所自体には教員も他の学習者もいない。このため学習者は自律して学習をしなければならない。学ぶことに対するモチベーションをもち、維持することが受講には必要である。 内容面では、本講義は悪徳商法から身を守るノウハウを教えることそれ自体を主たる目的とはしていないことに注意が必要である。「消費者保護」という切り口を用いて、我が国の私法制度の基本的な制度、価値判断、考え方を説明することを目的としているので、そうした意識で受講することが必要である。</p>		
講義概要・到達目標			
<p>講義概要 法的取引を行わないままに社会の中で生活することはできない。大学を卒業し企業に雇用された場合はもちろん、家庭生活を営むにあってもそれは当てはまる。大学生として生活を営む段階ですら、法的取引は避けて通れないのである。 本講義では、そうした社会生活における法的取引を支える諸制度の概要を、それを支える法的原理・価値判断にまでさかのぼって説明する。その際、学生にとっても他人事とは言えない悪徳商法を一つの切り口とし、自分自身が被害を避けるための適切な措置をとり、あるいは他人に助言を与えたりすることができるようになることを目標とする。</p>			
<p>授業の到達目標 本講義の到達目標は、以下の(1)及び(2)ができるようになることである。 (1) 以下のような事項について、資料を参照しながら、制度の背景にある法的価値判断にも触れながら自分の言葉で説明ができるようになること。 ・契約制度(成立要件、効力否定要件) ・民事裁判・執行の手続きの流れ ・とりわけ大学生に被害の多い消費者取引の類型とそれに対する法的な保護 (2) 授業で取り上げる悪徳商法を避けるために気をつけるべきこと、あるいは悪徳商法の被害にあった際にとるべき措置について、適切な</p>			

情報源を選択し、そこから得られた資料を参照しながら説明することができ、実際にそれを行動に移すことができること。

講義スケジュール	
<p>講義スケジュール 本科目はフルeラーニング科目である。すなわち教員による講義は全てインターネット上のLMS (Learning Management System : 学習管理システム) を通じたビデオ配信によって行われ、課題の提出やそれに対するフィードバックも全てインターネットによって行われる。 1. 授業ガイダンス 2. 架空請求とその対策 3. 契約制度—成立を中心として 4. 民事裁判・民事執行制度 5. 成立した契約の効力の否定 6. 「勘違い」と契約の効力 7. ワンクリック請求 8. 訪問販売とクーリング・オフ 9. 訪問しない「訪問販売」 10. 電話勧誘販売・通信販売 11. マルチ商法 12. 約款—その必要性と法規制 13. 適格消費者団体と団体訴訟制度 14. 消費者法としての競争法 15. まとめ</p>	
<p>準備学習等(事前・事後学習) 各回の授業には、ビデオで使用されるスライドを並べた資料が付されている。授業ビデオの視聴を始める前に資料を一読し、わからない箇所(特に注意して聞くべき箇所)を洗い出しておくこと。 さらに各回の講義には課題が付されている。「試験・評価方法」に記載の通り、成績評価は、期末レポートのみで行うが、各回の講義に付された課題をすべて提出し、合格することが、レポート提出の条件となる。また、レポートの内容は、講義に対する理解が積み重ねられているかを問うものである。この意味でも、各回の講義で出される課題にも真摯に取り組むことが必要である。 講義には専門的な法律用語が少なからず登場する。講義中にわかりやすく説明をするつもりであるが、それでもわからない点があれば、授業前又は授業後に、民法・消費者法の入門書や国民生活センターなど適切なWebサイトで調べることが必要である。さらに不明な点は、LMS上のツールを通じて積極的に質問をすることも必要である。</p>	
教科書	
参考書	

I102 ヨーロッパ地域研究

科目等履修生

英文科目名	European Studies		
大 学 名	京都文教大学		
連 絡 先	教務課 TEL 0774-25-2426 FAX 0774-25-2498		
担 当 教 員	古川 まゆみ (総合社会学部総合社会学科准教授)		
開 講 日 程	2016年04月06日 (水) ~ 2016年07月20日 (水) 4講時 14時40分~16時10分 (毎週水曜日) ※休講: 2016年05月04日 (水・祝)、2016年05月25日 (水) ※補講: 2016年5月28日 (土)		
単 位 数	2	開 講 区 分	前期・春学期
受 講 料	科50,000円 (登10,000円 履40,000円)		
会 場	科目開設校キャンパス		
授 業 定 員	80	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	2回のレポート提出		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	なし		
講義概要・到達目標			
現代北欧の民俗を、代表的な年中行事である「復活祭」、「夏至祭」、「クリスマス」を例にとり、その歴史的背景、現在の祝い方などを説明する。講義の前半は「復活祭」、「夏至祭」にあて、後半は「クリスマス」の話をする。どのトピックスもヨーロッパ全体を視野に入れた上で、その意味、歴史的起源の説明を最初に行い、そのあとで「北欧」(特にスウェーデン)の事例をとりあげる。1990年代の前半、スウェーデンの1村落で2年間、文化人類学のフィールドワークを実施したが、その時撮影した写真・スライド、新聞・雑誌の記事などを通して現代の祝い方を紹介したい。なお、私が調査を行った村落では、これら三つの年中行事の際、程度の差はあるが、民俗衣装の着用、パン焼き(薪使用のパン焼き釜使用)など伝統的な興味深い風習がよく見られたので、これについても説明を加えたい。			
講義スケジュール			
1回目	授業目的・全体スケジュール・評価方法の説明		
2回目	復活祭とは		
3回目	復活祭: キリスト教		
4回目	復活祭: 他のヨーロッパ諸地域との比較		
5回目	復活祭: 北欧・スウェーデン		
6回目	夏至祭とは		
7回目	夏至祭: 他のヨーロッパ諸地域との比較		
8回目	夏至祭: 北欧・スウェーデン		
9回目	前半のまとめ		
10回目	クリスマスとは		
11回目	クリスマス: 起源		
12回目	クリスマス: サンタクロース		
13・14回目	クリスマス: 北欧・スウェーデン		
15回目	後半のまとめ		

国際関係を学ぶ

教科書	使用しない
参考書	授業時に紹介する

I104 アメリカ地域研究A

科目等履修生/聴講生

英文科目名	American Area Studies A		
大 学 名	同志社女子大学		
連 絡 先	◆本学今出川キャンパス開講 教務課 TEL: 075-251-4127 FAX: 075-251-4277		
担 当 教 員	鈴木 健司 (学芸学部教授) 宮川 成雄 (本学嘱託講師) 湊 圭史 (表象文化学部准教授)		
開 講 日 程	2016年04月11日 (月) ~ 2016年07月25日 (月) 2講時 11時00分~12時30分 (毎週月曜日) ※開講 2016/07/18 (月・祝) ※休講 2016/05/02 (月)		
単 位 数	2	開 講 区 分	前期・春学期
受 講 料	科44,000円 (登録料24,000円・受講料20,000円)、 聴8,000円		
会 場	今出川キャンパス		
授 業 定 員	100	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	3人の担当者によって個別に出された成績を均等に用いて算出する。 各担当者の評価項目は、下記の通り。 鈴木: 毎回の授業に関するまとめ課題 (80%)、 出席及び授業への積極的参加 (20%) 宮川: レポート (100%) ただし、授業への積極的参加を加点要素として評価する。 湊: レポート (80%)、出席及び授業への積極的参加 (20%)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
本講は、アメリカを総合的に理解することを目的とする科目である。一国を理解するには、まさに人間を理解するのと同様に、多面的かつ総合的考察が要求される。とりわけアメリカ研究という学問分野は、その出発のときから、学際的研究方法が重視されている。本講では、アメリカを共通の研究対象とする各担当者が、各々の研究特色を生かし、下記の問題意識と内容で授業を行う。			
○大統領に見るアメリカ政治 (鈴木) 著名な大統領の政治スタイルを検討しつつ、アメリカ政治に流れる固有の伝統について考察する。任期2期目の最終年を迎えるオバマ大統領にも焦点を当てながら、現代に求められる大統領像がどのようなものであるかを探っていく。			
○アメリカ社会における法の役割 (宮川) アメリカ社会における法の役割を、現代の大きな法的争点であるアフターマティブ・アクション、中絶の権利、および不法移民の問題を素材にして検討する。			
○アメリカ文学に見る移民たちの経験と世界観 (湊) アメリカ文学に反映されたマイノリティとしての移民たちの様々な立場を読み取り、どのように彼らが先祖からの文化をとらえ直し、アメリカの主流文化に対して自分たちを位置づけようと試みているかを考察する。			

講義スケジュール	
各回の授業内容： 1. オリエンテーション（担当者全員） 2. 合衆国大統領とは何か（鈴木） 3. メディアが作る大統領像（鈴木） 4. 大統領選挙とアメリカ社会（鈴木） 5. ブッシュ大統領と文化戦争（鈴木） 6. オバマ大統領登場の歴史的意義（鈴木） 7. アメリカの法文化—法に頼らねばならない社会—（宮川） 8. アファーマティブ・アクション（差別解消の積極措置）は逆差別で憲法違反か（宮川） 9. 中絶を選択することは女性の憲法上の権利か（宮川） 10. 不法移民は強制送還すべきか（宮川） 11. 移民文学としてのアメリカ文学（湊） 12. アジア系移民文学の変化—エイミ・タンとジュンバ・ラヒリ（湊） 13. 日系作家—ジュリー・オーツカとルース・オゼキ（湊） 14. カリブ海系作家—ジャメイカ・キンケイド、エドウィージ・ダンティカ、ジュノ・ディアス（湊） 15. まとめ（湊）	
授業方法： 講義を中心として、授業進行の中で適宜学生に質問を投げかけ、重要点への注意喚起と学生理解の確認を行う。テーマに関する映像資料等を活用する。	
教科書	使用しない。
参考書	テーマごとの参考図書リストを、初回の授業の際に配付する。 資料の入手については、各担当者がその都度配付、または指示する。

その他特記事項	その他の特記事項：1日程、費用は変更する場合があります。2パスポートは、3ヶ月以上有効期限が残っている必要があります。3参加者数や国際情勢等により、研修をとりやめる場合がありますので、卒業単位に影響がないようにしてください。
講義概要・到達目標	
【講義概要】 教育福祉・環境保護・情報通信などの分野で世界をリードするフィンランド共和国を訪問し、主要都市を巡って歴史・文化・社会・政治・経済・建築など実地に見聞して学習します。日本でも人気の高いイッタラのガラス工房やアラビアの陶磁器工場を見学する一方、フィンランドの現代日本文化愛好イベント「DESUCON」に参加して、海外における現代日本文化の人気ぶりを実現するとともに国際交流を実践します。バルト海をはさんでフィンランドの対岸にあり、ソ連から独立して以来IT産業の躍進著しいエストニア共和国も訪問します。	
【到達目標】 (1) 21世紀型先進国のフィンランドについて実地に学ぶ (2) 美術館や操業中の工場などを訪問して北欧デザインについて見識を深める (3) 海外における現代日本文化の受容について実現する (4) 現代日本文化を介した国際コミュニケーションを実践する	
講義スケジュール	
【事前授業】 【5月28日（土）】： (1) 研修の趣旨説明と行程の確認、到達目標と提出物と評価方法の解説 (2) フィンランド史概説 (3) エストニア史概説 (4) 事前調査発表	
【事後授業】 【7月2日（土）】： (1) 全体の総括ならびに学習成果の報告会 (2) 海外研修を題材としたアルバム・スライド・ビデオなどコンピュータを用いた制作物の発表会	
教科書	指定しない。適宜プリントを配布する。
参考書	事前授業において紹介する。

I105 フィンランドセミナー

科目等履修生

英文科目名	Seminar Abroad : Finnish Society and Acceptance of Modern Japanese Culture		
大学名	花園大学		
連絡先	教務課 TEL : 075-811-5181 FAX : 075-823-2413		
担当教員	今井 隆介（本学文学部准教授）		
開講日程	2016年05月28日（土）～2016年05月28日（土） 3～5講時 12時40分～17時50分（事前授業）		
	2016年06月07日（火）～2016年06月17日（金） 1～5講時（現地研修）		
	2016年07月02日（土）～2016年07月02日（土） 3～5講時 12時40分～17時50分（事後授業）		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	20,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	20	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	事前授業に出席し、小レポートを提出する。事後授業に出席し、海外研修を題材としたアルバム・スライド・ビデオなどコンピュータを用いた制作物を提出する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	参加費用：約260,000円（一人あたりの往復航空運賃、宿泊費等を含む旅費・ただし参加者10名以上の場合・別途保険費用、燃油サーチャージ等がかかります。）		

I106 IR-DS103 Introduction to Peace Studies / RA

科目等履修生/聴講生

英文科目名	IR-DS103 Introduction to Peace Studies		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】 TEL : 075-466-3350		
担当教員	クロス 京子		
開講日程	2016年4月11日（月）～2016年7月18日（月） <毎週月曜日> 1時限：9：00～10：30 7月18日（月・海の日）は授業日です。		
	<教室案内> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf ※休講になった場合などは、4/30（土）、5/14（土）、6/18（土）、7/2（土）、7/16（土）、7/20（水）に補講を行うことがあります。		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生：42,800円 ・聴講生：25,400円		
会場	衣笠キャンパス		

授業定員	200	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	<p>【平常点評価/ Continuous Assessment】(日常的な授業における取組状況の評価)(Evaluation of Everyday Performance in Class) 100%</p> <p>End of term research paper : 30%</p> <p>Oral Presentations : 30%</p> <p>Participation in discussion and writing comments : 40%</p>		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。</p> <p>【諸手続】(単位互換生のみ)</p> <p>受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。</p> <p><受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html</p>		
講義概要・到達目標			
<p>【授業の概要と方法/Course Outline and Method】</p> <p>This course reviews a wide range of theories exploring the nature and causes of conflict, the possibilities for conflict resolution, and the foundations of peace.</p> <p>The course consists of three parts : the first part looks at the nature and causes of conflicts and introduces the basic field of inquiry; the second part discusses theoretical and practical approaches to prevent and resolve conflicts; the third and final part deals with discussion and proposal for ways to resolve current global issues.</p> <p>【受講生の到達目標/Student Attainment Objectives】</p> <p>1. To acquire knowledge of the theories associated with peace studies.</p> <p>2. To learn what are the major cause of conflicts.</p> <p>3. To grasp the ethical, political and social dilemmas of international policies.</p> <p>4. To form and express individual and original perspectives and opinions about ways to prevent and resolve conflicts</p> <p>【授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study】</p> <p>Students are expected to read newspapers and books on related issues outside class.</p> <p>【受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods】</p> <p>Students are expected to read assigned materials before class.</p> <p>【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class (Including Instructor Contact Information)】</p> <p>学生との直接対話 / Talk with Students</p>			
講義スケジュール			
<p>1 Orientation <キーワード>Introduction of the course and peace studies</p> <p>2 Nature and causes of conflicts 1) Between individuals : tension, friction <キーワード>cultural violence,gun violence, DV</p> <p>3 Nature and causes of conflicts 2) Between groups : civil wars, ethnic and religious violence <キーワード>greed or/and grievances nuclear weapons, nationalism</p>			

4 Nature and causes of conflicts 3) Between states : international conflicts <キーワード>nuclear weapons, nationalism
5 Theoretical and practical approaches to prevent and resolve conflicts 1) Balance of power, diplomacy <キーワード>war,alliance, anarchy
6 Theoretical and practical approaches to prevent and resolve conflicts 2) Just war theory <キーワード>humanitarian intervention, R2P
7 Theoretical and practical approaches to prevent and resolve conflicts 3) Democratic peace <キーワード>Democratic peace theory, liberal peace
8 Theoretical and practical approaches to prevent and resolve conflicts 4) Peace-making and peace-building <キーワード>UN peace operations
9 Theoretical and practical approaches to prevent and resolve conflicts 5) Development <キーワード>poverty, human development
10 Theoretical and practical approaches to prevent and resolve conflicts 6) Non-violence <キーワード>Gandhi, Martin Luther King
11 Discussion and proposal for ways to resolve current global issues 7) Grass-roots peace movement <キーワード>Liberia women's mass action for peace
12 ~ 15 Discussion and proposal for ways to resolve current global issues 1) terrorism, 2) refugees, 3) environment
教科書
以下の「書名」、「著者」、「出版社」を参照 <書名 Title>Approaches to Peace : A Reader in Peace Studies <著者 Author>David P. Barash <出版社 Publisher>Oxford University Press
参考書
<書名 Title> International Politics : Enduring Concepts and Contemporary Issues <著者 Author>Robert J Art and Robert Jervis <出版社 Publisher>Person <書名 Title>Contemporary Conflict Resolution <著者 Author> Oliver Ramsbotham, Tom Woodhouse and Hugh Miall <出版社 Publisher>Polity

I107 IR-EBR202 環境経済論 I / R

科目等履修生/聴講生

英文科目名	IR-EBR202 Environmental Economics I
大学名	立命館大学
連絡先	【教務課】 TEL : 075-466-3350
担当教員	大島 堅一

開講日程	2016年4月11日(月)～2016年7月18日(月) <毎週月曜日> 3時限：13：00～14：30 7月18日(月・海の日)は授業日です。 <教室案内> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf ※休講になった場合などは、4/30(土)、5/14(土)、6/18(土)、7/2(土)、7/16(土)、7/20(水)に補講を行うことがあります。		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生：42,800円 ・聴講生：25,400円		
会場	衣笠キャンパス		
授業定員	200	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	【平常点評価】100% 出席・コミュニケーションペーパーと講義期間中に課すレポートで評価します。また、レポートをどのように評価するのか、どうやって書いたらよいか、ということもあらかじめ説明します。まじめに取り組めばきちんと書けるようになるよう、解説します。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、 立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。 【諸手続】(単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をします。必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html		
講義概要・到達目標	<p>【授業の概要】 毎年、激しさを増す台風やゲリラ豪雨。これらは、すでに気候変動問題が現れていることを示しています。他にも、環境問題は解決するどころか、ますます複雑化、深刻化する一方です。危機はもはや避けられなくなっています。 このような現実を前に私たちはどのように環境問題に取り組めばよいのでしょうか？そもそも解決なんてできるのでしょうか。 環境問題は、言うまでもなく自然現象ではなく《経済活動》が引き起こした問題です。つまり、《経済問題》であり、人間が解決することが可能なのです。 解決するためには、なにより経済的原因を取り除いてやる必要があります。これを日々目指しているのが《環境経済学》という学問です。その意味で、環境経済学は机の上の空論ではなく、あくまで《現実》を扱います。とても《実践的な》学問です。</p> <p>本講義では、環境の政治経済学の基礎をレクチャーします。ただ、基礎といっても抽象的なものではなく、《具体的な環境問題》について解説しながら、わかりやすく基礎を学べるようにします。 扱う問題は、産業公害、大気汚染、軍事環境問題、越境汚染、公害輸出、一次産品問題、気候変動問題等、広範です。この講義に真面目に取り組めば、積極的に参加して理解すれば、現代の環境問題の全体像を理解できるようになります。</p> <p>では最後に、私たちは環境に優しい将来社会をどのように切り拓けばよいのでしょうか。これが今の社会が抱えている最大の難問です。皆さんと一緒に、次世代型の環境保全型社会をどのように形成したらよいか考えていきましょう。</p>		

【受講生の到達目標】 本講義の到達目標は、ごく簡単に書けば次の通りです。 1) 環境の政治経済学の基礎について理解を深めます。 2) 主な環境問題の原因・結果・政策を理解します。 3) 環境政策の基礎を理解し、解決策を考えられるようにします。 つまり、環境問題を政治経済学的にとらえ、政策を提示できるようになることが目標です。
【事前に履修しておくことが望まれる科目】 特にありません。 でも、環境問題や開発に関連する講義、経済学に関する講義を受講しておく、理解しやすいでしょう。(経済学の基礎知識は必須ではありません。その都度レクチャーします。)
また、新聞やテレビ(NHKスペシャルやサイエンスゼロ、クローズアップ現代など)、書籍(図書館に沢山あります)、雑誌などで、環境問題に関する感覚を研ぎ澄ませておいて頂けるととても嬉しいです。
【受講および研究に関するアドバイス】 毎回講義に出席し、積極的に参加してください。
【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】 コミュニケーションペーパー/Communication Paper manaba+R / Learning Management System (manaba+R) 学生との直接対話/Talk with Students その他 / Other
できるだけ、学生の皆さんとコミュニケーションして、ためになる授業にしたいと思います。
講義スケジュール
1 環境経済学入門 <キーワード>環境と経済の関係とは何か。
2 政治経済学のアプローチ <キーワード>環境問題を構造的に理解する
3 資本主義の変化と環境問題 <キーワード>環境問題は時代とともにどのように変化してきたのだろうか？
4 産業公害と被害補償、地域再生 <キーワード>環境問題の原点=水俣病から学ぶ
5 大気汚染と救済 <キーワード>見えにくくなっている大気汚染、その問題をどう克服するか。
6 政府の失敗と地域・環境問題 <キーワード>なぜ政府は環境問題を発生させてしまうのだろうか？
7 環境政策と民主主義 <キーワード>環境情報をどのように公開し、参加型民主主義を実現するにはどうすればよいのか？
8 軍事活動による環境問題 <キーワード>軍事活動を環境問題から分析する
9 国境を越えて広がる環境問題 <キーワード>国際的環境問題を構造的にとらえる
10 経済のグローバル化と公害輸出 <キーワード>企業活動の国際化と公害の拡大にどのように対処するか
11 国際貿易が引き起こす環境問題 <キーワード>一次産品貿易による途上国の自然資源の収奪
12 激しさを増す気候変動問題 <キーワード>科学はどこまで気候変動に迫っているのか。

13 気候変動問題をめぐる国際交渉 <キーワード>世界政府無き現在、国際交渉こそが気候変動問題を解決する	
14 気候変動に対応するための政策 <キーワード>気候変動防止にどのような政策をとることが可能なのか。	
15 次世代の環境をどうするか <キーワード>持続可能な社会に向けて続けられる国際的チャレンジとは何か。	
教科書	以下の「書名」、「著者」、「出版社」、「ISBNコード」を参照 (書名) 環境の政治経済学 (著者) 除本理史・大島堅一・上園昌武 (出版社) ミネルヴァ書房 (ISBNコード) 978-4-623-05865-5
参考書	【参考になる WWW ページ】 講義中に聞いて頂ければ、情報源は適宜提示します。 ぜひ沢山質問して下さい。

※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。
【諸手続】(単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html

講義概要・到達目標

【授業の概要と方法】
日本の民族文化について講義をします。日本人にとって、日本の文化はあまりにも当たり前で、空気のように意識しないものです。そんな日本の文化にあえて目を向けて、自分の無知を自覚しましょう！とくに柳田國男が産みだした日本民俗学の成果を参考にして考えます。柳田がなぜ日本の文化に目を向けたのかを考えましょう。また曆に応じて(4~7月)身近にありながら目につかない具体的な日本の民俗について考えます。

【受講生の到達目標】
*柳田國男の民俗学について理解する。
*日本の文化について知る。
*具体的な年中行事の意味を理解する。

【事前に履修しておくことが望まれる科目】
*できれば日本史、とくに近世以降の歴史について学んでいると理解しやすい。
*文化人類学の知識があると理解しやすい。

【授業外学習の指示】
授業をよく聞き、それをノートしたものを読み返すことも重要です。さらに以下のことを試みて下さい。
授業時に複数の参考文献を提示します。それを図書館などで探して読み、授業で聞いたことと絡ませて考えましょう。また自分の知り合いの方に、地域文化について聞き取りをすると、授業内容が一層具体的に理解されるでしょう。

【受講および研究に関するアドバイス】
よく授業を聞き、ノートを取り、内容について理解すること。
参考文献などをあわせ読めば理解が深まります。

【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】
コミュニケーションペーパー / Communication Paper
インタラクティブシート / Interactive Sheet
学生との直接対話 / Talk with Students
その他 / Other
授業終了後、時間に余裕のあるときは直接質問して下さい。また研究室なり、廊下なりで直接質問して下さい。

【備考】
*私語は慎んでください。
*授業を聞かずに、学ぼうとしてはいけません。
*出席をせずに、単位を取ろうとは思わないで下さい。

講義スケジュール

- 1 イントロダクション、授業の概要説明、簡単なアンケート
<キーワード>イントロダクション、シラバス、文化、民族、民俗
- 2 民俗学以前 (1) : 近世の文化研究の背景
<キーワード>江戸時代、教育、交通、出版
曆: 花見
- 3 民俗学以前 (2) 近世の文化研究
<キーワード>近世随筆、国学
- 4 柳田國男以前の民俗学
<キーワード>菅江真澄、山中共古
曆: 節供、五月、田植え
- 5 柳田國男 (1)

I108 IR-ECR202 民族文化誌 / R

科目等履修生/聴講生

英文科目名	IR-ECR202 Ethnography		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】 TEL : 075-466-3350		
担当教員	原 毅彦		
開講日程	2016年4月13日(水)~2016年7月13日(水) <毎週水曜日> 4時限: 14:40~16:10 5月21日(土)および6月25日(土)は授業日です。 <教室案内> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf ※定期試験日程は別に設定します。 ※休講になった場合などは、4/30(土)、5/14(土)、6/18(土)、7/2(土)、7/16(土)、7/20(水)に補講を行うことがあります。		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生: 42,800円 ・聴講生: 25,400円		
会場	衣笠キャンパス		
授業定員	200	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	【定期試験(筆記)】80% 授業内容をよく理解しているかを基準に、採点、評価します。 【平常点評価】20% 授業時に時々、書いて提出してもらうことがある。これは理解度を測る目安とする。その理解度に応じて評価します。 【備考】基本的に筆記試験です。授業時のペーパーについては随時であり、回数は未定。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		

<キーワード>少年期、文学	
6 柳田國男 (2)	<キーワード>農政学、時代ト農政 暦：水無月、氷室の朔日
7 柳田國男 (3)	<キーワード>民俗学、移動民、山民、海民
8 柳田國男 (4)	<キーワード>日本固有文化、稲作農耕民
9 柳田國男 (5)	<キーワード>家、家永続の願い、先祖 暦：夏越の祓い、山開き
10 柳田國男以降 (1)	<キーワード>女性の民俗
11 柳田國男以降 (2)	<キーワード>都市民俗
12 柳田國男以降 (3)	<キーワード>複数文化、イモ文化
13 柳田國男以降 (4)	<キーワード>ハレ・ケ・ケガレ論
14 柳田國男以降 (5)	<キーワード>外国人研究者、民俗母体論
15 まとめと展望	<キーワード>日本の文化研究これから
教科書	
参考書	以下の「書名」を参照 (書名) 柳田國男の全著作 (書名) 折口信夫の全著作 (書名) 宮本常一の全著作 上記の著作は折に触れて、取り上げます。また参考文献は、授業時に随時指示します。

I109 IR-ECR203 国際ジャーナリズム論/R

科目等履修生/聴講生

英文科目名	IR-ECR203 International Journalism		
大学名	立命館大学		
連絡先	【教務課】TEL：075-466-3350		
担当教員	岡田 滋行		
開講日程	2016年4月12日(火)～2016年7月19日(火) <毎週火曜日> 3時限：13：00～14：30 5月7日(土)は授業日です。 <教室案内> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku/room_20160401.pdf ※定期試験日程は別に設定します。 ※休講になった場合などは、4/30(土)、5/14(土)、6/18(土)、7/2(土)、7/16(土)、7/20(水)に補講を行うことがあります。		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生：42,800円 ・聴講生：25,400円		

会場	衣笠キャンパス		
授業定員	350	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	【定期試験(筆記)】70% 基本概念や語句の理解、ジャーナリズムに対する洞察力を試す問題を出題する 【平常点評価】30% 日常点20% その他10%(授業への積極的参加など)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	※シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。 【諸手続】(単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/renraku.html		
講義概要・到達目標	<p>【授業の概要】 報道の基本原則を学習し、国際社会におけるメディアの役割について理解する。新聞、テレビ、インターネットなど多様なメディアの歴史、現状、将来の課題を、「送り手」の視点も含めて学習する。東西冷戦の終焉と「9・11」がもたらした国際政治の枠組みの変化や、情報・通信革命による伝達手段の発達についても、実例をもとに研究する。こうした変化とメディアが相互に影響を及ぼしている実態への理解を深める。 日本の国際報道にも焦点をあてることで、国際社会、特にアジアにおける日本の立場について学習し、政治、経済、社会、文化を扱う地域研究との関連性を理解する。一般に入手可能な情報から何を読み取れるかの実践的な演習として、アジア情勢を例に学習する。</p> <p>【受講生の到達目標】 1 第一次世界大戦後のメディアの歴史を理解し、その概要を説明できる。 2 国際政治の枠組みの変化と情報・通信革命の相互連関を理解し、説明できる。 3 国際社会における日本の役割について説明できる。</p> <p>【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】 コミュニケーションペーパー/Communication Paper インタラクティブシート / Interactive Sheet manaba+R / Learning Management System (manaba+R)</p>		
講義スケジュール	<p>1 イントロダクション 授業の目的など</p> <p>2 国際報道の基本原則と情報発信</p> <p>3 地域研究と報道1 各国の政治情勢とメディア事情</p> <p>4 地域研究と報道2 各国の政治情勢とメディア事情</p> <p>5 戦争報道1 第一次世界大戦から第二次世界大戦まで</p> <p>6 戦争報道2 ベトナム戦争から湾岸戦争まで</p> <p>7 戦争報道3 アフガニスタン戦争、イラク戦争</p> <p>8 欧米のジャーナリズムの歴史の変遷</p> <p>9 日本のジャーナリズムの歴史の変遷</p> <p>10 冷戦の終結と「9・11」</p>		

11 ソフト・パワー 伝達手段の発達と国際政治	
12 WEBとブログ1 巨大メディアとメディアミックス	
13 WEBとブログ2 情報・通信革命の衝撃	
14 国益と報道	
15 メディアリテラシー (情報化社会と多様なメディアの実践的な解析)	
教科書	以下の「書名」、「著者」、「出版社」、「備考」を参照 (書名) 国際紛争 理論と歴史 (著者) ジョセフ・ナイ (出版社) 有斐閣 (備考) 教科書に準ずる扱いとする
参考書	

I110 ヨーロッパ政治論

科目等履修生

英文科目名	European Politics		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 TEL 075-645-7891 FAX 075-643-5021		
担当教員	高橋 進		
開講日程	2016年04月12日(火)～2016年07月26日(火) 2講時 10時45分～12時15分(毎週火曜日) ※5月3日(火)は祝日のため、授業は実施しません		
単位数	2	開講区分	前期・春学期
受講料	20,000円		
会場	深草学舎		
授業定員		京カレッジ定員	10
試験・評価方法	レポート(30%) テキストのいずれかの章を選んで、その国や理論について論じる 定期試験(70%)		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。 【講義方法】 テキストに沿って講義を進めます。テキストは講義や期末試験に不可欠ですから、購入して、予習・復習に活用して下さい。 【系統的履修】 西洋政治史や政治学原論、国際政治論などを履修すると講義の理解に有益です。 【定期試験について】 本講義の定期試験は、8月2日(火)、10時30分～11時40分の時間帯に行う予定です。ご留意ください。		
講義概要・到達目標			
【講義概要】	この講義では、現代の民主国家、特にヨーロッパと日本で広		

がっているナショナリズムとポピュリズム、排外主義政治、地域主義(分離独立など)について考察し、それらが各国の民主主義に与えている影響を分析する。最近の、アラブ、シリア難民のヨーロッパへの流入、国境管理強化、ISなどによるテロ事件、シリア空爆、スコットランドの独立投票、英国のEU離脱投票(予定)などについても、人権、移民の受け入れと定着、人の自由な移動と治安、内戦と戦争などのトピックについても取り上げ、考えていく。

【到達目標】

ヨーロッパ各国と日本の政治と社会を比較し、日本政治を相対化して、民主主義の課題を発見することのできる力を身につけることをめざす。

講義スケジュール	
第01回 イントロダクション 第02回 「再国民化」とナショナリズム、ポピュリズム、民主主義の定義について 第03回 日本のポピュリズムについて 第04回～第12回 ヨーロッパ各国の再国民化と民主主義 第13回 返却レポートの解説 第14回～第15回 まとめ	
教科書	高橋進・石田徹編著 『「再国民化」に揺らぐヨーロッパ』 法律文化社 3,800円 テキストは講義やレポート、期末試験に不可欠ですから、購入して読んで下さい。
参考書	高橋進・石田徹編著 『ポピュリズム時代の民主主義』 法律文化社 3,500円 ISBN: 9784589034908

I111 中国経済論—成熟大国への軟着陸をめざして

科目等履修生

英文科目名	The Chinese Economy		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 TEL: 075-645-7891 FAX: 075-643-5021		
担当教員	大原盛樹		
開講日程	2016年04月12日(火)～2016年07月26日(火) 2講時 10時45分～12時15分(毎週火、金曜日) ※開講4月29日(金・祝) ※休講5月3日(火・祝)		
単位数	4	開講区分	前期・春学期
受講料	40,000円		
会場	深草学舎		
授業定員	130	京カレッジ定員	20
試験・評価方法	出席: 30% (毎回出席をとります) 期末テスト: 70%		
超過時の選考方法	書類		
別途負担費用			
その他特記事項	【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。 【定期試験について】 本講義の定期試験は、8月2日(火)もしくは8月5日(金)の10時30分～11時30分の時間帯に行われる予定です。ご留意ください。		

I112 国際協力論

科目等履修生

講義概要・到達目標	
<p>世界の政治経済的な中心勢力としての自画像を内外に誇示し始めた中国。彼らの「強大化」に伴い、世界経済は新しいバランスを求めた再編を始めている。そして中国の国家建設神話の最重要なピースの一つにされている日本は、その再編に最も大きく翻弄される国の一つになっている。中国の「強大化」の背後には30年以上にわたる経済基盤の急拡大があった。しかし構造的にスローダウンを迎える時期に入り、格差と競争を成長のエネルギーに変えるのに適したこれまでの経済システムは、人々の福祉の要求と社会の安定を満たすものへ転換することが求められている。ただし、その新しい経済システムの姿は、未だ不明確なままである。</p> <p>本講義では、成熟化を目指す超大国で形成されようとしている新しい経済基盤の姿を、過去の経済的遺産と成長優先の経済システムのあり方についても目配りしながら展望することを目指す。開発経済学の枠組みを基礎に、農業国としての貧困時代から産業化による富裕化への道のりを回顧しつつ、企業の経済学、産業組織論、そして経営学的枠組みも交えて、彼らの現代的な産業発展のあり方も検討して行く。</p> <p>基本的に講義2回（1週間分）で一つのテーマを追求する。2回のうち最初の1回で分析枠組みの紹介と台湾やインド、東南アジア諸国等との国際比較を行い、そのテーマに関する世界における中国の相対的な姿を示す。そして次の1回で中国のより深い細部について論じながら、中国の特徴を示せるようにしたい。できるだけドキュメンタリーやニュースなどの映像を交えて具体的な中国のイメージを持っていただけるようにしたい。</p>	
講義スケジュール	
第01回 イントロダクション 第02回 建国前の遺産 第03回 GDP-成長と構造変化1 第04回 GDP-成長と構造変化2 第05回 人口転換1 第06回 人口転換2 第07回 生産性と投資1 第08回 生産性と投資2 第09回 世界経済の中の中国経済1 第10回 世界経済の中の中国経済2 第11回 計画経済1 第12回 計画経済2 第13回 都市と農村の分断1 第14回 都市と農村の分断2 第15回 改革開放1 第16回 改革開放2 第17回 格差と貧困1 第18回 格差と貧困2 第19回 農村工業化1 第20回 農村工業化2 第21回 国有企業改革1 第22回 国有企業改革2 第23回 産業の高度化1 第24回 産業の高度化2 第25回 財政1 第26回 財政2 第27回 社会福祉1 第28回 社会福祉2 第29回 まとめ1 第30回 まとめ2	
教科書	適宜、授業で参考文献を紹介する。
参考書	丸川知雄 2013年『現代中国経済』有斐閣アルマ Barry Naughton, 2007, The Chinese Economy: Transition and Growth, The MIT Press Moriki Ohara, M.Vijayabaskar, and Hong Lin ed., 2011, Industrial Dynamics in China and India: Firms, Clusters, and Different Growth Paths, Palgrave Macmillan

英文科目名	Development Aid Studies		
大学名	京都文教大学		
連絡先	教務課 TEL 0774-25-2426 FAX 0774-25-2498		
担当教員	島本 晴一郎（総合社会学部総合社会学科教授）		
開講日程	2016年09月28日（水）～2017年01月18日（水） 2講時 10時40分～12時10分（毎週水曜日） ※休講：2016年12月28日（水）、2017年01月04日（水） ※開講2016年11月23日（水・祝）		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科50,000円（登10,000円 履40,000円）		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	80	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	学期末試験／Final Examination：50% 平常点（出席および提出物）によって評価する。 学期中の試験／Mid Term Examination：0% 平常点評価／Performance in Class：50% 期末テスト（レポート形式）により評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	国際協力とは人間開発であり、人間開発とは個人の潜在的可能性を見だし、発展させることです。人と人が接し、相互に触発しながらともに成長する、これが国際協力の真髄でしょう。国際協力には援助をする側、される側などの区分はありません。また海外、国内の区分もありません。草の根に根ざした諸問題に対し、国籍を訪わず官、民（企業、市民）が協働しながら解決をはかる、これが国際協力の新しい形です。この新しい形をどんどん探してみしましょう。		
講義概要・到達目標			
授業の概要／Course Outline グローバル社会は紛争地域やサブ・サハラ地域等の飢餓、貧困、エイズ、マラリア蔓延、あるいは予期しない自然災害の発生など、常に国際協力を必要とする状況にある。本講義では、1まずグローバル社会が抱える問題点を明らかにする、2これらを解決するための公的機関についてその役割を学び、3CSRを通じて問題解決に臨む民間企業の在り方について考察、4NGOなど市民の行う数々の工夫について理解を深める。どのような形で行政と民間セクターとの連携があり得るかについて考察する。			
到達目標／Class Objectives 「グローバルな課題」とは何かについて理解する。 政府ベース、民間ベースあるいはその連携で行われつつある国際協力の実態を理解する。 途上国の開発における社会起業家、社会的企業の事例を知ること、国際協力の将来展望を理解し、参加者自身のグローバル思考を育てる。			
講義スケジュール			
1 はじめに：市場経済のグローバル化と国際協力の必要性について認識する。 2 開発経済学から見た国際協力について：途上国の経済発展への見方を理解する。 3 世界の貧困問題について：貧困の現状と国際協力の方向につき理解する。 4 世界の環境問題について：環境問題の現状と国際協力の方向につき理解する。 5 途上国の債務問題について：債務問題の現状と国際協力の方向につき理解する。 6 「政府開発援助」とは何かを知る。 7 世界銀行など国際機関のおこなう開発支援について理解する。			

- 8 日本の経済協力について：歴史、実施機関、その特色について理解する。
- 9 米国、英国、フランス、ドイツなどその他先進国の開発支援について知る。
- 10 官民協調型経済協力について：国際金融公社、国際協力銀行（旧日本輸出入銀行）の事例などから開発における政府と民間の協調の仕組みを理解する。
- 11 NGOによる民間国際協力について：世界、日本のNGOの諸活動を理解する。
- 12 企業の社会責任について：企業の社会責任とグローバル化について考察する。
- 13 ビジネス・パートナーシップについて：世界銀行の事例に見る企業、NGO、行政のパートナーシップのあり方につき考察する。
- 14 開発における起業家精神の必要性について考察する。
- 15 まとめ：将来への展望について考える。

教科書	
参考書	「国際経済開発論」（廣田政一／寺崎克志） 「開発援助の経済学」（西垣昭／下村恭民／辻一人）

I113 国際ビジネス

科目等履修生/聴講生

英文科目名	International Business		
大学名	同志社大学		
連絡先	商学部・商学研究科事務室 TEL075-251-3660 FAX075-251-3068		
担当教員	長沼 健（商学部准教授）、夕田 雄之（商学部非常勤講師）、小林 慶行（商学部非常勤講師）、清水 敬之（商学部非常勤講師）、鈴木 和巳（商学部非常勤講師）		
開講日程	2016年10月05日（水）～2017年01月25日（水） 2講時 10時45分～12時15分（毎週水曜日）		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科79,000円（選10,000円、登35,000円、履34,000円）、聴22,000円		
会場	今出川キャンパス		
授業定員		京カレッジ定員	20
試験・評価方法	中間レポート試験 30% 特別講演終了時にレポートの提出を課します。 期末試験 70% 期末試験を実施します。		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			

講義概要・到達目標

<概要>
本講義は、経験豊富な元国際ビジネスマンの協力を得て開講されるものである。今や経済のグローバル化で、どんな会社や組織で働こうとも何時の間にか国際的な関係の中で仕事をせざるを得ない時代になって来た。社会人になるにはある程度の国際ビジネスの基礎知識は必須である。引合、交渉、契約、受渡、決済、顧客サービスという最も基本的な仕事の流れに沿って、実践的な貿易の仕組みと手続きの概略を学び、続いて企業が海外に進出し、現地で成功を収めるには何が大切か？について経験豊かな講師陣から体験談を聞く。学生諸君は、長年にわたって国際ビジネスの最前線で戦ってこられた講師から、現場の生の声を聞くことができ、実践グローバル・ビジネスの息吹を直に感じる事が出来るであろう。

<到達目標>
国際ビジネスに関する基本的知識を修得し、国際ビジネスの現状と役割について体系的に理解することができる。

講義スケジュール	
第1回	国際ビジネス概論：国際商取引・経営のあらまし
第2回	自由貿易のあゆみとわが国をとりまく国際商取引
第3回	自由貿易体制下のグローバル社会：最近のうごき
第4回	国際商交渉のあらまし：商談の始めから成約まで
第5回	日系企業の投資先：タイ、魅力的な投資先
第6回	総合商社論：その歴史と機能の変化
第7回	国際ビジネスに関する特別講演
第8回	外国為替：為替リスクの管理の必要性和その手法
第9回	輸出入金融の実務：貿易決済と信用状の基礎知識
第10回	日本企業の海外直接投資をとりまく制度と諸問題
第11回	駐在員の設置から現地法人の設立までと現地経営
第12回	中国市場：その理解に必要な情報と知識
第13回	中国への投資戦略と日本企業の中国進出の現状
第14回	授業内評価
第15回	講評
授業計画が変わる可能性があります。	
教科書	講義毎にレジメを配布します。
参考書	亀田尚己（編著）『現代国際商取引』（文眞堂、2013） 必要に応じて授業中に紹介します。

I115 アメリカ地域研究B

科目等履修生/聴講生

英文科目名	American Area Studies B		
大学名	同志社女子大学		
連絡先	◆本学今出川キャンパス開講 教務課 TEL：075-251-4127 FAX：075-251-4277		
担当教員	才藤 千津子（現代社会学部教授） 佐伯 林規江（学芸学部教授） 松村 延昭（表象文化学部教授）		
開講日程	2016年09月26日（月）～2017年01月23日（月） 2講時 11時00分～12時30分（毎週月曜日） ※開講 2016/10/10（月・祝） ※休講 2016/12/26（月）、2017/01/02（月・祝）、 01/09（月・祝）		
単位数	2	開講区分	後期・秋学期
受講料	科44,000円（登録料24,000円・受講料20,000円）、 聴8,000円		
会場	今出川キャンパス		
授業定員	100	京カレッジ定員	5
試験・評価方法	3人の担当者によって個別に出された成績を均等に用いて算出する。 各担当者の評価項目は、下記の通り。 才藤：レポート（2200字～2500字 A4約2枚）（70%）、 出席及び授業への積極的参加（30%） 佐伯：レポート（80%）、出席及び授業への積極的参加（20%） 松村：レポート（60%）、出席及び授業への積極的参加（40%）		
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用	なし		
その他特記事項			

講義概要・到達目標	
<p>本講は、アメリカを総合的に理解することを目的とする科目である。一国を理解するには、まさに人間を理解するのと同様に、多面的かつ総合的考察が要求される。とりわけアメリカ研究という学問分野は、その出発のときから、学際的研究方法が重視されている。本講では、アメリカを共通の研究対象とする各担当者が、各々の研究特色を生かし、下記の問題意識と内容で授業を行う。</p> <p>○アメリカの歴史と宗教（才藤） 宗教的理念は、その建国から今日に至るまでアメリカ合衆国を導き続けてきたと言われる。この授業では、ビルグリム・ファーザーズの時代から今日までのアメリカ宗教史の中からいくつかのトピックをとりあげ、アメリカの歴史の中で宗教、特にキリスト教が果たしてきた役割およびその特質について考察し、その理解を深めることを目的とする。</p> <p>○アメリカの言語と文化（佐伯） アメリカ合衆国の言語と文化の特性について考察する。とくに、移民史を通じて見たダイナミックなアメリカ文化の特徴とその英語への影響を考察する。</p> <p>○文学から読み解くアメリカのピューリタニズム（松村） 19世紀のアメリカ作家、ナサニエル・ホーソンの『ヤング・グッドマン・ブラウン』と『緋文字』を読むことにより、アメリカ社会におけるピューリタニズムの影響を検証する。</p>	
講義スケジュール	
<p>各回の授業内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（担当者全員） 2. 植民地時代の宗教的状況： ニューイングランド地方とピューリタニズム（才藤） 3. 大覚醒：アメリカ独立の背景（才藤） 4. 公民権運動の宗教的背景： マルティン・ルーサー・キング牧師の出現（才藤） 5. 女性解放運動とキリスト教： アメリカの伝統的キリスト教へのチャレンジ（才藤） 6. 多様化するアメリカ：今日の宗教的状況（才藤） 7. アメリカ社会の特質（佐伯） 8. アメリカ文化の多様性（佐伯） 9. アメリカ英語とその背景（佐伯） 10. 日米言語文化とコミュニケーション（佐伯） 11. アメリカの言語と文化（佐伯） 12. アメリカのピューリタニズム（松村） 13. ナサニエル・ホーソン（松村） 14. 『ツインピークス』と『ヤング・グッドマン・ブラウン』（松村） 15. 『スカーレット・レター』と『緋文字』（松村） <p>授業方法： 才藤：講義と討論を中心に進める。内容についての理解を深めるために映像資料を活用する。 佐伯：講義を中心に進める。内容についての理解を深めるために映像資料を活用する。 松村：講義を中心に進める。内容についての理解を深めるために映像資料を活用する。</p>	
教科書	使用しない。
参考書	<p>テーマごとの参考図書リストを、初回の授業の際に配付する。</p> <p>資料の入手については、各担当者がその都度配付、または指示する。</p>

I118 国際協力論

科目等履修生

英文科目名	International Cooperation
大学名	龍谷大学
連絡先	教学部 TEL075-645-7891 FAX075-643-5021

担当教員	神谷 祐介（経済学部講師）		
開講日程	2016年09月19日（月）～2017年01月19日（木） 4講時 15時00分～16時30分（毎週 月・木曜日） ※開講 2016/9/19（月・祝） 2016/9/22（木・祝） 2016/10/10（月・祝）		
単位数	4	開講区分	後期・秋学期
受講料	科40,000円		
会場	深草学舎		
授業定員	150	京カレッジ定員	10
試験・評価方法	平常点 50%（毎回の課題、受講時の質疑、グループワークやワークショップへの貢献度、プレゼンテーションを評価） 小テスト 50%（授業の中で数回実施する）		
超過時の選考方法			
別途負担費用			
その他特記事項	【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に掲載します。		
講義概要・到達目標			
<p>●講義概要 国際協力の仕組みと実際の活動について体系的に学びます。特に、本講義では、経済学が国際協力にいかに応用できるかという観点を重視します。</p> <p>一連の講義を通じて、1国際社会で起こっている諸問題とその原因、そして、問題解決に向けた国際協力の仕組みや活動内容について理解を深めること、2国際協力の世界的な潮流（マクロ）と、現場のリアリティ（ミクロ）の双方を把握した上で、政府援助機関、国際機関、NGO、民間企業、市民社会組織、ボランティアといった様々な国際協力アクターが果たす役割を理解すること、3国際協力の分野・課題別の取り組みを知ること、4国際協力活動の実際のオペレーションや評価について学ぶことを目的とします。</p> <p>また、本講義では、国際協力分野におけるフィールド実験やインパクト評価といった、国際潮流の中でも先駆的な取り組みについても触れたいと思います。</p> <p>●達成目標 現代の国際協力の仕組みと活動を理解し、自分自身の生活との接点を考える。</p> <p>●講義方法 講義では、国際社会で起こっている問題がより身近に感じられるよう、映像・メディア・統計データを活用します。また、ゲーム、グループワーク、ワークショップ等の体験型学習を通じて、五感を使って理解が深まるよう工夫をします。</p>			
講義スケジュール			
第1回 ガイダンス 第2-10回 国際社会で起こっている問題 第11-12回 なぜ国際協力を行うのか？ 第13-15回 様々な国際協力アクター 第16-20回 地域別・課題別の取り組み 第21-29回 国際協力プロジェクト立案、プロジェクトのオペレーション、評価 第30回 まとめ			
教科書	なし		
参考書	ジェトロ・アジ研・高橋・黒岩・山形（編）『テキストブック開発経済学 第3版』有斐閣 2,484円 大塚啓二郎（2014）『なぜ貧しい国はなくなるのか：正しい開発戦略を考える』日本経済新聞出版社 3,024円 カーラン&アベル（2013）『善意で貧困はなくせるのか？』みすず書房 3,150円 バナジー&デュフロ（2012）『貧乏人の経済学』みすず書房 3,150円 モーダックほか（2011）『最底辺のポートフォリオ』みすず書房 3,990円 高橋・山形（2010）『国際協力ってなんだろう』岩波書店 819円		



市民教養講座 京都力養成コース

シラバス

●欄の略号について

2016年度 みやこ京カレッジ 市民教養講座・京都力養成コース

**J001 京都橋大学 看護異文化交流・社会連携推進センターリカレント学習講座
「高めよう実践力！PART3療養生活を支える切れ目のない看護の実現ー病院から地域への継続看護ー」**

特別受講生

英文科目名	
大 学 名	京都橋大学
連 絡 先	京都橋大学エクステンションセンター Tel : 075-574-4186 E-mail : aca-ext@tachibana-u.ac.jp
	判澤 恵 (京都橋大学・看護教育研修センター・准教授) 患者3名・看護師1名 (NPO法) (京都難病連)

第4回10月4日 (火)「療養生活を支えるための心のケア」
講師：木村 里美 (済生会滋賀県病院・精神看護専門看護師)

第5回11月8日 (火)「療養生活を必要とする人を支える包括的な支援とは」
講師：堀 妙子 (京都橋大学・看護学部看護学科・教授)

教 科 書	
参 考 書	

J002 京都橋大学女性歴史文化研究所シンポジウム「近代ヨーロッパ社会における身体表現と身体ケアー食とファッションを中心にー」

特別受講生

英文科目名	
大 学 名	京都橋大学 京都橋大学エクステンションセンター

科目等履修生 (単位修得できる)

聴講生 (単位修得できない)

特別受講生 (単位修得できない)

2016年度 ^{みやこ}京カレッジ 市民教養講座・京都力養成コース

J001 京都橘大学 看護異文化交流・社会連携推進センターリカレント学習講座 「高めよう実践力！PART3療養生活を支える切れ目のない看護の実現—病院から地域への継続看護—」

特別受講生

英文科目名	
大学名	京都橘大学
連絡先	京都橘大学エクステンションセンター Tel : 075-574-4186 E-mail : aca-ext@tachibana-u.ac.jp
担当教員	判澤 恵 (京都橘大学・看護教育研修センター・准教授) 患者3名・看護師1名 (NPO法人 京都難病連) 藤田 愛 (医療法人社団慈恵会・北須磨訪問看護・リハビリセンター・訪問看護師/所長) 木村 里美 (済生会滋賀県病院・精神看護専門看護師) 堀 妙子 (京都橘大学・看護学部看護学科・教授) コーディネーター：京都橘大学看護異文化交流・社会連携推進センター学習支援事業ワーキンググループ
開講日程	2016年07月05日(火)～2016年11月08日(火) 6講時 18時10分～19時30分 (17時40分より受付開始)
単位数	0
開講区分	通年
受講料	各回1,000円、5回一括4,000円、いずれも税込
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	100
京カレッジ定員	20
試験・評価方法	
超過時の選考方法	先着順にて受付
別途負担費用	
その他特記事項	対象：看護職者・介護職者・医療関係者 (学生可)
講義概要・到達目標	
講義スケジュール	
いずれも18時10分～19時30分	
第1回 7月5日(火)「在宅医療のできるスキンケア」	講師：判澤 恵 (京都橘大学看護教育研修センター准教授)
第2回 8月9日(火)「難病とともに生きる体験と看護者に期待する事—聞いて・病気を知って・暖かい眼差し。これが看護者に期待する事—」	講師：NPO法人 京都難病連
第3回 9月6日(火)「慢性疾患高齢者の最終的な意思決定支援と実現への看護」	講師：藤田 愛 (医療法人社団慈恵会・北須磨訪問看護・リハビリセンター・訪問看護師/所長)

第4回10月4日(火)「療養生活を支えるための心のケア」
講師：木村 里美 (済生会滋賀県病院・精神看護専門看護師)

第5回11月8日(火)「療養生活を必要とする人を支える包括的な支援とは」
講師：堀 妙子 (京都橘大学・看護学部看護学科・教授)

教科書	
参考書	

J002 京都橘大学女性歴史文化研究所シンポジウム「近代ヨーロッパ社会における身体表現と身体ケア—食とファッションを中心に—」

特別受講生

英文科目名	
大学名	京都橘大学
連絡先	京都橘大学エクステンションセンター Tel : 075-574-4186 E-mail : aca-ext@tachibana-u.ac.jp
担当教員	北山 晴一 (立教大学名誉教授) 南 直人 (京都橘大学文学部歴史学科教授/女性歴史文化研究所所長)
開講日程	2016年07月09日(土)～2016年07月09日(土) 3～5講時 13時30分～17時00分
単位数	0
開講区分	前期・春学期
受講料	無料
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	250
京カレッジ定員	
試験・評価方法	
超過時の選考方法	先着順にて受付
別途負担費用	
その他特記事項	
講義概要・到達目標	
講義スケジュール	
近代ヨーロッパにおける身体の問題について考察します。ひとつは、身体表現すなわちファッションの問題を取り上げ、それが男女のジェンダー格差が拡大し固定化されるヨーロッパ近代社会においてどのような展開をとげたのかを考えてみます。それと同時に、身体表現と対になる身体ケアの分野にも目配りをし、特に栄養や食という問題に関連して、19世紀末から20世紀初頭のヨーロッパ社会において身体ケアがどのように取り上げられていたかも追求します。	
具体的には、フランス・ファッションの歴史に造詣が深く、身体社会学や社会デザイン研究など幅広い学問分野で活躍をされている北山晴一氏 (立教大学名誉教授) が、フランス近代・現代における女性ファッションを題材として、身体表現とジェンダーの問題との関連について講演をおこないます。それと併せて、近代ドイツにおける食の歴史研究をおこなっている南直人氏 (京都橘大学女性歴史文化研究所所長/文学部教授) が、第二帝政期ドイツの生改革運動やヴェジタリアニズムなど、食にかかわるオールタナティブな思想や運動を題材として、身体ケアと食との関係についての講演をおこないます。	
その後これらフランスとドイツの事例を中心として、近代ヨーロッパ社会における身体の問題についてパネルディスカッションをおこないます。	
講義スケジュール	
2016年07月09日(土)	
13時30分～17時00分	

第一部：講演 ・北山 晴一（立教大学名誉教授） ・南 直人（京都橋大学文学部教授／京都橋大学女性歴史文化研究所所長）
第二部：シンポジウム シンポジスト ・北山 晴一（同上） ・南 直人（同上）
教科書
参考書

講師：福嶋 昭治（京都橋大学文学部日本語日本文学科教授） 日時：2016年06月03日（金）18：10～19：30 会場：キャンパスプラザ京都 受講料：500円（資料費、税込） 定員：100名
第3回「神像彫刻入門」 講師：小林 裕子（京都橋大学文学部歴史遺産学科准教授） 日時：2016年06月10日（金）18：10～19：30 会場：キャンパスプラザ京都 受講料：500円（資料費、税込） 定員：100名
第4回「京につながる道の近代史—江戸から明治の道へ—」 講師：高久 嶺之介（京都橋大学文学部歴史学科教授） 日時：2016年06月17日（金）18：10～19：30 会場：キャンパスプラザ京都 受講料：500円（資料費、税込） 定員：100名
教科書
参考書

J003 京都橋大学文学部 歴史文化ゼミナール2016「京都・人とモノの再発見」

特別受講生

英文科目名			
大学名	京都橋大学		
連絡先	京都橋大学エクステンションセンター Tel：075-574-4186 E-mail：aca-ext@tachibana-u.ac.jp		
担当教員	神道 尚基（石清水八幡宮 権禰宜） 福嶋 昭治（京都橋大学文学部日本語日本文学科教授） 小林 裕子（京都橋大学文学部歴史遺産学科准教授） 高久 嶺之介（京都橋大学文学部歴史学科教授）		
開講日程	2016年05月22日（日）～2016年06月17日（金） 6講時 18時10分～19時30分 ※初回のみ5/22（日）13：30～15：30実施。		
単位数	0	開講区分	前期・春学期
受講料	第1回目のみ1,000円（消費税、拝観料含む） 第2回目以降は各500円（資料費、税込）		
会場	その他特記事項参照		
授業定員	100	京カレッジ定員	20
試験・評価方法			
超過時の選考方法	先着順にて受付		
別途負担費用			
その他特記事項	第1回目 石清水八幡宮 第2回目以降はキャンパスプラザ京都		
講義概要・到達目標	京都橋大学文学部の教員を主体とする連続講座。京都に関する歴史上の人物や文化遺産、歴史上の事件などを材料に、新しい研究成果を含めて、歴史的遺産の宝庫である京都の魅力を探る話題や見方を提供します。4回の連続講座ですが、うち1回は歴史遺産の場を探访します。歴史遺産の現場としては、八幡市の石清水八幡宮のご協力をいただきました。王城の地・京都を守護する社として勧請された八幡宮の歴史を解説するとともに、国宝となった社殿を見学いただきます。これに加えて、平安時代以来つくられてきた神像の見方や、『源氏物語』の味わい、私たちの生活と切り離すことの出来ない道の歴史など、本学文学部の教員が解説します。		
講義スケジュール	第1回「石清水八幡宮の由緒と国宝建築」 講師：神道 尚基（石清水八幡宮 権禰宜） 日時：2016年05月22日（日）13：30～15：30 会場：石清水八幡宮 受講料：1,000円（消費税、拝観料含む） 定員：60名 ※講演後、本殿の拝観を予定しております。 第2回「光源氏—女性の心情を理解する達人—」		

J004 京都橋大学文学部歴史遺産学科公開ワークショップ「大英博物館所蔵ゴードランド・コレクション調査プロジェクト（京都編）」

特別受講生

英文科目名			
大学名	京都橋大学		
連絡先	京都橋大学エクステンションセンター Tel：075-574-4186 E-mail：aca-ext@tachibana-u.ac.jp		
担当教員	サイモン・ケイナー（英国・セインズベリー日本藝術研究所副所長） 宮川 禎一（京都国立博物館） 諫早 直人（奈良文化財研究所） 森下 章司・岡本 篤志（大手前大学） 菱田 哲郎（京都府立大学） ファシリテーター：一瀬 和夫（京都橋大学）		
開講日程	2016年06月18日（土）～2016年06月18日（土） 3～5講時 13時00分～17時30分		
単位数	0	開講区分	前期・春学期
受講料	無料		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	250	京カレッジ定員	30
試験・評価方法			
超過時の選考方法	先着順にて受付		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標	イギリス・ロンドンの大英博物館所蔵ゴードランド・コレクションの基礎的な資料調査の成果と新知見をもとに、レーザー3次元計測などを活用し、国内関連資料との総合的な比較研究を進め、横穴式石室や、武器、馬具、須恵器などの遺物の評価、古墳の変遷過程の検討などから古墳時代研究に新展開をもたらすことが本講義の目的である。このワークショップは大英博物館、東京、出雲につづいて京都編として、まずコレクションの中心となる京都府亀岡の鹿谷古墳出土馬具について、京都国立博物館に残された絵図との比較検討を行う。そして、ゴード		

ンドが調査した兵庫県摂津の横穴式石室の現状、いち早く生産にかかわる考古資料として大阪府の桜井谷須恵器窯跡に着目した証拠など、学史の再評価をうながす。さらに、ゴーランドがイギリスに帰国した後、彼の日本の古墳研究が日英に与えた影響についても明らかにする。

講義スケジュール

2016年06月18日(土) 13:00~17:30

[基調報告] (講演は日本語)
サイモン・ケイナー (セインズベリー日本藝術研究所副所長)
「イギリスに影響を与えたゴーランドの日本古墳時代研究」

[報告]

宮川 禎一 (京都国立博物館)
「鹿谷古墳の絵図」
諫早 直人 (奈良文化財研究所)
「鹿谷古墳の馬具」
森下 章司・岡本 篤志 (大手前大学)
「中山寺白鳥塚横穴式石室の検討」
菱田 哲郎 (京都府立大学)
「ゴーランドのみた淀川流域の古墳時代遺跡」

[ワークショップ]

パネリスト:
宮川 禎一 (京都国立博物館)
諫早 直人 (奈良文化財研究所)
森下 章司・岡本 篤志 (大手前大学)
菱田 哲郎 (京都府立大学)
ファシリテーター: 一瀬和夫 (京都橋大学)

本講座はJSPS科研費15H03270の助成を受けたものです。
This work was supported by JSPS KAKENHI Grant Number 15H03270.

教科書	
参考書	

その他特記事項	<p>を開講しない場合があります。開講については確定次第、希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局 (TEL: 075-465-8426) までお問い合わせ下さい。</p> <p>■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます (定員に余裕がある場合のみ)。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。 http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius</p>
---------	---

講義概要・到達目標

【対象者の目安】
ひと通りの文法事項を習得し、中国語検定2級程度を目指すレベルの方

【講義概要】
基礎的な中国語文法を習得した方を対象とし、ビジネスで役立つ内容をテキストに、現場で役立つ実用的な中国語能力を高めることを目標とします。授業では、グループ会話、スピーチ、作文、リスニング等、さまざまな練習を行います。

講義スケジュール

教科書	「現代ビジネス中国語 会話と電子メールで学ぶ日中ビジネス実務」 文眞堂 亀田尚己監修 中曽根淑芳著 (本体2,850円+税) ISBN: 978-4-8309-4864-0 (4-8309-4864-7)
参考書	

J005 ビジネス中国語講座 (中級)

特別受講生

英文科目名	
大学名	立命館大学
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL: 075-465-8426 FAX: 075-465-8429
担当教員	楊 彩虹
開講日程	2016年04月09日(土)~2016年07月09日(土) 6講時 18時10分~19時40分 (毎週土曜日) ※全14回 ※補講 (予定) 2016/07/16 (土) ※やむを得ない事情により、開講日が休講となった場合、上記補講日に授業を行う場合があります。
単位数	0 開講区分 前期・春学期
受講料	・一般: 26,000円 ・学生 (立命館以外): 20,000円 ・学生 (立命館): 14,000円 ・立命館関係者 (教職員 (現・元)・卒業生): 20,000円 *税込
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	15 京カレッジ定員 5
試験・評価方法	
超過時の選考方法	先着順
別途負担費用	
その他特記事項	■開講日程、担当講師は止むを得ない事情により変更 (臨時代講や補講) となる場合があります。 ■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座

J006 新HSK対策講座 (5級)

特別受講生

英文科目名	
大学名	立命館大学
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL: 075-465-8426 FAX: 075-465-8429
担当教員	楊 彩虹
開講日程	2016年04月13日(水)~2016年06月22日(水) 6講時 18時10分~19時40分 (毎週水曜日) ※全10回 ※休講 5/4 (水) ※補講 (予定) 2016/06/29 (水) ※やむを得ない事情により、開講日が休講となった場合、上記補講日に授業を行う場合があります。
単位数	0 開講区分 前期・春学期
受講料	・一般: 19,000円 ・学生 (立命館以外): 15,000円 ・学生 (立命館): 11,000円 ・立命館関係者 (教職員 (現・元)・卒業生): 15,000円 *税込
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	15 京カレッジ定員 5
試験・評価方法	
超過時の選考方法	先着順
別途負担費用	テキスト代
その他特記事項	■開講日程、担当講師は止むを得ない事情により変更 (臨時代講や補講) となる場合があります。 ■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。開講については確定次第希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局 (TEL: 075-465-8426) までお問い合わせ下さい。 ■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます (定員に余裕がある場合のみ)。各講座に

その他特記事項	ついでの詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。 http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius
講義概要・到達目標	
【対象者の目安】 新HSK5級を目指す方 【講義概要】 新HSK（漢語水平考試）の5級受験を目指す皆様を対象とする実践的な対策講座です。新試験が初めての方も安心、講師が徹底指導にあたります。	
講義スケジュール	
教科書	『中国語検定HSK公式過去問集5級』（2013年度版） 株式会社スプリックス 国家漢弁/孔子学院総部 著 （本体3,280円+税） ISBN：978-4-906725-14-4
参考書	

講義概要・到達目標	【対象者の目安】 ・学習歴が4年程度以上あり、より自然な表現力を身につけたい方 ・中国語検定準1級程度を目指すレベルの方 【講義概要】 本講座では、皆さんご自身の中国語力維持・向上するため、中国の雑誌やネットに載っている面白い短文をピックアップし、即座に読み、聞き、訳し、中国語でディスカッションします。こうした練習を通じて、語彙を拡大すると同時に、リスニング能力、会話能力、通訳能力などの実践力を高めることを目指しています。
講義スケジュール	
教科書	プリント配布
参考書	

J007 中国語会話（上級）

特別受講生

英文科目名	
大学名	立命館大学
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL：075-465-8426 FAX：075-465-8429
担当教員	王 大川
開講日程	2016年04月12日（火）～2016年07月19日（火） 6講時 18時10分～19時40分（毎週火曜日） ※全14回 ※休講 5/3（火） ※補講（予定）2016/07/26（火） ※やむを得ない事情により、開講日が休講となった場合、上記補講日に授業を行う場合があります。
単位数	0 開講区分 前期・春学期
受講料	・一般：26,000円 ・学生（立命館以外）：20,000円 ・学生（立命館）：14,000円 ・立命館関係者（教職員（現・元）・卒業生）：20,000円 *税込
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	15 京カレッジ定員 5
試験・評価方法	
超過時の選考方法	先着順
別途負担費用	
その他特記事項	■開講日程、担当講師は止むを得ない事情により変更（臨時代講や補講）となる場合があります。 ■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。開講については確定次第、希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局（TEL：075-465-8426）までお問い合わせ下さい。 ■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます（定員に余裕がある場合のみ）。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。 http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius

J008 中国語講座準上級

特別受講生

英文科目名	
大学名	立命館大学
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL：075-465-8426 FAX：075-465-8429
担当教員	王 大川
開講日程	2016年04月08日（金）～2016年07月15日（金） 6講時 18時10分～19時40分（毎週金曜日） ※全14回 * ※休講 2016/04/29（金） ※補講（予定）2016/07/22（金） ※やむを得ない事情により、開講日が休講となった場合、上記補講日に授業を行う場合があります。
単位数	0 開講区分 前期・春学期
受講料	・一般：26,000円 ・学生（立命館以外）：20,000円 ・学生（立命館）：14,000円 ・立命館関係者（教職員（現・元）・卒業生）：20,000円 *税込
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	15 京カレッジ定員 5
試験・評価方法	
超過時の選考方法	先着順
別途負担費用	テキスト代
その他特記事項	■開講日程、担当講師は止むを得ない事情により変更（臨時代講や補講）となる場合があります。 ■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。開講については確定次第、希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局（TEL：075-465-8426）までお問い合わせ下さい。 ■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます（定員に余裕がある場合のみ）。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。 http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius
講義概要・到達目標	【対象者の目安】 ・中級レベルまで既習の方 ・学習歴が3年程度以上あり、中級レベルの文法、会話をひと通りマスターした方 ・中国語検定2級程度を目指すレベルの方

【講義概要】 本講座では最新の中国時事情報などを取り入れて、ポイントとなる単語や文法の使い方を解説します。テキストの内容についてのディスカッションを通して、中国語の表現力や聴く・話す・書く能力を向上させます。	
講義スケジュール	
教科書	『時事中国語の教科書 2016年度版』朝日出版社 三瀧正道、陳祖僖 著 (本体1,900円+税) ISBN: 978-4-255-45278-4 *テキスト前半を学びます。
参考書	

講義スケジュール	
教科書	『新・すぐに使える中国語—忘れられない日々 <レベル2>』 郁文堂 楊光俊/李貞愛/渡部修士 著 (本体2,600円+税) ISBN: 978-4-261-01877-6 *テキスト前半を学びます
参考書	

J009 中国語講座準中級Ⅰ

特別受講生

英文科目名	
大学名	立命館大学
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL: 075-465-8426 FAX: 075-465-8429
担当教員	永井 英美
開講日程	2016年04月12日(火)～2016年07月19日(火) 6講時 18時10分～19時40分(毎週火曜日) ※全14回 ※休講2016/05/03(火) ※補講(予定)2016/07/26(火) ※やむを得ない事情により、開講日が休講となった場合、上記補講日に授業を行う場合があります。
単位数	0 開講区分 前期・春学期
受講料	・一般: 26,000円 ・学生(立命館以外): 20,000円 ・学生(立命館): 14,000円 ・立命館関係者(教職員(現・元)・卒業生): 20,000円 *税込
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	15 京カレッジ定員 5
試験・評価方法	
超過時の選考方法	先着順
別途負担費用	テキスト代
その他特記事項	■開講日程、担当講師は止むを得ない事情により変更(臨時代講や補講)となる場合があります。 ■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。開講については確定次第、希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局(TEL: 075-465-8426)までお問い合わせ下さい。 ■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます(定員に余裕がある場合のみ)。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。 http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius
講義概要・到達目標	
【対象者の目安】	・学習歴が1年程度あり、初級レベルの文法事項をひと通り学び終えた方 ・中国語検定4級程度を目指すレベルの方
【講義概要】	本講座では初級で学んだ基礎知識を土台に、基本的な文法を復習しながら、初級レベルより発展した文法事項や会話表現を学習します。

J010 中国語講座準中級Ⅱ

特別受講生

英文科目名	
大学名	立命館大学
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL: 075-465-8426 FAX: 075-465-8429
担当教員	彭 奕漫
開講日程	2016年04月08日(金)～2016年07月15日(金) 6講時 18時10分～19時40分(毎週金曜日) ※全14回 ※休講2016/04/29(金) ※補講(予定)2016/07/22(金) ※やむを得ない事情により、開講日が休講となった場合、上記補講日に授業を行う場合があります。
単位数	0 開講区分 前期・春学期
受講料	・一般: 26,000円 ・学生(立命館以外): 20,000円 ・学生(立命館): 14,000円 ・立命館関係者(教職員(現・元)・卒業生): 20,000円 *税込
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	15 京カレッジ定員 5
試験・評価方法	
超過時の選考方法	先着順
別途負担費用	テキスト代
その他特記事項	■記載の開講日程、担当講師は、止むを得ない事情により変更(臨時代講や補講)となる場合があります。 ■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。開講については確定次第、希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局(TEL: 075-465-8426)までお問い合わせ下さい。 ■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます(定員に余裕がある場合のみ)。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。 http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius
講義概要・到達目標	
【対象者の目安】	・準中級Ⅰから継続受講の方 ・学習歴が1年～2年程度あり初級レベルの文法事項をひと通り学び終えた方 ・中国語検定4級程度を目指すレベルの方
【講義概要】	本講座では初級および準中級Ⅰで学んだ基礎知識を土台に、初級レベルより発展した文法事項や会話表現を学習します。
講義スケジュール	

教科書	『話してみたい 中国語スピーキング沙龍』朝日出 版社 相原茂, 蘇紅 著 (本体2,200円+税) ISBN: 978-4-255-45247-0 *テキスト後半(第7課~)を学びます。
参考書	

参考書	
-----	--

J011 中国語講座初級 I

特別受講生

英文科目名			
大学名	立命館大学		
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL: 075-465-8426 FAX: 075-465-8429		
担当教員	川辺 比奈		
開講日程	2016年04月14日(木)~2016年07月21日(木) 6講時 18時10分~19時40分(毎週木曜日) ※全14回 ※休講2016/05/05(木) ※補講(予定)2016/07/28(木) ※やむを得ない事情により、開講日が休講となった 場合、上記補講日に授業を行う場合があります。		
単位数	0	開講区分	前期・春学期
受講料	・一般: 26,000円 ・学生(立命館以外): 20,000円 ・学生(立命館): 14,000円・立命館 関係者(教職員(現・元)・卒業生): 20,000円 * 税込		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	15	京カレッジ定員	5
試験・評価方法			
超過時の選考方法	先着順		
別途負担費用	テキスト代		
その他特記事項	<p>■開講日程、担当講師は止むを得ない事情により変更(臨時代講や補講)となる場合があります。</p> <p>■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。開講については確定次第、希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局(TEL: 075-465-8426)までお問い合わせ下さい。</p> <p>■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます(定員に余裕がある場合のみ)。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。 http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius</p>		
講義概要・到達目標			
【対象者の目安】	<p>・発音(ピン音)を一通り学び、挨拶などごく簡単な会話を修了した方</p> <p>・中国語検定準4級程度を目指すレベルの方</p>		
【講義概要】	<p>入門で身につけた基礎を生かし、日常よく使う表現と初級文法を学びます。発音を復習しながら進むので、レベルに不安のある方も大丈夫です。学習した文を使ってクラスの仲間と中国語で会話もします。一緒に楽しみながら聴き話す力を伸ばしましょう。</p>		
講義スケジュール			
教科書	『中国語はじめの一步(最新2訂版)』白水社 竹島金吾 監修/尹景春/竹島毅著(本体¥2,200+税) ISBN: 978-4-560-06925-7 *テキスト前半を学びます		

J012 中国語講座初級 II

特別受講生

英文科目名			
大学名	立命館大学		
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL: 075-465-8426 FAX: 075-465-8429		
担当教員	彭 奕漫		
開講日程	2016年04月14日(木)~2016年07月21日(木) 6講時 18時10分~19時40分(毎週木曜日) ※全14回 ※休講2016/05/05(木) ※補講(予定)2016/07/28(木) ※やむを得ない事情により、開講日が休講となった 場合、上記補講日に授業を行う場合があります。		
単位数	0	開講区分	前期・春学期
受講料	・一般: 26,000円 ・学生(立命館以外): 20,000円 ・学生(立命館): 14,000円 ・立命館関係者(教職員(現・元)・卒業生): 20,000円 *税込		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	15	京カレッジ定員	5
試験・評価方法			
超過時の選考方法	先着順		
別途負担費用	テキスト代		
その他特記事項	<p>■記載の開講日程、担当講師は、止むを得ない事情により変更(臨時代講や補講)となる場合があります。</p> <p>■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。開講については確定次第、希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局(TEL: 075-465-8426)までお問い合わせ下さい。</p> <p>■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます(定員に余裕がある場合のみ)。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。 http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius</p>		
講義概要・到達目標			
【対象者の目安】	<p>・初級Iから継続受講の方</p> <p>・学習歴が半年程度あり、ピンインがよめ、基礎文法を学習された方・中国語検定準4級程度を目指すレベルの方</p>		
【講義概要】	<p>本講座では初級Iで学んだ基礎知識を土台に、初級レベルの文法を学び、基本的な会話力を養います。学習した文を使い、クラスの仲間と中国語で会話もします。一緒に聴き話す力を伸ばしましょう。</p>		
講義スケジュール			
教科書	『21世紀-新漢語 初級編』郁文堂 (本体2,800円+税) ISBN: 978-4-261-01851-6 *テキスト後半からのスタートとなりますが、新規の方も是非受講下さい。		
参考書			

J013 中国語講座中級

特別受講生

英文科目名			
大学名	立命館大学		
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL: 075-465-8426 FAX: 075-465-8429		
担当教員	川辺 比奈		
開講日程	2016年04月13日(水)～2016年07月20日(水) 6講時 18時10分～19時40分(毎週水曜日) ※全14回 ※休講2016/05/04(水) ※補講(予定)2016/07/27(水) ※やむを得ない事情により、開講日が休講となった場合、上記補講日に授業を行う場合があります。		
単位数	0	開講区分	前期・春学期
受講料	・一般: 26,000円 ・学生(立命館以外): 20,000円 ・学生(立命館): 14,000円 ・立命館関係者(教職員(現・元)・卒業生): 20,000円 *税込		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	15	京カレッジ定員	5
試験・評価方法			
超過時の選考方法	先着順		
別途負担費用	テキスト代		
その他特記事項	<p>■開講日程、担当講師は止むを得ない事情により変更(臨時代講や補講)となる場合があります。</p> <p>■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。開講については確定次第、希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局(TEL: 075-465-8426)までお問い合わせ下さい。</p> <p>■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます(定員に余裕がある場合のみ)。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。 http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/cc/confucius</p>		
講義概要・到達目標			
【対象者の目安】	<ul style="list-style-type: none"> ・準中級レベルまで既習の方 ・学習歴が2年程度以上あり、準中級レベルの文法、会話をひと通りマスターした方 ・中国語検定3級程度を目指すレベルの方 		
【講義概要】	<p>本講座では準中級までに学んだ知識を土台に、より発展した文法事項や会話表現の習得を目指します。一定分量の文章を読むことにより読解力、語彙量、書く力、表現力など総合的な中国語能力を向上させましょう。教科書は年間を通して使用する予定です。</p> <p>※教科書は年間を通して使用する予定です。ゆっくり確実に学習したい方にオススメです。</p>		
講義スケジュール			
教科書	『実力のつく中国語』白帝社 楊凱榮・張麗群 著 (本体2,600円+税) ISBN: 978-4-89174-536-3 *前期はテキストの前半を学び、後期は同じく中級でテキスト後半を学びます。		
参考書			

J014 中国語講座入門

特別受講生

英文科目名			
大学名	立命館大学		
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL: 075-465-8426 FAX: 075-465-8429		
担当教員	彭 奕漫		
開講日程	2016年04月13日(水)～2016年07月20日(水) 6講時 18時10分～19時40分(毎週水曜日) ※全14回 ※休講2016/05/04(水) ※補講(予定)2016/07/27(水) ※やむを得ない事情により、開講日が休講となった場合、上記補講日に授業を行う場合があります。		
単位数	0	開講区分	前期・春学期
受講料	・一般: 26,000円 ・学生(立命館以外): 20,000円 ・学生(立命館): 14,000円 ・立命館関係者(教職員(現・元)・卒業生): 20,000円 *税込		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	15	京カレッジ定員	5
試験・評価方法			
超過時の選考方法	先着順		
別途負担費用	テキスト代		
その他特記事項	<p>■記載の開講日程、担当講師は、止むを得ない事情により変更(臨時代講や補講)となる場合があります。</p> <p>■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。開講については確定次第、希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局(TEL: 075-465-8426)までお問い合わせ下さい。</p> <p>■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます(定員に余裕がある場合のみ)。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。 http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/cc/confucius</p>		
講義概要・到達目標			
【対象者の目安】	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめて中国語を学習する方 ・もう一度発音の基礎から学びなおしたい方 		
【講義概要】	<p>本講座では発音の習得を重視しながら、初歩的な文法を分かり易く丁寧に解説します。練習問題や簡単な会話文を繰り返し練習することで、無理なく楽しみながら、中国語学習の第一歩を踏み出すことを目指します。</p>		
講義スケジュール			
教科書	<p>「彭先生と一緒に中国語を学ぼう! -発音基礎及びトレーニング」 (株)メイブリッジ・インターナショナル発行 彭奕漫 著 2,700円(税込) ISBN: 978-4-9907160-0-4 *一般書店では取り扱っていません。下記よりご購入ください。 (株)メイブリッジ・インターナショナルhttp://maybj.com/original21.html TEL: 0774-23-0327 FAX: 0774-23-0978</p>		
参考書			

J016 京都橋大学現代ビジネス学部 経営デザインフォーラム「観光ビジネスとそれを支える情報システム」

特別受講生

英文科目名			
大学名	京都橋大学		
連絡先	京都橋大学エクステンションセンター Tel: 075-574-4186 E-mail: aca-ext@tachibana-u.ac.jp		
担当教員	水嶋 英治 (筑波大学情報学群 知識情報・図書館学類教授) 堀池 雅彦 (京都市山科区長) 谷口 知司 (京都橋大学現代ビジネス学部都市環境デザイン学科教授) コーディネーター: 阪本 崇 (京都橋大学現代ビジネス学部経営学科教授)		
開講日程	2016年10月01日(土)～2016年10月01日(土) 3～5講時 13時30分～17時00分		
単位数	0	開講区分	後期・秋学期
受講料	無料		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	250	京カレッジ定員	30
試験・評価方法			
超過時の選考方法	先着順に受付		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標	観光がこれからの日本経済を支える重要な成長分野とされるなか、観光ビジネスとそれを支えるさまざまな仕組みにも注目が集まっています。本講座では、なかでも情報システムの活用にも注目を集めています。第一部・基調講演では、博物館学とデジタル・アーカイブの第一人者である水嶋英治氏をお迎えし、氏が行ってきたトルコアヤソフィア大聖堂博物館、リビヤの博物館、弘道館などでの事例をもとに、デジタルアーカイブ開発の意味や意義、その活用について報告します。第二部シンポジウムでは、基調講演を受けて、デジタルアーカイブや交通案内システムなど、さまざまな情報技術が観光ビジネスの発展にいかにかに寄与できるかについて、自治体関係者も交えながら、その可能性について考えたいと思います。		
講義スケジュール	2016年10月01日(土) 13時30分～17時00分		
第一部: 基調講演	「文化資料のデジタルアーカイブ」 水嶋 英治 (筑波大学情報学群 知識情報・図書館学類教授)		
第二部: シンポジウム	「観光を支える情報ビジネスに何が求められるか?」 シンポジスト ・水嶋 英治 (筑波大学情報学群 知識情報・図書館学類教授) ・堀池 雅彦 (京都市山科区長) ・谷口 知司 (京都橋大学現代ビジネス学部都市環境デザイン学科教授)		
コーディネーター	・阪本 崇 (京都橋大学現代ビジネス学部経営学科教授)		
教科書			
参考書			

J 市民教養講座

J017 ビジネス中国語講座 (中級)

特別受講生

英文科目名			
大学名	立命館大学		
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL: 075-465-8426 FAX: 075-465-8429		
担当教員	楊 彩虹		
開講日程	2016年09月24日(土)～2017年01月07日(土) 6講時 18時10分～19時40分 (毎週土曜日) ※全14回 ※休講12/24、12/31 ※補講(予定)2017/01/14(土) ※やむを得ない事情により、開講日が休講となった場合、上記補講日に授業を行う場合があります。		
単位数	0	開講区分	後期・秋学期
受講料	・一般: 26,000円 ・学生(立命館以外): 20,000円 ・学生(立命館): 14,000円 ・立命館関係者(教職員(現・元)・卒業生): 20,000円 *税込		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	15	京カレッジ定員	5
試験・評価方法			
超過時の選考方法	先着順		
別途負担費用	テキスト代		
その他特記事項	<p>■開講日程、担当講師は止むを得ない事情により変更(臨時代講や補講)となる場合があります。</p> <p>■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。秋学期の開講については9月中頃に確定し希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局(TEL: 075-465-8426)までお問い合わせ下さい。</p> <p>■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます(定員に余裕がある場合のみ)。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。 http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius</p>		
講義概要・到達目標	<p>【対象者の目安】 ひと通りの文法事項を習得し、中国語検定2級程度を目指すレベルの方</p> <p>【講義概要】 基礎的な中国語文法を習得した方を対象とし、ビジネスで役立つ内容をテキストに、現場で役立つ実用的な中国語能力を高めることを目標とします。授業では、グループ会話、スピーチ、作文、リスニング等、さまざまな練習を行います。</p>		
講義スケジュール			
教科書	未定 *決定次第立命館孔子学院のホームページに掲載しご案内します。		
参考書			

J018 新HSK対策講座 (5級)

特別受講生

英文科目名			
大学名	立命館大学		

連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL: 075-465-8426 FAX: 075-465-8429		
担当教員	楊 彩虹		
開講日程	2016年09月21日(水)～2016年11月30日(水) 6講時18時10分～19時40分(毎週水曜日) ※全10回 ※休講2016/11/23(水・祝) ※補講(予定)2016/12/07(水) ※やむを得ない事情により、開講日が休講となった場合、上記補講日に授業を行う場合があります。		
単位数	0	開講区分	後期・秋学期
受講料	・一般: 19,000円 ・学生(立命館以外): 15,000円 ・学生(立命館): 11,000円 ・立命館関係者(教職員(現・元)・卒業生): 15,000円 *税込		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	15	京カレッジ定員	5
試験・評価方法			
超過時の選考方法	先着順		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>■開講日程、担当講師は止むを得ない事情により変更(臨時代講や補講)となる場合があります。</p> <p>■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。秋学期の開講については9月中頃に確定し希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局(TEL: 075-465-8426)までお問い合わせ下さい。</p> <p>■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます(定員に余裕がある場合のみ)。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。 http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/cc/confucius</p>		
講義概要・到達目標			
【対象者の目安】 新HSK5級を目指す方 【講義概要】 新HSK(漢語水平考試)の5級受験を目指す皆様を対象とする実践的な対策講座です。新試験が初めての方も安心、講師が徹底指導にあたります。			
講義スケジュール			
教科書	未定 *決定次第立命館孔子学院のホームページに掲載しご案内します。		
参考書			

J019 中国語会話(上級)

特別受講生

英文科目名	
大学名	立命館大学
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL: 075-465-8426 FAX: 075-465-8429
担当教員	王 大川

開講日程	2016年09月27日(火)～2017年01月10日(火) 6講時18時10分～19時40分(毎週火曜日) ※全14回 ※休講12/27,1/3 ※補講(予定)2017/01/17(火) ※やむを得ない事情により、開講日が休講となった場合、上記補講日に授業を行う場合があります。		
単位数	0	開講区分	後期・秋学期
受講料	・一般: 26,000円 ・学生(立命館以外): 20,000円 ・学生(立命館): 14,000円 ・立命館関係者(教職員(現・元)・卒業生): 20,000円 *税込		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	15	京カレッジ定員	5
試験・評価方法			
超過時の選考方法	先着順		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>■開講日程、担当講師は止むを得ない事情により変更(臨時代講や補講)となる場合があります。</p> <p>■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。開講については確定次第、希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局(TEL: 075-465-8426)までお問い合わせ下さい。</p> <p>■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます(定員に余裕がある場合のみ)。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。 http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/cc/confucius</p>		
講義概要・到達目標			
【対象者の目安】 ・学習歴が4年程度以上あり、より自然な表現力を身につけたい方 ・中国語検定準1級程度を目指すレベルの方 【講義概要】 未定			
講義スケジュール			
教科書	未定 *決定次第立命館孔子学院のホームページに掲載しご案内します。		
参考書			

J020 中国語講座準上級

特別受講生

英文科目名			
大学名	立命館大学		
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL: 075-465-8426 FAX: 075-465-8429		
担当教員	王 大川		
開講日程	2016年09月23日(金)～2017年01月06日(金) 6講時18時10分～19時40分(毎週金曜日) ※全14回 ※休講12/23,12/30 ※補講(予定)2017/01/13(金) ※やむを得ない事情により、開講日が休講となった場合、上記補講日に授業を行う場合があります。		
単位数	0	開講区分	後期・秋学期

受講料	・一般：26,000円 ・学生（立命館以外）：20,000円 ・学生（立命館）：14,000円 ・立命館関係者（教職員（現・元）・卒業生）：20,000円 *税込
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	15 京カレッジ定員 5
試験・評価方法	
超過時の選考方法	
別途負担費用	テキスト代
その他特記事項	<p>■開講日程、担当講師は止むを得ない事情により変更（臨時代講や補講）となる場合があります。</p> <p>■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。秋学期の開講については9月中頃に確定し希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局（TEL：075-465-8426）までお問い合わせ下さい。</p> <p>■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます（定員に余裕がある場合のみ）。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。</p> <p>http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius</p>
講義概要・到達目標	
【対象者の目安】	<ul style="list-style-type: none"> ・中級レベルまで既習の方 ・学習歴が3年程度以上あり、中級レベルの文法、会話をひと通りマスターした方 ・中国語検定2級程度を目指すレベルの方
【講義概要】	<p>本講座では最新の中国時事情報などを取り入れて、ポイントとなる単語や文法の使い方を解説します。テキストの内容についてのディスカッションを通して、中国語の表現力や聴く・話す・書く能力を向上させます。</p>
講義スケジュール	
教科書	*未定 決定次第立命館孔子学院のホームページに掲載しご案内します。
参考書	

J021 中国語講座準中級Ⅰ

特別受講生

英文科目名	
大学名	立命館大学
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL：075-465-8426 FAX：075-465-8429
担当教員	彭 奕漫
開講日程	2016年09月29日（木）～2017年01月12日（木） 6講時 18時10分～19時40分（毎週木曜日） ※全14回 ※休講11/3,12/29 ※補講（予定）2017/01/19（木） ※やむを得ない事情により、開講日が休講となった場合、上記補講日に授業を行う場合があります。
単位数	0 開講区分 後期・秋学期
受講料	・一般：26,000円 ・学生（立命館以外）：20,000円 ・学生（立命館）：14,000円 ・立命館関係者（教職員（現・元）・卒業生）：20,000円 *税込

会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	15 京カレッジ定員 5
試験・評価方法	
超過時の選考方法	先着順
別途負担費用	テキスト代
その他特記事項	<p>■開講日程、担当講師は止むを得ない事情により変更（臨時代講や補講）となる場合があります。</p> <p>■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。秋学期の開講については9月中頃に確定し希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局（TEL：075-465-8426）までお問い合わせ下さい。</p> <p>■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます（定員に余裕がある場合のみ）。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。</p> <p>http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius</p>
講義概要・到達目標	
【対象者の目安】	<ul style="list-style-type: none"> ・初級Ⅱから継続受講の方 ・学習歴が1年程度あり、初級レベルの文法事項をひと通り学び終えた方・中国語検定4級程度を目指すレベルの方
【講義概要】	<p>本講座では初級で学んだ基礎知識を土台に、基本的な文法を復習しながら、初級レベルより発展した文法事項や会話表現を学習します。</p>
講義スケジュール	
教科書	『時事中国語の教科書 2016年度版』朝日出版社 三瀧正道、陳祖蓓 著 (本体 1,900円+税) ISBN：978-4-255-45278-4 ※テキスト後半を学びます。
参考書	

J022 中国語講座準中級Ⅱ

特別受講生

英文科目名	
大学名	立命館大学
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL：075-465-8426 FAX：075-465-8429
担当教員	永井 英美
開講日程	2016年09月27日（火）～2017年01月10日（火） 6講時 18時10分～19時40分（毎週火曜日） ※全14回 ※休講12/27、1/3 ※補講（予定）2017/01/17（火） ※やむを得ない事情により、開講日が休講となった場合、上記補講日に授業を行う場合があります。
単位数	0 開講区分 後期・秋学期
受講料	・一般：26,000円 ・学生（立命館以外）：20,000円 ・学生（立命館）：14,000円 ・立命館関係者（教職員（現・元）・卒業生）：20,000円 *税込
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	15 京カレッジ定員 5
試験・評価方法	
超過時の選考方法	先着順

別途負担費用	テキスト代
その他特記事項	<p>■開講日程、担当講師は止むを得ない事情により変更（臨時代講や補講）となる場合があります。</p> <p>■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。秋学期の開講については9月中頃に確定し希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局（TEL：075-465-8426）までお問い合わせ下さい。</p> <p>■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます（定員に余裕がある場合のみ）。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。</p> <p>http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius</p>
講義概要・到達目標	
<p>【対象者の目安】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準中級Ⅰから継続受講の方 ・学習歴が1年～2年程度あり初級レベルの文法事項をひと通り学び終えた方 ・中国語検定4級程度を目指すレベルの方 <p>【講義概要】</p> <p>本講座では初級および準中級Ⅰで学んだ基礎知識を土台に、初級レベルより発展した文法事項や会話表現を学習します。</p>	
講義スケジュール	
教科書	『新・すぐに使える中国語一忘れられない日々 <レベル2>』 郁文堂 楊光俊/李貞愛/渡部修士 著（本体2,600円+税） *テキスト後半を学びます
参考書	

その他特記事項	<p>を開講しない場合があります。秋学期の開講については9月中頃に確定し希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局（TEL：075-465-8426）までお問い合わせ下さい。</p> <p>■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます（定員に余裕がある場合のみ）。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。</p> <p>http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius</p>
講義概要・到達目標	
<p>【対象者の目安】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入門から継続受講の方 ・発音（ピン音）を一通り学び、挨拶などごく簡単な会話を修了した方 ・中国語検定準4級程度を目指すレベルの方 <p>【講義概要】</p> <p>入門で身につけた基礎を生かし、日常よく使う表現と初級文法を学びます。発音を復習しながら進むので、レベルに不安のある方も大丈夫です。学習した文を使ってクラスの仲間と中国語で会話もします。一緒に楽しみながら聴き話す力を伸ばしましょう。</p>	
講義スケジュール	
教科書	未定 *決定次第立命館孔子学院のホームページに掲載しご案内します。
参考書	

J023 中国語講座初級Ⅰ

特別受講生

英文科目名	
大学名	立命館大学
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL：075-465-8426 FAX：075-465-8429
担当教員	彭 奕漫
開講日程	2016年09月21日（水）～2017年01月11日（水） 6講時 18時10分～19時40分（毎週水曜日） ※全14回 ※休講 11/23,12/28,1/4 ※補講（予定）2017/01/18（水） ※やむを得ない事情により、開講期間中に休講日が発生した場合、上記補講日に授業を行う場合があります。
単位数	0
開講区分	後期・秋学期
受講料	・一般：26,000円 ・学生（立命館以外）：20,000円 ・学生（立命館）：14,000円・立命館関係者（教職員（現・元）・卒業生）：20,000円 *税込
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	15
京カレッジ定員	5
試験・評価方法	
超過時の選考方法	先着順
別途負担費用	テキスト代
その他特記事項	<p>■開講日程、担当講師は止むを得ない事情により変更（臨時代講や補講）となる場合があります。</p> <p>■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。秋学期の開講については9月中頃に確定し希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局（TEL：075-465-8426）までお問い合わせ下さい。</p>

J024 中国語講座初級Ⅱ

特別受講生

英文科目名	
大学名	立命館大学
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL：075-465-8426 FAX：075-465-8429
担当教員	川辺 比奈
開講日程	2016年09月29日（木）～2017年01月12日（木） 6講時18時10分～19時40分（毎週木曜日） ※全14回 ※休講11/3、12/29 ※補講（予定）2017/01/19（木） ※やむを得ない事情により、開講期間中に休講日が発生した場合、上記補講日に授業を行う場合があります
単位数	0
開講区分	後期・秋学期
受講料	・一般：26,000円 ・学生（立命館以外）：20,000円 ・学生（立命館）：14,000円 ・立命館関係者（教職員（現・元）・卒業生）：20,000円 *税込
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	15
京カレッジ定員	5
試験・評価方法	
超過時の選考方法	先着順
別途負担費用	テキスト代
その他特記事項	<p>■開講日程、担当講師は止むを得ない事情により変更（臨時代講や補講）となる場合があります。</p> <p>■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。秋学期の開講については9月中頃に確定し希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局（TEL：075-465-8426）までお問い合わせ下さい。</p>

J025 中国語講座中級

特別受講生

英文科目名	
大学名	立命館大学
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL: 075-465-8426 FAX: 075-465-8429
担当教員	川辺 比奈
開講日程	2016年09月21日(水)～2017年01月11日(水) 6講時 18時10分～19時40分(毎週水曜日) ※全14回 ※休講 11/23、12/28、1/4 ※補講(予定) 2017/01/18(水) ※やむを得ない事情により、開講期間中に休講日が発生した場合、上記補講日に授業を行う場合があります
単位数	0 開講区分 後期・秋学期
受講料	・一般: 26,000円 ・学生(立命館以外): 20,000円 ・学生(立命館): 14,000円 ・立命館関係者(教職員(現・元)・卒業生): 20,000円 *税込
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	15 京カレッジ定員 5
試験・評価方法	
超過時の選考方法	先着順
別途負担費用	テキスト代
その他特記事項	<p>■開講日程、担当講師は止むを得ない事情により変更(臨時代講や補講)となる場合があります。</p> <p>■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。秋学期の開講については9月中頃に確定し希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局(TEL: 075-465-8426)までお問い合わせ下さい。</p> <p>■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます(定員に余裕がある場合のみ)。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。 http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/cc/confucius</p>

その他特記事項	<p>■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます(定員に余裕がある場合のみ)。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。 http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/cc/confucius</p>
講義概要・到達目標	
【対象者の目安】	<p>・初級Iから継続受講の方</p> <p>・学習歴が半年程度あり、ピンインがよめ、基礎文法を学習された方・中国語検定準4級程度を目指すレベルの方</p>
【講義概要】	<p>本講座では初級Iで学んだ基礎知識を土台に、初級レベルの文法を学び、基本的な会話力を養います。学習した文を使い、クラスの仲間と中国語で会話もします。一緒に聴き話す力を伸ばしましょう。</p>
講義スケジュール	
教科書	『中国語ははじめの一步(最新2訂版)』白水社 竹島金吾 監修/尹景春/竹島毅著(本体¥2,200+税) *テキスト後半を学びます
参考書	

J026 中国語講座入門

特別受講生

英文科目名	
大学名	立命館大学
連絡先	立命館孔子学院事務局 TEL: 075-465-8426 FAX: 075-465-8429
担当教員	彭 奕漫
開講日程	2016年09月23日(金)～2017年01月06日(金) 6講時 18時10分～19時40分(毎週金曜日) ※全14回 ※休講 12/23、12/30 ※補講(予定) 2017/01/13(金) ※やむを得ない事情により、開講期間中に休講日が発生した場合、上記補講日に授業を行う場合があります。
単位数	0 開講区分 後期・秋学期
受講料	・一般: 26,000円 ・学生(立命館以外): 20,000円 ・学生(立命館): 14,000円 ・立命館関係者(教職員(現・元)・卒業生): 20,000円 *税込
会場	キャンパスプラザ京都
授業定員	15 京カレッジ定員 5
試験・評価方法	
超過時の選考方法	先着順
別途負担費用	テキスト代
その他特記事項	<p>■開講日程、担当講師は止むを得ない事情により変更(臨時代講や補講)となる場合があります。</p> <p>■最少開講人数に満たない場合等の都合により講座を開講しない場合があります。秋学期の開講については9月中頃に確定し希望者にご案内します。詳しくは立命館孔子学院事務局(TEL: 075-465-8426)までお問い合わせ下さい。</p> <p>■出願期間以降の申し込みは、立命館孔子学院で受け付けます(定員に余裕がある場合のみ)。各講座についての詳細は、立命館孔子学院のホームページにも掲載します。 http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/cc/confucius</p>

講義概要・到達目標	
【対象者の目安】	<p>・準中級レベルまで既習の方</p> <p>・学習歴が2年程度以上あり、準中級レベルの文法、会話をひと通りマスターした方</p> <p>・中国語検定3級程度を目指すレベルの方</p>
【講義概要】	<p>本講座では準中級までに学んだ知識を土台に、より発展した文法事項や会話表現の習得を目指します。一定分量の文章を読むことにより読解力、語彙量、書く力、表現力など総合的な中国語能力を向上させましょう。</p>
講義スケジュール	
教科書	『実力のつく中国語』白帝社 楊凱榮・張麗群 著 (本体2,600円+税) ISBN: 978-4-89174-536-3 *テキスト後半を学びます。
参考書	

講義概要・到達目標	
【対象者の目安】 ・はじめて中国語を学習する方 ・もう一度発音の基礎から学びなおしたい方 【講義概要】 本講座では発音の習得を重視しながら、初歩的な文法を分かり易く丁寧に解説します。練習問題や簡単な会話を繰り返し練習することで、無理なく楽しみながら、中国語学習の第一歩を踏み出すことを目指します。	
講義スケジュール	
教科書	「彭先生と一緒に中国語を学ぼう！－発音基礎及びトレーニング」 (株)メイブリッジ・インターナショナル発行 彭奕漫 著 2,700円(税込) ISBN: 978-4-9907160-0-4 *一般書店では取り扱っていません。下記よりご購入ください。 (株)メイブリッジ・インターナショナルhttp://may-bj.com/original21.html TEL: 0774-23-0327 FAX: 0774-23-0978
参考書	

J101 宅地建物取引士資格試験対策講座

特別受講生

英文科目名	
大学名	京都学園大学
連絡先	キャリアサポートセンター TEL: 075-406-9146
担当教員	個人委託
開講日程	2016年05月20日(金)～2016年10月04日(火)(予定) 5～6講時 16時00分～19時10分(週1回) ※主に金曜 夏期休暇中は不定曜日
単位数	0 開講区分 通年
受講料	70,900円(予定)
会場	京都太秦キャンパス
授業定員	50 京カレッジ定員 5
試験・評価方法	
超過時の選考方法	抽選
別途負担費用	
その他特記事項	定員が確保できない場合、不開講になる場合があります。 また、開講日程等は事情により変更することもあります。詳細は、お問い合わせください。
講義概要・到達目標	
不動産売買をする際に必要となる重要事項の説明や証明書の交付、契約書の署名捺印ができる資格です。	
講義スケジュール	
権利関係 法令上の制限・税・その他 宅建業法 答案練習会	
教科書	平成28年版 パーフェクト宅建 要点整理(予定)
参考書	平成28年版 パーフェクト宅建 一問一答(予定)

J102 楽しい塑造教室－頭像とテラコッタ造り－

特別受講生

英文科目名	
大学名	京都教育大学
連絡先	総務・企画課公開講座担当 TEL: 075-644-8121 FAX: 075-644-8113
担当教員	第1～5回 木代 喜司(名誉教授) 第6～10回 谷口 淳一(美術科教授)
開講日程	2016年05月28日(土)～2016年07月30日(土) 3～5講時 13時30分～16時30分
単位数	0 開講区分 前期・春学期
受講料	10,000円
会場	科目開設校キャンパス
授業定員	34 京カレッジ定員 5
試験・評価方法	
超過時の選考方法	抽選
別途負担費用	材料費(3,500円程度)
その他特記事項	
講義概要・到達目標	
現職教員や一般市民の方々を対象に、塑造に親しみ、塑造の楽しさを味わい、学習指導や生活の中に活かすために頭像造りとテラコッタ造りを行います。それとともに石膏による型取り成型も行います。	
講義スケジュール	
第1回 5月28日(土曜日) デッサン並びに芯棒づくり(持ち物 スケッチブック・鉛筆)	
第2回 6月 4日(土曜日) 粘土による制作	
第3回 6月11日(土曜日) 粘土による制作	
第4回 6月18日(土曜日) 粘土による制作	
第5回 6月25日(土曜日) 粘土による制作	
第6回 7月 2日(土曜日) 粘土による制作	
第7回 7月 9日(土曜日) 石膏による型取り成型	
第8回 7月16日(土曜日) 石膏による型取り成型	
第9回 7月23日(土曜日) 石膏による型取り成型	
第10回 7月30日(土曜日) 大そうじ・ミニ合評会	
教科書	
参考書	

J103 基礎から学ぶ地球科学

特別受講生

英文科目名	
大学名	京都教育大学
連絡先	総務・企画課公開講座担当 TEL: 075-644-8121 FAX: 075-644-8113
担当教員	谷口 慶祐(理学科准教授)
開講日程	2016年05月15日(日)～2016年07月03日(日) 1～2講時 9時00分～10時30分 11時00分～12時30分
単位数	0 開講区分 前期・春学期

受講料	11,500円※希望回のみ受講する場合は、下記「その他特記事項」を確認してください。		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	30	京カレッジ定員	5
試験・評価方法			
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用			
その他特記事項	1回単位での受講可能 ※出願時に、備考欄に「第〇回、第△回のみ」と記入してください ※受講料は回数×1,500円。※最終回のみ1,000円となります		
講義概要・到達目標			
固体地球、気象、天文などの地学の諸分野を、断片的な知識ではなくその考え方を主体に、基礎から詳しく最新的话题を含めて紹介します。また地学を教えておられる教員の方々と、授業内容について意見交換が出来る機会になれば幸いです。			
講義スケジュール			
第1回	5月15日 (日曜日)	9:00~10:30 地球の概観・内部構造	11:00~12:30 プレートテクトニクス
第2回	5月22日 (日曜日)	9:00~10:30 地震・地殻変動	11:00~12:30 火山と火成活動
第3回	5月29日 (日曜日)	9:00~10:30 地表の変化と地層	11:00~12:30 地球の歴史
第4回	6月5日 (日曜日)	9:00~10:30 日本列島	11:00~12:30 大気の構造
第5回	6月12日 (日曜日)	9:00~10:30 大気の運動	11:00~12:30 日本でみられる季節の気象
第6回	6月19日 (日曜日)	9:00~10:30 海水の性質とその運動	11:00~12:30 太陽系の天体
第7回	6月26日 (日曜日)	9:00~10:30 恒星・惑星の運動	11:00~12:30 恒星の性質と進化
第8回	7月3日 (日曜日)	9:00~10:30 恒星・銀河系・宇宙	
教科書			
参考書			

J104 むすびわざ講座 教養コース① 『日本書紀』区分論と記事の虚実 (付録：復元音で読む記紀万葉)

特別受講生

英文科目名	
大学名	京都産業大学
連絡先	京都産業大学 連携推進室 TEL: 075-705-2952 FAX: 075-705-1960
担当教員	京都産業大学 外国語学部 教授 森 博達
開講日程	2016年05月14 (土) ~ 2016年05月28日 (土) 3~4講時 13時00分~16時15分 (土曜日開講) (開場: 12:30)

単位数	0	開講区分	前期・春学期
受講料	有料: 2,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	50
試験・評価方法			
超過時の選考方法	先着順		
別途負担費用			
その他特記事項	①会場は、京都産業大学 壬生校地 むすびわざ館で開講します。 ■京都産業大学 むすびわざ館 〒600-8533 京都市下京区中堂寺命婦町1-10 【アクセス】 ◆JR丹波口から徒歩4分 ◆阪急大宮駅から徒歩7分 ◆京福四条大宮から徒歩7分 ②その他の生涯学習のご案内も含めパンフレットご希望の方は下記までご連絡ください。 ■京都産業大学 連携推進室 TEL:075-705-2952 FAX:075-705-1960 E-mail: renkei-tanto@star.kyoto-su.ac.jp		
講義概要・到達目標			
『日本書紀』(720年)は日本最高の古典です。書紀が無ければ7世紀以前の日本の歴史は語れません。書紀は漢文で書かれていますが、私はその音韻や語法を分析して、全30巻をα群・β群・巻30に三分し、成立の順序や執筆者まで特定しました。 その後、内部徴証の分析を進め、編纂の主導者も突き止めました。この研究をとおして、記事の虚実も明らかになります。聖徳太子の「十七条憲法」は原典のままではなく、大幅に添削されています。「大化改新の詔」等、孝徳朝の一連の詔勅などは編修の最終段階で書き加えられたものです。皇祖天照大神は文武朝以後に持統天皇をモデルに誕生したことも書紀区分論によって明らかとなります。 本講座では書紀自体から編修過程を明らかにし、記事の虚実に迫るとともに、おまけとして、「大和は国のマホラマ」など記紀万葉の歌を上代の音韻・アクセントで皆さまと朗詠します。			
講義スケジュール			
≪1日目≫2016年5月14日(土)			
① 『日本書紀』区分論 ② 編纂の主導者と記事の虚実			
≪2日目≫2016年5月28日(土)			
③ 皇祖天照大神はいつ誕生したか? ④ 復元音で朗読する記紀万葉の歌			
教科書			
参考書			

J105 むすびわざ講座 教養コース② 「家族をめぐる法的諸問題」

特別受講生

英文科目名	
大学名	京都産業大学
連絡先	京都産業大学 連携推進室 TEL: 075-705-2952 FAX: 075-705-1960

担当教員	京都産業大学 法学部 教授 山口 亮子		
開講日程	2016年06月11日(土)～2016年06月18日(土) 3～4講時 13時00分～16時15分(土曜日開講) (開場:12:30)		
単位数	0	開講区分	前期・春学期
受講料	有料:2,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	50	京カレッジ定員	50
試験・評価方法			
超過時の選考方法	先着順		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>①会場は、京都産業大学 壬生校地 むすびわざ館で開講します。</p> <p>■京都産業大学 むすびわざ館 〒600-8533 京都市下京区中堂寺命婦町1-10</p> <p>【アクセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆JR丹波口から徒歩4分 ◆阪急大宮駅から徒歩7分 ◆京福四条大宮から徒歩7分 <p>②その他の生涯学習のご案内も含めパンフレットご希望の方は下記までご連絡ください。</p> <p>■京都産業大学 連携推進室 TEL:075-705-2952 FAX:075-705-1960 E-mail: renkei-tanto@star.kyoto-su.ac.jp</p>		
講義概要・到達目標			
<p>≪1日目≫ 「日本の家族法」 ①日本の婚姻法 ②離婚と子ども</p> <p>≪2日目≫ 「世界の家族法」 ③ハーグ子奪取条約 ④日米の児童虐待対応の法制度”</p>			
講義スケジュール			
≪1日目≫2016年6月11日(土)			
≪2日目≫2016年6月18日(土)			
教科書			
参考書			

担当教員	京都産業大学 鳥インフルエンザ研究センター センター長 大槻 公一		
開講日程	2016年04月23日(土)～2016年04月23日(土) 3～4講時 14時00分～15時30分(開場:13:30)		
単位数	0	開講区分	前期・春学期
受講料	無料		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	120	京カレッジ定員	120
試験・評価方法			
超過時の選考方法	先着順		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>①会場は、京都産業大学 壬生校地 むすびわざ館で開講します。</p> <p>■京都産業大学 むすびわざ館 〒600-8533 京都市下京区中堂寺命婦町1-10</p> <p>【アクセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆JR丹波口から徒歩4分 ◆阪急大宮駅から徒歩7分 ◆京福四条大宮から徒歩7分 <p>②その他の生涯学習のご案内も含めパンフレットご希望の方は下記までご連絡ください。</p> <p>■京都産業大学 連携推進室 TEL:075-705-2952 FAX:075-705-1960 E-mail: renkei-tanto@star.kyoto-su.ac.jp</p>		
講義概要・到達目標			
<p>すべてのインフルエンザウイルスの祖先は、鳥類が主に感染する鳥インフルエンザウイルスです。1996年中国に出現したH5N1高病原性鳥インフルエンザウイルスは、変異を繰り返しながら、アジアから中東、ヨーロッパ、アフリカまで拡散して養鶏産業などに大きな被害を与えながら、ヒトへの感染も引き起こしています。2014年秋季から北アメリカ大陸にも侵入しました。米国では約5,000万羽ものニワトリが被害を受けました。中国では、H7N9低病原性鳥インフルエンザウイルスのヒトへの重篤な感染事例の発生が続いています。</p> <p>これらのウイルスは、ヒトへの感染力は今のところ弱いのですが、何らかの変異を起こして、ヒトに爆発的な感染を引き起こす能力を獲得することが心配されています。このウイルスが、現在どのような状態になっているのか、さらには近い将来、ヒトにパンデミックを引き起こすウイルスになる可能性はあるのか、解説します。</p>			
講義スケジュール			
教科書			
参考書			

J106 むすびわざ講座 公開コース① 「地球規模で広がっている鳥インフルエンザの被害 - ヒトへの脅威は増しているか? -」

特別受講生

英文科目名	
大学名	京都産業大学
連絡先	京都産業大学 連携推進室 TEL: 075-705-2952 FAX: 075-705-1960

J107 でんおん連続講座A 能の囃子・音曲の骨組みを理解する

特別受講生

英文科目名	
大学名	京都市立芸術大学
連絡先	京都市立芸術大学事務局連携推進課(事業推進担当) TEL: 075-334-2204 FAX: 075-334-2241
担当教員	藤田 隆則(日本伝統音楽研究センター教授)

開講日程	2016年05月11日(水)～2016年07月13日(水) 2講時 10時40分～12時10分(全10回)		
単位数	0	開講区分	前期・春学期
受講料	5,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	30	京カレッジ定員	10
試験・評価方法			
超過時の選考方法	先着順		
別途負担費用			
その他特記事項	受講料は全10回分です。		
講義概要・到達目標			
趣旨：室町時代に成立した能。2時間にもおよぶ力のこもる演技をしっかりと受けとめるためには、謡の内容理解に加え、囃子や音曲の理解も必要です。本講座では、能一番の小段の流れに焦点をあてて、音曲面の組立ての理解を試みます。能の鑑賞歴・稽古歴は長くても、わかったという実感が得られなと感じられる方、音楽面への関心がある方、ぜひ受講してください。			
講義スケジュール			
1回目(5月11日) 役者の登場 2回目(5月18日) 序：人物の登場(その1) 3回目(5月25日) 序：人物の登場(その2) 4回目(6月1日) 破：人物による物語の展開(その1) 5回目(6月8日) 破：人物による物語の展開(その2) 6回目(6月15日) 破：人物による物語の展開(その3) 7回目(6月22日) 破：人物による物語の展開(その4) 8回目(6月29日) 破：人物による物語の展開(その5) 9回目(7月6日) 急：物語のはてに働く、舞う 10回目(7月13日) 急：物語の結末と祝言			
教科書	なし		
参考書	なし		

J108 でんおん連続講座B 音楽としての義太夫節

特別受講生

英文科目名			
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	京都市立芸術大学事務局 連携推進課(事業推進担当) TEL：075-334-2204 FAX：075-334-2241		
担当教員	山田 智恵子(日本伝統音楽研究センター教授)		
開講日程	2016年05月11日(水)～2016年07月13日(水) 3講時 13時00分～14時30分(全10回)		
単位数	0	開講区分	前期・春学期
受講料	5,000円		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	30	京カレッジ定員	10
試験・評価方法			
超過時の選考方法	先着順		
別途負担費用			
その他特記事項	受講料は全10回分です。		

講義概要・到達目標	
人形浄瑠璃文楽の音楽である義太夫節は、近年まで多くの人々にとって身近なものでした。しかし現在は、長ったらしくて何をいっているかわからない、共感するにはほど遠いと感じる人が多くなっているのではないのでしょうか。 この講座では、ことば(詞章)と旋律の關係に着目し、音楽としての義太夫節にスポットを当てます。詞章を音読した後、その詞章がどのように節付けされているか、聞いていきます。七五調のことばのリズムや掛詞、発音などに留意して、義太夫節の音楽表現の豊かさを理解することを目指します。今年度は日本版ロミオとジュリエット、『妹背山婦女庭訓』三段目切「山の段」を取り上げる予定です。	
講義スケジュール	
1回目(5月11日)『妹背山婦女庭訓』の成立・上演史 2回目(5月18日)義太夫節の音楽構造と三味線の実態 3回目(5月25日)三段目のあらすじ及び風(音楽様式)の口伝 4回目(6月1日)「山の段」の音読と音楽その1 5回目(6月8日)「山の段」の音読と音楽その2 6回目(6月15日)「山の段」の音読と音楽その3 7回目(6月22日)「山の段」の音読と音楽その4 8回目(6月29日)「山の段」の音読と音楽その5 9回目(7月6日)文楽「山の段」(映像)その1 10回目(7月13日)文楽「山の段」(映像)その2	
教科書	なし
参考書	なし

J109 講座日本芸能史 I

特別受講生

英文科目名			
大学名	京都造形芸術大学		
連絡先	京都藝術学舎 TEL：075-791-9124(月～土10:00～16:00) FAX：075-791-9021		
担当教員	コーディネーター：田口章子(本学教授・舞台芸術研究センター主任研究員)		
開講日程	2016年04月11日(月)～2016年07月18日(月) 5講時 16時30分～17時50分 14回		
単位数	0	開講区分	前期・春学期
受講料	14,000円		
会場	京都芸術劇場 春秋座		
授業定員		京カレッジ定員	50
試験・評価方法			
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>●気象警報発令時の授業の取り扱いについて(講座日本芸能史 5講時/16:30～17:50) 本学では気象警報発令時の授業の取り扱いについて以下のような状況の場合休講となります。《午前11時現在、京都府南部に[暴風警報]が発令の場合3講時以降(13:10～)休講となります》 当講座開講時にこのような気象が予測される場合、休講を受講生の皆様に個別にご連絡することができません。 藝術学舎ホームページ(http://gakusha.jp/)または春秋座ホームページ(http://www.k-pac.org/)にて開講状況をお知らせいたしますので、ホームページをご確認ください。</p> <p>●当講義は日時を指定した特別講師によるオムニバス授業につき台風や交通機関の不通等によりやむを</p>		

その他特記事項	得ず休講になった場合、補講はできかねます。また、その際の補講並びに休講分の受講料は返還いたしかねますので、予めご了承下さい。 ●履修許可の通知を受けられた方は「受講のご案内(受講手続き)」をお送りしますので記載の各事項に同意してお申し込みください。
講義概要・到達目標	日本芸能史の古代・中世と近世
講義スケジュール	【前期】古代・中世 (01) 4月11日「総論Ⅰ」諏訪春雄(比較芸能史研究)【講義】 (02) 4月18日「警蹕[春日若宮おん祭]」今井祐次(春日大社禰宜)【講義】 (03) 4月25日「神楽」小林泰三(石見神楽面師)【実演】 (04) 5月9日「御神楽[火焚祭]」伏見稲荷大社(解説:木戸敏郎)【実演】 (05) 5月16日「舞楽[天王寺御霊会]」天王寺楽所雅亮会(解説:木戸敏郎)【実演】 (06) 5月23日「平曲」今井勉(琵琶演奏家)【実演】 (07) 5月30日「琵琶」上原まり(琵琶演奏家)【実演】 (08) 6月6日「能」大槻文蔵(能楽師)(解説:天野文雄)【実演】 (09) 6月13日「狂言」茂山良暢(狂言師)【実演】 (10) 6月20日「万歳(尾張万歳)」北川幸太郎【実演】 (11) 6月27日「華道」池坊由紀(華道家)【実演】 (12) 7月4日「茶道」筒井紘一(茶道研究)【講義】 (13) 7月11日「能」片山九郎右衛門(能楽師)【実演】 (14) 7月18日「壬生狂言」壬生大念仏講員(解説:八木聖弥)【実演】
教科書	
参考書	

J110 オペラの魅力 バロック～古典派、古典派～ロマン派、ロマン派～近代

特別受講生

英文科目名	
大学名	京都教育大学
連絡先	総務・企画課公開講座担当 TEL:075-644-8121 FAX:075-644-8113
担当教員	小笠原 真也(音楽科教授) 田邊 織恵(音楽科准教授) 二塚 直紀(声楽家・音楽科非常勤講師)
開講日程	2016年09月03日(土)～2016年10月29日(土) 3～4講時 13時00分～15時00分
単位数	0 開講区分 後期・秋学期
受講料	3,000円 ※希望回のみ受講する場合は[受講回数×1,000円]
会場	科目開設校キャンパス
授業定員	45 京カレッジ定員 9

試験・評価方法	
超過時の選考方法	抽選
別途負担費用	
その他特記事項	1回単位での受講可能 ※出願時に、備考欄に「第○回、第△回のみ」と記入してください ※受講料は[受講回数×1,000円]となります
講義概要・到達目標	演劇でありながらお話の進行が音楽によって行われる、それがオペラです。今講座では古今の名作オペラから、アリアや重唱をピックアップし、セリフのみの演劇が音楽の影響によりどのような変化をもたらされるのか、実例を示しながら音楽の力を感じていただきます。
講義スケジュール	第1回 9月3日(土曜日) オペラの魅力 バロック～古典派 第2回 10月8日(土曜日) オペラの魅力 古典派～ロマン派 第3回 10月29日(土曜日) オペラの魅力 ロマン派～近代
教科書	
参考書	

J112 むすびわざ講座 教養コース④ 「超高齢化時代の社会保障」

特別受講生

英文科目名	
大学名	京都産業大学
連絡先	京都産業大学 連携推進室 TEL:075-705-2952 FAX:075-705-1960
担当教員	京都産業大学 経済学部 教授 福井 唯嗣
開講日程	2016年11月12日(土)～2016年11月26日(土) 3～4講時 13時00分～16時15分(土曜日開講) (開場:12:30)
単位数	0 開講区分 後期・秋学期
受講料	有料:2,000円
会場	科目開設校キャンパス
授業定員	50 京カレッジ定員 50
試験・評価方法	
超過時の選考方法	
別途負担費用	
その他特記事項	①会場は、京都産業大学 壬生校地 むすびわざ館で開講します。 ■京都産業大学 むすびわざ館 〒600-8533 京都市下京区中堂寺命婦町1-10 【アクセス】 ◆JR丹波口から徒歩4分 ◆阪急大宮駅から徒歩7分 ◆京福四条大宮から徒歩7分 ②その他の生涯学習のご案内も含めパンフレットご希望の方は下記までご連絡ください。 ■京都産業大学 連携推進室 TEL:075-705-2952 FAX:075-705-1960 E-mail:renkei-tanto@star.kyoto-su.ac.jp

講義概要・到達目標	
詳細は、京都産業大学ホームページに掲載します。(3月中旬頃)	
京都産業大学「むすびわざ講座」ホームページ http://www.kyoto-su.ac.jp/project/area/musubiwaza.html	
講義スケジュール	
≪1日目≫2016年11月12日(土)	
≪2日目≫2016年11月26日(土)	
教科書	
参考書	

山殿を義満に譲り渡しました。義満は、権力と財力を惜しげもなく北山殿の造営に注ぎ、義満の理想とする山荘を完成させました。義満の北山殿は、西園寺の北山殿の遺構を余すところなく活用しました。さらに、現在の鹿苑寺境内の南側には、康子夫人や崇賢門院の御所も造営されました。	
今回の講座では、このような北山殿の特徴や変遷、さらに最近明らかになった埋蔵文化財の調査成果を取り上げながら、北山殿を概観します。	
講義スケジュール	
教科書	
参考書	

J113 むすびわざ講座 公開コース② 「北山殿の成り立ちと変遷」

特別受講生

英文科目名			
大学名	京都産業大学		
連絡先	京都産業大学 連携推進室 TEL:075-705-2952 FAX:075-705-1960		
担当教員	京都産業大学 文化学部 教授 鈴木 久男		
開講日程	2016年09月10日(土)～2016年09月10日(土) 3～4講時 14時00分～15時30分(開場:13:30)		
単位数	0	開講区分	後期・秋学期
受講料	無料		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	120	京カレッジ定員	120
試験・評価方法			
超過時の選考方法	先着順		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>①会場は、京都産業大学 壬生校地 むすびわざ館で開講します。</p> <p>■京都産業大学 むすびわざ館 〒600-8533 京都市下京区中堂寺命婦町1-10</p> <p>【アクセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆JR丹波口から徒歩4分 ◆阪急大宮駅から徒歩7分 ◆京福四条大宮から徒歩7分 <p>②その他の生涯学習のご案内も含めパンフレットご希望の方は下記までご連絡ください。</p> <p>■京都産業大学 連携推進室 TEL:075-705-2952 FAX:075-705-1960 E-mail:renkei-tanto@star.kyoto-su.ac.jp</p>		
講義概要・到達目標	鹿苑寺(金閣寺)は、室町幕府三代将軍であった、足利義満が造営した北山殿が後に寺院(鹿苑寺)となったことはよく知られています。義満が山荘を営む前には、鎌倉時代に権勢をふるった西園寺公経の山荘がありました。西園寺家の北山殿の様子については、藤原定家の『明月記』や南北朝の歴史物語である『増鏡』に記されています。この山荘には、天皇や上皇が度々訪ねられるほど素晴らしいものでした。西園寺家の栄華も、南北朝から室町時代になると陰り始め、とうとう北		

J114 講座日本芸能史Ⅱ

特別受講生

英文科目名			
大学名	京都造形芸術大学		
連絡先	京都藝術学舎 TEL:075-791-9124(月～土10:00～16:00) FAX:075-791-9021		
担当教員	コーディネーター:田口章子(本学教授・舞台芸術研究センター主任研究員)		
開講日程	2016年09月26日(月)～2017年01月16日(月) 5講時 16時30分～17時50分 14回		
単位数	0	開講区分	後期・秋学期
受講料	14,000円		
会場	京都芸術劇場 春秋座		
授業定員		京カレッジ定員	50
試験・評価方法			
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>●気象警報発令時の授業の取り扱いについて(講座日本芸能史 5講時/16:30～17:50) 本学では気象警報発令時の授業の取り扱いについて以下のような状況の場合休講となります。《午前11時現在、京都府南部に[暴風警報]が発令の場合3講時以降(13:10～)休講となります》 当講座開講時にこのような気象が予測される場合、休講を受講生の皆様に個別にご連絡することができません。 藝術学舎ホームページ(http://gakusha.jp/)または春秋座ホームページ(http://www.k-pac.org/)にて開講状況をお知らせいたしますので、ホームページをご確認ください。</p> <p>●当講義は日時を指定した特別講師によるオムニバス授業につき台風や交通機関の不通等によりやむを得ず休講になった場合、補講はできかねます。また、その際の補講並びに休講分の受講料は返還いたしかねますので、予めご了承下さい。</p> <p>●履修許可の通知を受けられた方は「受講のご案内(受講手続き)」をお送りしますので記載の各事項に同意してお申し込みください。</p>		

講義概要・到達目標	
日本芸能史の古代・中世と近世	
<p>日本の芸能と芸道はどのようにして誕生し、発展したのか。日本芸能史講座の十五周年という記念すべき節目の年にあたり、この重要な問題を中心テーマに設定する。</p> <p>今回は各時代と分野を代表する芸能と芸道の第一人者の実演を中心に配列する。その実演を通して、古代から近世に至る日本芸能史の大道をたどり、日本列島内で誕生し、あるいは海外から伝来した、多様な芸能・芸道の発展の具体相を明らかにする。そこから見えてきたものは、神と人の交流の場としての日本の芸能・芸道がそなえる、神中心にとどまりつつける独自性と、人中心に向おうとする普遍性との競合である。</p>	
講義スケジュール	
【後期】近世	
(01) 9月26日「総論Ⅱ」諏訪春雄（比較芸能史研究）【講義】 (02) 10月3日「説経浄瑠璃」若松若太夫（説経節太夫）【実演】 (03) 10月10日「歌舞伎」市川猿之助（歌舞伎役者）【実演】 (04) 10月17日「常磐津」常磐津都喜蔵（三味線演奏家）/常磐津都史（三味線演奏家）【実演】 (05) 10月24日「浪曲」京山幸枝司（浪曲師）、岡本貞子（曲師）【実演】 (06) 10月31日「琉球芸能」佐辺良和（琉球舞踊家）/仲村逸夫（歌三線奏者）（解説：茂木仁史）【実演】 (07) 11月7日「車人形」八王子車人形・西川古柳座【実演】 (08) 11月14日「上方舞」山村友五郎（舞踊家）【実演】 (09) 11月21日「京舞」井上八千代（舞踊家）【実演】 (10) 11月28日「長唄」今藤政太郎（三味線演奏家）【実演】 (11) 12月5日「邦楽囃子」藤舎呂船（小鼓演奏家）【実演】 (12) 12月12日「日本舞踊」坂東温子（舞踊家）【実演】 (13) 12月19日「乙女文楽」ひとみ座乙女文楽【実演】 (14) 1月16日「日本芸能史」田口章子（歌舞伎研究）【講義】	
教科書	
参考書	

K001 京都学講座「京の文化遺産～未来につなぐ日本のたからもの」

特別受講生

英文科目名			
大学名	大学コンソーシアム京都		
連絡先	大学コンソーシアム京都（京カレッジ担当） 電話075-353-9140		
担当教員	八木 透（佛教大学歴史学部教授）他		
開講日程	2016年04月30日（土）～2016年12月10日（土） 2講時 10時00分～11時30分		
単位数	0	開講区分	通年
受講料	10,000円（希望回に参加する場合は1講座1,500円）		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	250	京カレッジ定員	250
試験・評価方法			
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	実地講座は別途参加費（7月22日は1,500円、11月26日は8,000円）が必要です。		
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 都合により一部内容が変更する場合がありますのでご了承ください。 実地講座は定員が異なります。 受講料のお支払方法や現地講座の申込方法は「受講可否通知」（4月中旬発送）にてお知らせします。 実地講座に参加希望する場合は京カレッジ生としての出願が必要です。 		
講義概要・到達目標	京都には歴史的な建造物が多く、美しい町並みを形成しています。世界遺産の寺院や神社、二条城にくわえ、群としては上賀茂の社家町、花街、国の重要文化的景観の岡崎界隈があります。公家屋敷に京町家、明治以降の近代建築や近代化遺産の建物も、市内各所に息づいています。こうした有形の建造物に、年中行事や祭礼、また料理など無形の人の営みが加わると、洗練された伝統の美しさが四季折々に立ち現れてくるのです。今回のシリーズは、未来につなぐ日本のたからものとしての京の文化遺産を解き明かしていきます。		
講義スケジュール	<p>【第1回】04月30日（土）「賀茂の文化～式年遷宮諸祭を終えて」 田中 安比呂（賀茂別雷神社（上賀茂神社）宮司）小林 一彦（京都産業大学教授、日本文化研究所所長）</p> <p>【第2回】05月14日（土）「京町家のくらし・しきたり」 杉本 節子（公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会 常務理事）</p> <p>【第3回】05月21日（土）「二条城の魅力～建築と障壁画の融合」 並木 誠士（京都工芸繊維大学大学院 教授、美術工芸資料館 館長）</p> <p>【第4回】06月25日（土）「祇園祭の現在と未来」 岸本 吉博（公益財団法人祇園祭山鉾連合会 理事長）八木 透（佛教大学 歴史学部 教授）</p> <p>【第5回】07月16日（土）「京の花街の建築文化」 井上 えり子（京都女子大学 家政学部 准教授）</p> <p>【第6回】09月03日（土）「京の洋風建築の見所案内」 川島 智生（京都華頂大学 現代家政学部 教授）</p> <p>【第7回】10月08日（土）「文化遺産としての保津川下り～重要文化的景観の選定をめざして」 豊田 知八（保津川遊船企業組合 代表理事）、河原 典史（立命館大学 文学部 教授）</p> <p>【第8回】10月22日（土）「岡崎の文化的景観と琵琶湖疏水～鴨東運河をめぐる岡崎地域の土地利用の変遷」 白木 正俊（大阪府立大学 高等教育推進機構 講師）</p> <p>【第9回】11月12日（土）「日本の伝統的な出汁～そのおいしさと健康への寄与」 伏木 亨（龍谷大学 農学部 教授）</p> <p>【第10回】12月10日（土）「清水の舞台から」 森 清範（音羽山清水寺 貫主）、八木 透（佛教大学 歴史学部 教授）</p>		

<実地講座>

【第1回】07月22日（金）10：00～11：30
「祇園祭 ハレの日のしきたり」<会場：重要文化財 杉本家住宅>（定員35名）
杉本 節子（公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会 常務理事）

【第2回】11月26日（土）12：40～14：00
「日本料理の醍醐味を探る」<会場：京料理 萬重>（定員45名）
田村 國勝（京料理 萬重 二代目主人）

※実地講座の申込方法は「受講可」の方に別途ご案内します。

教科書	
参考書	

K002 「表現力」を磨いて京都から新たな文化発信を③ 詩×俳句×Lyric Festa実験計画一

特別受講生

英文科目名	KYOTO DYNAMITE POEM		
大学名	平安女学院大学		
連絡先	京都キャンパス 教務チーム TEL 075-414-8160 FAX 075-414-8159		
担当教員	平居 謙		
開講日程	2016年05月14日（土）～2016年11月26日（土） 4～5講時 14：30～17：50（原則） ※ただし 5月14日（土）2～4講時 10：50～16：00 10月8日（土）3～4講時 12：40～16：00 （下記講義スケジュールをご覧ください）		
単位数	0	開講区分	通年
受講料	初回テキスト代金2,500円持参ください		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	15	京カレッジ定員	15
試験・評価方法	レポート・作品提出		
超過時の選考方法	作品提出・受講希望書によって判断		
別途負担費用			
その他特記事項	受講希望書に「好きな詩人」「好きな詩集」等を記入のこと。		
講義概要・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 詩や俳句を実際に作ります 2 相互に作品を批評します 3 詩人／俳人たちの討論を聞き、質問します 4 創作のベテランたちと討議します 5 作品を外部に発表します 6 有名観光地に関する作品を創作／合評します 7 創作活動を継続するための工夫を探ります 		
講義スケジュール	<p>第01回 5月14日（土）2～4限 ガイダンス／Lyric Festa 参加</p> <p>第02回 6月11日（土）4～5限 作品合評会を体験する1</p> <p>第03回 7月 9日（土）4～5限 作品合評会を体験する2</p> <p>第04回 7月30日（土）4限 外部から見た京都</p> <p>第05回 8月20日（土）4～5限 ディテールの描き方</p> <p>第06回 9月10日（土）4～5限 場所の描き方</p> <p>第07回 10月 8日（土）3～4限 創作と文化発信／Lyric Festa 参加</p> <p>第08回 11月26日（土）5限 創作を継続する方法</p>		
教科書	テキスト代2,500円持参ください （2回目授業時お手渡予定）		
参考書	追ってお知らせいたします		

K003 日本酒の心美体 ～伏見酒と和食の力の未来図～

特別受講生

英文科目名			
大学名	放送大学（京都学習センター）		
連絡先	事務室 TEL 075-371-3001		
担当教員	天知 輝夫（京都大学名誉教授、元放送大学京都学習センター客員教授）		
開講日程	2016年09月14日（水）～2016年10月19日（水） 4講時 14時30分～16時00分（隔週水曜日）		
単位数	0	開講区分	後期・秋学期
受講料	無料		
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	25	京カレッジ定員	25
試験・評価方法			
超過時の選考方法	書類選考		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
<p>どこの国にもその民族が生み出した酒があり、その地に適した穀物や果物を原料としてきた。日本においては米を中心とする食と酒がみごとに合体し独特の食文化が確立され、日本酒は近年の和食世界遺産の登録にも貢献してきた。</p> <p>長年培われてきた日本酒造りは技術的にも世界に冠たるものでありながら近年の消費量は芳しいものではない。和食の一般家庭での消費が衰退する中で、それと平衡して特に若者の食の興味が欧米の肉食文化に傾斜しているのが原因と考えられる。</p> <p>京都伏見の日本酒メーカーがリーダーとなって、和の伝統文化を再興しようとする活動が始まっている。日本の土から生まれた日本酒は、心、美、体にやさしいお酒であるし、かつての広告文化も日本人の心を揺さぶるものがあつた。</p> <p>燗酒も世界的にはめずらしい飲み方で、料理との相性をも左右する肌理の細かさをもっている。和食と相まって国際化へのアプローチを学びます。</p>			
講義スケジュール			
<p>第01回 9月14日（水） 和食を支える日本酒 料理と日本酒の相性／日本酒の嗜みTPO</p> <p>第02回 9月28日（水） 日本酒・和食とホルモンバランス 腸内環境改善に貢献する食と酒は幸せホルモンの分泌につながる</p> <p>第03回 10月 5日（水） 黄桜（株）の見学と講義（専務取締役若井芳則氏）心美体プロジェクトと新しい日本酒の動きについて解説</p> <p>第04回 10月19日（水） 日本酒メーカーの社会的貢献と広告 楽しいお酒、社会秩序の学び（お酒はほどほどに）など</p>			
教科書	資料プリント配布予定		
参考書			

K101 京都・博物館都市のまちづくり ～まちなかミュージアム学芸員育成～

特別受講生

英文科目名			
大学名	京都外国語大学		
連絡先	教務部分室 TEL 075-322-6764 FAX 075-322-6727		

担当教員	南 博史（京都外国語大学・教授 代表）、羽生由喜子（京都外国語大学国際文化資料館・学芸員）村野政景（京都文化博物館・学芸員）、東浦由高（小倉百人一首殿堂 時雨殿・学芸員）中川清生（角屋もてなしの文化美術館・館長）、西村祐一（京の三条まちづくり協議会事務局長）、森木礼子（NPO法人フィールドミュージアム文化研究所・事務局長）、千田日出雄（文友会会長（株）奥谷組代表取締役社長）		
開講日程	2016年05月07日（土）～2017年01月28日（土） 3講時 13：20～14：50 ※現地フィールドワークの場合は、別途設定（日曜日・祝日に行う場合があります）		
単位数	0	開講区分	通年
受講料	無料		
会場	その他特記事項参照		
授業定員	10	京カレッジ定員	10
試験・評価方法			
超過時の選考方法	新規受講者を優先します。また、必ず受講理由を記入してください。		
別途負担費用	別途フィールドワーク費用負担あり		
その他特記事項	<p>新規受講者を優先します。また、必ず受講理由を記入してください。</p> <p>講座の場所は本学キャンパス・それぞれの現地フィールド（京都文化博物館、角屋もてなしの文化美術館、時雨殿などを予定、変更の場合はその都度連絡）</p> <p>諸事情により日程が変更される場合があります。</p>		
講義概要・到達目標			
<p>本学博物館学芸員課程と連携しながら実施する今回の養成コースの目的は、実践的活動を通してまちづくりに関する人材の育成にあり、まちと密着した活動を行なっている博物館の事例を学習しながら、地域住民と協働したまちづくり活動に参加する。さらに今年からは学習の成果を京都外国語大学国際文化資料館での展覧会にて発表することで受講生への教育効果を高めます。</p> <p>おもな活動内容は、1) フィールドミュージアム基礎学習、2) ミュージアム見学を通じた地域調査、3) 中京（京都文化博物館界隈）でのまちづくり活動への参加、4) 右京区におけるフィールドワークを通じた地域資産の調査、5) 活動成果のとりまとめと発表、から構成します。</p>			
講義スケジュール			
<p>5月7日（土） 1フィールドミュージアム基礎講義 ～スタートアップワークショップ／フィールドミュージアムとは何か～</p> <p>5月14日（土） 2博物館と地域1）京都文化博物館 講義「京のまちなかの考古学について」、見学</p> <p>3博物館と地域2）三条通・姉小路寺町～新町 フィールドワーク「ぶんぱく界隈をひとまわり」</p> <p>6月11日（土） 4博物館と地域3）角屋もてなしの文化美術館 講義「ミュージアムとまちの景観について」と見学、まち歩き</p> <p>7月16日（土） 5まちなかフィールドワークの実践1）京の三条まちづくり協議会 事例報告と意見交換「三条通りのまちづくりについて」</p> <p>6まちなかフィールドワークの実践2） 「三条まちかどミュージアム」に向けた看板づくりワークショップ ※スケジュールは変更する場合があります。</p> <p>以下のスケジュールは10月以降になります。（詳細は、受講者に別途お知らせします）</p> <p>7博物館と地域4）京大外国際文化資料館</p>			

展覧会に向けての施設・設備調査、学芸員履修生との意見交換
8まちなかフィールドワークの実践3) 姉小路界隈を考える会
学芸員履修生が企画する「まちなかを歩く日」の活動に参加
9まちなかフィールドワークの実践4) NPOフィールドミュージアム文化研究所

見学・講義「障害者アートとまちづくり」
⑩博物館と地域5) 時雨殿
講義「京の文化とミュージアム」と見学
⑪まちなかフィールドワークの実践5) 文友会
見学・講義「伝統文化財とまちづくり」文友会関連現場、施設見学
⑫展覧会企画づくりを通じた活動1) 京都外大国際文化資料館
⑬展覧会企画づくりを通じた活動2) 京都外大国際文化資料館
⑭展覧会企画づくりを通じた活動3) 京都外大国際文化資料館
教育普及活動(講演会、ワークショップ)の開催
⑮とりまとめ
～活動を振り返って
※スケジュール等は変更になる場合があります。

教科書	
参考書	

講座では、各大学ミュージアムの特質を理解するとともに、各大学が京都の教育・研究に果たした役割も理解してもらうことを目標とします。

講義スケジュール

第1回 05月13日(金) 京都工芸繊維大学美術工芸資料館(京都市左京区)
開催中の展覧会と収蔵作品について

第2回 06月10日(金) 京都大学総合博物館(京都市左京区)
開催中の展覧会と収蔵作品について

第3回 07月08日(金) 京都外国語大学国際文化資料館(京都市右京区)
開催中の展覧会と収蔵作品について

第4回 08月12日(金) 京都市立芸術大学芸術資料館(京都市西京区)
開催中の展覧会と収蔵作品について

第5回 10月14日(金) 京都嵯峨芸術大学附属博物館(京都市右京区)
開催中の展覧会と収蔵作品について

第6回 11月11日(金) 龍谷大学龍谷ミュージアム(京都市下京区)
開催中の展覧会と収蔵作品について

第7回 12月2日(金) 京都精華大学情報館・ギャラリーフロール(京都市左京区)
開催中の展覧会と収蔵作品について

第8回 12月9日(金) 立命館大学国際平和ミュージアム(京都市北区)
開催中の展覧会と収蔵作品について

教科書	
参考書	

K102 大学が育んだ京都一京都・大学ミュージアム連携発の「京都力」

特別受講生

英文科目名			
大学名	京都・大学ミュージアム連携		
連絡先	京都・大学ミュージアム連携運営委員会事務局 TEL: 075-724-7924 FAX: 075-724-7920		
担当教員	並木 誠士(京都工芸繊維大学教授) 他		
開講日程	2016年05月13日(金)～2016年12月09日(金)(予定) 1～2講時 10時00分～12時00分 毎月第2金曜日に開講(ただし9月は実施せず、12月は第1、第2金曜日に実施)		
単位数	0	開講区分	通年
受講料	無料		
会場	その他特記事項参照		
授業定員	20	京カレッジ定員	20
試験・評価方法			
超過時の選考方法	抽選		
別途負担費用	ミュージアムによっては入場料が必要な場合があります。		
その他特記事項	○各回の講座は各大学のミュージアムで実施します(第1回は京都工芸繊維大学美術工芸資料館に集合)。 ○集合場所その他については、受講者が決定した段階で郵送にて連絡します。 ○京都・大学ミュージアム連携や加盟館については以下のサイトをご覧ください。 http://univ-museum-kyoto.com/		
講義概要・到達目標	京都は「大学のまち」と呼ばれることがありますが、同時に「大学ミュージアムのまち」と言ってもよいほどに多くの大学ミュージアムがまちの内外にあります。それぞれの大学ミュージアムは、その大学の建学の精神や教育・研究の特色を反映した、多様で多彩な作品・資料を収蔵しています。そして、それらの作品・資料は、大学における教育・研究とともに、京都のまちの文化を支えてきたのです。 このプログラムでは、大学ミュージアムの展示を見ることで、大学が育んできた京都の文化を知っていただきたいと思っています。 各ミュージアムでは、担当の教職員が、展示の見所だけでなく、収蔵資料の特徴や展示の方向性などについて説明します。このプログラムを通して、大学ミュージアムを身近に感じていただきたいと考えています。		

K103 京都東山の寺社と権力・民衆 —多様な資料と手法によるアプローチ—

特別受講生

英文科目名			
大学名	京都産業大学		
連絡先	連携推進室 TEL: 075-705-2952 FAX: 075-705-1960		
担当教員	京都産業大学 文化学部教員4名 京都産業大学 日本文化研究所 上席特別客員研究員5名		
開講日程	2016年05月07日(土)～2016年05月28日(土) 1～2講時 09時30分～12時15分(毎週土曜日) ※フィールドワークは9時30分～12時30分		
単位数	0	開講区分	前期・春学期
受講料	無料		
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	30	京カレッジ定員	30
試験・評価方法			
超過時の選考方法	出願票の志望理由書を含めて選考		
別途負担費用	フィールドワークに係る交通費 1. 集合場所までに係る交通費 2. 解散場所から帰宅に係る交通費		
その他特記事項	会場は、京都産業大学 壬生校地 むすびわざ館で開講します。 ■京都産業大学 むすびわざ館 〒600-8533 京都市下京区中堂寺命婦町1-10 【アクセス】 ◆JR丹波口から徒歩4分 ◆阪急大宮駅から徒歩7分 ◆京福四条大宮から徒歩7分		

講義概要・到達目標	
<p>この講座は、京都産業大学文化学部の教員と本学日本文化研究所の上席特別客員研究員（京都・観光文化検定試験1級合格者）による講義とフィールドワークを組み合わせたものです。</p> <p>今回は「京都東山の寺社と権力・民衆—多様な資料と手法によるアプローチ—」というテーマで、5月に行います。京都の観光名所として歴史的にも有名な寺社が並ぶこの地域の寺社をいくつか取り上げ、時代的背景・社会的背景に留意し、京都東山地域の全体像・具体像について、古文書（史料）、発掘成果、絵画・地図資料、聞き取り・フィールドワークなど、多様な手法で追究します。</p> <p>これらを通して、京都東山の寺社の特色を理解し、京都の歴史の奥の深さ・おもしろさを感じてもらいたいと思います。そして、「新たな知識」にとどまらず、「自ら調べ学ぶための視点・方法」なども得てほしいと思います。講師の解説付きで現地を歩いてまわる南禅寺周辺のフィールドワークも、「新しい発見」のある充実した見学会になると思います。一緒に京都の魅力を体感しましょう。</p>	
講義スケジュール	
<p><第1回> 5月7日（土） 9：30～12：15 「このプログラムの紹介」・「総論：京都東山の寺社と権力・民衆」（60分講義） 若松正志（文化学部 教授）</p> <p>「『大文字送り火』最古の記録を読む」（45分講義） 板井博彦（日本文化研究所 上席特別客員研究員）</p> <p>「東山泉涌寺にむむの一皇族の生涯—山階宮晃親王の実像—」（45分講義） 深澤光佐子（日本文化研究所 上席特別客員研究員）</p> <p><第2回> 5月14日（土） 9：30～12：15 「近代の神社と慰霊・顕彰—靈山護国神社・豊国神社を素材に—」（60分講義） 笹部昌利（文化学部 助教）</p> <p>「京都祇園社の祭神—牛頭天王を中心に—」（45分講義） 池内早苗（日本文化研究所 上席特別客員研究員）</p> <p>「京都東山の寺社と『菊御紋』」（45分講義） 村山弥生（日本文化研究所 上席特別客員研究員）</p> <p>・フィールドワークの説明</p> <p><第3回> 5月21日（土） 9：30～12：30 「南禅寺界隈をゆったり、はんなり！～南禅寺・流響院・光雲寺～」（180分フィールドワーク） 中江好喜（日本文化研究所 上席特別客員研究員）</p> <p><第4回> 5月28日（土） 9：30～12：00 「古代・中世の清水寺と周辺地域」（60分講義） 吉野秋二（文化学部 准教授）</p> <p>「足利義政の東山殿について—東山殿の構造を復元する—」（60分講義） 鈴木久男（文化学部 教授）</p> <p>・おわりに</p> <p>※第3回のフィールドワークは原則、現地集合・現地解散とします。詳細は受講が決定次第、別途ご案内します。</p>	
教科書	なし（プリントなどで配布）
参考書	京都府歴史遺産研究会編『京都府の歴史散歩 中』（山川出版社、2011）。このほか、講座のなかで随時紹介します。なお、以下のホームページも参照してください。 http://www.cc.kyoto-su.ac.jp/~wakamatu/mc2016rd.htm

K104 祇園祭の深遠を学び、鉾町を探索する

特別受講生

英文科目名			
大学名	龍谷大学		
連絡先	龍谷エクステンションセンター（REC） TEL：075-645-7892		
担当教員	泉 文明（龍谷大学国際学部教授） 玉村 千恵子（京都外国語大学講師・京都語り部） 鳥越 英徳（神泉苑住職） 田原 祥光（鯉山保存会神事係理事） 木村 正之（南観音山保存会理事）		
開講日程	2016年04月26日（火）～2016年07月19日（火） 4講時 15時00分～16時30分		
単位数	0	開講区分	前期・春学期
受講料	1,740円（税込）		
会場	深草草舎		
授業定員	20	京カレッジ定員	20
試験・評価方法			
超過時の選考方法	抽選による		
別途負担費用			
その他特記事項			
講義概要・到達目標			
<p>祇園祭は京都が誇る伝統行事であり、日本古来の固有性を有しつつ、その国際性も着目されている。また、宗教の面からも神道・仏教に限らずさまざまな要素が鉾の装飾品に見ることができ、美術的にも非常に高い評価を得ている。本講座では、各鉾のいわれや、実際に祇園祭を運営する町衆の人たちの話を聞きながら、実際に鉾町に出かけて、祇園祭を体感し、宵山の風に吹かれてみようと思う。</p>			
講義スケジュール			
<p>第1回（4/26）：祇園祭の国際性—いにしえからみらいへ—<玉村 千恵子（京都外国語大学講師・京都語り部）> 第2回（5/17）：祇園祭と仏教—祇園祭と神泉苑—<鳥越 英徳（神泉苑住職）> 第3回（6/7）：鯉山と鯉山町のいわれ・歴史<田原 祥光（鯉山保存会神事係理事）> 第4回（6/28）：南観音山と南観音山町のいわれ・歴史<木村 正之（南観音山保存会理事）> 第5回（7/19）：実地見学学習<泉 文明（龍谷大学国際学部教授）></p>			
教科書			
参考書			

K105 東本願寺を知り尽くす

特別受講生

英文科目名			
大学名	大谷大学		
連絡先	大谷大学教育研究支援課 TEL：075-411-8161 FAX：075-411-8162		
担当教員	草野顕之（大谷大学教授）		
開講日程	<p>第1講・第2講 2016年10月 8日（土） 13時00分～16時30分</p> <p>第3講・第4講 2016年10月22日（土） 13時00分～16時00分</p>		

単位数	0	開講区分	集中
受講料	4,000円(税込)		
会場			
授業定員	30	京カレッジ定員	30
試験・評価方法			
超過時の選考方法	応募者多数の場合は抽選。当選者には書面にて連絡。		
別途負担費用	フィールドワーク交通費(現地集合)		
その他特記事項	フィールドワークの実施時間は、受講生の体調等を考慮して変更する可能性があります。		
講義概要・到達目標			
<p>京都駅前烏丸通に大伽藍を誇る東本願寺。今回の講座では、その誕生から現在までの歴史をたどってみましょう。</p> <p>東本願寺はどのような経緯で建立されたのか？堀川通にある西本願寺との関係は？信長・秀吉・家康とどのような関係があったのか？</p> <p>まず、第1講では、こうした東本願寺誕生の秘話を、確実な史料に基づいて明らかにしていきたいと思います。</p> <p>次に第2講では、現在の大伽藍に至る歴史を明らかにします。よく知られるように、東本願寺は江戸時代に4度の火災を経験しています。みずから出火したものもあるし、類焼したこともあります。しかし、焼失する度に再建されて、しかも徐々に大きな建物となっていきます。こうして現在の大伽藍に至った、その歴史をたどってみましょう。</p> <p>第3・4講は、フィールドワークとして、東本願寺の御影堂・阿弥陀堂、そして諸殿を拝観します。</p>			
講義スケジュール			
2016年10月8日(土)			
第1講 13時00分～14時30分			
「東本願寺の誕生 ―信長・秀吉・家康との関係―」			
第2講 15時00分～16時30分			
「江戸時代の東本願寺 ―4度の火災と再建の歴史―」			
2016年10月22日(土)			
第3講・第4講 13時00分～16時00分(2コマ)			
フィールドワーク 「東本願寺」御影堂・阿弥陀堂・諸殿 拝観			
教科書	プリントを配布します。		
参考書			



各大学・短期大学生涯学習講座のご案内

※^{みやこ}京カレッジ科目以外にも、各大学・短期大学では生涯学習として公開講座等が開講されています。
詳細は各大学・短期大学にお問い合わせください。

大学名・短期大学名	生涯学習講座 窓口部署名	連絡先	主な生涯学習講座
大阪医科大学	総務部総務課	TEL：072-683-1221（代表）	地域社会の知的向上と医学知識等の普及を図ることを目的に、市民を対象とした各種公開講座を開催しています。詳細は本学ホームページで随時お知らせいたします。 http://www.osaka-med.ac.jp/others/koukai_kouza/index.html
大谷大学	教育研究支援課	TEL：075-411-8161 FAX：075-411-8162 E-mail：o_semi@sec.otani.ac.jp	仏教・哲学・文学・歴史・社会学など、さまざまな講座を開講しています。詳細は、本学ホームページをご覧ください。 http://www.otani.ac.jp/23
京都外国語大学 京都外国語短期大学	教務部分室 生涯学習講座担当	TEL：075-322-6764 E-mail：ext-office@kufs.ac.jp	高校生からシニアまで広くの世代を対象とした「授業や講座」を開講しています。詳細はホームページをご覧ください。 URL：www.kufs.ac.jp/information/index.html
京都華頂大学 華頂短期大学	公開講座事務局	TEL：075-511-1600 （平日9:00～17:00） FAX：075-551-1625	建学の精神に基づいた本学の教育・研究成果を広く開放する機会として「歴史・文化、家族・家庭、地域、社会」をテーマとした年6回程度の「華頂公開講座」を開講しています。詳しくは本学ホームページをご覧ください。
京都教育大学	総務・企画課	住所：〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地 TEL：075-644-8121 FAX：075-644-8113 E-mail：kouhou@kyokyo-u.ac.jp	各種公開講座を実施しています。詳細は、本学Webサイトをご覧ください。 http://www.kyokyo-u.ac.jp/event/koukaikouza/
京都光華女子大学 京都光華女子大学短期大学部	地域連携推進センター	TEL：075-325-5259 FAX：075-325-5287	本学の特色を生かした様々なテーマの公開講座（夏・秋期）と文学講座を開講しています。 URL http://www.koka.ac.jp/crc
京都嵯峨芸術大学 京都嵯峨芸術大学短期大学部	社会連携・研究支援グループ	TEL：075-864-7898 E-mail：bunka@kyoto-saga.ac.jp	芸術大学としての特色を生かし、日本画・洋画・陶芸等芸術講座を中心に、こども講座・文化講座等も開講しています。 http://www.kyoto-saga.ac.jp/dept/openstudy/
京都産業大学	連携推進室	TEL：075-705-2952 FAX：075-705-1960 E-mail：renkei-tanto@star.kyoto-su.ac.jp	文化・歴史・社会・科学など幅広いテーマで、教員の研究成果を分かりやすく解説する公開講座を開講。ほかにスポーツコースや、留学生と交流する異文化交流コースも開講しています。 http://www.kyoto-su.ac.jp/project/area/
京都女子大学	地域連携研究センター	住所：京都市東山区今熊野北日吉町35 TEL：075-531-7080 E-mail：renkei@kyoto-wu.ac.jp	各種公開講座を実施しています。詳細は本学ホームページで随時お知らせします。 URL： http://www.kyoto-wu.ac.jp/
京都精華大学	社会連携センター	住所：京都府京都市左京区岩倉木野町137番地 TEL：075-702-5343 FAX：075-702-8819 E-mail：garden@kyoto-seika.ac.jp	無料の公開トークイベント「アセンブリアワー」と有料の公開ワークショップ「ガーデン」を定期的に開催しています。 URL： http://www.kyoto-seika.ac.jp/society/

大学名・短期大学名	生涯学習講座 窓口部署名	連絡先	主な生涯学習講座
京都西山短期大学	教務課・総務課	TEL : 075-951-0023	公開講座 年間4回～6回予定 (無料)
京都造形芸術大学	通信教育部事務室 京都藝術学舎	TEL : 075-791-9124 FAX : 075-791-9021 E-mail : extension@office. kyoto-art.ac.jp	本学ならではの特徴を活かした芸術のワークショップを中心に多彩なプログラムを実施しています。
京都橘大学	エクステンション センター	住所：〒607-8175 京都市山科区 大宅山田町34 TEL : 075-574-4186 FAX : 075-574-4149 E-mail : aca-ext@tachibana-u. ac.jp	京都の歴史にスポットをあてた連続講座や、女性の歴史、観光分野、災害対策に関するフォーラム、また看護職者を対象にしたリカレント講座などを開講します。 詳しくは本学ホームページをご覧ください。 URL : http://www.tachibana-u.ac.jp/
京都ノートルダム女子大学	研究・情報推進課	TEL : 075-706-3789 FAX : 075-706-3793 E-mail : kikaku@notredame. ac.jp	各学科やセンター主催で、各種公開講座等を実施します。詳細は本学ホームページ等で随時お知らせします。 http://www.notredame.ac.jp/cooperation/meeting/
京都府立大学	事務局企画課	TEL : 075-703-5147 FAX : 075-703-4979 E-mail : kikaku@kpu.ac.jp	桜楓講座、リカレント学習講座、地域文化セミナー、演習林野外セミナー、農場ユースカルチャーデー等を開催しています。
京都文教大学	京都文教公開講座係	TEL : 0774-25-2491	大テーマ「共生(ともいき)」のもと、大学の臨床心理学部・総合社会学部と短期大学の食物栄養学科が、それぞれの特徴をいかした講座を計画しています。詳細は本学WEBサイトをご覧ください。 http://www.kbu.ac.jp/kbu/region/
種智院大学	教務課	住所：京都市伏見区向島西定請 70番地 TEL : 075-604-5600 FAX : 075-604-5610 E-mail : kyomu@shuchiin.ac.jp	仏教・福祉に関連する公開講座を実施しています。その他、聴講生・科目等履修生も募集しています。詳細は随時、大学ホームページでお知らせします。 URL : http://www.shuchiin.ac.jp/
成安造形大学	附属近江学研究所	TEL : 077-574-2118	近江学フォーラムでは会員限定の講座や現地研修会などを開催しています。詳しくは本学Webサイトをご覧ください。 http://omigaku.org/
	附属芸術文化研究所	TEL : 077-574-2118	芸術系大学の特色を活かした講座やワークショップを開催しています。詳しくは本学Webサイトをご覧ください。 http://www.seian.ac.jp/attached/art_info/
花園大学	総務課・学外交流担当	TEL : 075-283-1125 E-mail : kouryu@hanazono.ac.jp	各種公開講座を実施します。詳細は本学Webサイトをご覧ください。 http://www.hanazono.ac.jp/event/open
佛教大学	佛教大学四条センター	TEL : 075-231-8004	「現代社会を生きる」「仏教を極める」「教養を深める(京都・歴史・民俗・伝統・文学・芸術)」等々の講座を種々展開。1回のみ受講も可能です。 http://www.bukkyo-u.ac.jp/facilities/shijo/
平安女学院大学 平安女学院大学短期大学部	学院統括室	TEL : 075-414-8139	各種公開講座を実施予定です。詳細は本学ホームページで随時お知らせします。 URL http://www.heian.ac.jp
立命館大学	衣笠総合研究機構 (事務局：衣笠リサーチオフィス)	衣笠総合研究機構 E-mail : doyo@st.ritsumei.ac.jp	研究成果を広く社会に還元することを目的に、歴史や現代社会に即した内容をテーマとして、毎週土曜日に「立命館土曜講座」を開講しています。 http://www.ritsumei.ac.jp/acd/re/k-sc/kikou/doyokozakikoh.htm
龍谷大学 龍谷大学短期大学部	龍谷エクステンション センター	TEL 075-645-7892 E-mail : rec-kouza@ad.ryukoku. ac.jp	龍谷大学の生涯学習講座RECコミュニティカレッジは、仏教・文化・歴史などの幅広い分野で年間約440講座開講しています。 http://rec-ryukoku.jp/



各大学・短期大学図書館利用一覧

※京カレッジ会員証（仮会員証）を入館持にご提示ください。

※図書館の利用にあたっては各館の利用規定や指示に従ってください。

大学・短期大学 お問合わせ先	閲覧	貸出	利用時間	備 考
池坊短期大学図書館 TEL.075-351-8615	○	○	月～金10:00～18:00	貸出は、本学の科目を履修する者に限る。集中講義のみの履修生は貸出し不可。利用日・時間は、臨時に変更する場合があります。
大谷大学・同短期大学部図書館 TEL.075-411-8123	○	○	月～金 9:00～20:30 土 10:00～17:30	本学が提供する「大学講義」、「京都力養成コース」の受講生は、図書館利用（貸出可／無料）が可能です。 他大学の「大学講義」受講生は、利用申請（有料）の上、図書館より「利用証」を発行します。 詳細は図書館へお尋ねください。
京都華頂大学・華頂短期大学図書館 TEL.075-551-1164 FAX.075-551-1366	○	×	月～金 9:00～19:00 土 9:00～17:00	閲覧時には「京カレッジ会員証」を提示してください。利用時間、曜日については、変更する場合がありますので、あらかじめお問い合わせください。
京都外国語大学・ 同短期大学附属図書館 TEL.075-322-6030	○	○	月～金 9:00～21:30 土 9:00～18:30	一般利用と同様になります。（有料） http://www.kufs.ac.jp/toshokan/simin.htm
京都学園大学図書館 TEL.0771-29-2292	○	○	月～金 9:00～19:00 土 9:00～17:00	貸出を希望する場合は申請が必要。休講期間中は利用時間を変更する場合があります。
京都教育大学附属図書館 TEL.075-644-8179	○	○	月～金 9:00～21:00 土 9:00～17:00	本学の正規科目受講生のみ、受講期間中に限り本学学生証で利用可能です。上記以外の方は学外者として利用可能です。（ホームページ参照）
京都経済短期大学図書館 TEL.075-331-3159	○	○	月～土 9:00～17:00	「一般利用者」として申請手続きをしてください。（ホームページ参照）
京都光華女子大学図書館 TEL.075-325-5399	○	○	月～金 9:00～20:00 土 9:00～16:00	閲覧・貸出は本学の科目を履修する者で、受講科目開講期間中に限ります。なお、利用は手続きが必要です。
京都工芸繊維大学附属図書館 TEL.075-724-7191	○	×	月～金 9:00～21:00 土 10:00～17:00	京カレッジ生は、一般の方のご利用と同様になります。 ご利用できるサービスは、館内での資料閲覧と文献複写です。視聴覚資料もご利用いただけます。いずれの資料も貸出はできません。 入館時に「京カレッジ会員証」をご提示いただき、「利用願」を記入していただきます。
京都嵯峨芸術大学・ 同短期大学部附属図書館 TEL.075-864-7875	○	○	月～金 9:00～19:00 土 9:00～17:00	貸出は、本学の科目を履修する者に限ります。利用曜日・時間については変更する場合があります。
京都産業大学図書館 TEL.075-705-1446	○	○	月～金 8:30～20:00 土 8:30～18:00	貸出は、本学の科目を履修する者（科目等履修生・聴講生）に限り利用可。閲覧のみ希望の場合は、即日入館証を発行します。
京都女子大学図書館 TEL.075-531-7066	○	×	月～金 9:00～20:00 土 9:00～17:00	閲覧は、本学の科目を履修する者で、受講期間中に限ります。課外、公開講座受講生（特別受講生）の閲覧は不可。
京都市立芸術大学附属図書館 TEL.075-334-2233	○	○	月～金 9:00～20:00 （但し、休業期間中は、17:00まで）	貸出は、本学の科目を履修する者に限ります。初回利用時に、「京カレッジ会員証」を受付カウンターに提示し、「図書館利用者証」の発行を受けてください。
京都精華大学情報館 TEL.075-702-5137(情報館課)	○	○	月～金 8:30～20:30 土 8:30～18:00	貸出を希望される場合は、「情報館利用証」発行手続きをしてください。閲覧のみは不要です。開館日・時間は変更する場合があります。（ホームページ参照）

大学・短期大学 お問合わせ先	閲覧	貸出	利用時間	備考
京都西山短期大学図書館 TEL.075-951-0023	○	○	月～金 9:00～19:00	貸出を希望する場合は申請が必要。利用時間については、変更する場合がありますのであらかじめお問い合わせください。
京都聖母女学院短期大学図書館 TEL.075-643-6781	○	○	月～金 9:00～18:00 (但し授業期間以外は、 月～金17:00まで)	「京カレッジ会員証」の提示が必要。貸出は本学の科目を履修する者で受講科目開期間中に限ります。利用は手続きが必要です。
京都造形芸術大学 芸術文化情報センター TEL.075-791-8134	○	×	月～金 9:00～20:00 土 10:00～19:00 日・祝10:00～18:00 ・定期試験期間等、利用不可の時期あり (センター入口掲示、ホームページ等にて要確認)	・本学開講科目の履修者に限り、開架中の図書、雑誌の閲覧のみ可(メディア資料は一般利用証の発行が必要) ・初回入館時に「京カレッジ会員証」を提示し、受付手続きをしてください。二回目以降は同証を窓口へ提示してください。
京都橘大学図書館 TEL.075-574-4118 http://www.tachibana-u.ac.jp/library/	○	×	月～金 8:45～20:30 土 10:00～18:30 (ただし、学休期間は、 月～金 8:45～17:15 土 10:00～18:30)	本学の科目を履修する者に限ります。開館日、利用時間は変更する場合がありますので、ホームページ等で確認してください。
京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター TEL.075-706-3751	○	○	月～金 8:45～20:00 土 9:00～17:00	本学の科目を履修・聴講する者に限ります。利用時間、曜日については、休館中及び臨時に変更する場合があります。
京都府立大学附属図書館 TEL.075-703-5130	○	×	月～金 9:00～21:00	本学を会場として開講されている科目の受講生にのみ貸出可。
京都文教大学図書館 TEL.0774-25-2489 http://www.kbu.ac.jp/kbu/library/	○	×	月～金 9:00～20:00 土 9:00～17:00	入館時に「京カレッジ会員証」の提示が必要です。休講期間中は利用時間・曜日を変更する場合があります。
京都文教短期大学図書館 TEL.0774-25-2420 http://www.kbu.ac.jp/kbu/library/	○	×	月～金 8:45～18:30	入館時に「京カレッジ会員証」の提示が必要です。休講期間中は利用時間・曜日を変更する場合があります。
京都薬科大学図書館 TEL.075-595-4618	○	○	月～金 8:30～21:00 土 10:00～17:00	本学の科目を履修する者で本学の科目を履修する期間に限り可。
種智院大学 図書館・学術情報センター TEL.075-604-5600 (代)	○	×	月～金 9:00～17:00	本学の科目を履修する者に限り可。
成安造形大学附属図書館 TEL.077-574-2111(代表)	○	○	月～金10:30～18:30	一般利用登録をしていただくことにより、貸出も可能になります。夏期、春期休暇中及び大学行事等のため、予告なく閉館する場合があります。
同志社大学今出川図書館 TEL.075-251-3980	○	×	月～土 9:00～22:00 日 10:00～17:00	「京カレッジ会員証」の提示が必要です。開館日、利用時間は変更する場合がありますので、同志社大学ホームページ等で確認してください。
同志社大学ラーネッド記念図書館 (京田辺校地) TEL.0774-65-7240			月～金 9:00～21:00 土 9:00～17:00 日 10:00～17:00	
同志社女子大学図書・情報センター 今出川図書館 TEL.075-251-4145	○	× ※	月～金 8:50～20:00 土 9:50～17:00 (ただし、休講期間中は、 月～金17:00まで、土 休館)	本学の科目を履修する者に限り可。 ※本学受講者のみ本学発行の「京カレッジ生証」で貸出可。
京田辺図書館 TEL.0774-65-8481				

大学・短期大学 お問合わせ先	閲覧	貸出	利用時間	備考
花園大学情報センター(図書館) TEL.075-811-5181(代表)	○	×	月～金 9:00～19:00 土 9:00～15:00	本学の科目を履修する者に限り、また、受講科目開講期間中に閲覧可。
佛教大学附属図書館 TEL.075-491-2141(代表) http://www.bukkyo-u.ac.jp/facilities/library/	○	×	月～土 9:00～20:00	開館時間は変更となる場合があるため、本学図書館のホームページで確認してください。
平安女学院大学 京都キャンパス図書館 TEL.075-414-8150(代表)	○	○	月～金 9:15～19:00 (開講日以外は、 月～金 9:15～17:20)	閲覧・貸出は、本学の科目を履修するものに限ります。
平安女学院大学・同短期大学部 高槻キャンパス図書館 TEL.075-696-4947(直通)	○	○		
立命館大学 衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館 TEL.075-465-8217(直通) (2016年4月1日から)	○	○	月～金 8:30～22:00 土・日10:00～17:00 (上記は開講期の原則。詳細は本学図書館のホームページで確認すること。)	貸出は本学の科目を履修する者に限ります。ただし、特別受講生は別途ライブラリーカードを申請する必要があります。試験期間・休暇中及び臨時に利用時間を変更する場合があります。
びわこ・くさつキャンパス メディアセンター TEL.077-561-2634(直通)				
びわこ・くさつキャンパス メディアライブラリー TEL.077-561-3943(直通)				
大阪いばらきキャンパス OICライブラリー TEL.072-665-2520(直通)				
龍谷大学・同短期大学部 深草図書館 TEL.075-645-2564	○	○	月～金 9:00～21:45 土 9:00～17:00 日 10:00～17:00	貸出は、本学の正規科目を履修する者に限り、受講科目開講期間中は利用可能です。初回利用時に、「京カレッジ会員証」を受付カウンターに提示し、「図書館利用証」発行手続きをしてください。開館時間は変更となる場合があるため、本学図書館ホームページで確認してください。
大宮図書館 TEL.075-343-3318			月～金 9:00～21:45 土 9:00～17:00	
瀬田図書館 TEL.077-543-7751			月～金 9:00～21:00 土 9:00～17:00	

◆各大学・短期大学の図書館等を利用される際は、京カレッジ会員証を提示して、各大学・短期大学の規定に従いご利用ください。京カレッジ会員証が届くまでの期間は、仮会員証を代用してください。



公益財団法人大学コンソーシアム京都

単位互換制度・京カレッジ参加大学
地図・連絡先一覧

池坊短期大学



〒600-8491 京都市下京区四条室町鶏鉾町491
TEL 075-351-8595
阪急京都線「烏丸」、地下鉄烏丸線
「四条」下車徒歩2分
市バス「四条烏丸」下車

大阪医科大学



〒569-8686 高槻市大学町2番7号
TEL 072-683-1221
JR東海道線「高槻」下車徒歩8分
阪急「高槻市」下車徒歩3分

大谷大学・同短期大学部



〒603-8143 京都市北区小山上総町
TEL 075-411-8117
地下鉄烏丸線「北大路」下車
市バス「北大路バスターミナル」下車
出口6より西へすぐ

京都大学 (桂キャンパス)



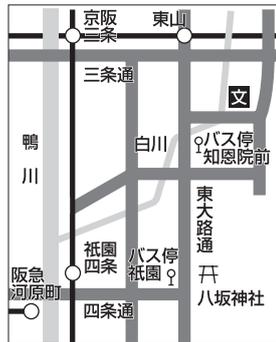
〒615-8530 京都市西京区京都大学桂
TEL 075-383-2040
阪急京都線「桂」より、市バス「西6」、
京都交通バス「桂坂中央行き」、
「京大桂キャンパス前」下車

京都大学 (吉田キャンパス)



〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL 075-753-7531 (代)
JR「京都」より、市バス206・17系統
阪急「河原町」より、市バス201・31・17・3系統
「京大正門前」又は「百万遍」下車
京阪「出町柳」より東へ徒歩約15分

京都華頂大学・華頂短期大学



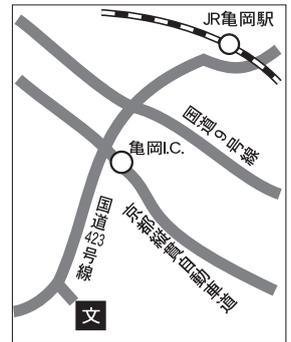
〒605-0062 京都市東山区林下町3-456
TEL 075-551-1282
地下鉄東西線「東山」下車徒歩5分
市バス「知恩院前」下車
京阪「祇園四条」下車徒歩10分「三条」下車徒歩8分
阪急京都線「河原町」下車徒歩13分

京都外国語大学・同短期大学



〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6
TEL 075-322-6764
阪急京都線「西院」下車徒歩15分
市バス「京都外大前」下車
地下鉄東西線「太秦天神川」から南へ
徒歩約13分

京都学園大学 (京都亀岡キャンパス)



〒621-8555 亀岡市曾我部町南条大谷1-1
TEL 075-406-9114
JR嵯峨野線「亀岡」または阪急京都線「桂」、
JR東海道線「桂川」より京阪京都交通バス
「京都学園大学」下車

京都教育大学



〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地
TEL 075-644-8548 (大学講義担当)
TEL 075-644-8121 (公開講座担当)
京都教育大学: JR京奈線「JR藤森」下車3分
京阪「墨染」下車徒歩7分
第二学舎: 近鉄京都線「伏見」下車徒歩7分
京阪「墨染」下車徒歩7分

京都経済短期大学



〒610-1195 京都市西京区大枝東長町3-1
TEL 075-331-3159
阪急京都線「桂」より
市バス「京都明徳高校前」下車
京阪京都交通「京都明徳高校前」または
「国道中山」または「中山」下車

京都光華女子大学・同短期大学部



〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町38
TEL 075-325-5307
阪急京都線「西京極」下車徒歩7分
市バス「光華女子学園前」下車

京都工芸繊維大学



〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
TEL 075-724-7221
地下鉄烏丸線「松ヶ崎」下車東南へ400m

京都嵯峨芸術大学・同短期大学部



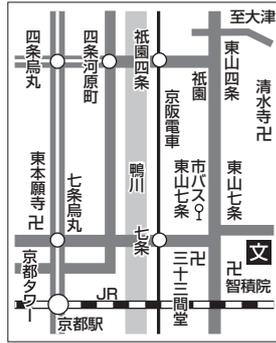
〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1
TEL 075-864-7858
京福嵐山線「車折神社」下車徒歩5分
市バス「車折神社前」下車

京都産業大学



〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
TEL 075-705-1985
地下鉄烏丸線「国際会館」駅から京都バス、または「北
大路」駅から市バス・京都バスで「京都産大前」下車
京阪電鉄「出町柳」駅から京都バスで「京都産大前」
下車、叡山電鉄「二軒茶屋」駅から無料シャトルバス

京都女子大学



〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35
TEL 075-531-7048
京阪「七条」下車東へ徒歩15分
市バス「東山七条」下車
京都駅八条口よりプリンセスラインバス
「京都女子大前」下車

京都市立芸術大学



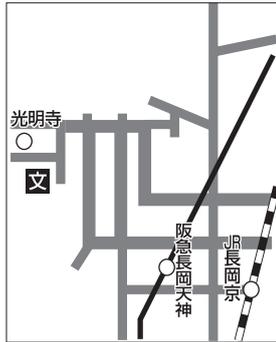
〒610-1197 京都市西京区大枝番掛町13-6
TEL 075-334-2220 (美術学部)
TEL 075-334-2222 (音楽学部)
京阪京都交通バス「芸大前」下車すぐ

京都精華大学



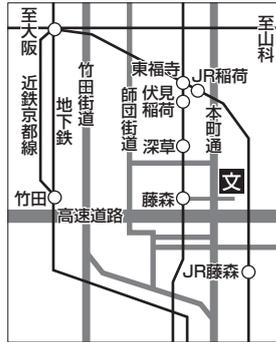
〒606-8588 京都市左京区若岩木野町137
TEL 075-702-5119
叡山電車(鞍馬行きまたは二軒茶屋行き)
「京都精華大前」下車すぐ
地下鉄烏丸線「国際会館」よりスクールバス10分

京都西山短期大学



〒617-0811 長岡京市栗生西条26
TEL 075-951-0023
阪急京都線「長岡天神」より阪急バス10分
JR東海道線「長岡京」より阪急バス15分

京都聖母女学院短期大学



〒612-0878 京都市伏見区深草田谷町1
TEL 075-643-5304
京阪「藤森」下車名神高速道路沿いに東へ
徒歩3分
JR奈良線「福荷」下車南へ徒歩10分

京都造形芸術大学



〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116
TEL 075-791-9125
叡山電車「茶山」下車徒歩10分
市バス「上終町京都造形芸術大前」下車
(バイク通学不可)

京都橘大学



〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34
TEL 075-574-4324
地下鉄東西線「加辻」駅下車徒歩15分
JR・京阪・地下鉄東西線「山科」駅下車、
京阪バス「京都橘大学」行(京阪バス②のりば
28A・26A系統)乗車

京都ノートルダム女子大学



〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1
TEL 075-706-3745
地下鉄烏丸線「北山」下車東へ徒歩7分
地下鉄烏丸線「松ヶ崎」下車西へ徒歩8分
市バス「北園町」下車

京都美術工芸大学



〒622-0041
京都府南丹市園部町二本松1-1
TEL 0771-63-1515
JR嵯峨野線「園部駅」下車

京都府立大学



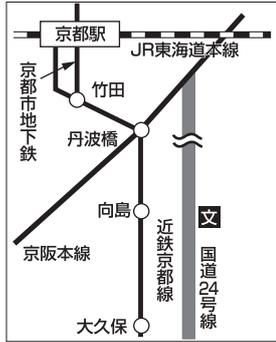
〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5
TEL 075-703-5118
地下鉄烏丸線「北山」下車徒歩10分
市バス「府立大前」下車

京都府立医科大学(河原町キャンパス)



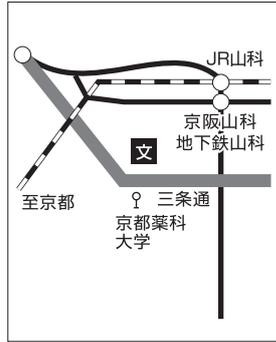
〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路桐井町465
TEL 075-251-5228
市バス「府立医大病院前」下車

京都文教大学・京都文教短期大学



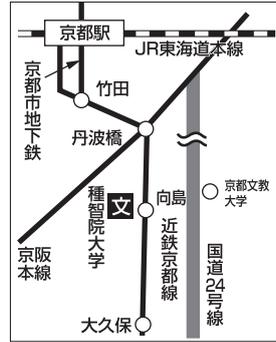
〒611-0041 宇治市横島町千足80
TEL 0774-25-2426 (大学)
TEL 0774-25-2411 (短大)
近鉄京都線「向島」下車徒歩18分
(スクールバス5分)

京都薬科大学



〒607-8414 京都市山科区御陵中内町5
TEL 075-595-4613
JR琵琶湖線、地下鉄東西線、
京阪京津線「山科」下車徒歩10分
京阪バス「京都薬科大学」下車

種智院大学



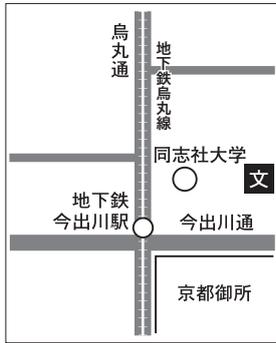
〒612-8156 京都市伏見区向島西定請70
TEL 075-604-5600
近鉄京都線「向島」下車徒歩10分

成安造形大学



〒520-0248 大津市仰木の里東4-3-1
TEL 077-574-2111
JR湖西線「おごと温泉」よりスクールバス3分
または江若バス外廻り循環「成安造形大学前」下車

同志社女子大学 (今出川キャンパス)



〒602-0893 京都市上京区今出川通寺町西入玄武町602-1
TEL 075-251-4127
地下鉄烏丸線「今出川」下車徒歩5分
京阪「出町柳」下車徒歩10分
市バス「同志社前」下車

佛教大学 (二条キャンパス)



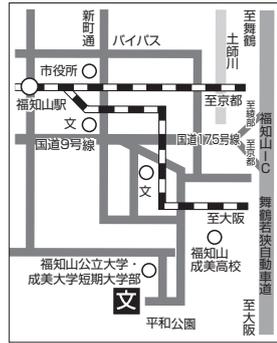
〒604-8418 京都市中京区西ノ京東堀尾町7
TEL 075-491-2141 (代)
JR・地下鉄「二条駅」下車徒歩1分
市バス「二条駅前」下車徒歩1分
阪急「大宮駅」下車徒歩10分

立命館大学 (衣笠キャンパス)



〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL 075-466-3350 (教務課)
JR近鉄「京都」、京阪「三条」より
市バス「立命館大学前」下車

福知山公立大学・成美大学短期大学部



〒620-0886 京都市福知山市宇掘3370
TEL 0773-24-7100
JR山陰本線「福知山」より掘循環線バスで
15分、「小谷ヶ丘」下車、徒歩2分

同志社女子大学 (京田辺キャンパス)



〒610-0395 京都府京田辺市興戸南鈴立97-1
TEL 0774-65-8413
近鉄京都線「興戸」下車徒歩10分
JR学研都市線「同志社前」徒歩3分

平安女学院大学・同短期大学部 (高槻キャンパス)



〒569-1092 高槻市南平台5丁目81番地1号
TEL 072-693-2462
JR東海道線「高槻」より高槻市バス
「平安女学院大学東」下車

立命館大学 (朱雀キャンパス)



〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1
TEL 075-466-3350 (教務課(衣笠キャンパス))
市バス・JRバス「千本三条・朱雀立命館前」下車
JR・地下鉄「二条」下車 徒歩2分
阪急「大宮」下車 徒歩10分

同志社大学 (今出川校地)



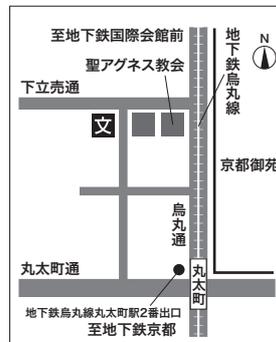
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町601
TEL 075-251-3200
地下鉄烏丸線「今出川」下車徒歩1分
京阪「出町柳」下車徒歩15分

花園大学



〒604-8456 京都市中京区西ノ京壱ノ内町8-1
TEL 075-811-5181
京都駅よりJR嵯峨野線「円町」下車徒歩8分
市バス26・205「太子道」下車徒歩5分
京阪三条駅より京バス61・62・63
「西ノ京馬代町(花園大学前)」下車徒歩2分

平安女学院大学 (京都キャンパス)



〒602-8013 京都市上京区下立売通烏丸西入五丁目172-2 TEL 075-414-8160
地下鉄烏丸線「丸太町」駅2番出口より、御所に沿って北へ徒歩約3分。市バス「烏丸丸太町」駅から徒歩約5分。京阪鴨東線「神宮丸太町」駅→市バス利用で約7分(徒歩約15分)

立命館大学 (びわこ・さつキャンパス)



〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1番1号
TEL 075-466-3350 (教務課(衣笠キャンパス))
JR琵琶湖線「南草津」より近江鉄道バス
「立命館大学」行き(直行)

同志社大学 (京田辺校地)



〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都台1-3
TEL 0774-65-7053
近鉄京都線「興戸」下車徒歩15分
JR学研都市線「同志社前」徒歩10分

佛教大学 (紫野キャンパス)



〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96
TEL 075-491-2141 (代)
通信教育部・TEL 075-491-0239
地下鉄烏丸線「北大路」より市バス「佛教大学前」下車
京阪「出町柳」より市バス一系統乗車「佛教大学前」下車

明治国際医療大学



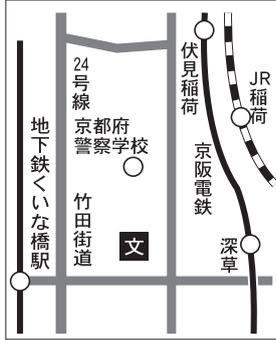
〒629-0392 京都府南丹市日吉町保野田
TEL 0771-72-1183
JR山陰本線「鍼灸大学前」下車徒歩2分

立命館大学 (大阪いばらきキャンパス)



〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150
<http://www.ritsumei.ac.jp/rs/r2020/campus/oic/access/map.html/>

龍谷大学・同短期大学部（深草学舎）



〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67番地
TEL 075-645-7891
JR奈良線「稲荷」駅下車、南西へ徒歩約8分
京阪本線「深草」駅下車、西へ徒歩約3分
京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約7分

龍谷大学（大宮学舎）



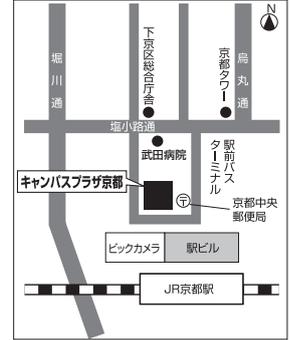
〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町125番地の1
TEL 075-343-3311
JR東海道本線・近鉄京都線「京都」駅下車、北西へ徒歩約10分(市バス約3分)
京阪本線「七条」駅下車、西へ徒歩約20分
阪急京都本線「大宮」駅下車、南へ徒歩約20分(市バス約5分)

龍谷大学（瀬田学舎）



〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷1番5
TEL 077-543-5111
JR琵琶湖線「瀬田」駅下車、帝産バス約8分
京都本線「中書島」駅下車、京阪京都バス約30分

放送大学（京都学習センター）
大学コンソーシアム京都



〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る
キャンパスプラザ京都
放送大学(3階)
TEL 075-371-3001
大学コンソーシアム京都(1階)
TEL 075-353-9140
JR「京都」より徒歩3分

京都・大学ミュージアム連携



京都・大学ミュージアム連携運営委員会事務局
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
京都工芸繊維大学美術工芸資料館内
TEL 075-724-7924
地下鉄烏丸線「松ヶ崎」下車東南へ400m



大学コンソーシアム京都加盟大学 生涯学習講座のご案内

2016年度前期「大谷大学 生涯学習講座」のご案内

本学では様々な教養を身に付けたい方に、本学の研究成果をベースとした生涯学習講座(有料) を開講しています。
2016年度前期は、5月～7月に以下の講座を開催予定です。

詳細決定(2016年3月上旬)後、大学ホームページに掲載するとともに、募集パンフレットの送付を行います。
送付を希望される方は、本学 教育研究支援課までご連絡ください。

皆さんの受講を、心よりお待ちしております。

	講 師	講座名	回数
開放 セミナー	西本 祐攝 短期大学部仏教科 講師	シリーズ『教行信証』の思想「証巻」を読む	5回
	沙加戸 弘 名誉教授(国文学)	演歌はすたれたか —近代歌謡史 昭和中・後期篇 「リンゴのうた」から「天城越え」まで—	6回
紫明講座	市川 郁子 教育・心理学科 教授	世代を超えて歌い継ぎたい歌たち	3回
	新田 智通 仏教学科 講師	仏教と心理学 —両者の相違点を中心に—	3回
	藤田 義孝 国際文化学科 准教授	『星の王子さま』の謎	3回
	竹中 正太郎 非常勤講師(哲学)	哲学カフェ —ダイアログ(対話)としての哲学—	3回
博物館 セミナー	平野 寿則 歴史学科 准教授	はじめて学ぶ古文書読み解き講座(初級)	6回

※上記の内容は変更する可能性があります。

大谷大学 教育研究支援課

大谷大学 真宗総合学術センター「響流館(こうるかん)」1階

住 所 〒603-8143 京都市北区小山上総町

電 話 075-411-8161

F A X 075-411-8162

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～11:30 12:30～17:00

※土・日・祝日および大学で定める休業日を除く。

大谷大学生涯学習講座ホームページ

<http://www.otani.ac.jp/23>



キャンパスプラザ京都を利用しませんか？ 施設利用案内



キャンパスプラザ京都について

京都駅近くに立地するキャンパスプラザ京都は、「大学のまち京都」のシンボルとして開設されました。市民や地域社会、産業界と大学、そして大学間の交流を促進するための拠点として、大学コンソーシアム京都加盟校の教職員が大学の講義や地域活動で利用しています。一般の方も施設を使用していただけれますので、ぜひご利用ください。(施設の利用条件等もありますので詳しくは受付窓口へお問い合わせください)



講義室

第1・第2(各289席)、第3(170席)、第4(90席)の講義室は講座や発表会等の利用に適しています。料金は90分10,080円～(第1・第2)、6,890円～(第3)、4,110円～(第4)。



演習室

第1～第5演習室はいずれも30名を収容。第2～第4演習室は、パーティションを取れば90名収納できる教室になり、勉強会やセミナー等で利用できます。利用料金は90分1,540円～。



会議室

第1(63席)、第2、第3(各38席)会議室はAVシステム完備で会議のほか学会等で利用いただけます。利用は午前・午後・夜間の3区分(延長あり)で10,800円～(第1)、6,270円～(第2・第3)。



ホール

最大90名(着席は80名)収容できる多目的ホールです。イベントやパーティー(パントリーあり)などで利用可。午前・午後・夜間の3区分(延長あり)で12,440円～。

施設基本情報

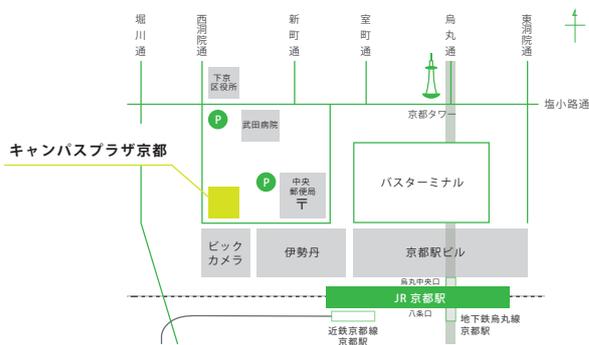
名称	キャンパスプラザ京都(正式名:京都市大学のまち交流センター)
所在地	京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939 (京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」下車。徒歩5分)
利用時間	9:00～21:30
休館日	月曜日、12月28日～1月4日
受付窓口	キャンパスプラザ京都1階受付 電話075-353-9111 受付時間9:00～19:00(休館日を除く) ※大学コンソーシアム京都加盟校の教職員が交流活動のために使用する場合は利用6か月前の月の月初から、その他の方は3か月前の月の月初からご予約を受け付けます。空き状況はホームページで確認できます。
利用料金	大学利用料金・一般利用料金があります。各施設や利用時間帯、付帯設備の使用によって料金は異なります。詳しくはキャンパスプラザ京都の受付にお問い合わせいただくか、パンフレットまたは施設利用案内ホームページでご確認ください。
ホームページ	http://www.consortium.or.jp/about-cp-kyoto

MIYAKO College Guide Book 2016



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

<http://www.consortium.or.jp/>



〒600-8216

京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都
公益財団法人大学コンソーシアム京都 京カレッジ担当

Tel.075-353-9140

FAX.075-353-9121

E-Mail: miyakare@consortium.or.jp



京都市総合企画局 総合政策室
大学政策担当
平成28年3月 発行
京都市印刷物 第273204号